美幌町まちづくり白書

「第６期総合計画」を策定するうえで、参考にしてほしい
まちづくりに関する各種アンケートの結果や
第５期総合計画の検証結果の概要などをまとめました

平成２６年９月

美幌町

＜この冊子の見方＞

『びほろ』みらいまちづくり会議の部会ごとの協議テーマにそってまとめています。

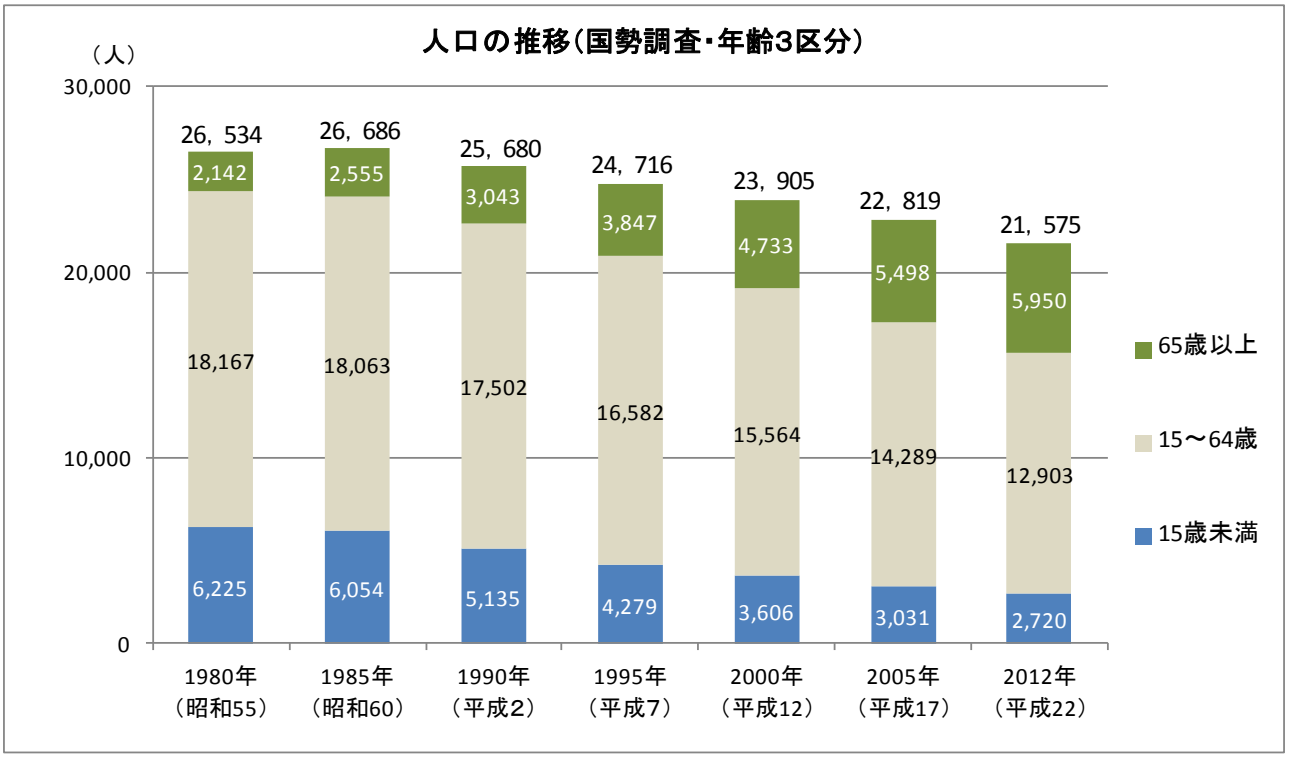
（１）関連グラフなど	第６期美幌町総合計画に係る「町民アンケート（平成 26 年７月実施）」「中高生アンケート（平成 26 年７月実施）」のほか、総合計画以外の個別計画策定時などに実施したアンケートの結果をグラフにしたものを掲載しています。
（２）現計画の検証	「第５期美幌町総合計画」について、担当部署で現時点での進捗状況や問題課題、今後の見通しや方向性などをまとめたものを掲載しています。
（３）意見、提案	第６期美幌町総合計画に係る「町民アンケート（平成 26 年７月実施）」「中高生アンケート（平成 26 年７月実施）」をはじめ、ヒアリングなどを通じて寄せられた声や意見を掲載しています。 ☺：小学生生のみなさん（美幌小学校の５年１組・２組） 【美幌町ですきなもの・こと】【将来なってほしい美幌町の姿】についての回答も掲載しています。 ✪：中学生、高校生のみなさん （美幌中学校・美幌北中学校・美幌高校の２年生） ❀：子育てサークル「わんぱく広場」のみなさん 🏣：自衛隊美幌駐屯地のみなさん ⌘：憩いの家利用者（高齢者）のみなさん ●：町民アンケートの回答 「美幌町過疎地域自立促進市町村計画（案）に対するパブリックコメント」に寄せられた意見も掲載しています。 ○：職員提言シートの回答

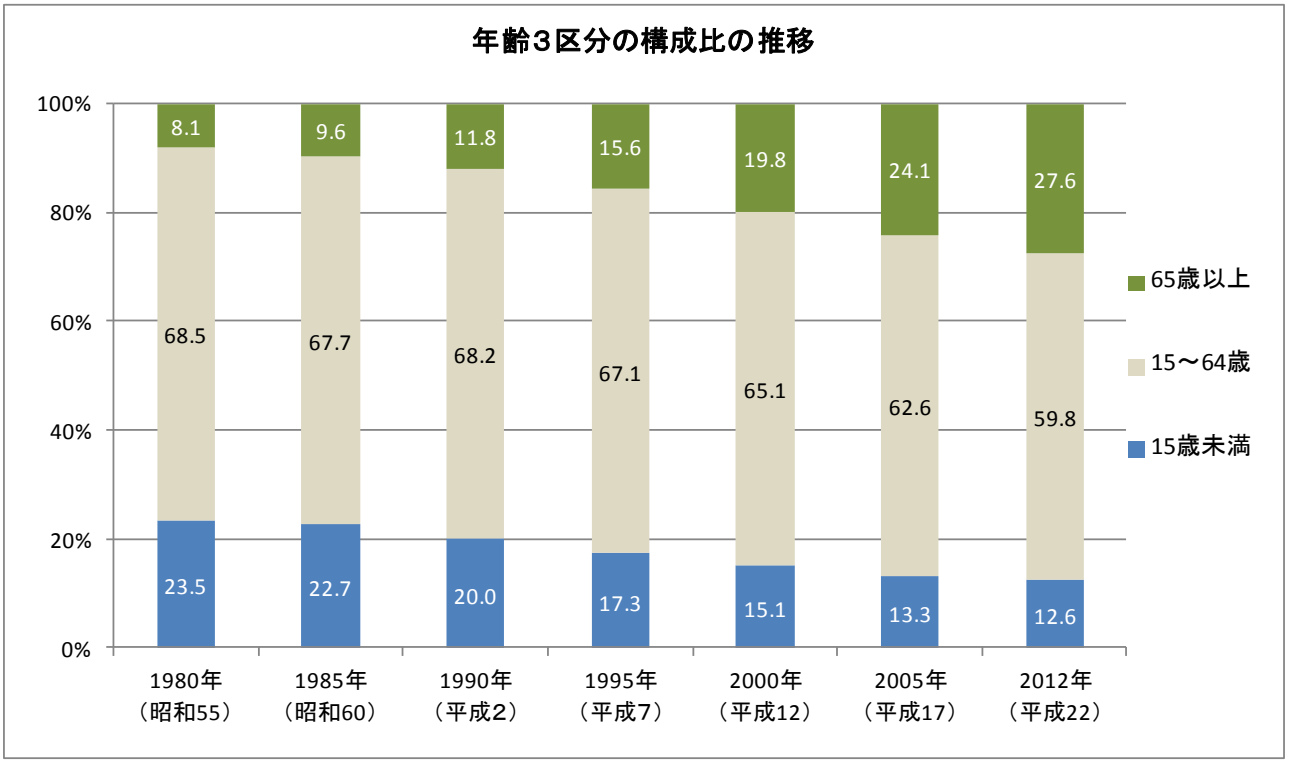
もくじ

1 人口減少対策（少子化対策、移住、定住）.....1
2 交通安全.....16
3 防犯.....20
4 公共交通.....23
5 地域の情報化.....28
6 防災.....29
7 消防、救急.....35
8 陸上自衛隊美幌駐屯地.....38
9 国内外交流.....39
10 人権、男女共同参画.....41
11 住民自治、コミュニティ.....42
12 住民参加、協働.....47
13 行財政運営.....51
14 広報、広聴.....61
15 広域行政.....65
16 環境保全.....66
17 環境美化.....70
18 ごみ処理、リサイクル.....75
19 墓地・霊園、火葬場.....79
20 保健.....80
21 医療.....85
22 地域福祉.....92
23 子育て支援.....100
24 高齢者福祉.....113
25 障がい者福祉.....122
26 社会保障.....126
27 農業.....128
28 林業.....135
29 商工業.....138
30 中心市街地.....144
31 地場産品.....147
32 観光、交流.....152
33 企業誘致、起業支援.....162
34 雇用促進、勤労者福祉.....165
35 消費生活.....168
36 新エネルギー.....171
37 土地利用.....173
38 市街地整備.....174
39 公園、緑地.....175
40 都市景観.....180
41 住宅、宅地.....182
42 道路網.....186
43 除排雪.....190
44 上水道.....194
45 排水処理.....197
46 治山・治水.....199
47 ユニバーサルデザイン.....200
48 幼稚園、学校教育.....201
49 生涯学習.....207
50 芸術・文化、文化財.....212
51 スポーツ.....218
52 青少年.....231
53 食育.....234

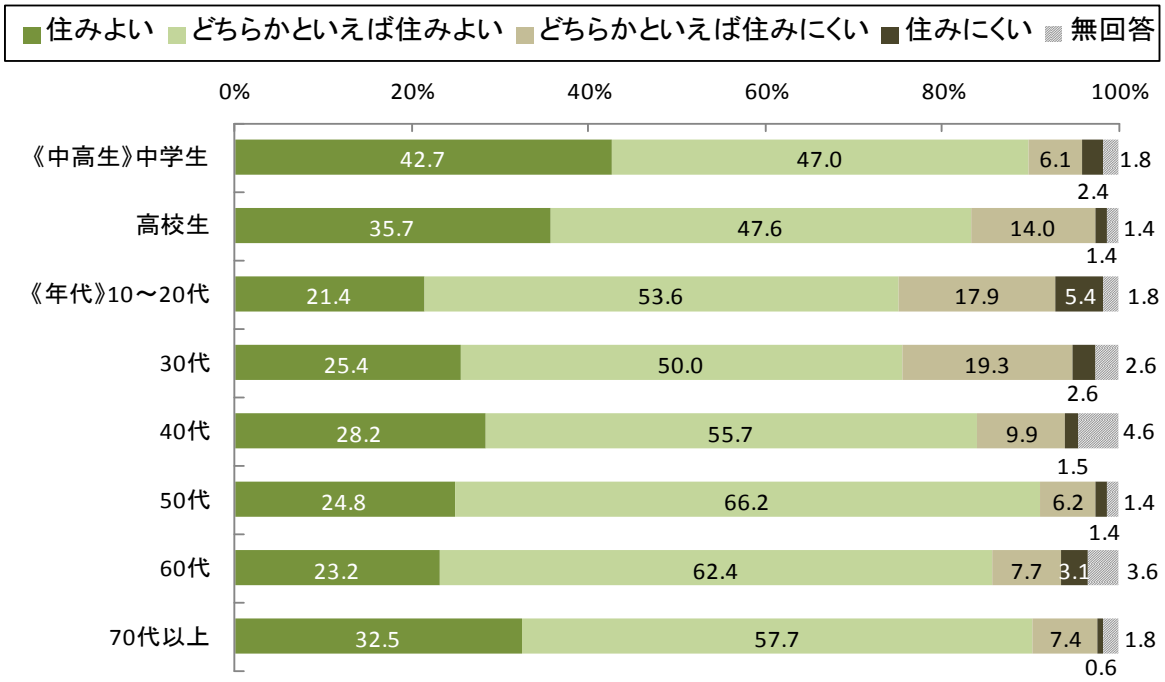
1　人口減少対策（少子化対策、移住、定住）

（１）関連グラフなど

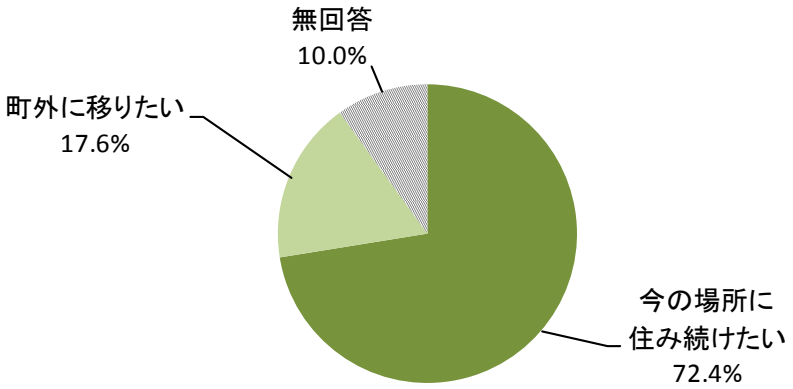




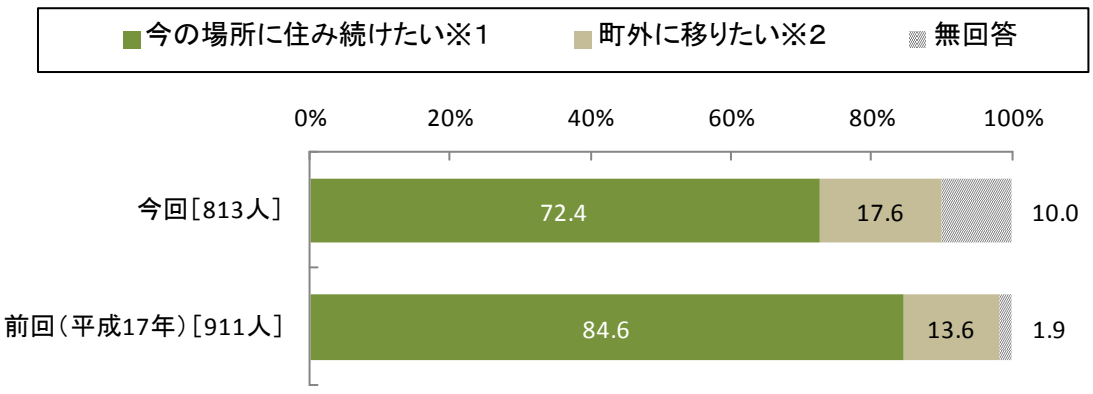
【問１】現在の美幌町の住みごこち（町民・中高生）



町民 **【問４】美幌町に住み続けたいか（813人）**

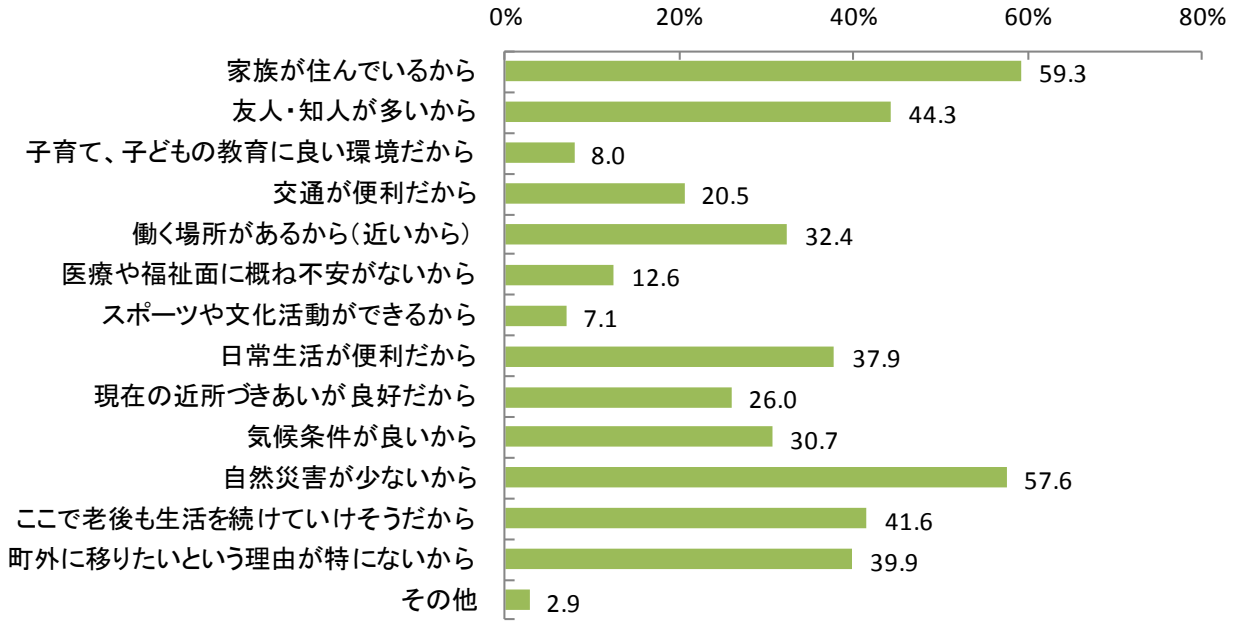


【問４】前回との比較

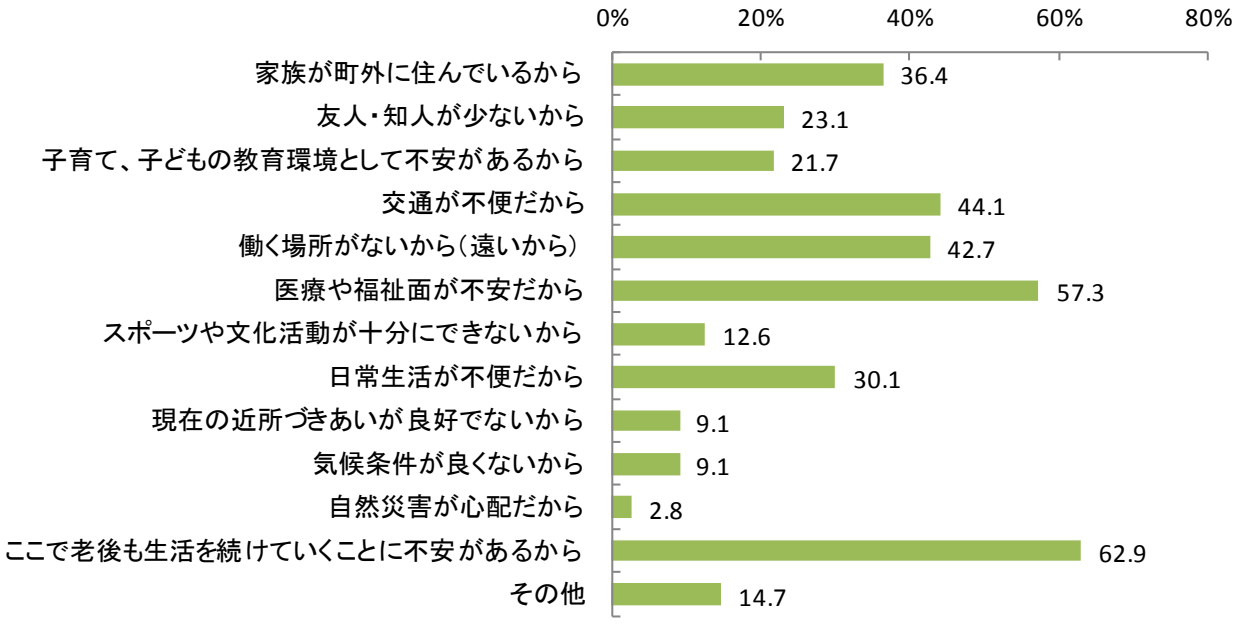


※1：前回の数値は「今の場所」と「町内の別のところ」の合計
※2：前回の数値は「道内のどこか」と「道外」の合計

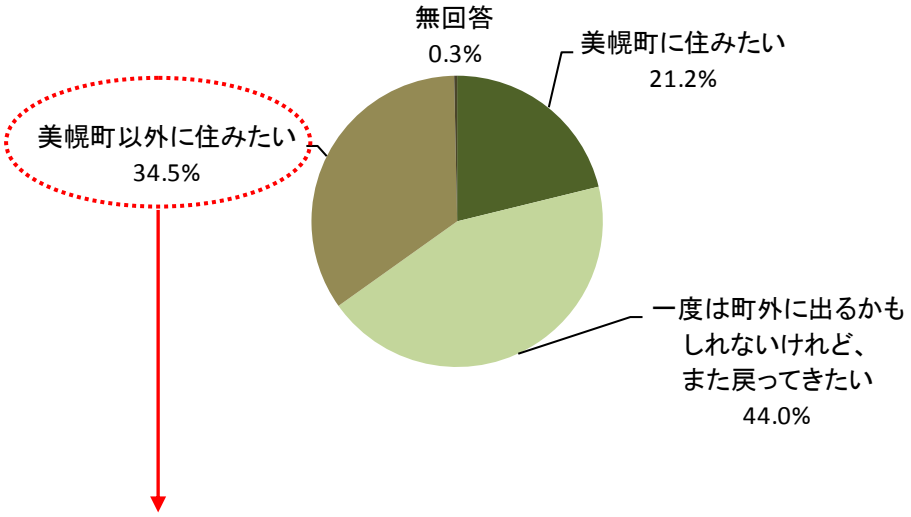
【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



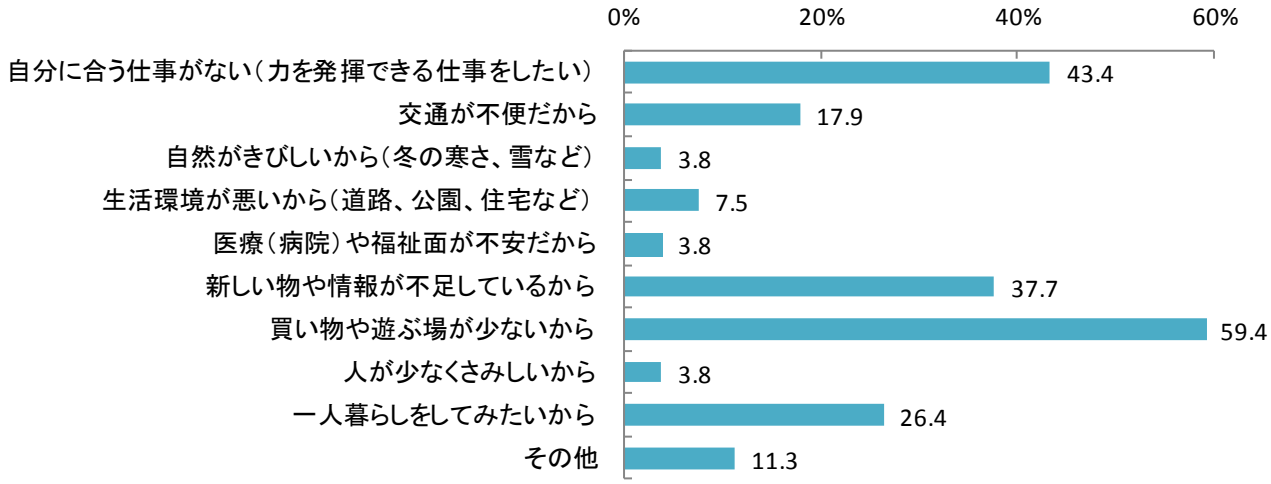
【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



中高生 【問3】定住意向（307人）



【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国内交流の推進 （「9　国内外交流」と重複）	移住・定住受入れ体制の充実	現在、移住・定住を受け入れるための住宅はないが、美幌の暮らしやすさを体験してもらう”ちょっと暮らし”事業を推し進め一定の実績を得た（H25 利用実績 5 組 14 名、H26 利用希望者 8 組 17 名）。H25 年度には、長期滞在型観光事業においてポスターおよびパンフレットを作成し広く反響を得た。	直接の移住者・定住者の獲得には至っていない。また、地元との交流を望む声に対し体験プログラムを考えてゆかなければならない。	移住・定住に関しての二ーズや課題を把握するため、ちょっと暮らし利用者に対しアンケートを実施し検討の参考としたい。また、交流・体験プログラムを用意するため、今まで以上に様々な団体との連携を図りその基盤を構築する。

（３）意見、提案

※「町民アンケート」の自由記載にあった子育て支援関係の意見は「子育て支援」の項目に記載しています。
※この項目（1　人口減少対策）にある職員アンケートの内容は「人口減少問題に対して」という設問で出てきた提案です。

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

✪ 人口が増えるまちづくりをしてほしい

- 大好きな美幌にずっと住みたいです。子供達には、元気で、大人になっても美幌で働いて、住んで人口が増えるといいです。（女性・40 代）
- 人口減少に歯止めがかかるよう、過疎化しない事を願う。（男性・60 代）
- 日甜と自衛隊は美幌の核だと思う。存続に尽くすと同時に、無くなった場合の影響を予測しておくことが必要。人口減は必至なのだから、人口規模にあった心豊かなまちづくりの計画になることを望みます。（男性・60 代）

<若者、子育て（世代の）支援>

⚐ レジャー施設があるといい。旭川や札幌まで行く。雨や雪だと外で遊べないので。

- 若い人が住める町にして下さい。（男性・50 代）
- もっと若者が集まる街になる様な工夫をしてほしい！若者が残らぬ街は廃れます。自衛隊の街だなんて云われは古いです。世代交代すら出来ぬほど若者が減っている現実に向き合うには、もっと思考すべき所がいっぱいあると思います。（男性・30 代）
- 子供達若者が健康的に遊べる施設があると、若い人達が美幌に残ったり、町外からも来るのではないかと思います。例えば、ラウンドワンのような所や映画館（ゲームセンターはいりませんが）、勉強したりおしゃべりしたり集まれる場所など。（よくシティの休憩場所にいる高校生、中学生たちを見かけますが、そういう場所がお店ではなく施設としてあるといいと思います。）←ちょっとした明るいカフェ的な感じで。（女性・40 代）
- 若い人達がＩターン、Ｕターンできる町であってほしい。町の企業の経営者が、（雇用する）若者が生活でき、家庭を持ち子供が出き、美幌町に定住出きる様な意識がもっとあると良いと思います。自治会活動にも、普通の若い人達が参加出きる様な町。高齢者社会を支えていただくのには、若い人達の力が必要だと思います。（女性・60 代）
- 若者が残れる様な企業誘致が必要。他町村から集まって来る様なイベントが必要。びほーるの有効活用→若者向けのコンサートを行うなど。（男性・40 代）
- 町としては環境も悪くなく、人も温かく住みよいと思いますが、町づくりとなると実感すべき事項が私には少なく感じられます。先ず、人口の自然減は避けられないとしても、流出を防ぐための子育ての出来る環境や安定した収入の得られる企業の誘致等、切迫感が行政にあるのでしょうかと感じせずにはいられません。人がいないと町は成り立たないと思います。（女性・50 代）
- 今後、若者達が美幌町に住み続けたいと思われる町づくりが必要だと思います。（男性・50 代）

〇 若年層永住のためにはやはり娯楽施設や就労場所の充実が大切だと思います。

〇 大きな商業施設や、ファーストフード店、ゲームセンターなど若い世代が楽しめる施設があれば若い世代の人口流出を防ぎ伸ばしていける

〇 夜遅くも利用できる場の提供。若者の流失の一つに、仕事が終わったあとなど夜の時間帯

に魅力がないという話が聞かれます。夜も語り合える安全な場所があれば、若者の活性化につながる

- ○ 若年世代の永住を考慮した雇用環境の整備
- ○ 若者が楽しめるような場所の増加により町外転居者を減らす
- ○ 「子供を産みたい、産みやすい環境」として医療費助成の拡充、子供の遊び場の整備、教育費の助成など子育て世代の住環境の充実。福祉施策の多くが高齢者対策に向けられている現状を再考。
- ○ 子育て世代の若者が、住みやすい・子育てがしやすい街づくりをすることが人口増加に繋がると思うので、住居や公園などの充実や整備、子育て支援体制の整備が必要。
- ○ 町全体で子育てを応援できるような制度づくり
- ○ 働く女性でも子供を産みやすい・育てやすい環境をつくるために、日曜・祝日の託児を無料もしくは低価格で受けられるようにする。
- ○ 母親が働きやすい環境を整備するための長時間保育の実施
- ○ 残業の廃止（家庭時間の充実）
- ○ 共働きしやすい環境づくり。（児童館・託児施設・企業も赤ちゃん同伴出勤体制など）
- ○ 男性の育児休暇をもっと活用できる雇用形態へ。
- ○ 父親が育児に参加し、母親を育児から一時的にでも解放する施策として、「おかあさんも休みたい日」を制定し、その日に子どもと父親が一緒に遊べるイベントを実施。
- ○ 子育てする親が集まり相談したりできる場所やイベントを増やす
- ○ 子どもをたくさん産めるよう、財政的な支援はもちろん、精神的支援を充実させる。（安心して預けられる場、相談する場の充実、学校での活動、給食の安全など）
- ○ 保育園、一時預かり保育（ファミリーサポートセンター）、保健師事業等育児家庭に関わる機関が互いの情報を共有しながら、育児家庭に関わっていくことが大切。
- ○ 子育て支援について保育園や学童保育などでフォローする。
- ○ 育児・家庭相談窓口の充実
- ○ 子育て支援（出前支援）、親育ち支援（親子教室）、堕胎させない（特別養子縁組）
- ○ 人口減少対策が成功している自治体は、高校生まで医療費無料、３人目からの出産に対し出産祝金の支給等、子育て世帯にやさしい環境が整えています。オホーツク管内で先駆けて導入し、子育てをするなら美幌町というイメージを定着させる。
- ○ 基幹産業がしっかりしている地域は僻地でも出生率が高いと聞いている。若い人が定職に就き一定以上の収入を得ていれば結婚、出産に向くと思う。ただ、０歳保育は民間頼みで公立の保育所も高い。共働きで収入のある家庭の方が支援さえ厚ければ第２子第３子と育てていく力があるのでは。学童、障害児・者対応の充実も必要。
- ○ サークルや母親学級など母のふれあいの場を作る
- ○ 奨学金をもっと出す
- ○ 育児についての情報、育児の楽しさを広める場が必要

＜保育＞

- ○ 保育所の増設や保育料を下げる（所得に応じてだが、幼稚園に比べて高すぎると感じる）
- ○ 保育所の充実など仕事を持った親も育てやすい仕組み作り
- ○ 就職先確保にあわせた保育施設の整備
- ○ 保育料を安くする、0 歳、1 歳児の保育所利用の枠を広げる、リフレッシュでも託児をしてもらえる。（子育てにイライラするという保護者がいるため）

○ 24 時間保育園の設置
○ 保育料の無償化、預かり保育等の充実。
○ 町外出身者同士の夫婦も多く、子供を預ける場所が少なく、安心して子育て出来ないため、町外出身者への優遇処置を図り、町外からの人口の流入を図ることも考慮すべき。

＜産婦人科＞
○ 産婦人科（国保病院への配置に限らす）の本町での開設
○ 美幌町に安全な産婦人科があればいい。せっかく発達支援、子育て支援、療育病院と子どもに恵まれた環境にあるのだから連携強化し子どもを育てやすいまちとしてＰＲしていく。
○ 民間の産婦人科を作ってほしい。
○ 町立病院は産婦人科は休診状態であり、医師の退職などが見受けられる。必要な医療を身近に受けられる環境づくり

＜不妊治療助成＞
○ 不妊に悩む人が増えている。子どもが欲しくても、人工授精に 1 回 60 万など高額。出会いの場も大切ですが、不妊治療に対する補助などもあれば、子どもが欲しい夫婦などはもしかしたら美幌町に転入してきたり、また今いる美幌町民の人口増にもつながる。

＜医療費、保育料などの助成＞
○ 出産、子どもの医療費に対する助成
○ 保育料や教育費の援助、助成
○ 子ども医療費の年齢要件の拡大など
○ 医療費を高校生まで無料化、保育料の減額など、この世代に最大限の投資をしてもよいのでは
○ 児童手当の独自増額

＜出生人数に応じた支援＞
● もっと子育て支援と言うか、子供に対する支援が必要だと思います。なぜなら、高齢化していて福祉関係の支援が充実しても、子供に対する支援がないとますます高齢化になると思います。例えば、美幌在住で子供を出産したら 5,000 円、２人目は１万円、３人目以降は３万円。また、美幌町内の企業に就職したら 5,000 円等、子供が住みやすい町にした方がいいと思います。金額が少なくても、やらないよりはやった方が他の地域と差ができますし、何か他の地域がやらない事をやっていかないと、町としても衰退していくだけだと思う。（男性・10～20 代）
○ 結婚祝い金のようなものなど人口増加に係るものに対しての助成があってもいいのでは。
○ 子どもが産まれた家庭には出生人数に比例した奨励金をあげて人口を増やす
○ 子供たちへの助成金等の支給（第 2 子～50 万円、第 3 子 100 万円の支給）
○ 医療費等の免除などの経済対策を実施するのであれば、よくある第３子無料ではなく、第３子がいる家庭は第２子（又は第１子）から無料など。とする方が２人いれば、３人目も産もうとつながる。
○ 子供が 2 人以上いる家庭の教育費、医療費等の手厚いサポートを充実させて職場は美幌町でなくても、美幌町で子育てしようと思わせることが重要
○ 子ども３人目が産まれた家族については、医療費、学費等、高校卒業まで免除するといったような町独自の取り組みをする。１家族当たり子ども２人だと人口はプラスになってはいかないので、３人目というところに注目している。

- ○ ３人目を出産した家庭に、２人目分から補助制度や助成制度を活用できるようにするなど、２人子どもがいる世帯が３人目にトライしやすい環境をつくる。
- ○ 子ども３人目以降祝い金などの創設。
- ○ 子ども４人目からの世帯に対する助成。（保育料減免、給食費減免、公営住宅家賃減免など）

＜公園、遊び場＞

- 子供や若者が遊べる場が少ない。
- ○ 子どもから大人まで利用できる大きな公園等の施設ができて欲しい
- ○ 道立の大規模公園の誘致。（近隣では十勝、中標津、紋別にあり、美幌にできれば近隣からの来客が期待できる。）
- ○ 子どもが天候に左右されず安心してのびのびと遊べる場所を増やすなど
- ○ 子供や親が安心して遊べる、施設や遊具の整備。

＜教育＞

- ○ 町独自の教育システムを導入することで、この町に住めば教育環境が劇的に変化するなどの魅力をつくる。子育て環境として美幌町がいいと思えること
- ○ 学習環境の整備により他の地域よりも住みたいと思える
- ○ 学校施設の充実
- ○ 子どもの教育レベルの向上。ここの学校に行くと子どもの教育に良い、学力が向上するなど良い情報があれば、美幌町に転入してまで通わせたいと思う親がいるのでは。優秀な教職員を美幌町へ赴任させる。又は町が敏腕教師を雇用する
- ○ 時間はかかりますが、若者の意識改革（教育）に取り組むべき
- ○ 学校（教育分野）の質の向上（北見市の高校に進学するなど、卒業後も地元に残らない）
- ○ 高校のレベルアップ

＜住宅＞

- ○ 単身者でも入居しやすい家を増やす
- ○ 単身者向けの低賃金アパート・マンションの増設
- ○ 独身者用公営住宅
- ○ 近隣へのアクセスが良いので、住宅地としてのニーズがあるのではないか
- ○ 若い世代に向けて優先的に公営住宅をあてるなど
- ○ マンション等の共同住宅を増やす
- ○ 低家賃での住居の提供、家賃の安い住宅の提供、
- ○ 住宅地支援事業（町が保有している土地を移住してくる人の無償譲渡）
- ○ 住宅建築費用等の住居取得の助成や提供
- ○ 定住希望者への町所有遊休地の提供と土地取得に対する補助及び固定資産税等の軽減
- ○ 小学生以下の子どもがいる家庭が、住宅建築(又は中古住宅の購入)する場合に奨励金を支給、既存の町産材活用助成などとパッケージングして利用できるようにしてはどうか？
- ○ 町で所有している住戸を改修し、定住希望者への体験住戸として提供
- ○ 空き家をネット上で簡単に検索できるデータベースを整備し、移住の素地を作る
- ○ 持家を管理しきれない高齢者などや転入者の家賃軽減対策など、需要があれば自衛隊官舎が相当空いていると聞くので活用できないのか
- ○ 自衛隊官舎等を賃貸して空き家を解消する有効活用

○ 農家などの空き家を町外者に町で斡旋する

＜働く場＞

- ● もっと若い人達が働ける場を作ってもらいたい。美幌に居ても仕事が無いから、結局、高校を卒業したら皆地方に出て行かざるを得ないと思います。（女性・50 代）
- ○ 一度美幌町から転出した後にそのまま町外に滞在する場合が多い。帰りたくても帰れない人も多くいると思いますが、やはり戻るためには就職先が必要なので、雇用増加が必要
- ○ 成人式での地元企業ＰＲブースの設置
- ○ 高収入を得ることができる産業を育てる
- ○ 町内企業の PR や企業誘致など働く場所の確保に重点を置く。
- ○ 町職員による美幌名物の発掘・発案により仕事を増やす
- ○ 大規模国営事業への参加（誘致等）
- ○ 美幌町に仕事場を提供してくれる企業（個人含む）等に条件（無償、建物・土地の無償提供）を提示してインターネットなどで全国公募する
- ○ 税の減免措置や土地の提供などにより大企業、テーマパークの誘致
- ○ 生活に必要な賃金をかせげるまちづくり
- ○ 労働者の給与の見直しと改善。将来的に生活費、教育費の捻出が出生率の低下に拍車をかけている
- ○ 若者が就職先として選択するような魅力ある企業の誘致

＜企業誘致、起業支援＞

- ● 若者の地元定着の促進。企業の誘致。（男性・50 代）
- ○ 空オフィスをネット上で簡単に検索できるデータベースを整備し、企業誘致の素地を作る。
- ○ 若者には可能性がある。起業しやすいまち、起業する者に優しいまち、といった具合に、既存企業を誘致する方法以外にも新しく事業を始めて可能性のあるまちにならないか。美幌町の人が他の市町村に仕事を求めて出て行くよりも美幌町で仕事が見つかる環境が第一
- ○ 大規模製造業の誘致
- ○ 東京から 2 時間（時間的には通勤圏内）のアクセスを生かし、オホーツクの大自然にローカルオフィスの設置を希望する企業、IT を活用して地方での起業を希望する移住者に対するきめ細かい柔軟なサポートを推進する。その前提となる素地造りに地域おこし協力隊を活用する
- ○ 大小問わず、有名な企業（スターバックスとかドトールとか）の誘致と働く場所の確保
- ○ お店を出す時にサポートする（補助金を出すなど）
- ○ 地域おこし協力隊の積極的活用

＜高齢者＞

- ● 逆転の発想で、高齢者を集めて人口を増やすと、介護福祉系や高齢者の人口増加にともなう仕事が増えるので、若い労働者を誘致できるかもしれないですね。（女性・30 代）
- ● 介護施設を増設し、障害者施設等を設けて（美幌町に受け入れ）、人口増加や雇用の充実に取り組んでほしいと思う。（男性・30 代）
- ○ 最近現役引退者の方の離町が目立つ。一町民の方が「美幌は福祉施設は充実しているとは思うが、臥床状態や認知症がその対象であり、日常生活に支障が無いがひとり暮らし（夫婦ふたり暮らし）に不安がある者の入所施設が近隣を含め少ない」と話していた。介護保険制度が施行され在宅介護体制が整備されているが、本州とは違い北海道では施設介護に対する思いがより大きいと感じる。第５期総合計画にも「ケアハウス」「高齢者生活支援ハ

ウス」の記載があるが、そのような方々の生活の質を尊重し安心できるものがあれば、現役を退いても美幌町に留まるのでは。

- ○ 現役世代が高齢者を支えるだけの施策は人も金も限界があるので、お互いに支え合うシステムを確立していくことが必要（高齢者が中心となる産業の構築、高齢者が地域の子供を育てる等）
- ○ 高齢化に伴う公共交通、買い物、病院、ボランティア等の充実
- ○ 介護福祉施設の充実。
- ○ 除雪に苦労し、マンションなどが充実した町へ転出する高齢者もいることから、高齢者の除雪や身の回りのサポートできる体制。
- ○ 町外から高齢者を呼び込み、それらに関連した企業、労働者を増やす
- ○ 寝たきりにならず元気で長生きして楽しめる老後をおくれる町、生きがいを見つけ生活できる町
- ○ 人口減少で生じる人手不足への対策。高齢者の対応をする介護職員、介護施設のスタッフ不足等の対策に取り組まないといけない（介護分野だけではなく様々な職場に対して）

＜出会い、交流促進＞

- ● 町外の人を呼ぶ交流会を開催をして、人が多く来町すれば、中には将来、ここに住みたいと思う人が自然と増える。（男性・50 代）
- ● 若者（未婚男女 20 才～35 才）の交流の場を設ける。最近流行の婚活形式ではなく、もっと自然にカップルができるようにー。例えば、男女混合のソフトボールチームをつくり、年に何度かリーグ戦をやる。北中出身者Ａチーム、北中出身者Ｂチーム、美幌中出身者Ａチーム、美幌中出身者Ｂチームなど。その場だけのチームにしない、監督もいる。（男性・60 代）
- ○ 道外など地方女性に「嫁に来ないか！お見合いイベント」開催。
- ○ まちコンの開催
- ○ 町でお見合いをするイベントをする。
- ○ 農業担い手者との出会い等の扶助。町外のシングルマザーが美幌に魅力と将来性、第 2 の人生を見いだせるようにする。農家の嫁問題と絡める。
- ○ 未婚者を減らす、婚活パーティー、異性との接し方がわからない人のための講義
- ○ 色んな人が交流出来る様なイベントの開催(8/16 美幌峠のビールパーティのような)
- ○ 結婚相談員活動の充実
- ○ 住民が参加しそうな小規模イベント（毎月フリーマーケット、Ｂ（美幌）1 グランプリなどのコンテスト）を開催し交流の場を多くする。（場所の無償提供、広報びほろや町ＨＰで個人のイベントも広報する）
- ○ 美幌町に様々な場所から人々を招待し、美幌町の人々と交流する。
- ○ 季節移住のための民間アパートの活用や住宅補助のために商品券を活用するなど、官民一体となった場を設定し施策の推進や２居住（夏は北海道・冬は道外などの積極的推進やPR）の推進。
- ○ 交流人口を増やし、美幌町はどういう町なのか知ってもらう。まず、美幌町に足を運んでもらう事が重要だと思います。
- ○ 道外で定年退職した人がよく北海道に旅行に来ると思うのですが、「このまま美幌に住みたい」と思えるような魅力を発信できたら人口の増加に繋がると思います。
- ○ 宿泊施設の充実。（まずは美幌を感じて貰うところから）
- ○ 通過点になりがちなので名所をつくる。

- ○ 人が集まる街にする。人口が減ってもいいが、集めればよいのでは。美幌町は地図をみると主要国道４路線が合流する立地のよい場所。北見、網走に行くのではなく。北見、網走等から来てもらう対策・・・キャンプ施設（美幌峠？）通年型プール？ターゲットはファミリー世代だと思います。また、駅周辺の再開発。人が集まるところに人を集まりやすくすること。
- ○ お試し暮らし体験が好評な町（釧路市や遠軽町など）を視察して取り組み内容を確認したり、地域おこし協力隊を招聘するなどしてノウハウを構築していく。町のイベントにメインで参加してもらえるよう最大限のおもてなしをすることや、来たばかりでも町のことがわかるようガイドマップ的なものを配付するなど、お試し暮らしをすることで得られる魅力的な「特典」を考えアピールすることも重要だと思います。

＜Uターン促進＞

- ○ 町外へ転出した若者を呼び戻すためにUターン者向け WEB サイトを設置・運営など
- ○ 美幌町出身者のＵターン就職を促進、支援。

＜移住促進＞

- ● 更なる利便性を追求し、近隣の町村から美幌町に転入してくる様な施策を。（男性・50 代）
- ● 移住者の受け入れを。交通アクセスの利便性を首都圏にアピール、安価な土地の提供。（５年以内に家を新築する者に補助。）（男性・70 代以上）
- ● 美幌に住みたいと思う人が増える対策を、もっと早目に考えた方がよいと思います。（女性・40 代）
- ● 人口減は避けられないが、他地域からの受け入れを幅広く検討することによって、地域の活性化を図れるのではないか。（男性・40 代）
- ● 本州から美幌に住んでもらえる様に。（人口を増やす）（女性・60 代）
- ○ 町で移住した場合の助成制度を設ける（若年者が移住してきた場合の補助金制度など）
- ○ 空き家の活用。別荘・宿としての利用も含め、青年～中年層に訴求。「移住のすすめ」を提示し、定住化を図る。
- ○ 地域住民の移住者への理解、配慮。移住しやすい町。
- ○ IJU ターン者を受け入れる環境（住宅の提供、仕事の紹介～ワンストップ・サービス）整備や採用企業への支援制度を設ける。
- ○ 町内移住者への補助制度、美幌町へおかえり定住助成金など
- ○ 町おこし隊としての人を雇って、移住対策を行う。

＜医療＞

- ○ 医療機関が更に充実することで、人口流出を防ぐことができる。
- ○ 医師の過疎手当の高額公費支給や一戸建て住宅の確保などの条件をあげ医師の確保をする。
- ○ 病院内に託児所をつくる

＜エネルギー＞

- ○ 町で必要となるエネルギーを外部に頼らず自給できる持続的なサイクルを構築し（耕作放棄地に太陽光発電、ペレット等）、低炭素・低廉なエネルギー（光熱水）を住民・企業に提供。

＜広域的な視点＞

- ㇵ 美幌は交通の便がいいので、北見や網走で職があれば、定住先として選ばれることもあるのでは。
- ● 定住、移住できるような環境づくりを目指す。北見市のベッドタウン化。（女性・60 代）

○ 北見・網走市が車で 30 分圏内にある地の利を生かし、勤務地は町外でも居住地を本町とする「定住及び若い世代の転入促進」のために、住宅取得補助、新婚及び転入者家賃補助や子育て世代には出産から教育（地元高校卒業）まで保育・医療・教育費の完全無料化など、近隣市町村が真似できないの施策の実施

○ 近隣町村に職場があり、在住が美幌町となればと思います。その為には、子育てに少しでもお金がかからないことが大切かと思います。

○ 20～30 代の女性が子育てしやすいと思える環境を整えることにより、北見市のベッドタウンとして美幌に定住してもらう。

○ まずは中核都市のベッドタウン（魅力ある）を目指すのも手ではないか。

○ 美幌町が消滅することはないと信じていますが、人口減少社会の中では、行政の広域化を図るべき

○ 若年人口を増やすためには町内での雇用を充実させる（本町だけで企業を誘致するのは困難であると思うので、近隣自治体とタッグを組んで取り組むことも必要ではないか）

○ 美幌町だけが人口減少しているわけではないため、オホーツク圏とりわけ北網圏で企業誘致・観光産業の拡充・地場産業の育成等広域的な視野で取り組むべき。

○ 地域的に広く考えて、各市町が取り組める可能な分野を選択して、美幌(北見)周辺の地域人口急減に対応すべき。北見市では雇用の場を提供するとして美幌では特に何を力入れるべきか検討していく

○ 北見・網走の定住自立圏構想に加わることを前提に、高度専門医療や高等教育等の機関は北見・網走にゆだね、それらの都市へのアクセス改善に予算を集中する

○ 北見市のベットタウンとしての役割も加えて果たせるよう、北見～美幌間の高規格幹線道路早期完成を強く要請する、また先を見据えてＰＲ活動、区画整理を計画する

＜商業＞

○ 大通り商店街の見た目を変える（初めて美幌町に来た人やまだ来ていないけどストリートビューなどネットにより美幌町を見た人が来たい、住みたいと思えるような第一印象）

○ 空き店舗に多様（主に飲食店）な店を開くことで、外から人が集まり定住につながる

○ 街の中には、シャッターが降りたままの建物が目立つが、町は現行では中小企業に対する補助制度はあるが、町外からの起業者等にも町内の雇用が増えるのであれば同様に補助しては。古い建物についても街のイメージは悪くなるので取り壊しの経費に対する補助もあれば

○ 商店・飲食店・保養（温泉水を運ぶなど）・遊戯施設（カラオケ・ボーリング場など）を 1 ケ所に集めて複合商業施設を作る

＜農業＞

○ アスパラが日本一（生産量ｏｒ品質）→生産拡大（町補助）→観光名所（直売所・販売所の増設）→生産・販売に必要な雇用確保。

○ 農業の担い手不足の解消（誘致等）と発展

○ 低農薬、有機肥料で農作物を生産するために、研究費や補助金を捻出。都会から移住する新しい農民に、そうした農業を実行してもらう

○ 新規就農者支援（みらい農業センターの取り組み）。

○ 基幹産業でもある第１次産業の農業後継者・新規就農者の確保

＜自衛隊＞

○ 美幌町の人口維持を支えているのは駐屯地の存在が大です。人口増の施策を新たに設けることも必要ですが、国防、自衛隊の重要性は将来も変わらないと考えます。自衛隊駐屯地

の存置活動の充実を第一に置きながら、「住みやすさ」を軸にした施策が必要と考えます。

○ 美幌町は自衛隊の存続が大きく関係してくるので、削減反対を含み存続に力を注ぐ。

○ 自衛隊の現状維持または拡充

○ 自衛隊駐屯地の存続を強く求む。

＜町の良さをＰＲ＞

- 災害は少ない、ということは良い。

● 住んでみると、教育やスポーツなど、非常に手厚いサービスがあり、都会よりずっと住みやすく便利だと思います。その強みを活かして永住者を増やして欲しい。（女性・40 代）

● 美幌は気候が良く、オホーツクでは住みやすい町だと思います。空港も近く、高速バス、ＪＲなど、札幌や東京などのアクセスも良いと思いますが、これといった観光、特産物などがないので、通過点のような印象です。ケンミンショーなどでとりあげられるような産業、物産などができると全国的にも有名になり、通過点ではなく滞在、移住などにつながると思います。すぐは難しいと思いますが、10 年後、20 年後、長い時間をかけて取り組んでみることで、次世代が美幌町で安心した生活ができると考えます。（女性・40 代）

○ 修学旅行の誘致を行う。→将来の美幌町のファンづくりと町の魅力の PR（大人になってから美幌町に住みたい、訪れたいと思うきっかけ。例えば美幌高校での農業体験がメニューとなれば、美幌高校生にとっても貴重な学習機会となる）

○ 情報発信（安心感をあたえ、結婚や子育てに魅力があることをつたえる）

○ 商工観光のくらすわ美幌のような、北海道の住民でない視点での情報発信をもっと増やすことができたら良いと思いました。読んでいて「本州の人はこんなことに驚くんだ」と新しい発見がある。

○ コンパクトシティを推進し、大型スーパーも３店舗有りワンコインバスや公住、アパート、子育て施設、学校公共施設の将来的デザインを描きながら、美幌に永住して近隣市町に出勤してでも住みたいと思える町の良さをアピールしていく。そのためにも若い世代が世帯を持つ方にどう働きかけていくかが政策的な課題であると思う。町のＰＲボランティアとして、各世代や様々な職種の方に、町の取り組みをフェイスブックなどＳＮＳで発信してもらうようＰＲ隊を指名結成するとか‥

○ 安心・安全なまちをもっとアピールすべき。美幌町のように災害が少なく、小売り店も不便しない程度あり、交通の便にもすぐれた町は多くないと考える。ネットワーク社会において都市と地方の情報の差はほとんど無いと考える。身を助ける安全こそ最大の強みであると考えます。

○ 美幌に住み続ける利点などをアピール。

○ 実際に住んでみると、住みやすいという声があるので、住みやすさをアピールしていく。（買い物の利便性、町の広さ、公園等）

○ 美幌町は特に交通の利便性（空港まで 10 分）、自然環境（子どもも自然にたくさん触れることができ伸び伸びと）、病院が充実しているなどをアピールすることができます。

○ モノ・カネがない美幌町は有名人となるべきヒトを養成し美幌町のＰＲをして美幌町のセールスしてもらう取り組みに投資したほうがお金がかからない。人材育成により有名人を養成し、その人を見たさにヒトがあつまる町になればと思う。

○ 災害が少ない安全な地域であることをアピールする

○ 継続して美幌町に居住している方を特集にした記事の作成や表彰など、美幌町に住んでいてよかったと思える制度創設やイベントの開催を行う。

○ 口コミ。美幌町民がきちんと発信すれば、意外と多くの人が「へぇ、結構いいまち！」というのを聞く。前述、華はない(と思う)ので、じんわりと「良さ」を伝えたい。気長に。

- 美幌が住みやすい町だということを知ってもらう。（オホーツク観光ツアーの開催宿泊は美幌。）
- 美幌町をアピール（特産物や道の駅、イベント等）
- スポーツ活動も盛んな町ですのでどんどん力を入れて色々な種目からオリンピック選手を出して美幌町を有名に！
- 美幌は住んでみると住みやすい（災害少ない、気候がよい、食べ物おいしい、隣町に行けば買い物も便利）のでもっと前向きにＰＲ
- 子育てや子供たちを見守る良い環境にある事など、良い面を沢山ＰＲしていく。

<子どもの時に良さを>

- 子どもから学生世代に地元愛が根付き一旦町を離れてもまた戻ってきたいと想うようなまちづくり
- 将来的にも継続して人口を維持･増加させるには、若者が戻ってくる町であるべき。美幌に住んだらこんないいことがあったとの「おいしい思い」を子どものうちに刷り込んでは
- 田舎町で育った若い子達は、１度は都会に住むことを憧れるため、若い人達が多く減ってしまっていますが、その若い人達が何年後かにやっぱり自分の生まれ育った地元の美幌が良いと思って戻って来れるように、就職先の確保や子育てなどがしやすい環境を作ってあげることが必要
- 小さい子どもの時にオホーツク管内の特色である自然を生かした教育を行って、最終的に戻ってきたいと思えるような取り組みが必要だと思います。アイデアとしては、ニセコにあるようなアウトドアアクティビーができる施設、森と水があるので可能。些細な事ですが、みどりの村の高低差を利用してロープを張り自然のジェットコースターのようなものから始めていくのはどうか

<町内に目を>

- 対外向けではなく、住んでいる人が満足していれば人が人を呼ぶ。いつも念頭に女性、子供、60 代くらいの方の笑顔を思い浮かべて事業を発案し、取り組むことが重要と考える。
- 少ない人数が移住してくることにお金を使うより、今住んでいる人が安心して暮らせて楽しい町にする施策にお金を使っていれば、必然と町外から人が流入してくる（外交施策より内需拡大！）

<コンパクト化>

- 減少に歯止めが効かないのであれば、いっそのこと諦めて、町の中心に住民を集める。バラバラだと自治会活動も人が少なく、盛り上がらない。
- ある程度の人口減は避けられないものであり、その中で「暮らし勝手がよいコンパクトシティ」

<分析>

- 美幌町出身者で現在町外に住んでいる方に「美幌町を離れたきっかけ」や「現在住んでいる地域の魅力的なところ」、「美幌町がこんな環境になったら住みたい」など意見を求めることも必要に思います。
- 美幌町は、国や道に比べて合計特殊出生率が高い。第３子までいる人も多い。なぜなのか。自衛隊があるから？子どもを育てやすい環境が整っているから？この部分を分析すると何らかのヒントが隠されているのかもしれない
- 子育てにかかる負担から、子供が欲しくても２人目、３人目の子づくりに躊躇してしまうことが多いのではないか。小さな子を持つ親に改めてリサーチを行って、その要因を探る必要がある。
- 特殊出生率が２を下回る現状をどう引き上げていくかが課題である。２で±０であり２以上

にならなければ、日本の人口は減少が続くことになる。子育て世代にとって何が要因なのかの把握が必要。

＜その他＞

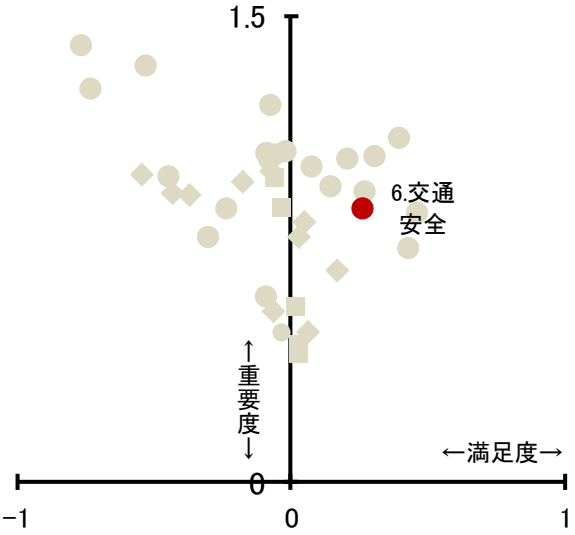
- ○ 人口減少問題を冷静に受け入れつつ、自主自立のまちづくりを進めるべき。自治基本条例に示す基本理念「安心で住む喜びが実感できる美幌町」の実現に向け、先を見据えた大胆な政策を打ち出す
- ○ 基本的に働く場と住む場所を確保することで、若者流出を防ぐことができる。若者（女性）がいることで地道ながら出産で人口は増えていく。
- ○ 千葉県流山市など、実際に人口増の実績がある自治体の実施している子育て支援、教育環境の整備、エコで自然豊かなまちづくりの取組を参考に実行に移す（「規模が違う」と頭から否定するのではなく、やわらか頭で検討してみる。）
- ○ 子育て支援、雇用の確保、移住定住の促進等ありきたりのことですが、そのありきたりのことを少しずつでも充実、改善していくほかない。
- ○ 美幌で産まれ、美幌で育ち、美幌で働き、美幌で産み育てるというサイクルを確立することが必要。
- ○ 町外から見たときに子供を育てる環境や、老後生活していく環境が充実していれば人口の増加に繋がるのではないかと思う。
- ○ 着々と進む超高齢化にどう取り組むか。現役世代の自分たちが支えられる立場になったときのことを想定した施策の検討が必要。子ども達の負担を少しでも減らすためにも、自分が高齢者になったときにいかに現役世代に負担をかけずに生活していくかという視点で考える必要があるのでは。
- ○ 福祉もさることながら「居心地の良さ」も大事だと思う。美幌は最低限の用を足せる立地には恵まれているので、あとは「意外といいまち」「悪くない」「離れる理由もないかな」程度の気持ちを抱かせたい。(福祉を手厚くするのは必要だが「魚を釣ってあげる」ことにお金を使うより、「魚の釣り方を教えてあげる」ことにお金を使いたい。)
- ○ 他の市町村のまねでいいので成功しているアイデアを参考に。
- ○ 町内・近隣市町村各事業所における職員採用の拡充により特に男性が就職し町内定住する⇒将来家庭を持つ⇒子供を出産する⇒保育・預かり施設を充実させる⇒主婦も安心して働ける ⇒ 夫婦・家庭円満（びほろは居心地のいい街）⇒子供が成人し就職、町内定住し家庭を持つ
- ○ 高齢者と子ども達のつながりを強化する
- ○ 長生きを楽しめるまちづくりと言うより若者も楽しめるまちにしないと人口減少は止まらない。
- ○ 人口が減少することが全て悪いことではない。そこに暮ら町民が豊かで幸せと感じるまちを目指す
- ○ 人口の減少はあるが、美幌町として町民にいかに満足した暮らしを提供できるかが大事。

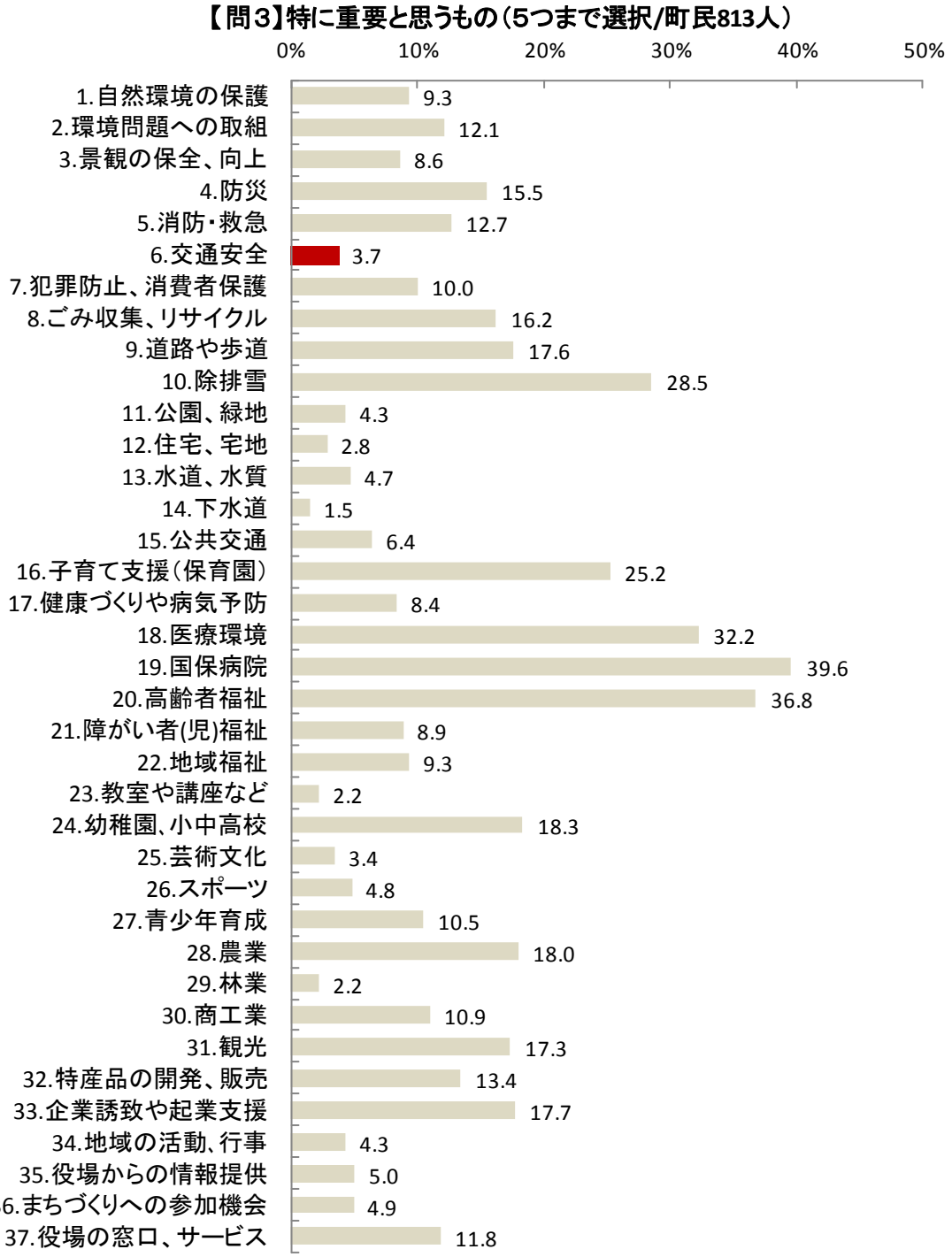
2　交通安全

（１）関連グラフなど

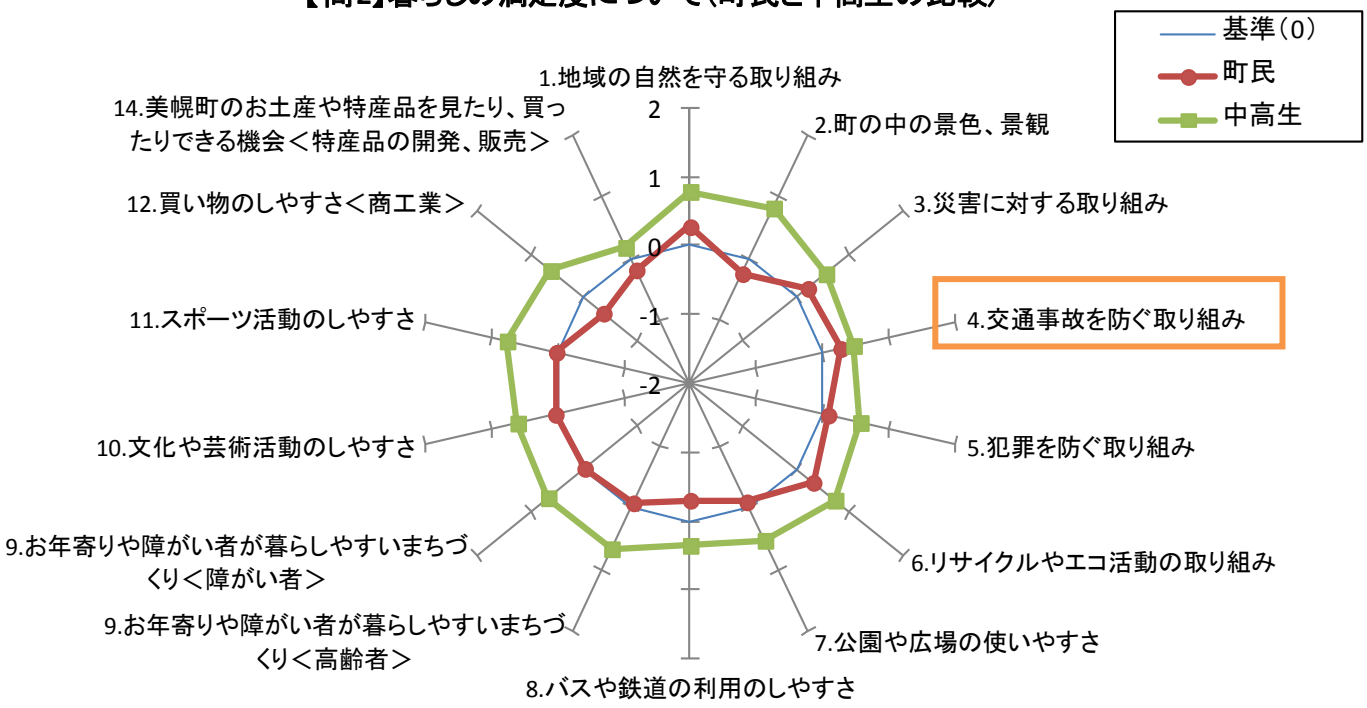
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

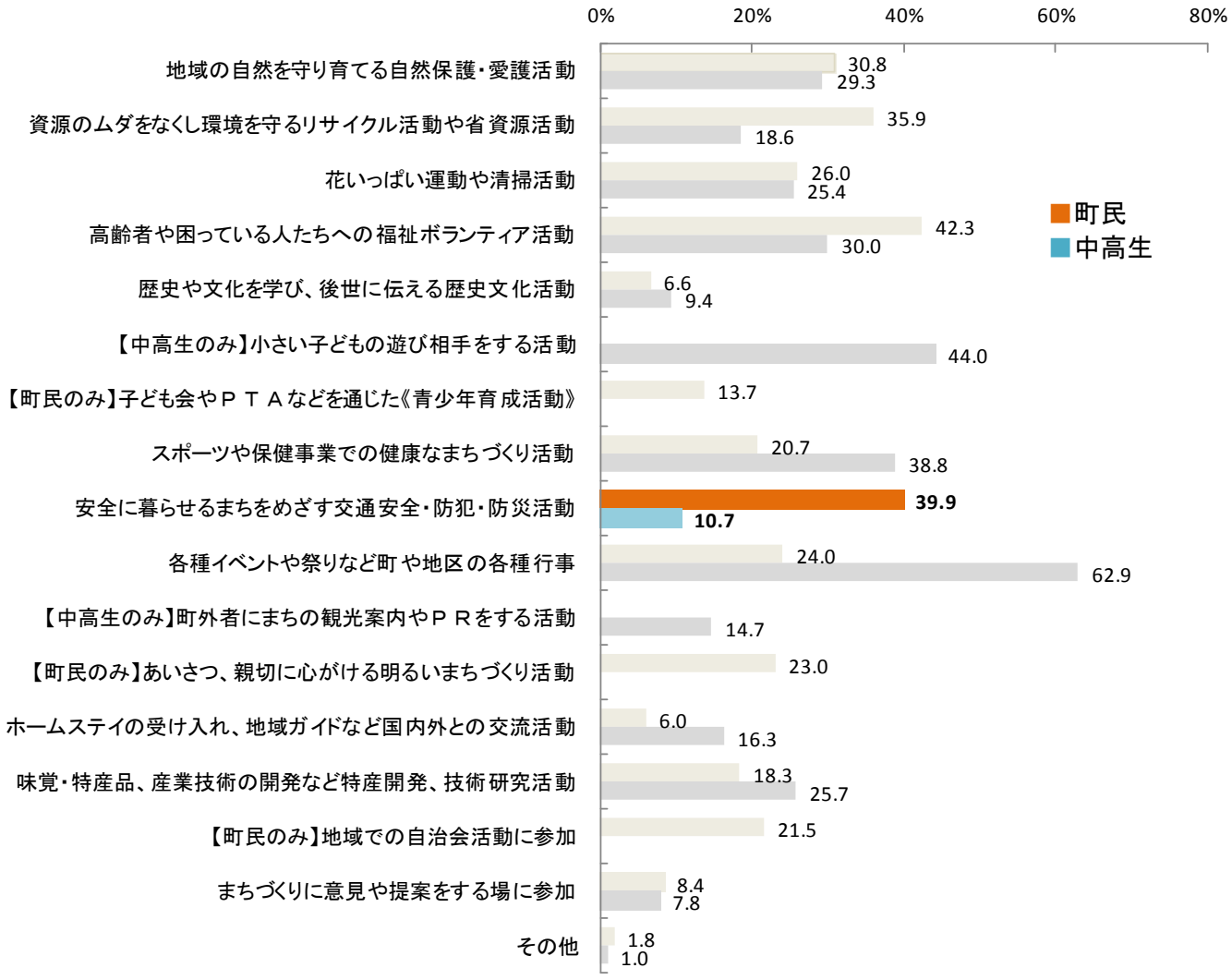




【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
交通安全施設の整備	歩道整備の推進	第 2 号道路の歩道整備を継続実施	他機関との合同点検により危険箇所の洗い出しと共通認識が必要宅地造成等で整備する道路の歩車道分離化	通学路内の歩道設置を優先として進める
	冬道対策の充実	自治会、近隣住民の要望により見通しの悪い交差点等にカーブミラーを設置している。舗装道路の区画線（中央線、側線）のライン引きを年次的に行っている。	区画線は消えている所が多く現予算ではすべての区画線の対応が出来ず、一部の中央線のみ行っている。	少しでも長くラインを引けるよう予算要望していく。
	道路気象情報システムの整備要望	防災情報共有システム、冬期道路マネージメントシステムが構築された。		道路情報はライブカメラやインターネットの気象予報で収集が可能となっている。
交通安全活動の推進	交通安全学習機会の充実	各自治会、老人クラブや幼稚園・学校などによる学習機会を提供している。	対象に応じて、よりわかりやすい実践的な出前教室の充実が求められる。	教育資材等の充実と指導体制の継続・強化
	交通安全啓発活動の充実	町民総ぐるみ運動による交通安全街頭啓発等積極的な住民参加が行われている。	交通安全推進のための活動に関わる方の高齢化と後継者の育成が求められる。	より効果的で広く啓発活動を行える工夫も検討。
	交通事故防止のための情報提供	学習機会や情報提供により交通事故防止に努めている。	高齢者の事故防止のため免許自主返納や公共交通の利用について検討する必要がある。	交通弱者の足の確保と事故防止のための各種取り組みで情報を随時発信していく。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 事故が少なくなっているといい

✪ 信号の待ち時間が長い場所がある

✪ 横断歩道が多い箇所で横断歩道を減らしてほしい

❀ 小中高校生の自転車のマナーが悪い。無点灯で危ない。交差点でも止まらない。

- 交通ルールを守らない老人の指導等をもっと厳しくすべき。一時停止を守らない人が多すぎる。定期的に、指導する機会を作るべき。自由参加的なものではなく、しっかりとしたものにするべきだと思う。（女性・30 代）
- スピード車が一台がおります。グアーグオーと飛ぶ様に、音もすごいし危ないですね。（女性・60 代）
- スクールゾーンの車両進入禁止時間を、分かりやすく広報等や回覧板で知らせて欲しい。（女性・50 代）

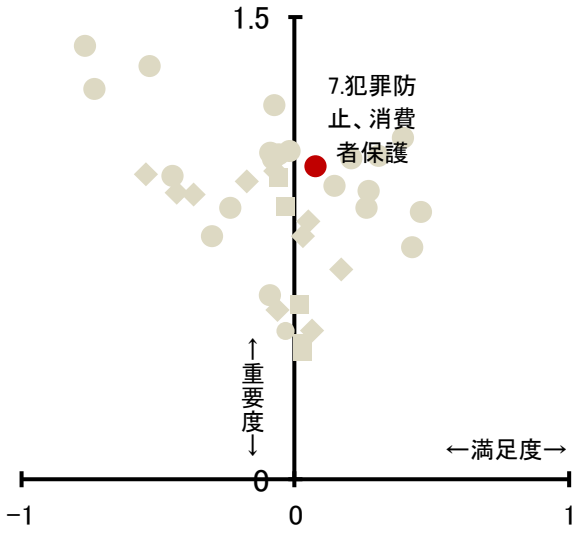
〇 住宅街の交差点で、カーブミラーが付いているところがありますが、向きが変わっていたり、ぐらついていたりと役目を果たしていない物、逆に危険になっているときもあります。住宅街は、子ども達が多く車も気を付けてはいても・・・と言う時があると思います。事故を少しでも未然に防ぐため、見通しの悪い交差点の整備、標識・カーブミラー等の定期的点検の充実。マンホール、歩道、縁石、道路陥没の整備等、主要道路以外にも住宅街にはいろいろ町民の方の希望があるようですので、整備、点検の充実を今まで以上に進められればと思います。

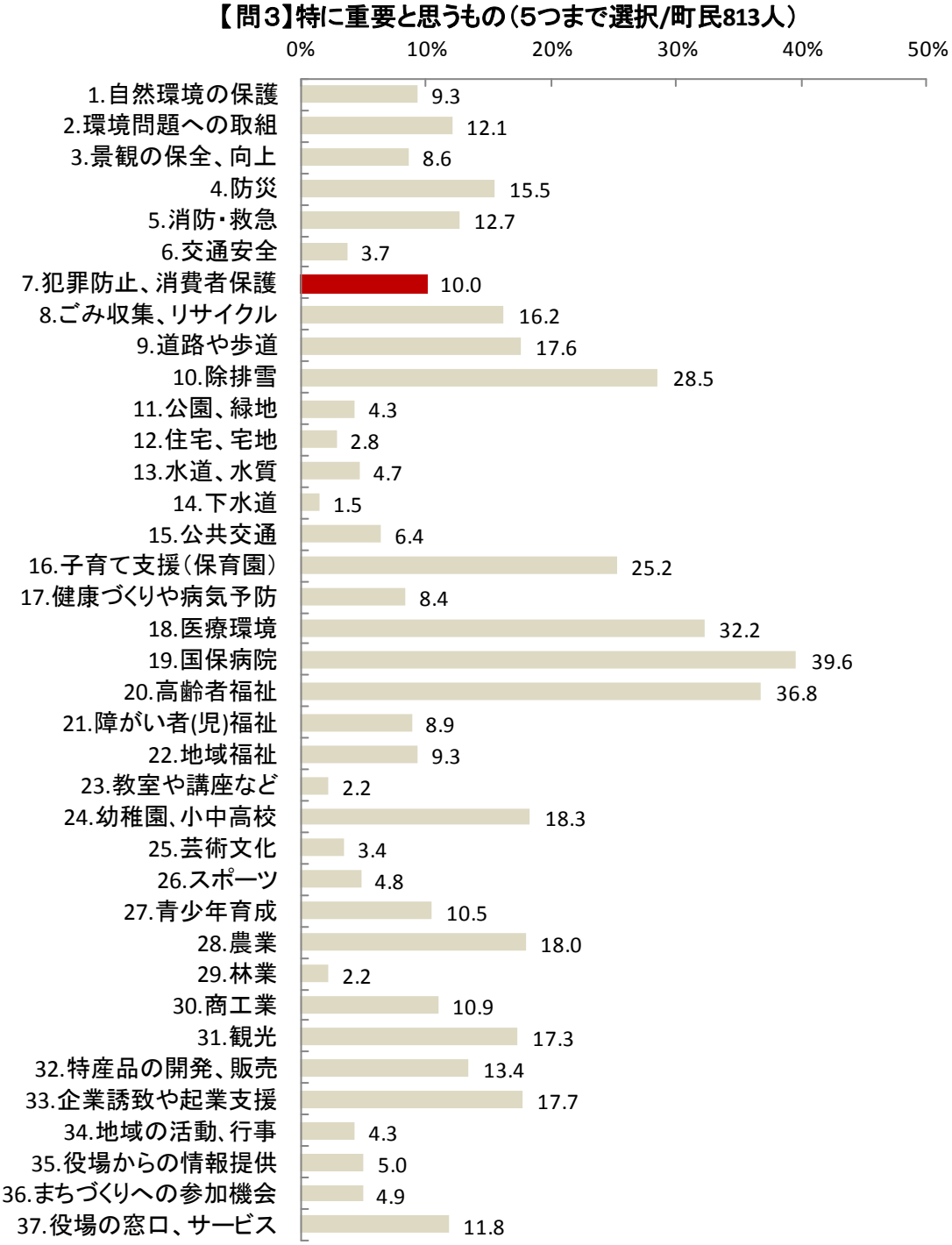
3　防犯

（１）関連グラフなど

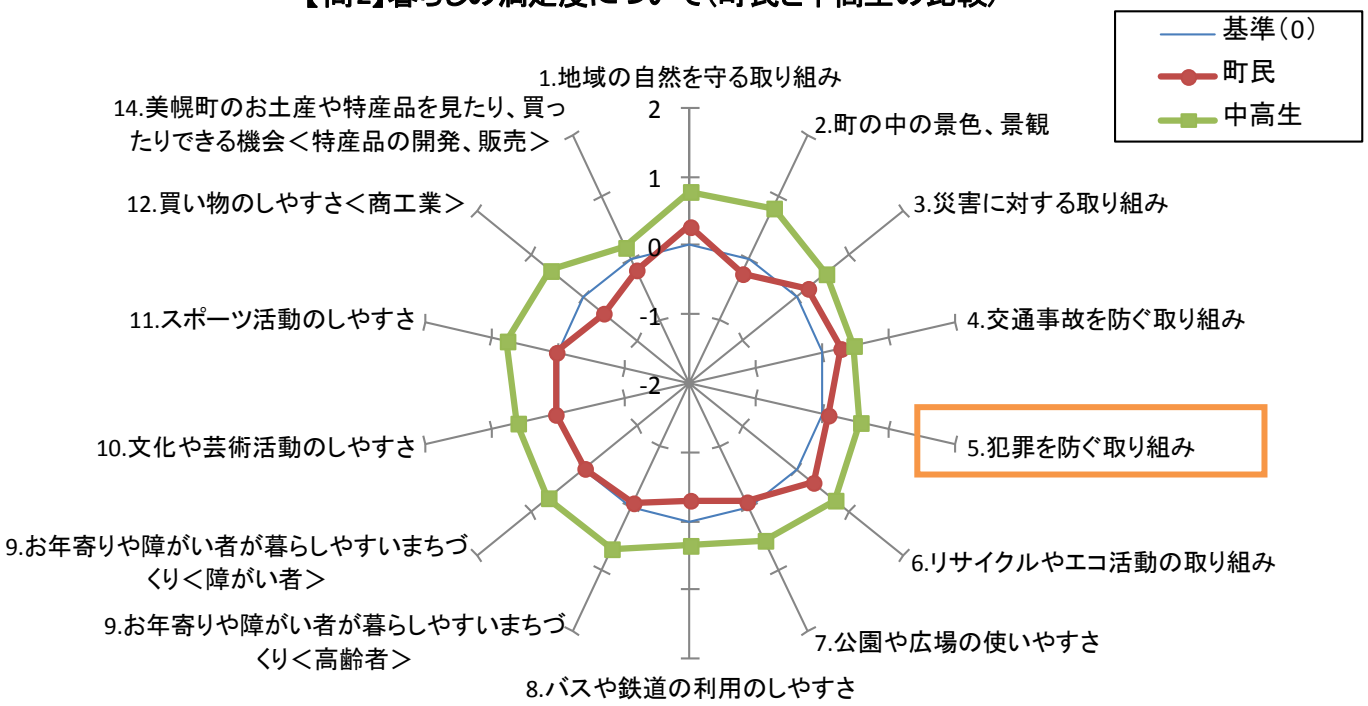
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

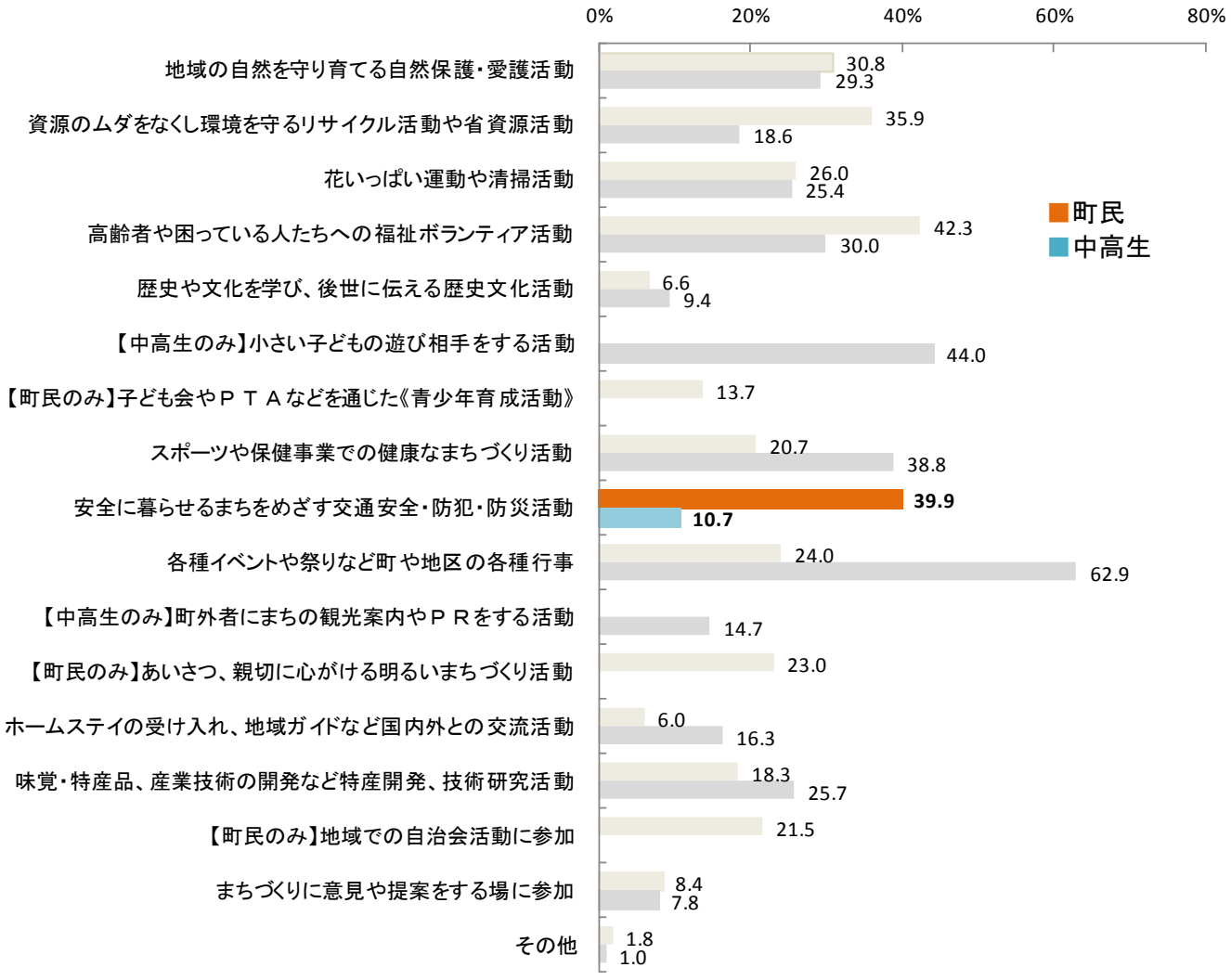




【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
防犯対策の推進	警察官の増員要望	警察官の人数は、部外秘のため確認がとれない。	警察官の人数は、部外秘のため確認がとれないので、要望の成果があったのか不明である。	ここ数年美幌町における犯罪は大きく増加していないことや、全道的な傾向により決定されるため、不透明である。
	防犯活動団体の充実	防犯活動団体の活動に対して支援を行っており、町民手作りのふるさと祭りを継続して実施している。	犯罪が悪質・巧妙化していることから、関係機関と密接な連携による活動が必要。	犯罪が悪質・巧妙化していることもあるため、更なる啓発や関係機関との密接な連携による活動を実施する。
	道路照明の整備、充実	自治会や近隣住民からの苦情を受け随時外灯、防犯灯を設置。	照明を設置すると、付近の住民から家の壁に虫が集まると逆の苦情が入る。既設の外灯、防犯灯の配置が悪く道路の明るさにムラができている。	建物の新築・解体により照明の届く範囲が変化するので、自治会からの要望を聞き取り現地を確認し適切に配置する。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

☺ 不審者があまりいない町だと思う

✪ 外灯を増やしてほしい

✪ 外灯が少ないと思う。子供のことを思うのであれば、町の中の明かりを増やすべき。夜遅く帰る中学生、高校生が安心して帰れる町にしてほしい

✪ 報徳の方にも外灯があれば明るくなってもっと安全になると思う

● 道路の街灯を増やして欲しい。暗い所が多すぎる。（女性・30 代）

● 街灯を増やしていただきたい。（女性・50 代）

● 意外に泥棒が多いので、犯罪防止の為に、札幌市のように金曜日、土曜日のみのパトロール隊を作る！（男性・50 代）

● 知り合いが、学校駐車場で車上荒らしにあいました。とられた物は返ってこず、今も怖いです。人が集まる公共の場所は、もう少し街灯があってもいいのではないでしょうか？（女性・30 代）

● 仲町の道路（大通）の街灯は、もう少し減らして良いのではないか。明るすぎると思います。その分、美中・旭小近辺を明るくして欲しい。子供達の部活動、スポーツ少年団の帰宅時がうす暗くて心配です。（女性・50 代）

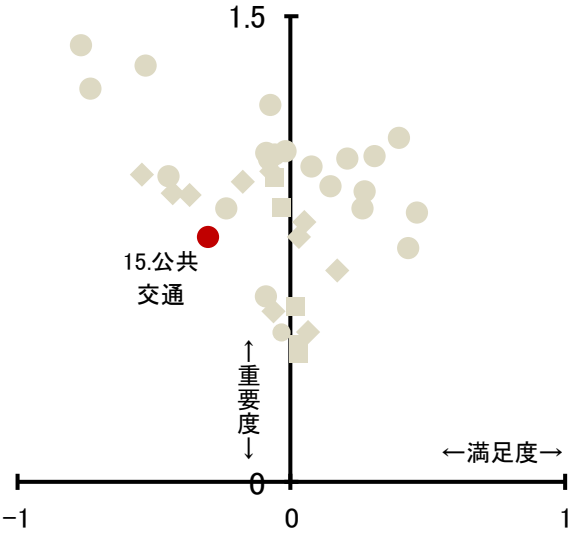
○ 地域防犯力の向上（防犯カメラ、管理棟の設置）。昨今の社会事情などにより、子供の登下校時、お年寄りの徘徊などを監視するシステムを構築する。

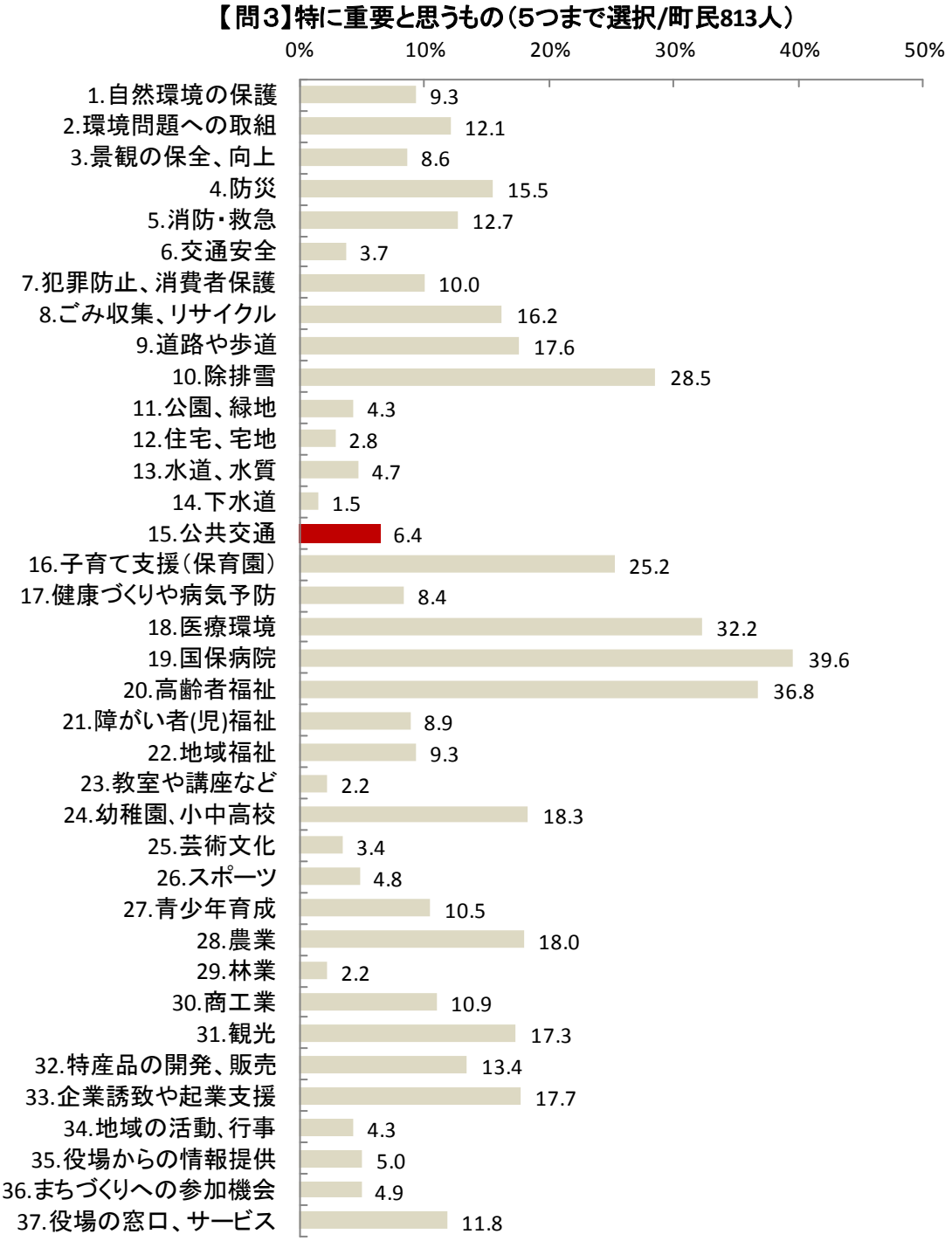
4　公共交通

（１）関連グラフなど

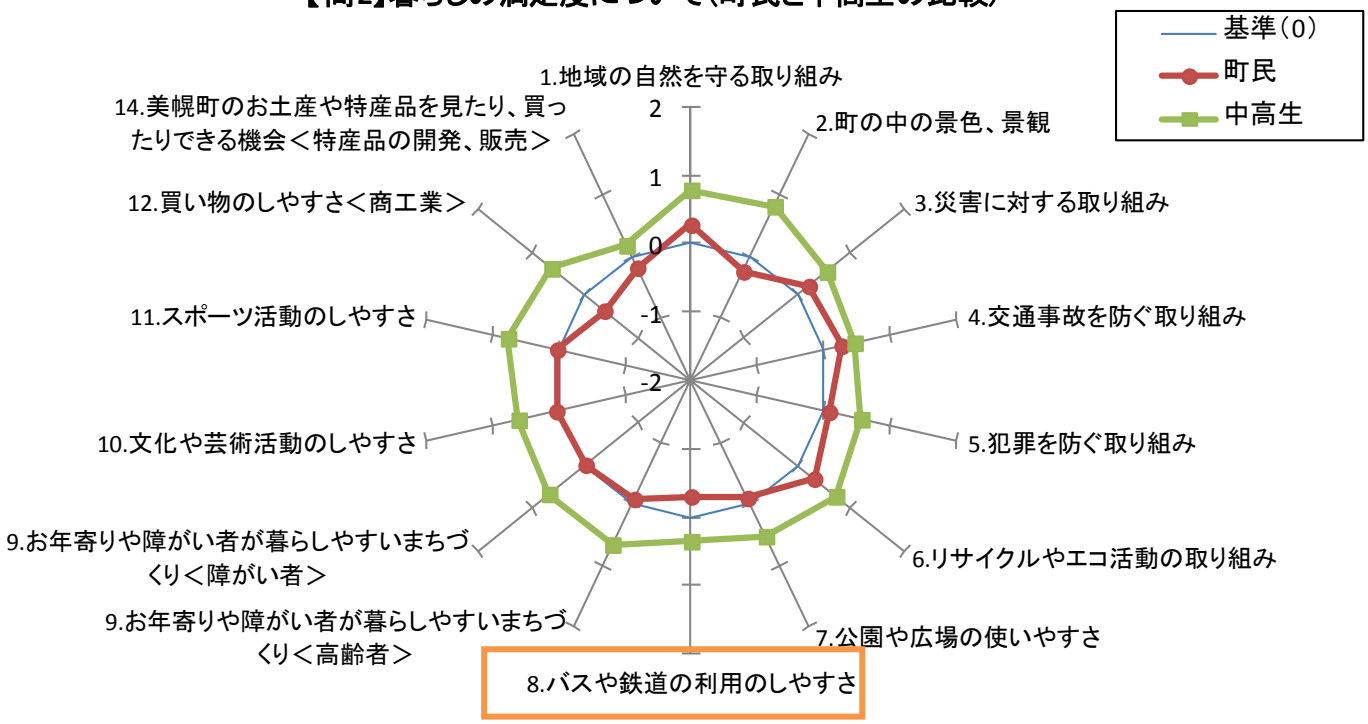
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

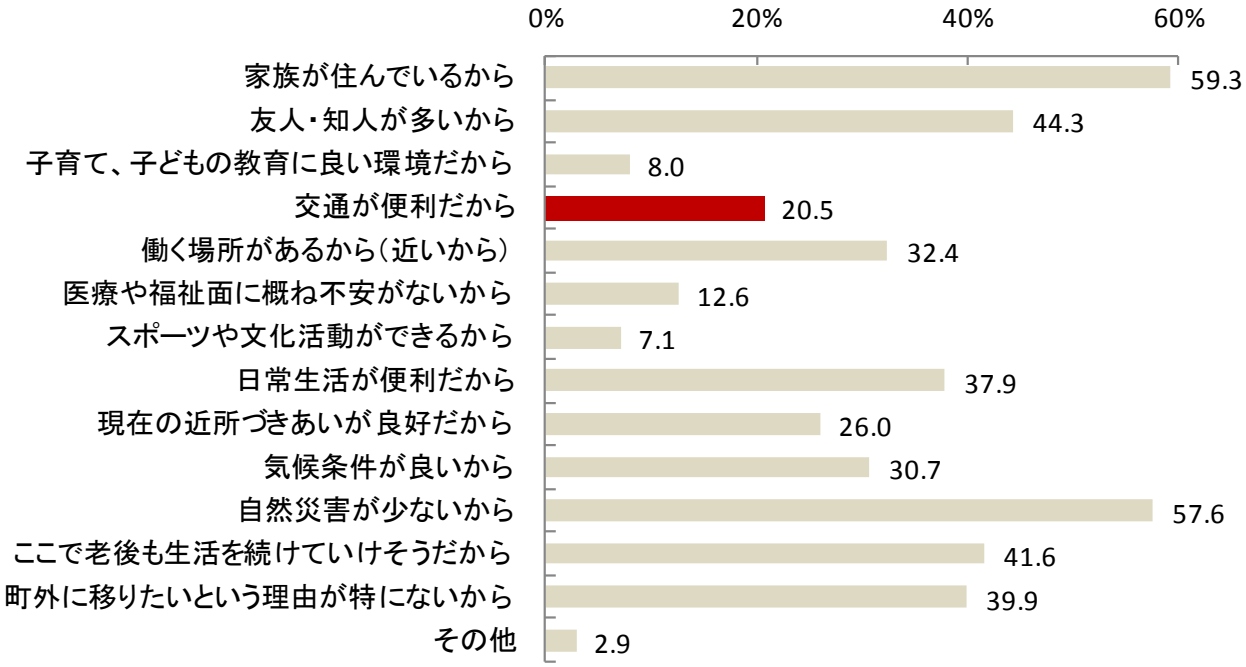




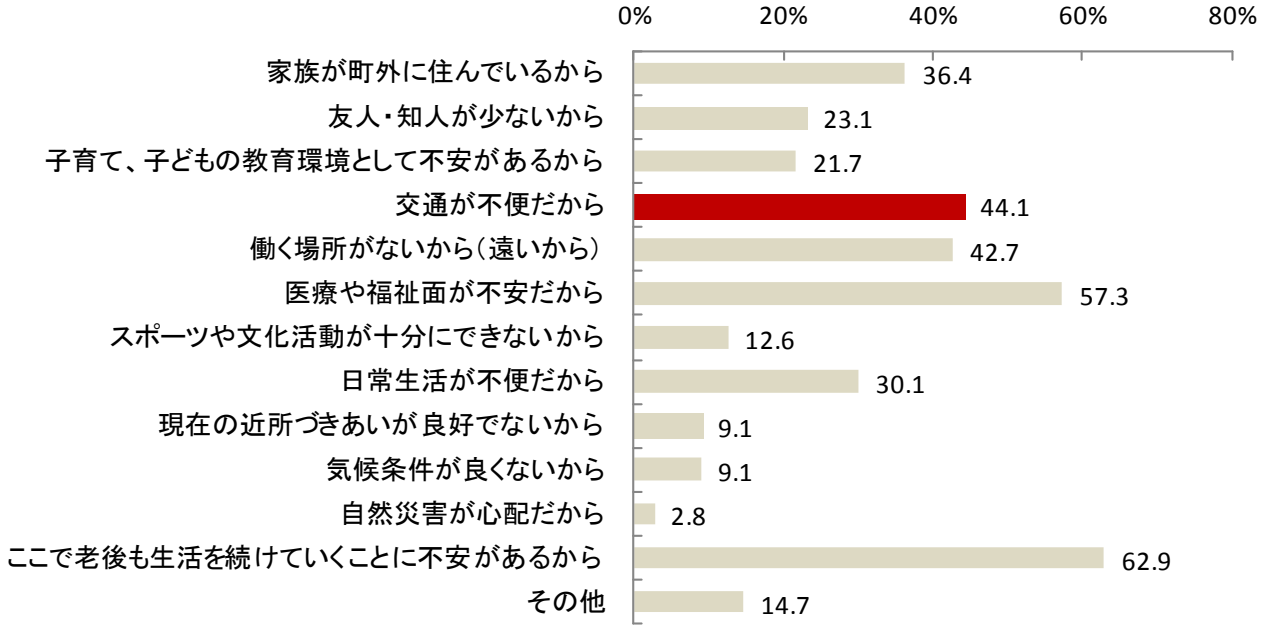
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



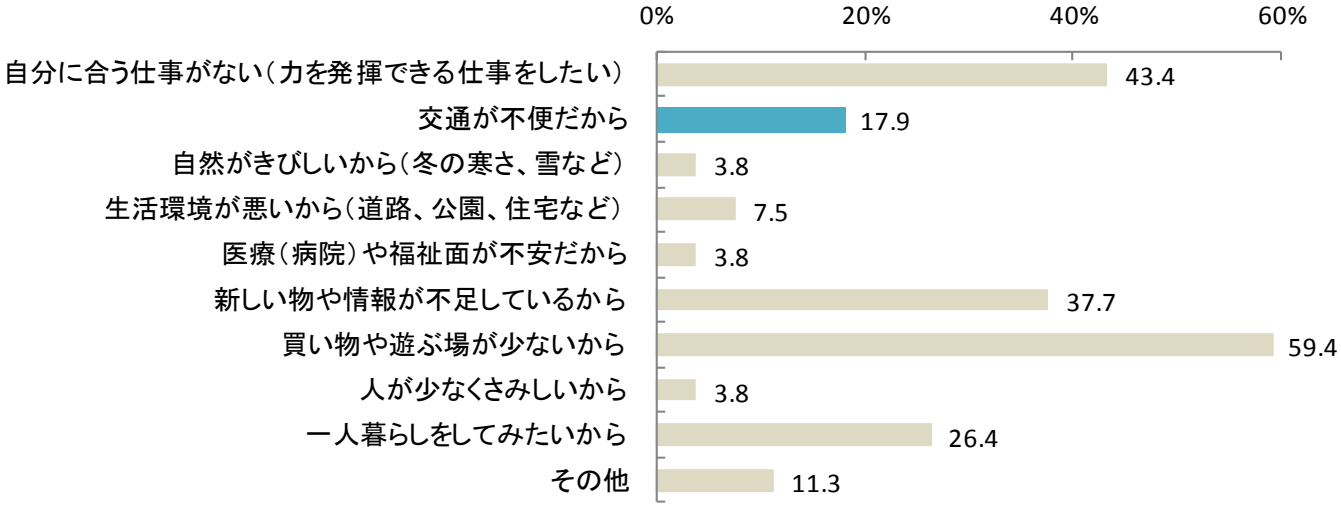
町民 **【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）**



町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



中高生 【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
鉄道の充実	鉄道利用の促進	郊外及び循環バスとの接続により鉄道の利用の利便性を図っている。	沿線自治体との共同による協議の場と取り組みについて検討	近隣市町とあわせ観光･産業･イベントを含めた利用の促進を検討
	ＪＲ石北本線の高速化及び利便性向上の要望	北海道新幹線の整備とあわせ今後要望していく。	沿線自治体との共同による協議の場と取り組みについて検討	ＪＲ北海道との協議等広域連携し今後進めていくことが求められる。
バス路線の充実	バス路線の充実と利用促進	実証運行から本格運行に移行し、利用が定着してきており美幌高校線においては利用者が増加してきている。	高齢者の足の確保としてワンコインバスだけではなく公平性、公共性による運行で利便性の向上を検討	ワンコインバスも含めた高齢者のバス利用の割引や無償化を検討
	町営バスの効率運用（スクールバスとの混合運行）	福豊小の統廃合によりバスを（無償）混乗化し利用の促進と利便性の向上を図っている。	スクールバスとしての効率的運行にあわせた混乗化での利用調整並びに老朽化するバスの更新整備	バス路線の効率的運行を検討し、スクールバスとしての利用とあわせ検討する。
女満別空港の利便性向上	航空路線の拡充と運賃是正	地方航空路線が縮小傾向にあるなか、「女満別空港整備・利用促進協議会」等の活動により、平成 26 年 7月 19 日～8月 31 日まで、伊丹線が９年ぶりに再開することになりました。	路線の拡充、運賃是正は、現状から考えて非常に難しいことである。	今後も、「女満別空港整備・利用促進協議会」の活動を、他の市町村と協力し実施する。
	空港アクセスの充実	平成 23 年度より、空港より美幌峠行きバスを期間限定で運行している	利用者数が、かなり少ないこと。	現状把握をおこない、手法を検討するとともに、バス等の運行が必要であるかの検討を図る。
	国際チャーター便の拡大要請	「女満別国際チャーター便誘致協議会」により海外プロモーションや海外航空会社・旅行会社の招聘事業を実施し、平成 26 年度、２年ぶりにチャーター便が運行されることとなった。	受入体制の整備（CIQ の常設）が必要。	これまで同様、「女満別国際チャーター便誘致協議会」にて、現状把握をおこない、今後の実施計画を決定したうえで、実行することとなる。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 空港や大きな駅がある

☺ 地下鉄がある

❀ 土日など、家の車がないときに町内を移動しようとする時、ワンコインバスを利用したいと思うが、土曜日は便が少なく、日曜日は運行されていない。

✪ 駅を改装してほしい

✪ 交通が不便

⚐ 交通の要衝なので、どこに行くにも近い。

⚐ 空港や JR も近い。（高速はやや遠い）

● バスの最終を、せめて高校生のために 18:30 頃にしてはどうか。（男性・40 代）

● 車が無い人などの交通手段が少なく不便。（女性・30 代）

● 車が運転できない高齢者はバスがないので困っています。（女性・70 代以上）

● もっと交通の便を良くして欲しい。巡回バスの乗り場を増やしたり。町外に出るバスや列車も不便。（女性・50 代）

● ワンコインバスのエリアを郊外まで広げてほしい。（男性・10～20 代）

● 津別、美幌間の路線バスですが、お店の少ない大通りを走っている事で、食品や日用雑貨等を買いたくても、ハイヤー等を使わなければ用足しが出来ません。シティ、コープの近くを廻ってくれるととても助かる…と津別方面の方は話しています。これから年齢も上がって行きます。無料パスを頂いても美幌には来られないとの事です。汽車と町内バスが合ってくれるととても助かります。（女性・70 代以上）

● 駅２Ｆの有効活用。子どもをメインに、卓球台や遊具、ベンチ等を置いて、いつでも集える場所に。１Ｆは『ぽっぽ屋』を縮小して喫茶コーナー。おにぎりやお惣菜、駄菓子もあると嬉しい。（女性・40 代）

● 駅の温度計、何とかなりませんか？お昼でものんびりするところがない。（女性・60 代）

〇 美幌駅の周辺は何もない。美幌町は空港からも近いのでアクセスは悪くないはず。観光客にちょっと寄って行こうと思わせる何かがほしい

〇 公共交通機関の充実。高齢者は移動手段が少なく、通院するのも大変なため、交通機関が充実している町外へ転出するケースが見られる

〇 交通機関の便利化。役場、病院など公共施設や医療機関への移動費の助成役場に行けないから手続き、支払ができないといった声や具合が悪いけど、足が痛いから病院に行けないなどという声をよく聞く。

〇 交通機関の整備。高齢者が住むには不便なまち、現在の巡回バスでは買い物や病院に行くにも大変です。

5　地域の情報化

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
情報化の基盤整備	光ファイバー網の整備促進	民間事業者により、平成25年度に美禽・報徳・野崎などに光ファイバー網が拡大された。	未整備の農村地区の一部の方から光ファイバー網の整備要望がある。	民間事業者との協力により、整備を進めていく。
情報通信の活用推進	高度情報処理の推進による住民利便性の向上（電子申請システム※、簡易申請システム）	イベントや講座の申込・一部の申請などに活用している。	更なるシステムの活用が必要。	町民の利便性向上のため、システムを活用した申請・申込受付・アンケートなどの件数を増やす。
	セキュリティ対策の充実	セキュリティ対策の設定強化実施、迷惑メール対策の強化、ファイアウォール強化及びクライアント監視の実施等を行い個人情報の外部流出防止を図っている。	特になし	各種対策の継続実施及びイレギュラーケースへの対応強化
情報化時代に対応した人材の育成	情報化に対応した学習機会の充実	美幌高等学校と連携し、隔年であるがパソコンの基礎から学ぶ講座を継続して開催できている。基礎を学ぶ機会がこの講座しかないこともあり、現在においても需要が高い。	他の機関・団体によるパソコン講座開催の是非と、個々のスキルに応じたきめ細かい指導が必要。	隔年開催の講座については現状維持とする。ただし、毎年開催の可能性について検討する。

※電子申請システム：住民が自宅のパソコンからインターネットを通して行政手続きを行うことができるコンピューターシステム。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　㊋：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

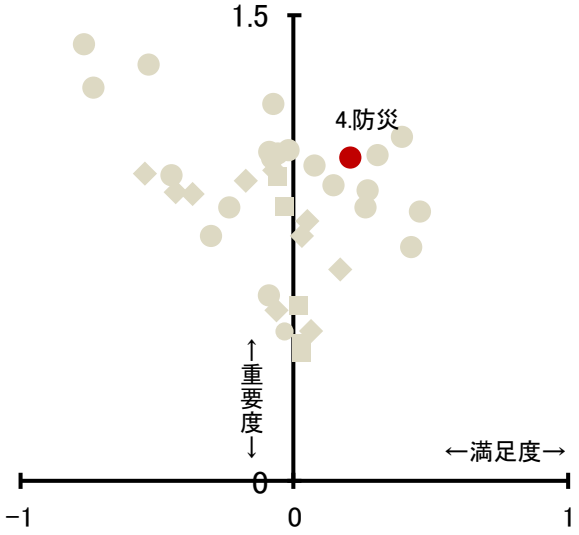
- ● インフラ整備は、行政の重要な仕事と私は認識していますが、一刻も早く光ファイバー網の構築をして頂きたい。パソコンを使っているならば、ご承知のことと思いますが、現在インターネットが常時繋がっていることが前提になっています。道でいえば高速道路です。私のように切れかかったロープを綱渡りしている者にとっては、不公平感なんてものじゃありません。「ホームページで情報公開しています。」この言葉に怒りを覚えます。皆が利用できるようになってからにしてほしいものです。ここ数年の変化は著しいものがあります。１年もたてばもっと不自由になるでしょう。本当に困っています。市街地に住む方も128ｋｂの通信速度でいられますか？ＮＴＴは採算が合わないことはやりません。町が動かなければいつになるか分かりません。１日でも早く利用できるようにしなければ変化に取り残されるでしょう。電気、電話、光これらを同一に考えられないのであれば、美幌町も取り残される自治体の一つになるでしょう。

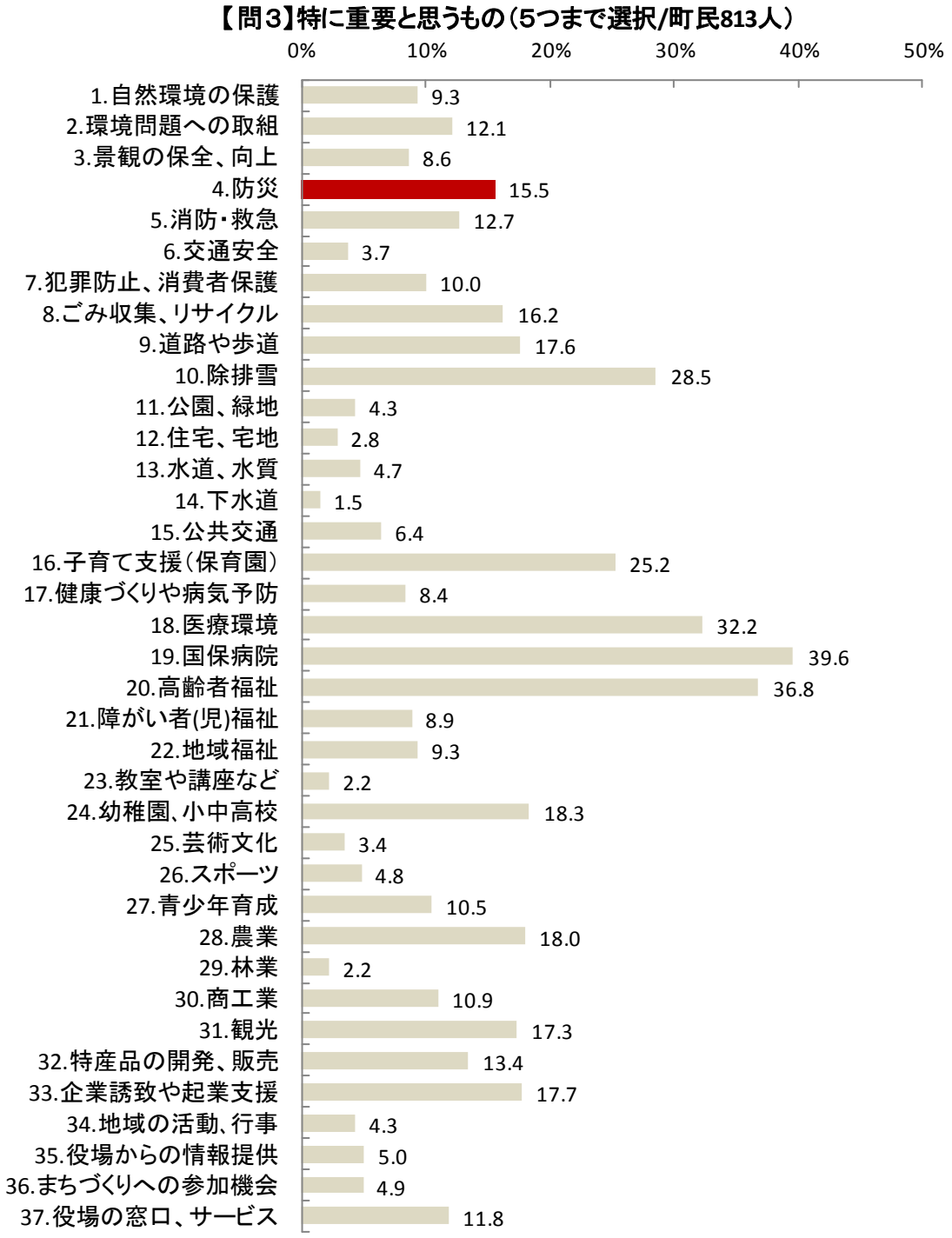
6　防災

（１）関連グラフなど

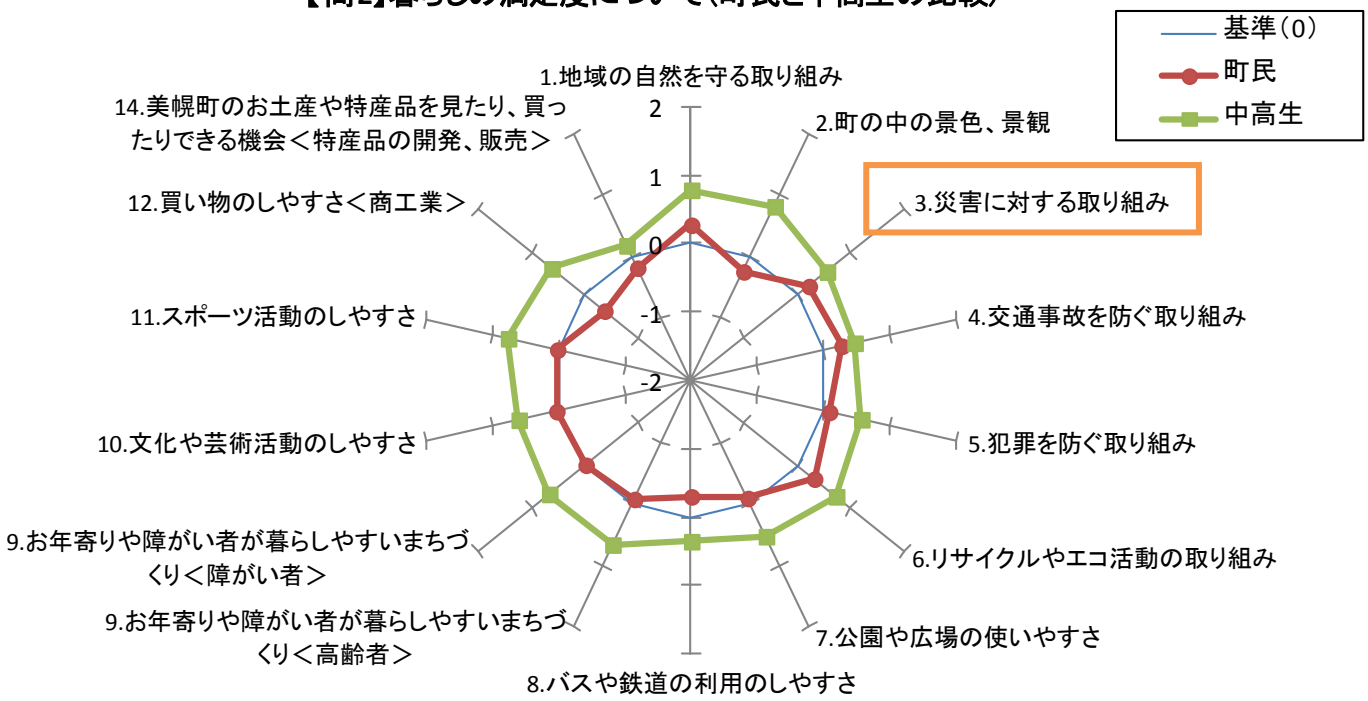
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

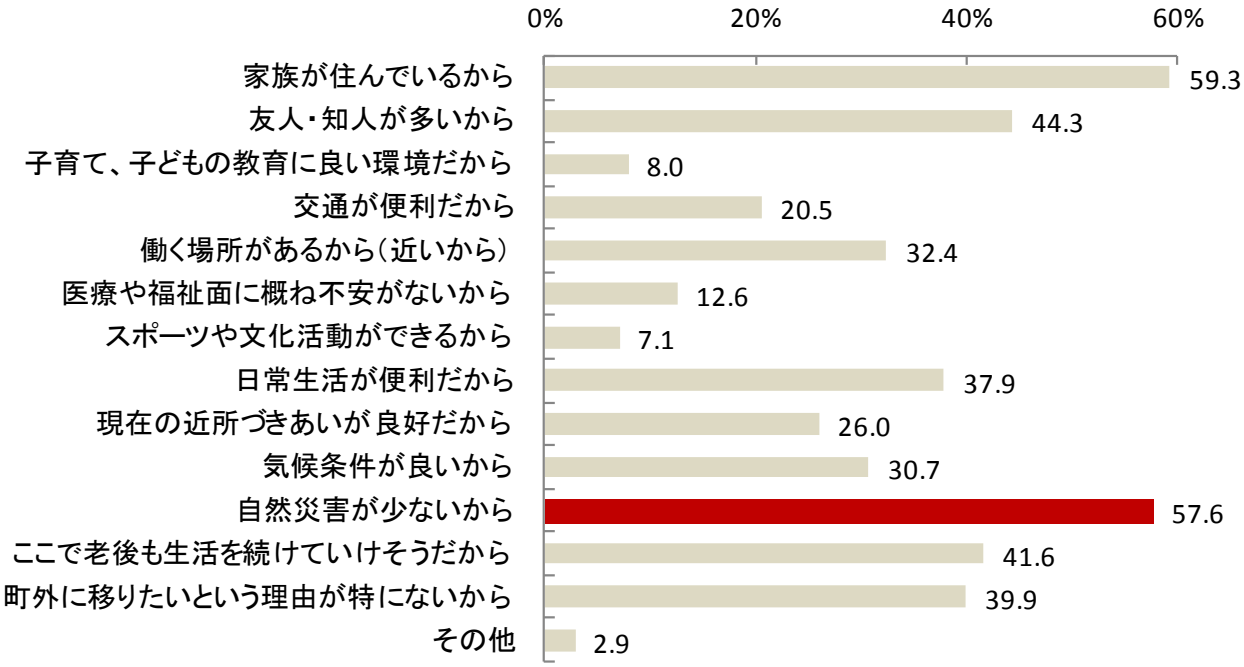




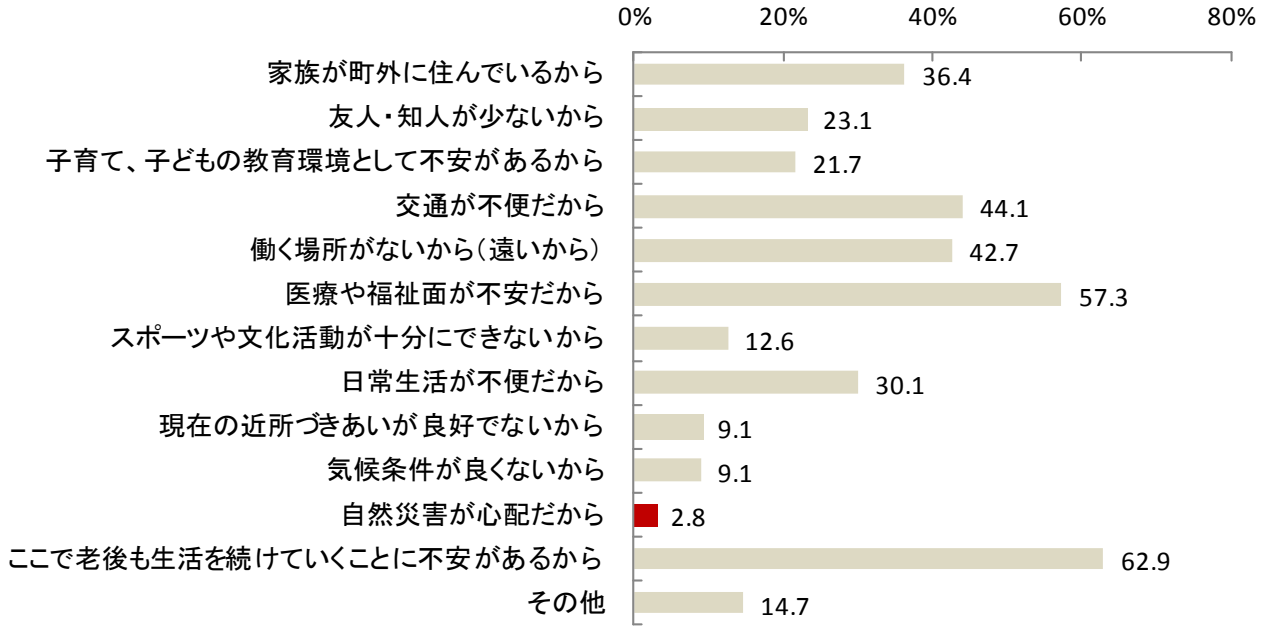
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



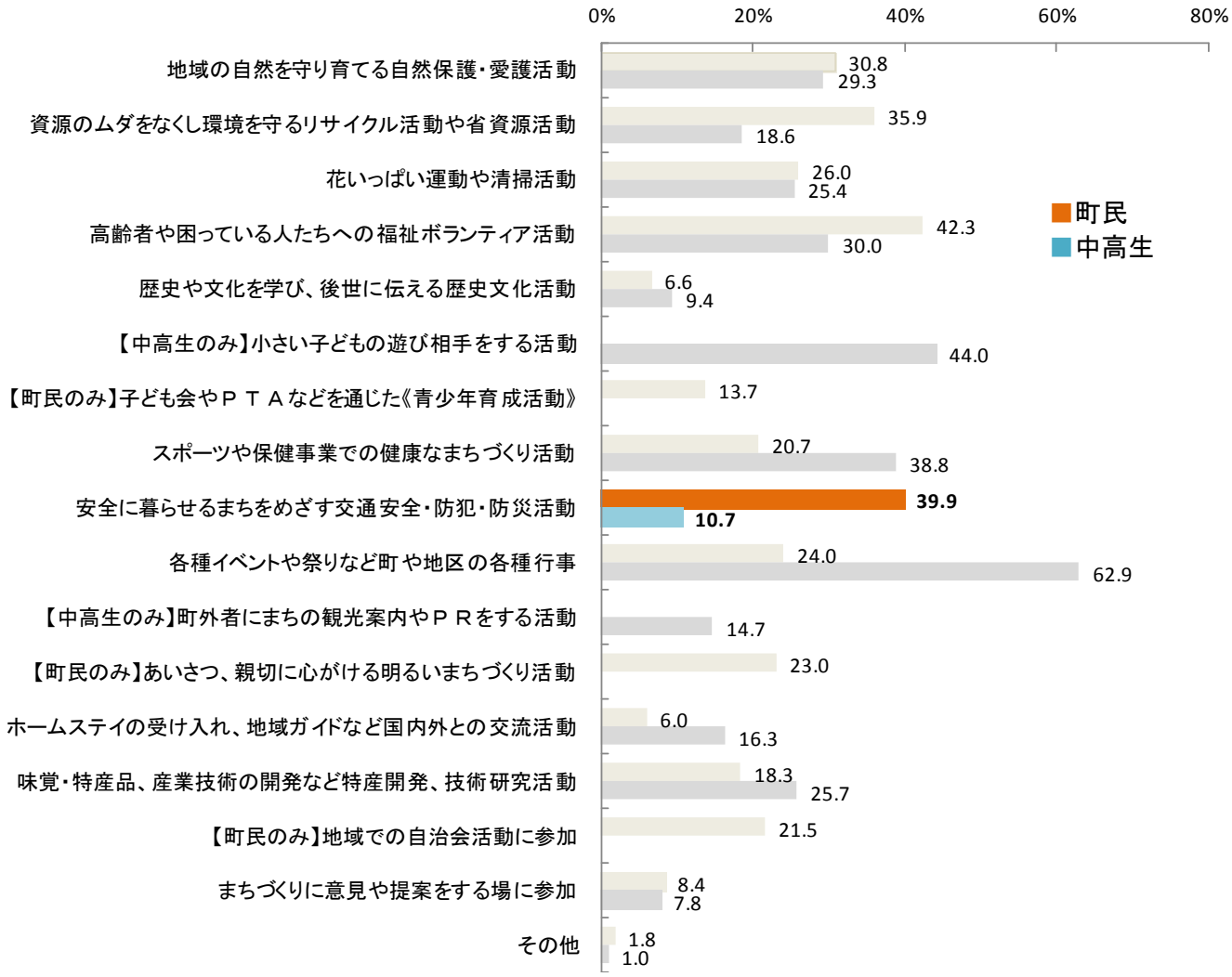
町民【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



防災意識に関するアンケートより（H24.7）

・地域において、心配している災害の有無については、「有る」が 42.1%。その中で、災害として心配されるのは「地震」「火災」「大雨」など。

・災害時に住む地域で心配をしている事項として、「住民が高齢化している」が 58.4%、「冬季の避難が心配」が 57%、「災害情報などの入手ができるかどうか心配」が 54.1%。

・各家庭で、災害に備えて水・食料・生活必需品の備蓄などの準備をしているかについては、食料品は「何も準備していない」が 48.3%と高く、次いで「飲料水」が 27.8%。また、食料品以外では「懐中電灯・ろうそく」が 63.9%、「携帯ラジオ」が 44.8%。

・防災全般に関して日頃からどのような知識や情報を得たいかについては、「家庭でできる防災の心構え、準備」が 50.4%、「今後の地震発生の予測」が 39%、「町の防災対策」が 38.2%。

・防災全般に関する知識や情報は、何によって提供されたらよいかについては、「町の広報・パンフレット」が 67.4%、「テレビ・ラジオ」が 58.1%。

・大規模災害に備え、町民の皆さんが行う防災対策で重要なものは何だと思うかについては、「食料・飲料水の備蓄」が 73%、次いで「避難所・避難経路の確認」が 69.7%、「家族等との緊急時連絡方法の確認」が 64%、「非常持ち出し品の準備」が 56.4%。

・大規模災害に備え、美幌町が行う防災対策で、重要なものは何だと思うかについては、「食料・飲料水の備蓄」が 60.3%、次いで「ハザードマップの作成等、町民への情報提供・普及啓発」が 57.7%。

・災害時に避難する必要がある場合、町民が特に心配なことについては、「災害についての的確な情報が得られるか」が 66%、「家族との連絡がとれなくなるのではないか」が 49.8%。

・災害発生時（地震・風水害）特に知りたい情報は、「家族や知人の安否情報」が 63.3%、「食料・水などの確保の状況」が 62.8%、「地震の規模や余震・津波の状況」との回答が 60.3%、「電気・水道の状況」との回答が 58.5%、「被害の状況」との回答が 58.1%。

・住んでいる地域の自主防災組織の有無ににについては、「知らない」が 64.5%、「知っている」が 31.1%。

・今後の防災対策において、自主防災組織が必要かについては、「必要である」が 48.4%。

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
防災体制の充実、強化	地域防災計画※及び国民保護計画※に基づく対策強化	平成 17 年３月に閣議決定された「国民の保護に関する基本指針」に基づき、北海道が平成 18 年１月に「北海道国民保護計画」を作成。本町では、「北海道国民保護計画」に基づき、平成 19 年３月に「美幌町国民保護計画」を策定し、平成 24 年７月と平成 25 年７月に一部変更を行っている。	特になし	今後も町民を保護する計画として継続していく。

	総合的な災害対策の整備	平成 18 年2月に「生活協同組合コープさっぽろ」との物資の供給に関する防災協定締結を始めとして、平成 25 年度末までに 15 団体と協定を締結した。	特になし	今後も町内業者と物資供給等の防災協定を締結していく。
	関係団体との連携強化	自主防災推進委員会と連携し、警察、消防、行政と住民が一体となって取り組む訓練を実施する。	自助意識を高め、住民自ら防災に対する意識と体制づくりを強化していく必要がある。	継続的な体制及び訓練の実施に努めていくことで支援していく。
	美幌町災害時要援護者避難支援制度の推進	平成 26 年4月に災害対策基本法が改正され、これまでの「美幌町災害時要援護者名簿」の登録者を含めて、避難行動に支援が必要な方を各種公的名簿等で確認し、「美幌町災害時避難行動要支援者名簿」への登録を平成 26 年7月から推進している。	支援が必要な対象者が高齢者や障がい者等であり、登録申請に自治会や民生委員等の協力が必要。 また、避難する際の避難支援者2名を近隣住民から見つけることが困難で、自治会役員が複数の避難支援を行わざるを得ない状況になっている。	広報による啓発や、自治会・民生委員等の地域の状況を捉えている方の協力を得て、登録申請者を増やしていく。
防災意識の向上、防災組織の育成	住民に対する防災意識の高揚	防災リーダー※の養成を行っており、平成 25 年度までの防災リーダーの数は 285 名となっている。	農村地区の防災リーダーが少ないため、全町的に防災意識の啓発が必要。	防災意識高揚のため、全町的に防災リーダー養成を促進していく。
	自主防災組織の設立促進	自主防災組織は 67 自治会中、40 自治会が設立している。 防災リーダー養成講習会は継続実施し、延べ 322 名養成。	新規設立が進んでいない状況である。 農村地区の自主防災組織が少ない。 防災リーダーや訓練に参加される方が高齢で若い住民の受講が少ない。	全自治会が自主防災組織を設立するよう、設立促進を図っていく。 しかし、郊外地区の防災会は、地域的な実情により設立が進まない状況が予想される。

※地域防災計画：災害対策基本法による、一定地域に係る防災に関する計画。

※国民保護計画：国民保護法に基づく計画。国民保護法とは、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律。武力攻撃から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小限にするために、国・自治体等の責務、避難、救護、武力攻撃災害への対処等の措置を規定している法律。

※防災リーダー：自主防災組織を円滑に推進するために、防災に関する知識や技術を養成研修会にて習得した単位自治会内の自主防災役員。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

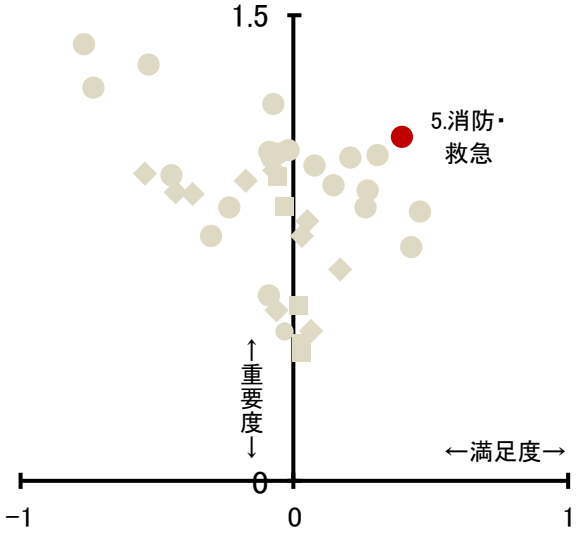
- 近年の異常気象による大雨（ゲリラ豪雨）、竜巻等の災害に対して、充実した対策を。例えば、河川の氾濫に強い町にしてほしい。（男性・70 代以上）
- 大雪等で停電になった場合、ポータブルのストーブ、灯油の買い置き等の徹底。（女性・60 代）
- 災害が発生したら、ただちに取り組んでほしい。去年の９月中旬の台風で、美芳地区で道路が冠水し。役場の方に２回ほど連絡した後、30 分ほどして徐々に水かさが減ってきた。排水の方をもう少し早く出来るのであれば、やってほしい。（男性・40 代）
- 地区自主防災訓練のマニュアル等が、人に聞いたところによると消防まかせになっているとのことですが、町にも防災担当がいるのだから、訓練等も含め、シナリオなども役場職員が積極的に行ったらよい。消防は、その地区だけに行くわけにはいかないのでは！（男性・40 代）
- 様々な施設を作る事も非常に大事ですが、美幌川流域の防災対策、特に排水事業を強く進めて頂きたい。町へ訴えても前向きな返事がありますが予算に反映する事もなく、ただの引き伸ばしである。数 10 年前に施設整備した排水が、その後、前路が舗装され、広い範囲の排水が集められても改修する事なく、雨の度に水害の恐れを感じているが、一向に改善される気配がない。パーク場が必要でも、住民の身近な問題が放置されるのは、私達地域の政治力がないからか。（男性・70 代以上）

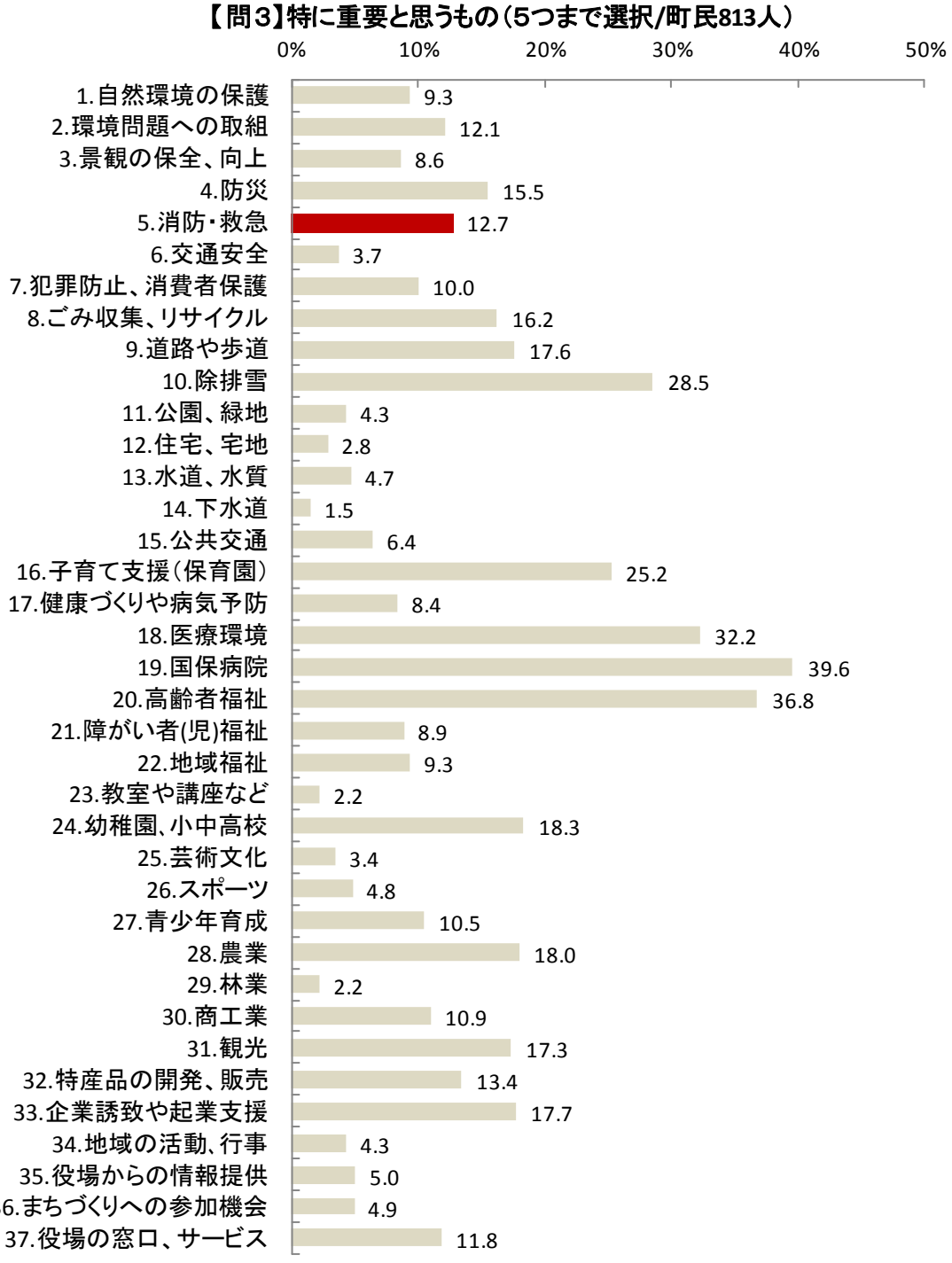
7　消防、救急

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
常備消防体制の充実	消防車両の更新整備	計画通り進行中であり、H26 年度高所作業車の整備については、平成 27 年２月に納期予定。	消防車両等を整備するにあたり、補助要望・有利な起債活用等の財源確保。	災害活動では必要不可欠であり、整備計画により更新を図りたい。
	災害活動用職員貸与品の更新	H22・23 年度防火衣更新済。	他の災害活動用貸与品についても、経年劣化等により逐次更新必要がある。	各種災害の貸与品は、身体保護・事故防止に必要なものであり、整備計画により更新を図りたい。
	消防無線のデジタル化（広域化・共同化）への移行	Ｈ25.4.1 からデジタル無線の運用を開始し、データ伝送による迅速確実な災害情報の伝達及び災害弱者などの支援情報伝達が向上し、通信の秘匿性が強化された。	通信指令施設と合せデジタル無線施設・設備の更新等維持管理経費の確保。	更新・整備計画により、維持管理を図る。
火災予防活動の推進	住宅用火災警報器の設置促進	広報誌、防火教室・イベント等において住民ＰＲ実施。設置率が向上している。（平成 23 年３月 57.7%⇒平成 26 年３月 78.9%）	未だ未設置世帯に対しての、より効果的な普及啓発が課題である。	全戸設置を目標にＰＲ活動の継続。制度開始から８年を経過し、電池切れへの対応等適切な維持管理広報への転換。
	消防関係団体との連携による啓発活動の充実	火災予防運動等諸行事における啓蒙活動、消防弱者宅への防火訪問等を計画通り実施している。	特になし	近年、火災発生が減少傾向にある。外郭団体との啓蒙活動が大きいことから今後も連携を図る。
消防団・その他の組織の充実	自主防災組織については、「6.防災」に記載			
	消防団員の確保、育成	団員数は現在 102 名で定員数には８名足りないが、団員が働いている職場からの入団者を重点に呼びかけ実施している。	不足８名の内４名は女性であり、女性団員の確保が課題である。	団員が務めている会社を重点的に団員募集をしていきたい。女性団員の確保については自治会婦人部等又は広報紙に掲載依頼し募集したい。
救急体制の強化	救急救命士の養成（増員）	平成 23 年度で事業完了		
	救急車両・資機材の更新整備	H25 年度防衛補助事業による高規格救急自動車・救急資機材の更新整備済み。	高規格救急自動車・救急資機材を整備するにあたり、補助要望の結果により更新時期が延伸される可能性が高い。	2B 型救急自動車を高規格救急自動車に更新整備する。H27 年度に防衛補助事業の補助要望し、H28 年度に事業実施予定。
救命に関する技術や知識の普及	普通救急講習およびＡＥＤ※講習会の推進	後期の講習会で年間平均約 400 名の講習を実施（普及目標～人口の 35%、約 7,000 人）。現在、受講者数 6,824 人（再講習を除く）	特になし	救命入門コースや分割講習、ＷＥＢ講習の活用により更に受講しやすい環境を築き継続普及に努める。

※ＡＥＤ：自動体外式除細動器。心臓が突然停止した際に電気ショックを与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。平成 16 年から一般の人も使用することが認められた。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❁：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

- ● 救急車は有料にした方がいい（タクシーの基本料金以上）。病院代と一緒に支払う。（女性・40 代）
- ○ 消防庁舎の建て替え。現在の庁舎では大規模災害が起こった際に、現場指揮や災害対応する能力がなく、逆に被災し現場対応をすることが出来ないことで、対応の遅延により町民の不安が煽られると思われる。

8　陸上自衛隊美幌駐屯地

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
自衛隊美幌駐屯部隊との連携	自衛隊美幌駐屯部隊の存置活動の強化	災害時における美幌駐屯地の協力が不可欠となっている。 このことから、駐屯地の充実整備のため、隊員削減反対行動並びに新たな部隊及び教育訓練施設の誘致に向けた陳情要望を実施し、防災体制の充実を図っている。	平成 25 年末に「防衛計画の大綱」及び「次期中期防衛力整備計画」が策定され、美幌駐屯地への影響が懸念される。	今後、「防衛計画大綱」及び「中期防衛力整備計画に基づき、具体的に整備が進められるが、国防に関することから、現時点での詳細は明らかになっていない。
	自衛隊美幌駐屯部隊における防災対応と連動した体制の確立	陸上自衛隊美幌駐屯部隊は、美幌町防災会議の構成団体として、本町の防災に関する基本方針及び計画作成に協力いただくとともに、災害発生時には、リエゾン※により職員を町災害対策本部に派遣し、情報収集、連絡調整、災害対応等の連携を図っている。	特になし	町民の生命と財産を守るため、引き続き連携を図っていく。

※リエゾン（仏語で「つなぐ」）：地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害の発生時に、地方公共団体へ国土交通省職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うもの。

（３）意見、提案

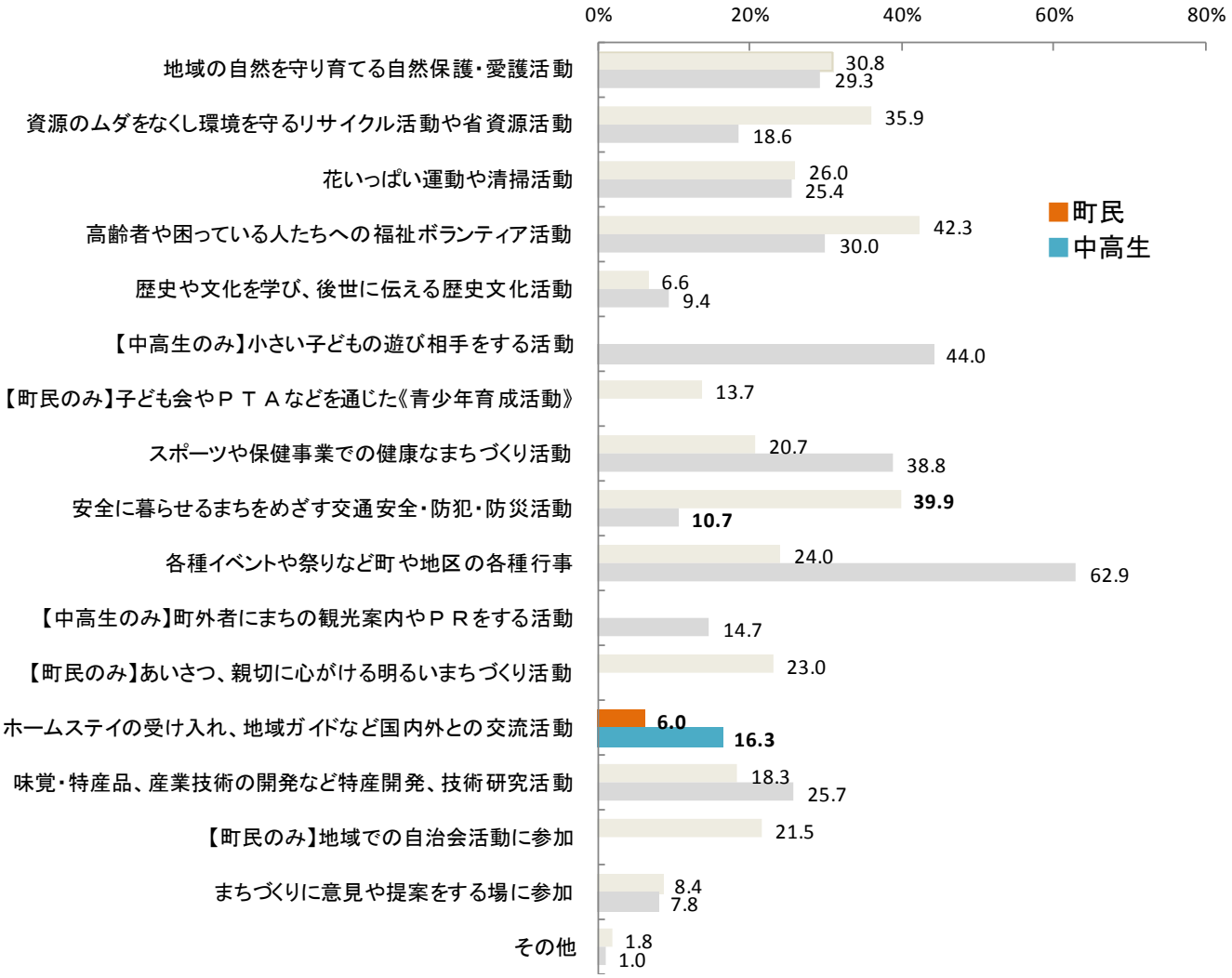
☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

- ● 自衛隊新部隊の招聘。（女性・60 代）
- ● 美幌駐屯地が、北見移転で北見駐屯地になる見込みはあるのですか？時期は？（男性・40 代）
- 〇 美幌駐屯地の存置により町の活性化を図る。

9　国内外交流

（１）関連グラフなど

【問７】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国内交流の推進	観光・物産交流の推進	現在、観光・物産交流で際立つ取り組みは、実施されていない。	今後、観光・物産交流の推進が可能なのか検討が必要であること。	左記のとおり検討を行い、その結果から今後の方向性を考えたい。
	移住・定住受入れ体制の充実	現在、移住・定住を受け入れるための住宅はないが、美幌の暮らしやすさを体験してもらう”ちょっと暮らし”事業を推し進め一定の実績を得た（H25 利用実績 5 組 14 名、H26 利用希望者 8 組 17 名）。H25 年度には、長期滞在型観光事業においてポスターおよびパンフレットを作成し広く反響を得た。	直接の移住者・定住者の獲得には至っていない。また、地元との交流を望む声に対し体験プログラムを考えてゆかなければならない。	移住・定住に関しての二ーズや課題を把握するため、ちょっと暮らし利用者に対しアンケートを実施し検討の参考としたい。また、交流・体験プログラムを用意するため、今まで以上に様々な団体との連携を図りその基盤を構築する。
国際交流の推進	国際交流に関わるボランティア登録整備充実	登録者については、ホームステイの受け入れ等協力していただいている。	国際交流でのボランティアという内容であり、言葉の壁等により登録が進まない。	登録者が負担とならないよう支援、協力が必要。
	姉妹都市を中心とした日常における交流の支援充実	美幌ケンブリッジ交流事業では、平成 24 年度にケンブリッジから訪問団が来町しており、平成 26 年度には美幌町からケンブリッジへ訪問して交流を深めている。高校生短期交換留学事業では、毎年１～２名の交換留学を実施している。	高校生短期交換留学事業について、今まではケンブリッジの２校と交互にその年での交換留学を実施していたが、平成 26 年度からケンブリッジ高校のみとなり、その年での交換留学が隔年となってしまった。	美幌ケンブリッジ交流事業では、ケンブリッジから平成 28 年度に訪問予定であり、受け入れ体制を整える必要がある。 高校生短期交換留学事業では、美幌高校としても必要としている事業であり、留学人数の増など検討が必要。

（３）意見、提案

☺：**小学生**　✪：**中高生**　❀：**育児ママ**　⚐：**自衛隊**　⌘：**高齢者**　●：**町民**　〇：**職員**

- ● 東京日野市との交流は子供の時の思い出ですが、一生の思い出です。ぜひ日野市とは続けてほしいです。（子供達に旅行費の補助を…。）（女性・40 代）
- ● 国際交流を積極的に進め、短期長期の留学生を受け入れる。（男性・40 代）
- ○ 海外交流の推進。ロシアとの経済交流を図る（女満別空港の活用）

10　人権、男女共同参画

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
男女共同参画社会に向けた意識づくり	第３次男女共同参画プラン※の推進	第３次男女共同参画プランを基に、啓発や講演会開催などを中心として男女共同参画の推進を図っている。	男女共同参画についての理解や意識の高揚が課題。	第４次参画プランの策定を検討。
	男女共同参画意識の啓発、定着	男女共同参画研修会への参加、講演会の開催事業により啓発、推進を図っている。	事業実施において、参加者の固定化により、全町的な男女共同参画意識が広がらない。	啓発や講演会開催などにより男女共同参画の取り組みを推進していく。
	各種研修事業の充実	男女共同参画研修会への参加、講演会の開催事業により啓発、推進を図っている。	事業実施において、参加者の固定化により、全町的な男女共同参画意識が広がらない。	啓発や講演会開催などにより男女共同参画の取り組みを推進していく。
性別にとらわれない社会参加の促進	各種委員会等への女性登用	各種委員会等の女性登用率はH25.4.1現在31.87%であり、目標としていた30%を達成している。	左記の通り目標は達成したが、今後その登用率を維持できるかが課題である。	今後も登用率 30%を目標とし、推進を図っていく。
男女の人権尊重	セクシュアルハラスメント※やドメスティックバイオレンス※の防止に向けた広報および相談の充実	セクハラ、ＤＶ防止の啓発を行い、人権擁護委員、調停委員による女性のための相談窓口を開設している。	女性のための相談窓口は年２回の開設であり、緊急的な相談への対応が課題。	セクハラ、ＤＶ防止の啓発を行い、女性のための相談窓口を開設する。また、関係機関との連携を充実させる。

※男女共同参画プラン：男女があらゆる分野において対等な立場で参画し、共に地域社会を支えていくことを指針としたプラン。
※セクシュアルハラスメント：性的嫌がらせ・性的おびやかしのことで、一般的に「セクハラ」と呼ばれるもの。
※ドメスティックバイオレンス（ＤＶ）：夫婦や恋人など親密な関係にある、又はあった男女間で振るわれる暴力。略して DV ともいう。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　㊋：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

○ DV 被害女性の駆け込み寺的な存在になる。ドメスティックバイオレンスの被害を受ける女性が多いですが、一人では住居を探すこともままなりません。受入体制を作ることで、被害者には安心を、町は人口増と一石二鳥では。

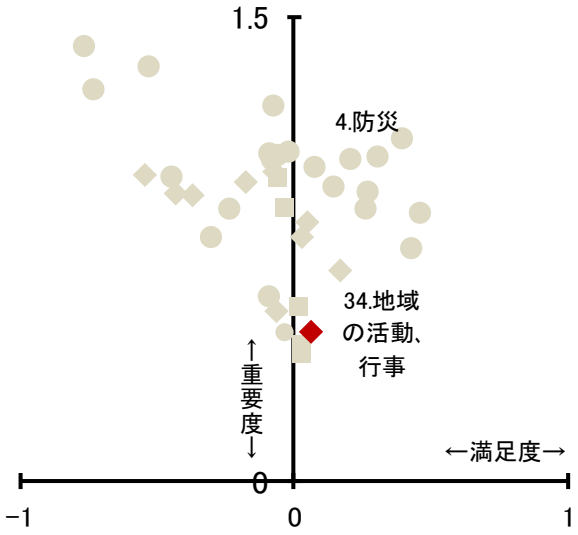
○ 中国人研修生や LGBT（性的マイノリティー）の方に優しい町へ。社会的弱者と呼ばれる方々への理解を深めるため、町職員への研修等を通し、町として意識を高く持つ。

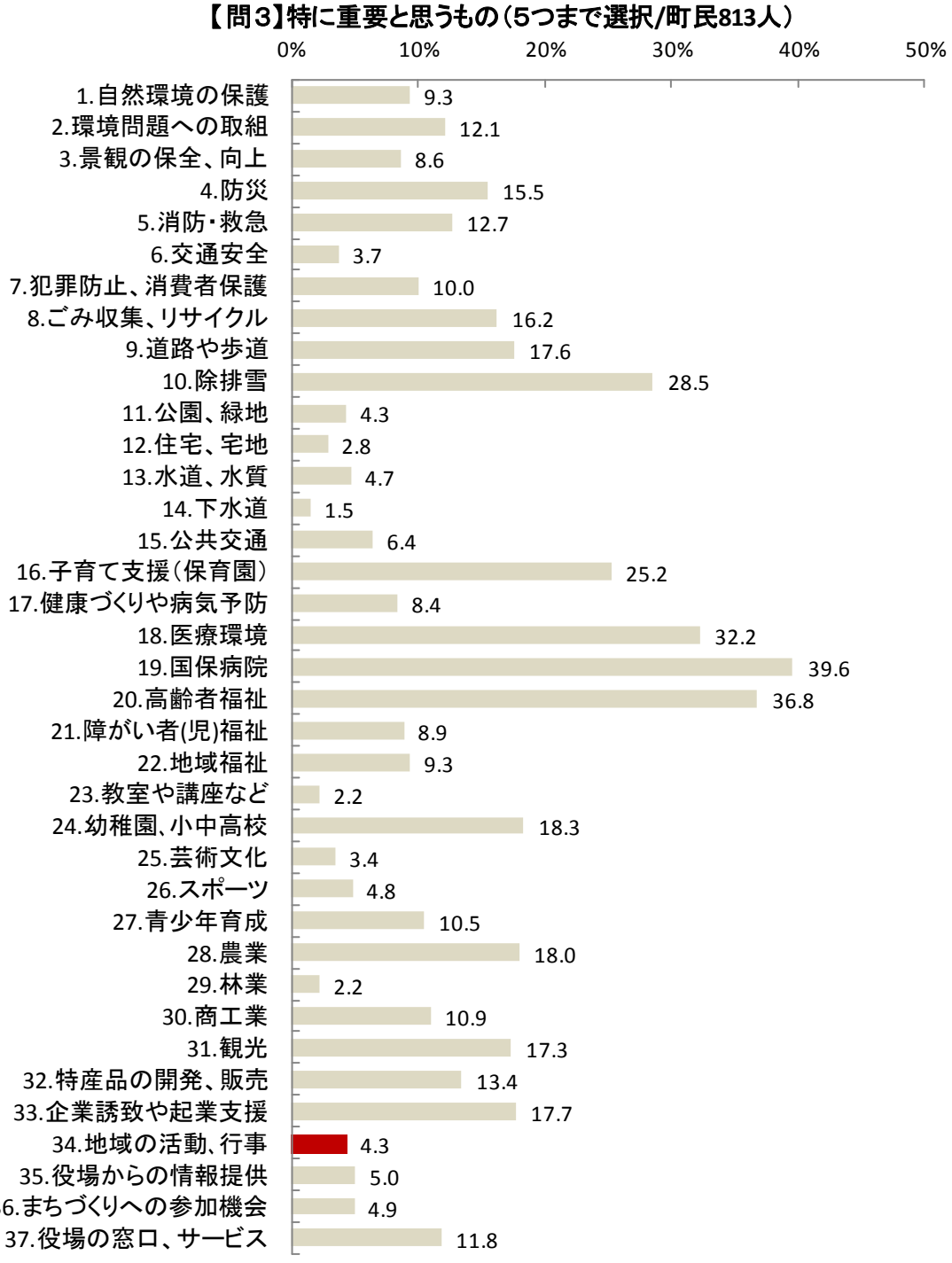
11　住民自治、コミュニティ

（１）関連グラフなど

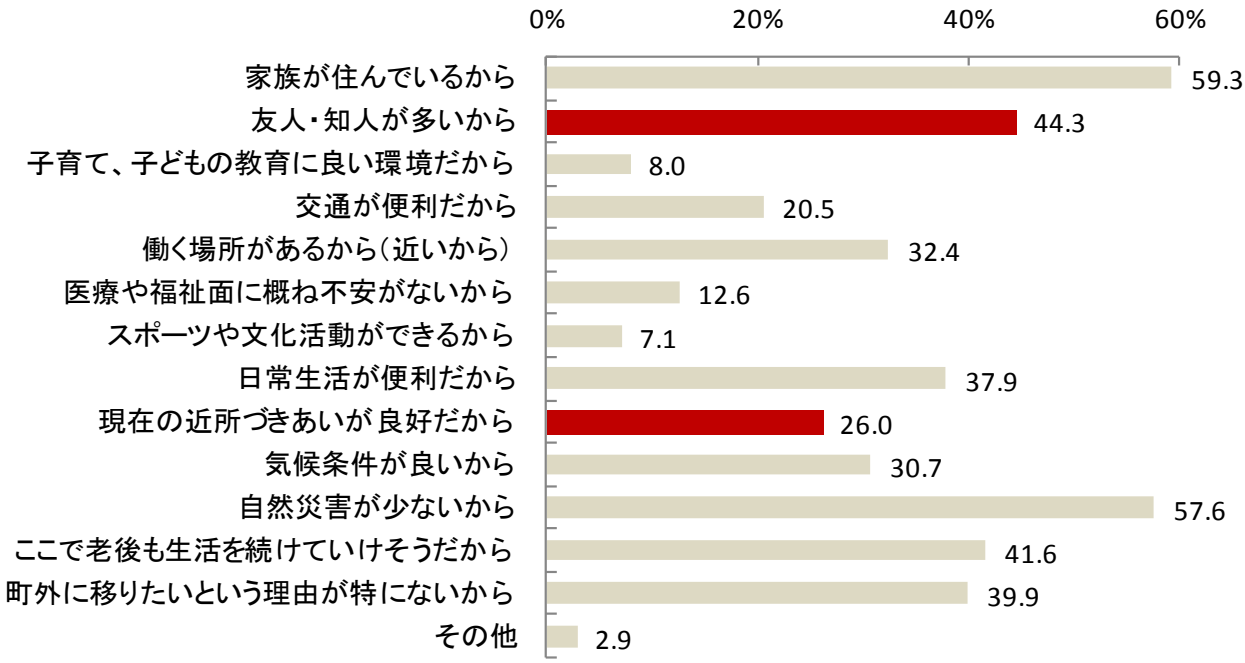
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

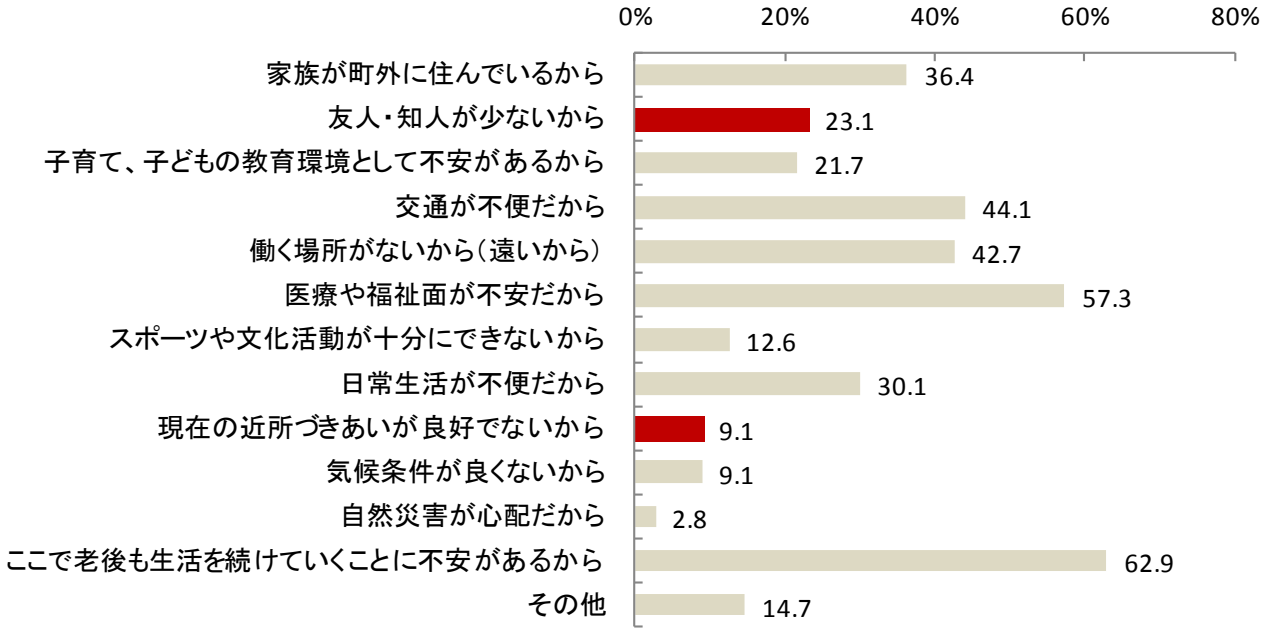




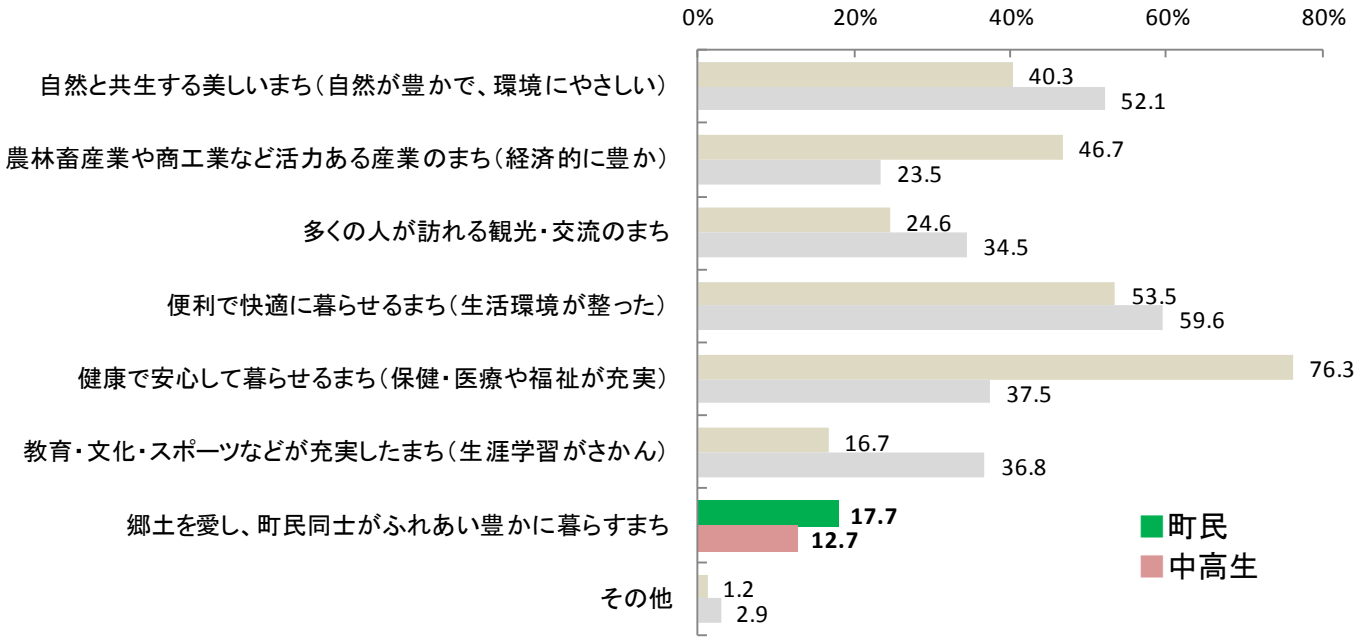
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



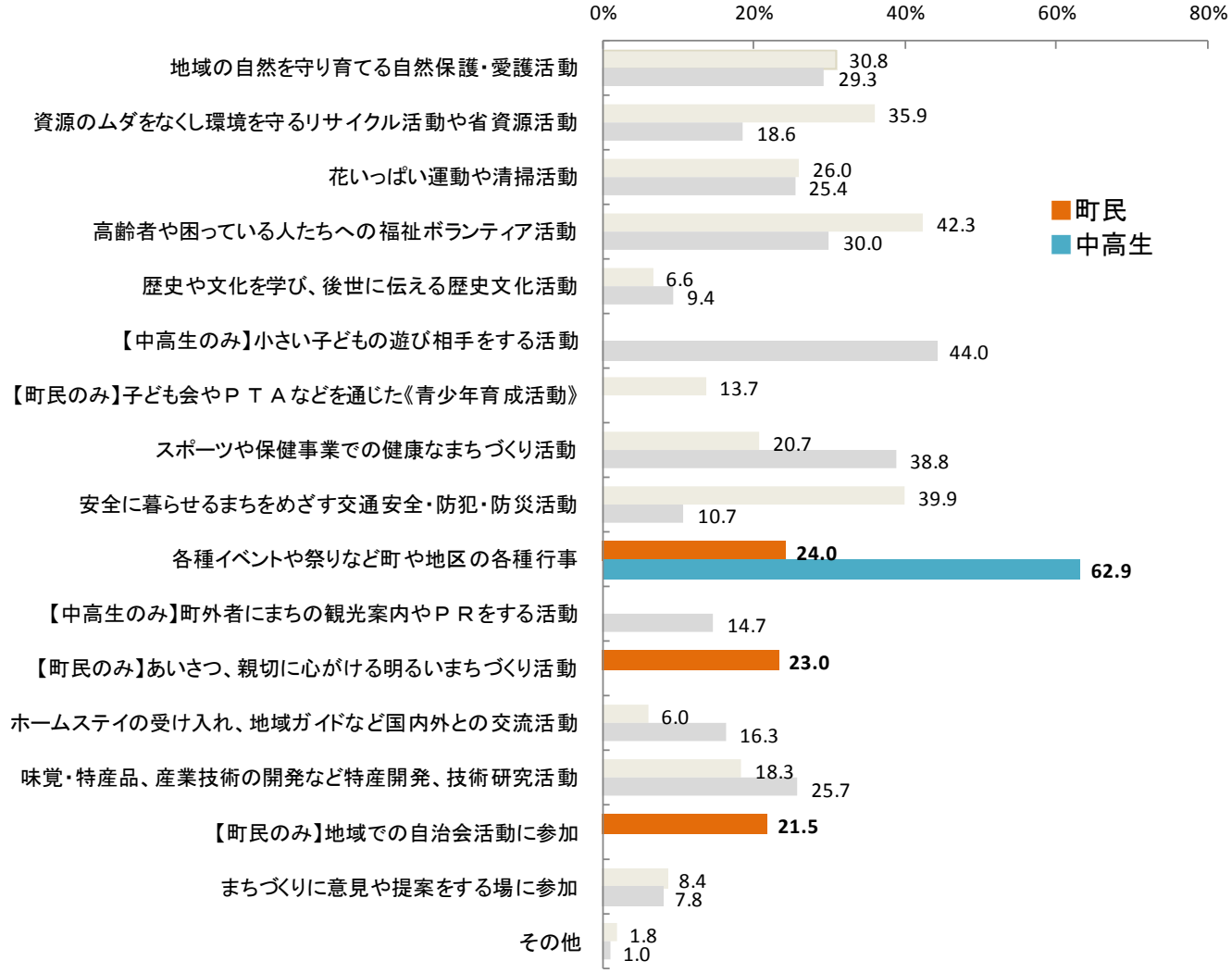
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
コミュニティ活動の促進	コミュニティ組織や人材の育成	自治会連合会や各部会へ補助を行っている。	人口減少や高齢化に伴う、後継者不足が課題となることが予想される。	コミュニティ組織が活動することにより地域が密接に関わり、孤立化を防ぎ連帯感が深まるため、補助・協力を行っていく。
	自治会などコミュニティ組織の活動支援	平成 26 年度に単位自治会活動の充実を図るため、自治会活動運営等補助金を増額した。	自治会の未加入者対策が課題となっている。	コミュニティ組織が活動することにより地域が密接に関わり、孤立化を防ぎ連帯感が深まるため、補助・協力を行っていく。
	各地域を単位としたまちづくり活動の促進	地域集会施設を利用した自治会活動の充実を図るため、自治会所有の集会室を対象として、平成 26 年度に水道料金の基本額等の補助と、修繕工事の補助を新設した。	左記補助金は主に農村地区が対象であるが、離農などに伴う農村地区の人口減少が課題となっている。	地域集会施設を利用したコミュニティ活動を促進していくため、補助・協力を行っていく。
	地域での町民相互の交流や支えあいの促進	地域集会施設を利用した自治会活動の充実を図るため、自治会所有の集会室を対象として、平成 26 年度に水道料金の基本額等の補助と、修繕工事の補助を新設した。	左記補助金は主に農村地区が対象であるが、離農などに伴う農村地区の人口減少が課題となっている。	地域集会施設を利用したコミュニティ活動を促進していくため、補助・協力を行っていく。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

☺ 町のみんなが挨拶をしてくれる

☺ みんなが元気（あいさつが元気に返ってくる）

✪ ジャニーズのコンサートをしてほしい

✪ 祭りやイベントを増やしてほしい

● 子供が朝、人に会って挨拶が出来るような町になってほしい。（女性・50 代）

● 時代が流れ変わっても人のつながりを大事にできる町づくりを目指していってもらいたい。（40 代）

＜自治会など＞

● 自治会や町内会のあり方。（女性・50 代）

● 限界集落（限界自治会）対策。地域コミュニティが崩壊してしまうが想定される

● 町づくりの基本は、地域の発展と住民意識の向上が欠かせないものと思っています。特に、自治会活動に町行政がいかにかかわっていくかが重要と思いますが、残念なことに、町職員及び国の機関（自衛隊員）の職員の自治会活動への参加があまりにも少なく、美幌町の将来が心配です。美幌町の発展は、自治会活動の発展が不可欠です。最後に、町長始め、職員の積極的な自治会活動への参加をお願いします。（男性・60 代）

＜世代交流＞

● チビっ子がお年寄りと関わる機会等が頻繁にあっても面白いかと思います。おじいちゃん、おばあちゃんを身近に感じることができて、チビっ子たちの教育にもなるような気がします。（女性・30 代）

● 高齢者と子供達がふれ合える場を作ってほしいと思います。（昔の事を見たり聞いたり出来る場）（男性・60 代）

○ 子どもから高齢者までが気兼ねなく集う施設の設置。現在の美幌町には目的無く立ち寄る施設がない。散歩のついでに立ち寄る高齢者、カードゲームをするために立ち寄る子ども、少し勉強をするために訪れる学生など、テーブルとイスと明るさのある場所の提供が必要。

○ 以前運営されていた「ばじる」のように高齢者や住民の方々が自然と集まり談笑できるような空間づくり。

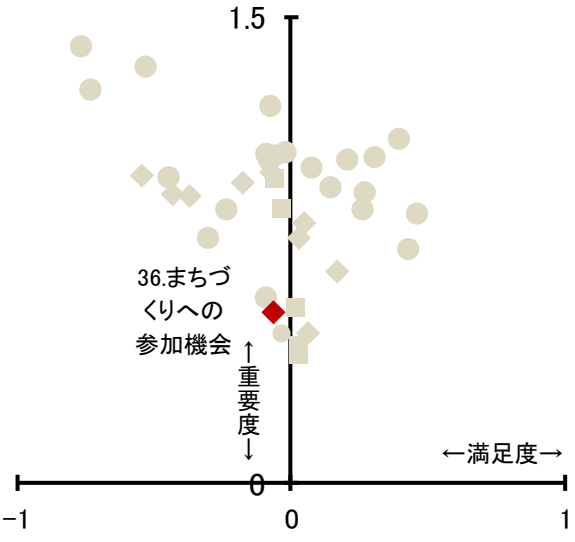
○ 将来地域活動を担う子どもと、世代間交流が不足しています。ひとつとして、小地域の拠点であり最も身近な場所となっている学校跡地（会館になっているけど）や学校の空き教室等を活用し地域住民（特に高齢者、障がい者）と子どもたちが、ＰＴＡ（保護者）の力を借りて交流できる場を創出。子ども達を地域で教育し（学校では道徳の時間もなくなったとか）、将来の超高齢社会に向け地域で支え合う気持ちを子ども達に与える場としても期待でき、さらには高齢者等の通いの場（介護予防）の確保にもなると思います。

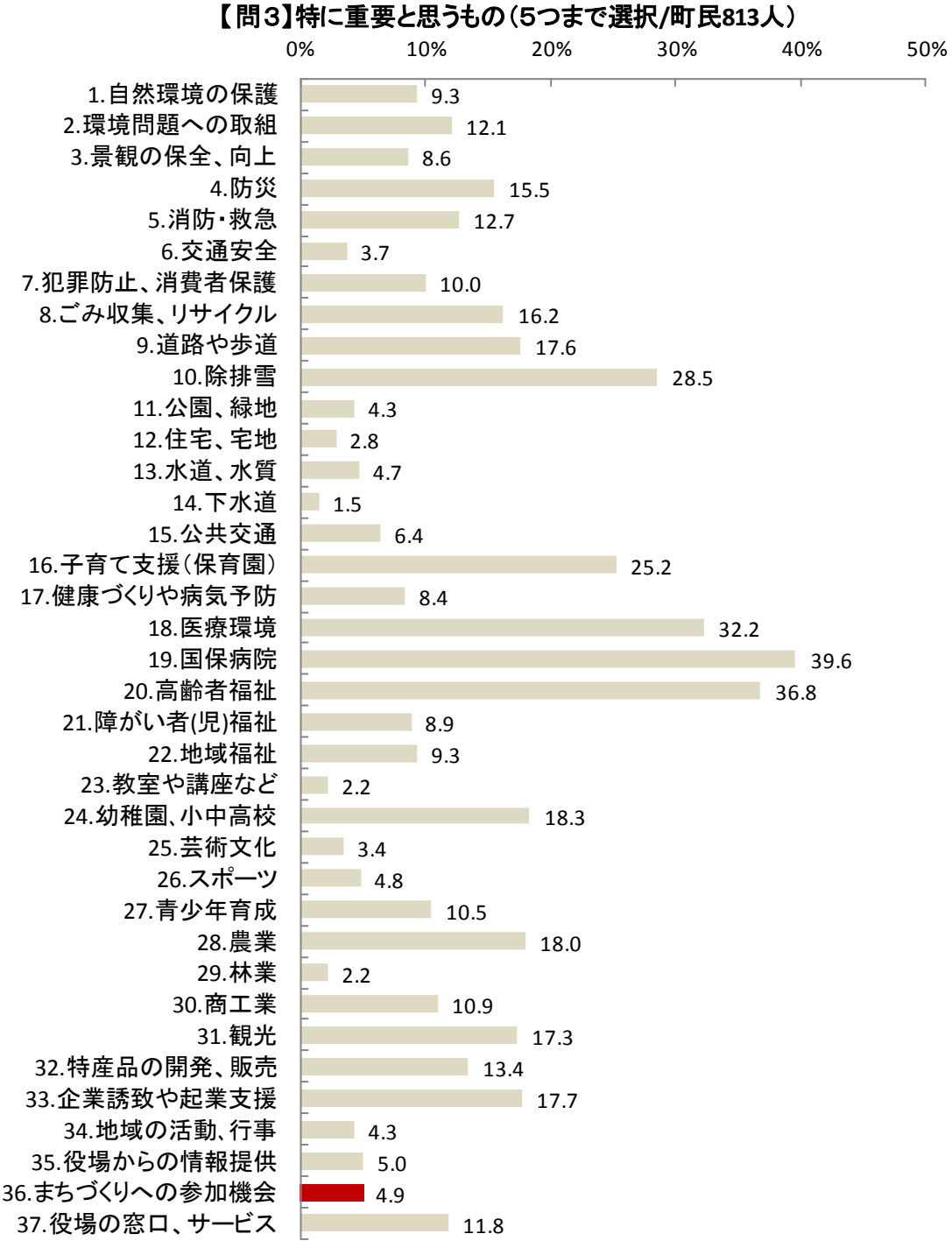
12　住民参加、協働

（１）関連グラフなど

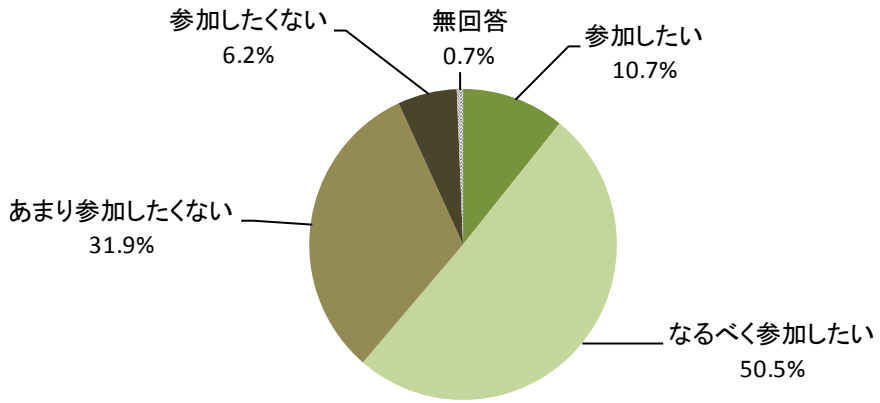
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

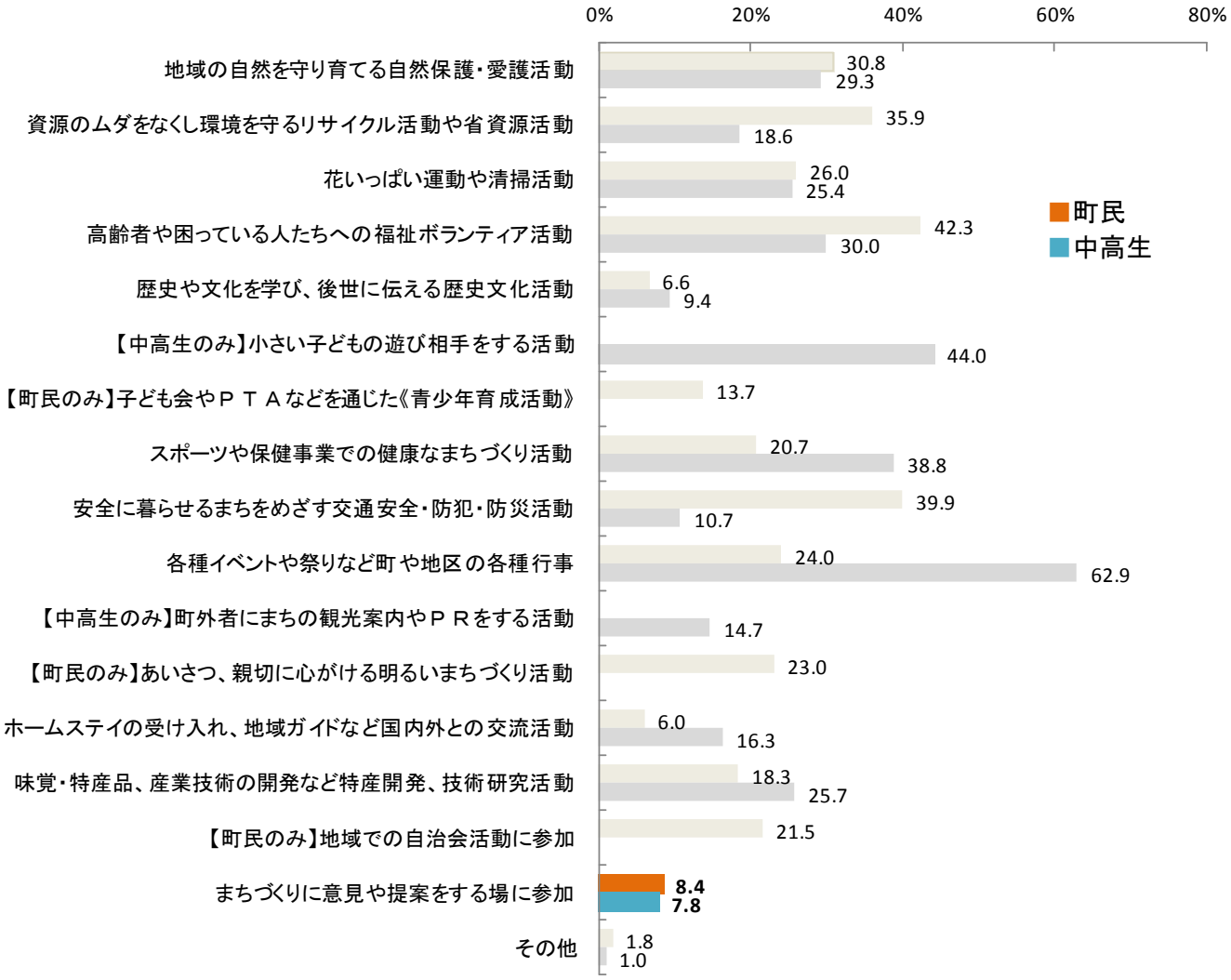




中高生 【問５】地域活動、ボランティア活動への参加意向（307人）



【問７】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
まちづくり活動の促進	自治基本条例※の制定と適正な運用	アクションプランに基づき 42 の事業に取り組み、約 7 割（28/42）が完了している。	未実施の 14 事業の取り組み	関係機関等の協力を得て取り組んでいく。
	くらし安全まちづくり条例※に基づいた実践活動の支援充実	町民の安全・安心の確保のため、自主的に行う各団体の活動に対して支援、協力を行っている。	高齢化に伴い、活動への参加者が増加しない。	町民の安全・安心確保のため、地域と一体となった防犯に対する意識の向上が必要。
	まちづくり団体活動の充実	制度が活用されていない期間が長かったため、平成 24、25 年度に要綱を改正し、活用しやすい制度とした。	団体の自主的な活動の気運の高揚。	地域の活性化のため、さらに制度を周知させ、活用してもらう。
	ＮＰＯ※活動の支援、活用	法的手続き及び指導はオホーツク総合振興局であるため、ＮＰＯ活動の支援を行っている。	特になし。	法的手続き及び指導はオホーツク総合振興局であるため、ＮＰＯ活動を支援していく。
まちづくり活動を担う人材の育成	まちづくり活動への反映を意識した研修の実施	隔年で予算化し、助成を行っている。	助成している事業が固定化されている。	助成が必要な事業に対して継続していく。
住民参加の推進	自治基本条例の制定と適正な運用による住民参加の推進	条例の見直し作業の実施。協働の推進（指針・マニュアルの作成、ワークショップの開催等）を図る。	一部職員、町民への周知が図られていない。	美幌町の自治の基本を定める最高規範として引き続き適正な運用に努め、住民主体のまちづくりにつなげる。

※自治基本条例：地域の課題の解決や自治を推進するための基本的なルールや権利などを条例という形で定めたもの。
※くらし安全まちづくり条例：災害、犯罪及び事故から町民の安全を確保するため、防災、犯罪及び事故防止に必要な基本条例を定めたもの。（平成 12 年制定）
※NPO：non-profitorganization の略。民間の非営利組織営利を目的とせず、公益のために活動する民間団体の総称。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❁：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

✪ ボランティア活動を増やしてほしい

- 色々な団体に入って中心となって活動している人が、同じ人が多いような気がします。団体は多いようですが、同じ人ばかり…というのはいかがなものでしょうか。もっと人材を発掘して、色々な人に活躍してもらいたいです。高齢化も進んでいるのではないでしょうか。（男性・40 代）
- 話し合いで、もっと若い人の意見を聞いてほしい。（女性・60 代）
- 子どもの考えた企画等を、実際に政策としてやってみたらおもしろいと思う。（子どもたちは小・中学生を対象。）学校の授業でやってみたらどうでしょうか。（男性・30 代）
- 18 歳以下の未来ある夢を持った子供たちの意見を聞く機会があっても素敵かなと思います。大人より純粋な考えが思い浮かぶのでは。（女性・30 代）

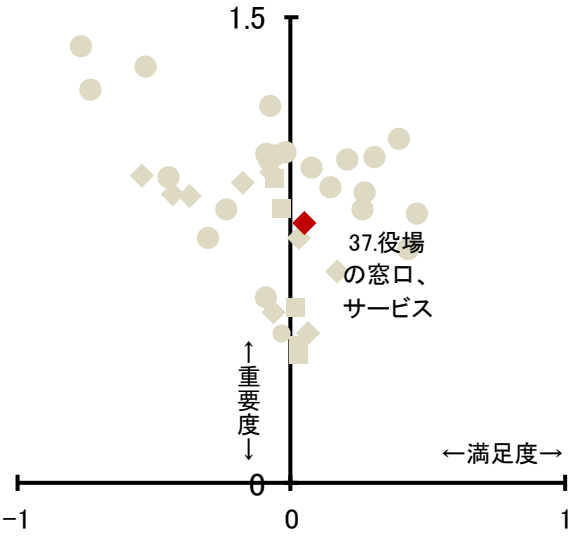
- これからは、子供たちや青年をはじめ町民・高齢者が一丸となって知恵の循環を活用・活性化していき、知恵を出し合いながら、まちづくりや行政事業に町民として参加参画していかなくてはなりません。それには、美幌町のだれもが安心安全快適に暮らせる統一ビジョンを策定し、その実現に向けて行政と民間、住民が情報共有することが必要です。先ずは、目先のことを考えず、未来の子供達や美幌町のために、本格的に利他的な協働を実践する必要があります。そして、コミュニティ豊かに、住民、議会及び行政がそれぞれの役割と責務を改めて認識し、町民主権による自治を確立していくことを最優先にしていかなくてはなりません。（男性・50 代）
- 地域の若者から年配の方まで、色々な世代の人がつどい、意見を言い合える場があると良いと思います。それぞれの世代の知恵や意見が今後のまちづくりに、より発展していけると思います。（女性・30 代）
- 役場の職員と町に住む住人との意見の交換の場を多く作る事も必要だと思う。（男性・30 代）
- 年齢に応じて参加出来る事があると思います。例えば、生活保護（仕事がない方）の方でも、歩道の花の手入れや清掃等。高齢の方でも、町のために出来る事に積極的に参加出来る場などがあれば、健康の為にも良いのではないでしょうか？（女性・60 代）
- “まちづくり”に関して 1 年ごとのテーマを決めて､取り組んだらどうでしょうか。（例①）商店～“行ってみたいお店シリーズ” （例②）子育て～“子沢山な家庭” （例③）学生～“頑張る学生” （例④）自治会もところによると平均年齢が高くて、何か数年先のことを考えると不安になります～“老いを楽しむ年シリーズ”など。（女性・60 代）
- 平成 23 年 4 月からは、「まちの憲法」とも言われる自治基本条例が施行されており、行政が主導するのではなく、たくさんの町民の方々が、さまざまな分野で参加するようなまちづくりが推進できれば良いと思います。（男性・30 代）
- ○ 活力あるまちづくりには、その町や組織を動かす「キーパーソン」の存在が必要不可欠です。町職員が税金により研修しているように、町民に対しても各分野における「研修等への財政支援」を行い、多種多様なまちづくりのリーダーを育成していくことが今後のまちづくりには重要と考えます。
- ○ ボランティア等の地域貢献活動への参加促進。現在はどのくらいの割合の人が地域貢献活動に参加しているかわかりませんが、まだまだ何にも参加していない人は多いと思います。そのような潜在的な人達が参加していくことで、より多くの人が自助、共助の意識が高まると同時に、若い人等が参加することで活気ある、規模の大きい活動になっていくと思います。
- ○ まちづくりコンペの開催。各種団体等からまちづくりのアイデアを募り、公開した上で、上位チームにはそのアイデア実現のための費用を全額補助し、町民のやる気を引き出し、住民主体のまちづくりに資する。
- ○ PI 方式 public involvement（住民参画）。公共事業（特に道路事業）の計画策定の段階から情報を公開し、関係する住民・利用者の意見を求めて進める。
- ○ より良いまちづくりを進めるためには、自治基本条例の精神を尊重した住民と行政が対等の立場で話し合い、それぞれの役割と責任を確認し、町民一人ひとりがまちづくりに関心と責任を持つことが必要だと思います。
- ○ 町民会議の設置。いろいろな分野の人が集まって、アイデアを出し合って、自分は町民の仲間に何ができるのか、何をしなければならないかを考える場を設置する。町民それぞれ個性、能力、環境が違う中で、コミュニティにおけるそれぞれの自分の役割を考え、これからの協働のまちづくりにつなげていく。

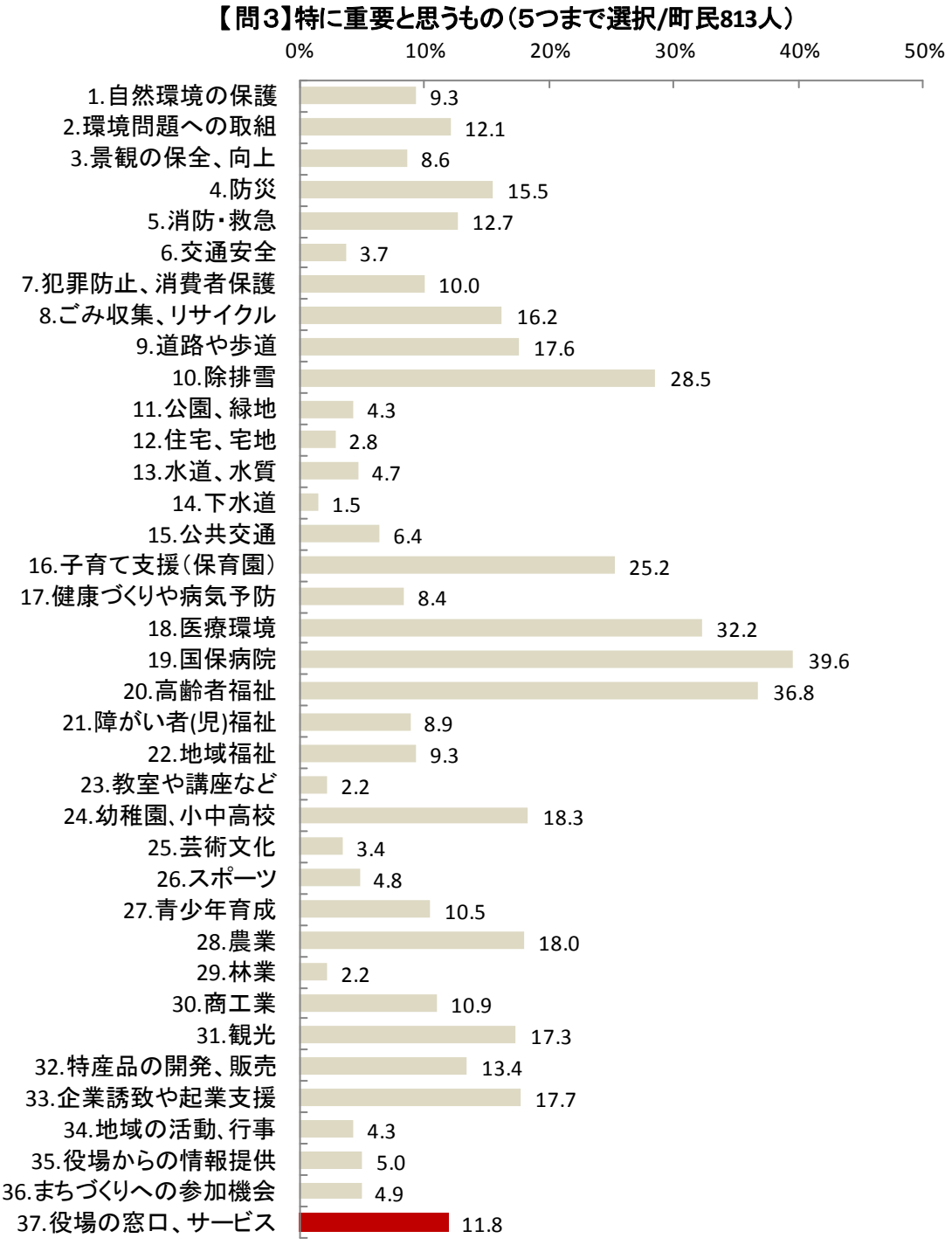
13　行財政運営

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
行政組織の活性化	権限移譲を考慮した機構改革、定員配置	H18 年にグループ制を導入後、人員の抑制に取り組んだ。	職場によってはグループ制が機能していない部署も見受けられる。	・グループ内外の職員の業務量の平準化及び再任用職員の適正配置。 ・自治基本条例に基づく職員の責務を達成するための人材育成。 ・政策課題に的確に対応するため、能力・実績に基づく人事管理を推進。
行政運営、行政サービスの効率化	電子申請・予約、文書管理、電子決裁システムの整備	電子申請・イベントや講座の申込などにシステム活用している。また、ファイリングシステムを導入し、適正な文書管理と検索性の向上、事務の効率化を進める。	更なるシステムの活用が必要。 ファイリングシステムの本格導入に向けて、管理体制の整備が必要。	町民の利便性向上のため、システムを活用した申請・申込受付・アンケートなどの件数を増やす。 ファイリングシステムを順次導入する。
	電算システムの更新	H23 年度より稼働している新電算システムにおいては、プログラム及びセキュリティ強化も随時行い稼働も安定している。	自治体クラウドの導入検討	全国的なクラウド化への移行傾向や国の推進などから前向きに検討していく。
	戸籍システム電算化事業の実施	戸籍の電算化により、記載事務の効率化、交付の迅速化が図られてきたが、導入後５年を経過し機器の劣化及び、非常時を想定したバックアップ体制として、戸籍の正本と副本の同時滅失を防止するための戸籍副本データ管理システムを稼働させるため、機器の更新を実施した。		定期的なメンテナンスを実施していく。
	庁舎施設の集約検討	利用者の安全の確保及び施設の老朽化に伴う損耗箇所を年次計画による補修によって長寿命化が図られている。	老朽化により、年を追うごとに補修箇所が増えてきているため、軽微な補修では対応しきれない状況になりつつある。また、別館との物理的な距離は非効率的であって、利用者の不便にも繋がる。	長寿命化を図ろうとしても、施設の使用限度に限界はある。さらに、別館も老朽化が進む中で、本庁舎との統合も視野に入れた本庁舎改築論議が必要。
	公共施設の改修	計画策定に係る情報収集	町内各所に所在する町有財産の現況を把握するとともに、財産台帳との突合が必要である。	現状を把握したうえで計画を策定し、長寿命化を図るものと、利用見通しがない財産の処分を検討していく。

計画の管理､行政評価の推進	行政評価を含めた計画の進行管理の実施	平成 25 年度事業の事後評価、平成 26 年度事業の事中評価を実施する。内部評価も行い、評価内容を次年度予算に反映する。	総合計画・予算・行政評価の各事業が完全整合していないため、原課の事務負担が増している。また、評価内容が予算等に反映されていない。	事業の完全整合で総合計画、行政評価を一元管理して原課の事務軽減に努め予算に反映させる。また、町民にわかりやすい行政評価という点も留意する。
財政の運営	財政運営計画※の実行と見直し	第 2 次財政運営計画の計画目標を達成しており、財政の健全化は図られている。	過疎地域の指定（h26.4）に伴い、新たな財政運営の指針が求められている。	平成 26 年度中に財政運営計画の見直しを行う。
	財政基盤の強化と効率的財政運営の実施	町有財産（遊休資産）の有効活用を図るための更なる取組が求められている。	地方交付税が減少傾向にある中で、持続可能な財政運営に努める必要がある。 消費税の税率改定（h27.10 予定）に合わせ、使用料・手数料の見直しを行う必要がある。 町有建物の老朽化に伴い、長期的な視点で計画的な管理を行う必要がある。	使用料・手数料の見直しに向け､平成 26 年度中には原価計算作業に着手する。 関係部局と連携を図りながら、総務省が求める公共施設等総合管理計画の策定に向けた作業を進める。
行政改革の推進	行政改革実施計画の継続策定と実施	第 5 次行政改革実施計画に基づき、行政改革を実施する。(～27 年度まで)	対象の担当においては、計画に基づいた取組が行われていないものもある。	計画に沿った取組を進める。
	外部委託（アウトソーシング）推進計画の実施	平成 24 年度で計画は完了しているが未実施の 4 事業を第 5 次計画に載せ引き続き推進していく。	課題等の解決が進まないため、実施が遅れている。	第 5 次行政改革実施計画に基づき､平成 27 年度中までに全 4 事業外部委託を実施する。
危機管理体制の充実	危機管理意識の向上	職員を対象とした「美幌町地域防災･減災研修会」を開催し、災害等の危機管理意識の向上を図っている。平成 25 年度は、網走気象台台長を講師として気象をテーマに実施。平成 26 年度は、被災地支援に派遣された西農委局長を講師として実施する。	特になし	職員の危機管理意識の向上を図るうえで継続する必要があり、毎年研修会を開催していく。
	危機管理対応マニュアルの作成	美幌町地域防災計画を災害毎に作成し、災害対策本部の設置・運営・業務分担を明確にしているほか、職員の非常配備体制については、基準を設けて対応を明確にしている。また、職員の召集の際には、これまでの電話による非常召集から、職員へのメール一斉配信や	特になし	町民が避難する際の判断・伝達マニュアルの作成についてのガイドラインを、国は平成 26 年に見直したことから、災害毎に町の避難判断・伝達マニュアルを作成していく必要がある。

		部局・グループ毎への配信ができる「あんしんねっとびほろ」を平成 26 年２月１日から運用を開始し、非常召集に活用できる体制づくりができた。		
	国民保護計画の策定	平成 17 年３月に閣議決定された「国民の保護に関する基本指針」に基づき、北海道が平成 18 年１月に「北海道国民保護計画」を作成。本町では、「北海道国民保護計画」に基づき、平成 19 年３月に「美幌町国民保護計画」を策定し、平成 24 年７月と平成 25 年７月に一部変更を行っている。	特になし	今後も町民を保護する計画として継続していく。

※財政運営計画：財政の悪化に伴い、今後の持続可能な健全財政を確立するための計画。歳入の確保、歳出の削減項目をかかげ、基金から繰入を行わない財政運営をめざす。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 「美幌市」になっている

＜職員、組織＞

- まちづくりも大事な事だと思うが、町職員の人づくりから取り組んで欲しい。（女性・50 代）
- 役場職員の自己改革、オープンな役場づくり。今はどうか分かりませんが、行きずらい所のイメージがあります。町営牧場で昼寝をして時間稼ぎをして残業手当てをもらう人がいたり、税金で購入した物を私物化する人もいると関係者から聞いて呆れています。公になる前に改善が必須だと思われます。（女性・50 代）
- 不勉強な町職員は職員失格とする事。定期的な試験をして、スキルアップが見られない職員は辞めさせる。（男性・50 代）
- 公共施設の無駄な人員数。この声は随分耳にしますが、役場には届いていないのでしょうか？イベント時（パーティ）、事務所の中で赤い顔をした職員？でしょうか？まさか仕事中にアルコールなど飲んでいる事はありませんよね。勤務中ですものね！！町民に誤解される様な事務所の出入りはさけた方が良いかと思います。イベント時の人員確保は、役場内で何とかならないのでしょうか？施設が常にフル稼働している様には見えませんが…。施設内で堂々とＴＶを観ている。ある日の土曜日の午後４時頃、しゃきっとの受付に居なければならない人が「えくぼ」のＴＶを観ていました。人の出入りも頻繁ではなく、暇だったのでしょうが、ありえませんよ。驚きです。ＴＶを観て収入が得られるのなら、私にも出来ます。雇って下さい。税金は正しく使用されているのでしょうか？税金の支払が少しでも遅れると、待ったなしの督促→かたや苦労せずお金が入る人達。生活保護より苦しい

生活を送っている町民の声、しっかり聞いて下さい。お願いします。（女性・50 代）

- 職員 1 人ひとりが町民の声に傾聴し、町民の声を聞きのがしせぬ様に上司に伝え、実行してほしい。稼働していない職員、多々居ると思います。民間の企業ではクビになります。そんなことでは、いくらアンケート実施しても良くならないと思います。まずは、内部で役職員がみんな事を把握し、部下をもっともっと指導すべき。知らないではすまされません。（女性・50 代）
- 本気でまちづくりを考えているのか、議会の様子や役場職員の様子を見ていても熱意を感じない。役場職員のやる気のない人には本当にあきれる。（女性・10～20 代）
- 定年退職した町職員の天下りを無くし、若い人が働けるようにすべき。知り合いに町臨職の子が居ますが、手取り 10 万円位では自立は無理。副業でもしなければ、親元から離れる事は厳しいと思います。正職員と変わらない仕事をこなしているのに、何年勤めても給料は変わらず、消費税・物価は上がっているし、将来を不安がっています。（女性・50 代）
- 役場や国保病院など、未だに臨時職員として働いている人もいる。全体の雇用形態なども見直してほしい。（女性・10～20 代）
- 町の人材採用がおかしい。まず天下りはやめてほしい。若い人の就職口が少ないのに、何故定年退職した人にまた税金で給与が支払われるのか理解できない。あと、学校の特別支援の支援員も、お金がいいからという理由で、特別支援教育に何の知識も関心もない人が入っているのはおかしいと思う。だいたい募集もないのに採用されている。（女性・40 代）

○ 石田正子選手や久保効恒造選手などオリンピックメダリストを町職員として採用し、スポーツの振興に起用する。障碍者雇用の法定雇用率の確保にもなる。

○ “びほろ版”【シンクタンク（情報収集チーム）】の設置各関係機関や各個人で抱えていながら実現に向けた第一歩を踏み出せずにいるアイデアや企画、有益な情報、独自のネットワーク（人脈）をワンストップ窓口で集約し、実現性、有効性などを判断し、各所との調整を図りながら企画を実行に移すことのできるスペシャルチームの存在が必要。併せて現状、各省庁で実施されている公募型の事業（活動や開発に関する補助制度等）にリンクできるよう、本町に採用可能な各種事業に対し常時、注視し活動と事業費をセットでプロデ1-スできる体制を構築。

○ 職員の挨拶、礼儀、思いやりのある対応の周知、徹底。挨拶をしてくれる方が少ないという声をよく聞く。庁舎内の雰囲気がもっと明るくなるといいと思う。

○ すべての業務を行う上で、どんなに優れたシステムを構築しても、それ運用する職員の意識レベルが低ければ話になりません。研修の充実もいいのですが、それだけではなく普段の業務の中で上司から部下へきちんと仕事の内容、仕事に対する意識を伝えていくべきかと思います。ＯＪＴこそ職員育成の要で、研修はそれを補完するものであり、研修にだけ頼るような育成はまったく意味がないと考えます。

○ 利潤追求型の経済行為を行う民間企業で研修を行う事は行政職の視野を広げる意味で今後、必ずや必要ではないか。

＜民間活力＞

○ 新しい取組を意欲的・社会実験的にトライアルしていく土壌を醸成する。そのためには、民間企業等で様々な事業に挑戦してきた人材、企画立案や法務、財務などの専門的な人材の活用が、その経験・専門性を生かして、美幌町の良さをブランド化し、マーケティングしながら、観光資源や特産品、農産物や FSC 等のエコ資源を売り出していくことが重要。このような人材を活用するための、長期的な展望に立った人事戦略が必要。また、他の自治体ではすでに例がありますが、本町にゆかりのあるオリンピック選手やアーティストを社会人枠で採用し、スポーツ振興グループや社会教育グループで町の政策に貢献してもらうのも一例だと思います。

○ 今回の過疎指定を契機として、町民にとって、最適な施策・事業の選択を行い、民間活力

（資金・事業・人材）を積極的に導入し、効率的な行政運営と質の高い住民サービスを提供する取り組みが必要だと思います。

＜人材育成＞

○ 役場職員のみならず、美幌町内の企業を巻き込んで人材育成に大々的に取り組むことで、美幌町が本気で人材育成に力を入れていることが町民に理解されると思われる。また、学習等の範囲を役場にとらわれないことにより、町全体の労働力、発想力、行動力につながり、町全体が活気づいていくのではないか。そういう意味で町が主導で行う価値も出てくると思う。行政が、人材育成に取り組む、他業種を巻き込んで仕掛けることは面白い取り組みのように思える。

＜事業、事務＞

○ 事務、事業を増やす取り組みはしているが、減らす決断ができていない。何か新たな取り組みを行うためには、労力を費やすころからも、それ以上に減らしてから行うべきと。人口減少し、税収も減になる。では、職員も減にしなければならない。

○ 総合計画に乗らなければハード事業や新規ソフト事業は実施できないようにする。

○ 紙媒体のファイリングシステムを導入していくことにあわせて、部署の統廃合により乱雑となっている電子データの整理整頓もできないものか。

＜窓口、庁舎＞

❀「婚姻届」がかわいらしくなった。記念になっていいなと思った。既に出している婚姻届も今のデザインのものと交換できるならばしたいと思った。

❀「出生届」は手元に残らないので、記念になるような「控え」があると嬉しい。

● 役場の仕事（職員）を美幌町民は皆見ています。たらい回しにしないでほしい。課の窓口にいる人は、話の分かる人をおいてほしい。（新人はやめてほしい。）（60 代）

● 以前、役場にわからないことを問い合わせたら、年配の男性職員の対応が悪すぎだった。大きなことより、身近な小さなことから改善したらどうでしょうか。（女性・10～20 代）

● 役所の対応。聞かれたことしか答えない。親切さに欠ける。全員が広報を読んでいると思わないでいただきたい。「広報、ＨＰに出ているので。」ではなく、重要な事は聞かれなくても伝えるべき。（女性・30 代）

● 役場の方の対応をもっと良くしてほしい。（たまにしか行かないのに、いつも不快です。）（女性・30 代）

● （役場の年金担当窓口に）免除申請をしに行った時、「年金払えないなら給料の良い人と結婚したら」「仕事も変えたら」などと言われました！！なぜそんな事を言われなきゃいけないのか全く分からないし、これってパワーハラスメントだと思います！！そんな事を言ってくる人がいるから、申請を出さずに年金を払わない人がいるんじゃないですか！！人の気持ちを良く考えて発言してもらいたいです。役場の人だからってどれだけ偉いんですかね！！とても腹立たしく思っています。（女性・10～20 代）

● 役場の職員で説明のできない者がいる。職員が多すぎる。人員へらせ！（男性・70 代以上）

● 役場本庁舎の改築（女性・70 代以上）

● 庁舎にエアコンを完備して下さい。とても不愉快です。働く職員も大変でしょうが、町民も、用事があっても行きたくなくなります。そんな庁舎でいいのでしょうか？町民のためにエアコンを完備して下さい。（男性・30 代）

● 美幌町役場も、お年寄りが多いので、バリアフリーにすべき。（女性・70 代以上）

● 役場や会館、図書館などが一箇所で、広い共通の駐車場がある施設になるよう、建て替えや移設をして欲しい。今は分散しすぎていると感じます。（男性・40 代）

○ 町民にやさしい役場を目指し、必要な方に対し、手続きに必要な場所と書き方などを助け

る総合窓口の設置。

- ○ 役場本庁舎１階、２階、しゃきっとプラザの動線が良くない。現在、部署別としている執務室の配置を見直した方がよいと感じる。転入、転出、出生、死亡等の手続きについて、教委、公住など１階、２階、しゃきっとプラザに渡って同じような手続き（住所、氏名の記載等）が多く数時間におよぶ場合があり、お客様が不快感を示されている。経済部（別館）、教育委員会、図書館等を複合的にできるのであれば、その方がいいと感じる。
- ○ 現在の庁舎では大規模災害が起こった際に、現場指揮や災害対応する能力がなく、逆に被災し現場対応をすることが出来ないことで、対応の遅延により町民の不安が煽られると思われる。
- ○ 庁舎建て替えとなる１０年ほどの期間がかかる。建設費の積立や住民感情への配慮など、まずは議論をして進めていくことが大切と考えるため。

<公共施設>

- ● 少子高齢化、人口減少に伴う町の施設の統廃合と機能の充実。（男性・60 代）
- ● 余計な金を使ったり、無駄な施設を作ったりせず、町民一人一人が家の近くをきれいにしていく。あまり余計な事はしない方がいい。（女性・50 代）
- ● 無駄をなくす事により、美幌町もうるおうと思う。たとえば、小学校。20～30 年前なら子供の人数も多く、３校必要だったかもしれないが、今の子供の人数なら、極端な話１校でもいいのでは？と思ってしまう。など、いっぱい無駄はあると思う。（男性・30 代）
- ● 必要の無い「農業博物館」と「航空公園」は即廃止を！！何だかんだ必要性の理由づけをしたり、来館者の水増しをして存続をはかるのは、もうやめませんか？町民の大多数の本音は「まったく必要性の無い税金の無駄使い」と思っています。限られた予算なので、無駄は即廃止するべきです。（男性・30 代）
- ● スキー場は平日に長時間一人の利用者も居ない状態での運営。偶然かも知れないが、３日リリー山麓の道路を通行すると、３日とも利用者が０か多くて２～３名程度。町民の一人として、唖然とするのと同時に虚しささえ感じる。運営する曜日を定める等、運営日数を減らすことにより、勤務員の人件費及び設備の稼働費が削減できる。夜 間も利用者不在にも関わらず照明・勤務員だけ確保し、それに費やす費用の無駄に猛省を促したい。公約だから基金があるからと２億円もの予算を投じてパークゴルフ場を拡張整備するが愛好者のみの健康維持ができても、町民全体の医療費削減を期待するのは的外れである。今後の若い世代に、どれだけパークゴルフに対する興味が引き継がれるか？膨大な資金を投入したものの利用者が激減に傾くことも想定すべき。「この空き地はなんぞや？」となった時、その責任は誰がとるのか？負の遺産を誰が始末するのか？町民全体が幸福になるためには、施設整備や設備にも際限があるのでは。現状で我慢できる物は維持し、真に必要とされるインフラ整備或いは高齢者が自らの力で出来かねる部分の広い意味での支援費用等、掛けるべきところは多分にある。美園保育所も要望により修繕したものの、その後いまだ未使用状態と聞く。あまりにも将来像を見据えずの行政と批判されても致し方ないのでは。スキー場、パークゴルフ場、しゃきっとぷらざ等の運動施設は自分の力で行ける人は活用できても、高齢者等自力で行くことが困難な人には何の価値も無く、無用の長物に他ならない。博物館も一度参観すれば十分であり、維持管理費も膨大。更に、航空公園の現状はどうか？現状の行政が継続されれば近い将来人口減に拍車が掛かり、財源不足に陥ることは明らか。不名誉な過疎地域指定で諸手を挙げ喜んでいる場合ではなく、過疎地域に進む主たる原因はどこにあるのか？反転攻勢に出る策はないものかを関係者は真剣に考えてもらいたい。少子高齢化は勢い良く進んでいることを銘肝し、限られた財源を一部の人の趣味や主張に流され、湯水のごとく税金を注ぎ込む「税の無駄遣い」の行政はそろそろいい加減にしてもらいたい。米国の有名な諺のとおり「リーダーは木を見ず森を見よ！」である。まさに点を線に、更に線を面で捉えた実のある行政を進めて頂きたいと願います。（女性・60 代）

○ 厳しい財政状況下、施設の損傷・劣化等を将来にわたり把握し修繕計画を立てる。

○ 自治基本条例の中でも町民主体を謳っていることから、職員がもっと地域にでるべき

○ 公共施設の整備について、人口が減少する中、これまと同規模の施設が必要かを再検討し、本当に必要な施設なのか、他の施設と一体的に整備することはできないかなど計画的な整備が必要。計画期間中に、施設整備にかけられる予算を仮定して、その範囲内で、何をどのように整備していくかを町民のみなさんの意見を聞いて決めるべきだと思います。

○ 全ての公共施設（道路・上下水道施設を含む）は、財源不足等により、一時期、最低限の維持補修しかできなかった状況でありました。この結果、老朽化が進んで危険と隣り合わせの施設も存在する状況です。施設の新設と比較すると地味ではありますが、国土強靭化地方計画や平成 26 年度の地方財政対策でも位置付けられている公共施設総合管理計画とも密接な関連が強く、ほぼ全ての部局に共通する事案であり事業規模も多額なことから中長期での計画的に取り進めるべき。

＜税金、ふるさと納税＞

● 税金を安くして欲しい。（女性・30 代）

● 税金を納めている自分としては、未納税者が迷惑です！町外からの大手会社が町内の仕事をしている事も不満ですね…。言い出したらキリがない！（男性・30 代）

● 住民税、水道料金も高いです。値下げしてくれると本当にありがたいです。（女性・10～20 代）

● 税金が高い。何でもかんでも自衛隊に頼りすぎ！（男性・50 代）

○ ふるさと納税の推進。クレジット、ペイジーでの振込を導入し手続きの簡素化。商品も納税者が選択できるように寄附金額に見合う多様なオプション(美幌和牛や認証木工品など特産品、エコハウス宿泊利用券)を用意する。（納税上限額が 2 倍の 6 万円になる)

○ ふるさと納税の獲得ふるさと納税による税収アップの成功例は、納税による見返りとして、魅力ある特産品等を用意しているので、お得感が強い内容や納税でしか手に入らないような特別な限定品を用意する。

○ ふるさと納税のＰＲかつて美幌に住んでいた人たちに美幌の応援団となってもらい、ふるさと納税を促進することで、収入の確保を図る。札幌美幌会や東京美幌会等で PR を行っていると思うが、PR の拡大方法について検討する。（例えば、札幌での JR・バス・地下鉄での車内広告など）

○ ふるさと寄付金の充実と地域おこし協力隊の導入。両制度の相乗効果により、都市から地方への「資金の流れ」と「人材の流れ」を生み出すきっかけにする。すでに実施している「ふるさと寄付金」は、直営のままでは事務量の関係で件数の増加に限界があることから、「えくぼ」などの NPO 等にアウトソーシングする。寄付者に贈呈する特産品の選定では、町外の寄付者に訴求するものにするために「よそ者」の視点の活用が有効。寄付者が選択できる特産品をブラッシュアップするには、商工会議所をはじめとする産官学の連携が不可欠。地域おこし協力隊の導入は、「よそ者」感覚をもった移住人材により、美幌の魅力を再発見するために活躍してもらうことが想定されます。先行自治体の成功例・失敗例を参考にしつつ、美幌への「人材の流れ」「町外との交流」を生み出す契機となるような事業として展開する必要があると考えます。

＜その他＞

✪ 津別町との合併

● 役場の人達が先頭に立って町民に接し、色々なアドバイスをし、対話すること。（女性・60 代）

● ”ゆりかごから墓場まで” 古い言葉ではあるが、美幌町で生まれ、成長していく過程で、教育、文化、福祉の充実は欠かせないし、満足出来る職場環境を如何にして備えるか、課題

は大きい。少子高齢化が叫ばれ久しいが、国の思いつき政策に振り回されることなく、美幌町独自の施策を追求することが肝要であるのでは。近い将来、美幌町が消滅することがないことを切に願う一人です。（男性・60 代）

- 近隣町村の良い所を、まねてほしい。（女性・40 代）
- 計画を策定することは良いことですが、実効性のあるものにしてほしいです。計画は 10 年間につき、途中見直し等の場合は役場内部で変更するのではなく、（住民参加の）策定委員会のもとで進めてほしいです。
- 型にはまっていては個性も生まれず、魅力という言葉も生まれない。そう思うのは私だけでしょうか？町民の税金、町民の為にしっかり使ってほしい！美幌町の職員、そして美幌町民から選ばれた方々、私達町民は見て感じていることを忘れないで下さい。思いを形にしなければ何もしていないと同じ！“まちづくり”という言葉、ただの美しい言葉で終わらせないで下さい（女性・50 代）
- ５期目の総括はしましたか？反省点や改善点が生じていれば、おのずから６期目の計画の土台は立ち上がるでしょう。実際は、各団体や業者への配慮から、あたりさわりのない総括になっているはずです。強いリーダーシップを発揮できる（責任を取れる）部長や町長になってほしいものです。（男性・40 代）
- ムダな公共事業をなくして下さい。子や孫の世代には負担を残したくありません。（女性・40 代）
- 何か１つ抜け出した政策をした方がいいと思う。なぜなら、今美幌町民に、他の地域と比較して良い政策は何ですか？と言っても、「これです。」という答えは返ってこないと思いますよ。美幌町民として住みやすいまちづくりに期待しています。（男性・10～20 代）
- 現在の美幌町の暮らしには概ね満足しています。まちづくりについては、よりよいまちづくりを考えることは町として大事なことですが、現状を維持することに予算をかけることも大事なことだと思います。現状維持は決して後退とは思いません。町職員の皆様、頑張って下さい。（男性・40 代）
- 今、住んでいる町民に優しいまちづくりはもちろんですが、未来の町民にも優しい住みよいまちづくりをしてほしい。予算もあると思いますが、継続・維持できない計画やまちづくりはやめてもらいたいと思います。目先だけを考え取り組んだり、始めたりせず、先をよく考えたまちづくりを心から望みます。（女性・30 代）
- 人口動態。（現在少子高齢化に入り）当町の将来（人口）が、どう推移して行くのかを早めに想定して、全ての計画を樹立して行かないと。当然そう考えているとは思いますが、手遅れにならないよう。（男性・70 代以上）
- 多くの人の意見を聞く事が大切である。町民が何を求めているのか十分検討し計画を進めてほしい。一例を挙げれば、立派な温泉設備を建設しても赤字続き。行きたいが交通手段が無い。町の中心から離れた場所に博物館。全く利便性を考えず建設していると見うけられる。（男性・70 代以上）
- 町はもっと地元を大事にしていく必要がある。（町民、地元企業など）（男性・30 代）
- 町営住宅の駐車場（の整備）、こんな事をしなくても、他に直さなければならない事がたくさんあるのではないでしょうか？年金は少なくなる、物はあがる、低所得の人は死ねといわんばかりだ。（女性・70 代以上）
- 本町もいよいよ過疎地域の指定を受けることになりました。残念な状況ではありますが、この過疎地域指定を今後本町の充実・発展に、そして住みよい町づくりにどう活かすかを考える時が来たと、前向きに取り組むべきではないか。特に過疎債の恩恵を活用し、この際、過疎地域指定を契機として、第６期総合計画で１２年間の長期的視野に立ち、計画的に新たな方向性を打ち出し、過疎地域指定により本町未来の明るい展望が開けるよう考えるべきではないか。（男性・70 代以上）

- 町長や議員は、年長者しか見ていない。選挙、票集めしか眼中にないのか？本当に本当にそれで良いのか？人口減少はどこの地域もある事だからという考えでは、町の発展はない。私の子供達は全て町外（道外）に住んでいる。町には魅力がないと言っている。それでも私は、田舎には田舎の良さがあると伝えていきたいと思うが…。（男性・40 代）
- 町長や町議会議員は、町の将来像（ビジョン）を町民に示すべきだと思う。理想の町の将来像に向けて長期総合計画を立て、計画の実現に向かって、こつこつと投資すべきと思う。（男性・40 代）
- 仕事をしない町議会議員、態度のオオヘイな町議会議員を減らし、その予算をもっと必要な所に当てる事。不勉強な町職員は職員失格とする事。定期的な試験をして、スキルアップが見られない職員は辞めさせる。（男性・50 代）
- 議員数が無駄に多い。経費削減がなっていない。（男性・50 代）
- 議会に自治会代表も参加。（これにより自治会の重要性を高める。）（男性・30 代）
- 町議にしても、議会に参加できる人間など自営業や定年した人間しかなれない。そんな人間たちしか集まっていないのに美幌が良くなる訳がない。（男性・10～20 代）
- 町議やまちづくりにたずさわる人間から変えるべきです。若者の意見などを素直に受けとれない年配の町議は変えるべきですね。今の町議の動きがさっぱりわかりません。何をしているのでしょうか？（40 代）
- 町民一丸となって行わなければ「まちづくり」は出来ないと思いますが、その前に、町議さん達にもっと勉強していただかなければ、町民への理解は得る事は出来ないと思います。広報やホームページで議会や予算等を拝見していますが、お粗末な内容になっている事が多々有ります。（男性・50 代）
- 町議に定年制を導入する。若者の町議を２～３名入れる。（男性・30 代）

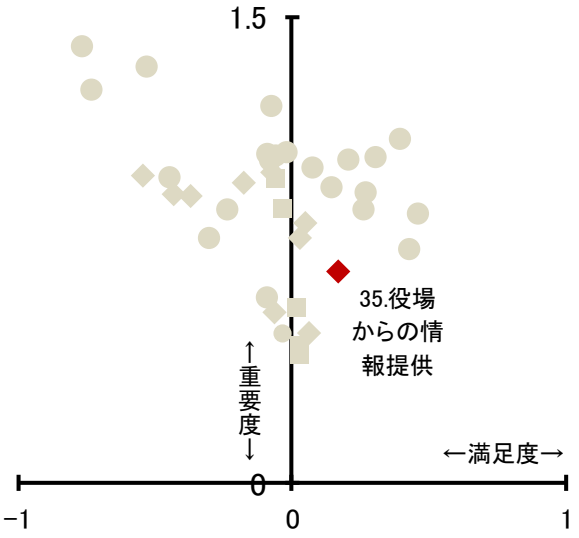
○ 既存の法令等にとらわれない前向きな発想を、町民とともに考え、実現させていく地域力を育てる。具体的な例としては・町民の安心安全を優先する個人情報保護特冷特区、遊休農地の町民利活用を可能とする農地法特令特区、行政等第三者の廃屋撤去を可能とする○○特区

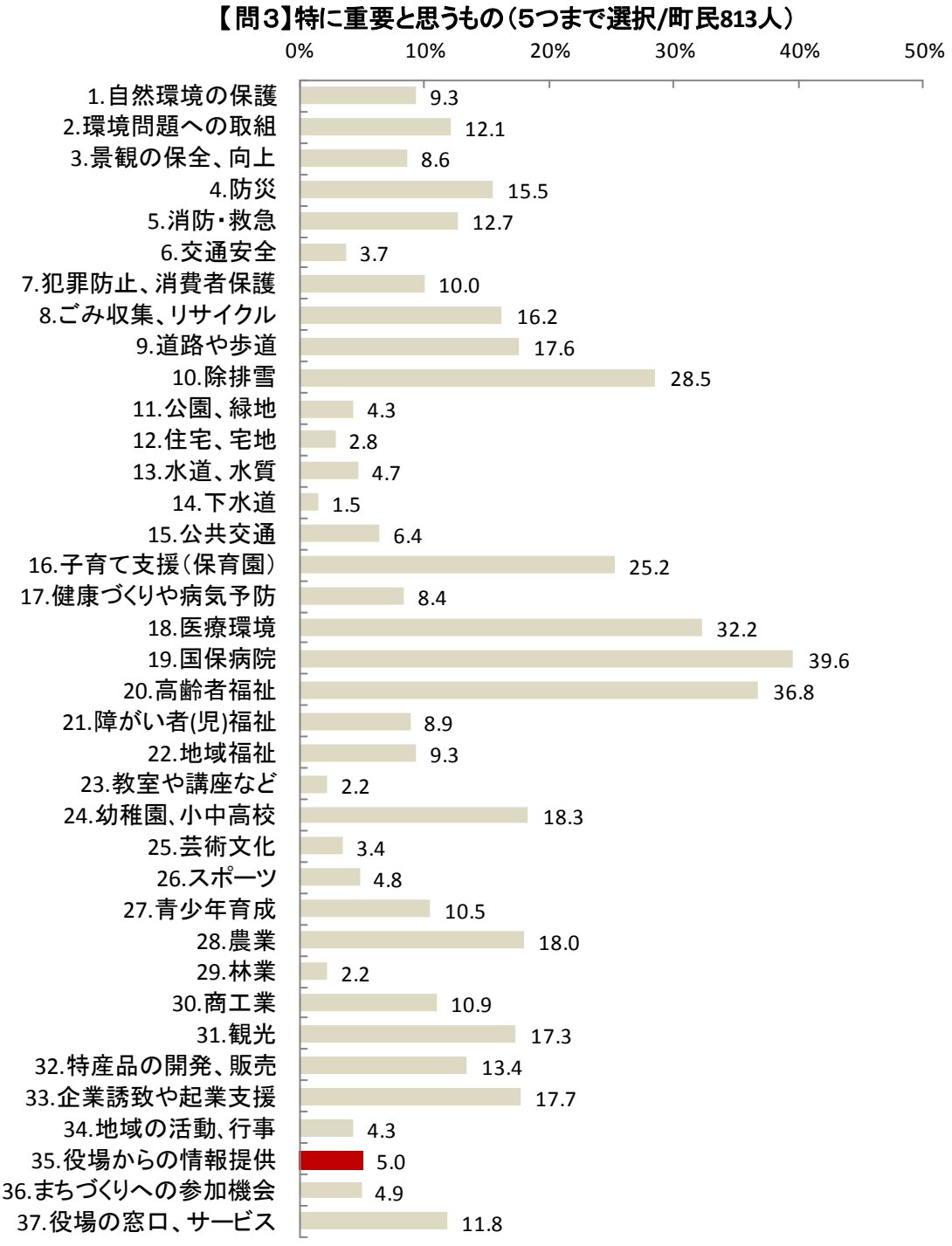
14　広報、広聴

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
広報の充実	広報内容の充実	平成24年度に町民の意見も踏まえ、広報誌のリニューアルを実施し、広報誌の充実を図った。	現在は、業務委託により、民間事業者が編集を行っている。課題として、業者によって編集に差があることがあげられる。	直営での編集体制に戻すことも含め編集体制の検討が必要であり、業者又は町担当者が変わっても一定のレベルを確保できる体制の整備が必要。
	美幌町ホームページの充実	平成23年度からＣＭＳを導入している。平成 26 年度中にリニューアルを予定。	検索性、担当により情報提供頻度や量に差があること、ページごとのデザインに統一性がないことなどが課題となっている。	平成 26 年度に予定しているリニューアルで、課題点を洗い出し、修正する。
	情報提供の多様化に向けた取り組み	平成26年度中のＨＰリニューアルに併せ、ＳＮＳを活用した新たな情報提供を検討している。	ＳＮＳの更新体制やルールの構築、庁内の協力体制を整備することが必要。	平成 26 年度中に実施する予定。
広聴の充実	出前講座などの町民からの相談体制の充実	出前まち育講座を実施しており、講座メニューを増やした中で取り組んでいる。	町民への周知が不足している。	更なる講座メニュー増を図りながら、広報やホームページ等を通じた制度周知に取り組みたい。
	まちづくり懇談会※の実施	地域サポーター制度は昨年度実績がなかった。また、町長の車座トークは出前まち育講座の普及で実施回数は減っている。	人事異動に伴い地区の担当者が頻繁に変更し、併せて活用実態が見られないことから利用しやすい方法を検討している。	町民がより参加しやすい広聴体制を構築したい。
情報公開の推進	積極的な情報公開の推進	広報紙やホームページを通して統計調査結果を公表している。 5 年毎に作成する統計書を発行している。	個人情報保護意識の高まりを背景に、統計調査を取り巻く環境は厳しさを増している。	基礎的な統計データを登載したポケット統計（仮称）を作成し、統計調査に対する理解を求めるとともに、統計調査結果を広く活用できる環境を整える。

※まちづくり懇談会：まちづくりに関する対話集会を複数自治会を単位として、広聴活動と町民のまちづくりへの参加を促進するための懇談会。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏳：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ ぎゅうたろう

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ ぎゅうたろうがときどき公共施設に現れる町

＜広報＞

❀保育園の情報がホームページに載っているが、入れる条件など（保育所を探している人向けに）もう少し詳しく掲載してはどうか。

- 最近の広報「美幌」が読みやすく、親しみやすいデザインレイアウトになり嬉しい。ますますの進化を期待しています。（女性・30 代）
- 広報が変わってから、読みづらくなったように思います。広報は、色々な情報がわかるので大事なものです。（女性・30 代）
- 広報の発行部数について、各自治会に正確に（配布数を）把握していく事。（無駄に多く発行？）（男性・60 代）
- 皆が皆パソコンは持っていません。何でも「ホームページを…」はやめて下さい。（女性・60 代）
- ボランティア活動について。募集の窓口とか、内容を広報に載せて欲しい。参加したくても、美幌町で何をやっているのかも、分からない。（女性・50 代）

＜町の良さを考える、アピール＞

- 国道が４本も交錯する町村も珍しいと思うので、その利便性を生かせるようなピーアールを考えてはどうか。また、近隣の環境や観光スポットと連携したピーアールもほしいところです。ＴＰＰ問題など、農業への大きな影響、打撃も考え、農業中心の産業社会を見直し、観光産業など新しい分野の開拓も必要と考えます。（男性・50 代）
- 国道が交差する町内なので、物流の拠点として企業が集まれる場所だと思う。国道４本と女満別空港、この立地はほかにない町なので、観光も含めもっと全国にアピールすべきだと思う。また、リリ山、農業博物館、峠の湯、美幌峠、知床などの導線を結び、ちょっと暮しが出き、農業体験などできる施設があればもっと美幌の良さが出ると思う。（男性・40 代）
- 「美幌町」といえば○○○…というようなものが、今のところピンときません。それはそれで構わないのですが、何か物足りない気がするときがあります。全体的にとても住み良いまちだと思いますが、美幌町ならではのアピールポイントがあっても良いように思うことがあります。それが何なのか？１０年以上住んでいますが、思い浮かばないです。（40 代）
- 人口減少の中で、何か魅力あるものがなければ、この町に人は集まらないのではないでしょうか。「美幌って、何？」…と聞かれると、う～ん…となってしまいます。（男性・40 代）
- 魅力のある街ってどんな街？魅力の無い街ってどんな街？「美幌って何があるの？」と聞かれた時、何も答えられない…（女性・50 代）
- 海外、国内、道内、各市町村の議員の方々は、視察に行かれ勉強されている事とは思いますが、長年町に住んでいて、その努力の成果が形となって出てこないのが残念に思ってい

ます。身近な例で、東藻琴の芝桜、小清水町では企業の誘致、美幌町ではと云う誇れるものが欲しい。（男性・70 代以上）

- 美幌＝スカイスポーツが、今イチつながらない。（女性・30 代）
- 道内で何か一番のものを見つけ（作り）、推せる何かが必要！！今の美幌は特筆すべきものは何一つ無い。
- 特に住みづらいこともなく、特徴のない町だと思います。その“特徴のなさ”をまちづくりに反映できないでしょうか？“ゆるキャラ”ならぬ“ゆるまち”とか…。（男性・30 代）
- 美幌はオホーツク管内で大きな町ですが、イメージが薄い。目玉がない。○○といえば美幌だ！というものがほしい。（男性・50 代）
- 美幌を知ってもらい、暮らしたいと思ってもらえるように、何か１つメインとなるものが出来ればいいと思います。（男性・10～20 代）

○ 住みやすいまちではあるが、特徴に乏しい。宣伝能力も弱いです。他自治体との差別化を図る。例えば、○○で日本一（世界一）。何かでギネスに挑戦してもいいと思います。バイオマスエネルギー、道内でも珍しい小水力発電を導入していることから、自然エネルギー利用のまち（スマートシティ）として。農産物を活かした特産品を作る。ブランド化ということで、まちで統一化を図る。牛やら、豚やら、よくわかりません。

○ 災害が少なく交通の便が良く、自然豊かな地域であることを活かしたまちづくり。災害時における被害を分散するための、人及び企業の誘致

○ カントリーサインの変更。美幌＝パラグライダーの街は今の時代にそぐわないと思います。事実恵庭市が何の特色もない標識を変えてイメージが変わったと数年前のニュースで拝見しました。美幌峠だけのサインにしてみては・・・。

<キャラクター>

☺ ぎゅうたろうに「ぎゅうこちゃん」もつくってほしい

☺ ぎゅたろうのグッズをつくってほしい

☺ ぎゅたろうがもっと迫力のある、イケ面になってほしい

✪ ゆるキャラの変更

- 変わった宣伝をすると良いのでは。たとえば（ふなっしー）みたいな着ぐるみで美幌と分かる物など（女性・50 代）
- ゆるキャラをもっとＰＲしたほうが良いと思う。菓子店に頼んで、ぎゅうたろうのクッキーやケーキを作って売ってもらうとか、町でぎゅうたろうの絵が入ったお皿やジョッキを作って居酒屋で使ってもらうとか、シャーペンや消しゴムを作って小中高生に配るとか。（女性・10～20 代）
- 美幌町のゆるきゃらとして「ぎゅうたろう」がありますが、とてもかわいいとは言えないし、新たなものを町民から募集して作ってほしいと思います。美幌には、売りとするものがないので、美幌と言えば！というものがほしいです。（女性・60 代）
- ゆるキャラが気持ち悪い。おでこの「美」が痛そうで、頭痛がしそう。牛の町ではないし、作った人々に美幌の町を理解してほしい。（女性・60 代）
- ゆるキャラを新しいキャラクターにすると良いと思う。かわいくないから。（女性・30 代）

○ 美幌町ではイメージキャラクターをビーボちゃんと決めたのにゆるキャラはぎゅうたろうという矛盾したことをしていると思います。イメージキャラは何を根拠に決定したのか不思議でしょうがありません。

15 広域行政

（2）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
広域事業の推進	広域による効果的な行政活動の推進	国や道に対しての要望活動。協議会事業の参加。	各自治体とも広域連携の必要性を感じていないように思われる。	効果的な広域連携を推進するため、今後とも関係自治体と足並みを揃えた中で事務事業を進めていきたい。
市町村合併の検討	市町村合併についての調査、研究	特になし	合併の必要性の意義。各自治体の住民感情の相違。	平成の合併事業は収束したことから、じばらくは取り組みがないものと解します。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

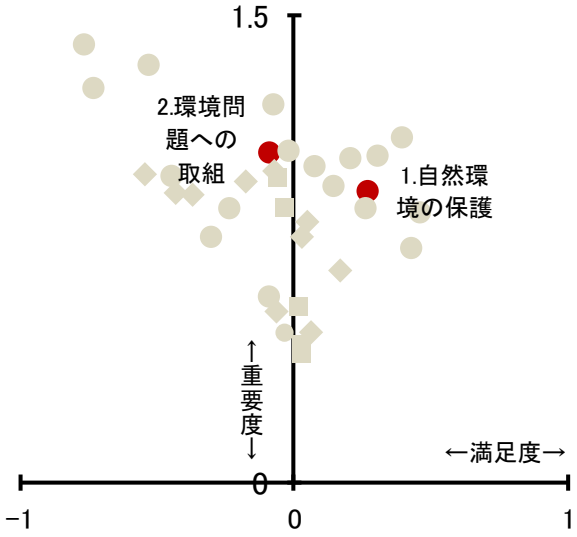
○ オホーツク州（仮称）建国準備。人口減少の中生き残ってゆくために北見を中心とした広域連携のあり方を模索する話し合いの場を創らなければならない。商業・娯楽地区や居住区といった住み分けが必要であり、そのためのインフラ整備計画を作成すべき。

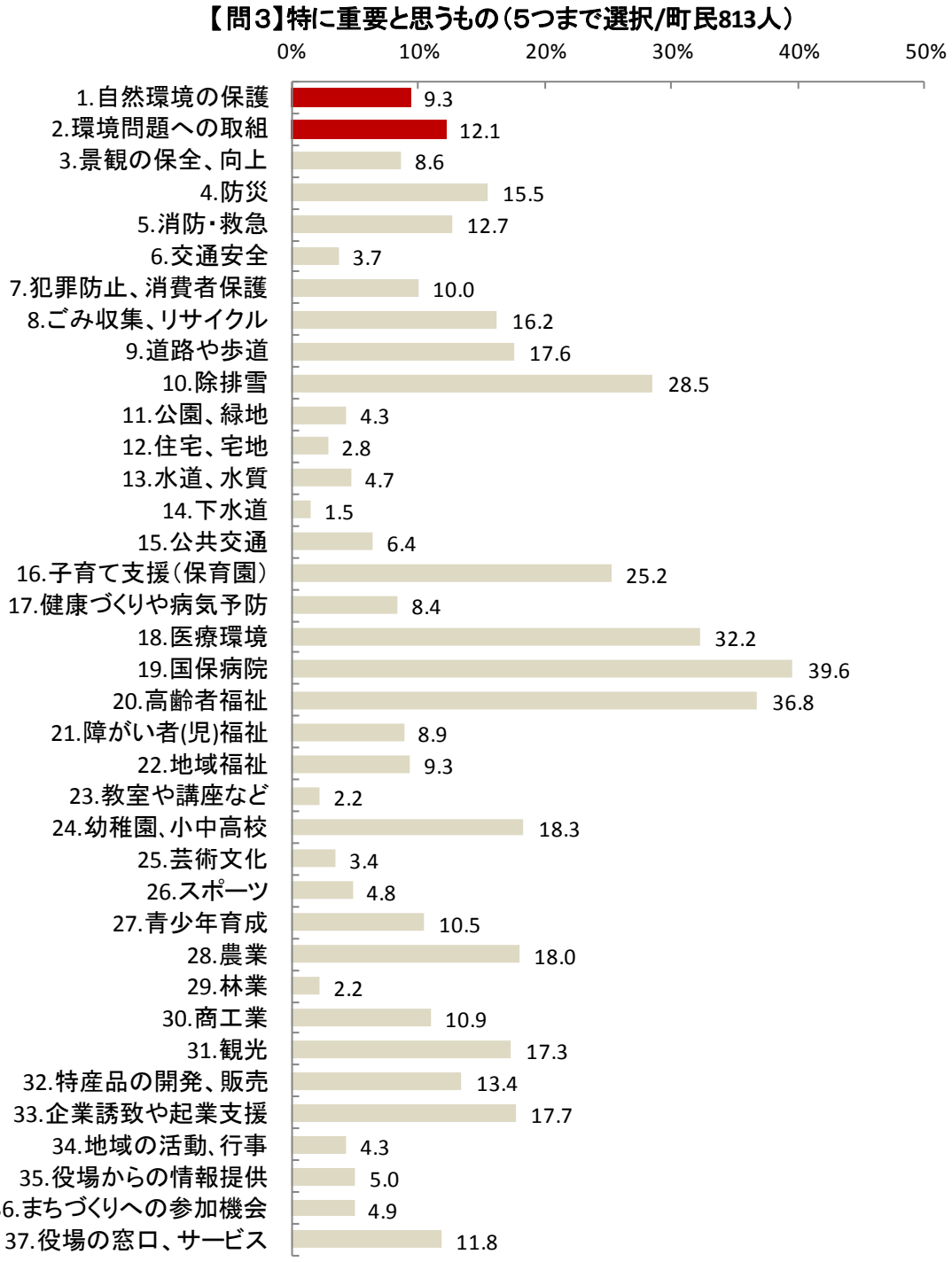
16　環境保全

（１）関連グラフなど

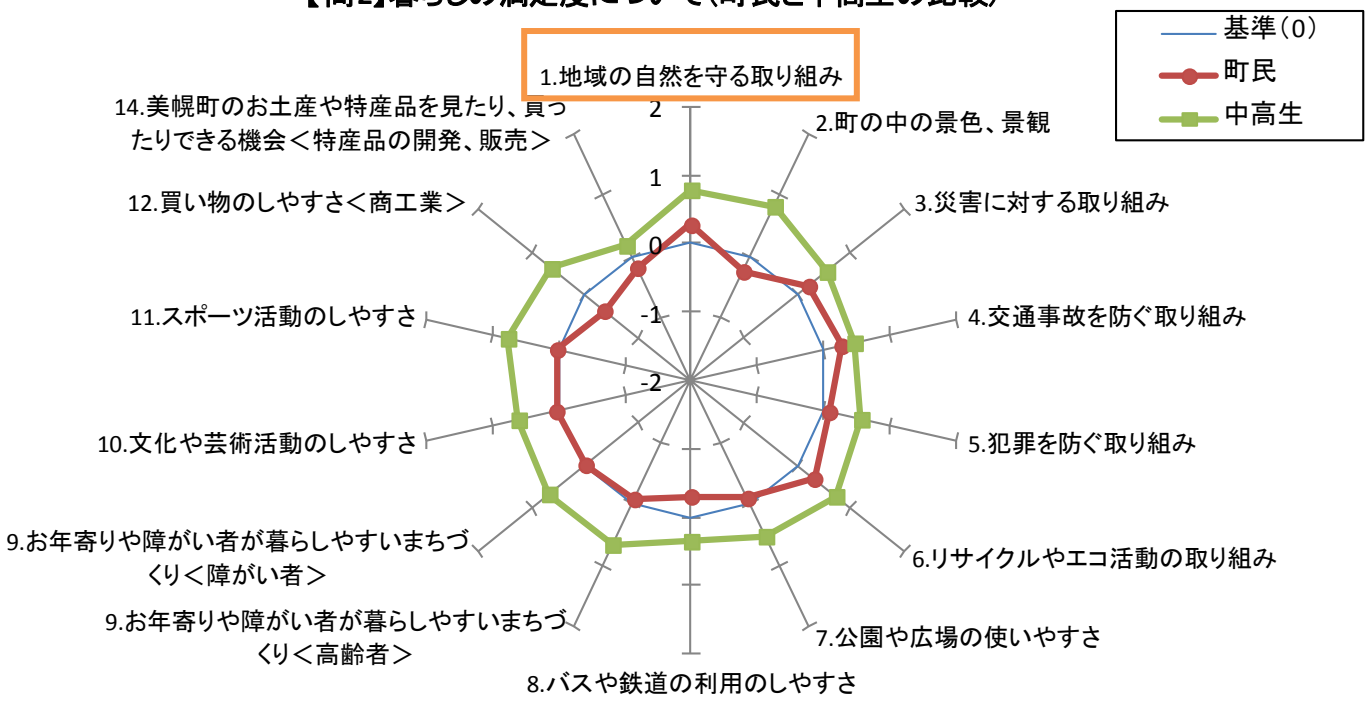
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

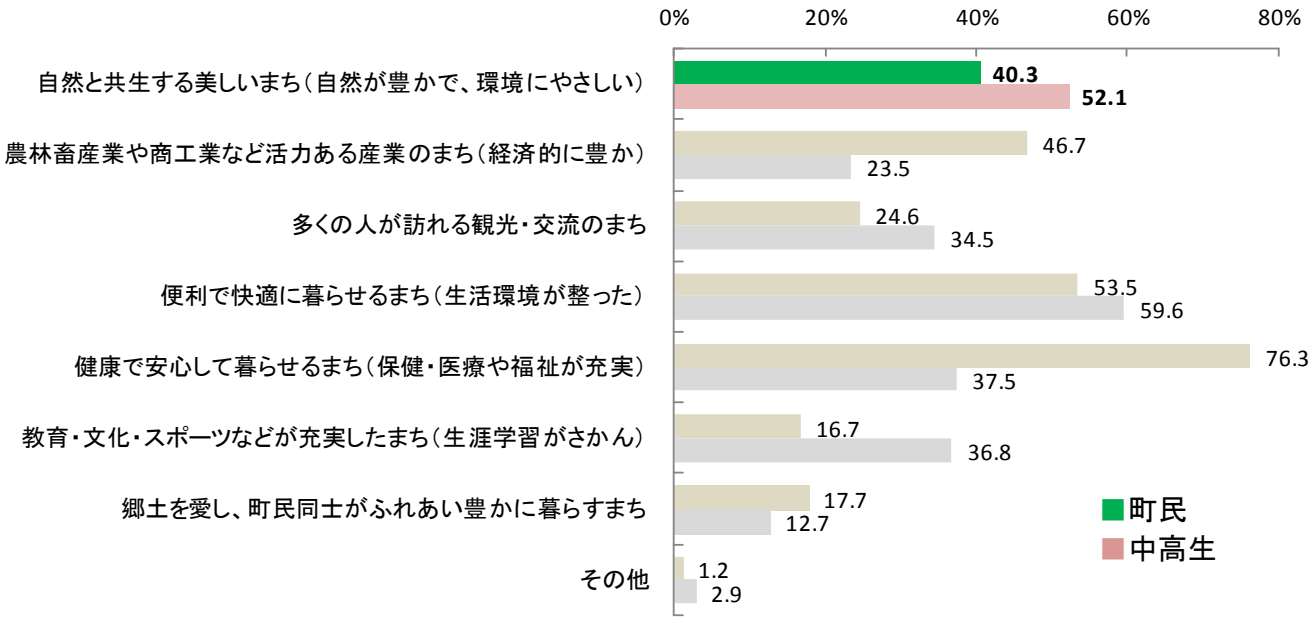




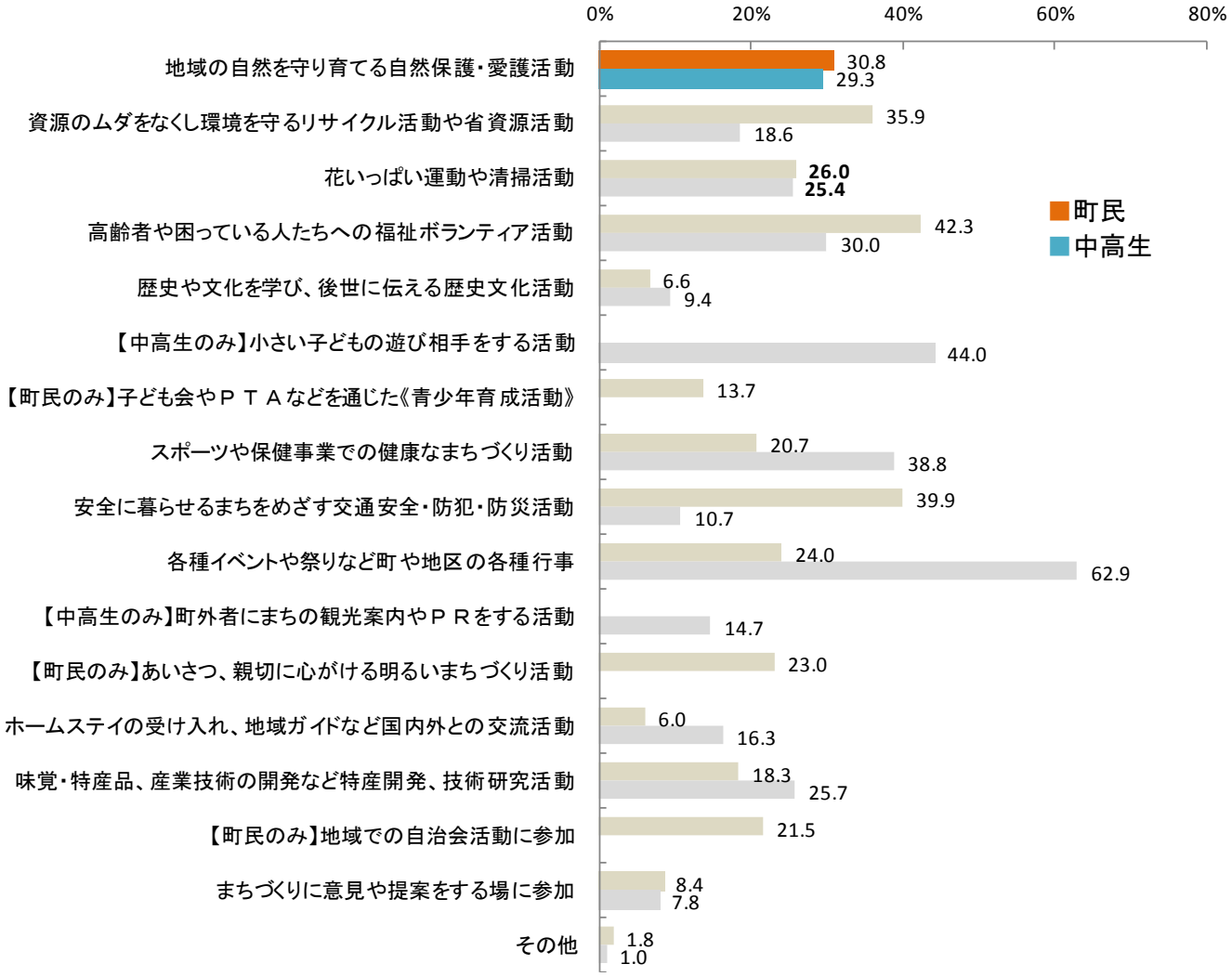
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
環境共生※に向けた総合的な取り組み	地球温暖化防止対策の実施	平成25年6月から11月迄の第3金曜日をノーカーデーとして実施。		地球温暖化防止のため、継続して実施していく。
	営農用水確保のための調査、研究	国営事業により西幹線頭首工の水田用水利権を、畑地かんがい用の水利へ調査検討中。	水量不足により、水利再編でなければ新規水利権の取得が難しい。	調査検討し、事業化に向け地元農業者等の意見を聞きながら検討していく。
	畑地かんがい用水確保のための水利再編の調査	同上	同上	同上
自然環境の保護	自然環境保護の意識高揚	動植物生態調査は継続して進めることができ、その成果を利用した講座運営や企画展等を開催することができた。その成果は、報道等にも多々取り上げられ、広く町民に対して自然環境保護の意識高揚に貢献できたと考えられる。	学校教育等の場で、自然体験授業の要請が年々大幅に増えており、対応できる職員の増員が求められる。	継続して、調査研究活動、展示活動、教育普及活動を通して、自然環境保護の啓蒙に努める。

	自然保護に関する関係団体、部局との協議体制の整備	魚無川一斉清掃活動を実施しています。		河川愛護、環境美化のため今後も継続して実施します。
	自然保護に関する調査、教育、啓蒙活動の推進	環境緑地保護地区（町内２箇所）の保全に努めています。	近年風倒木が散見されるようになりました。	貴重な自然が失われることがないよう今後も継続して実施します。
公害の防止	関係機関との連携による巡視活動の強化	北海道１級河川環境保全連絡協議会網走地方支部と連携し、水質事故訓練へ参加しています。	年間数件の油漏れ事故が発生しています。	河川流出事故が発生した場合、下流の大空町及び網走市へと被害が拡大するため継続して参加します。
	監視・指導体制の強化	騒音、振動防止のため、監視を強化しています。	悪臭による苦情が有ります。	発生源である原因者を指導していきます。
	公害に関する企業の危機管理意識の醸成促進	町広報により周知しています。	企業による公害等は発生していません。	公害の発生を未然に防ぐため監視活動していきます。

※環境共生：人間も生態系の一部であることをふまえ、環境への負荷をなるべく減らして生活をしていくこと。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 川がきれい

☺ 釣りができる場所

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 木が増えて、鳥や動物が多い

☺ 野良猫がいない町

☺ 木が多い

☺ 青空がきれい

☺ 自然がゆたか

☺ 空気がきれい

☺ 水がきれい

☺ 美幌の自然をなくさないでほしい

✪ 景色の良さや自然の豊かさを生かしたまちづくり

✪ 最近が自然が減っている一方だから減らしたらまた増やしてほしい

✪ 自然を大切に

✪ 美幌川の地形を壊さずその周りの木々を切らないでほしい。魚や鳥や虫が住みづらくなっています。

● 自然環境の充実。みどりの村の活用等。（60 代）

● 山林が少なくなって畑になり、災害などの原因に成るのでは。山林も必要だと思う。（山の動物も住みにくくなると思う。）（男性・70 代以上）

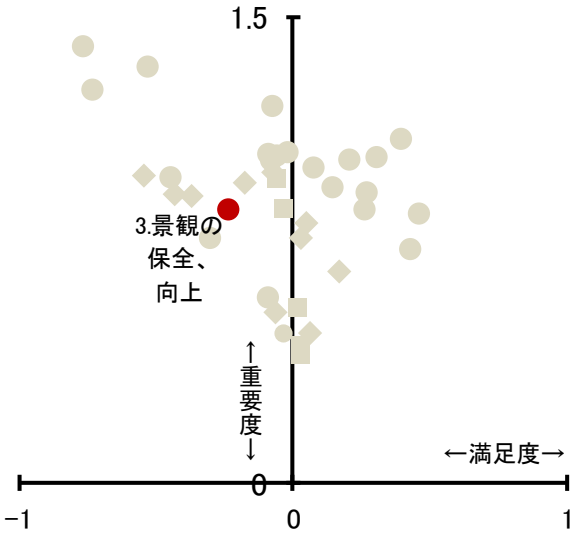
● 魚無川の奥の池に水を入れる整備をして欲しい。（女性・60 代）

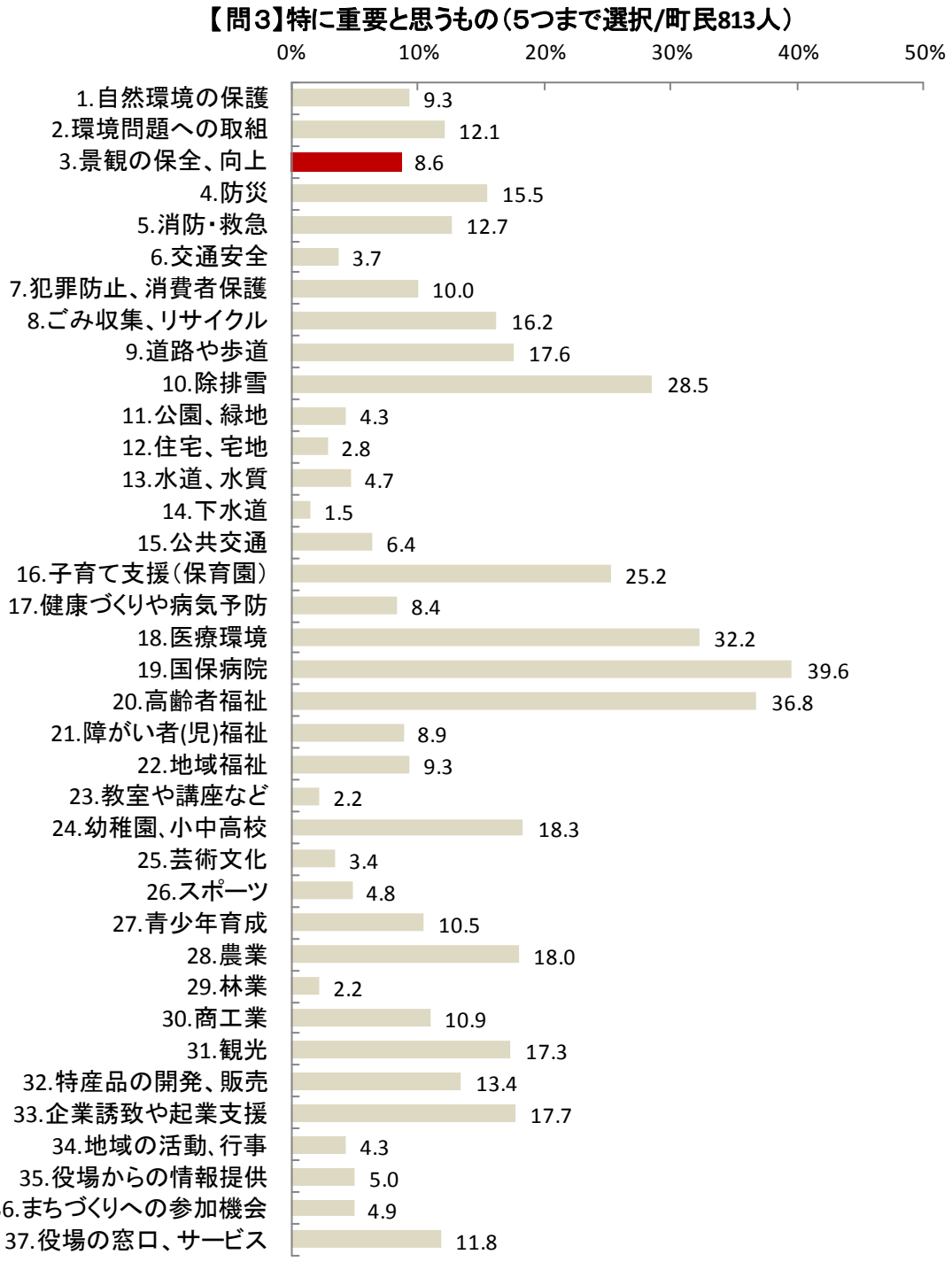
17　環境美化

（１）関連グラフなど

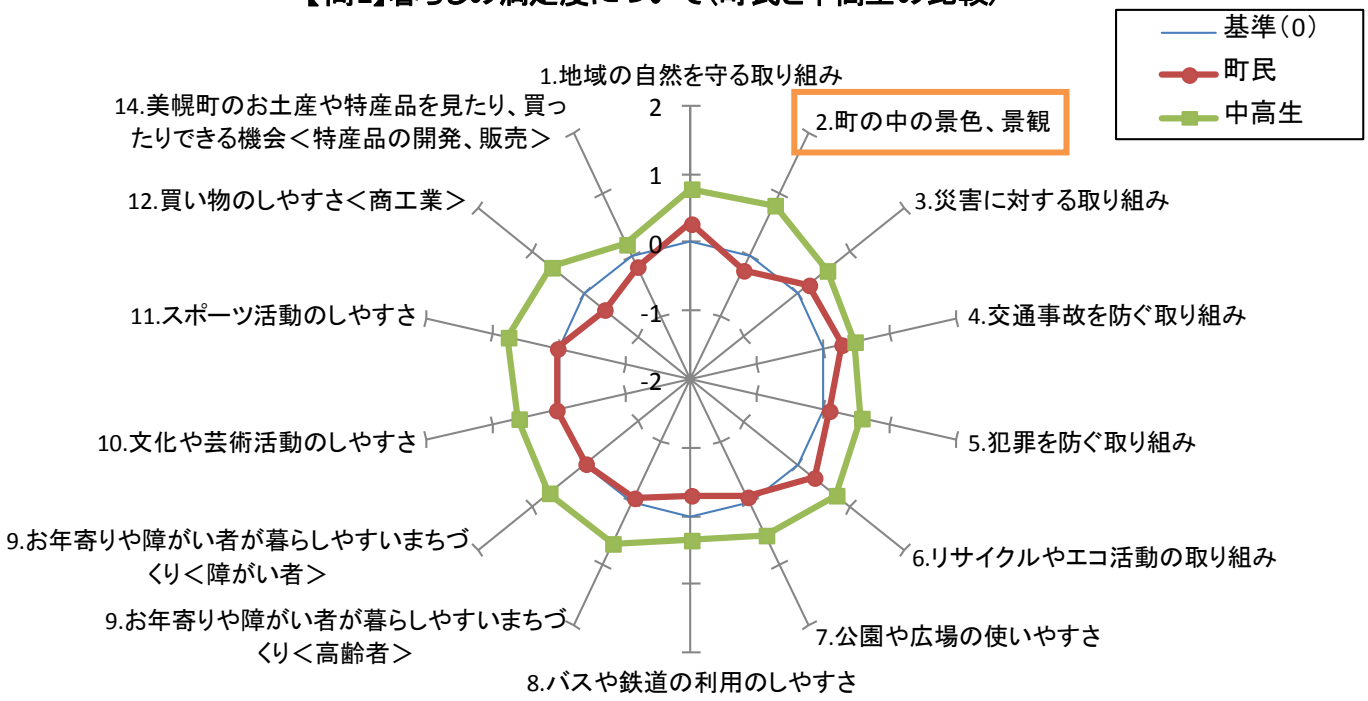
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

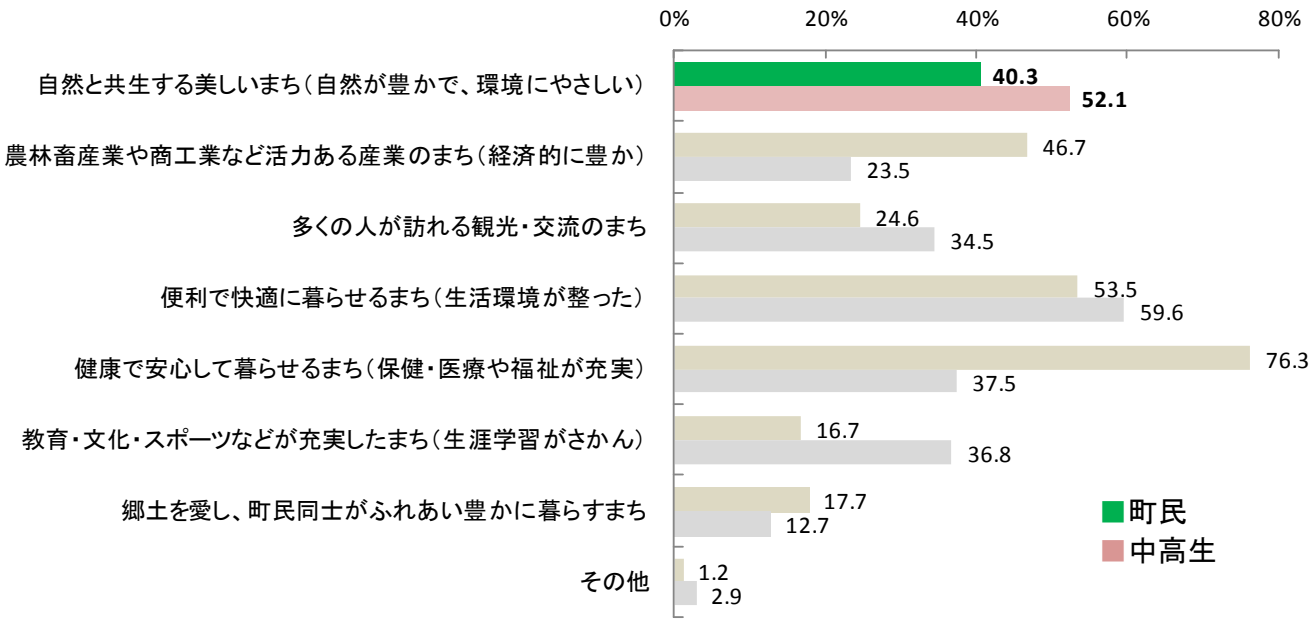




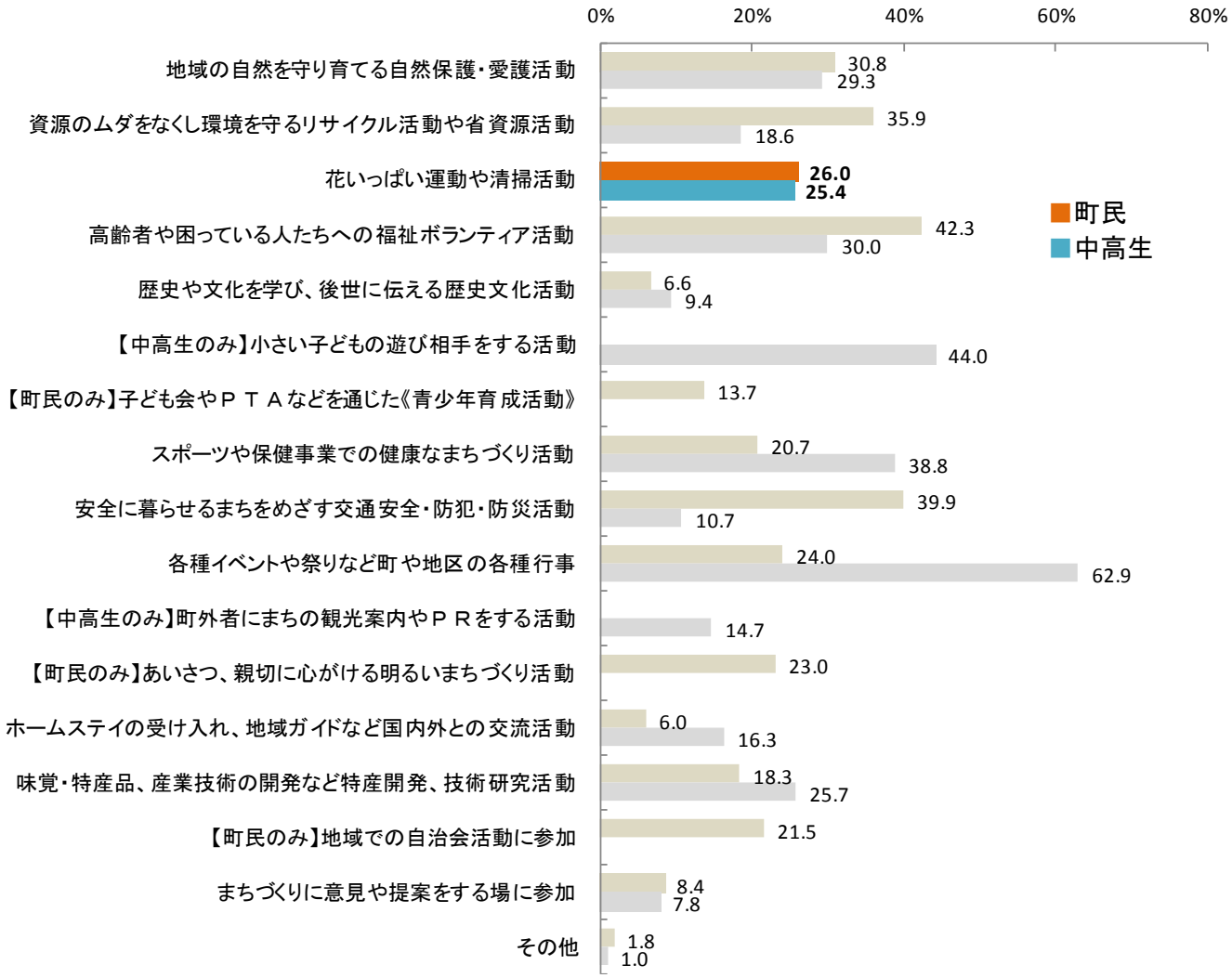
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



【問７】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
環境美化活動の推進	地域における清掃活動の推進	自治会連合会衛生部会により、年３回町内一斉清掃を実施しています。	不在地主等による空き地が増加してきています。	環境美化活動推進のため協力して実施していきます。
	美しいまちづくりに向けた住民意識の高揚	自治会、企業、団体等によるボランティア清掃活動へのボランティア袋支給を実施しています。	ボランティア活動によるごみの搬入量が増加してきています。	環境美化活動推進のため今後も配布を続けます。
	関係団体の支援と連携強化	自治会連合会衛生部会と共同で、不法投棄防止看板の設置を実施しています。	不法投棄防止看板を毎年設置しているが、不法投棄がなくならない。	不法投棄防止のため今後も継続して実施します。
不法投棄対策の推進	不法投棄の未然防止や早期発見対策の推進	委託業者により、町内全域を対象として不法投棄巡回パトロールを実施しています。	年間 40 件程度の不法投棄が発生している。	不法投棄根絶を目指してパトロールを強化します。
まちなみ景観の向上	まちなみ環境整備事業※の推進	自治会、公共施設を対象として花苗を無償配布。（平成 26 年度約 95,000 本）	花苗の配布本数が年々増加し、生産体制の拡充が必要となってきています。	環境美化のため、今後も継続して実施します。
	花や緑による景観の向上			フラワーマスター連絡協議会と連携し、花いっぱい運動を推進していきます。

※まちなみ環境整備事業：景観に配慮された緑や花のまちなみを整備するため、植栽や緑化運動、環境にやさしいまちづくり運動など環境美化を進める取り組み。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏳：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 桜

✪ 花を増やしたほうが良い

✪ 国沿いの草を刈ってほしい

✪ 町民が道路に花を植える機会がほしい

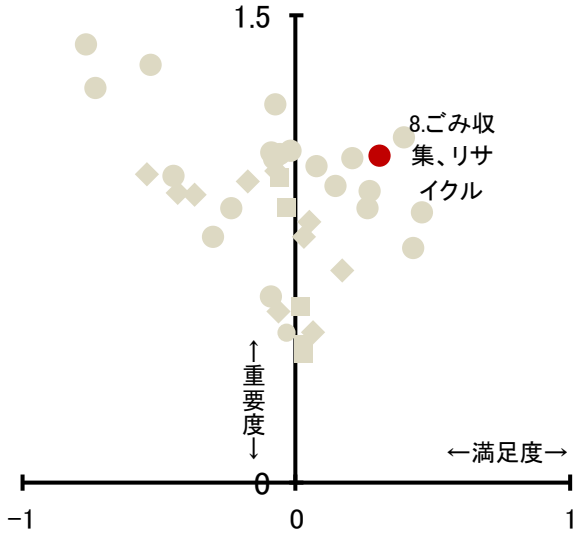
- 美幌療育病院の裏側（林の中）の歩道が舗装され、また大きな木の手入れも行き届き、元気に生育し、すばらしいと思います。（男性・70 代以上）
- 美幌町は樹木の手入れが悪すぎる。木を良く見て手入れして下さい。（女性・70 代以上）
- 農業をやっている者ですが、春には、道の脇にカンや食べ物のゴミが山の用に投げてあります（畑の中に入って来ている）。（女性・50 代）
- ビボロ川の土手に桜並木を。（60 代）
- 道路端に車からゴミ芥を捨てる人が多い。他から来る人かはわかりませんが…。美幌の町の中の道路を歩いていると、他の町に比べて、道路端に捨てられているゴミが多い気がする。タバコの吸い殻が特に多い。ダラシナイ人がいる。（男性・70 代以上）
- 白樺を減らしてくれるとうれしいです。（女性・40 代）
- カラスが多すぎる。歩道がフンで真っ白になり、襲われる。ケガ人が出ないと何もしない、悪い行政が出ている。（男性・30 代）
- 花や緑あふれる町。（女性・30 代）
- 他の町に行くと、道路に花が植えられていてとても気持ちが良いです。（女性・60 代）
- よその土地に行って感じるのは、花がきれいな事です。美幌にも、パークやところどころにでも、花があって心安らぐ空間が欲しいです。（女性・60 代）
- 今最高の花の季節で、お花がきれいです。美幌の町の中に花だんはありますが、花が植えられず草だらけで残念です。花の季節は、美幌の地域の皆様の活動で、街の中がどこの街よりもきれいと言われたいですね。花植に、力が入っていない気がします。花と共に心もきれいに、ね。（女性・70 代以上）
- 美しい町並みをつくる為の花いっぱい運動で、街路地に植え込む花をもう少しお金のかけたものにすると良いと思います。現在の花は、流行遅れのマリーゴールド等、毎年ありふれた同じ様な物ばかりで、街並をキレイにしようとは思われません。毎年、お金もかかるし、思い切ってアジサイやモクレン等、最初はお金がかかりますが、毎年咲いてくれて手間もかからず、お花も非常にキレイです。欲を言えば、恵庭の様に、町全体が、家庭がオープンガーデンを開いている様な町造りが理想です。（女性・60 代）

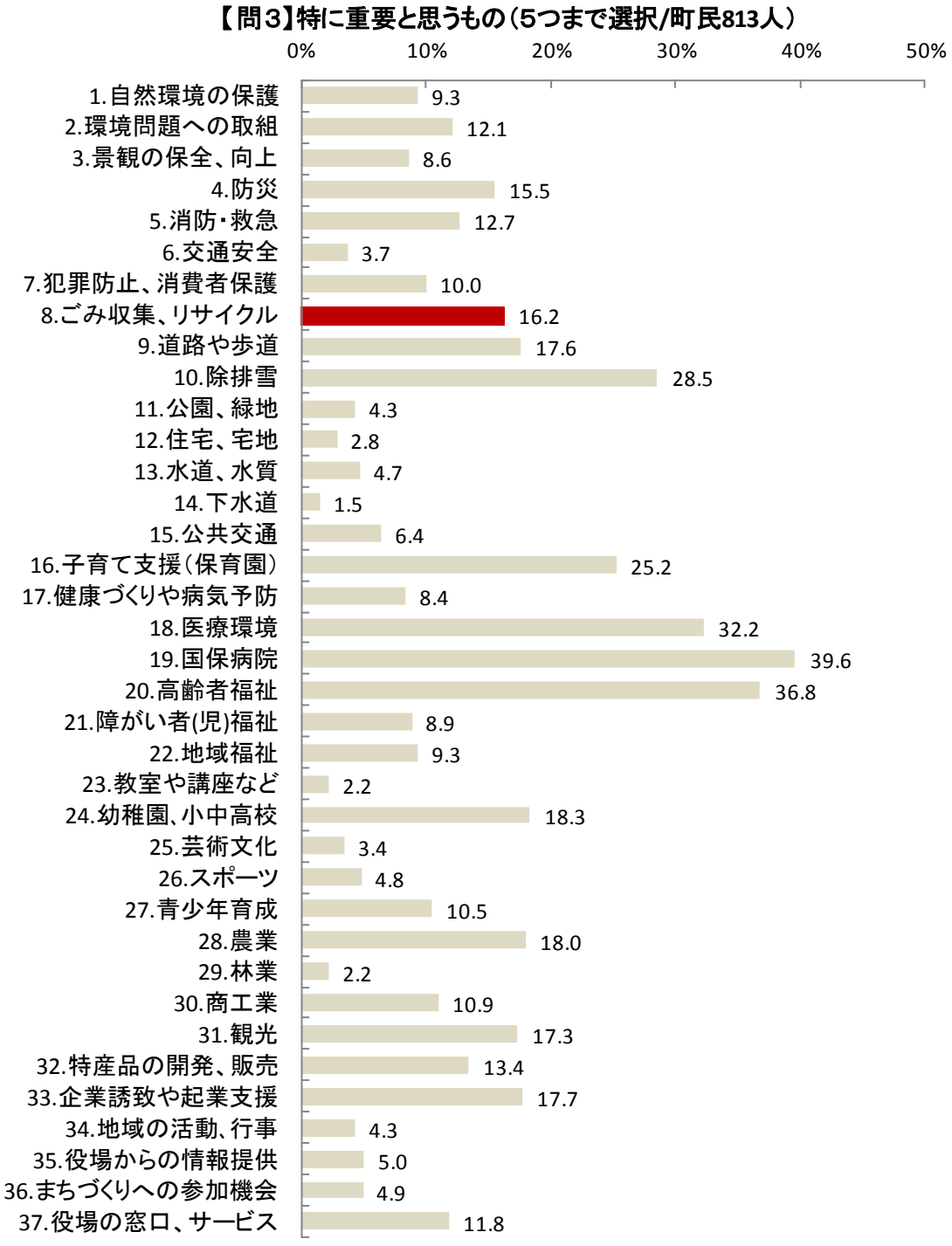
18 ごみ処理、リサイクル

（１）関連グラフなど

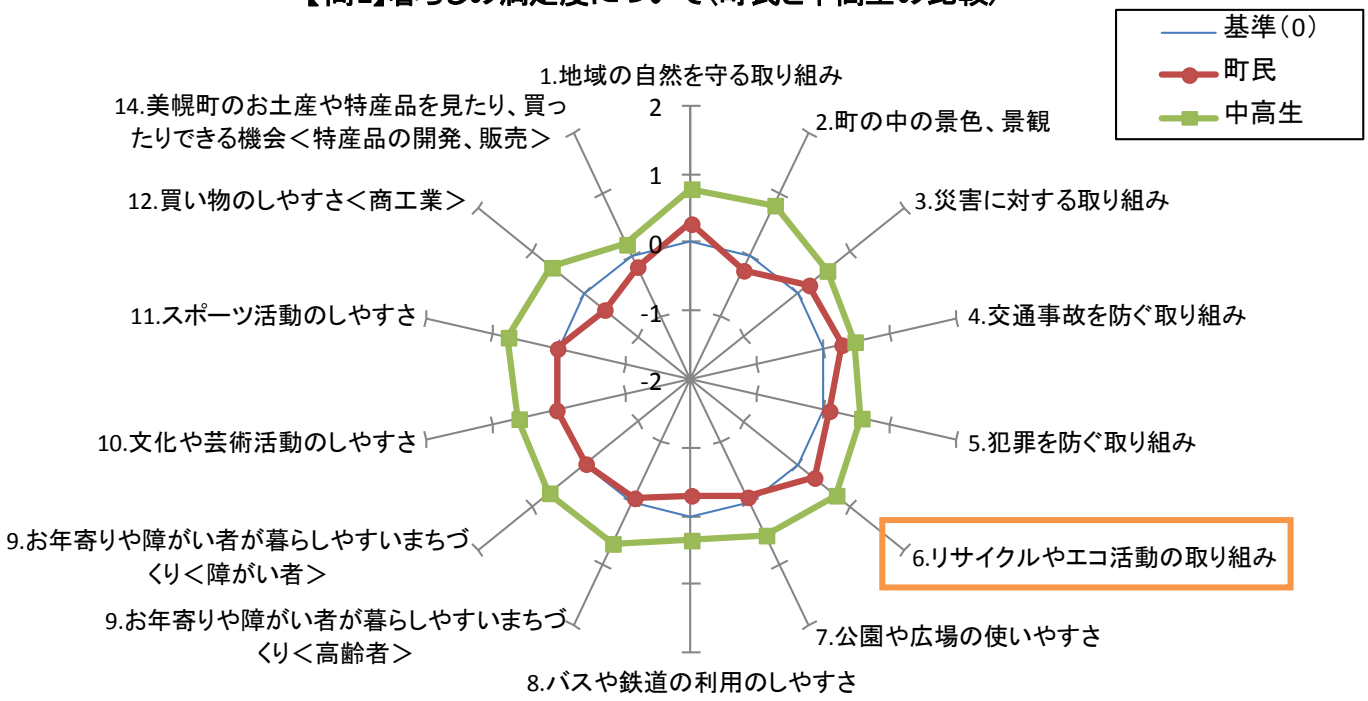
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

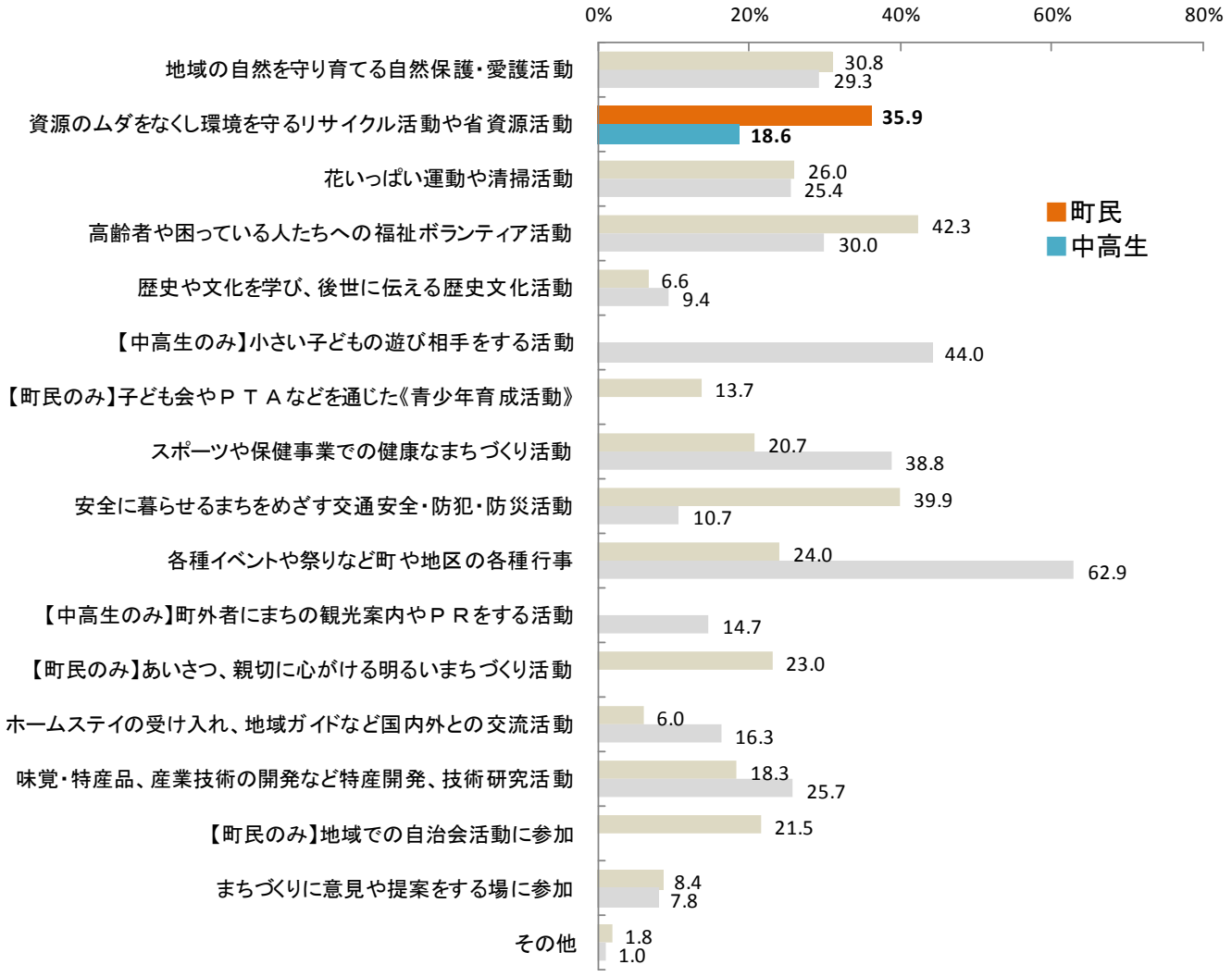




【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
ごみ処理体制の充実	資源物分別の徹底	平成 25 年 5 月より、農村地区の一般ごみ収集を月１回から２回に変更しました。	一般ごみの年間埋立量が、微増となっています。	一般ごみに混入される資源物の分別を強化します。
	埋立最終処分場の造成整備	平成 23 年度完成		
	ごみ処理施設の適正な維持管理	各処理機械の修繕は、毎年度計画的に行い、不測の事態に備えています。	使用する処理機械の耐用年数が経過しているものが有り、更新の必要があります。	計画的に更新していきます。
ごみの減量化とリサイクルの推進	３R※の推進	平成 23 年度より、使用済み小型家電の回収を無償で行っています。	回収ボックスの投入口が 30cm と小さいことから、制約があります。	資源リサイクル、ごみ減量化のため、継続して実施します。

※３Ｒ：ごみを減らす「リデュース Reduce」、限られた資源を繰り返し使う「リユース Reuse」、資源を再利用する「リサイクル Recycle」の３つの意味。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ ゴミがない、きれいな町（多数）

☺ 公園にゴミがある
☺ 道路にゴミが落ちている
☺ タバコの吸い殻が落ちている
✪ ゴミを拾う活動をしてほしい
✪ ポイ捨てをなくしてほしい
✪ ゴミのポイ捨てをなくすように呼びかけたらいいと思います
✪ ポイ捨てがなくなるようにゴミ箱を置くと良い
✪ 祭りの時のゴミが気になる
● 指定ゴミの回収が週に１回では少なすぎる。最低週２回希望。（男性・40 代）
● ゴミ収集で、暑い日、寒い日走っている姿はありがたいですね。（女性・60 代）
● ゴミ拾い大会～チームに分かれてゴミ拾い。多く拾ったチームが優勝。景品はゴミ袋１年分とか。（女性・10～20 代）
● ゴミ収集日の件で、出す日が決まっていますが、不在でゴミが捨てられない場合があり、毎日ゴミが出せるようにして欲しい！（男性・40 代）
● ごみ収集が現在は週１回ですが、週２回あるといいと思う。（女性・60 代）
● ゴミの回収頻度を上げてほしい。（男性・40 代）

- ゴミの収集が少ない。可燃が週１だと、夏場に二オイが気になる（子供のオムツが特に）。資源も隔週くらいにしてもらいたい。（女性・10～20 代）
- ゴミの収集を増やして欲しい。（女性・30 代）
- ごみ収集、週１回ですが、せめて週２回にして欲しい。ウジがわいて、座敷の冷凍庫に氷らせて出している婦人もおります。（女性・70 代以上）
- 環境を考える上で、ごみを埋め立てしていくというのは良くないと思う。他町村と共同でもよいから、ごみの焼却施設を持つべきでは。（女性・30 代）
- 他の市町村から引っ越してきましたが、美幌町のゴミ収集日の少なさに驚きました。今までいろいろな所で生活してきましたが、ゴミの収集日がこんなに少ない町は初めてです。特に資源ゴミ（ビン、缶、ペットボトル）の収集が月に１度というのは少なすぎです。アパート暮らしなので、たまったゴミを置いておく場所もなくて困っています。１日も早い改善をお願いします。（女性・40 代）
- ゴミの回収日が少なすぎる。もっと小さい町でも燃えるゴミは週２回、資源ゴミは毎週あった。（男性・30 代）
- 転入してきた者から見ると非常に良い街で暮らしていて困ることはほとんど見当たらない。ただ、ゴミの収集回数はもっと多くても良いのでは。特に夏場は、札幌よりも暑くなってしまうような地理的要因からも、臭いの発生源となったり、虫が湧いてしまうような可能性もある。夏場に限り収集回数を増やすといったことは不可能だろうか？無理を言っているようで申し訳ないような気もするが、深刻な問題であると感じている。勿論、洗ってから捨てれば臭いも軽減されるが、今後は水道代が高くつくかもしれない。ただ、それ以外は現状とても満足しているし（まだ美幌で冬を越していない為分からないことも多いが）、転勤さえ無ければ住み続けたい。（男性・10～20 代）
- 他の市町村と比べ、ゴミの収集が少な過ぎる。特に燃やすごみ。（男性・10～20 代）
- 美幌に引っ越して来て２年目ですが、近くにスーパー等も有り、最初は生活するにあたり住みやすいと思いましたが、ゴミの回収日が少なく、夏場は家の中に置いておく訳にもいかないし、ビックリしたのと、嫌にもなって来ました。（女性・30 代）
- 資源ゴミの回収を増やすべき。（女性・70 代以上）
- ゴミ（収集）の日。我が家にはベランダがありません。子どもはオムツをしていてゴミが大量に出ますが、ゴミに出せるのは週に１度。ベランダがあれば、ベランダでゴミの日までいっぱいになったオムツを管理できますが、ベランダがないので、家の中でゴミの日を待つばかり。週に２度の回収だと助かります。（女性・30 代）

○ リサイクル施設を町の中心部につくる。資源ゴミや粗大ゴミの集積所を町の中心部につくりリサイクルの推進を図ってエコタウンとなる。人々の集いの場となるような取り組みをする。現状ではリサイクル施設は登栄にあり持ち込みも可能であるが市街地から遠いため、車がないといけない。資源ゴミの保管場所が不足している方や、高齢者など分別が難しい方もいる。

○ 冬期間にすべり止めとして散布しているビリ砂利は春に回収していますが、再利用できるものは僅かで、大半が産廃としてお金を払って処理していると聞きます。捨てるなら欲しいです。欲しい人に無料又は運賃程度の金額で配布し、産廃処理費用の軽減を目指す。

19 墓地・霊園、火葬場

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
霊園の維持管理	びほろ霊園の造成	市街共同墓地、柏ヶ丘霊園伴に近年墓地区画の返還があり、空き区画が増加していることから、びほろ霊園の新規区画造成を見合わせているところです。		市街共同墓地、柏ヶ丘霊園の空き区画の状況により、びほろ霊園の新規区画造成を判断します。

（３）意見、提案

☺：**小学生**　✪：**中高生**　❀：**育児ママ**　⚐：**自衛隊**　⌘：**高齢者**　●：**町民**　〇：**職員**

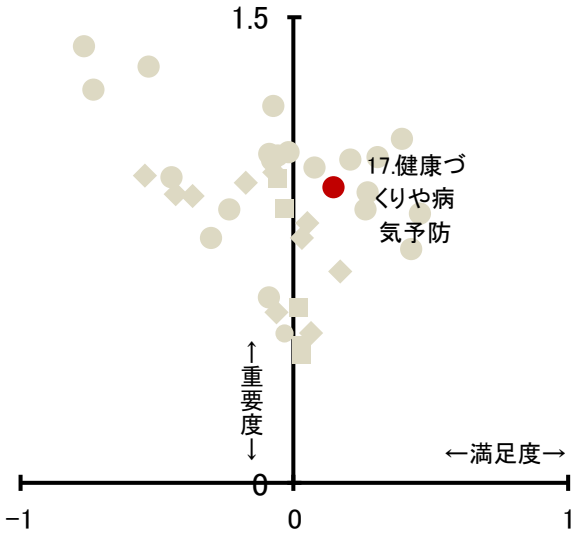
- 墓地（新）の確保はいつ出来るのでしょうか。出来るだけ早く新しい土地を確保して戴きたい。予定されている土地は素晴らしいと思いますので、努力され確保されることをお願い申します。（男性・70 代以上）
- みんなが入れる共同墓をつくる。後々子供たちに負担をかけるのは不本意。これは、少子化の時代、必然的な流れでもあるようだ。後世を憂うことなく、美幌で一生を過ごしたいので。（男性・60 代）
- パークゴルフ場の建設よりも、美幌町は高齢者が多いので、永代供養施設を建設してほしい。（70 代以上）
- 外側を飾るのではなく、低所得でも住み良い町に。漠然としていますが、私のさしせまった不安は、高価な墓や納骨堂購入は不要と思っていますが、自分のお骨の落ち着き先です。北見ではもう合同墓の建設に取り組んでいるとか。どうぞ安心して老後をむかえられる様、合同墓の建設の検討をよろしくお願い致します。（女性・50 代）

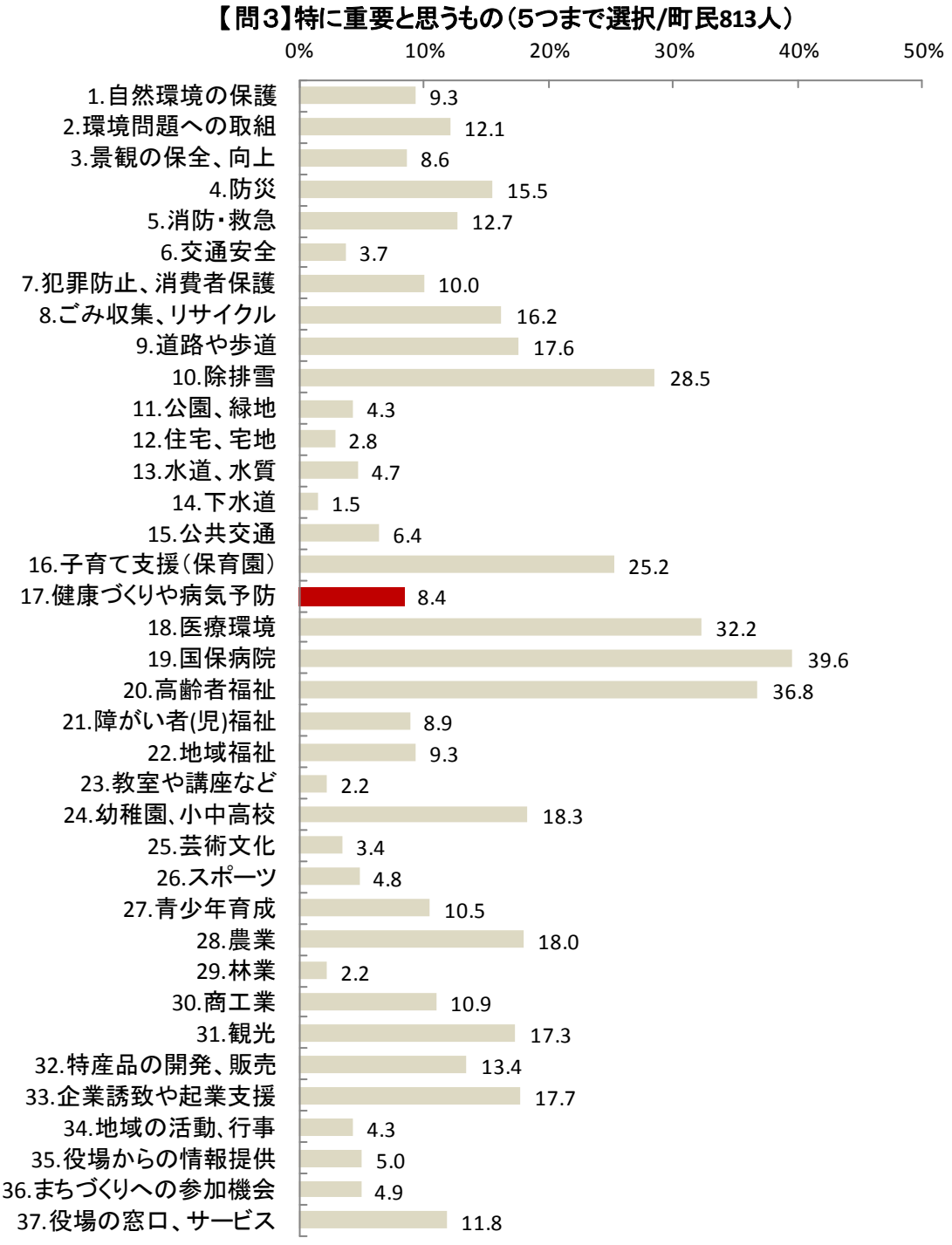
20 保健

（１）関連グラフなど

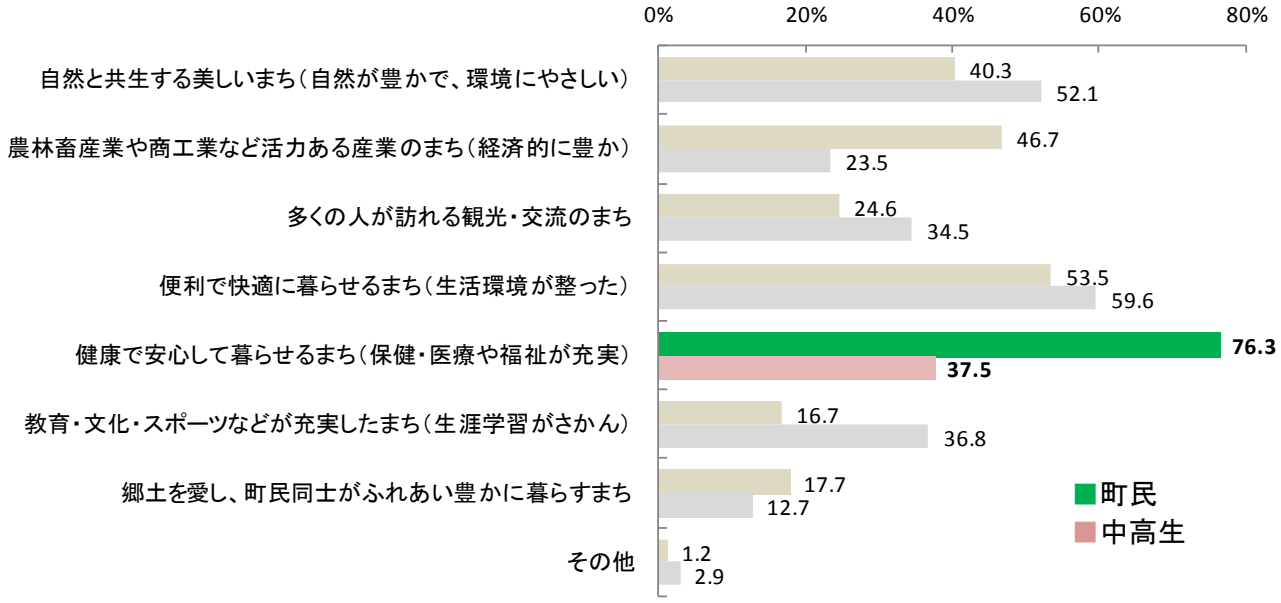
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

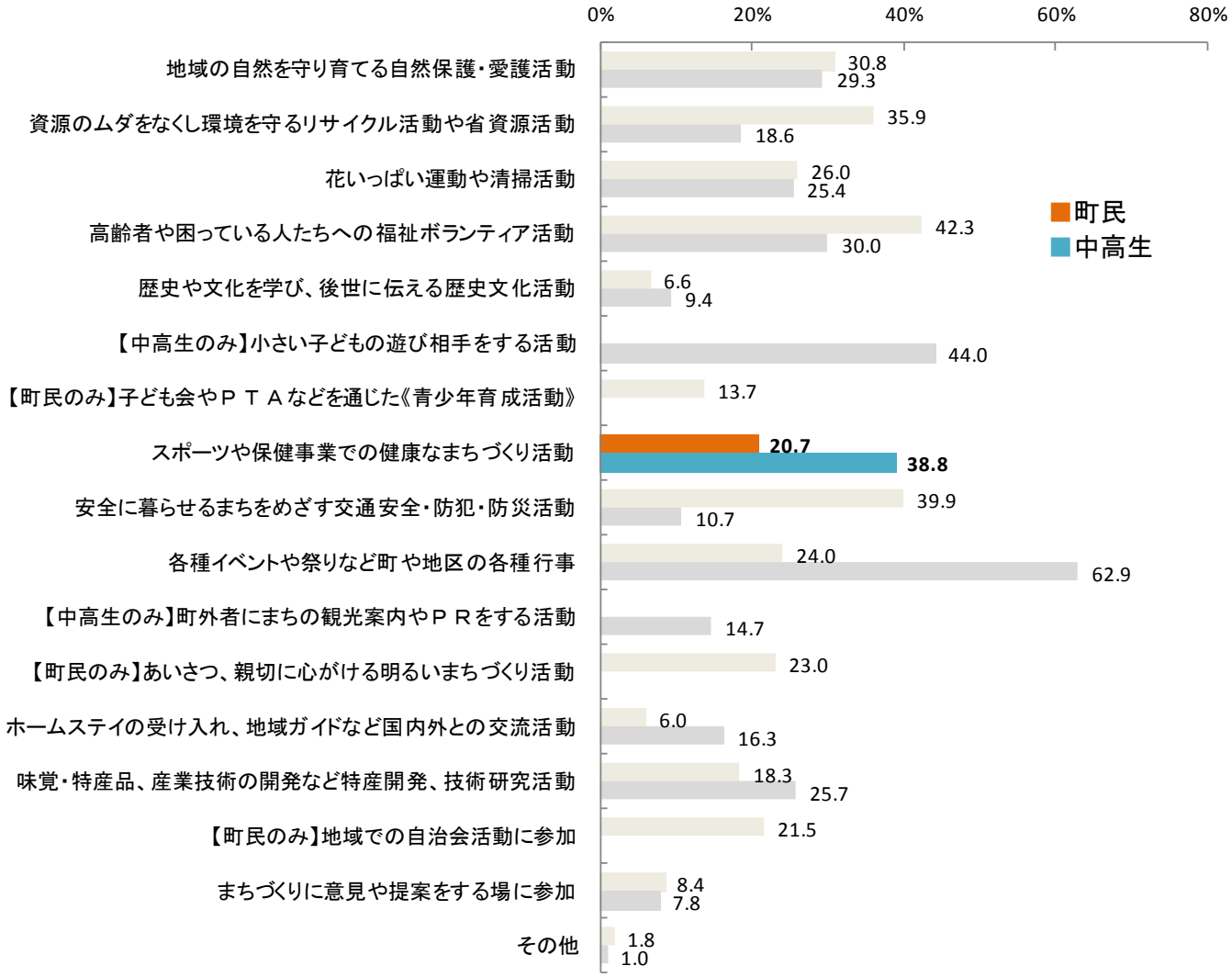




【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
総合的な体制の充実	地域保健医療福祉情報システム※の構築	保健・医療・福祉ネットワーク推進委員会において連携や必要な取り組みについて検討を行い、認知症予防を目的とした「やまびこ」等の活動が開始された。	地域保健医療福祉情報システムについては個人情報や医療機関の体制整備が必要等実施については課題が大きい。	高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、包括的なケアシステムの構築が必要
保健予防、保健指導の推進	生活習慣病の予防に向けた運動習慣の確立や食生活改善等	各種健診の受診率向上のために受診勧奨、啓発、自己負担の軽減等の取り組みを行い特定健診においては受診率の向上が図れた。	特定健診の受診率は向上したが、目標に達していない現状がある。	今後も健康づくりの推進のため、取り組みを行う。
	総合的で連携を強化した地域保健、学校保健、職域保健の推進	健康増進計画推進委員会を開催し町内関係団体等から意見をもらいながら健康増進計画を策定し今後の取り組みの検討を行った。職域対象の健康教育の実施や職域と連携し健診体制の整備を図ることができた。	こころの健康や不登校、ひきこもり等の課題は増えてきている。	今後も健康づくりの推進のため、取り組みを行う。
	予防接種による感染症予防	定期予防接種に新たにヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん等の予防接種が加わり接種体制の整備及び受診率向上のための勧奨を行った。	安全に実施できる体制整備	近年、予防接種法の改正が多く情報を収集しながら安全に実施できるよう対象者へのわかりやすい周知が必要
介護予防の推進	介護予防マネジメント※体制の確立	平成 18 年度に地域包括支援センターを設置以降、要支援１・２と認定された方及び要介護状態となる恐れの高い虚弱な状態にある方の予防ケアプランを作成による介護予防マネジメントが図られている。	現在、地域包括支援センター職員の介護支援専門員により体制は確立されており要支援認定者への対応は図られているが、今後認定者が増える場合における職員の充足は必要となる。	今後も職員の学習会等の実施によるスキルアップを図りながら適正な支援を行う。
	生活習慣病を予防する生活の理解と自ら健康づくりに取り組める環境の整備	健診結果説明会による個別指導や老人クラブの健康相談、出前講座、運動教室を開催し健康づくりの啓発を実施。	高齢者の増加が今後予想され、行政の取り組みだけでは困難な現状にある。	地域と協力した取り組みの強化
	特定高齢者※の早期発見と生活機能の低下を防ぐ	特定健診や地域包括支援センター等との連携から対象者を把握し介護予防教室につなげ機能低下予防を図った。	高齢化の進行により身体的な機能低下だけでなく認知症予防のための取り組みが必要	地域と協力した取り組みの強化

	地域ぐるみでの軽度認知症の早期発見	包括支援センターの実態把握や見守り協定関連機関からの情報提供を受け、保健師や包括支援センターと連携して医療機関受診や介護サービス提供へつなげる。	独居や高齢者のみ世帯以外の認知症の方の把握	今後要介護者の増加が見込まれており、地域による見守り体制の連携を図る。
	認知症に関する地域サポート体制の整備	認知症サポーター1,650名養成(平成 25 年度末)。	初期養成のサポーターの再研修、若年性認知症のサポート等の実施	認知症サポーター養成講座の周知及び開催。
健康づくりの推進	ヘルスリーダー※の養成、育成および活動の推進	第７期ヘルスリーダー養成講座を実施。現在ヘルスリーダー24 名が活動している。	ヘルスリーダー養成講座受講生が少ない現状がある。	今後も美幌町の健康課題に応じた取り組みを行政と一緒に取り組んでもらうよう育成をしていく。
	地域における健康づくりの推進	出前講座、各種健康教室の開催	地域との連携及び協力	地域と協力した取り組みの強化
	質の高い健康運動指導員の確保	・指導員養成講座の実施（概ね２年に１度） ・研修の実施（年に数回）による運動指導員の育成	・質の高い運動指導員の確保 ・住民の多様なニーズに合わせた運動指導員の育成	・引き続き運動指導員の養成・育成を実施する。
	生活習慣病予防あるいはコントロールに向けた食生活等の改善	出前講座、各種健康教室の開催	食習慣の改善	ヘルスリーダーや関係機関と協力した取り組みの推進
	施設の整備・充実	利用者が安全で安心して利用できるよう、計画的に修繕及び更新を実施する。	施設開設後 10 年が経過し、経年による修繕や機器更新が必要な箇所が増大している。	・計画的に修繕及び更新を実施する

※地域保健医療福祉情報システム：保健・医療・福祉分野の情報の共有化や、相互に情報交換できるシステムで、情報のネットワーク化により、効率的で関係機関が連携のとれたサービスの提供をめざすもの。

※介護予防マネジメント：介護の予防と悪化防止のため、対象者への状態の一次評価、介護予防ケアプランの作成、サービス提供後の再評価、事業評価などを行うこと。

※特定高齢者：65 歳以上で生活機能が低下し、近い将来介護が必要となるおそれがある高齢者。介護予防の観点から行われる健診の結果、生活機能の低下が心配される人、要介護認定の非該当者、保健師などが行う訪問調査などの結果、生活機能の低下が心配される人などが該当する。

※ヘルスリーダー：美幌町が実施するヘルスリーダー養成講座を受講し、自らの健康に関心を持ち、健康的な生活習慣を実践するとともに地域における健康づくりのリーダーとして主体的に取り組む人。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

- 子供がいる人への講座などをもっと開いてほしい。ベビーマッサージや、病気になった時の対処の仕方や、症状を写真や実演でわかりやすく説明してくれるなど。（女性・10～20代）
- 町の医療費持ち出し削減について。現在、高齢者が健康のためにと思いコミセンへ卓球をしに行きますと、1回200円使用料がかかりますね。あれは反対。適当に運動をしていると健康に良いので、医療費（薬代）があまりかからず、町の持ち出しが少なくてすむので、スポーツに来られた方には1回200円をあげる（無料にする）べきだと思います。最近はどうもへりくつばかりで、あまり汗をかかない人が多い。適当に運動をすると糖尿病もぐんと減るよ。（男性・70代以上）
- 町民の健康づくりの拠点とする「しゃきっとプラザ」を中心に、さまざまな取り組みをされているが、特定健康診断の受診率が伸び悩んでいる。町民ひとりひとりが、健康増進の意識を高めるためにも、健康に関心を持ち、健康づくりを実行、継続できるようなまちづくりを推進しても良いのでは。（男性・30代）
- 現在、シャキットプラザには運動する設備があるそうですが、血圧の高めの人は使用出来ないとか。健康な人はスポーツセンターがありますが、やや不安のある人は、健康になる為に、指導者がついて改善する為のプログラムなどを作り、利用出来て、悪くならない為に使用すると良いのではないでしょうか。（女性・60代）
- シャキットについてです。午前9:20からですが、一組のメンバーがいます。6～8人の女性です。大きな声でしゃべる、笑う、まじめに水中ウォーキングをしたい人達は迷惑しています。係の女性には言いますが、なかなか注意が出来ないようです。午前9:20に、始めのころは若い方、男性が来ていましたが、今は来ません。時間を変えて来ています。私はシャキットに10年通っていますが、最近では行く気になりません。抜き打ちで、見学して下さい。（女性・70代以上）

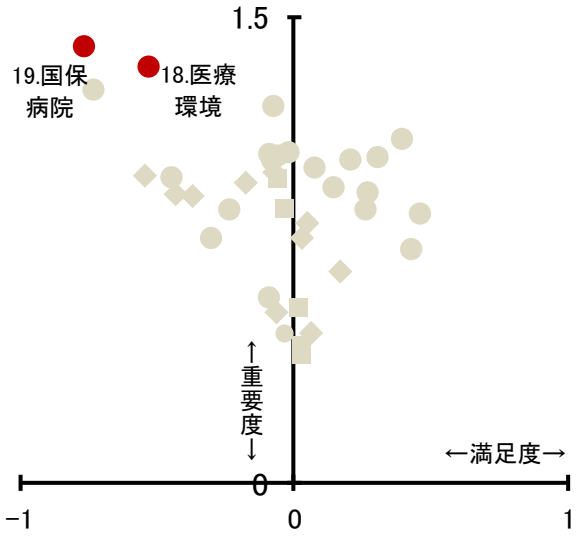
〇 健康で長生きを楽しめないと長生きの意味がないので、健康の必要性についてもっと若い世代から意識付けする。

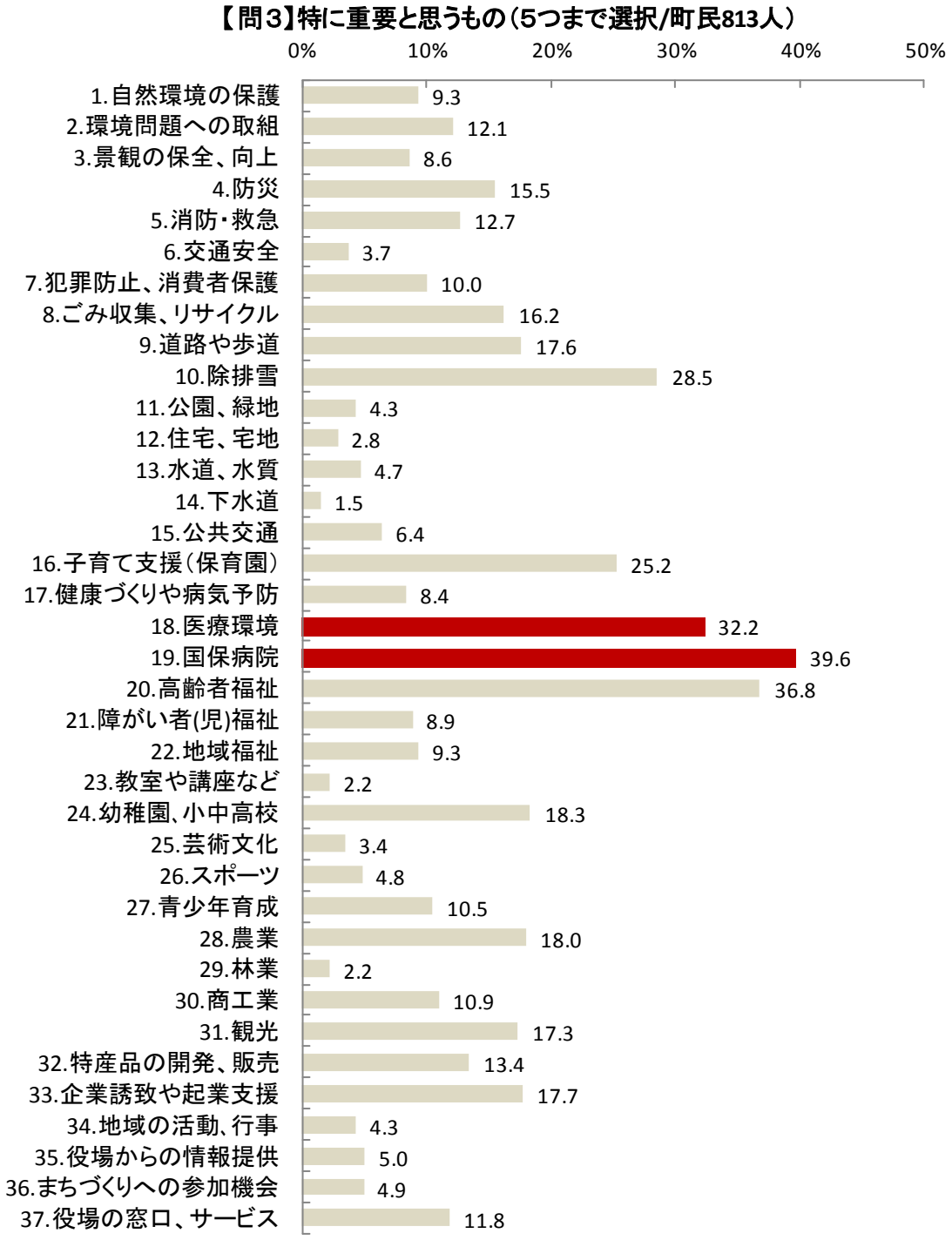
21　医療

（１）関連グラフなど

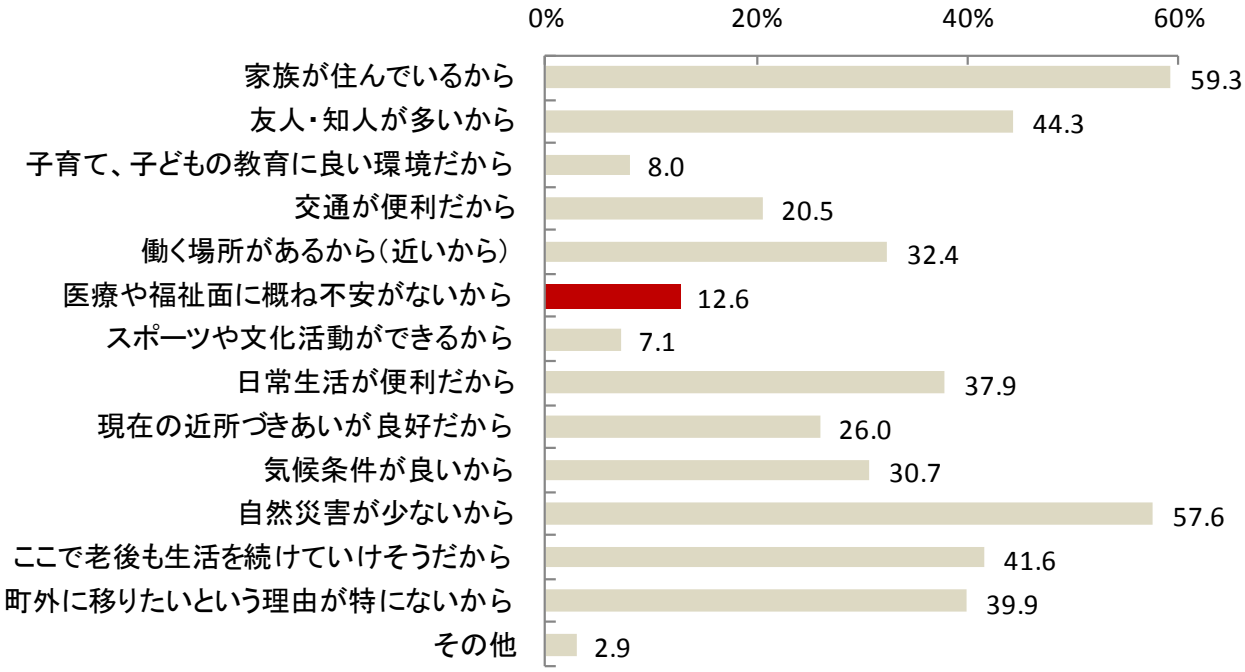
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

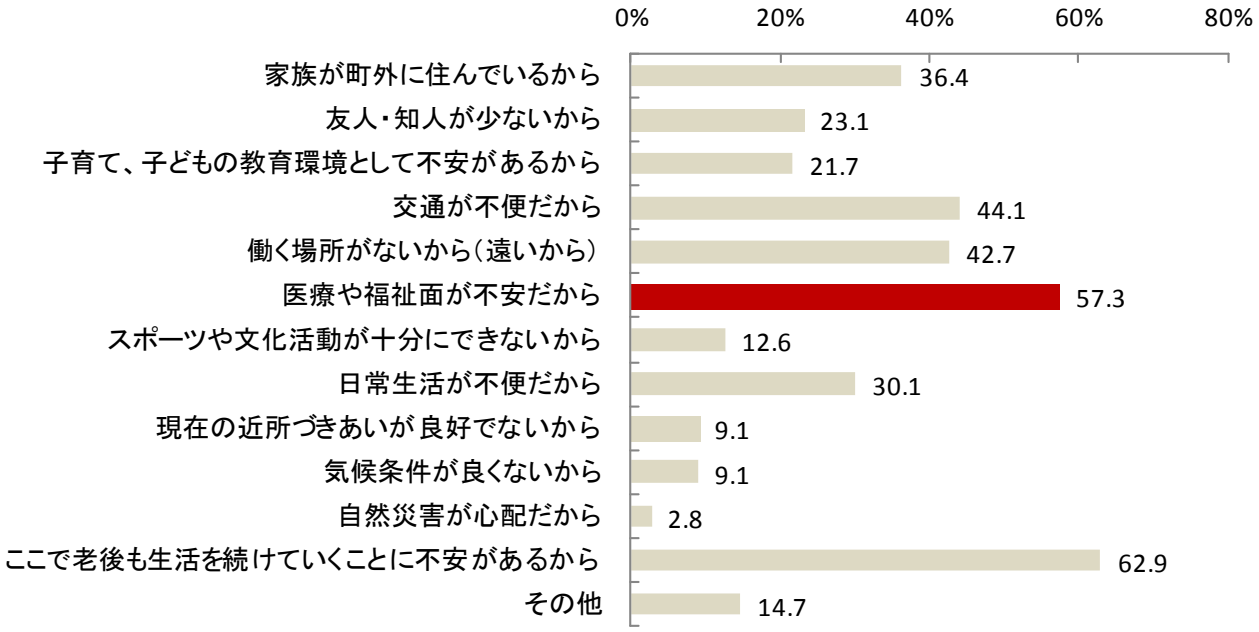




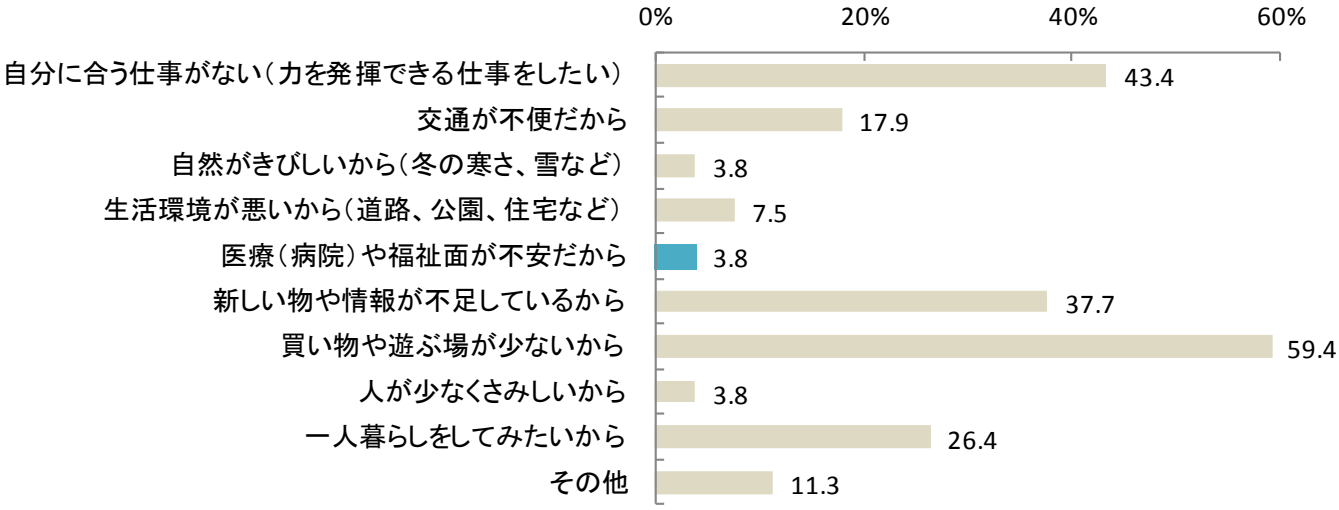
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



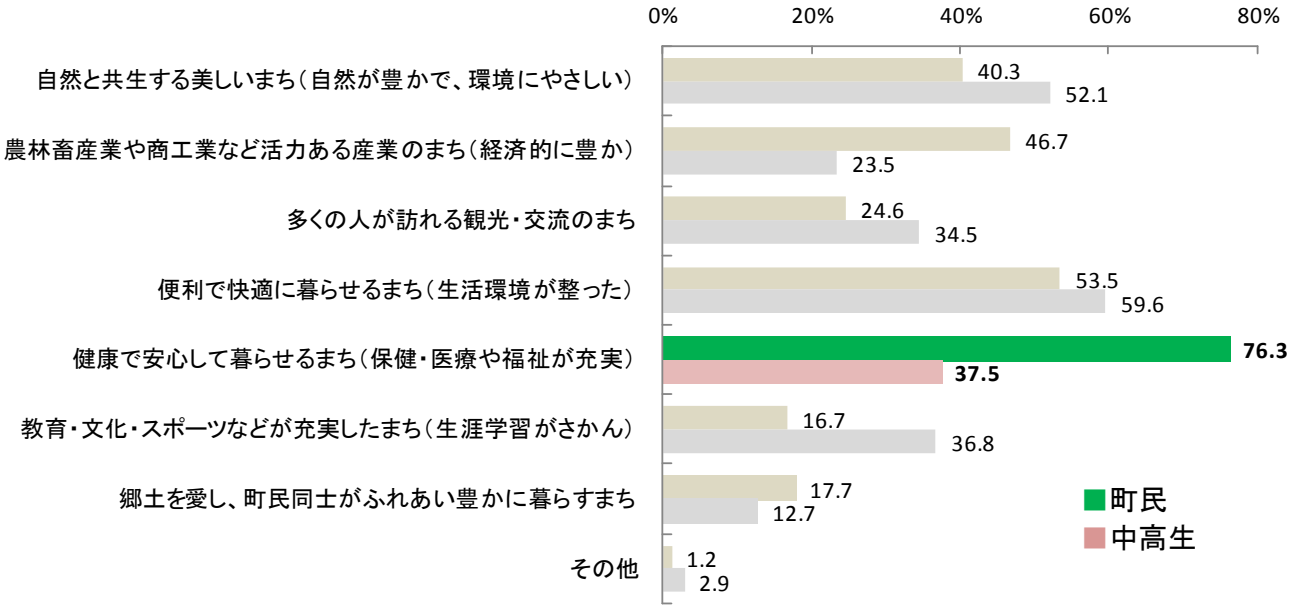
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



中高生 **【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）**



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国民健康保険病院の充実	固定医師の確保	インターネットによる医師募集広告の掲載 関係機関への医師招聘活動		常勤医師確保により収益の向上及び安定的な医療の確保
	新たな診療科の検討	腎臓内科、総合診療科の新設	新たな診療科の開設により医療体制の充実、医業収益の増収を図る	常勤医師確保による新たな診療科の開設
	医療ソーシャルワーカー※による相談充実	ソーシャルワーカーによる医療相談 他病院への転院や施設への入所相談		患者の抱えている経済的、心理的、社会的問題の解決、調整の援助などの相談業務の充実
	地域包括ケア※の推進（保健・福祉との連携）	平成 25 年 6 月に地域医療連携室を開設		地域医療連携室を窓口として保健・福祉・介護との連携強化を図る。
	医療機器の充実	平成 22 年度より医療機器更新計画に基づき順次更新		安心･安全な医療提供のため順次更新していく
広域医療体制の充実	病診、病病連携※の推進	平成 25 年 6 月に地域医療連携室の設置		他の医療機関との機能分担を行い、町内唯一の有床病院として救急医療・広域医療体制の維持を図る
	広域医療組織の設立検討	平成 24 年 2 月に自治体病院等広域化連携構想を推進するため北見市・美幌・津別・訓子府・置戸の１市４町で「北見地域医療提供体制検討委員会」が設立され広域的観点から「北見地域行動計画」が策定された。	診療科目の再編、民間病院・診療所との機能分担及び連携強化の検討・協議	圏域における自治体病院の役割を明確にし、診療科目の再編・機能分担及び連携強化により健全な病院経営を図る
救急医療体制の充実	国保病院における救急医療体制の充実	大学医局からの休日医師派遣	常勤医不足により医師の負担が増加し、救急医療体制の維持が困難となる	常勤医師確保による安定した医療の確保

※医療ソーシャルワーカー：医療分野におけるソーシャルワーカー。治療を進めて行く上で持つ不安や心配ごとを聞き、解決へ向けたアドバイスを行う専門職。

※地域包括ケア：病院を中心に保健・福祉分野との連携により、早期診断、予防活動、退院後のリハビリ、老健・介護施設でのケア、訪問診療などを一体化し、総合的に健康管理を行うサービス。

※病診、病病連携：より良い医療の構築のため、病院と診療所、他の病院が協力して、よりよい医療を提供すること。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏱：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

🏱 医者がいない。結局北見に行く。リハビリのできる大きな施設もない。足元や身体の不自由な方にやさしい町になってほしい。

❀ 入院できる小児科が町内になく、北見までいかなければならない。実家が遠い人は兄弟がいると通うのが難しい。

❀ 療育病院で診察まで時間がかかる（半年から１年待ち）。訓練はその後になる。時間がかかりすぎる。

❀ 町内の民間病院では、ネットでの予約ができる。国保病院でもできるようにならないか。

- 病院の充実。（60 代）
- 国保病院を中核とした病診連携と、医療・介護・福祉の地域包括ケアシステムを実効性あるものに整えてほしい。（男性・60 代）
- 医療施設は、地元で全て終えられるような、充実した、安心できる医療を受けられる施設がほしい。（女性・50 代）
- 産婦人科（病棟）があると、妊婦さんやこれから結婚される方も助かると思います。（交通費、時間の短縮、上の子への配慮など→大きなお腹で上の子を連れて北見まで行くのは大変。）（男性・40 代）
- 産婦人科が早く欲しい。北見まで行くのが不便。（女性・10～20 代）
- 現在入院できる場所が少ないので、入院時に安心できるだけの医療技術の向上に留意して欲しい。（男性・40 代）
- 産科が無いので、とても不便。特に切迫早産になってしまったので、町内に産科がないのはとても不安。子供も増えないのではないか。（女性・30 代）
- 産婦人科が美幌にないのは大変不便なので検討してほしい。（男性・30 代）
- 産婦人科の充実。（60 代）
- 産婦人科の病院をつくってほしい。（女性・40 代）
- 病院はあるが、信用できる医師が少ない。（男性・50 代）
- 美幌町にも産婦人科のある病院があると便利。２人目以降となると、上の子を連れて北見まで健診に行くのが大変。臨月になると毎週健診になり、お腹も大きくなっての運転も大変です。（女性・10～20 代）
- 国保病院の先生をどうにかして欲しい。（誤診されて北見日赤に行ったら怒られた。）（女性・30 代）
- 医療環境の充実。（現状個人病院の方が充実している。）国保病院の充実－医師の充実（現状レベル低い）、産婦人科の設置、眼科の充実。現実味はないが、建物ごと厚生連にでも引き受けてもらえば…。（男性・50 代）
- 安心して通える病院が…。国保病院は大きいだけで、あまり…。町民皆が、安心できる医療施設あったら良いな。（女性・10～20 代）
- 医療の充実は、医師の常駐が無理であれば、医大学へ（医師派遣の）誘致を行い、国保病院に配属できるような体制ができないか。（男性・50 代）
- 大きな箱物の病院があっても安心してかかれない。そんな町民の声を聞く事から始めなければ、この町に老後もなんて考えられない。つまり不安…だから町外へと。（女性・50 代）

- 国保病院の医療体制の民間との大きな違い。診療時間（始まり、終わり）、事務（会計のスピード）、待ち時間の短縮など。（以前より今年はよくなってきていると思いますが…）（男性・60 代）
- 国保病院の充実。（女性・40 代）
- 今年、国保病院の院長が交代しましたので、病院の対応、信頼、技術力の向上に取り組んで頂きたいと思います。私達が安心して受診出来る医療機関にして頂きたいと思います。（60 代）
- 他の市、町に行かなくてもよい医療。国保病院の医者の確保。（60 代）
- 国保病院は医者が突然居なくなったりして、結局北見の日赤とかに通院するはめになるし、費用がかさんで（交通費等）とても不便です。常駐してくれる医者の確保をきちんとして欲しい。（女性・50 代）
- 国保病院を充実させてほしい。町の最重要機関病院のはずなのに、その役目を果せていない。（女性・10～20 代）
- 国保病院には大きな不満を持っています。今、外科は先生がいないようですが、今までいた先生、特に院長はひどかった。骨折しているのも見逃すし、簡単な手術もうまくできず、日赤に行った人も知っています。また、救急車で、直接日赤に行ってほしい（日赤からそうするよう言われていた）と言っても、決まりなのでまず国保に！と言われて時間がむやみにかかったという人も聞いています。国保に行ったら治るものもよけいに悪くなると町民の間ではよく言われています。前の小児科の先生は、熱を出しても 40℃までは病院に来なくていいと、孫がかかった時に私は直接言われました。とにかく国保病院の先生方の技術はもちろん、意識の向上を望みます。こんなことを書く事自体町民としてはずかしいことです。（女性・60 代）
- 国保病院の充実化。婦人科の復活。（女性・60 代）
- 国保病院は、働いている人は行けない時間帯にやっている病院です。外来に看護師が多すぎます。何の為に、むだな病院を町で経営しているのかわかりません。休日にやむなく受診しても、その足で北見の病院に行ったことが何度もあります。改善してほしいです。老人ホームをたくさん建てて、町外の人も受け入れ、老人の町にしたら病院もいいかも。（女性・40 代）
- 国保病院を中心とした医療環境、特に産婦人科等の充実を期待します。（男性・50 代）
- 国保病院に子供が小さな時は良く通っていましたが、医師の言動等、また看護師の対応等に不満があり、ずーっと行ったことがありませんでした。最近は良い医師が来ていると聞きましたが、また戻ったとか…。良い医師が定着するようにして欲しい。（女性・60 代）
- 国保病院の医師不足は深刻だが、質が悪い。誤診エピソードもよく聞くし、看護師もスキルアップをしている様ではなく、タラタラと働いている感じ。「国保に行ったら殺される」という言葉の実体をちゃんと見るべき。都合の悪いことは「馬の耳に念仏」にならないように。（女性・40 代）
- 国保病院は町内唯一の入院施設であり、現状の医師の時間外の負担等、医師数の確保に切迫感を持って取り組んで頂きたいと思います。（女性・50 代）
- 国保病院は産婦人科も無いので、有れば良いなと思います。（女性・30 代）
- 町で唯一入院できる国保病院に対してあまりいいイメージが無く、質が高い医療とは思えない。設備ではなく、医療者の意識の問題。昔ながらの病院という感じ。（女性・40 代）
- ○ 美幌に不足する診療科目（施設）の誘致。全ての病気が取りあえず町内で治療できることで、安心・安全・便利なまちづくりが確立される。
- ○ 産婦人科が無い。最先端医療器具等を導入してみてはどうか
- ○ 子どもを安心して育てることのできる医療環境整備と、乳幼児医療制度の拡充。

○ 必要な医療がすぐに受けられる環境づくり。高度医療は大規模な病院などに任せることになると思われるが、それらの医療機関につなぐためにも、治療･診療に当たる、専門科医師や医療技術の充実。

○ 現在の国保病院は外来患者が少なく、町民からも「どんなに具合が悪くても国保病院にだけは行きたくない。」と言う声を聞き、町民から信頼されている病院とは思えません。『町立病院が信頼出来ない＝町に不信任感を抱く』ということになり兼ねず、信頼できる医師を確保こそが最大課題と感じます。信頼できる医師が確保できれば、安心して住める町への最大要因ともなり、患者が増えれば大幅な黒字経営となり美幌町の財源として見込めるようにもなります。信頼できる医師を確保するのが困難なのであれば町立運営に拘らず、民間病院へ経営譲渡又は売却も視野に入れる。

○ 国保病院の常勤医確保。外科・整形外科・産婦人科医師の確保

○ 救急告示医療施設の充実。町民の多くが、町外の病院に通院若しくは入院していることから、受診科の増設により、町内で通院、入院が出来る医療体制の充実。

○ 告示病院機能の充実化。産科・整形外科・眼科等の診療科目がないために、町外の医療機関への受診を余儀なくされている現状である。健康で長生きを楽しめるまちとは、根本的に掛け離れており機能等の充実を図り、疾病等を地元病院で完結出来る医療体制の構築が必要不可欠であると考える。

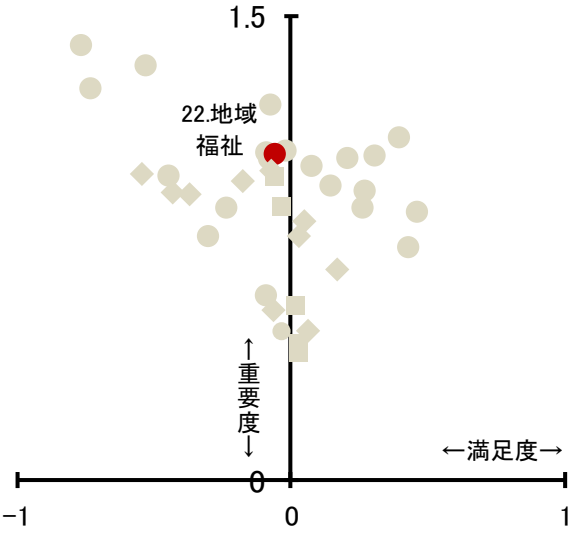
○ 常勤医師不在による外科の休診、産婦人科の休診が町民からの町立病院の不安や不信に繋がっていると思われるので、早急に常勤医師確保が必要だと思われる。

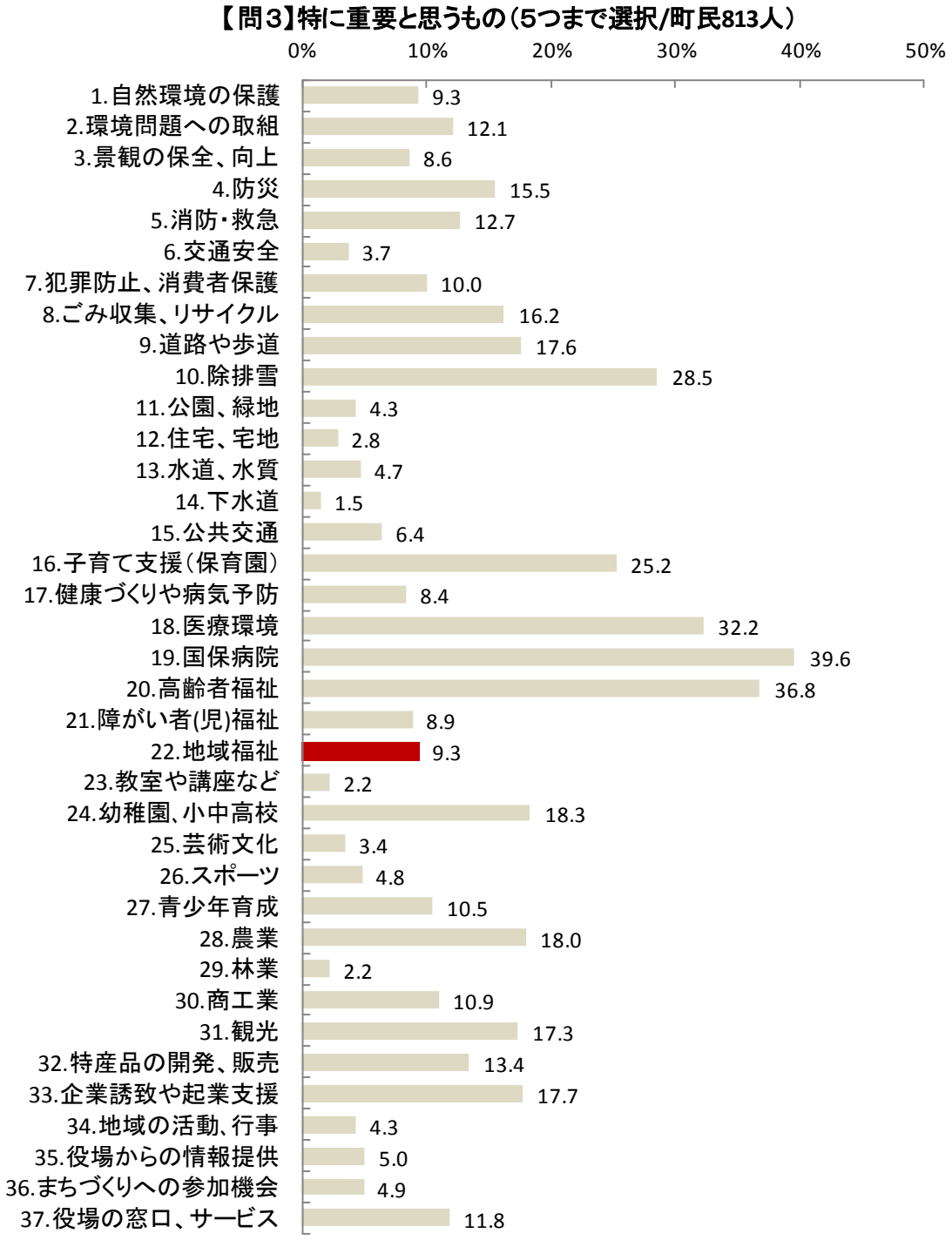
22　地域福祉

（１）関連グラフなど

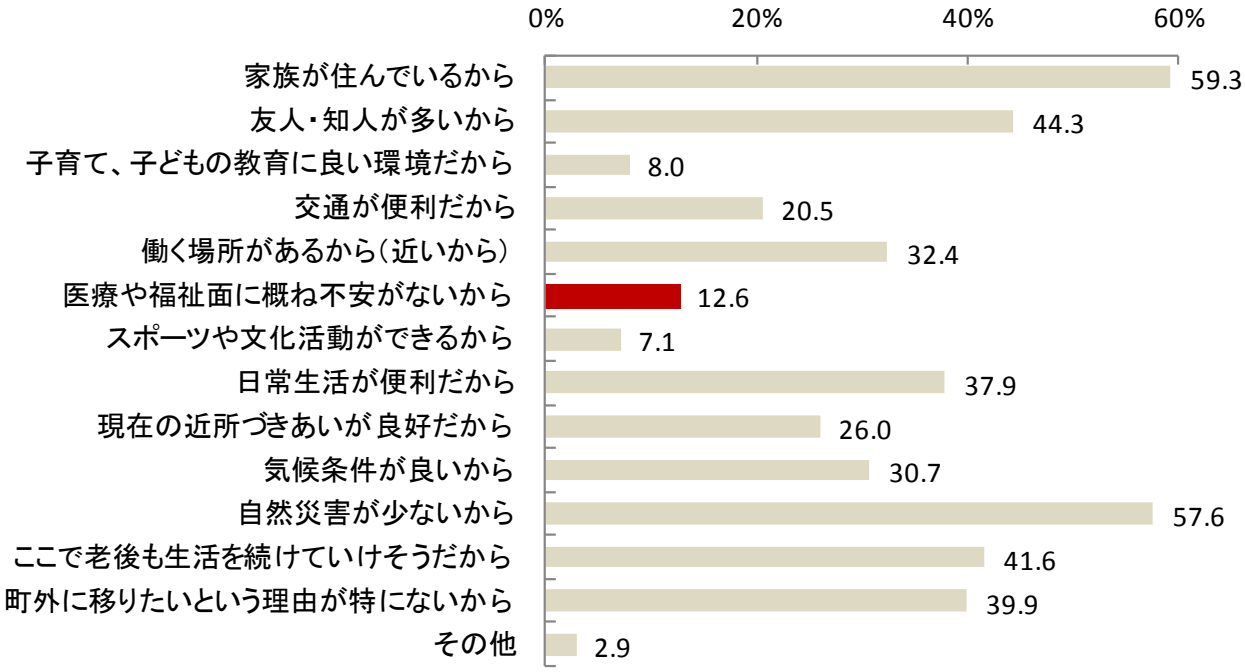
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

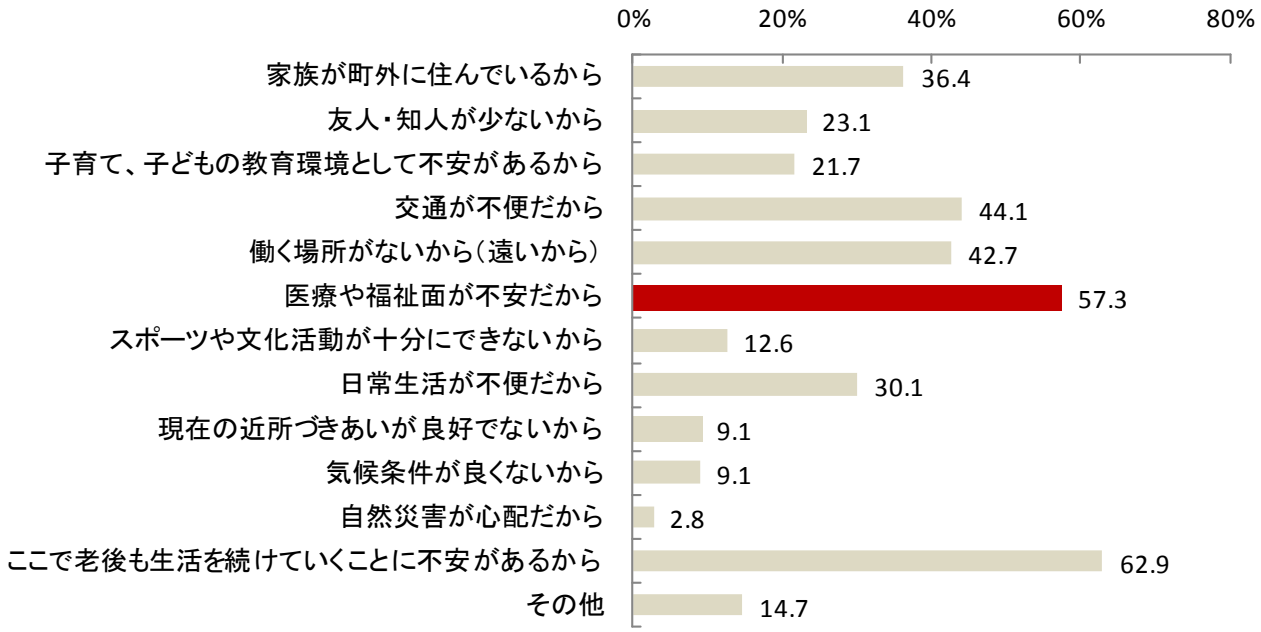




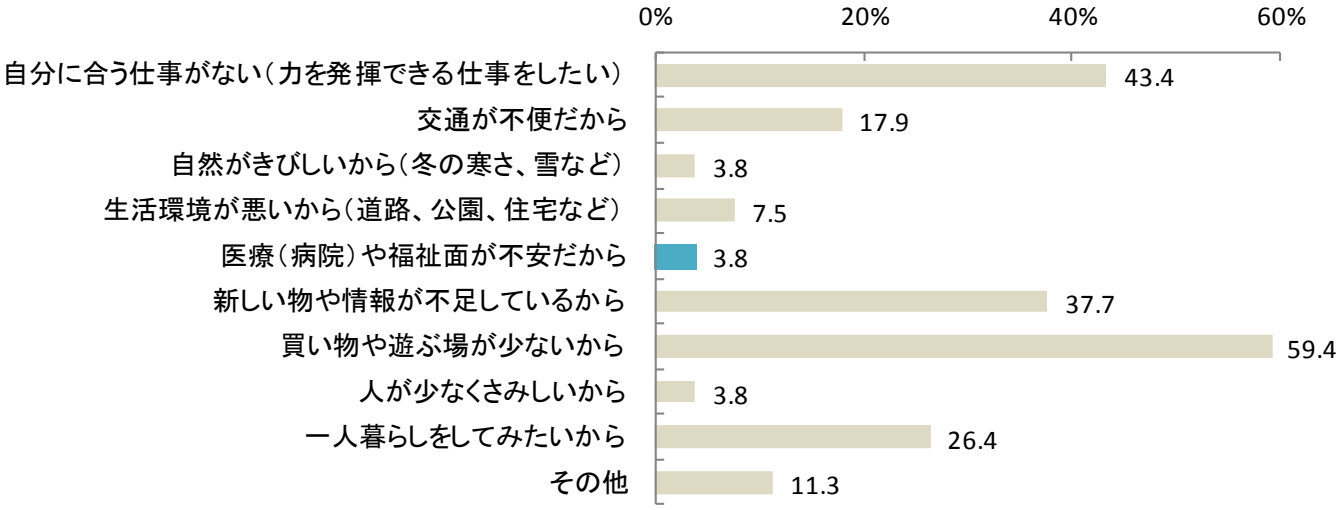
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



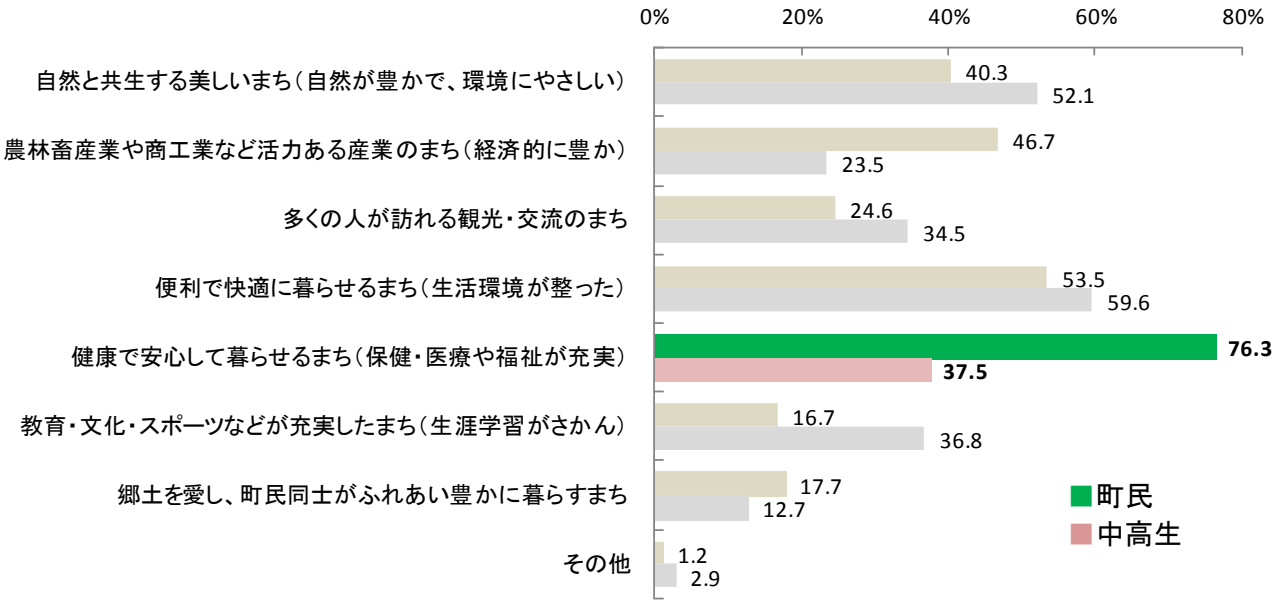
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



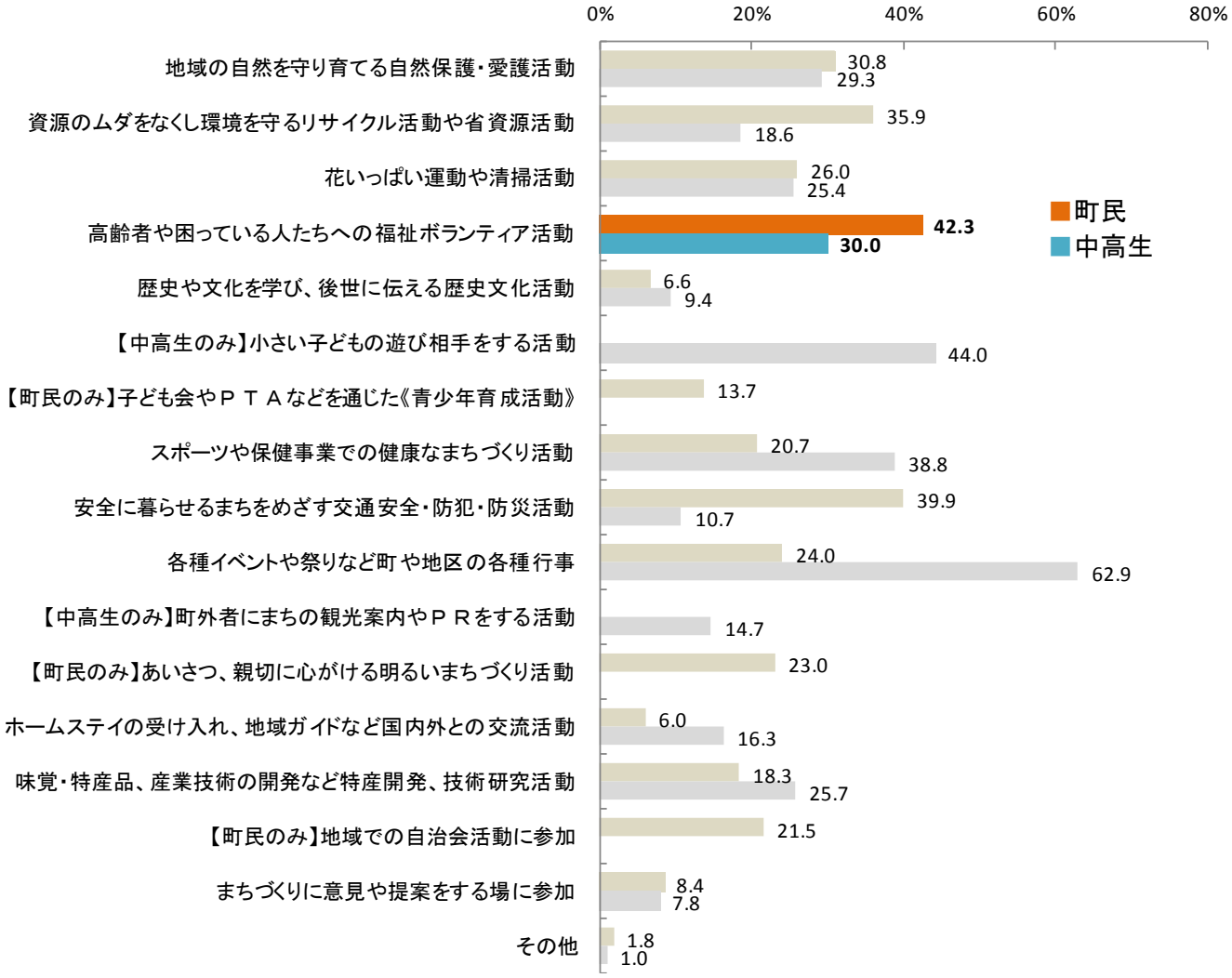
中高生 **【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）**



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）

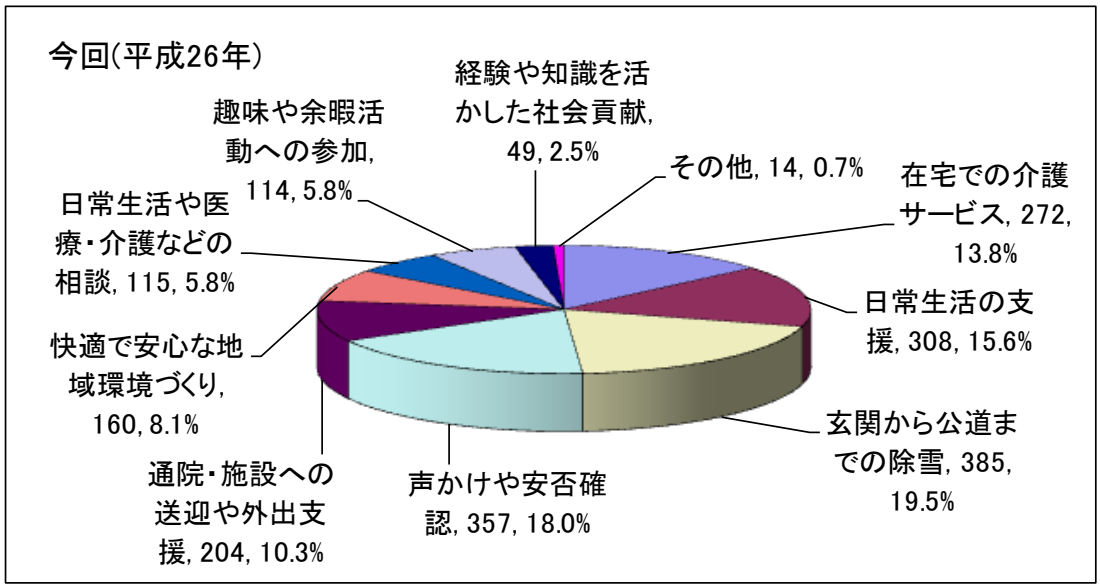


【問7】参加したい(できる)まちづくり活動(あてはまるものすべて選択(上段:町民、下段:中高生)

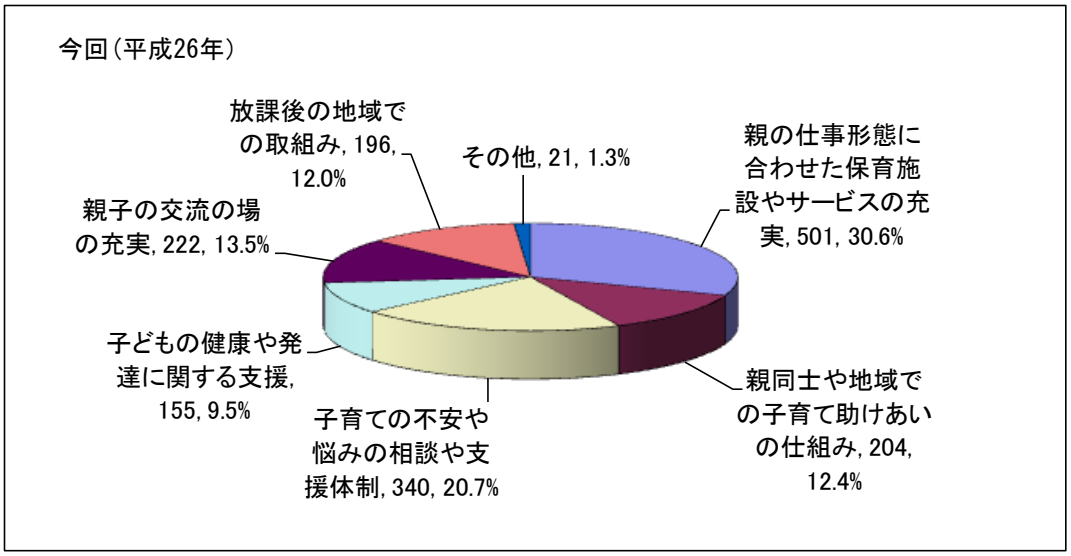


地域福祉に関するアンケート調査より（H26.5）

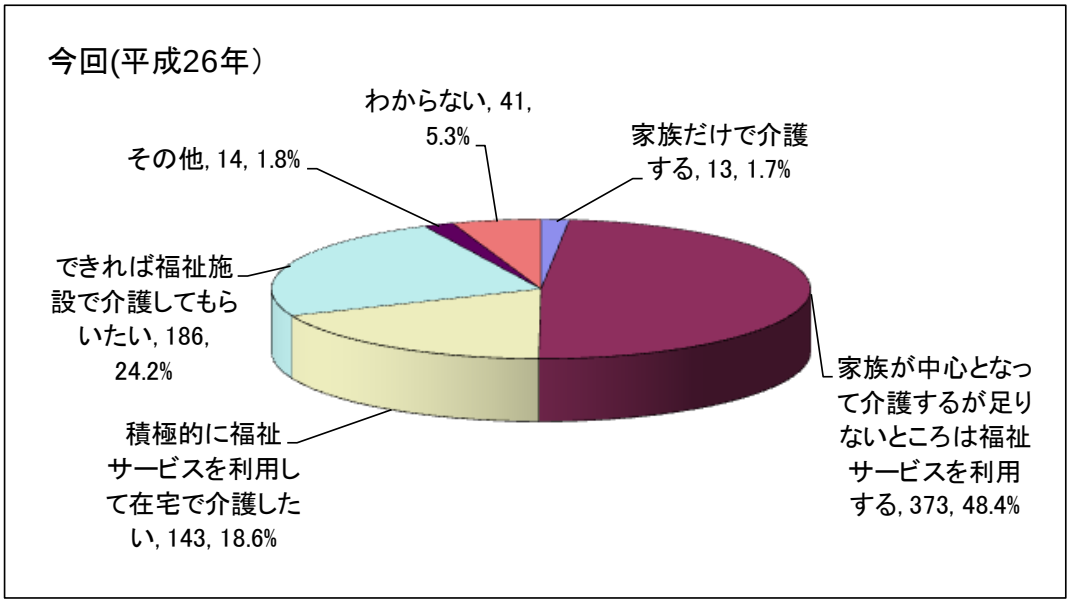
高齢者・障がい者の方々に対してどのような支援が必要だと思われますか



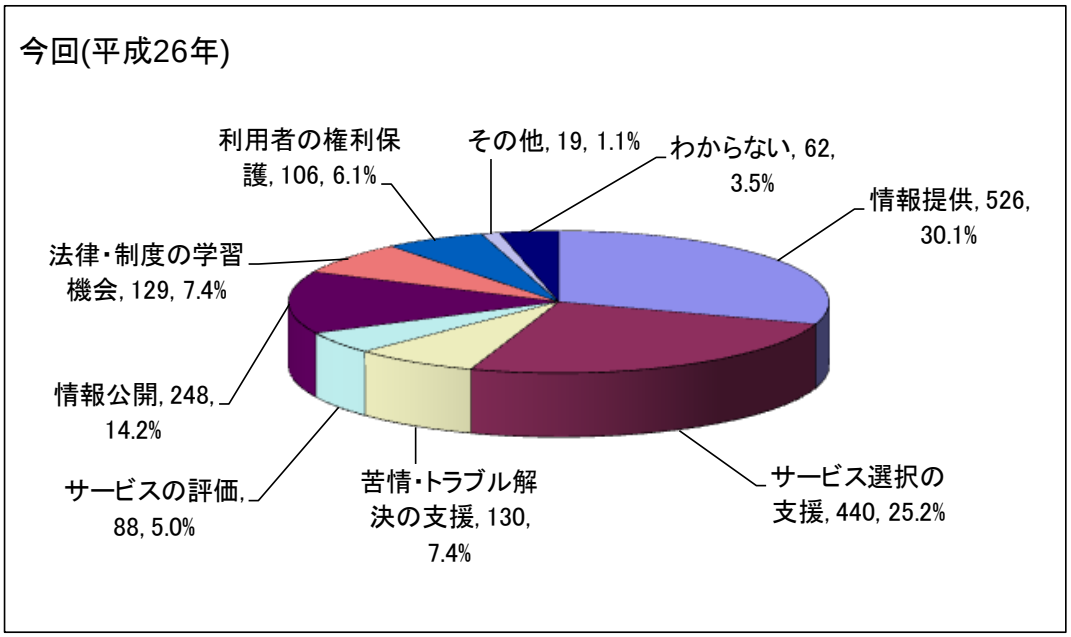
子育て中の家族等へどのような支援が必要だと思われますか



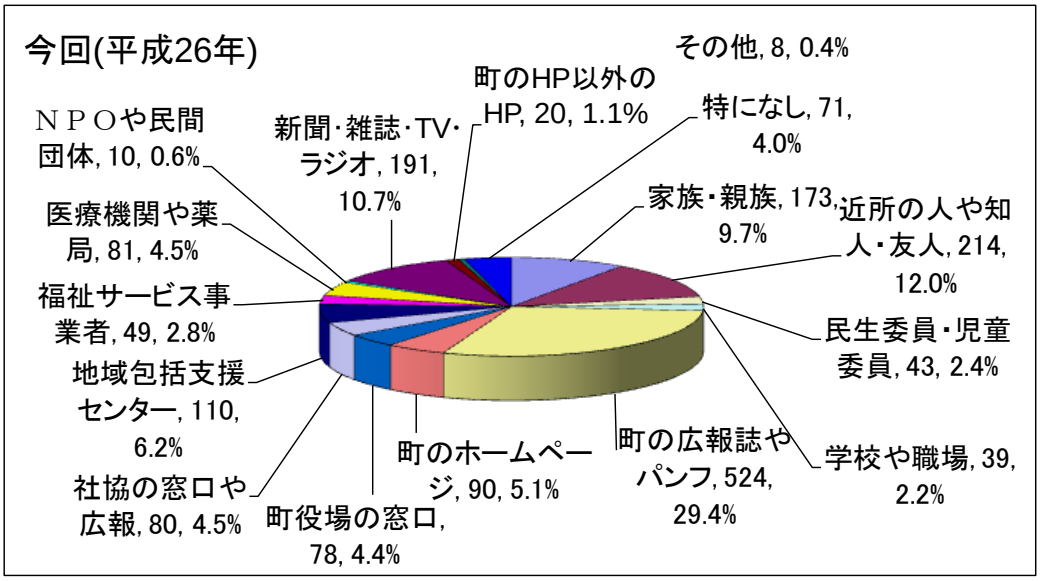
家族の誰かに介護が必要になった場合に、どのようにしたいと考えていますか



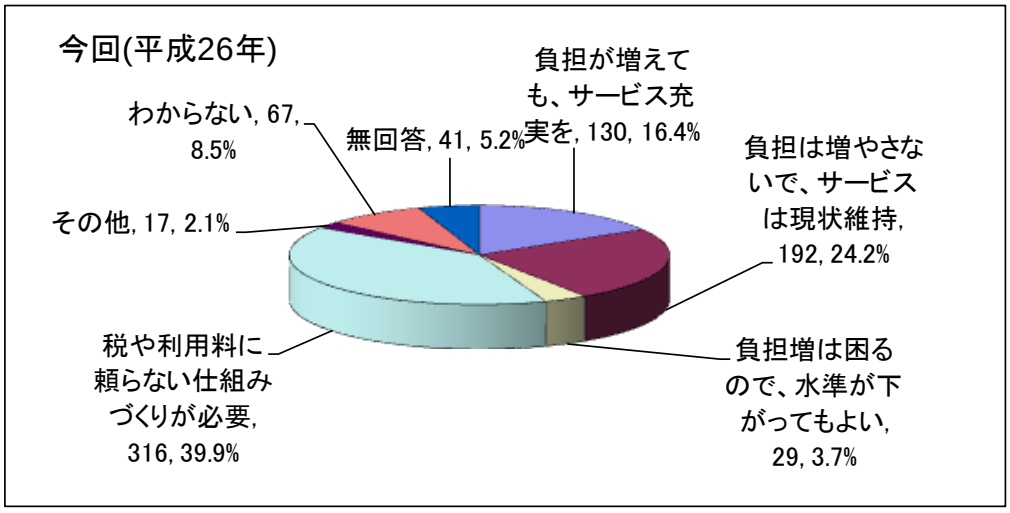
今後、町ではどのようなことに取り組む必要がありますか



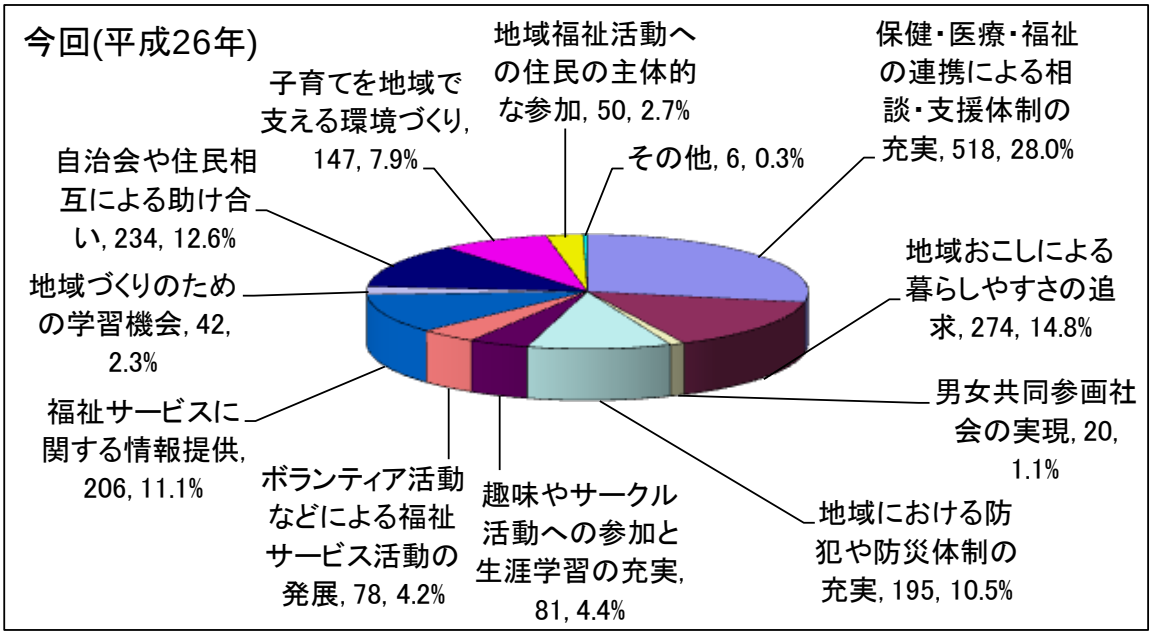
福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか



これからの福祉サービスのあり方



今後町が優先して取り組むべきことはなんですか



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
地域福祉を推進する体制づくり	地域福祉計画※の推進による地域福祉の充実	地域福祉計画策定により、地域住民ニーズの把握とともに、ボランティアの育成とそれぞれの役割の明確化による地域ぐるみの福祉を推進した。	情勢の変化により、次の事項を盛り込む事が必要となっている。 ・避難行動要支援者の把握 ・避難行動要支援者の情報共有 ・避難行動要支援者の支援 日常的見守り、緊急時連絡体制 ・北海道における生活困窮者自立支援法にともなう各種施策実施支援	第２期美幌町地域福祉計画策定中
	地域福祉活動の支援と充実	ボランティアセンターを通じた活動支援	介護保険における予防給付事業が平成 29 年度までに市町村の取り組みとなり、地域支援事業に移行する。	予防給付（訪問介護･通所介護）をボランティア支援により実施するための仕組み作りが必要。
地域福祉活動の推進	社会福祉協議会の活動充実と支援	正職２名、臨職２名、嘱託１名の人件費補助	認知症や障がい者等の判断能力不十分な方に対する財産管理や各種手続きを行う公的機関が必要となっている。	市民後見センター設置（社協）による人件費補助の増
	ボランティアセンターの充実と支援	臨職１名の人件費補助	ボランティアの高齢化にともない担い手の育成・支援が必要となっている。	社協職員による教員を対象とした福祉教育推進セミナー実施や指定校への活動助成
	たすけあいチームなど体制づくりと支援	地域福祉活動補助金として年額 60 万円を助成。 平成 21～25 年度に家庭用除雪機 17 台を購入し自治会やたすけあいチーム 13 団体へ貸与し地域の除雪の効率化と高齢者等の冬の生活の安全を確保した。	ボランティアの高齢化による担い手不足や原油価格高騰により除雪機の燃料代が増大している。	燃料代増加による補助金額の検討と現在 17 台の家庭用除雪機の適正な利活用を図る。

※地域福祉計画：子供から高齢者まで、障がいのある人もない人も、全ての人々が地域において、いきいきと自立した生活が送れるように、地域住民が参加し、共に支える仕組みを作る計画。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 幼稚園と老人ホームが一緒になった建物がある（お年寄りは子どもを見て元気になれるし、遊びを教えてもらえるから）

- ボランティアをするとポイントがもらえ、たまると逆に自分も利用することができる。（実践している町あり。）（女性・40 代）
- 高齢者でやっと杖をついて買い物に来ている人、帰りは荷物をどうやって持って帰るのか心配でも、今はやたらに声をかけても不審者に思われる時代。（女性・60 代）

〇 超高齢化社会を迎え、今まで以上に地域福祉の推進を図っていく必要がある。アクセス環境の充実・地域見守り活動の取り組みなど。通常、要支援者への対応や安否確認などを実施する際その参加者や担い手もほとんどは高齢者となってしまう。高齢者による子どもたちの見守り等の活動により子育て世代がこれに感謝し、地域活動の重要性などを実感できると、次に子育て世代が防災や福祉の地域活動の参加につながる、など多世代の参加による活動が必要。

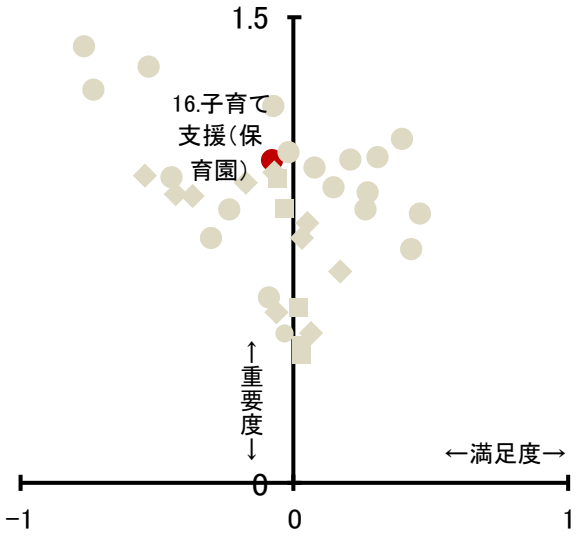
〇 老人クラブと子供会合同イベントの開催

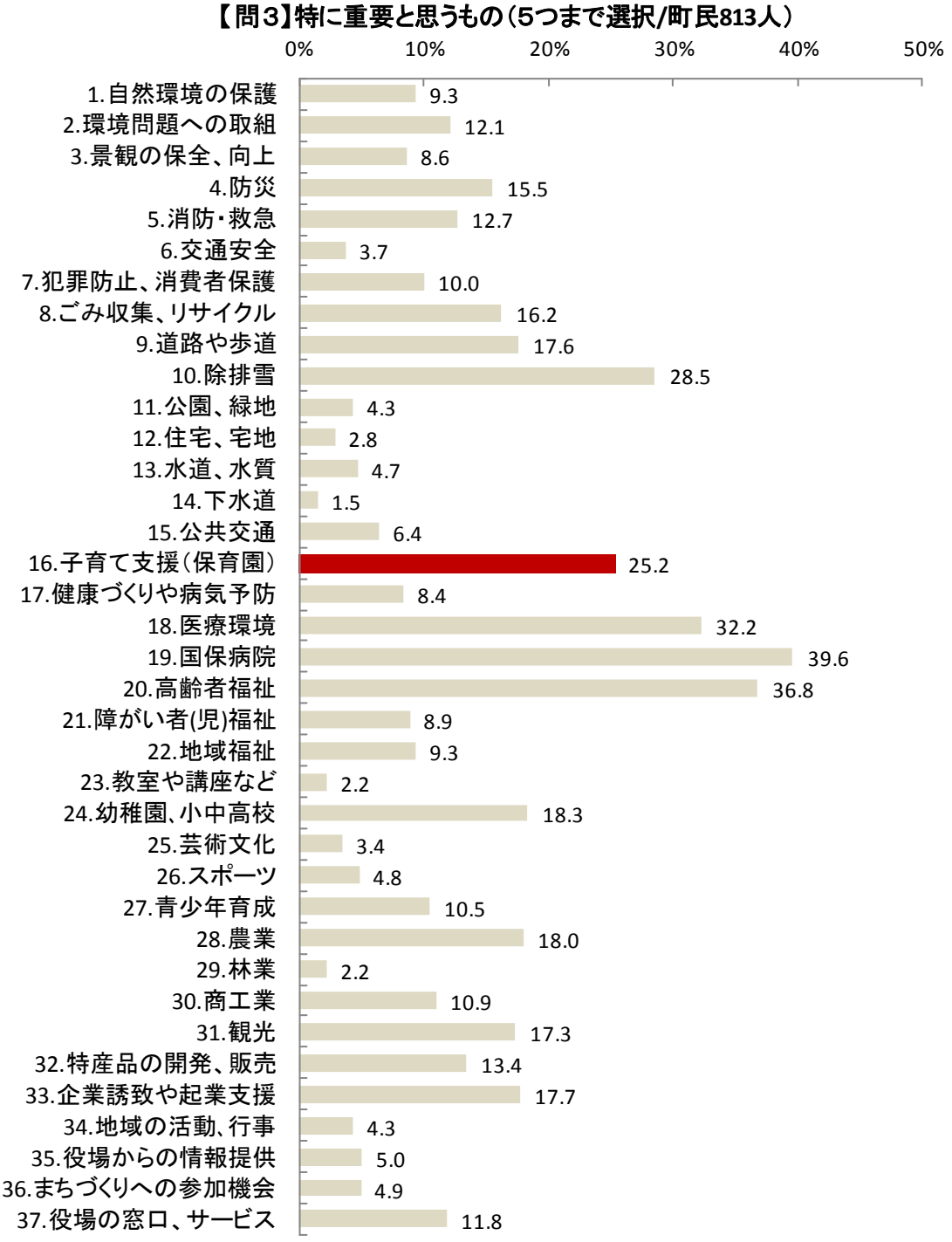
23　子育て支援

（１）関連グラフなど

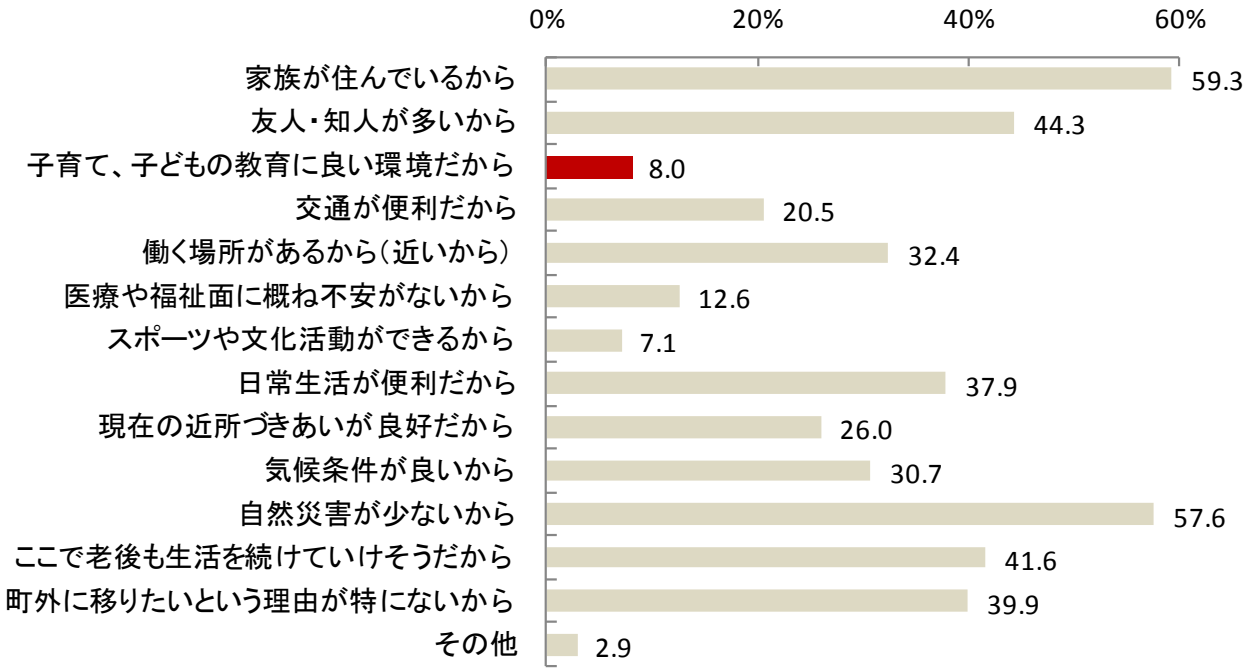
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

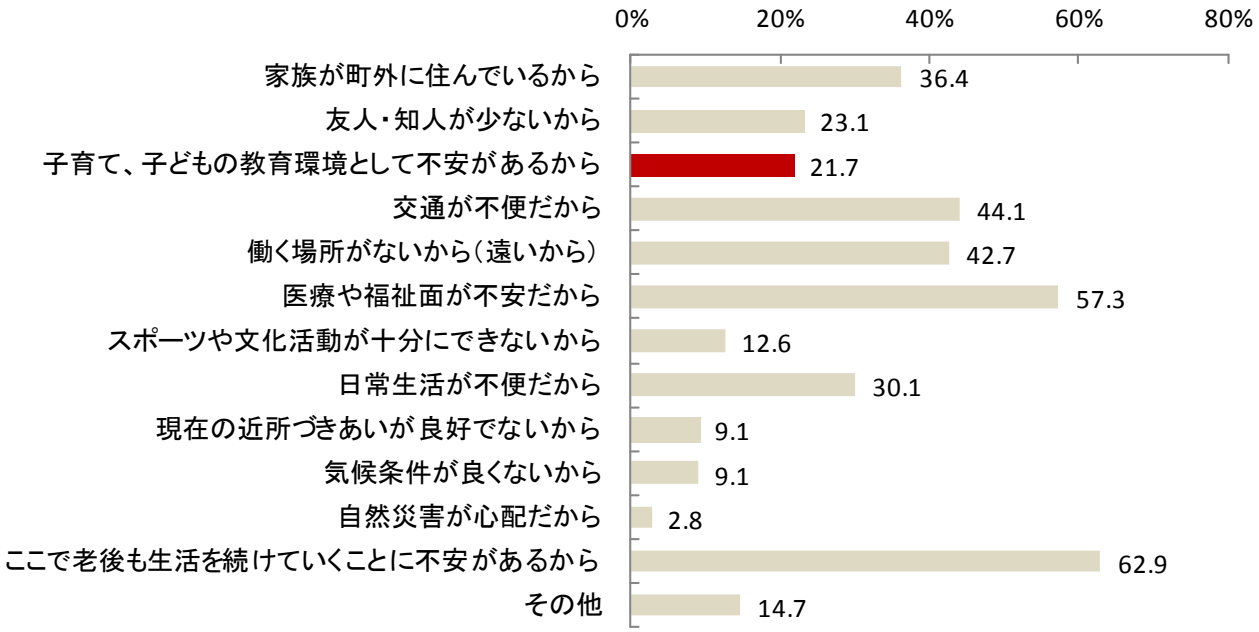




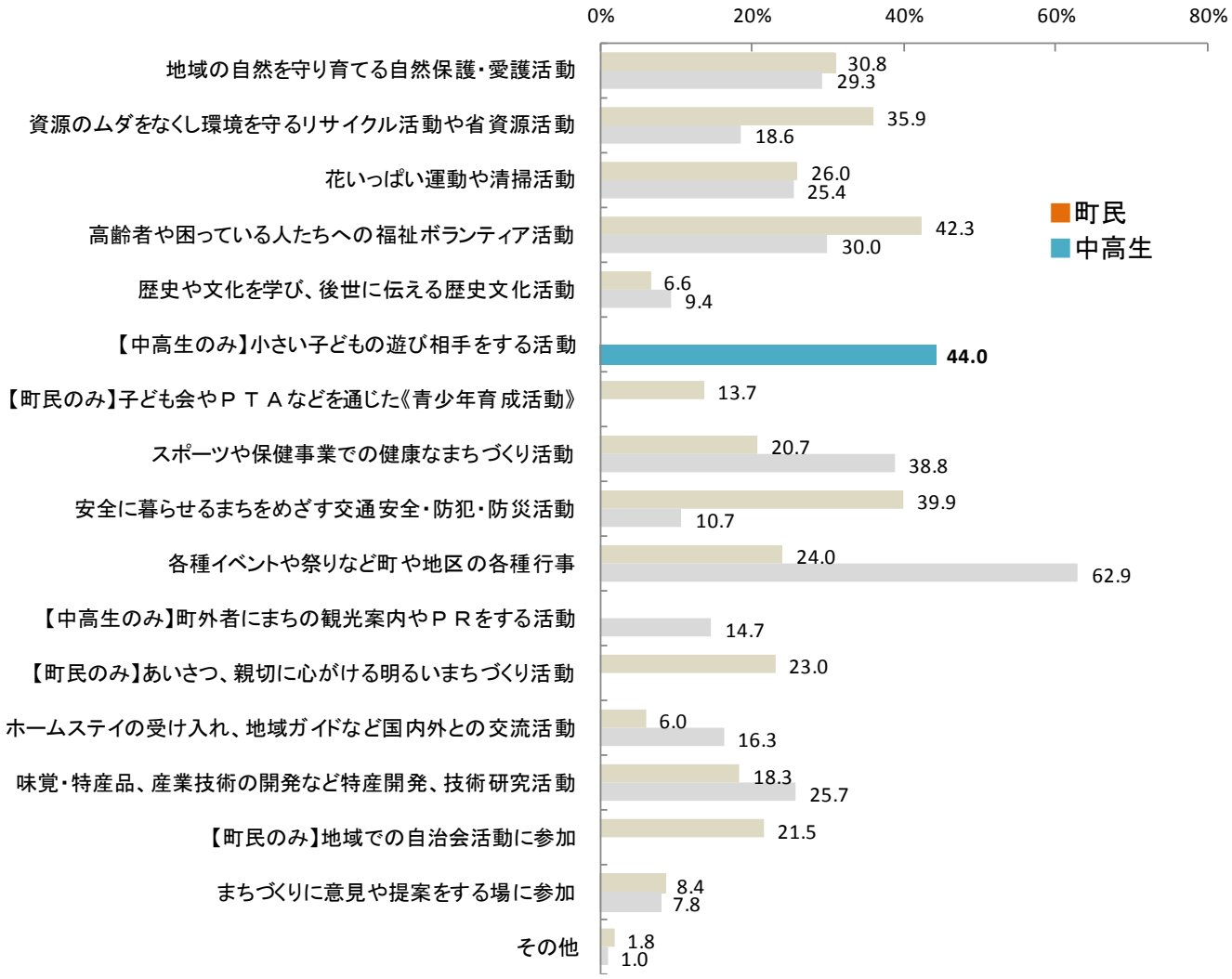
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）

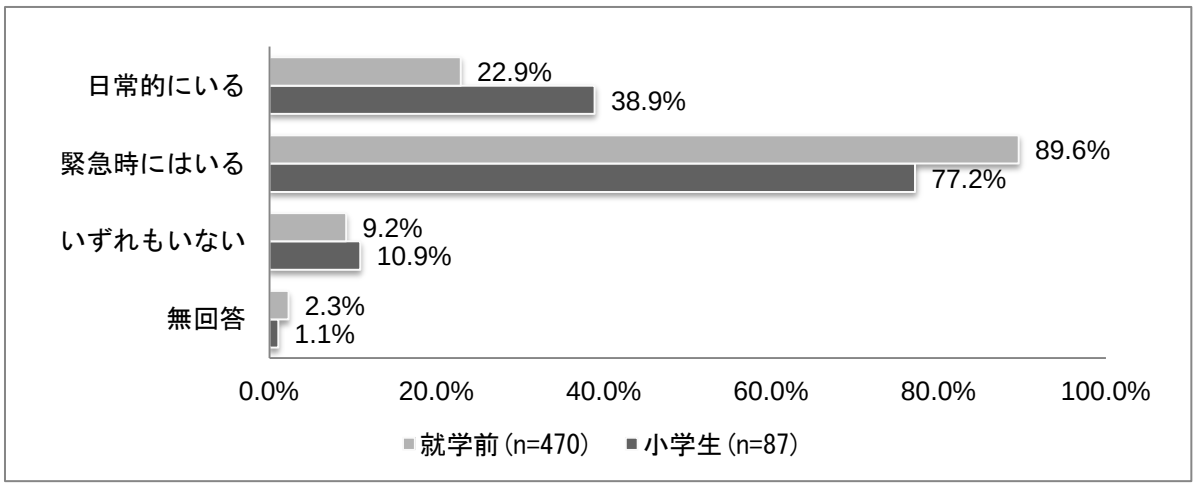


【問７】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）

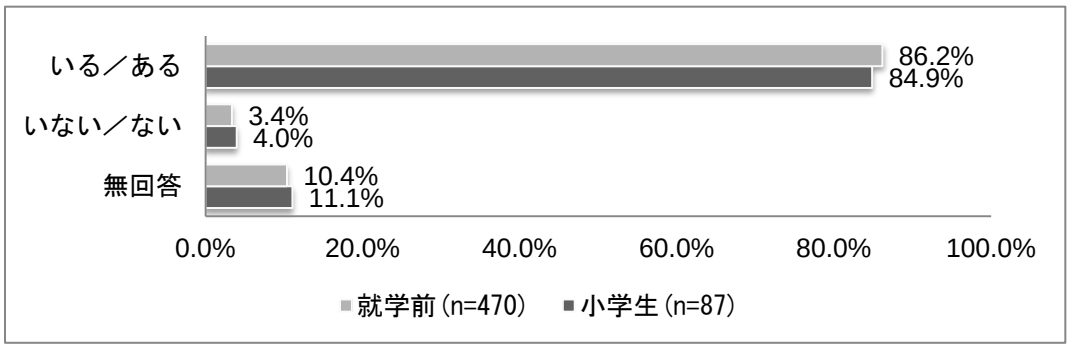


「子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査より（H25.4）※保護者が回答者

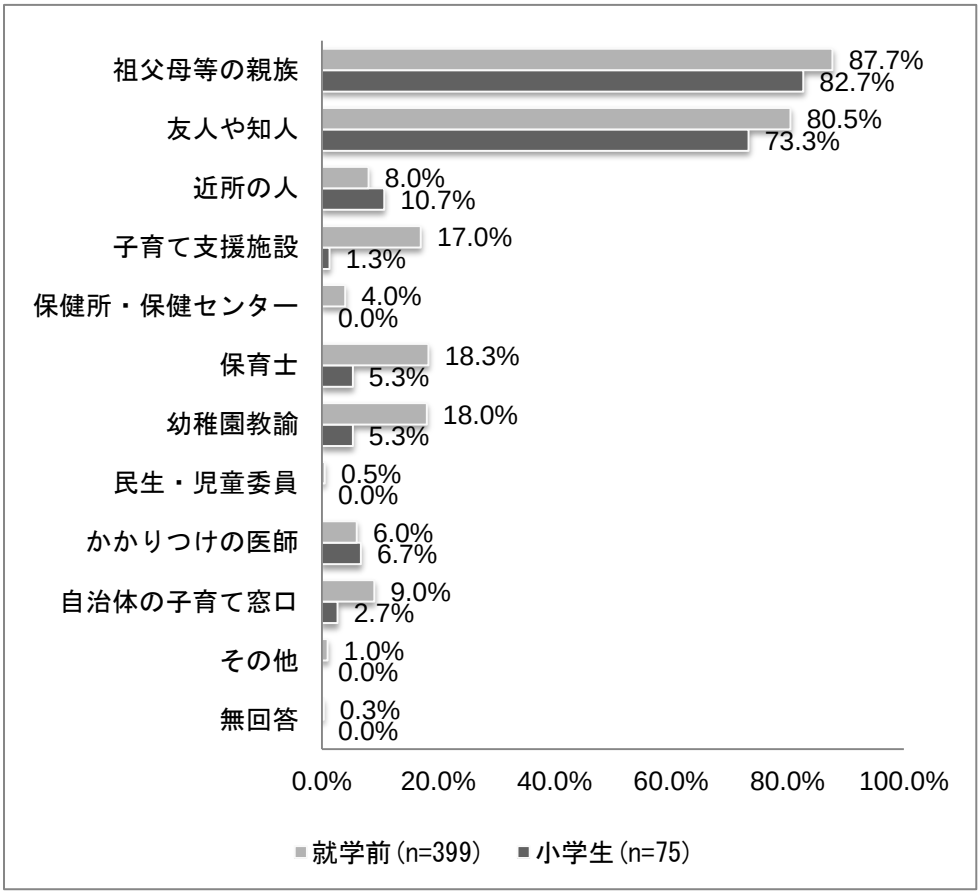
面倒を見てもらえる親戚・知人の有無



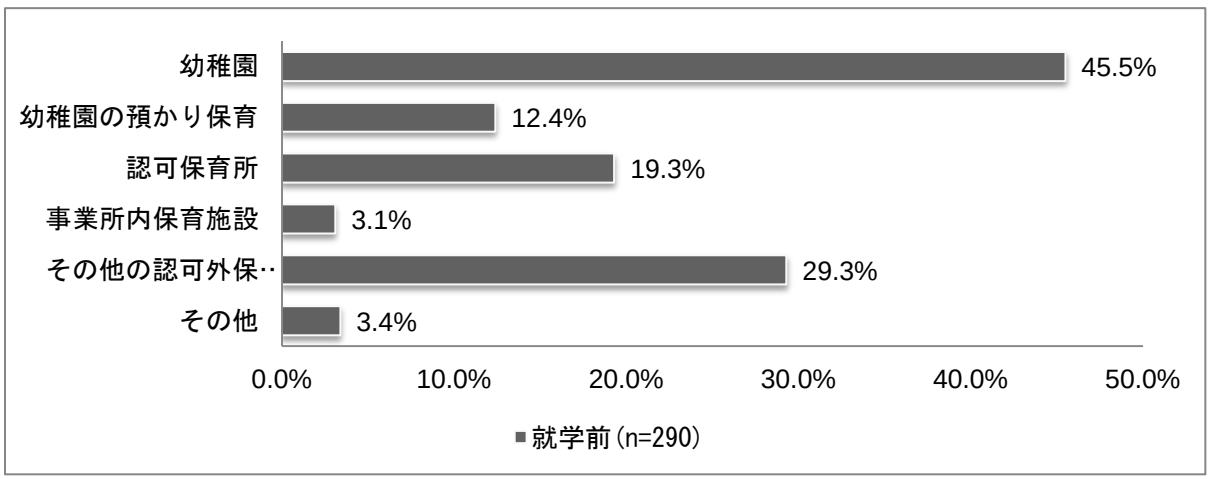
子育てを相談できる人又は場所の有無



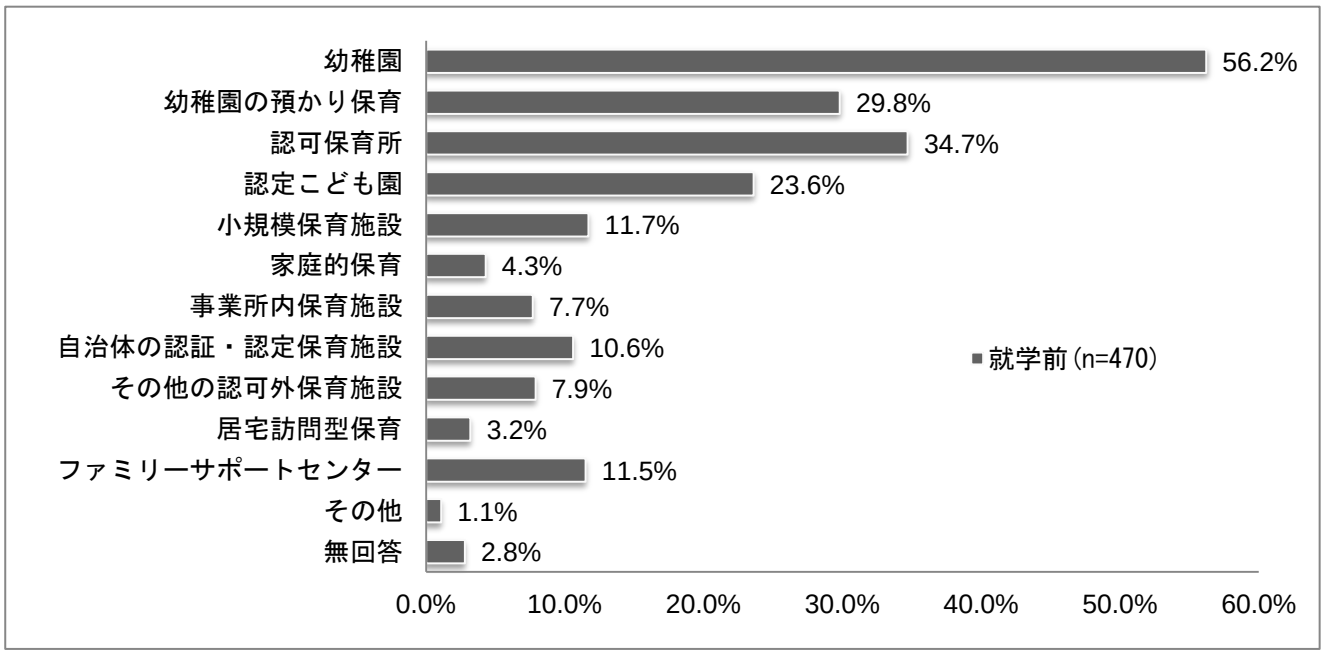
子育てを相談できる相手



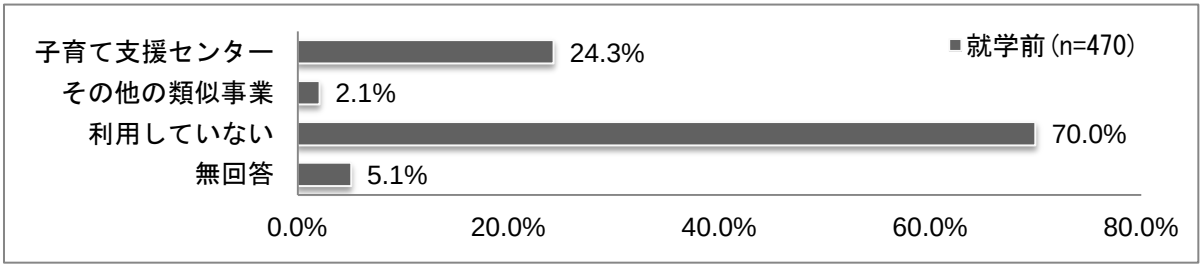
定期的に利用している教育・保育施設



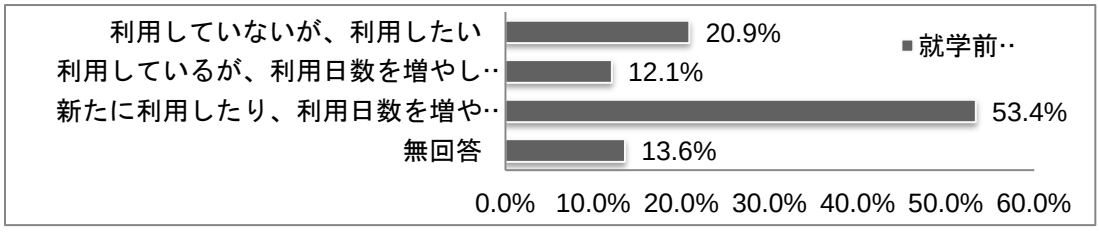
教育・保育施設の利用意向



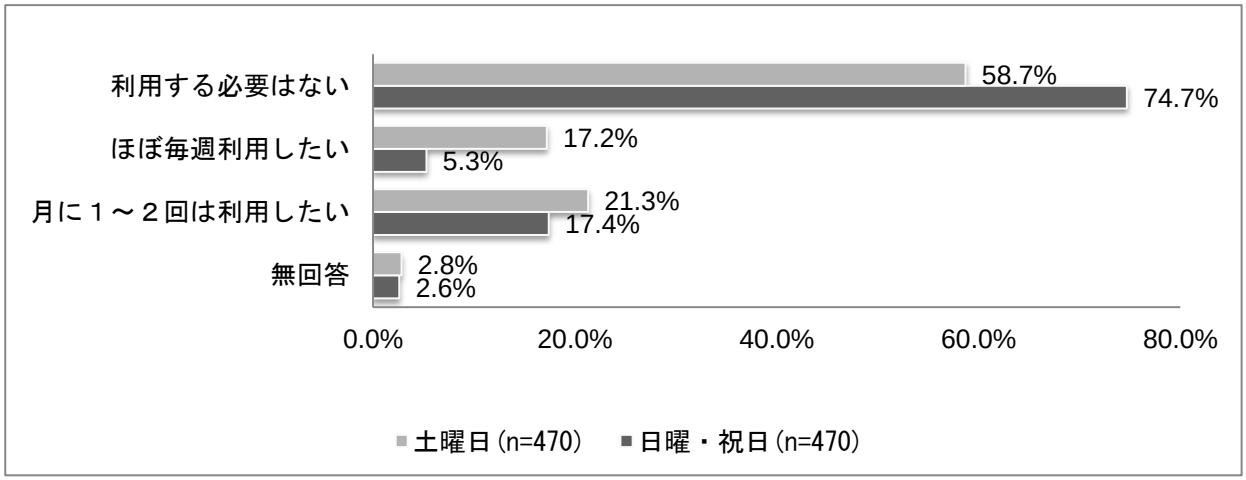
子育て支援センターの利用の有無(就学前)



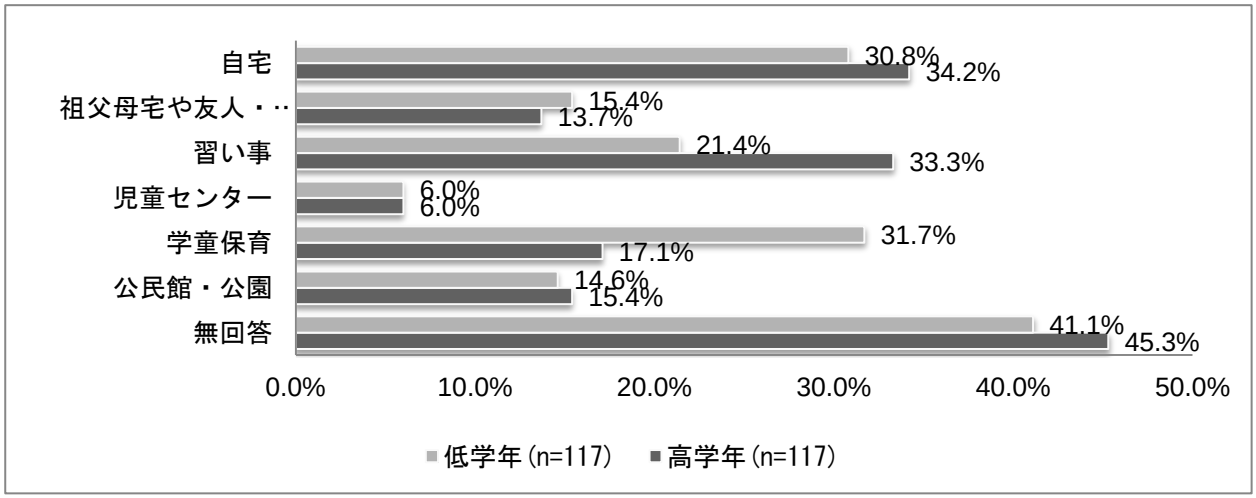
子育て支援センターの今後の利用意向(就学前)



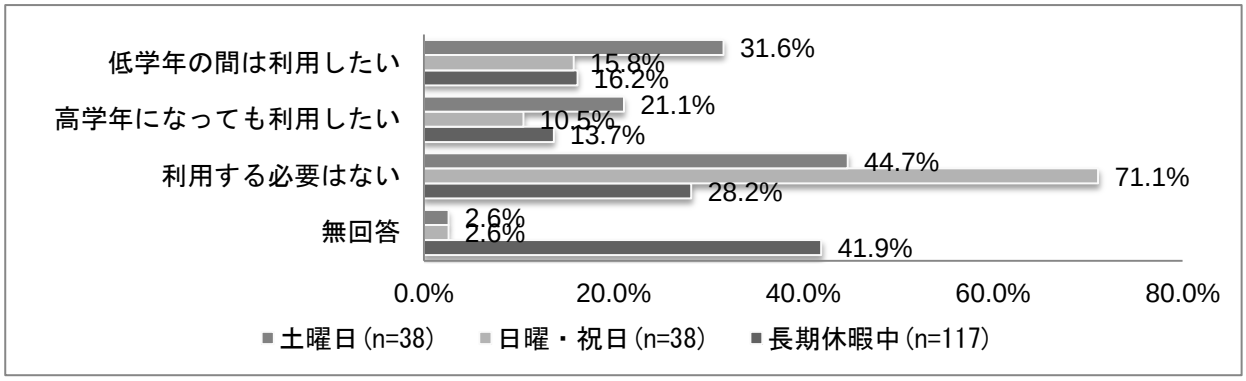
土曜日、日曜・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望(就学前)



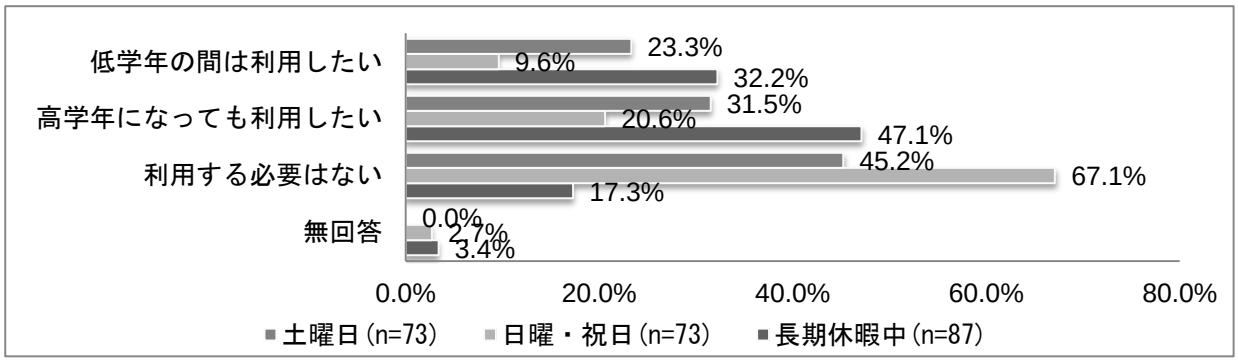
小学校就学後の放課後の過ごし方(就学前)



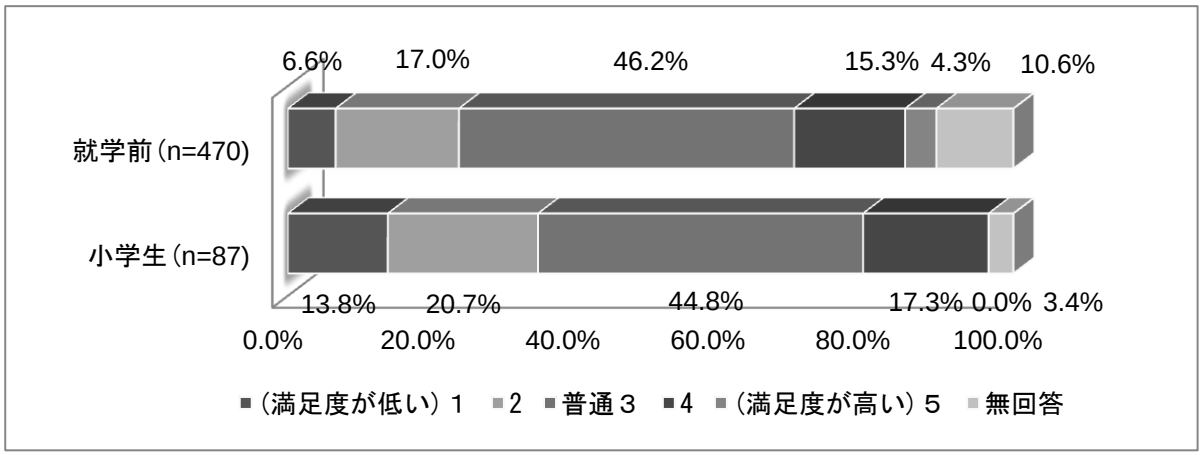
土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童保育の利用希望(就学前)



土曜日、日曜・祝日、長期の休みの学童保育の利用希望 (学童保育所に通所している小学生)



子育ての環境や支援に対する満足度



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
子育てに関する相談･指導の充実	育児に関する相談体制の充実	子育て支援センターへ直接電話相談をしたり、来所した際に育児相談をするなど、その都度職員が対応している。	専用相談室がない。	職員が信頼され相談できる場を設けて、親の育児不安などの解消を図りたい。
	子育てサークル、支援団体の育成	サークルの紹介や開設講座の講師として、利用者との交流を兼ねて遊びの場の提供をしている。	サークル会員の減少により、存続が難しい状況。	センターを初めて利用する方などに、サークル紹介などを行い会員増を図りたい。
	子育てサポーターや保育ママ※などの人材養成	年１回「子育てサポート・ボランティア講座」を実施し、託児ボランティアを養成している。	託児が必要な行事が多い反面、養成される託児ボランティアが不足している。	託児ボランティアを増やしていきたい。
	食育※に関する情報提供や親子料理教室の開催	栄養士による年２回､「離乳食」講座を開催している。他に 26 年度は調理講座を開催予定。	講師、開催場所、予算及び託児の関係で講座を増やすことができない。	栄養士の協力により、親子の食育の大切さを伝えていく。
	児童虐待の早期発見と速やかな保護をはかる相談体制の充実	各児童福祉施設や幼稚園又は児童の検診時などを通じ児童の虐待などを早期発見し、未然防止も行っている。	保護者の養育能力不足が目立ってきている。	今後も引き続き関係機関と連携を図りながら対応していきたい。
	要保護児童対策地域協議会※による虐待防止支援体制の充実	児童虐待と思われるケースについては、関係機関と協議の上、対策を講じている。	保護者の養育能力不足が目立ってきている。	今後も引き続き関係機関と連携を図りながら対応していきたい。
	次世代育成支援	次世代を育む若い世代の支援を含む広義の「子育ての社会化」を目指した計画であり、その計画に基づき各事業が進められている。	少子化が社会現象となっている。	子ども・子育て支援事業計画を策定中である。
母子の健康管理や経済支援の充実	妊婦健診や乳幼児健診等による母子保健の推進	乳児全戸訪問、各種健康診査、相談事業を実施し、異常を早期に発見し、必要な支援につなげている。	発達障がい児の支援や児童虐待家庭への支援体制の充実が課題	乳幼児期だけでなく就学後も継続した支援ができるシステムの構築
	経済的支援の充実	エンゼルサポート、プレママサポートの実施により経済的支援を行った。		継続した実施
ひとり親福祉の充実	ひとり親家庭への相談体制の充実	児童扶養手当の申請受付、ひとり親家庭医療費助成、母子寡婦福祉資金受付等の実施	特になし	今後も同様の支援を行う
	母子家庭への就業支援	ハローワーク求人情報の情報提供、北見睦会(無料職業紹介所)の情報提供	特になし	今後も同様の支援を行う

保育園（所）の充実	特別保育（一時預かり※、延長保育※、障がい児保育）の充実	町内には２つの通年保育園のほか季節・へき地保育所が４ヵ所あり、保護者のニーズにあった施設として保育サービスの充実に努めている。各施設は建設後相当年数が経過し、老朽化している。保育に支障がないよう修繕等を実施している。また、各保育園では、一時預かりや障がい児保育を実施しており、保育時間も平日は午後６時、土曜日は午後４時までに変更し長時間保育の拡大を実施した。	少子化により入所児童数が減少している反面、低年齢児の希望者が増加傾向である。また、心身に障がいのある児童が増加傾向である。 各施設は経年より老朽している。 保育士不足が深刻化しており、保育士の確保と処遇が大きな問題となっている。	少子化で児童数が減少する中で、通年保育園、季節・へき地保育所、民間保育所を含めた今後のあり方の検討が必要であり、子ども・子育て支援事業計画の策定の中で検討する。
	０歳児保育※、休日保育※、夜間保育※の推進	町内の民間保育所では、０歳児保育、休日保育を実施している。	低年齢児保育希望者の増と保育士賃金の増	今後も継続予定
	空き保育所施設を活用した民間保育の推進	民間保育所を利用する０歳児から２歳児までの保護者に対し、保育料が町立保育園に入園した場合の保育料より高い場合、補助金を支出している。	保育料のアップによる補助金総額の増。	町が担えない部分に対する保護者への補助は必要である。
学童保育の充実	学童保育所の機能の充実	留守家庭となる児童(小学 1～3 年生)の健全育成と福祉増進を図るため、市街地の小学校内に開設している。	一部の学童保育所では利用児童数が増えている。	法の改正により対象学年が６年生までととなり、どこまで対象とするか協議予定。
	児童センターの利用促進と地域ボランティアの参加促進	地域の子どもたちに健全な遊びの場を提供し、心身とも豊かで健康的な子どもたちの育成を目指して開設している。	町内に１ヵ所のため、利用者が偏っている。	今後も継続予定

※子育てサポーター、保育ママ：仕事や疾病等の理由で保育ができない保護者に代わり、自宅等で家庭的な雰囲気の中で少人数の保育・託児を行うもの。

※食育：栄養の偏り、不規則な食事、安全性の問題や食文化の継承など、生産から消費まで一貫した「食」に関する考え方を、家庭、学校、保育所、地域等を中心に育むことを国民が総合的に推進すること。

※要保護児童対策地域協議会：児童福祉法に基づき、地域の病院、学校、保健所、児童相談所、警察等の関係する機関と NPO、ボランティア等の関係団体が連携・協力し被虐待など要保護児童やその保護者に関する情報交換や支援内容の協議を行うための協議会。

※一時預かり：保護者の勤労形態により家庭での保育が断続的に困難になったり、保護者の傷病、入院、育児疲れ等により緊急一時的に保育を必要とする幼児に対する保育。

※延長保育：保育園の開所時間の前後の時間において、さらに時間を延長して行う保育。

※０歳児保育：生後概ね４カ月を超え満１歳を超えない乳児の保育。

※休日保育：保護者が仕事のため、日曜日や祝日に家庭で幼児を保育できないときに行う保育

※夜間保育：開所時間が概ね午前 11 時から午後 10 時までの時間帯に行う保育。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 児童館

⚐ 子育て支援センターは有り難い。

⚐ 子どもを対象としたスポーツ教室（キッズビート）は子どもが喜んで参加している。

⚐ 保健師さんは親身になってくれるので有り難い。「お兄ちゃんは元気ですか」と声をかけられるなど、きょうだいのことも覚えていてくれて嬉しい。

- 子育て支援の充実。（女性・30 代）
- 子育て支援の充実（室内遊具、特に土日も利用できる施設、預り保育、地域内の相談員の増加、公園内の遊具の老朽化の改善）（女性・30 代）
- 町の繁栄には、次世代（若い人、子供）がいかに住み易いかにあると思うが、残念ながら離れていく現状が見られる。子供を産みやすい環境の整備、美幌町独自の政策を…。日本全体に言えるが、少子化対策のための子育て支援と手当て等の拡充が必要と思う。（男性・40 代）
- 未来のまちづくりを担う子ども達の育成に、財源を含めて力を入れてほしい。言葉が悪いかもしれないが、先行投資をすることで、将来美幌町に何かしらの形で返ってくると思います。（男性・40 代）

＜助成＞

⚐ おむつ用の袋をまとめてもらえるのは有り難かった。

- 大空町みたいな子供を育てやすい環境づくり。毎月幼稚園費用の負担が大きすぎる。（大空町は月々5,000 円。）子供の医療費を中学校くらいまで免除。人口が減少しているので、子供を育てやすい環境づくりに力を入れてほしい。（男性・40 代）
- 例えば、給食の無料化や高校生までの児童手当など…（女性・40 代）
- 子育てのしづらさを 10 年前から感じています。保育園、幼稚園等の費用が高い。後で補助が出るなら、初めから前年所得で引くとかできないものか。水ぼうそう、おたふく、インフルエンザ等々ワクチンの補助も必要。また、小学生の学年費（これは本当に必要なのかギモン）や絵の具セット、ハーモニカ等々の購入費が大きい。（女性・30 代）
- もっと子供を育てるのに力を入れて欲しい。育児や仕事に力を入れるように町で協力していって欲しい。保育料の一定や、年末に金額が戻ってくるのではなく、毎月の負担を減らしてもらわないと、毎月が大変な家がゴロゴロあります！！年末にどーんと戻されて嬉しいけれど、１ヶ月１ヶ月がきつきつなので意味がないです。そこら辺の解決をして頂きたいです！！（女性・10～20 代）
- 近隣の町では、子供（小学生）の医療費が助成されるようになったと聞きました。美幌町でもぜひ、取り組んでほしいと思います。（女性・30 代）
- 保育料が高く、子供も沢山ほしいが、経済的にもムリ。（女性・30 代）
- 予防接種の「おたふく」「水痘」のワクチン代を町で負担してほしい。今は自費なので。（女性・30 代）
- 子育てに関しては保育料が高い。（都市ならともかく…という額。自衛隊を基準にしないでほしい。）（女性・10～20 代）

- 少し前まで違う町に住んでいました。そこは子育て支援が充実していて医療費が中学生まで無料でした。保育料は美幌の方が１万円以上も高く、子どもにお金がたくさんかかるようになりました。大きな町だから子育てもきっと充実しているんだろうなぁ～と期待を持って転入してきましたが、期待はずれでした↓（女性・10～20 代）
- 大空町の様に、中学までの子供の医療費の無料化を考慮して頂きたいです。また、町の施設は、せめて小中高生は無料にしては？（女性・50 代）
- 中学生（義務教育）まで医療費の無料化、中学生（義務教育）まで学校給食費の無料化など、思い切った施策をすべき。（男性・70 代以上）
- 少子化対策をしないと美幌の子供達が減り、美幌の将来が不安なので、子育てしやすい対策を早めに考えた方がよいと思います。税金や物価が上がり給料がアップしないので、小６までか中３まで医療費を無料にするとか、インフルエンザワクチン接種料金を無料にするとか、他の市町村のよいところを少し取り入れた方がよいと思います。（女性・40 代）
- 美幌町は少子高齢化がどんどん進んで、人口がどんどん減っています。フランスのような税金は払えませんが、少子化政策を少し取り入れて、３人目を出産したら、通院費や学校に関わる費用などの補助が手厚くなるなどのことをするといいのではないかと思います。（女性・30 代）
- ”愛するふるさと”を作ることが、まちづくりだと思います。子育て（の費用）は、小さい時より大きくなってからの方がかかります。小さい時にお金をバラまいても、親世代は低収入なので、生活費の一部となり消えてしまいます。小さい時にバラまかないで、高校生の時に何かで補助をするとか、親世代に低金利で奨学金を貸し付けるとか…。わがふるさとが私を支えてくれた、という気持ちや感謝があれば、この町に帰りたい、恩返ししたいと思うのでは？（女性・50 代）
- ○ 保育料の免除。何人目以降免除など。
- ○ 中学３年生まで医療費助成。
- ○ 子どもにかかる医療費助成の充実を図るため、地域の医療機関と連携をして取り組みを行っていく。
- ○ 乳幼児医療の対象年齢の引き上げが全国的に行われている。先行自治体の施策の目的等に準じ実施することにより定住促進効果も考えられる。また、財源は福祉施策の充実として消費税の地方配分を活用できるのではないか？
- ○ 保育費負担軽減。共働き夫婦で保育園に子供を預ける場合、保育料の負担が大きすぎる
- ○ 第３子以降出生報償金。夫婦二人で二人の子供を育てて±０、３人目以降は社会に多大な貢献となる現代、100 万円程度の報償金出しても良いのでは。
- ○ 子ども４人目からの世帯に対する施策（保育料減免、給食費減免、公営住宅家賃減免などあらゆるサービスに対して減免措置などを実施する。）
- ○ 子だくさん家庭に毎月お米を５キロ支給。子どもが４人以上いる家庭に支給。子どもがたくさんいる家はお米がすぐなくなるので、すこしでも家計を応援する。
- ○ ０歳から子供を預けて働けるように、更に預ける費用負担も軽減できると共働きも助かると思う。
- ○ 高学歴社会が現実である中、日本の高校を超える教育費は多額であり、保護者の負担感は相当なものであるため、負担軽減策を講じることによって少子化対策になるのではないか。
- ○ 高校卒業までの教育費助成
- ○ 身近な人達が不妊治療をしていて子どもができなく悩んでいます。子どもが欲しくても、人工授精に１回 60 万など高額です。不妊治療に対する補助などもあれば、子どもが欲しい夫婦などはもしかしたら美幌町に転入してきたり、また今いる美幌町民の人口増にもつながる

＜不安の解消＞

○ 子育てや教育のための地域組織の構築。地域とのつながりが希薄化していると感じます。育児不安を解消するために、子育てサークル活動を充実させる必要があると思います。身近な地域の助け合いの精神に基づいた相談、情報提供が必要だと感じます。

＜地域での子育て＞

○ 子どもの預かりボランティアなど

○ ご近所ベビーシッター制度（休日等にも仕事がある親が近所の方に子供を預けられるような制度。預かる方にも町から手当を支給する。）ご近所付き合いが希薄な時代だと感じるのでそのきっかけになるような制度が必要。中高年層の子育て経験を活かせることが出来ますし、子どもも地域の方との交流が増えます。ただ近所の方が信頼のおける方なのか判断するのも難しいですし、手当を町がどこから捻出するのかなど課題はあるかと思います。

○ 一時預かりや託児ママさん、幼稚園・保育園・学童保育のニーズは高いが人材や場所が少ない。ボランティアや専門職の育成や採用、専門職のアイディアを生かした新しい施設設置や既存施設の利用などしていく。

○ 広報や回覧板などでどんな町民がいるか等を周知し、声を掛け合ったり、顔見知りを増やしたり、協力しあえる環境作りをしていく。また、身内や近所から始めたり広げていく事で職場にも理解・協力してもらえるようになれたら良いと思う。

○ 働きたいけど保育園や幼稚園に子どもを預けることができない、短期間でいいから気軽に子どもを預けたいという方もいるので、そういう子育て中の親を応援できる制度があればと考えている。たとえば、退職されて時間に余裕のあるご高齢の方々を集めて、託児についてレクチャーし、ボランティアという形で託児を引き受けてもらえるような取組ができたらと思う。ご高齢であっても女性の方は育児のプロなので、お母さんたちも安心して子どもを預けることができると思うし、また子どももご高齢の方と関わる機会が増えていろんなことを学ぶこともあるのではと思います。

＜保育時間、託児＞

❀ 土日や夜間に子どもを預かってもらえるところがない。

❀ 病後児保育ができるところが町内にないので、北見まで行かなければならない。

❀ 町の行事やしゃきっとプラザ、サークルなどに参加したいと思うが、託児がないと難しい。託児があればと思う。

● 子育て支援をもっと広げてほしいです。預け先がない（親が離れている為）など困ります。（女性・10～20 代）

● 働くお母さん方の子供達を預けられる場所を増やしてほしい。（学童などちょっと高めなので）（女性・30 代）

● 児童施設を作る。（男性・30 代）

● 急速な少子化に対応して、安心して子育て出来る環境を大至急整える。（男性・60 代）

● 休日や夜に子供をあずかってもらえる所がない。緊急時、あずかってもらいたい時に困る。（というか、あずける所がないので行動できずにいる。）（女性・10～20 代）

● 転勤などで美幌に来た人達が困らない様に、１時間からでも子供を預けられる場所があればいいなと思います。そういう場所があれば親も助かります。実際、ストレスで病気になってしまった方を見ているので…（女性・30 代）

● ３歳未満の子をもつ親が丸１日ゆっくり過ごせるように、無料で月１回預かってくれるサービスがあればいいと思う。（女性・30 代）

● 以前住んでいた町は保育所の時間が 7:30～19:00 で、女性が働きやすく、保育所が拡大し幼稚園が減少という状態でしたが、美幌は逆です。美幌では、小さい子がいる親は、フル

タイムで正職員で働くことはとても難しいです。もっともっと子育てを充実させていけば、子どもが増えて若いパワーがたくさん実る美幌町になると思います。（女性・10～20 代）

- 町の保育園の終了時間が 18 時までで、延長保育がないのがありえない。働いている夫婦にとっては住みづらい町。小学校の学童も時間が早すぎる。延長してほしい。北見では児童館で 19 時までみていてくれるから、親も安心して働ける。改善してほしい。（女性・40 代）
- ○ 学童保育を小学校６年生までにする。18:00 までにする。
- ○ 保育所、学童保育の時間延長
- ○ 病院内託児・保育所。核家族化が進み、子育て世帯では急病の場合の子どもの預かり場所がない。簡単な手続きでとりあえず子どもを預けられる場が必要である。新たな施設を作るのではなく現状でできる場所が無いか検討すると同時に、保育士の雇用拡大が必要。

＜関連施設＞

- ❀ 雨が降った時に遊べる場所がほしい。博物館は小さな子どもにはちょっと難しい。（町外だと、北見にある「オホーツク木のプラザ」や網走にある「道立オホーツク公園」、津別にある「道立津別 21 世紀の森」、中標津にある「道立夢の森公園」のような）
- 子供達の遊べる所が少ない様に感じます。思い出の無い町に、人は戻って来ないような気がします。（男性・40 代）
- 子供が遊べるような屋内施設があると良いと思う。美幌に子供と遊んで過ごす場所がないため、結果町外へ足を運んでしまう。大きな施設があると町外からも美幌へ来ると思う。子供がいる世帯は、子供中心に休日等を過ごすので、より美幌町内でも過ごせる環境があると良いと思う。またそのような施設等は１ヶ所にかためてほしい。（男性・30 代）
- ○ 図書館･こども園(又は保育園)等の教育施設の充実。未来を担う子どもたちの環境整備を目的とする。既存施設の跡利用(取り壊しを含めた検討)、私立幼稚園等との協議調整が課題。
- ○ 幼児期に通える全天候型の施設整備の検討
- ○ しゃきっとプラザのプレイルームのような、簡易な小さい子があそべる場を町内の各地に作る。例えば、林業館の２階に木のおもちゃの遊び場など。
- ○ 町には児童館のような子どもたちが下校後や休日に自由に遊べる場所が無い。遊びを通して、学ぶこともたくさんある。
- ○ 子どもや家族が休日に遊ぶことができる施設。近隣町村の子ども、家族が、休日遊べるような場所をつくる。休日など、北見市等へ出かけ、美幌で過ごしていないため。
- ○ 子育て支援センターの建設。既存の施設は、コミセンに併設されていて狭いし、休日開放が月１回と利用しづらいので。
- ○ 子育て支援関係の施設の集約。施設が古くなり、在園児が少なくなると保育施設を整理してコンパクトにするか、逆に支援センター等施設をまとめて一つにする。保護者のニーズが複雑または多様過ぎて１箇所では保育士の手が足りなくなってしまったのですぐにお互いを助け合えるようにする。夜間保育に関しては、現状の保育施設では、保育しづらい所もある。
- ○ 子どもが健全に育つ環境作り。三歳以下向けの遊具設置や安全点検の強化をして親子で遊べる公園を充実させたり、親子で参加出来るイベントを企画して親子が楽しむと共に友達作りも出来るように進める。健やかに育っていく為に関係機関の連携を図り、子どもの成長を共有理解したり発達を見守ったりしていく。
- ○ 保育園施設の改修。総合計画には０歳児保育の推進とあるが、現在の施設では実施することができない。未満児保育のニーズの高まりもあるので、定員増も視野に入れた改修を検討してみてはどうか。０～３歳児保育を充実させれば、子育て世代の若者も暮らしやすく、人口増にも繋がると思われる。課題は、改修に当たっての予算的な面と、保育士の人員確保など。

<ひとり親支援>

○ ひとり親家庭に指定のゴミ袋を月に１回支給。

○ 母子家庭の支援。すべてカットは大変。もう少し違う支援を。

○ 私的な問題のため離婚防止にまで踏み込むことは容易ではないが、相談できる場所を設けるなど対策ができないか。離婚後のひとり親家庭への支援は、扶助費にとどまらず、現実的な子どものサポートが必要である。特に祖父母など親族の援助が受けられない場合は、生活面・学習面いずれにおいても第三者による環境整備の支援が必要

<その他>

❀ 町内にある公園の情報（場所、設置されている遊具、写真など）を集めて地図に掲載した「マップ」をつくってはどうか。子育て支援センターに貼るなど。

❀ 子どもの身長と体重を量れるものを、公共施設においてほしい。

❀ 子ども２名が乗れるよう、椅子を固定する自転車は限られており、高い。利用する期間は限られているので、貸出をしてくれるところがあると嬉しい。

❀ ベビーカーやベビーベッドの貸出ができるところがあると良い。

❀ 父子手帳をつくってはどうか。

● 子育て支援に関する情報が少なすぎる。子育て広場などを利用できる方は良いが、働いていたら行けない。支援の情報が入らず、一時預かり等、困った。（女性・30 代）

● 子供を産んだ後の支援体制は、今まで色々な所に住んできた中でも上位だと思うが、やはり美幌町内で子供を産めない。（産科の）入院環境がない為、出産時の入院等で上の子をあずける、または短期ステイを受け入れてくれる所が無いというのは、身内がいない人にとって大変辛いところであると感じた。そういった面では、妊娠出産の際には大変な面があると思う。（女性・30 代）

● 保育園や幼稚園などで、障がい者や発達障がい、自閉症などの対策もあれば安心できる親が増えると思います。この内容があれば町外から来る人もでると思います。（女性・10～20 代）

○ 学校では保健体育はあるが育児の仕方楽しさについては教えてくれない。育児が大変だという意識ばかり広まっている。若い世代に育児は楽しいことだと知ってほしい。赤ちゃんの扱いについても学べる場がほしい。

○ 親子関係が希薄になってきたり親子の時間が少なくなってりしているので、大切さや関係を築けるような講演やイベント、授業内容などしていく。

○ 美幌町は、幼稚園、保育園から中学校までの十数年間で、英語をマスターできるようにするなど、美幌で教育を受けた子は、これが優れているといったものを作る。

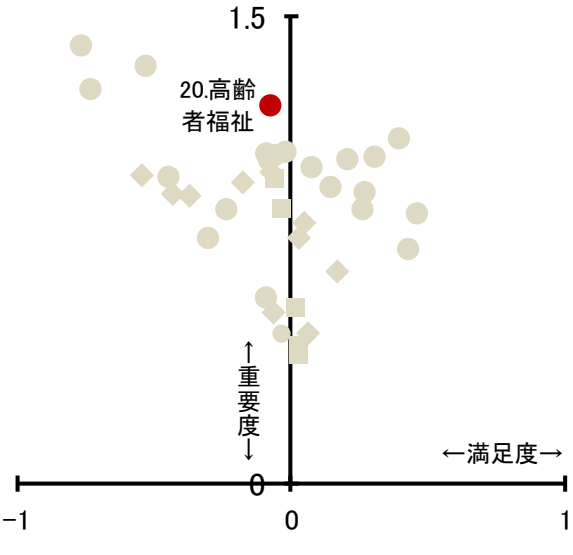
○ 臨時保育士の賃金アップ。臨時保育士の賃金を毎年又は、３年に１回とか少しずつでも上げてほしい。臨時保育士がいないと保育園が運営出来ないのが実態なので。臨時保育士という言葉が、一般的にはお手伝い的に聞こえる所もあるので、仕事とのギャップは大きいとも思われます。

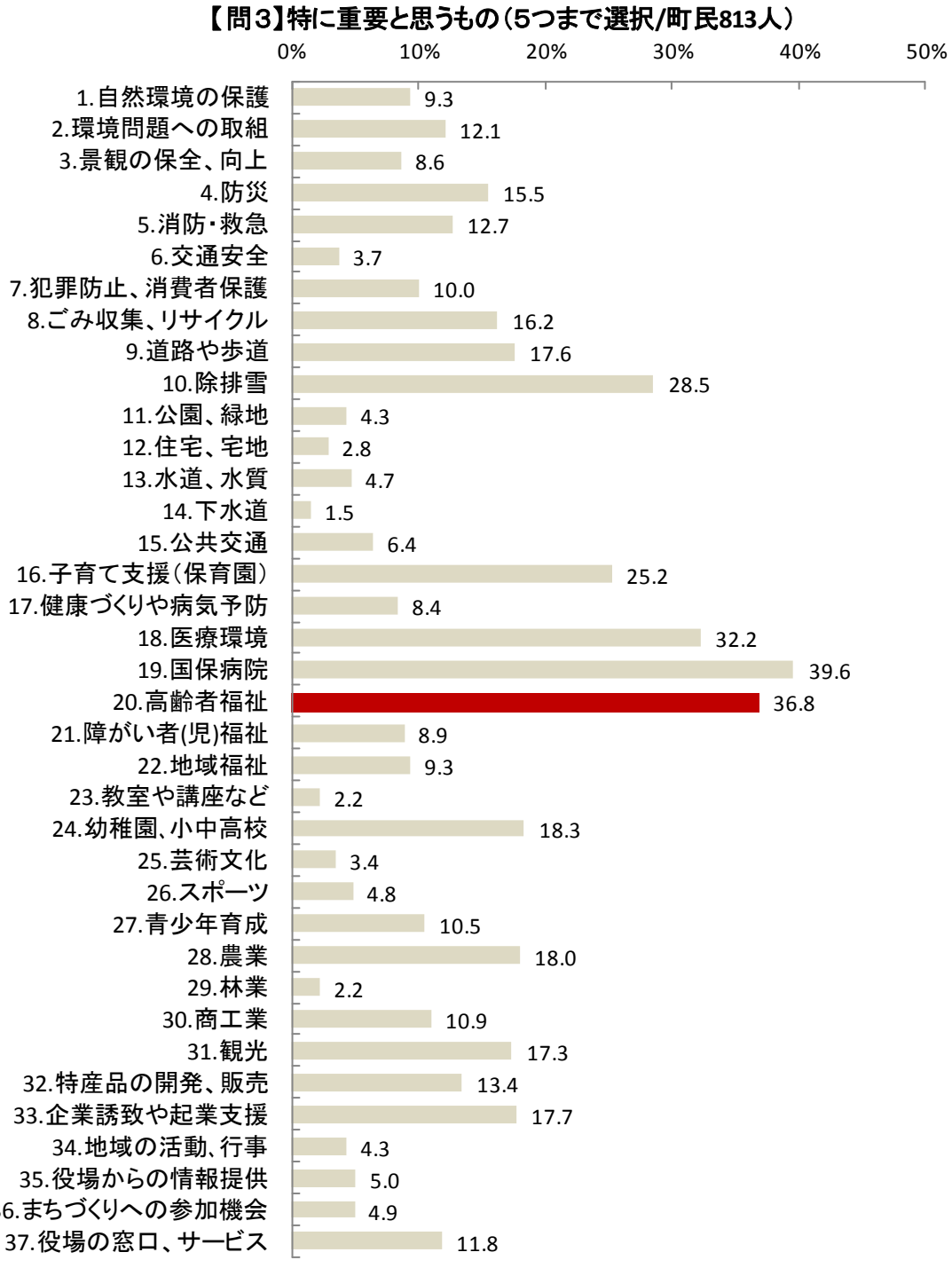
24　高齢者福祉

（１）関連グラフなど

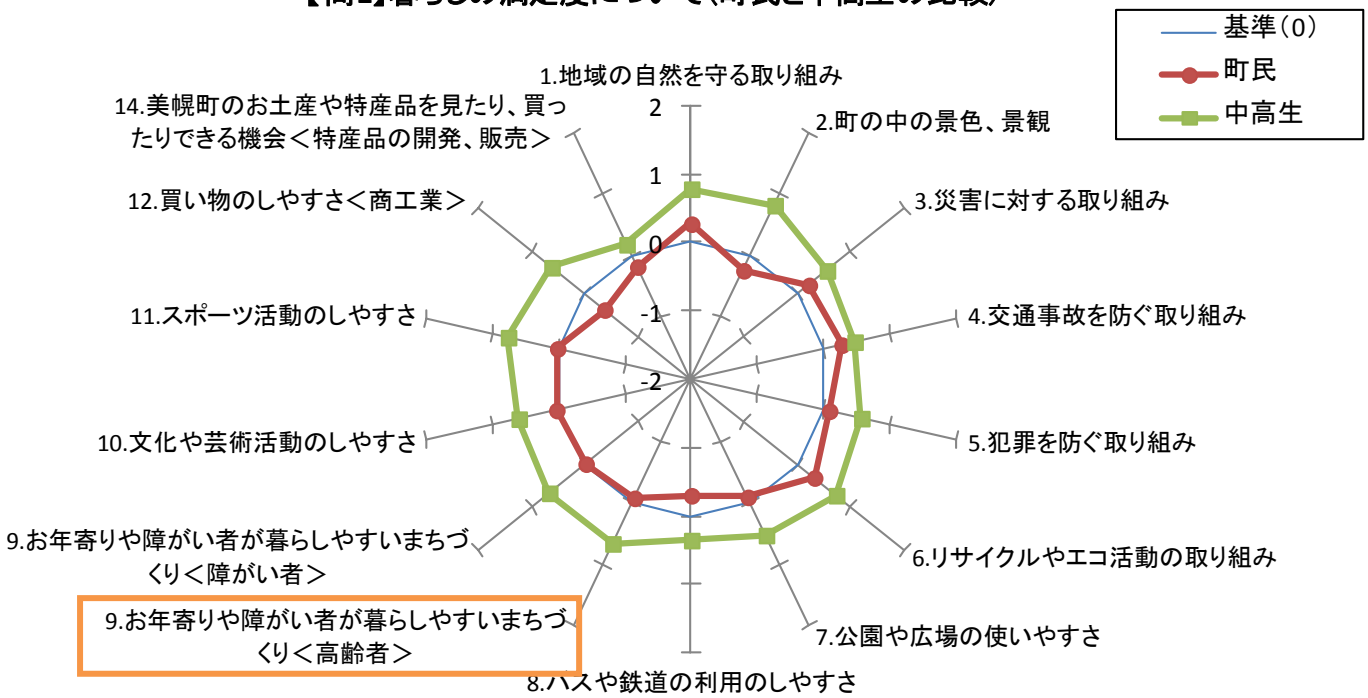
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

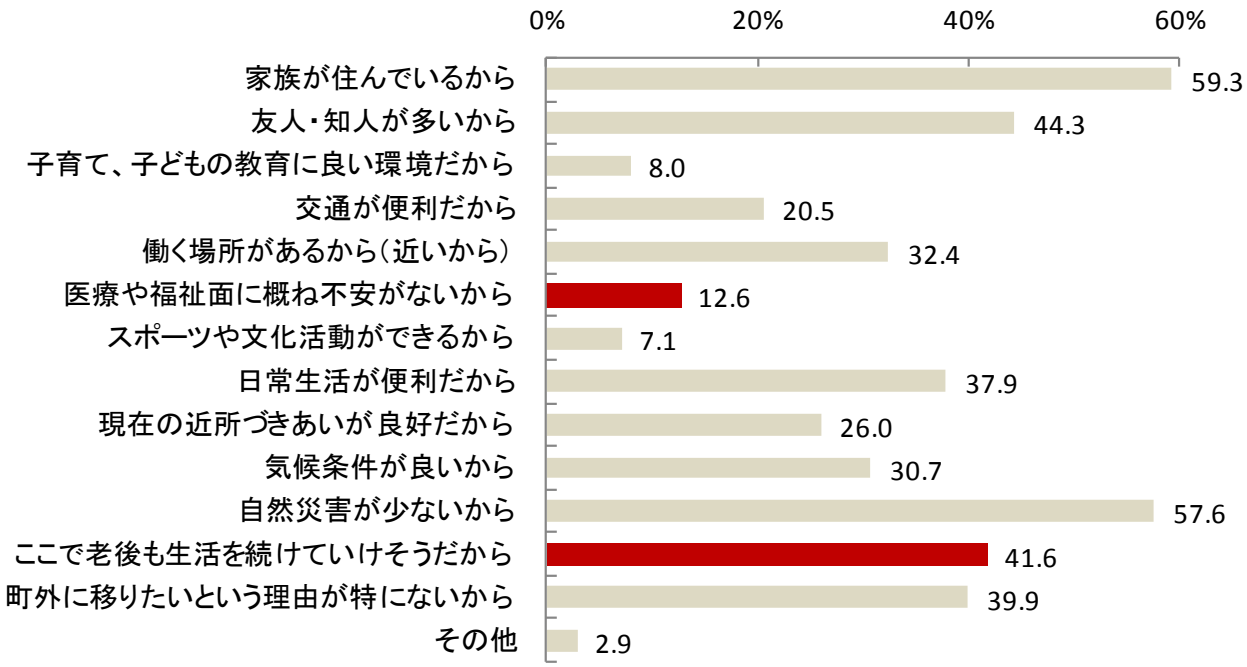




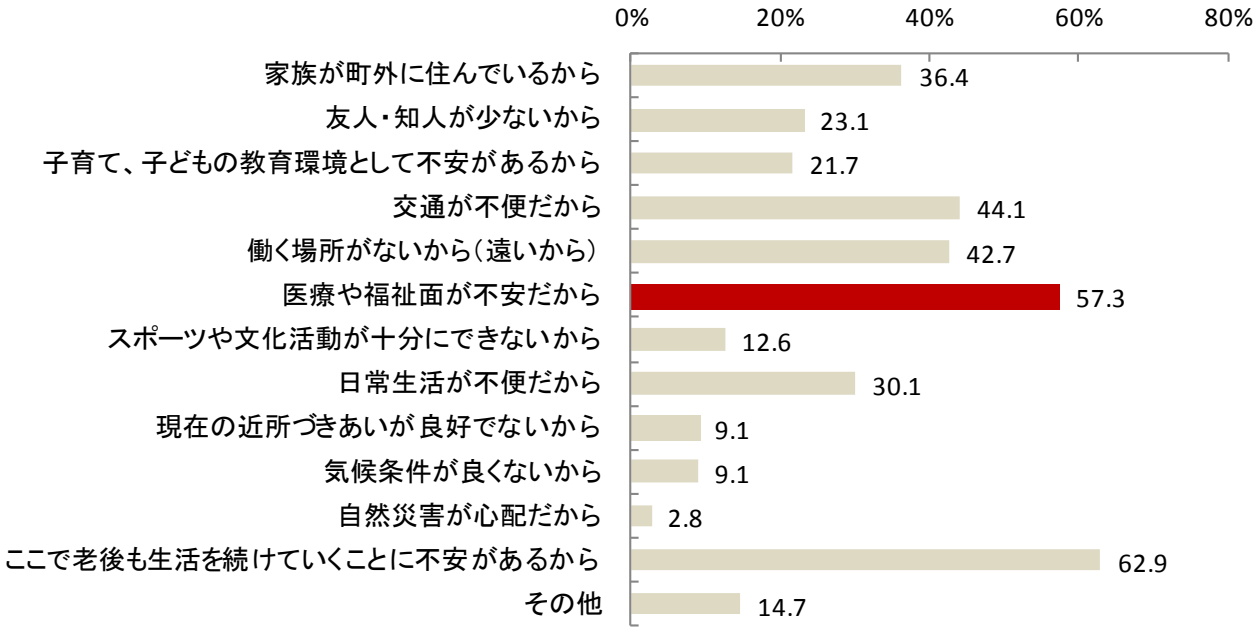
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



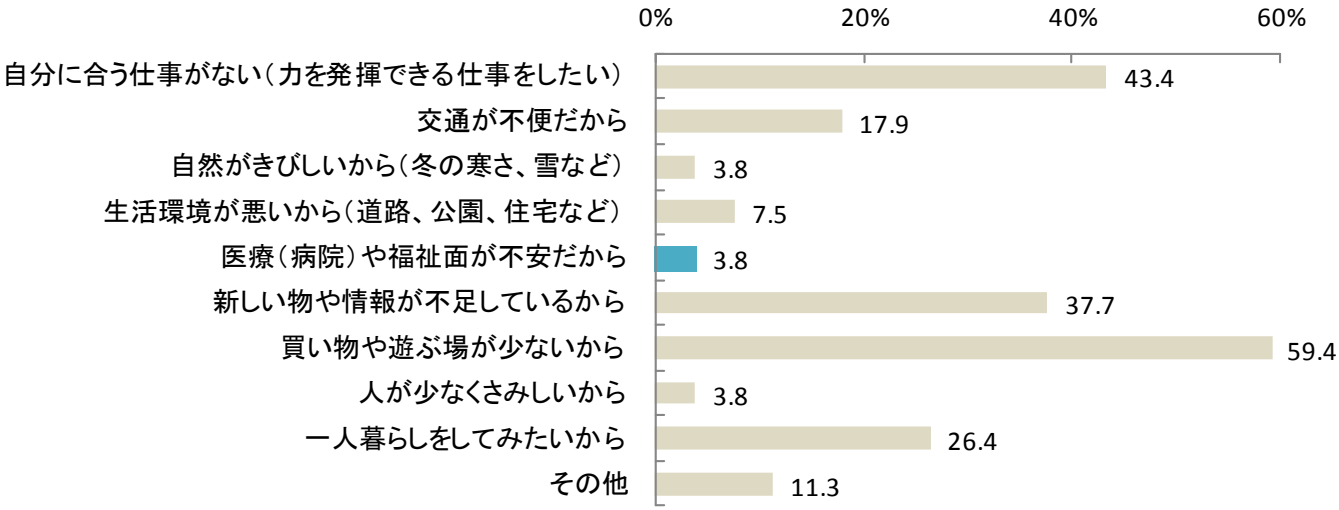
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



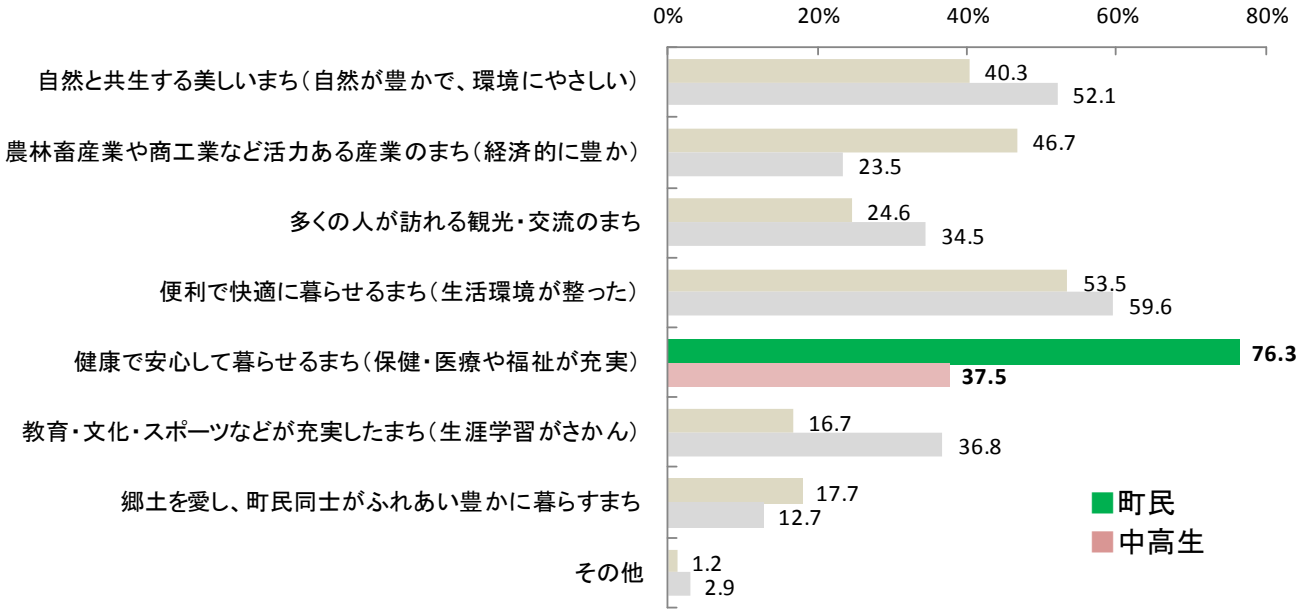
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



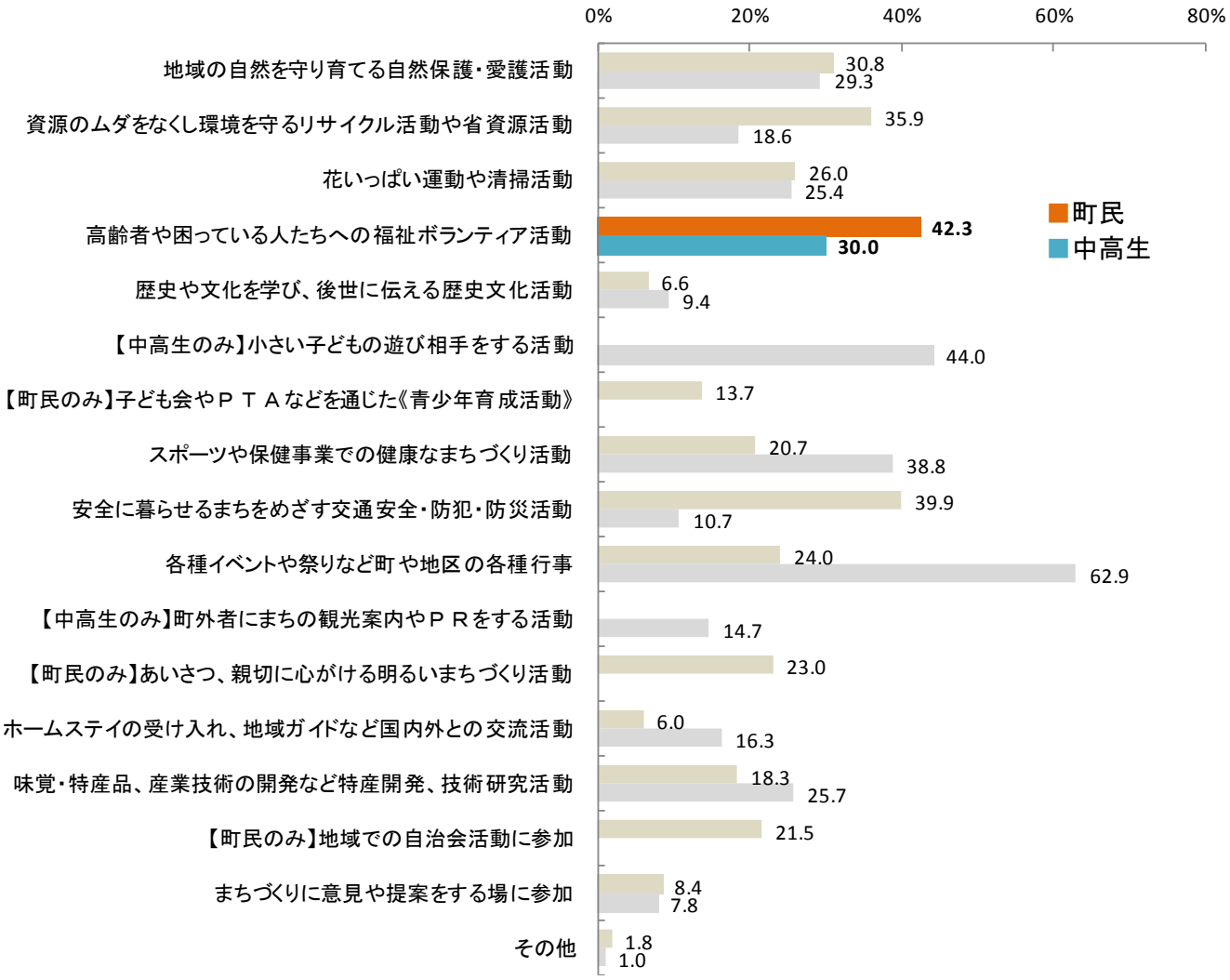
中高生 【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）

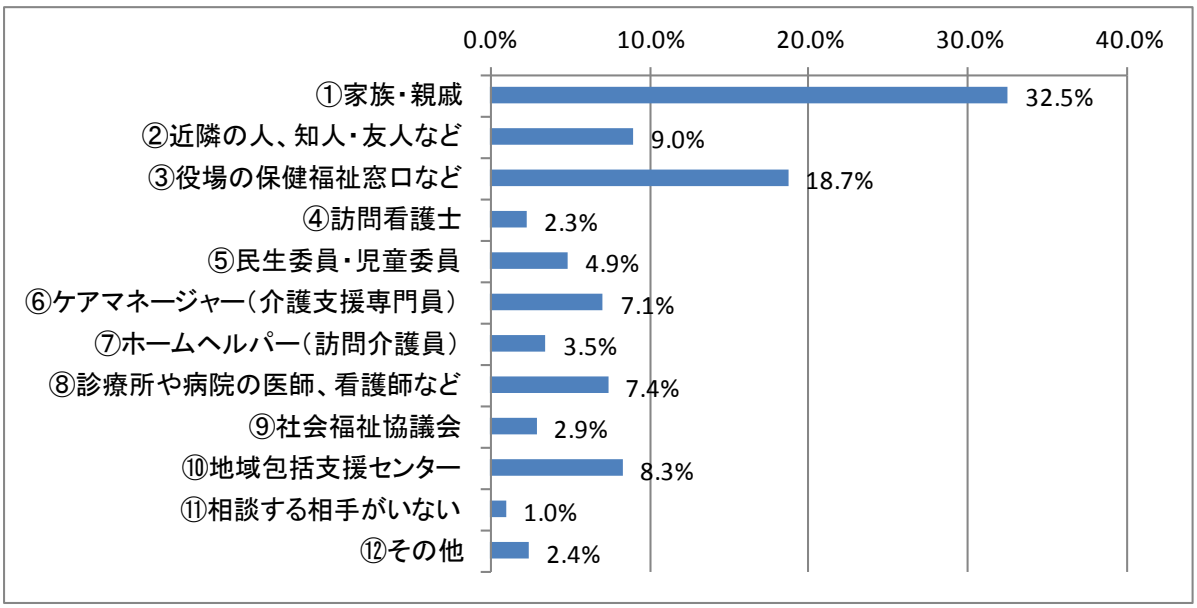


【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）

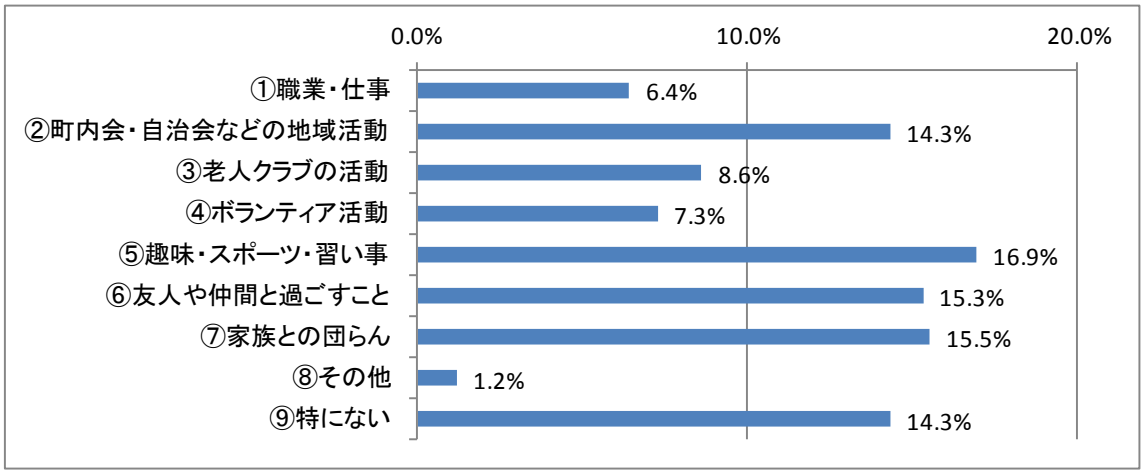


高齢者福祉に関するアンケート調査より（H26.4）　※65歳以上の方が回答

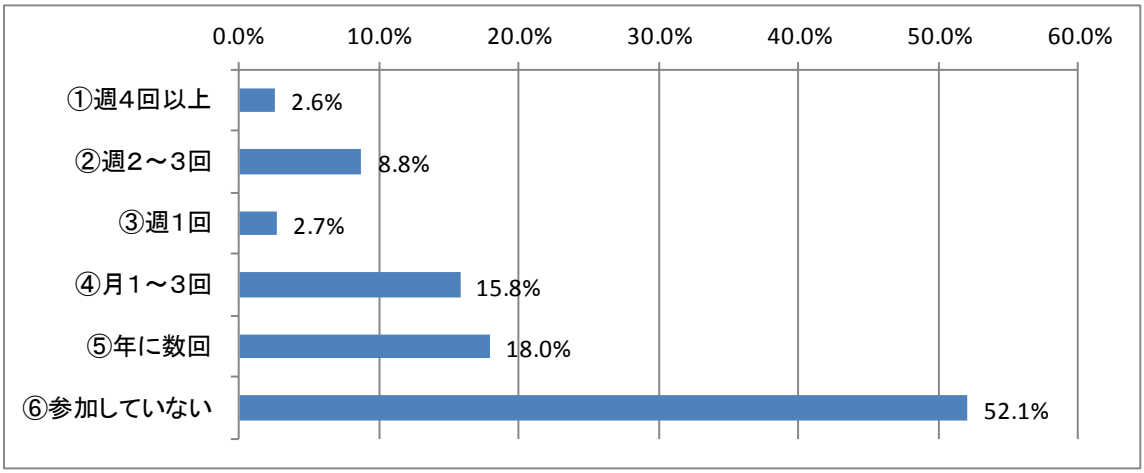
介護や福祉に関する相談を誰にしていますか。あるいは、誰に相談したいとお考えですか。



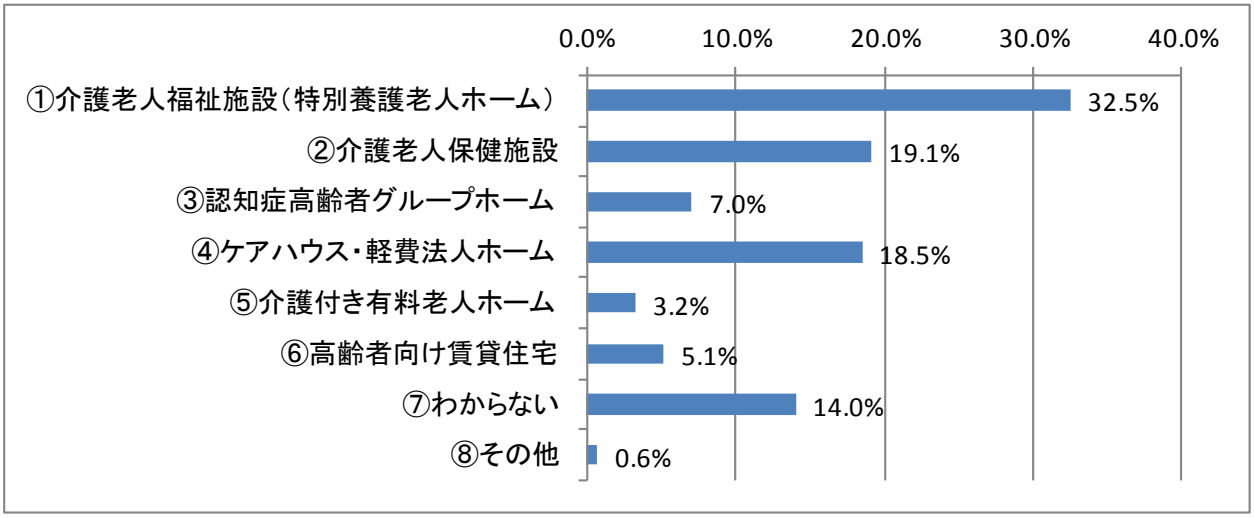
地域活動（町内会、自治会、老人クラブなど）やボランティア活動等をしていますか。



現在、地域活動やボランティア活動等をどのくらいしていますか。



福祉施設で暮らすとしたら、あなたはどの施設を利用したいとお考えですか。



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
高齢社会への対応	高齢者保健福祉計画※・介護保険事業計画※の遂行	第５期計画の推進により高齢者にかかる施策が総合的に推進され、また介護保険事業の安定的運営が図られている。	従来の予想を上回る超高齢化社会への対応。	第６期総合計画の策定を現在行っている。
	高齢者虐待防止および早期発見のための体制の整備	高齢者虐待防止ネットワーク会議を開催し、支援体制の検討を行う。虐待防止講演会の開催により啓蒙啓発を図る。	虐待対応後の支援体制について	制度の周知啓発による早期発見及び支援体制の連携
	緊急通報装置の整備による高齢者等の安心の確保	平成 26 年 7 月末現在 225 台を各家庭に設置済。非常時の高齢者等の迅速な対応を図る。	設置済装置の更新。消防設置のセンター装置の更新について	制度の周知により普及を図る。
自立生活の支援	介護予防メニューの開発と充実	自治会単位の介護予防教室など積極的に地域に出向いた事業を地域包括支援センター職員と町職員と一体で展開し、その際の健康相談等において支援を必要とする対象者の発掘の機会ともなっている。	認知症状がより要介護認定に反映されるようになり、また病状の悪化や転倒・骨折が多い傾向にあることから、認知機能の維持や転倒予防を特に意識した事業の取り組みが今後ますます必要となる。	今後も介護予防や認知症予防の周知活動を地域に出向いて行う機会を増やすと共に、民間ボランティアとも協働した地域ぐるみの介護予防の展開を推進する。
	認知症※に対する支援体制の整備	やすらぎ～認知症老人介護家庭への介護負担の軽減が図られている。 折り梅～認知症に対する町民フォーラムの開催やパンフレット配布により認知症の理解が図られている。	認知症高齢者の増加に伴いより一層の推進が必要となる	活動の周知により普及を図る。
	介護サービス、福祉サービス、地域における福祉資源、事業者等との連携	在宅介護のサービス内容や介護・高齢者福祉に関する情報交換等が行われている。	既存の在宅サービスの充実及び拡充について	介護保険制度の改正に伴いより一層の連携を図る。
	在宅サービスの開発と充実	既存の在宅サービスに対する要望等を取りまとめている。	介護保険制度改正に伴い民間ボランティアを含めた地域ぐるみのサービス及び既存の在宅サービスで要望に対応できるのか検討。	地域ボランティア、ＮＰＯ法人を含めた地域ぐるみの在宅サービスの新たな展開や既存サービスの充実を図る。

高齢者福祉施設の整備	施設の個室化などユニットケア※の推進	平成 24 年3月に移転改築を実施し、個室 70 床、多床室 30 床、ショートステイ 20 床の合計 120 床を整備。	要介護認定者の増加に伴う待機者対策について	民間法人へ経営移譲
	ケアハウス※の促進	第 5 期高齢者福祉介護保険事業計画中で整備が計画されているが、交渉していた法人が困難となり、民間主導を前提としているため建設年度は未定。	民間事業者との協議が整わず。	引き続き、民間事業者と協議を行う
	高齢者生活支援ハウス※の整備	福祉寮老朽化に伴い代替施設として重要だが、民間主導を前提としているため建設年度などは未定。	民間事業者との協議が整わず。	引き続き、民間事業者と協議を行う
	小規模多機能居宅介護施設※の整備	介護保険の在宅サービスでも重要だが、民間主導を前提としているため建設年度などは未定。	民間事業者との協議が整わず。	引き続き、民間事業者と協議を行う
高齢者の社会参加、生きがい活動の促進	みどり就労センターの支援	みどり就労センター補助金 350 万円の助成	法人化については他市町村の状況や適正就業の規制の情報収集をして検討。	補助金交付
	高齢者のニーズに対応した学習機会の充実	歴史・自然・産業・文化等幅広い学習内容で計画を組み、高齢者の学ぶ機会の充実を図っているほか、明和大学卒業生の自主的な活動を支援し、個々のつながりを深めることにつなげている。	就労年齢の高年齢化や趣味・価値観の多様化により、ここ数年定員割れが続いている。また、卒業生組織の加入率も低くなっている。	大学運営方法の改善を検討するとともに、関係機関との連携により情報収集を行い、充実・安定した活動と支援を目指す。
	高齢者の自主的な活動の促進	運営費補助により高齢者の生きがいの促進や地域活動への参加が図られている。	単位老人クラブの会員減少や高齢化による活動縮小など	補助金交付

※高齢者保健福祉計画：地域における高齢者の保健福祉水準の向上をめざすための計画。

※介護保険事業計画：介護保険事業にかかわる保険給付を円滑に進めるための計画。

※認知症：脳血管疾患やアルツハイマー病といった病気などが原因で、記憶、判断、言語、感情などの精神機能が慢性的に減退することによって日常生活に支障をきたした状態。（従来の「痴呆症」という用語に替わり、平成 16 年から用いられている。）

※ユニットケア：施設の個室を 10 人程度のグループに分け、それぞれをユニット（生活単位）として、食事や入浴などの日常生活を送ること。

※ケアハウス：ひとりで生活するのに不安がある高齢者（世帯）が、自立した生活を維持できるように配慮された軽費老人ホーム。

※高齢者生活支援ハウス：自立生活に不安を持つ 60 歳以上のひとり暮らしまたは夫婦のみの世帯を対象とした居住機能と交流機能を備えた小規模多機能施設。

※小規模多機能居宅介護：平成１８年４月の介護保険制度改正により創設された、地域密着型サービスのひとつです。介護が必要となった高齢者（主に認知症高齢者）が、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の３つのサービス形態が一体となり、24 時間切れ間なくサービスを提供できるのがその大きな特徴です。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ お年寄りが便利に生活できる（老人ホームなど）

☺ お年寄りが住みよい町

✪ 高齢者が多いと聞いたので高齢者のサポート（いろいろな意味で）をしてほしい

● 「福祉の町」に美幌町を変える。老人介護の問題が何より急務。施設の建設と介護者の育成を早急に！！団塊の世代が 8～10 年後には後期高齢者になるのに、美幌には受入施設やグループホームが少なすぎる。現在でも多数が入所待ち。このままでは人口流出は防げない。福祉は雇用を生むので、是非美幌を「福祉の町」へ！！（男性・30 代）

○ 元気な高齢者を一か所に生活させ、近くに病院・医院・歯医者・整骨院等を誘致する。

○ 介護予防における環境の充実。福祉に強い町は、町全体が充実しているという個人的なイメージがあるので。

＜高齢者支援＞

⌘ リフォームの相談をどこでしたら良いのか分からなかった。（→何か分からないことがあったら、憩いの家の方に相談すれば、役場の担当者が憩いの家まで出向いてくることもできるので、相談してほしい、ということを案内。）

⌘ 今一番心配なのは眼が悪くなって手術を受けようかと思っているが、一人暮らしなので、医者に行き説明を聞いて手術に行き何時間もの手術を受けるということを一人で対応しなければならないと思うと、踏みとどまってしまう。一緒に付き添ってもらえる人がいたら。

● お年よりが増えていくと思うので、買い物が遠い、車がない…などの対策や、病院の充実を考えて頂きたいです。（女性・50 代）

● 家、買物、病院が、年を取ると心配。近くに店がない方はかわいそうです。（女性・40 代）

● ますます高齢化社会になります。手厚い福祉行政を願います。（老人ホームの拡充、医療のサービス）（男性・70 代以上）

● 除雪について。体や心臓が悪くなり、除雪は無理となり近くの知人に依頼して居りますが、11 月から 3 月まで約 5 万円かかり、少ない年金生活では厳しい状態です。何か良い方法をお願いします。家の周辺は高齢者ばかりです。（男性・70 代以上）

● 高齢化が進んでいく中で、もう少し充実した施設等があってもよいのでは？と思います。へき地も含めて。（女性・40 代）

● 後期高齢者の人達に、ハイヤー、バスの乗り物を半額にして頂きたい。（女性・70 代以上）

● 高齢社会です。我が家は三世帯で、90 才を越える年寄りがいます。足腰が弱くバリアフリー化し、廊下やトイレ部屋など広くした結果 90 坪になりました。固定資産税の軽減を受けましたが、たった 3 年間です。高齢者がいる所にはもっと軽減があっても良いのでは。自分で年寄りを見るという所には、もっともっと優遇しても良いと思います。車椅子を使うには広くなくてはダメなのです。町としてもそのほうが良いと思いますが？（60 代）

● 今はまだ 60 代で、除雪等も何とかできているが、70 代になって足腰が弱ってきた時のことが心配。（女性・60 代）

○ 10 年後には団塊の世代が後期高齢者になってしまう。定年の元気な高齢者による高齢者サポート体制を構築する。団塊世代の元気な高齢者がボランティア等、地域で活躍できる体

制づくり。きっと、団塊の世代の介護予防にもつながると思います。

○ これからの高齢化社会に向けて、楽しく生きがいを感じられる活躍の場を増やしていく。

○ 町内にコンビニエンスストアが多数存在していることから、コンビニと連携し買い物弱者や独居老人への移動販売や配食のサービスを行う。

＜関連施設＞

⌘ 憩いの家にはお風呂があるのでいいが、峠の湯に行こうとなると遠い。今は送迎バスも運行していない。

⌘ 憩いの家は広報で知った。また、他の活動に参加するのも広報にあった案内を見て参加したりする。自分は広報を見て、比較的積極的に出向くが、多くの人は、いいなと思ってもそこからの一歩がなかなか踏み出せないのでは。

● 今後増える老人に対して、老人ホーム等の充実。

● 老後の心配なくホーム入居が出きる施設。（美幌は少ない！）（女性・30 代）

● 現在グループホームの介護職員という事もあり、やはり医療や福祉の面をもっと充実させてほしいと感じています。私のグループホームでも、介護職員が不足しており、求人をしてもなかなか集まらない為、少ない人数でなんとか頑張っているのが現実です。また、限られた資金の中でやりくりすることもあり、毎月測定する体重も、車椅子の入居者は抱えて測定しており、車椅子に乗車したまま測定出来る体重計も購入出来ません。私でも出来る事があれば、活動させて頂きたいと思っていますので、まずは、介護職員の意見や要望等を提案出来る場を作って頂きたいです。それが医療や福祉の充実に生かされると嬉しく思います。（女性・30 代）

● 認知症が顕著であっても、いろいろな事情の為に独居生活を余儀なくされている方々の支援は、介護保険のみでは隙間をうめる事が難しい。さりとて、認知症の知識がなければ、社会資源の活用も限られて来る。安心安全な生活を継続できる為に、必要時に直ぐに関係者が集まり協議する場をどう作るか。特に自立、要支援者の方々にとっては、喫緊の課題である。包括、各事業所、保健師、社協等の真摯な取り組みは理解しているが、もう一歩踏み込み、認知は関係ないと思われている若い世代等に、あらゆる機会に認知予防や、認知症状のきめ細かい啓発、啓蒙等に行政が力を発揮して欲しいと思います。（60 代）

● 博物館は見学者がいないので、場所は自然で空気も良いので、町で経営する老人ホームを作ったら良い。収入が入らないのに職員が何人も居るというのはやめた方が良いと思います。私達老人は、施設に入りたくても何百人も待っている状態では不安でいっぱいです。それから、国保病院の空室を使用する事も考えたらいかがでしょうか。（女性・60 代）

○ ここ 10 数年は老人施設の不足が続く。独居老人が多いのでシェアハウスがあると良い。

○ 安く入所できる老健施設、家族が働きながら高齢者の介護をしていくうえでのサポート隊に地域で取り組む。

○ 高齢者施設は現状でも不足気味の状況にあり、首都圏は更に絶望的状況である。このことは空港が近く環境が良い美幌町の商機であると考える。雇用の創出の面からも一番確実で長期に期待できる。

○ グループホーム（認知症対象）や特別養護老人ホームに現在空きが無く、待機者が多数います。また、要介護・要支援の対象とならない老人の入居施設が無いのも現状ですので、町が民間に積極的に働きかけ、施設の建設などをしていただきたい。

○ 病気やケガなどでベッドに寝ている時間が長くなると身体が不自由になる方も増えて来ると思われるので、寝たきりにならないようにリハビリ施設の充実が必要と思います。

○ 人口増が目的で、医師在住の高齢者向け居住区をつくり、町外から高齢者を移住させる。

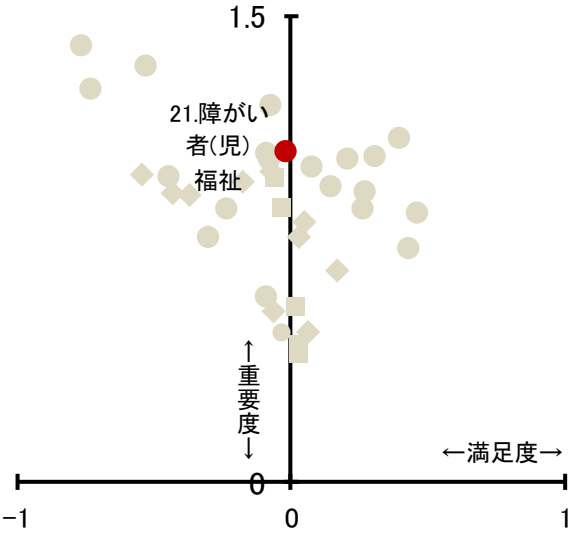
○ 老々介護者が増加傾向にあることから、今以上の高齢者福祉施設の増設による受入増により、高齢者家族の負担軽減を図る。

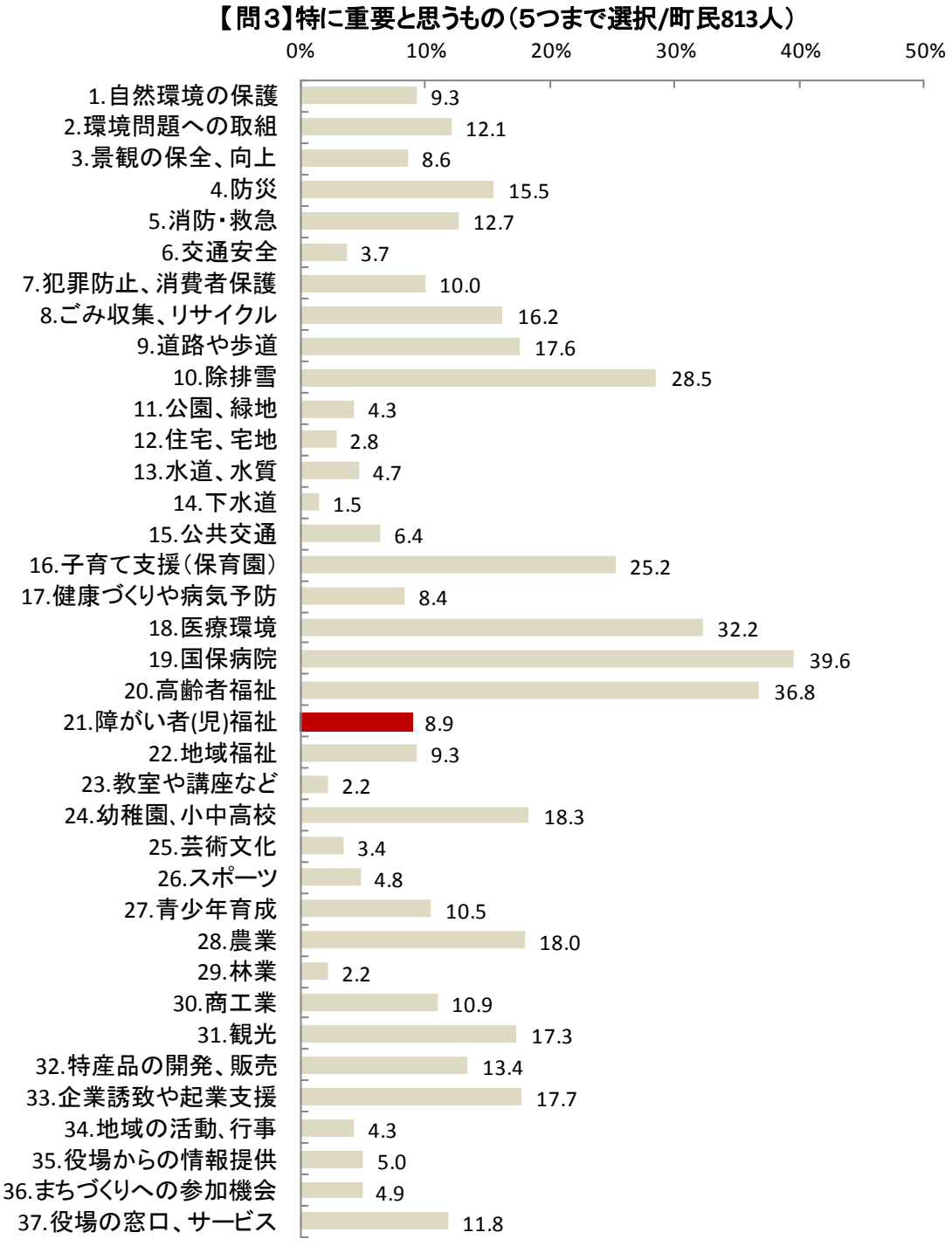
25　障がい者福祉

（１）関連グラフなど

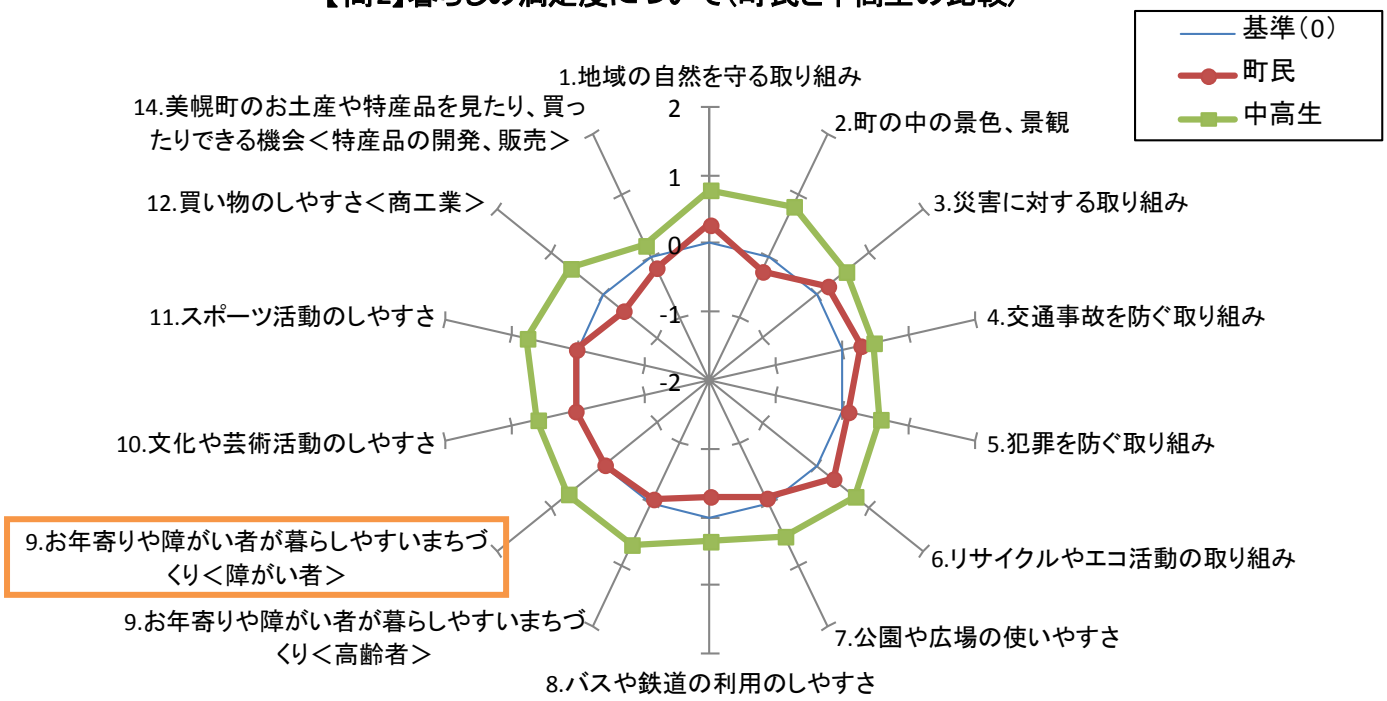
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





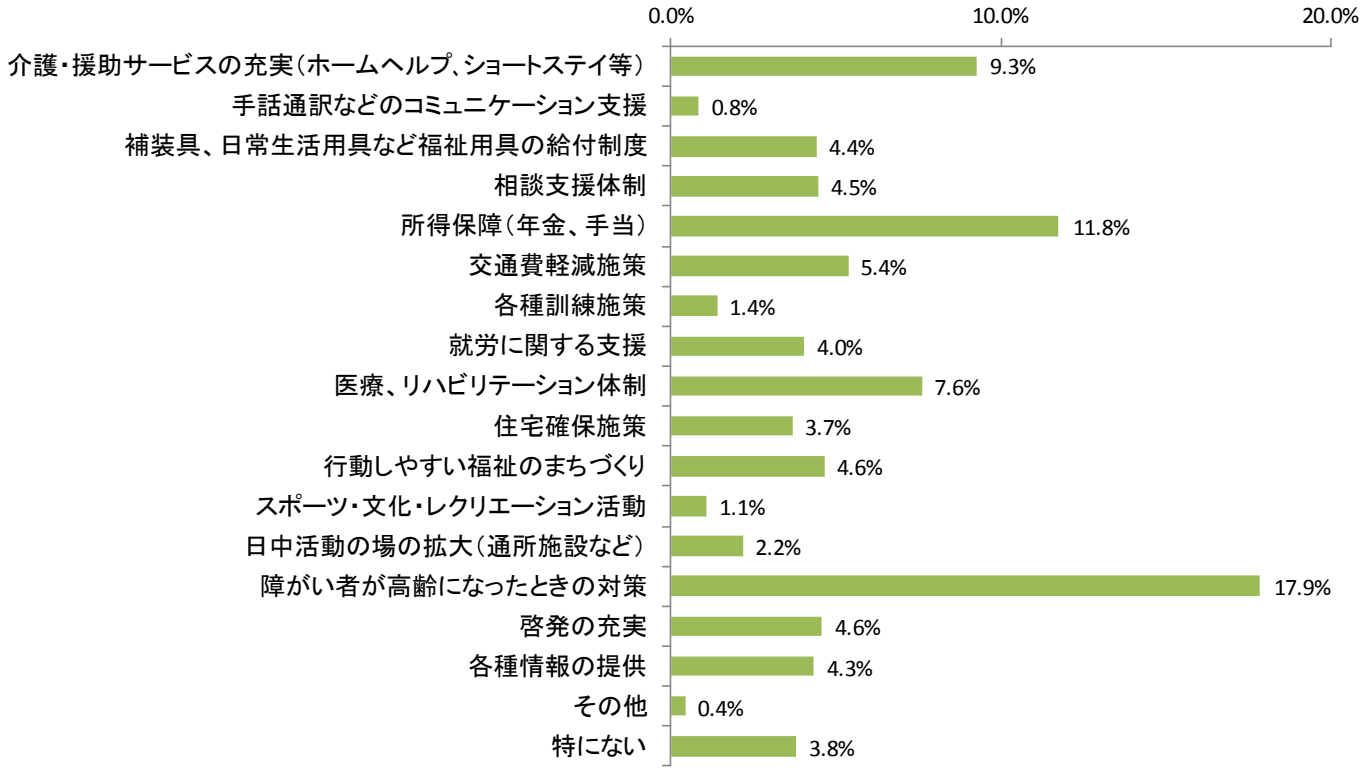
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



※このページ以外の町民・中高生アンケート結果のデータ、グラフは「24.高齢者福祉」と同じです。

障がい者福祉に関するアンケート調査より（H23.10）

今後美幌町が充実を図るべきだと思うものは（3つまで）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
障がい者福祉の推進体制の充実	障がい者計画※の推進	障害者自立支援協議会において、サービス利用実績や計画の進捗状況を報告し、推進に努めている	グループホーム、短期入所など希望どおりにサービスを受けられない場合がある	平成26年度に27年度～29年度までの3年間の計画を策定する
	障がい者福祉を支える人材の確保、育成	日中一時支援事業所、地域活動支援センターなどの人件費補助により、人材確保に努めてきた	障がい者ボランティアへの支援が機能していない	障がい者ボランティア活動の支援も視野に入れながら、人材確保・育成方法を見直す
	障がいに関する相談、指導の充実	毎月「心の健康相談」実施を予定 地域包括支援センターにおいて相談窓口の設置	利用希望者の実績が、町民に十分周知された結果であるか不明であるため、更なる周知が必要	今後も要望が見込まれるため継続が必要
障がい者の自立生活の支援	ライフステージ※を通した在宅支援サービス、相談訓練体制の充実	社会参加、余暇活動等を行うための移動支援サービス等により利用者の在宅生活を支援	主な取り組み内容の趣旨が具体的な事業で実現することが困難である	主な取り組み内容と具体的な事業の内容がかけはなれているため、取り組み内容を見直す
	機能回復訓練の支援	地域活動支援センターで創作的活動を行うことにより、能力回復に向けた訓練を実施	主な取り組み内容の趣旨が具体的な事業で実現することが困難である	主な取り組み内容と具体的な事業の内容がかけはなれているため、取り組み内容を見直す
	就労機会の確保	就労移行支援事業所の利用により実習を経て、一般就労へつなげる	就労移行支援から一般就労へつながる利用者がごくわずかに限られている	就労移行支援事業所の利用は有効であると認められるため、継続して利用を支援する
障がい者福祉施設の整備	障がい者の生活・訓練施設の整備促進	グループホームを１箇所整備	障がい者が地域で生活するための場であるグループホームが充分整備されていない	障がい者の生活・訓練施設の整備については、今後も促進する必要がある
	子ども発達支援センター※の充実	心身に障がいを有する又はことばの発達の遅れた未就学児童の日常生活における基本動作の訓練、集団生活への適応訓練と家族への必要な指導、助言を行っています。	通所児童が増えており、利用回数を減らして対応している。	通所児童の増に対しては、指導員を増やして対応しており、現状の療育を維持していきたい。
	児童デイサービス※による療育訓練施設の充実	心身に障がいを有する未就学児童の日常生活における基本動作の訓練、集団生活への適応訓練と家族への必要な指導、助言を行っています。	通所児童が増えており、利用回数を減らして対応している。	通所児童の増に対しては、指導員を増やして対応しており、現状の療育を維持していきたい。

障がい者の社会参加、生きがい活動の促進	障がい者が参加できる場や機会の拡大	緊急雇用促進事業、町単独補助により、事業所の運営を支援し障がい者の参加機会の拡大を図った	緊急雇用促進事業は単年度補助であり、事業所に対して継続的な支援が困難	人件費補助等による支援については、一定の成果が得られたため完了
	企業における障がい者の理解と雇用拡大	企業が就労移行支援事業所利用者を実習にて受け入れることにより、理解・雇用拡大につなげた	企業の実習先の拡大	企業の実習受入は、障がい者の就労にとって有効であると考えられるため継続する

※障がい者計画：市町村における障がい者の状況を踏まえ、障がい者のための施策に関する基本的な計画。
※ライフステージ：人の一生を段階ごとに区分したもので、通常は幼児期、児童期、青年期、壮年期、老年期など。
※子ども発達支援センター：発達支援を要する子どもと家族を対象とし、専門的な相談・療育支援等を行う拠点。
※児童デイサービス：障がい者自立支援法に基づき、通所で行う日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練をすること。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

- ✪ 障がい者にも分かりやすい工夫をしてほしい。町の道路に柵を設置して安全で渡れないようにするなど。夜に呼びかけ見張りをしてほしい
- ● 障害者に対して、わからない、知らない事も多い人が沢山いると思うので、毎回広報で、障害者への取り組みやバリアフリーの施設の紹介などいれてほしいと思います。障害者の不便さがまだまだあり、美幌の歩道も斜めになっているし、スロープもせまい。高さの問題など大変ですが見直して下さい。（女性・50 代）

26 社会保障

（１）関連グラフなど

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国民健康保険事業の推進	制度の周知および保険思想の啓蒙啓発	保険証更新郵送時のパンフレット等の同封及び医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知により、制度等の普及啓蒙が図られている。	夜間、休日等時間外の自己都合による救急外来「コンビニ受診」の増加。	制度等の普及啓蒙機会の増加による、医療費適正化対策の充実を図る。
	資格証※、短期証※の交付に係る管理体制の充実強化	国民健康保険税の収納率向上に向け、資格証、短期証の交付に係る管理体制の充実強化が図られている。	リストラや倒産等による被用者保険から国民健康保険への異動や、フリーター等で国民健康保険の適用を受ける低所得者層の増大。	国民健康保険税の適正な課税、収納強化による資格証、短期証の交付に係る管理体制の充実を図る。
	疾病構造や地域の特性の把握による保健指導の充実	各保険者に義務付けられている特定健康診査及び特定保健指導の実施率が向上している。	各保険者で定めている特定健康診査及び特定保健指導の目標実施率と乖離している。	引き続き、被保険者の健康の保持増進、医療費の伸びの抑制に向け、健（検）診等の充実を図る。
低所得者への自立支援	相談援護体制の充実および自立更生の推進	ハローワーク求人情報の情報提供や振興局就労支援員の紹介	生活困窮者自立支援法により北海道が実施する各種支援の「一次窓口」としての機能を地域福祉計画に明記する。	第２期美幌町地域福祉計画策定中
	生活困窮者に対する生活保障と自立の助長	応急援護資金（社協）や住宅手当緊急特別措置事業（道）の紹介	同上	同上

※資格証（被保険者資格証明書）：国民健康保険税を一年以上滞納している者に対し、保険証を返還させ、代わりに発行する国民健康保険資格証明書。医療機関の窓口負担は全額自己負担となる。

※短期証（短期被保険者証）：納期限から４ヶ月を経過した国民健康保険税の滞納がある者に対し発行する有効期限（３ヶ月）付の保険証。医療機関の窓口負担は従来どおりであるが、更新時に納税相談に応じなければならない。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

- 外から見ると大変だと思う老人や生活保護者は、意外とお金を持っていたり、タバコを吸っていたり、お寿司を食べたり、健康食品に自ら進んでだまされて大金使ったり、良い感じです。自営業は大変です。国民健康保険料を払うために働いているみたいです。時には厳しく、生保の人のパチンコ禁止条例など作ってみたらどうでしょう。パークゴルフ使用料も、もう少し高く取っても良いと思う。負担は若い人ばかりでは、明るくないです。（女性・50 代）
- 私は今心の病で仕事が出来ない状態です。他人は病院に…そのお金がありません。無料相談！！それが出来る位なら、悩まずにすむのでしょうが…。生活保護の方々は、病院代、交通費、家賃、灯油代と何も心配する事なく過ごしています。羨ましいです。本当に生活保護が必要な人と、そうでない人がいます。パチンコ、飲み歩き、衣・食の無駄遣い。飲み歩き（つけをしてまで）借金、あげくのはてには、私は休んでもお金が入る！！別れた主人とも会い、旅行に（子供含む）。ご主人と実家（農家だったはず）の双方から援助を受けているはず。当人はスマホも使用。保護を受けている人は優遇されすぎです。無駄をなくすよう徹底して頂きたい。（女性・50 代）
- 行政はみせかけの弱者に力を入れすぎている。十分働ける者に生活保護を渡し、まじめに働いている者がバカを見ている。生活保護費をもらってタバコを吸い、酒を飲み、髪をそめて、しまいには人に迷惑をかけている。役場はきちんと見極めて支払うべきだ。（男性・30 代）
- 低所得者に対して、もっと目を向けるべき。子供がいる主婦の仕事の確保。一生懸命働いても、引かれる金額がスゴク、我々は国や町に対して恨みながら生活しています。（男性・30 代）

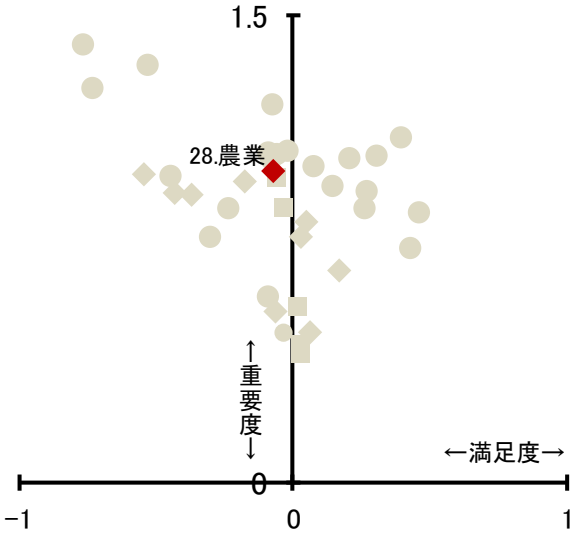
○ 最低賃金で働いた場合の手取り額が生活保護受給水準より低くなる「逆転」現象がおきており、生活保護受給者は最低賃金で働くなら仕事をしない方がマシで就活意欲も湧きません。生活保護者は自治会や町主催の行事への参加や公園の草刈りや道路清掃のボランティア活動を義務付けるなどして、生活保護を受けるより働くほうがマシと思わせる制約を課すべき。

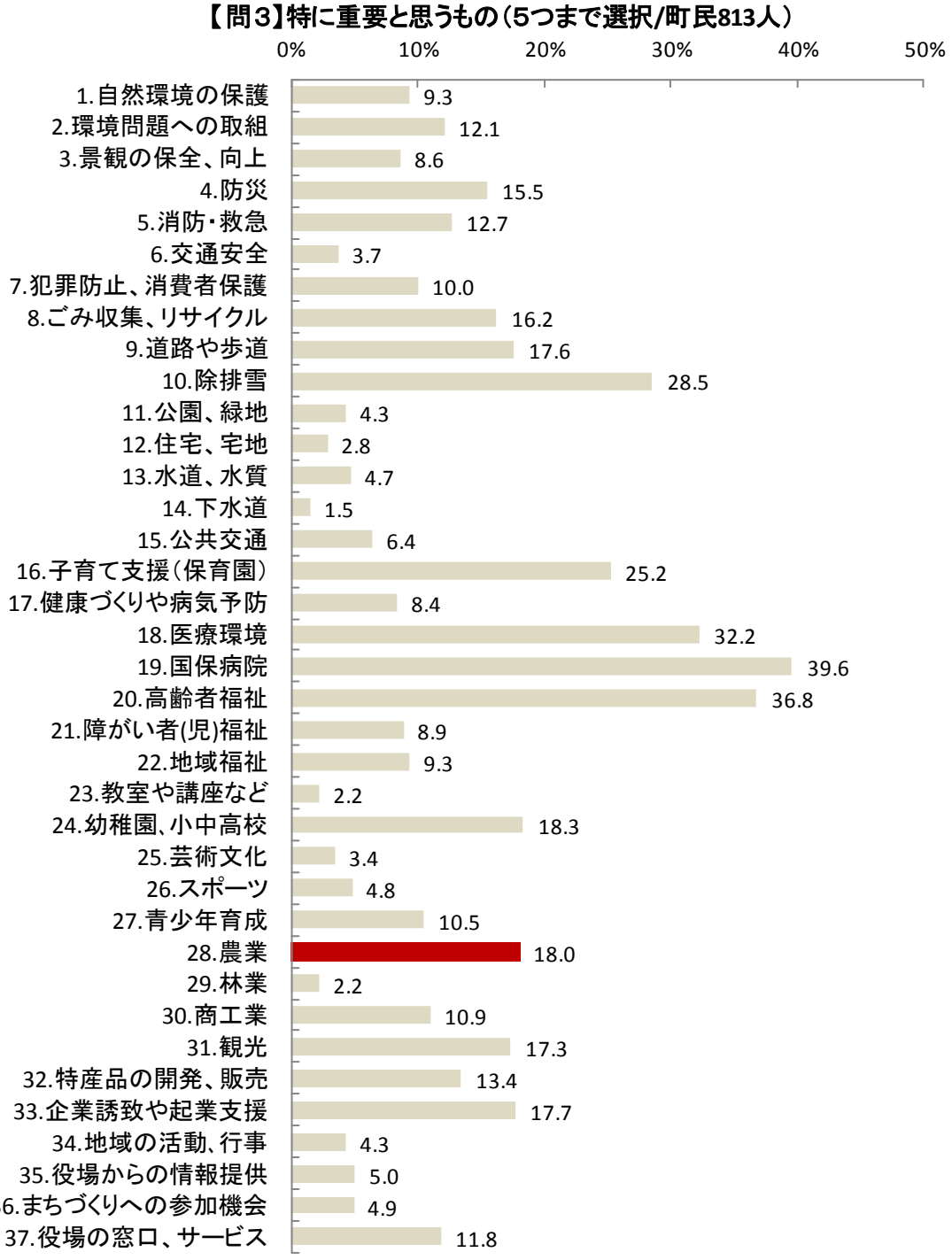
27 農業

（１）関連グラフなど

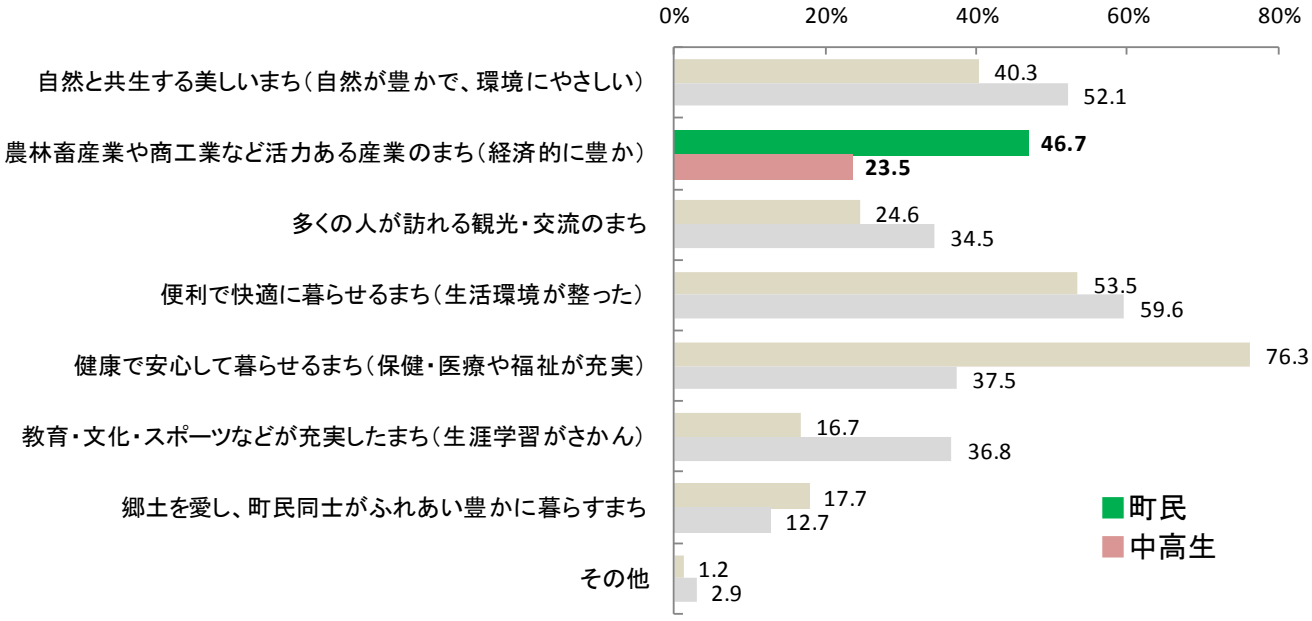
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。



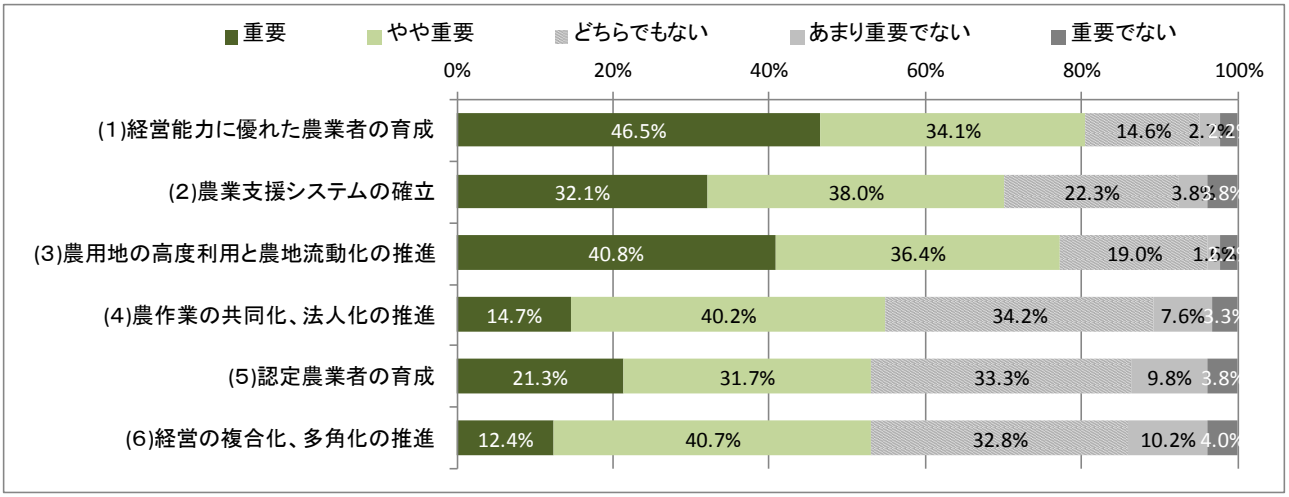


【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）

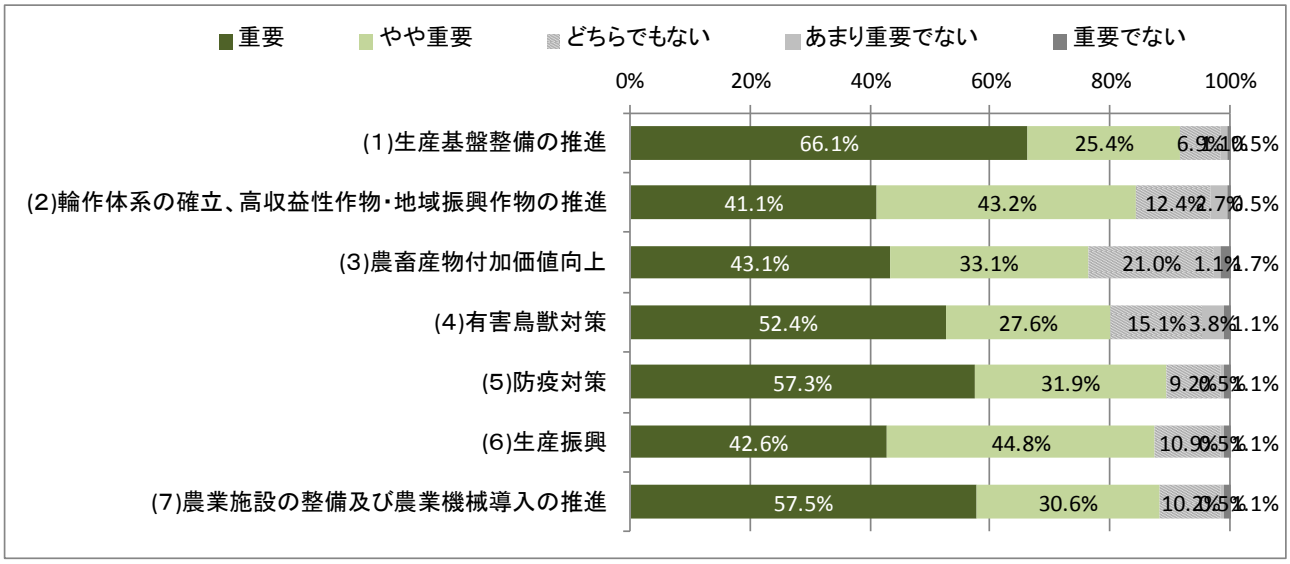


農業者へのアンケートより（H23.10）○これからの美幌町農業における取り組みの重要度

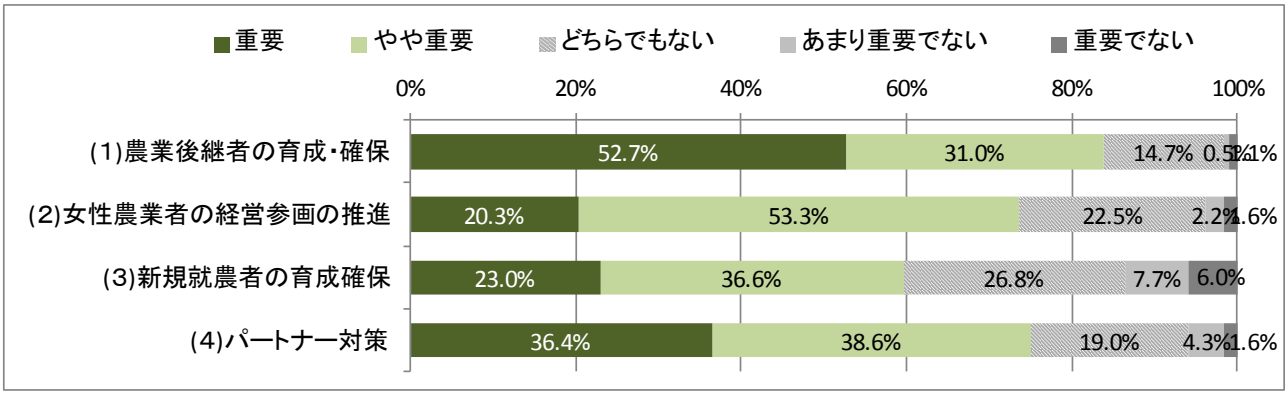
1　活力ある農業経営の確立



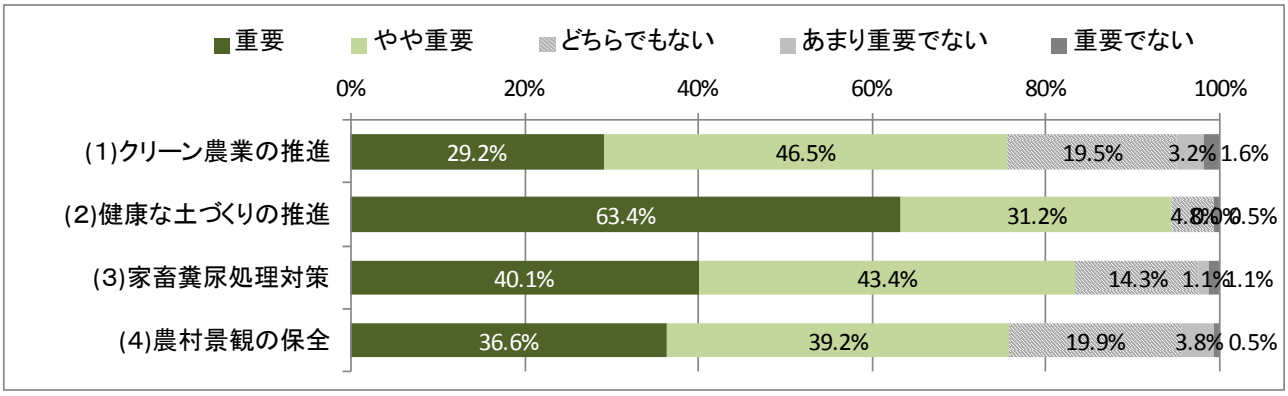
2　生産性の高い農業基盤の確立



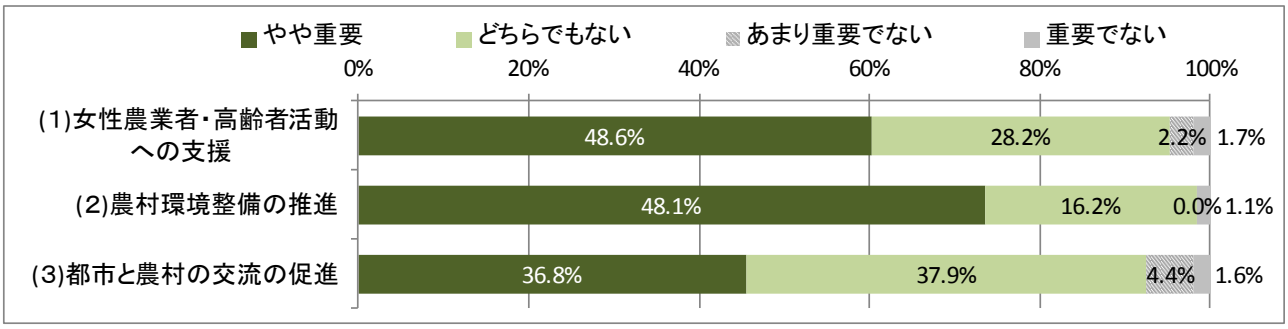
3　農業の担い手の育成・確保



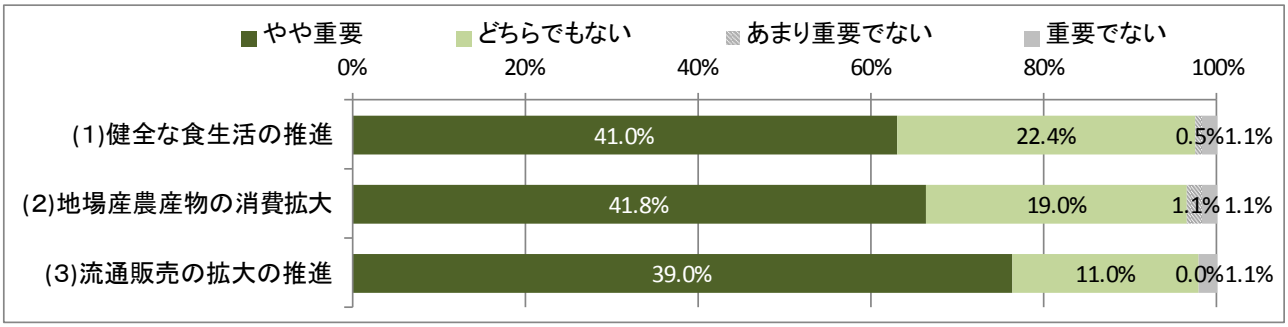
4　環境と調和した安全で安心な農業の推進



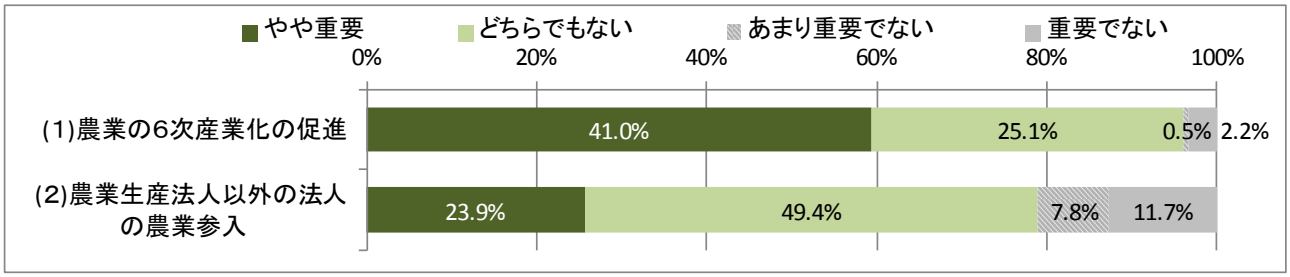
5　快適でゆとりある農村づくり



6　豊かな食生活への対応



7　農業を核とした新たな産業展開



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
生産基盤の保全･整備	新規土地改良事業※の推進	美幌美禽地区 H23～H27 で、美幌田中地区 H23～H28 で、美幌豊栄地区 H24～H32 で、美幌昭美地区 H24～H31 の事業期間で事業実施中。		H27 から稲都福梅地区を新規事業として実施予定。
	道営担い手畑地帯総合整備事業※の推進	H19～H23 の 5 カ年事業で完了		
	国・道による整備施設の更新、管理の要望	町内 3 地区において実施中。H26 より多面的機能支払交付金に移行。		現在実施地区に加え、H27 より新規地区の取り組みを検討している。
	農地保全の推進	国営土地改良事業による造成施設の維持管理。（古梅ダム、頭首工、用水路、排水路、排水機場）	老朽化等により施設の破損等が生じてきており、計画的な修繕を行い、延命化を図る必要がある。	継続して施設の維持管理を図る。
	一般農作物原・採種圃設置対策の推進継続	主要作物の優良な種子の確保が町内で図られおり、農作物の安定生産と輪作体系が維持されている。	原採種圃を設置する生産者の減少。	町内での優良な種子確保のため継続実施する。
	農村地区環境保全対策事業※の促進	町内 13 戸の農業者が、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う環境保全型農業直接支払事業(減化学肥料・農薬、有機農業)に取り組んでおり、環境保全を重視した農業生産への転換が一部進められている。	化学肥料・農薬の低減が難しく、取組者数が増えない。	環境保全型農業直接支払事業が、H27 年度より「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づく実施となる予定のため、事業の見直しを検討。
	農業生産活動環境対策事業※の促進	農業用廃プラ等回収(プラスチック、ビニール、農薬容器等)及び廃農機具の共同回収事業の取り組みが進められており、再資源化と農村地区の生活環境改善が図られている。	特になし。	廃プラ等の回収は不法投棄や野焼きを防止し、農村地区の環境保全が図られており今後も継続する。
	農作物の食害防止	エゾシカ侵入防止柵設置後は、食害による被害は半減したが、H17 年度から毎年増加しており、ハンターによる駆除を実施し被害額の減少に努めている。	ハンターの高齢化や後継者不足。	農作物被害を防止し、農業経営の安定を図るため継続実施する。
担い手の育成確保と生産性の向上	農地流動化対策※の推進	離農跡地等の農地利用集積事業（売買・賃貸）に取り組み、法人を含む地域の中心的経営体への集積が進んでいる。	耕作者の高齢化や、後継者問題。	耕作者の高齢化や後継者不足で離農者が増える状況の中、優良農地の利用集積を図る必要があることから、継続実施する。

	コントラクター※の導入	農産物の収穫や耕期等の農作業の請負等を行う組織（コントラクター）が活動しており、経営体の労力負担軽減や、機械・施設投資の抑制などによる経営の安定化が図られている。	コントラクター事業者の育成、オペレーターの確保と技術の習得・向上、農業者の金銭的理解。	農業者の労働力確保や労力負担軽減を図るため、継続実施する。
	農業情報ネットワークの推進	営農活動において気象情報は欠くことのできない情報となっており、近年は携帯端末からのアクセス件数が増加しており、有効に活用されている。 また、H24.7 から現在の水土里情報システムに移行し、事務処理の効率化と経費の軽減が図られた。H26 年中には最新の航空写真に更新され、農用地の利用状況の確認など事務の効率化と関係団体との情報共有が図られている。	気象情報は、携帯端末からのアクセスが増加していることから、高齢者への普及。 地図情報システムは、町、農委、ＪＡ、改良区との情報の共有化を図る。	農業活動において重要な情報であるため、継続実施する。
	農業経営に関する支援体制の充実	普及センター美幌支所管轄の３町農業関係機関・団体で組織する三町農業推進協議会を通じ、技術知識の指導を行う農業改良普及センターの側面支援を行い、地区内農業の発展に向けた指導体制の充実を図っている。	特になし	今後も、農業改良普及センターの支援を行い、地区内農業の発展を図る。
	農作業の共同化・農業機械の共同利用の推進	各種補助事業を活用した農作業機械の導入が進んでおり、機械の共同化による農作業の効率化と経費節減により、農業経営の安定化が図られている。	特になし	今後も、各種補助事業を活用し、機械等の共同化を推進し、経費節減と農業経営の安定を図る。
	法人化の推進	担い手育成組織主催による法人化研修会や先進地視察研修会が開催されており、地域の中核となる法人経営体の設立を推進している。	法人化への意欲や経費の問題。	優良な農地を集積するためにも、地域の中核となる農業法人を設立する必要がある。
	集落営農※の推進	一部の集落では担い手農家の高齢化と離農が進行しており、労働力や担い手不足の改善に向け、農作業・機械の共同化などの営農組織の育成や法人化の可能性など、地域農業者及び関係機関・団体が連携して調査研究を進めている。	耕作者の高齢化や後継者問題。	地域の課題や問題点を整理し調査研究することで、集落営農の持続的発展に努める。
	新規就農者への支援	新規就農者等支援事業補助金交付要綱に基づき、毎年、対象となる新規農業従事者及び新規就農者に農作業機械の購入や資格取得に対する助成を行い、担い手の確保育成に取り組んでいる。	後継者不足	後継者や担い手を確保し、本町農業を持続的発展させるため、継続実施する。

新たな農業の展開	みらい農業センターによる新規農作物の実証展示	高収益型新規作物を導入した複合経営や新技術の導入により農業所得の向上・安定化を促進する必要があることから、高い有益性が期待できるアスパラガスのハウス長期収穫栽培法や国産品の完全端境期出荷が可能な冬季栽培法について栽培技術を確立し、地域への普及を図り、町を代表する特産品目に成長させた。また、主要畑作３品では、新品種栽培試験や環境に優しい施肥低減栽培法についても効果を実証し、地域への提案を行ってきた。	新規作物や新技術の更なる普及率向上を図るために、より高度で地域独自の栽培技術の確立が必要である。	各種実証展示圃によって得られた経験や数値を応用し、更なる技術革新に向けた実証展示圃の設置を継続する。
	地場産農産物の消費拡大	学校給食における地元農産物の使用や、ＪＡ主催による収穫祭の開催、直売所設置による直接販売の取り組みが実施されており、安全・安心な地場産農産物の消費拡大が図られている。	消費者へのＰＲ不足。	輸入農畜産物の安全性が問われる中、安全・安心な地場産農畜産物をＰＲし、引き続き消費拡大を図る必要がある。
	クリーン農業の推進	エコファーマー登録や各生産集団によるイエスクリーン登録について継続的に取り組まれており、化学肥料や農薬の低減と家畜排せつ物を有機資源として有効活用する農畜連携の取り組みにより、安全・安心な農畜産物の生産に向けた土づくりが行われている。	新しいクリーン農業への取組が増えていない。	関係機関の協力を得ながら、普及・啓発活動を行いクリーン農業の円滑な推進を図る。
	グリーンツーリズム※の推進	市民農園の開設、親子ふれあい農園、田んぼの学校や札幌女性と農家青年との交流会における農作業体験や農畜産物加工実習、試食会の実施により、都市と農村の交流を図っている。	多人数の団体等への受入態勢が整っていない。	現在の取り組みは継続するが、町外都市部との交流事業が実施されていないため、見直す必要がある。
畜産の振興	乳用牛検定※の推進	生産者において検定成績のデータ分析及び活用が図られ、個体乳量の増加や乳質改善、繁殖成績の向上に取り組まれているほか、乳検情報の有効活用に向けた研修会の実施・参加にも取り組まれており、経営の安定につながっている。	高齢化や後継者不足による離農。	今後も乳質向上と生産乳量の増加、高い能力を持つ優良牛の確保に向けて事業を継続する。
	酪農ヘルパーの利用促進	ヘルパー利用により、拘束性の高い酪農従事者の労働負担の軽減につながっており、有効な取り組みとなっている。	さらなる利用促進。	酪農従事者の休日を確保するため、今後も酪農ヘルパーの利用促進支援を図る。
	公共牧場利用の促進	H25 年度から牧場施設の賃貸借により民間事業者が牧場運営を行っており、公共牧場としての機能維持と有効活用が図られている。	長期間の賃貸借契約の締結。	引き続き民間事業者による牧場経営を通し、公共牧場としての機能維持と有効活用を図る。

	家畜防疫衛生対策※の推進	自衛防疫組合による予防接種事業の実施など、家畜飼養者及び関係機関が連携し家畜伝染病発生の未然防止に取り組んでおり、畜産経営の安定化を図っている。	畜産農家および飼養頭数の減少による予防接種数の減少。	家畜伝染病防疫体制維持のため、関係機関が連携して自衛防疫活動を推進していくことが必須であるため、引き続き実施する。
	肉用牛の生産振興	優良肉用繁殖素牛の導入に対する一部助成を行っており、優良な繁殖雌牛群整備により、美幌産和牛の資質向上と市場における優位性を確立し、肉用牛経営の安定と生産者の経営意欲の向上につながっている。	繁殖雌牛の価格高騰による、生産者の導入意欲の減少。	優秀な子牛の出荷につながる事業であり、今後も要望が見込まれるため継続する。
農業地域の土地利用、集落整備	地下水汚染対策事業の推進	堆肥などの有機物を活用した土づくりや土壌分析に基づく適正施肥、科学肥料や農薬の使用抑制など、クリーン農業の取り組みを推進しており、環境と調和した農畜産物の生産が行われている。	環境保全型農業の普及	環境保全型農業やクリーン農業をより推進していくことにより、地下水汚染を防いでいく。

※土地改良事業：農地の土質や水はけの改良、急傾斜農地の再整備、小さな畑地をまとめて集約化するなどの事業。
※道営担い手畑地帯総合整備事業：用排水施設、農道、区画整理、集落環境など農業の生産基盤を総合的に整備する事業。
※農村地区環境保全対策事業：農家住宅・地域集会室等の周辺整備（花壇など）、廃屋の撤去や傾斜農地を平らにした際の斜面の緑化などを推進する事業。
※農業生産活動環境対策事業：農業用廃プラスチックや廃農機具、廃棄農産物などを適正に処理する事業。
※農地流動化：将来も確保すべき優良農地が離農などにより遊休化や耕作放棄地とならないよう農業者に集積すること。
※コントラクター：さまざまな農作業を行う農作業請負組織。
※集落営農：集落を単位として、生産行程の全部（又は一部）を共同で取り組む営農活動。
※グリーンツーリズム：都市と農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動。
※乳用牛検定：生乳生産の品質向上を図るため、生乳を検査し乳質の改善を図るための事業。
※家畜防疫衛生対策：家畜（牛・豚・鶏等）の伝染病の発生・拡大を未然防止するための対策。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

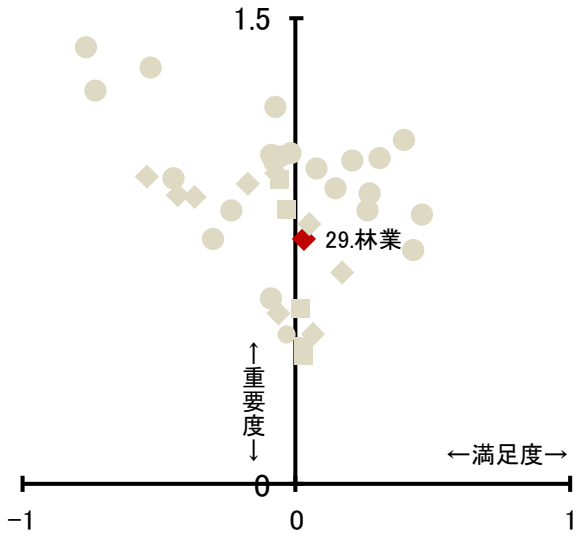
- ● 市街からちょっとだけ車を走らせれば、素晴らしい風景がたくさんあります。（みらい農業センターあたりの空は、朝も昼も夕もとてもきれいです。）そういうスポットを町民の皆さんから募集して、行ってみよう！的な案内をしたり、歩道を整備して、安全に眺められるようにしてはどうでしょうか。生活が大変な人も、お金をかけずに、楽しめる事ができたらいいなと思います。（女性・40 代）
- ● 農道を舗装にして欲しい。隣の線は舗装になったのにずるい。雨が降る前にグレーダーが農道を削りにくるけど、余計に汚くなって車が走れたものではない。（男性・10～20 代）
- ● 農家への働きかけ。農業の発展を町はサポートすべき。（女性・40 代）
- ○ 農業政策の充実地域の特産物を使用しての 6 次産業化。
- ○ 農業のあり方の再検討農業問題について補助漬けにした現在の姿が正常なものなのか否か。何れは、自由化の波が日本やわが町に多大な影響を及ぼす。そのための抜本的な農業の見直しが必要。欧米の大規模な農業に立ち向かうためには、現在の姿を改め、企業化するべきだと思います。町として、従来からの農業のあり方に何らかの筋道を付けるべきだと思います。「農業はわが町の基幹産業だから守ります。」では通用しない。
- ○ 基幹産業の「農業」を全面的に打ち出すやはり美幌と言えば「農業」ではないでしょうか。後継者対策、新規就農者対策が必要。

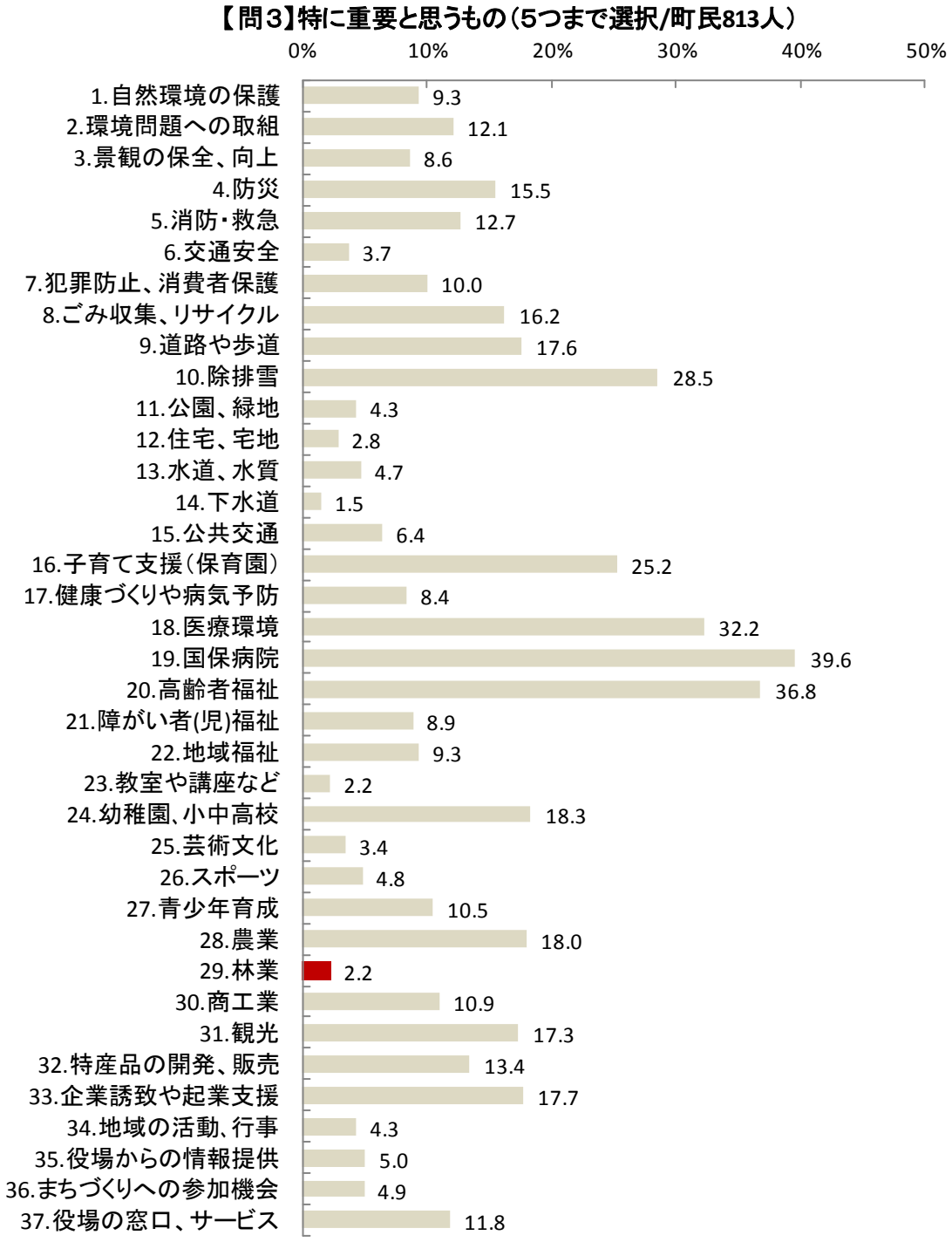
28 林業

（１）関連グラフなど

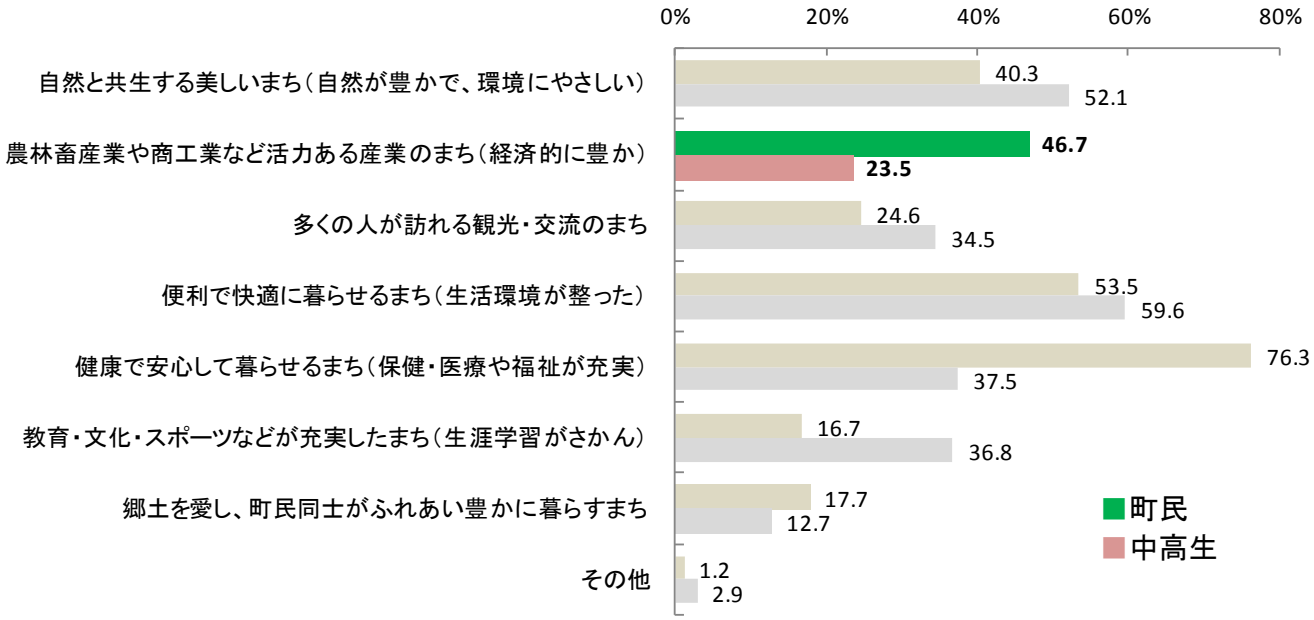
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
森林の整備	森林環境保全整備※の推進	森林経営計画に基づく施業		森林経営計画に基づき執行。
	町有林造成の推進	森林経営計画に基づく施業		森林経営計画に基づき執行。
	野そ駆除※の推進	森林経営計画に基づく施業	FSC 森林認証林での野ネズミ駆除薬剤散布は禁止されており、現在期限付きで認められているが、期限後の対応が課題。	森林経営計画に基づき執行。
付加価値の向上	森林認証林の拡大	H17 構成員 22 名、面積 3,028ha H25 構成員 31 名、面積 3,683ha	森林所有者にとって森林認証取得のメリットが少なく、デメリットとして、野ネズミ駆除の薬剤散布ができない等課題がある。	課題の解決及び非認証林との価格差をつける認証林普及事業の推進により認証林の拡大が図られる。
	ＦＳＣ森林認証※取得等による地域材のブランド化	・FSC 森林認証の更新 ・町産材活用促進事業による住宅建築の促進 ・H19 年度から 7 年間で 103 件の新・増改築		森林認証及び促進施策の継続により、地域材のブランド化が図られる。
	ＣｏＣ認証※取得の推進	５団体・１グループの取得		グループ内で脱退企業があったものの、現認証企業数で推移すると思われる。
	地材地消による地場産材の利用促進	町産材活用促進事業による住宅建築の促進 H19 年度からの 7 年間で 103 件の新・増改築		事業により環境材への理解は一定程度認識されてきており、施策を継続し地域材の利用を促進する。

経営の近代化･効率化の推進	林業グループの育成・組織強化の推進	各種研修等のサポート	林家の高齢化	林家の高齢化が進んでいるが、他林業グループとの合同研修の実施等により組織の強化が図られる。
	林産物加工施設整備の推進	森林組合等における施設の整備は行われなかった。		森林組合等の整備計画に基づき実施される。
森林の有効活用	未来を拓く森林づくり事業の推進	・FSC 森林認証の更新 ・企業の森林づくり ・美幌中学校の森づくり ・赤ちゃん記念植樹		環境意識の向上により企業等が森林づくりに参画する機会が増えてきており、これらの背景から今後も企業の森林づくりを推進していく。
	森林浴、森林セラピー※などへの活用研究	森林浴、森林セラピー事業の実施検討		立地等、実施可能な場所が無いため、他の事業の検討を行う。

※森林環境保全整備：造林､下刈り､除間伐や作業路の整備など適切な森林の整備・保全。
※野そ駆除：植林した苗木が野ネズミによって食害を受けることを防止するため、薬剤を散布して駆除すること。
※ＦＳＣ森林認証：ForestStewardshipCouncil（森林管理協議会）が適正な森林管理が行われていることを一定の基準によって審査・認証すること。
※Ｃｏ Ｃ認証：ＦＳＣ森林認証を受けた森林の木材・林産物を加工・流通させるため、他の製品と混ざらないよう適切に管理されたものを証明する制度。
※森林セラピー：森林が持つ癒し効果を健康増進やリハビリテーションに役立てる森林療法をいう。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

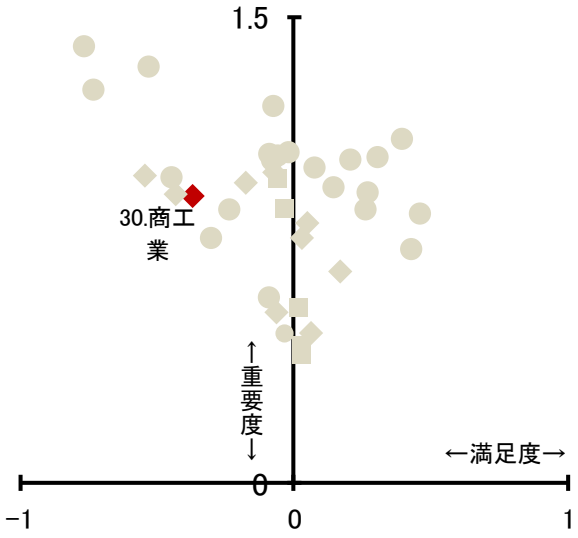
- ● 認証林普及事業・住宅リフォーム促進事業について。民間住宅以外の店舗や集合住宅（アパート、マンション）などにも範囲を拡大し、利用促進を図ることにより、更なる経済効果があると思われるので検討頂きたい。
- ● 認証材の活用を民間住宅以外に、店舗及び集合住宅（アパート、マンション）など範囲を拡大し、利用促進を図ることにより、更なる経済効果が現れる。
- ● 住宅リフォーム促進事業について、民間住宅以外に、店舗及び集合住宅（アパート、マンション）など範囲を拡大し、利用促進を図ることにより、更なる経済効果が現れる。
- ○ 空洞化した大通りに郊外からの既存企業が町産材を使用したオフィスを建設するため、町が取得費や建設費を助成する。企業は町産材建設を推進する立場でもあるため、オープンスペースなどを作ることを要件とし、町民が将来住宅建設のためのきっかけや町産材住宅の魅力を感じることができる。また、見た目含めて大通りに木の温もりが感じられ、初めて美幌町を訪れた方への町の PR にもなったり、社員が大通りを歩くことで、賑わい・活気がでてくる。
- ○ 森林(町の 2/3～山づくり)→木資源の付加価値化(住宅・燃料)→働く場所(苗木・施業・運搬・加工・建築)＋伐採跡地の植林。農地(1 万ヘクタール～基幹産業)→顔の見える農産物（アスパラ、山わさび、じゃがいもなど）→働く場所(生産・運搬・加工・販売)＋耕作放棄地の活用。地域資源の地域内循環→再生エネ（太陽光・木質バイオマス・BDF・小水力）や省エネ(ヒートポンプ)の活用、循環バスの利用促進によるエネルギーマイレージの少ない「低炭素なまちづくり」

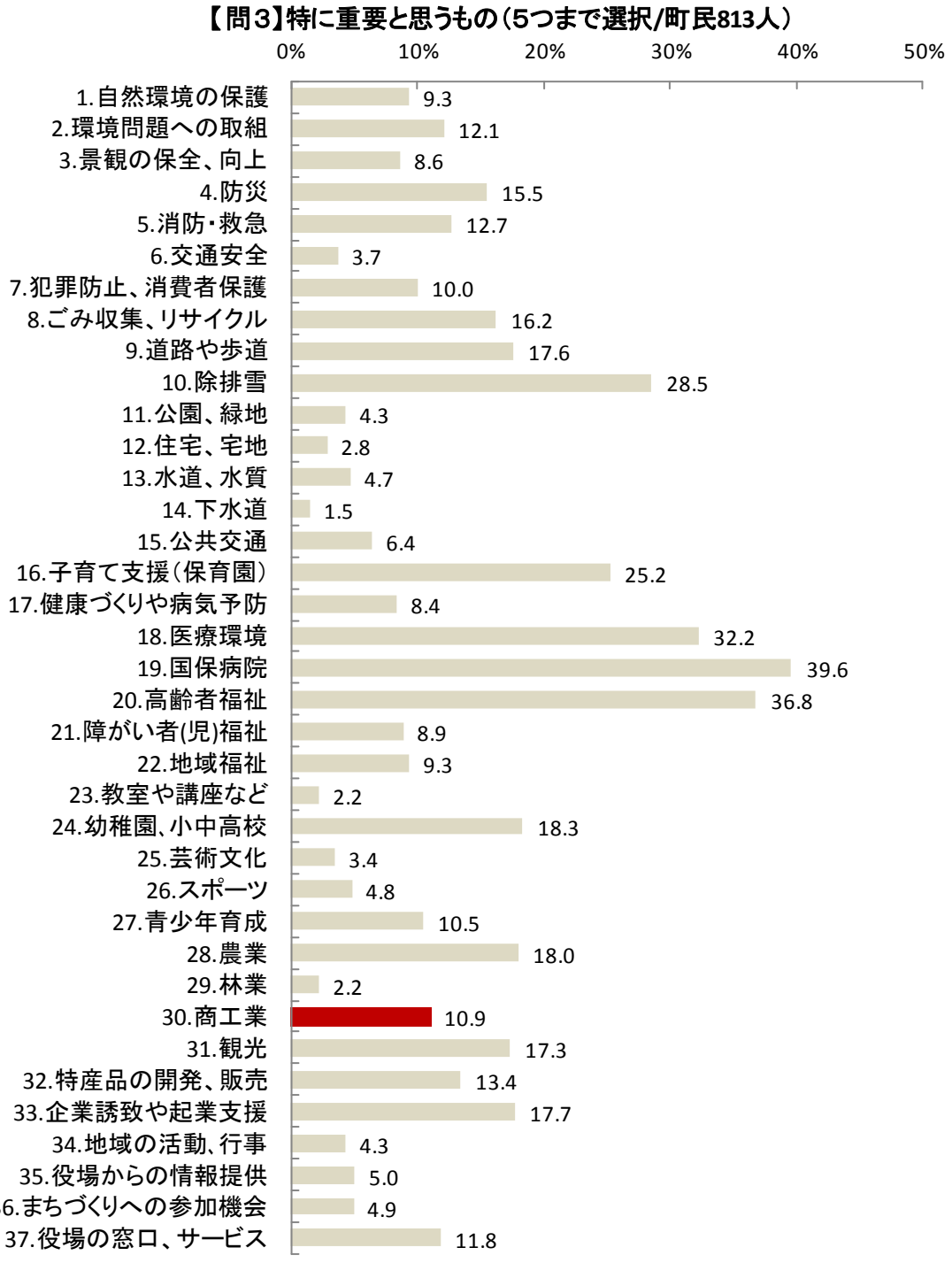
29　商工業

（１）関連グラフなど

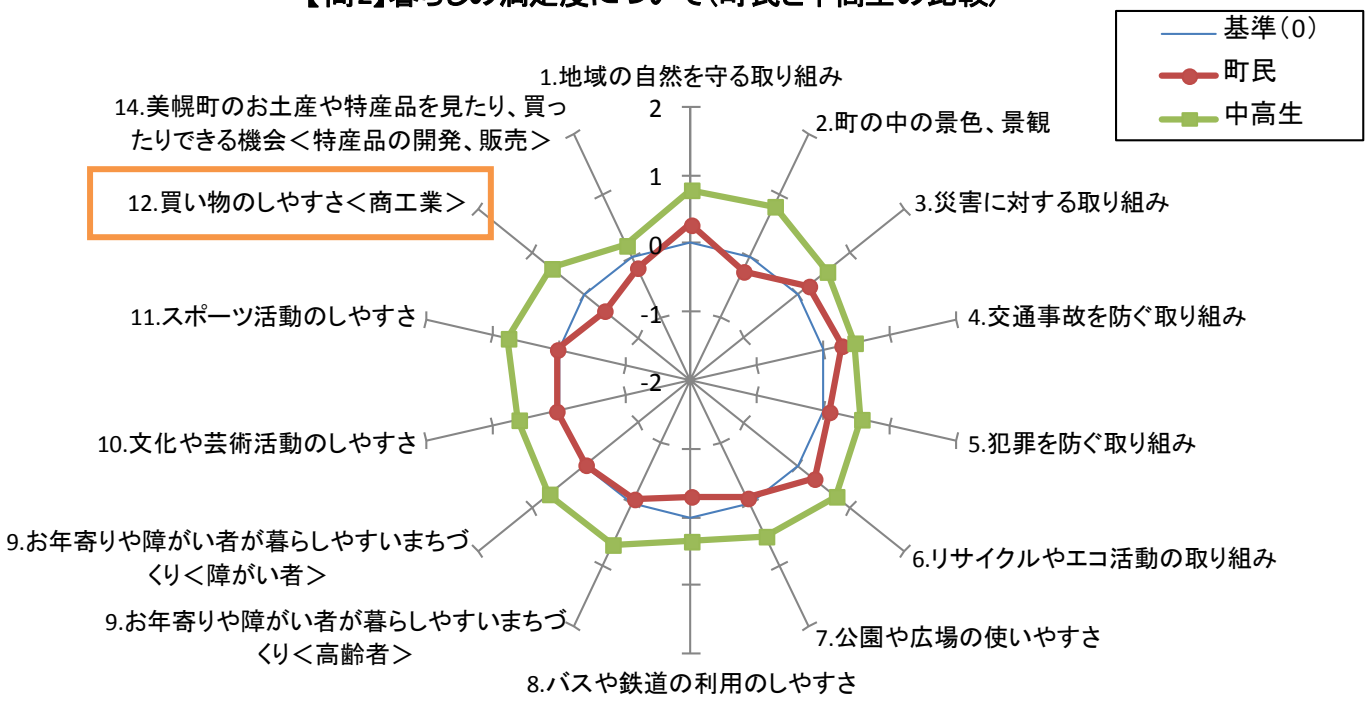
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

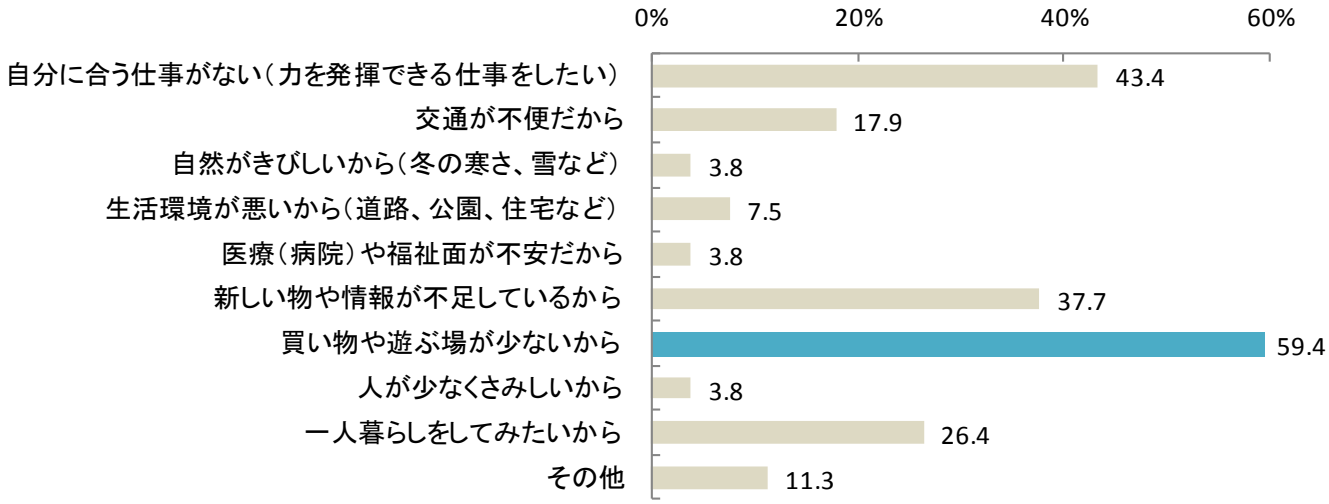




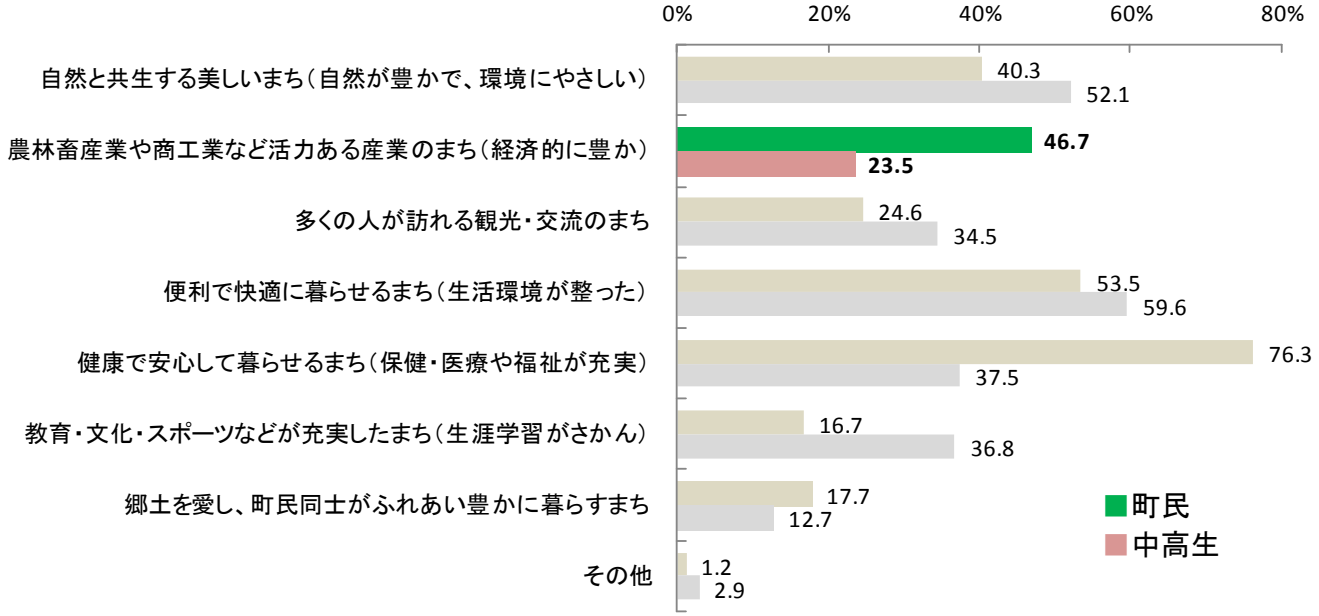
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



中高生【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

＜商業＞

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し､方向性
経営基盤の強化､経営の近代化	中小企業融資・助成制度の充実	中小企業融資制度については常時 200 件以上の利用がされており、町内の中小企業者等に安心感を与え定着している。	時代の変化､経済状況の変化に素早く対応し､制度の見直しや改善を定期的に検討する必要がある。	今後も各金融機関、商工会議所と連携を密にし情報収集を行い対応してゆく。
	経営相談・指導の強化	商工会議所が経営相談所としての役割を果たせるよう運営費の補助を行っている。	資金繰りについてだけでなく､経営改善や人材育成の相談窓口としても多く利用してもらえるようにしなければならない。 また､会議所に対する北海道からの運営費補助が減額される見込みであり､町からの運営費補助についての増額要望が予想される。	オホーツク地域中小企業ネットワークに参画する関係団体との連携強化を図る。
	販路拡大にかかる支援・強化	町内外のイベント時の参加、宣伝を促すとともに地域、振興局、道単位での宣伝の機会も積極的に利用している。また、緊急雇用事業において人材の育成についても取り組んでいる。	個々の商品､商材の取扱いや宣伝窓口が多様になっており､把握できていない商品､商材も存在する。	役場内の複数部署での情報共有はもちろん、農業・林業・工業分野の団体とも交流を図る。
	協同組合※の組織化	現在９つの団体が協同組合として活動を行っている。	特になし	今後も設立認可等事務処理をとりおこなう。
	新規起業者に対する支援制度の充実	中小企業融資の利子等補給に関して100%の補助としている。	現在は利用実績が 1 件のみである。	新たな支援制度についても検討課題とするが間口が広く利用しやすいこの制度は継続して運用することでその成果が期待できるものと考える。

※協同組合：人びとの結びつきによる自治的な共同組織。人びとが共通の経済的・社会的・文化的なニーズと願いを実現するために自主的に手をつなぎ、事業体を共同で所有し、組合員による民主的な管理運営を行っていく相互扶助組織。

＜（既存の）工業＞

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
工業の振興	経営相談・指導の強化	商工会議所による経営相談・指導。	特になし	商工会議所による経営相談・指導を継続していく。
	研究活動の充実	商工業研修活動により中小企業大学校旭川校への研修参加への助成を行っている。	特になし	研修参加等研究活動を継続していく
	異業種間交流の育成支援	企業誘致・育成推進協議会により交流を図る。	企業誘致・育成推進協議会の活動が低迷しているため進んでいない。	企業誘致・育成推進協議会の見直しにより交流を図る。
	稲美工業用地利用促進	平成 25 年度に企業立地促進法に基づき「美幌・大空・津別地域産業活性化基本計画」を策定し平成 26 年 4 月に国より同意を得た。	景気低迷による進出企業の減にどのように対応していくか検討中	美幌・大空・津別地域産業活性化協議会を開催し、３町での情報共有図る。
	技術改善に対する支援整備促進	平成 26 年度に過疎法適用により設備の新・増設に対する固定資産税の減免など設備投資へ対応してきた。	特になし	企業立地法等設備改善に対応できる支援制度の調査・検討

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ オレンジハウス
☺ ラーメン屋さん
☺ お寿司屋さん
☺ 中島珈琲店
☺ 美幌豚バーガー
☺ アイスクリーム
☺ 田村
☺ 美幌スパライスラボラトリー
☺ 新しくできたトヨタカローラの車屋さん

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ お店が増えているといい
☺ 大型スーパーがある
☺ ファーストフードが多くある

☺ ゲームセンターがある
☺ おしゃれなお店（洋服）
☺ 美幌町のものが買える店がある
☺ レストランが増えている
☺ 映画館がある

☺ あまり店がない
✪ 店を増やしてほしい
✪ 店を増やして子供達が遊んだり話したり出来る場をつくったらいいと思う
✪ ミスタードーナツを復活してほしい
✪ イオンのようなショッピングモール、デパートがほしい
✪ 楽器屋がほしい
✪ 北見にある店を美幌においてほしい
✪ 大都市風にならなくていいので、店を増やしてほしい
✪ 最近、お店がだんだんなくなっていくのが不安です
✪ カラオケやパンケーキ店など店が増えていて良いと思います
✪ すき家、マックなどすぐ注文できて食べられるところがあると嬉しい
✪ ゼビオをつくってほしい
✪ ハードオフをつくってほしい
✪ マクドナルド、サーティワンを建ててほしい
✪ マック、すき家、ゲーセン、イオンを作れば住みやすいすばらしい町になる
✪ すき家、ファミリマートを建ててほしい
✪ 小学生でも行ける食べ物屋がいっぱいほしい
✪ 食べるところを増やしてほしい
✪ しまむら以外に服屋があるといい
✪ 服などが売っているところを増やしてほしい
✪ 靴屋があると嬉しい
✪ 自販機を多くしてほしい
✪ コンビニが多すぎる
✪ 車の販売所が多い。そんなに要らない
✪ 車屋が無駄に多い。車屋を建てるなら他の店を建ててほしい
✪ あちこちにパチンコ店がある気がする。そんなに必要なのかな
✪ パチンコばかり作らないでもっと人のためになる施設を作ったらいいと思う
✪ パチンコ屋さんの土地をもっと良いことに使ってほしい
✌ スーパーは近い（衣料や家電などになると北見に行く）ので住みやすい
❀ おじいちゃんおばあちゃんが来た時に孫と一緒に行く「おもちゃ屋さん」がない。クリスマスも町外のおもちゃ屋さんに行くが､子どもと一緒に行かなければならないので買いにくい。

- 買い物などは北見に行ってしまいます。東武の中にある様なゲームセンターなどあれば、家族とか友達で楽しく遊べて良いと思います。（女性・60 代）
- 商店が 1 つにまとまってほしいです。（女性・50 代）

- ショッピングモールを作ってほしい。フードショップ、コンビニを増やしてほしい。（女性・40 代）
- 美幌町内の商店、小さい店の活性化。（男性・60 代）
- 商業施設に子ども用の小さい便器があればいいのにと思うことが多々ある。（女性・30 代）

＜空き店舗＞

☺ 空き店舗が多い

✪ 商店街のシャッターだらけの所が、少しでもシャッターが少なくなると見栄えもよくなっていい

- 空き店舗等の活用策の工夫検討。（男性・60 代）
- 空き店舗を町でもっと考えてほしい。（女性・60 代）
- 地元商店が日曜日を休業日にする体質が、コンビニに負ける要因。（男性・30 代）
- バイパスができ、交通量も少なくなり、いろいろな商売も始めては数年で消えてしまう。私の経験上、美幌で新しい商業を期待するのは正直ムリです。（女性・30 代）
- ニトリやイエローハットなどの車用品店、生後半年位までの子が着られる服、肌着などを売っている店があって欲しいです。（女性・30 代）

○ 小規模事業者への補助金や助成金が充実しているために、競争原理の欠如や経営者の努力不足が見受けられる。単なる延命措置であるだけでなく経済活性化の妨げにもなっている。金融機関の貸渋りを起こさぬよう貸付枠は維持しても、利子等補給は再考の余地がある。

○ 大通など商店街の再構築。大通が土日にシャッターが閉じている商店が目立ちます。美幌町のメイン通りとして何か対策はないでしょうか。

○ 最近の美幌の飲み屋さんの元気が無く、楽しくないです。もっと活気があると若い人達中心に盛り上がるかと。そこで出会い、結婚まで発展すれば人口の増にもつながるのでは。

○ 新規の居酒屋や飲み屋にも金銭面等の補助をする飲食店はファミリー層をメインとして行くと思うが、人口減少を食い止めるための重要な若者は、飲食店だけでなく居酒屋や飲み屋も求めている方が多数いると思われる。そのため、まずは、行く店の選択肢の数があればいいなと思ったため。→町内に留まる可能性（要因）が少しでも高くなれば良いと思う。

＜遊び場＞

✪ 遊ぶ所を増やしてほしい

✪ 公園以外の場所にも子供達が遊べる場所を作ってほしいです

✪ 中学生達が遊べる場所が少なくて困る。もっとそういう場所を増やしてほしい

✪ 高校生が遊べるところを増やしてほしい

✪ 高校生がいて話できるところ

✪ ゲームセンター（ゲームコーナー）をつくってほしい

✪ 映画館をつくってほしい

✪ 子どもだけで行けるカラオケにしてほしい

✪ 安全を配慮してのことだと思うがカラオケやゲームセンター等への子どもだけの入店を許可してほしい。中学生の時しかできないこともあるのでいろいろな場所で遊んだりしたい

✪ バッティングセンターがあれば遊びやすい

✪ ラウンドワンをつくってほしい

✪ レジャー施設などがあると良いと思います。

✪ 遊園地をつくってほしい

✪ 学校帰りに寄れるところがあれば北見の人が美幌に遊びに来てくれると思います。

30　中心市街地

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
商店街の魅力向上	空店舗の活用促進	中心市街地の空き店舗を利用し開業する場合の家賃補助を商工会議所と共に行っている。	チャレンジショップについては、ここ数年実績がない。	改めて町内の空き店舗の現状把握をするため調査を行う。調査結果を確認し関係団体とともに今後の利活用や施策を模索する。
	商店街の景観形成に関する調査、検討	各商店街による緑化活動や花いっぱい運動などの取組みにより、きれいな景観づくりがすすめられている。	外壁や看板の色調統一などのまちなみ景観の整備については思うように進んでいない。	時代の変化、経済状況の変化を的確に捉え、関係各機関と話し合いを持続する必要がある。
	にぎわいの駅※整備に関する調査、検討	テナントミックスに資する店舗を建設し、インフォメーション機能を兼ね備えた休憩施設を併設することにより、中心市街地の核施設として賑わいのある商店街を目指すものであったが計画の実行には至っていない。	計画変更の必要性の有無を今一度確認する機会が必要である。	時代の変化、経済状況の変化を的確に捉え、関係各機関と話し合いを持続する必要がある。
	ポイントカードシステム※の活用促進	ポイントカードシステムによるポイントサービス、プレミアムチャージイベントを行い、消費者へのサービス拡大及び町外への消費流出を抑えるよう取り組みが行われている。	情報化社会に対応できるネットワークの構築までは至っていない。また、イベント時のみの消費拡大に終わらないよう工夫と改善を続けなければならない。	今後も若者世代、子育て世代を応援する企画を継続しながら多くの世代に利用してもらうことを目的の一つとする。
	商店の情報発信の推進	情報化社会に対応するため、ホームページの作成や商店街イベント情報等の発信を行い、中心市街地の活性化を図る。	ホームページで商店街イベント等の発信までは至っていない。	時代の変化、経済状況の変化を的確に捉え、関係各機関と話し合いを持続する必要がある。

※にぎわいの駅：大通地区にテナントミックスに資する店舗を建設し、インフォメーション機能を兼ね備えた休憩施設を併設することにより、中心市街地の核施設として賑わいのある商店街づくりをめざす取り組み。

※ポイントカードシステム：買物によってポイントを与え、貯まったポイントを消費者に還元するなど、消費者へのサービス拡大や町外への消費流出を抑えるため導入するカードシステム。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 商店街や駅がにぎやかになっている

☺ 外に時計があるといい（学校にしかないから）

☺ 明るくてトレンドな町

✪ 商店街の活性化をしてほしい

✪ 大きな建物を増やしたらいいと思う。市街地を広くした方がいいと思う

✪ これ以上建物を増やさないでほしい

✪ ベンチを増やしたりしたら嬉しいです

⚐ 機能が集約している。町がコンパクトに収まっているので住みやすい

⚐ まちなかに公衆浴場があるといい。峠の湯は市街地から遠い。高齢者でも歩いて行けるような場所にあるといい。

- 過疎計画で、にぎわいの駅整備の調査と検討と対策が講じられていますが、にぎわいの駅について記述されていないと思うので、是非しっかりと記述して頂きたい。
- 商店街、特に大通りの活気の無さが以前から気になります。空いている建物や土地を有効利用出来ると良いですね。町民手作り作品のギャラリーを眺めながら休憩出来る場所や、空いている土地にあずま屋なり、屋根を作り、急な雨やどりが出来るとか。誰でも利用出来る憩いの場所があっても良いと思います。（女性・50 代）
- 駅前の再開発について。まちなみづくりは、外観的には成功しているが、駐車スペースが商店ごとに厳密に分けられていて、他店の用事で駐車するととがめられるなど、オープンさ、「どうぞいろいろ見て回っていって下さい」的な精神が感じられない。電車、バス、自家用車、徒歩、それぞれにメリットのある振興策を考えてほしい。（男性・40 代）
- 駅前通りを、もう少し活気のある通りに…。（女性・60 代）
- 大通り商店街の空き店舗の利用。（女性・40 代）
- 散歩しながら街中を見て、休んで、気軽に出入りできる場所がほしい。また、音楽やイベント紹介などを信号機の側から流す。（女性・50 代）
- 商店街の活性化。（女性・40 代）
- 駅前から神社までの国道沿いに、あまり人が歩いていないように感じます。シャッターの閉まった店も目につきます。淋しいです。
- どこの町に行っても同じですが、その町の中心部が最近はわからなくなってきました。郊外に店などが流れていくのも、土地の関係上仕方のない事ですが、「ここが美幌町の中心だよ」とアピールできるものがあると良いといつも思っています。観光が好きなので色々な所へ行っていますが、まとまりのある町はとても心に残ります。（女性・40 代）
- 駅をもう少しにぎやかにしてほしい。（男性・30 代）
- 子供や孫が帰って来ても、遊びに行く所、ショッピングする所、何か見たり食べたりブラブラする場所がない。ほとんど北見に行ってしまう。もっと美幌町も、街に出て楽しい時間を持てる所があるといいなぁ～。（女性・60 代）
- 他市町村から集客できる店等が少ないと思います。（男性・50 代）

- 大通りはシャッター通りになり、寂しくなった様に思います。（女性・60 代）
- 大通商店街の充実。（人が歩く町並み）（男性・60 代）
- 中心部の活気がない。町民に、しっかり町内でお金を使ってもらえる様な取り組みが必要。北見や網走に行って買い物をする行動を、美幌で済ませられる様に考える必要あり。飲食店が少ない→昼食も、町内であれば「さんぱち」「山岡家」などのラーメン屋が中心で、その他の飲食店は入りにくい。（男性・30 代）
- 中央大通商店街の活性化。（女性・70 代以上）
- 観光を売りにするには、町内には町並みの美しさや、これといった優れたものはないと思います。パチンコ屋さんや飲み屋さんが中心にもあり（パチンコ屋さん、飲み屋さん申し訳ないです！）、スーパーなどの大きな看板も、道外の人からみると北海道の良いイメージからはかけ離れそうです。（女性・40 代）
- 他の街に行くと、区画が整備された街作りがされている様に思います。（女性・60 代）
- 大通りを、もっともっと明るくした方が良いと思う。さびれすぎだし、道路がボコボコすぎるし、公園が汚いし、遊具がなさすぎ。（男性・30 代）
- 国道・道道沿いに施設を作る。（女性・50 代）
- 昼も夜も明るい街づくり。レトロや近未来、他にない街並、観光。（男性・50 代）
- 市街地の地名（表示）が有ると幸いと感じる。（男性・70 代以上）
- 美幌町に住んで 2 年弱なので、わからない事が沢山です。転入時に商店街の説明地図があったりすると、他市の大型スーパーへ出かけなくても、町内で購入でき、助かる事もあると思います。（女性・40 代）
- 飲食店のタウンフリーペーパーみたいな物を作ってみてはどうか？？町外からの来客者が増えるかも？（女性・10～20 代）

○ 中心市街地でのポケットパーク整備。親水公園、屋外音楽会が開けるステージ、物産展等が開催できる広場、ドッグラン。併せて屋内遊具の設置された施設も整備されると良い。

○ 中心市街の活性化。生活のしやすい町にし、人口増加を図る

○ 中心市街地に大きな会社のビジネスホテルを誘致しても近くの市を利用する事が多いと思います、それは繁華街の賑わいの違いに魅力の差が大きいためです。それであれば、駅前等にある古い建物をおしゃれにリフォームして（古民家まで行かないまでも）古いたたずまいで美幌の美味しいものが食べられる“ゆとり”空間のあるペンション風の民宿が複数あることで人数をこなす方が町の宿泊に対する色が出せ、宿泊の色が他の魅力を圧倒する可能性があるからです。さらに、それによって次に町にとって必要な施設や方向がでてくると思います。

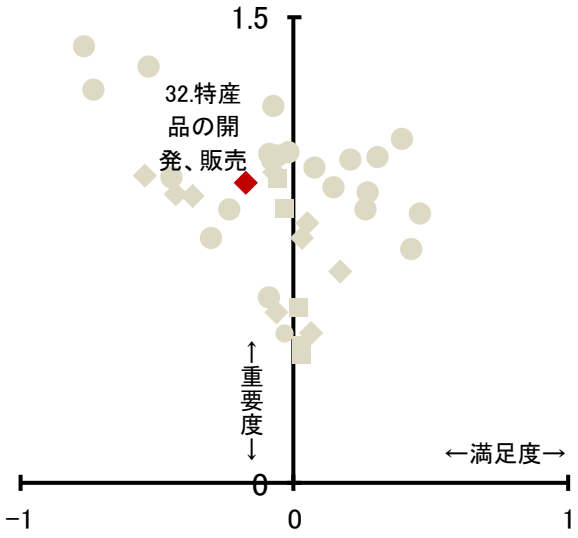
○ 空店舗が目立ち、商店街に潤いと活気が見受けられない。中心部とは選定しにくいが、テナントミックスやショッピングモール的な機能を有する一つのタウン計画を政策として揚げてどうか。購入物が手に入らないから郊外に流れるし、企業が少ないから若者の就職先もなく、地元に止まれない。また、主婦等のパート先が無いから家計が苦しい等の諸問題の解決策に通じると考える。

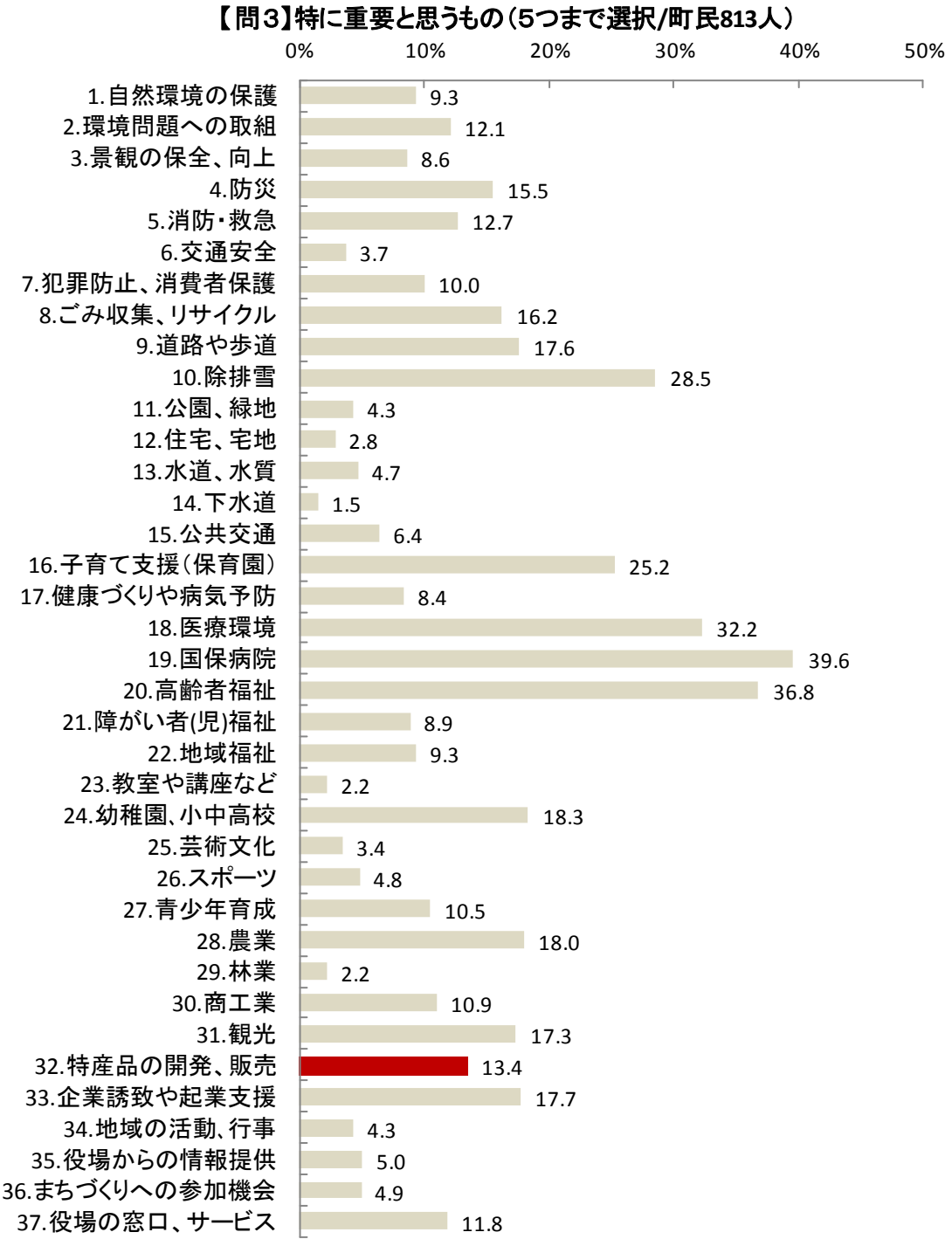
31　地場産品

（１）関連グラフなど

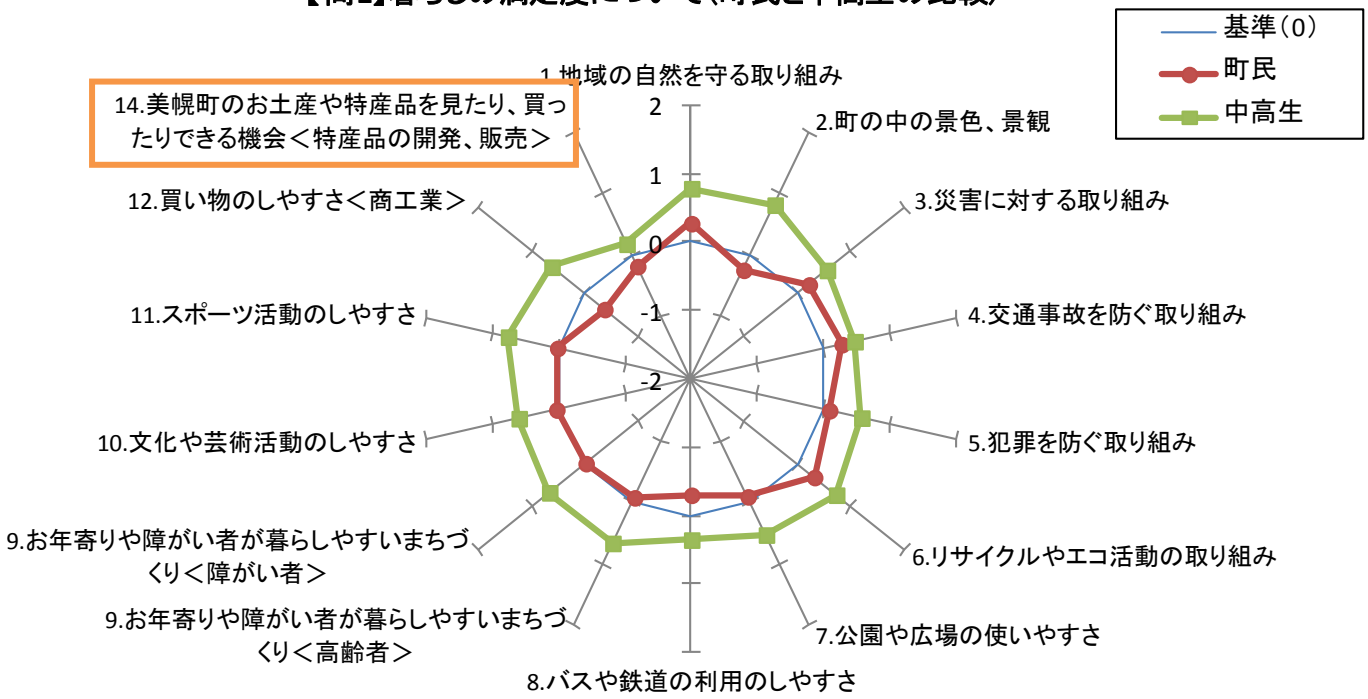
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

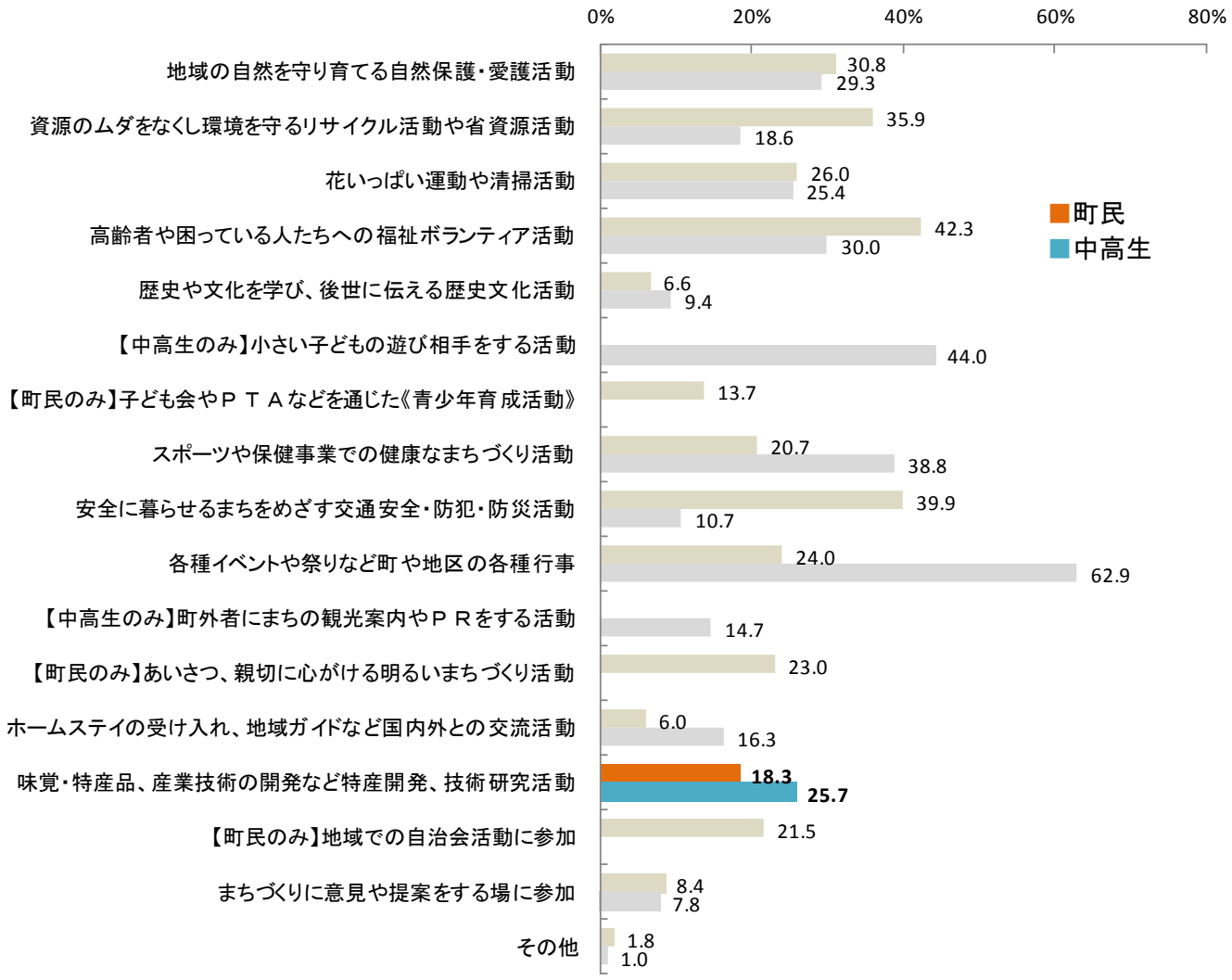




【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）

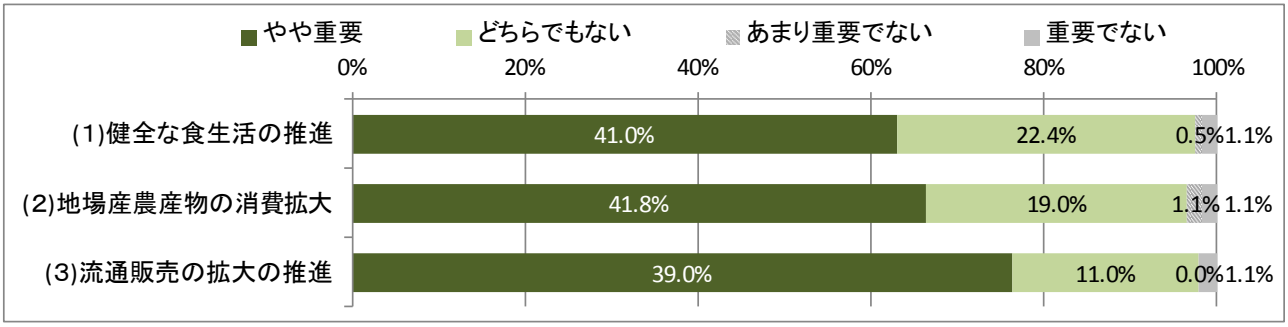


【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）

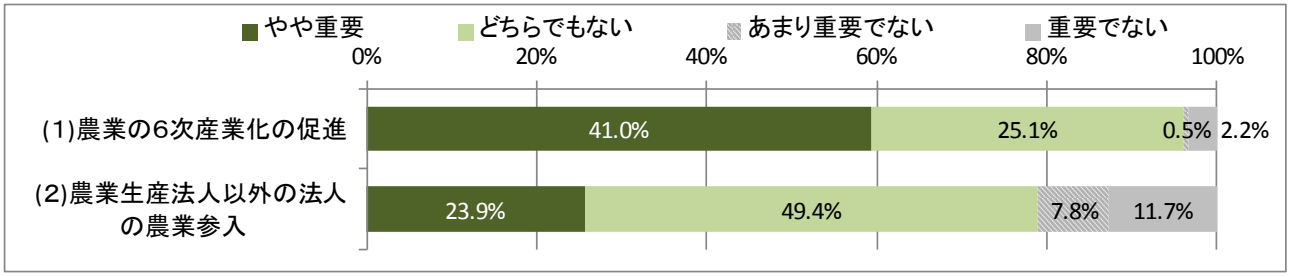


農業者へのアンケートより（H23.10）○これからの美幌町農業における取り組みの重要度

6　豊かな食生活への対応



7　農業を核とした新たな産業展開



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
地域特産品の開発	研究機関、大学等との連携による開発支援	平成21年度に会議所を中心に地域資源を活用したブランド作りを目的に、町内関係者及び東農大･食加技等のメンバーで美幌ブランド開発検討委員会を立ち上げ、町も支援等を実施してきております。	特になし	各関係機関・団体と協議し、今後の方向性を決定したい。
	地域特産品の現状把握と連携会議の設立	新たな連絡会議の設立は、していないが、関係団体（協会・会議所）と月1の定例会議を実施し、そこで、現状把握、意見交換を実施している。	特になし	今後も、継続し現状把握を図りたい。
地域特産のPR、販売	地場産品等の販路拡大	平成25年度より、札幌市の道産食材を扱うアンテナショップ「HUG マート」に協会が窓口となり、事業者単独で出店している。（通年） また、協会ではネット販売を実施し、町外の方が購入しやすい体制づくりをおこなっている。	特になし	商品の販売実績等を踏まえ、協会を中心に今後の展開を協議したいと考えています。
	物産展・物産関連イベントの参加促進	これまで、物産展･物産関連イベントに参加する事業者に対して、経費の一部を助成し参加促進を進めてきました。平成26年度には、要綱の一部を変更し、道外の助成額を新たに設け、上限を15万円とし道外のイベントにも積極的に参加してもらえるようにしました。（道内10万円）	特になし	今後も、協会を中心に現状把握を実施し、事業者が参加することのサポートを続けていきたいと考えています。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 食べ物がおいしい

☺ 美幌豚バーガー

☺ 肉がおいしい

☺ とうきび、じゃがいも、にんじん、ビートがすき

☺ レトルトカレー

☺ 野菜がいっぱいとれる（ビート、じゃがいも）

☺ 和牛

☺ まるまんましょうゆ

✪ 美幌町をもっとＰＲしてほしい。美幌町の名物料理をもっとつくってほしい

✪ 何か名産品を作るといいと思う

⚐ 美幌の高校生の活躍をもっとバックアップしてあげたらどうか。加賀屋さんではしょう油を使った料理を出したりしているが、町でももっと PR したり、使うようにしては。道の駅で売っている弁当や、美幌の豚「美水豚」なども。

⚐ 美幌の特産の印象が薄い。ワインは町外の人から頼まれて買ったりするので知っているが。

⚐ 遠方の人には特産品としてアスパラやジャガイモを送る。

● 美幌は、肥沃な土地があるので、特産物を栽培して、利益を得て経済を豊かにし、本当に住みやすい町にして欲しい。（女性・70 代以上）

● 特産品作りに、町ももっと関わってほしい。まるまんまは会議所、和牛カレーは農協、町は？と考えるとない気が…。（女性・10～20 代）

● せっかくある特産品を、最近まで全く知りませんでした。町民が知らない特産品…アピール不足では？（女性・50 代）

● 人を集めるための特産品やブランドの開発も必要になると思います。（男性・40 代）

● 地域振興に取り組んでもらいたいと思います。私はそばを打ちますが、地元の立派なそば粉で、全国の有名店で美幌のそば粉が使用されています。是非、地元で提供出来る様に出来ないものでしょうか。以前はありました、そば祭を再開するとか？（60 代）

● 特産品と言っても何があるのかわからない。美幌ブタとかブタしょう油とかあるけれど、高過ぎて一般では買う気になれない。（女性・50 代）

● 美幌の特産品がわからないように思います。（女性・50 代）

● 町ぐるみの、何十年も続く特産品を見い出す事です（女性・70 代以上）

● 町の特産品の開発や町のＰＲをもっとするべきではないのでしょうか。今のままでは、人の集まらない、人の呼べない町になるのではないかと心配します。（男性・40 代）

● 特産品を開発し、美幌町の知名度を上げる。（男性・50 代）

○ びほろ名産造りプロジェクト。びほろの有名・無名を 10・20 年後に名産にする。

○ びほろ亜麻復刻計画。昔の特産品を利用して町の名産にする。工芸品（布）→食用油、オイル

○ 北海道ブランドとしての美幌物産の取り組み

○ 良いものがいろいろあるので、町と商工観光や農協などとうまく共同し宣伝ＰＲしていく

○ 美幌町では優れた農産物を生産しているものの、美幌と言えばと問われた時に挙げられる農産物がないのではないでしょうか。（例えば、北見と言えばタマネギ、夕張と言えばメロンのような）そこで、農産物に付加価値（より安全だとか、より美味しい、より栄養に富んでいるなど）が必要になってくると思います。また、このような農産物をいかに宣伝していくか。農産物の価値を上げることと、それ上手に宣伝していくことのバランスも重要と考えます。

○ 新たな産業創設型・「新商品」、「新特産品」支援事業制度、（一般公募型）の創設。新たな農産物、加工品、木工品等々の新商品開発から新たな生産体制（新商品開発に必要な資材、小規模設備や新たな製造工程、流通形態の導入）にいたる、新たな経済効果（集客力や特産品化）が期待できる取り組みに対し、数年間、数十万円規模で全額補助する一般公募型事業を新設すべき。（採択条件に「グループ化」や明確な「費用対効果の明記」「希少価値」、「美幌オリジナル性」等を盛り込み、条件を満たしたもののみを採択）新たな経済効果を生むチャレンジ精神をあおる

○ 美幌マルシェ。美幌産の農畜産物の販売拠点として、ＰＲを図る。美幌高校との連携

○ 現在、町外に向けての発信している感が強いホワイト・紫・グリーンアスパラについて、町民向けのサービスがあれば役場と町民の距離が縮まるとおもいます。また、道路植樹帯に自生しているアスパラも町民還元策としてどこかに集約して移植し収穫時期に来庁された町民に配布するような身近な政策としたい。すずめやカラスの糞が種を運ぶ結果となっているため博物館の展示や学校教育の理科の題材として身近な話題となるのでは

○ ホームページ等を利用した、美幌特産品版のアズユーライク的なカタログ販売、町長等が町外で美幌の売り込みに使用できる。町外で結婚式を挙げる町民が引き出物に使える等の利用が見込まれる。

○ 美幌町のＰＲする特産品をしっかり決め、ブランド化し、全国的にＰＲを図る。（たとえば、「豚しょうゆ」など）現状では、和牛や豚など何を推しているか不透明。

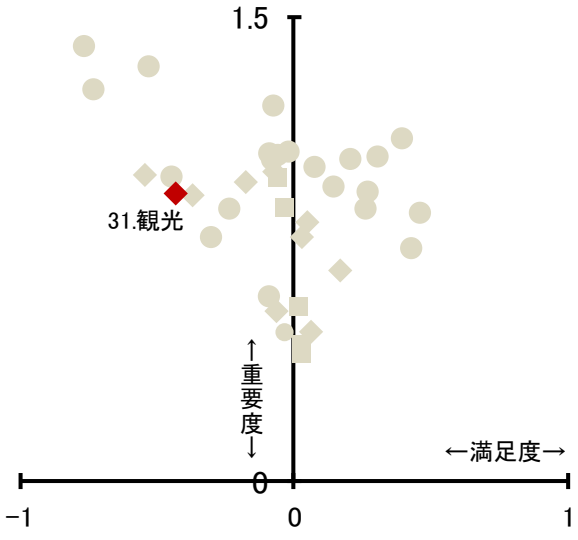
○ 地域で採れた食品を加工することで雇用を創出し町の施設で消費することで、町全体のフードマイレージを小さくし、エコタウンとなる。

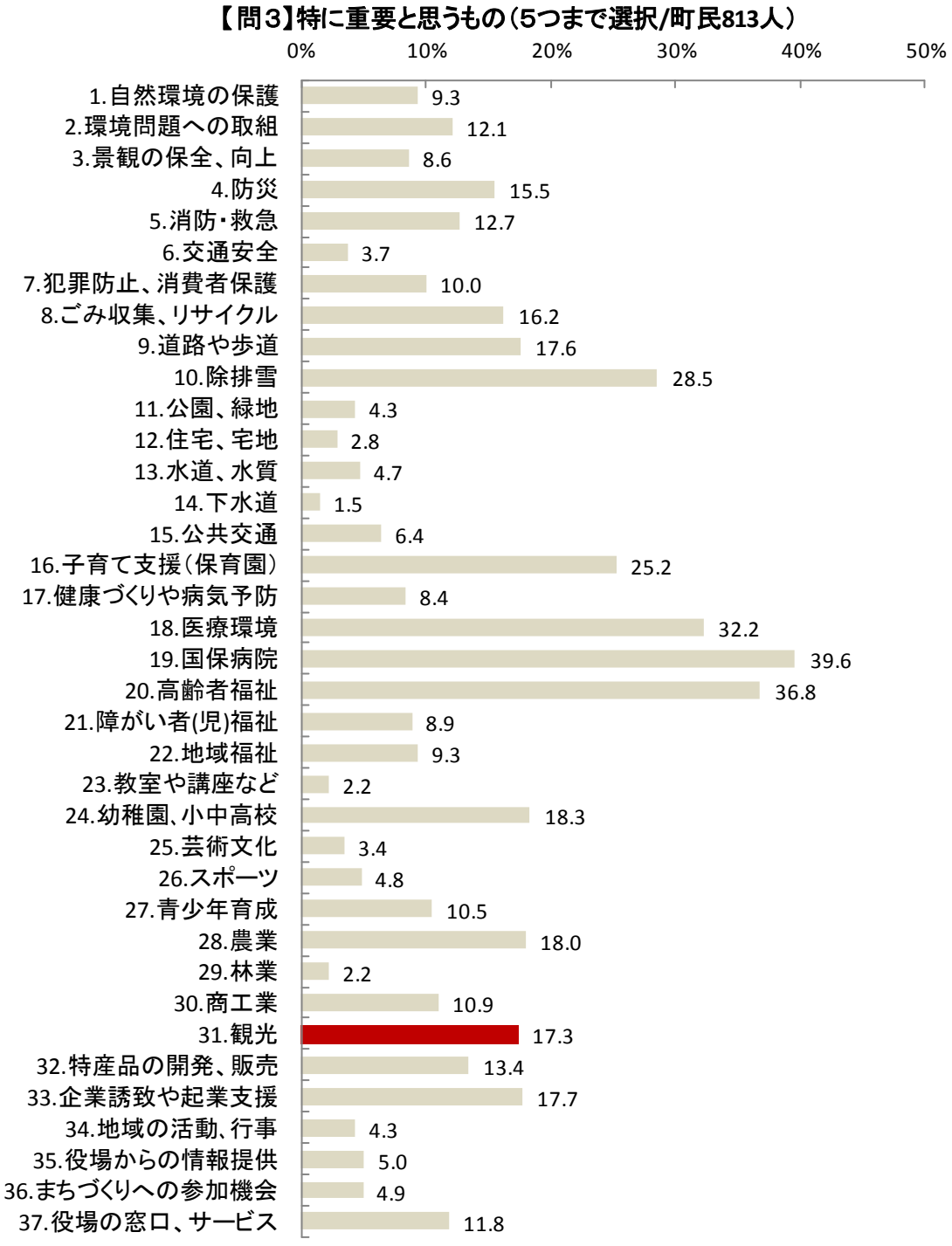
32　観光、交流

（１）関連グラフなど

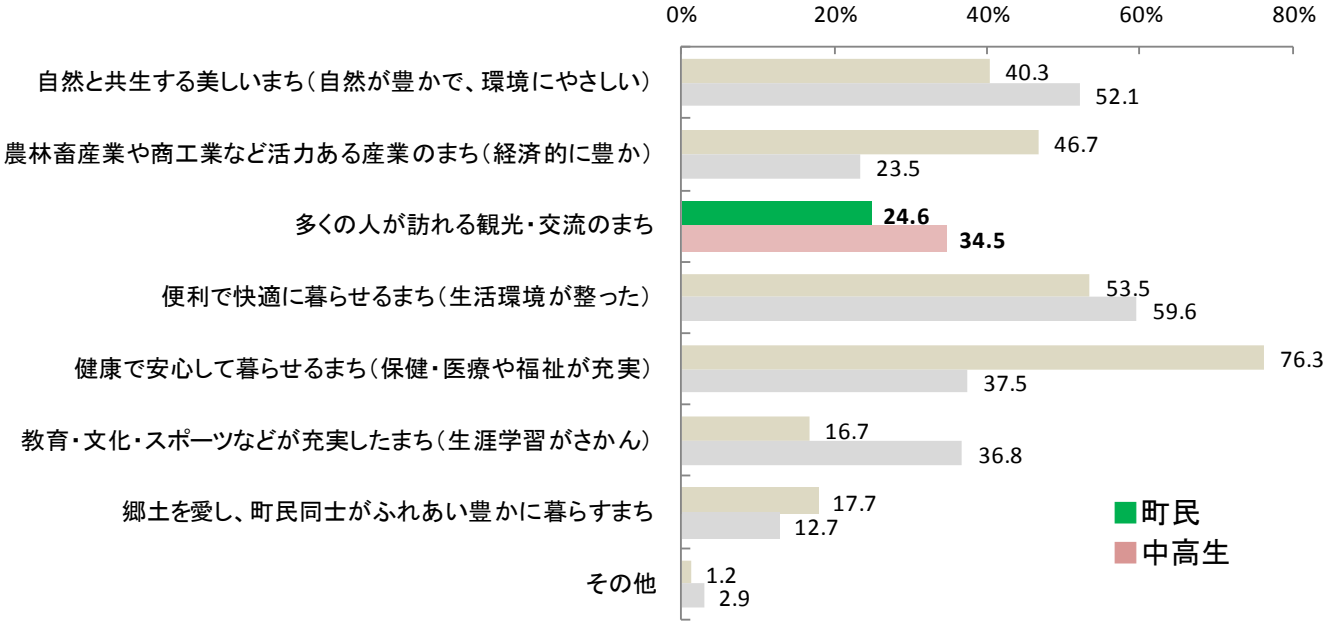
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

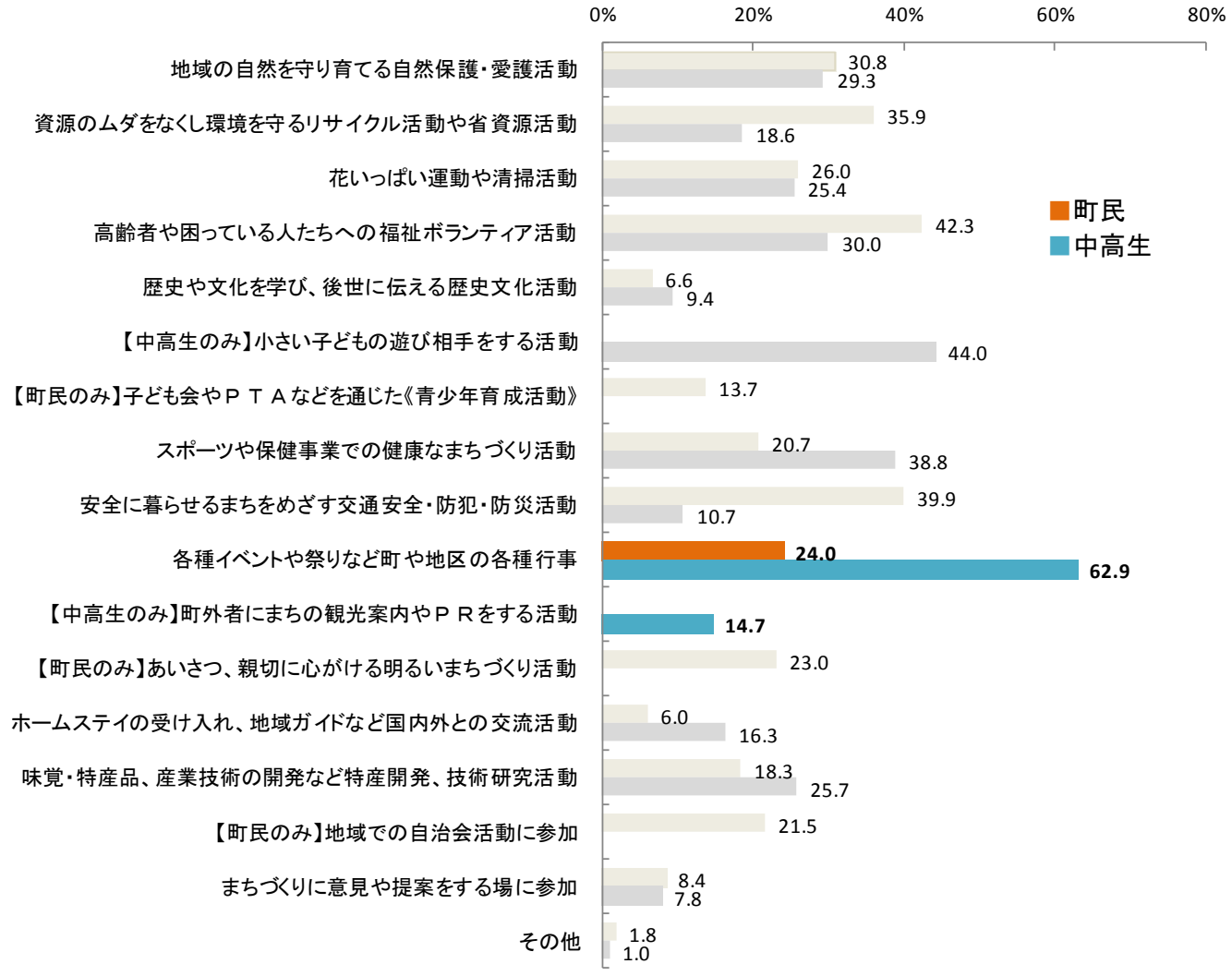




【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
総合的な推進体制、ビジョンの確立	美幌町観光振興計画※の推進	観光振興計画を推進するため、基本コンセプトを「たのしさ」「やさしさ」「うまさ」とし、「たのしさ」では、交流による観光づくりとして、平成 26 年度美幌峠にてイベントを通して峠の魅力を PR する予定。「うまさ」では、びほろ笑顔プロジェクトにより特産品のブランド開発に試み、美幌豚醤「まるまんま」の販売に成功し、平成 26 年度には、まんまんまを活用した関連商品の販売に試みています。「やさしさ」では、今後、どのように情報発信していくことが、より多くの方に認識してもらえるのかを検討していきたい。	美幌町の観光資源の核となる「美幌峠」の年間入込客数が、年々減少傾向にあること。	個別に挙げている施策全てを、実行していないが、計画作成時から状況が大きく変わっており、検証したうえで、実施する施策を決定した後に実行したい。
	観光に係る企業、団体との連携強化	関係団体（観光物産協会、商工会議所）と月１回、定例会議を実施し、情報交換をおこない連携強化を図っている。また、平成 26 年度から開催場所を美幌峠（冬季期間除く）に変更予定であり、美幌峠の現状を共通認識する予定。	特になし	今後も、連携を継続実施する。
	広域観光に対応する関係団体の連携強化	美幌・津別・女満別・東藻琴の町及び観光協会で組織されている「美幌地区三町広域観光協議会」では各町で実施されているイベントの PR を相互に行うとともに、平成 26 年度から各町のゆるキャラをイベント時に集め集客を図る試みをしている。 美幌町・釧路市・弟子屈町・足寄町・津別町の町及び観光協会で組織されている「阿寒国立公園広域観光協議会」では、平成 26 年５月 26 日に国立公園指定 80 周年事業として記念シンポジウム等を実施しました。今後、更なる連携を図りたいと考えています。	広域連携があまり進んでいないことから、今後更なる連携が必要となると考えられる。	既存協議会を中心に更なる広域連携を図る
既存施設や観光資源の保全、有効活用	既存施設の利用促進（みどりの村、峠の湯びほろ、美幌峠レストハウスなど）	全ての施設について、指定管理者制度を導入し、効率良く管理している。また、利用促進についても、町及び指定管理者で協議し随時対策を講じている。なお全ての施設が老朽化してきており、年次的に計画立てた修繕が今後より必要になってくると考えられる。	施設の老朽化により、小破修繕を中心とした修繕対策では、非常に困難と考えられ、利用者の利便性の向上も含めた大規模・中規模の修繕も検討する段階に来ていると考えられる。	修繕計画の作成と、計画に基づく修繕実施。

	美幌峠、美幌川などの観光資源の保全	美幌峠は、阿寒国立公園の第１種特別地域であり、規制の厳しい区域となっていますので、関係機関（環境省川湯自然保護官事務所・オホーツク自然環境係）と協議し自然保護に努めています。また、「美幌峠を美しくする会」により、園地の清掃管理を行い美化活動を実施しております。（町より会へ負担金を支出しています）	特になし	今後も、活動を継続する。
観光情報の提供、サービスの向上	観光情報システムの推進	平成 25 年度に長期滞在型観光事業として、新たに斬新なデザインのﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ及びﾎﾟｽﾀｰを作成し、首都圏を中心に PR 活動を実施しました。また、平成 26 年度、既存ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを現状に合わせた内容に修正したものを作成し、ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ設置箇所を少しずつ増やすよう随時各施設に協力依頼しています。	ホームページの更なる活用や新たな情報発信方法の検討が必要。	パンフレットの設置箇所を増やすとともに、ホームページの更なる活用と新たな情報発信の発掘。
	観光ホスピタリティ（もてなしの心）の向上	美幌駅に観光物産協会で運営する観光案内所を設置し、案内体制の整備を図っている。	多様化する観光客のニーズに対応すること。	引き続き、ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ向上の会議（研修）に参加して頂き、多様化するニーズに対応出来る体制づくりが実施出来るよう、観光物産協会と協議し進める。
	国際化に対応した観光案内板の充実やガイドの養成	英語・中国語のパンフレットの作成を行った。	ガイド養成の検討	外国人観光客の現在の入込状況と今後の推移を把握し、ガイド養成の検討を関係団体と協議する。
観光イベントの魅力向上	観光イベント・体験企画の充実	平成 26 年度、観光和牛まつりは、35 回目の節目を迎え、35 周年記念賞を提供するとともにステージショーの充実を図った。また、昨年より商工会議所主催の夏祭りが開催され、今年も内容を充実し実施される。	特になし	来場者のニーズに応えられるイベント内容となるよう随時検討する。
地域特性を活かした観光の推進	グリーンツーリズム※の推進	市民農園の開設、親子ふれあい農園、田んぼの学校や札幌女性と農家青年との交流会における農作業体験や農畜産物加工実習、試食会の実施により、都市と農村の交流を図っている。	多人数の団体等への受入態勢が整っていない。	今後も活動を維持する。
	特産品・土産品の開発	各関係団体（協会・会議所・びほろ笑顔プロジェクト等）が、特産品等の研究開発を進めている。例：まるまんまの関連商品、ピポロのお酢等	特になし	各関係団体が、活動を継続出来るよう、今後も支援を図る。

	シーニック・バイウェイ※の推進	東オホーツクシーニックバイウェイ連絡会議事業計画によって事業を実施する予定であるが、現在は、特に目立った動きがない状況。	事業が進んでいないこと。	今後の方向性については、東オホーツクシーニックバイウェイ連絡会議において決定する予定であるが、現在開催予定なし。
国際化に対応したまちづくり	公共標識、刊行物の外国語併記充実	英語・中国語のパンフレットの作成を行った。	公共標識の外国語併記が未実施であること。	外国人観光客の入込数等、現状把握するとともに、各関係機関と協議し優先順位を決めて、外国語併記の充実に向け取り組みたい。

※美幌町観光振興計画：本町の課題である通過型観光から滞在型観光・体験型観光への転換、地場産品の付加価値を高める特産品の開発など、今後の観光のあり方について示す計画。
※グリーンツーリズム：都市と農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動。
※シーニック・バイウェイ：「景観のよい」を意味する Scenic と、「脇道」を意味する Byway を組み合わせた言葉。景観・歴史・文化・自然・建築などの地域の魅力を「道」でつなぎ、美しい景観づくりや魅力ある地域づくりをめざす取り組みを進めている。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 美幌峠
☺ 美幌峠の道の駅
☺ 峠の湯
☺ 美幌峠のいももち
☺ 美幌峠からの景色
☺ リリー山からの景色
☺ 自衛隊の山から見た町の景色
☺ まつり（神社のまつり、ふるさとまつり）
☺ みどりの村（自然がいっぱい、遊び場がある）
☺ ふるさとまつり

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ ディスニーランドがある
☺ 動物園がある
☺ イベントが多い町（大人と子供が一緒に楽しめる）
☺ 自衛隊の冬祭りが今よりも大きくなっている
☺ おまつりがいっぱいある
☺ 外国人観光客が来る町
☺ 冬まつりがあるといい

☺ 夏祭りのほかに、春秋冬まつりがある

✪ もっと観光できるところを増やして町外から来る人を増やすべき。マラソン大会の実施や空港からの近さを利用して最終便の人を美幌町の宿泊施設に泊まってもらえばいいと思う。空港から美幌へのバスがないからどんどん北見や網走に流れてしまう。何とか町外の客を美幌町に長い時間居てもらえるためにもっと PR すべき。JR 美幌駅ももっと新しくしてほしい。いつも特急から降りるのは 5 人くらい。留辺藥は 10 人くらい降りるのに PR 不足。ファイターズのスポンサーになるとか。

- 観光客が立ち寄る工夫。（男性・60 代）
- 観光客が来るまちづくり。（男性・70 代以上）
- 観光客の誘致が必要。（男性・70 代以上）
- 町全体がさびれているので、他の都市からも観光に来て、宿泊して、お金を町で使ってもらえるような行事、場所があればと思う。（女性・30 代）
- 美幌は、観光ルートの通り街（通過地点）なので、これを何か観光的にできることがないか考えて欲しい。（女性・70 代以上）

＜宿泊施設、宿泊促進＞

北見の駅前にはビジネスホテルが増えているが、美幌町内には宿泊施設が少ない。

- 宿泊施設がなく、峠の湯に宿泊施設（温泉付ホテル等）をつけて欲しい。→道外のお客様を、北見や女満別に宿泊させてしまっている現状です。（女性・30 代）
- 峠の湯に宿泊施設（ホテル）があっても良いと思う。（男性・70 代以上）
- 交通の要衝となっているのだから、他地域との交流拠点を整備し、人が滞在できるように宿泊施設を峠の湯などに併設する方法もあると思います。財産である美幌峠の景観を生かすためにも、交流、滞在の施設を整備して、人が立ち寄る、集まる場所として知ってもらえるようにしても良いと思います。（男性・40 代）
- 町外から来た人がよく言います。「ホテルが町内にもう少しあってほしい。」（男性・60 代）
- 観光の面で友達が美幌に立ち寄ってくれましたが、泊まる所が充実していないと言われました。ですから、誰でも立ち寄れる場所が欲しいです。地元の人も気楽に利用できたらいいのですがー。（女性・50 代）
- 観光客がたくさん来られる場所。一箇所に施設や遊び場所と泊まる所が並んでいる場所があると便利でいいなあーと思います。（女性・50 代）
- 大きなイベントに応えられる宿泊施設と、地元の多くの食材を利用できるホテル、飲食業への指導等、衰退する畜産業への取り組みによる地元飲食業の活力強化。（男性・60 代）

○ 北見、網走、阿寒で 1 泊しても美幌には泊まりません。エコハウスを有効活用し、宿泊型観光へ！時間と経済的に余裕ある網走農大生(本州から来ている)をターゲットに！そこから家族→知人と広がれば良いと思います。

○ 美幌を核として大雪、知床、釧路方面に日帰りできるため宿泊施設を美幌につくることで、美幌の便利さや良さを実感し、定住につながっていく。

○ “びほろ”に泊まると「いいことあるよ！」キャンペーン。美幌町周辺には有名観光地が存在し、観光客の宿泊数を増加させるのは難しいが、ビジネスマンの宿泊者数を増加させるのは実現可能。一方で大手旅行サイトへの登録がないこと、大手ビジネスホテルチェーン宿がないこと、夜の街の利便性から本町への宿泊を選択せず、網走市や北見市に宿泊する傾向が見られる。そこで、泊まると「いいことあるよ！」キャンペーンを実施し、飲食・旅館組合、町でタッグを組み、宿泊者には飲食店の割引クーポンが配布されたり、宿泊数のスタンプカードを発行し、宿泊数に応じて特産品（ベタな芋、玉葱等）が当たる仕組みを作ったり、峠の湯入浴割引券が配布されたりすることで、各所、各個が来客者に対し美幌

への宿泊を呼び掛けていくような仕組み作りが必要。

- ○ 宿泊研修施設の設置。近隣ではネイパル北見（旧常呂少年自然の家）があるが世代に関わらず利用できる、食事を提供できる宿泊研修施設が欲しい。
- ○ 峠の湯びほろに宿泊施設を設け宿泊者の取り込み、会議・宴会のできる施設
- ○ 観光宿泊施設の充実。国道が 4 本も通っている町なのだから、観光にもっと力を入れるべきで、町が全てではなく民間企業が興味を持つようなアピールをするべき。
- ○ 広い目で見れば美幌を中心に道東の観光地は点在しており、リーズナブルで質の高い宿泊施設街が有れば可能性はあると思う。

＜観光資源＞

- 観光スポットがもっとあれば、もっと人が集まるのでは。
- ● 観光の目玉が有れば。（男性・50 代）
- ● 美幌名物が無く、名所も美幌峠だけ。観光で案内する所が無い。（60 代）
- ● 観光に力を入れるならば、美幌峠に向う道路を整備して欲しい。峠の湯から峠に向う両側は、今の時期じゃがいもの花がきれいに咲き、広々とした畑の風景を旅人が写真に撮るので、部分的に白樺の木を切って欲しい。カントリーロードとしてもう少し見直しても良いのではないでしょうか。（女性・70 代以上）
- ● 見る、遊ぶ、泊まるという場所がなく、ただ美幌峠があるだけ。昔、有名になったというだけの場所になっている様な感じがする。札幌でタクシーに乗った時、「どこから来たんですか？」と聞かれ「美幌です」と答えると、「あ～！」と言われ、「知ってます？」と聞くと「知っています。美幌峠のある所でしょ？別海へ行くのに通りました。」とだけの話でした。隣町に空港もあるのに行き先は網走・北見他と宿泊客も他へ行ってしまいます。せっかく自然や環境・気候が良いのに、施設などがないため損をしていると思います。他からの外貨が美幌町に落ちれば、豊になっていくのでは？美幌町好きですヨ！！（女性・40 代）
- ● 東モコトは芝桜、上勇別はチューリップ、小清水はゆり…。美幌町は…？町外の人が、わざわざ美幌に足を止める何かがあるでしょうか？10 年以上前だと思いますが、みどりの村の桜、びっくりする程見事でした。ですが、今はどうでしょう。今年も見に行きましたが、とてもがっかりです。（女性・30 代）
- ● 美幌は、おいしい食べ物がたくさんとれます。それなのに、観光への取り組みがなっていません。それを利用して、全国へ美幌町を知らせる事や観光客を呼び入れるなど、企画の立て方がなっていません。もっと考えてみたらいかがですか？そういう能力のある人に観光の手助けをしてもらうようにしてみてはいかがですか？能力を持った人の意見を取り入れれば、美幌はあっという間に有名になるはずです。（女性・70 代以上）
- ● 美幌町の観光施設について。花で観光客を呼べる施設を作るべきだと思います。大空町の芝桜、湧別町のチューリップ、遠軽町のコスモス、紋別市のラベンダー、北見市温根湯のムラサキツツジ等がありますが、美幌町には何もありません。他の市町村の 2 番煎じではなく、他で植えていない花種にすることで、観光客を呼べる施設になる。（男性・60 代）
- ○ 地方の人が「美幌に○○があるから行こう」と心躍るものが未だに見つかりません。集客、宿泊もできる環境を。
- ○ 施設や食べ物、その町独特の何かを見つけ出し、まずは美幌町の名前を知れ渡らせる。興味を持たせることを目的とする。
- ○ 美幌町は他の町の人が「行ってみよう」と思う場所が無いので、正統派な名所だけでなく隠れた名所を PR して集客し活気ある町に変える
- ○ オリンピックコーナーを峠の湯に設置し宣伝と物産促進につなげる（清里町のパパスランドの様に）
- ○ 地元カフェの活用。外からの視点でいうと、美幌にはチェーン店ではない洒落た地元カフ

ェが点在しているので、これらのカフェを「いなカフェ」みたいな感じで町のコミュニティとしてデザイン（コーディネート）してみると、ひとつの観光資源になるのではないか。

- ○ 根室市のエスカロップや帯広市の豚丼など代表的なご当地料理があると PR 活動も行いやすい。
- ○ 観光レベルアップ事業。美幌町は観光資源に乏しいと思われているため、町民に対して「観光客に美幌町にきてもらうために」アンケートをとって参考にする。美幌観光和牛まつりに有名人を呼ぶ（今年の芋洗坂係長は人が結構きていました。）などもっと有名人がきてくれるようにする。まつりにレースなどを盛り込む。（昔は川下りをやってました。）日本のマチュピチュ竹田城みたいに、人が押し寄せるくらいの観光スポットがないか探す。
- ○ 道東観光の美幌町通過者がいかに町内でお金を落とさせるかを考える方が現実的。美幌和牛や美幌町生産の野菜を使ったメニュー及び土産物、スイーツを開発し、通過型観光者及び近隣市町村からの集客を目指す。
- ○ 既存の基幹作物（芋、人参、ｱｽﾊﾟﾗ）による観光農園化。隣接する空港･観光名所の存在、国道が多数交差する交通の利便性など本町は立地条件的に観光農園事業が展開出来うる条件下にある。ＪＡによる観光農園事業（ｻｸﾗﾝﾎﾞ、ｲﾁｺﾞ、ﾌﾟﾗﾑ狩り）は、現在、年間来客数で数千人、年間売上げで 1～2 千万円までに成長している。ｻｸﾗﾝﾎﾞ狩りによる修学旅行生の受入時に横浜市の教頭より、「北海道の魅力が詰まった農業体験を取り入れたいという強い要望があるにも関わらず受け皿がない」と聞いた。果樹観光農園化は本町では無理でも、既存の基幹作物（芋、人参、ｱｽﾊﾟﾗ）による観光農園化は図れる。それに絡めて修学旅行生のファームステイの受け入れ先となり、農村自体を売り物にすることも可能。フットパス（田園や牧草地帯を散策し景観を楽しむ）で農村地帯自体を売り物にする企画も本町でも実現可能。（峠牧場ウオーキングに参加したが、峠牧場もフットパスに最適）
- ○ 市民農園を更に進化させ、クラインガルテン化。みらい農業センター開催する市民農園を更に進化させ、クラインガルテン化（滞在型市民農園）し、みどりの村とのコラボ等、様々な手法が考えられる。来客者＝外貨獲得（町内での宿泊、飲食、購買による経済的波及効果）、農業への理解、関心が向上＝地場特産品の需要増、知名度向上（芦別、増毛、仁木、深川など）などの効果がある。総合的に需要、実現性、手法等について検討に入るべき。
- ○ 美幌峠牧場の観光牧場化。新たな観光地として、美幌峠との相乗効果を図る。

＜既存施設＞

- ☺ みどりの村のマッシュルームなどをきれしにしてほしい。
- 👎 博物館やみどりの村は郊外にあり遠い。内容もあまり PR されていない気がする。
- 👍 みどりの村はみんなで宿泊して楽しめるので、とても良い。今年も利用する。
- ● みどりの村を中心に、あんずの木の林を作って、果実と花でたくさんの人々が訪れてくれればと夢を見ています。ハスカップなど…おいしいスイーツなどなど。（女性・60 代）
- ● 観光施設の見直し。アクセスがもっと便利で、地元以外の人たちに多く活用してもらえるようにする。（女性・50 代）
- ○ 博物館をみどりの村と一体的に、こどもが遊ぶスペースとして再整備を図る。具体的には博物館を廃止（規模縮小）し屋内の子供の遊び場に変える。（網走や、中標津、紋別の道立公園や新さっぽろのファンタジーキッズリゾートのイメージ）企画展などのスペースは残し、展示は必要最小限にとどめる。
- ○ 町外に通じる主要道路に商店街はあるが町外の人には寄りづらい所が多い。アンテナショップや特産物の直売所・ドライブ時に立ち寄れる魅力的な店舗やスペースなど設置し、ＰＲに繋げていく。ＴＶやインターネットなどで美幌町についてＰＲをする。

＜新たな施設＞

- ○ 道の駅は美幌峠にあるが、街中に置くことにより、町の活性化につながると考えます。美

幌の特産物の商店温根湯のように世界一とまではなくとも、目玉となるもの（イメージ的には大きいオブジェ、ぎゅうたろのような）を設置すると、まち全体の活性化につながる。

○ レジャー施設の建設。若者・家族連れが近隣市町村から集まってくる。夏期における屋内レジャープール施設等、特に、冬場の子供連れ家族が集まってくる屋内型レジャー施設。大規模なものでなければ、いけない。

<イベント>

☺ 大きなお祭りをふやしてほしい

☺ イベントの期間を長くしてほしい

✪ ジャニーズのコンサートをしてほしい

✪ 祭りやイベントを増やしてほしい

昔あった「スターダストカーニバル」や「千人おどり」などのような、人が呼べるイベントが（再び）できないか。

● 美幌町は各町内単位で祭りや行事を主催しているが、町を代表し、周辺市町村から客を呼べるイベントがない状況にある。よって、道外の出身者が多い自衛隊の特長を生かし、郷土の祭を大通りで披露するようなイベントを開催してはどうだろうか。置戸町の人間ばん馬や斜里町のねぶた祭のような行事が欲しいところである。（男性・60 代）

● イベントを作る。道東一のウォーキングコースを作る。（男性・30 代）

● 色々な所の道の駅に行くと、その町のではなく、他の町のイベントのポスターが貼ってあり、こんなことをやっているんだ、行ってみたいと思いますが、美幌町のポスター（和牛祭りとか）はまだ見たことがありません。ＰＲしなくても人はたくさん来るとは思いますが、広く美幌町をＰＲして欲しいです。（女性・40 代）

● 他市町村からも参加出来るイベントがあればよいと思う。（50 代）

● 楽しくて他の町の人間が「美幌に行くべ！」って言うくらいの何かを考えませんか？正直、和牛まつりは昔と違って楽しくないですよ。牛の丸焼きとか、川下りとか、花火とか、どうしたんですか？ここ何年か行ってませんよ！まったく楽しくないからです。（40 代）

● みんなが楽しめるイベント。（女性・30 代）

● 夏まつりも今年は一日だけ。子供達に楽しいまちと印象づけるには、行事も長くやっていくことが大切ではないか。予算がないからと何でも縮小していっては楽しい町ではなくなり、昔は良かったとグチばかりで、つまらない町になる様な気がする。（女性・60 代）

● 祭りが少ない。（男性・40 代）

● 小さい子供から老人までみんな参加できる行事、場所が欲しい。町外から引っ越して来た人達が、美幌町民と交流できる場があればと思う。（女性・30 代）

● 秋まつりのあと冬まつりまでの間に何かお祭りを増やしたら楽しいかも。（女性・40 代）

● 町民全員でつくりあげるようなイベント。（男性・50 代）

● 若い人にとったら本当につまらないし、結婚後も心配がある。もっとイベントとか増やして、町外からも人が集まるようにとか、予算が少ない中でも工夫できることがいっぱいある。（女性・10～20 代）

○ 年々祭典の規模がどんどん小さくなってきているので、人口が減少している中でも、お祭りや花火大会などの規模を大きくしたり、人の出入りを多くできるようなイベントを考え、美幌町の毎年恒例の行事などを作って美幌のＰＲに繋げる。札幌、旭川、函館など人が多く集まるところのイベントを参考にして、どのような魅力に多くの人達が関心を持って行くのかを考える。（例）期間を決めてグルメの祭典を作り、ビアガーデンを入れる。

○ 美幌と言えば、○○と伝えても認識度は低く、あたりさわりないような町という印象があ

る。そこで、印象を脱却すべく、和牛まつり・デュアスロンに並ぶ永く続くイベントを開基 130 周年に向けて取組み、開基イベントに合わせて第１回○○を開催する。（例えば、上記の 100 ㎞歩こう大会とか）

○ ナイナイのお見合い大作戦を美幌でやる。町の PR も出来るし、町外からの女性を呼び込める。人気テレビ番組であればあるほど良い。またフェイスブックにアップされた場所や食べ物はかなり広くまで拡散しますし影響力が強い。情報発信ツールとしては有効。（年齢層限られますが）

○ 年齢に応じた出会いの場・イベントの企画。お祭りなどは近隣市町村の住民も楽しみにしているようなので、年齢に応じた新しい企画も行い、さらに美幌町をアピールしていく。

＜広域での取り組み＞

○ 美幌や近隣の町の良さを知ってもらうために、旅行会社に協力をもらって格安でツアーを企画。他町村にも協力をもらってオホーツク全体のアピールができたらおもしろい。

○ 近隣のイベント共催による集客と町のＰＲ

＜道の駅＞

🏳 美幌峠だけでなく、もっと近くに道の駅があれば。峠の湯に隣接していたら、観光客も利用するのではないか。

● 美幌峠についての事ですが、私は景色を見に一年に何度か足を運んでいます。道の駅の二階が休憩所になっているのですが、団体客が食事している釜飯のような匂いがひどくて、場所も無くゆっくりできませんでした。これでは、家族連れなどの一般客が利用できないと思います。せっかくの良い場所なのに、残念に思います。（女性・60 代）

● 市街地に道の駅を。美幌峠は少し遠い。売店が大きくなった位ではダメ。（男性・50 代）

● 町のまん中に道の駅を作ってほしいです。（女性・50 代）

● ここ数年前より、地方の他県へ車旅を楽しんでいます。他県の行事、イベントは最高です。また、道の駅では、同年代の人と会う楽しみが広がり、見る物聞く物も、どんどん吸収して来ています。地元にもどると、何一つ自慢出来る物は無く、美幌峠にある道の駅の活用もお粗末です。なぜ山の上に？最近の道の駅は、町内の人達も集まる程の場所となっています。ぜひ美幌町内、特に峠の湯周辺の整理を復活し、温泉、キャンピングサイト、キャンプ場など自慢できる場所を作って下さい。峠の湯に行った時はいつも思います。町作りに期待します。最下位の道の駅は、いらないです。（女性・60 代）

● 美幌町に道の駅を作ったらどうでしょうか。美幌駅にあります観光物産（おみやげ品）などを道の駅に置けば、観光客の目玉になると思います。（女性・70 代以上）

＜その他＞

✪ 遊べる川があったら楽しい

🏳 美幌川はとてもきれいなので、カヌーをしたらどうか。

● 他から観光に来る方に、何か贈り物をあげるとかクーポンを充実させるとか、特典をつけてはどうですか？（女性・40 代）

● 美幌に生まれ、町外に出て戻ってきた者です。昔に比べて町全体に活気がないのが残念です。観光や商店街等、人を呼び込む働きかけが少ない。イベントや文化事業を増やすといいと思う。町の魅力再発見として、リピーターしたくなるお店や観光地、イベント等を発掘し外へ伝えていくべき。（女性・40 代）

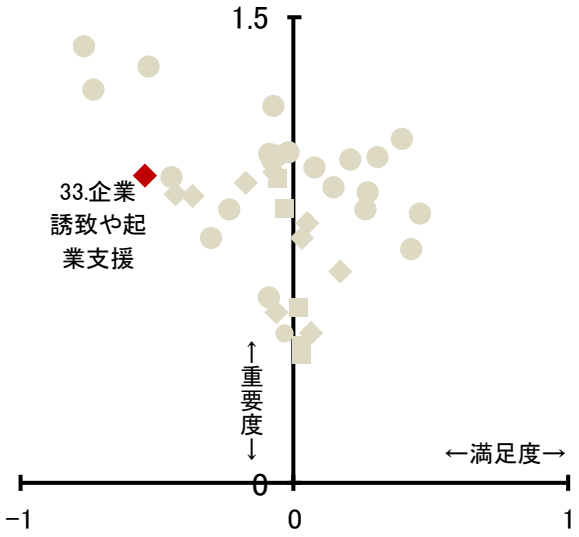
○ 美幌峠を景観以外の観光名所にする。美幌峠からの眺めはきれいではあるが、他に勝る景観ではないので、みんなが大好きなお祭りのように露店をたくさん並べて、美幌の限定特産品や他にはない観光土産(定番のキーホルダーなど以外)を販売する。

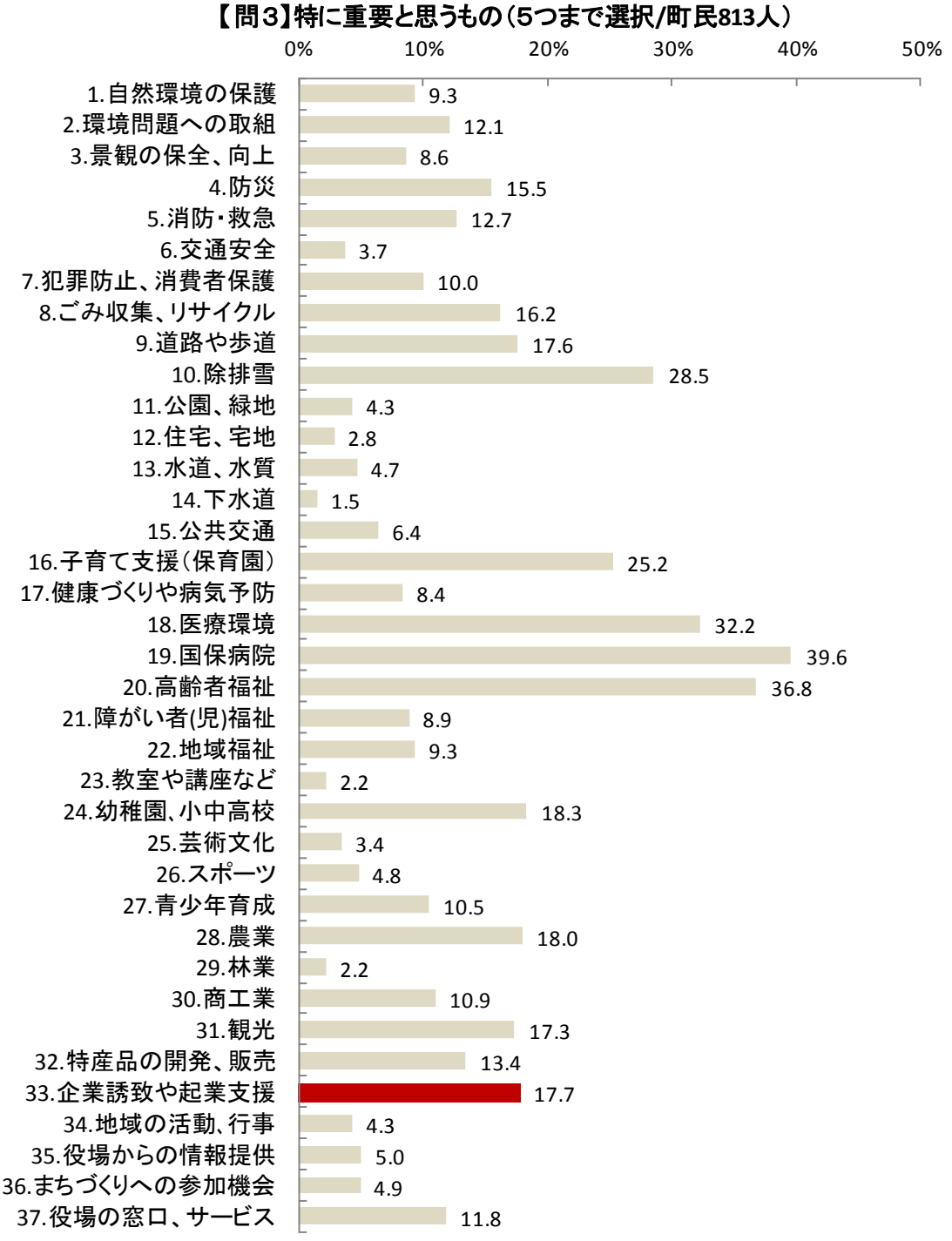
33 企業誘致、起業支援

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
企業誘致の推進	企業誘致推進育成推進協議会※の充実	企業誘致・育成推進協議会の改変、若しくは発展的解散による新組織による企業誘致等の調査検討	協議会の活動がほとんどなかった。	協議会の見直しにより、企業誘致の強化。
	工業用地の環境整備の推進	進出企業が無いなか、特に整備等行っていない。	企業誘致が難しいなか、予算化して整備することは難しい。	同左。誘致企業があれば相談・対応していく。
	町の資源や特性を活かせる企業の誘致	パンフレット等情報を発信。	情報発信をするにしても、他市町村との差別化を図り美幌町の優位性をどう発信することができるか。	引き続き情報発信をしていき企業誘致に結び付ける。

※企業誘致推進育成推進協議会：企業誘致の推進と既存企業の育成振興を目的に、商工会議所役員・議員、町議会議員、知識経験者の委員で構成し調査研究と誘致育成活動を行っている。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　㊋：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

- （町外から企業等を呼ぶために…）町外からの人を集める場所（昼と夜）を作る。美幌町の魅力リーフレット、魅力フォトギャラリーを作る。町外の人が町内で事業する場合、テナント料を無料にする。町民がオーナーになる店（オーナー多数制度）を作る。グランドホテルに月ごとにテナント（町外・道外から）を入れる。使わなくなった中学校などを施設やテナントとして使う。（土、日限定とか）（男性・30 代）
- 若い人の企業（起業）を応援。（女性・30 代）
- 若者の働ける企業誘致等。（60 代）
- ５人でも 10 人でも働ける企業の誘致を図り、美幌町の人口増加に努力して下さい。（男性・70 代以上）
- 活力あるまちづくりに欠かせないのは、企業の誘致が一番と思います。（小清水町の閉校校舎の利用と企業の誘致）（女性・60 代）
- 一般企業がもっと増えてほしいですが、公害の危険があるような誘致には反対です。（女性・40 代）
- 企業誘致、起業しやすい環境を町で作らなければ金がまわらない。空き地、空きスペースを積極的に活性化させなければ、若者は第一次産業の跡継ぎ以外いなくなる。（男性・30 代）
- 町への収入を増やすため、企業を持ってくる。（男性・30 代）
- 道外の企業の積極的誘致等で、地場産業を活発にする。（女性・50 代）
- 年間雇用の企業誘致を特に願う。（男性・70 代以上）
- 若者が残ることができる企業誘致。オホーツクブランド、発電施設等。（男性・50 代）
- 北海道銀行があったら良いなぁ。（女性・30 代）

〇 若年層の雇用拡大を目的とし、特別工業地区工業地域に事業所等を新設(又は移設)する場合

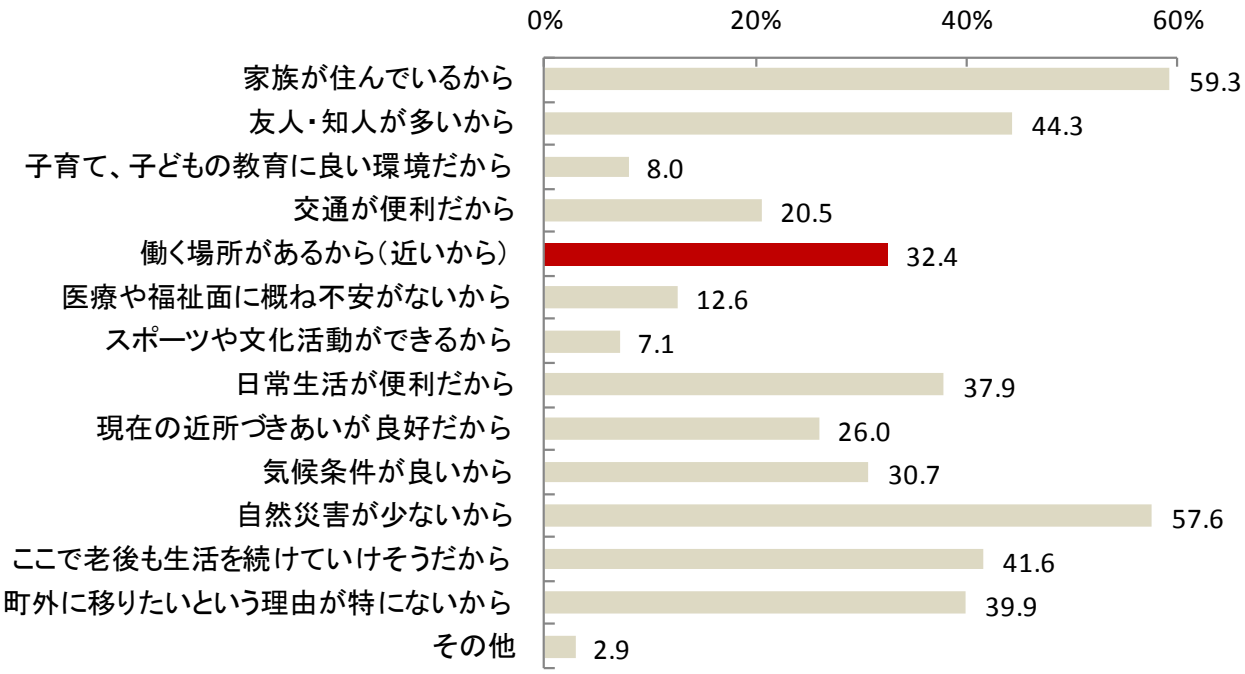
に、奨励金を支給するなど、優遇・奨励制度の確立。特別工業地区工業地域での、下水道などライフラインの充実(先行整備)が課題。

- ○ 物流拠点施設の設置。交通の要衝としての地理的条件を活かす。
- ○ 地理的要因(道東の中でも中心)や交通網（4 本国道と飛行場や網走の港湾にも近い）の状況から、農業を例にしても、農家の生産や加工工場・肥料や農機など販売にしても物流の拠点条件にある。美幌を中心に 1 時間以内で、道東の主要地域を網羅できる近い場所。これを生かして大型倉庫、物流拠点を設け、他業種や中小起業の個々の物流を、一括の物として扱うことの仕組みを作り経費を抑える。土地を安く提供できることが課題。雇用も改善期待できる。電力供給面で美幌でも太陽光発電が増えてお倉庫の屋根に設置できれば、土地の有効活用にも。
- ○ 有名な企業が町に 1 つ来るのは、結構目を引く気がする。雇用も生まれる。ただし、共存する姿勢の企業に限る。町を食うタイプの企業は美幌に馴染まない気がする。温泉宿を支えてもらうとか、小清水のほがじゃの工場のように、地元産品を有効活用してもらう企業とか。
- ○ 民間の新たな事業活動を補佐するために、新規事業を興す際のノウハウ、活用できる制度・資源等を照会できるシステムを確立してはどうか。→行政主導ではない民間活力の有効活用
- ○ 市民団体によるクラウドファンディングの活用に対する応援。不特定多数に人からインターネット経由で資金を集める行為。プロジェクトを実現したい市民や団体は、クラウドファンディング事業者のサイト上にプロジェクトの内容や目標金額、募集期間等を投稿し、ツイッターなどのソーシャルメディアを通じて全国の支援者に支持を呼びかけます。プロジェクトの内容に賛同した全国の支援者は、インターネットを通じて、クラウドファンディング事業者に支援金を振り込みます。支援金が目標金額に達した場合は、クラウドファンディング事業者からプロジェクトを実現したい市民団体に支援金が支払われ、プロジェクトが実行されます。このとき、支援者には振り込んだ支援金の額に応じた一定のものや体験、サービスがリターンされます。募集期間内に支援金が目標金額に至らなかった場合は、プロジェクトは不成立となり、プロジェクト実行者には支援金が支払われない制度です。
- ○ 町内には大手チェーン店のファミレス、ファーストフード店がなく、外食をしたくても行く店が限られています。飲食店関係者及び飲食店開業予定者を対象としたメニュー開発や運営のセミナーを実施してはどうでしょうか？美幌独自の多種多様な飲食店が沢山出来れば、食を楽しめる町になり、町外からの集客も見込める。
- ○ 専門学校等の誘致

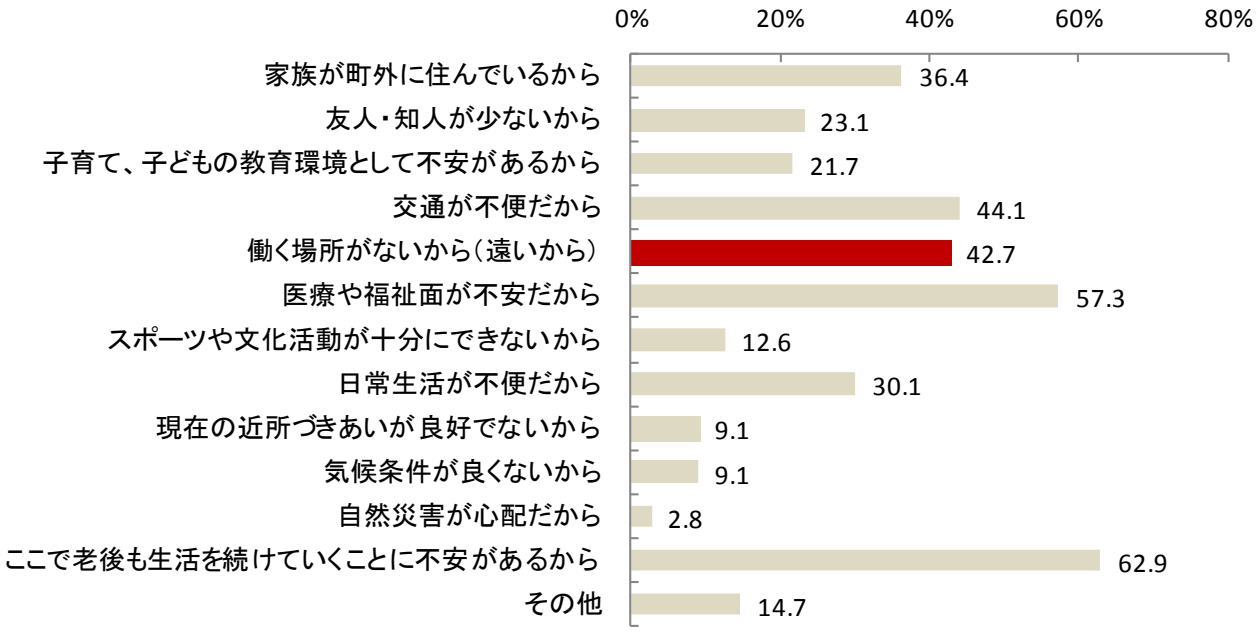
34　雇用促進、勤労者福祉

（１）関連グラフなど

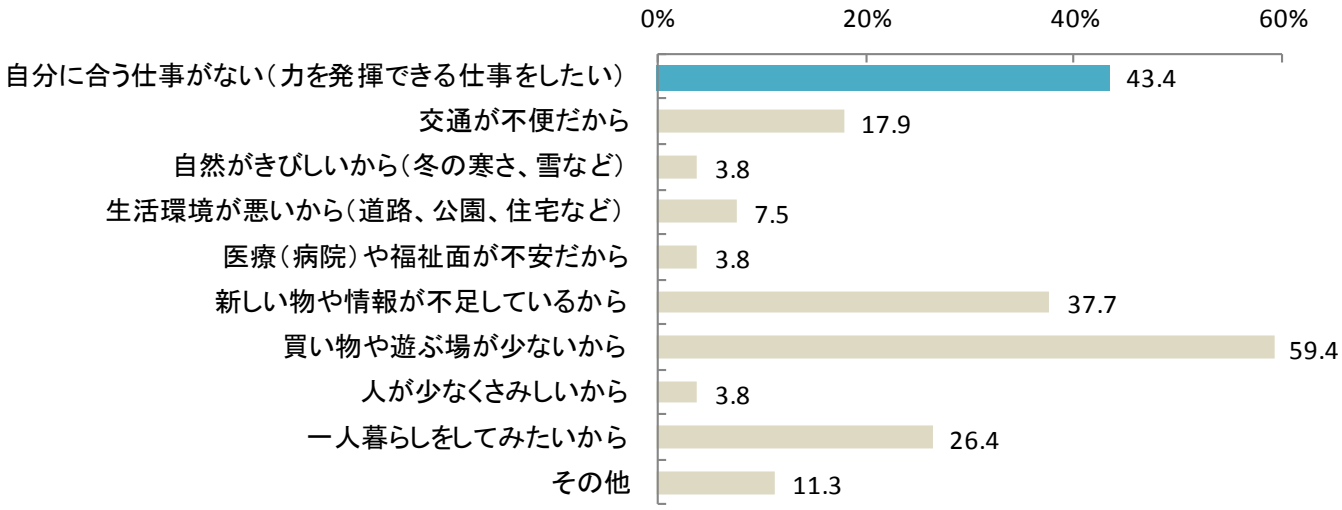
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



中高生 **【問3-①】町外に住みたい理由（あてはまるものすべて選択）**



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
雇用、労働対策の推進	技術の取得支援による雇用の促進	美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会において、季節労働者の多様な技能取得を促し、通年雇用化へつねげるため、各種資格取得の支援を行う。	特になし	資格取得をすることにより通年雇用の可能性が増えることから継続して実施していきたい。
	地域雇用創造支援事業※の推進	中小企業庁の創業支援事業計画の認定にむけ準備中	特になし	計画策定に向け準備・策定を目指す。

※地域雇用創造支援事業：地域の雇用創造に自発的に取り組む市町村等の取組を促進・支援することを目的として、経費の一部を国が助成する取り組み。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

❀ハローワークに子どもを連れて行きづらい。「マザーズハローワーク・マザーズコーナー※」もあるので、そのような環境にならないか。

※マザーズハローワーク・マザーズコーナー：子育てをしながら就職を希望している方に対して、キッズコーナーの設置など子ども連れで来所しやすい環境を整備し、予約による担当者制の職業相談、地方公共団体等との連携による保育所等の情報提供、仕事と子育ての両立がしやすい求人情報の提供など、総合的かつ一貫した就職支援を行っている。（厚生労働省 HP より）道内には 12 か所。

- 北見市と網走市の谷間で、買い物をするにも隣町に引き寄せられる。美幌に本社がある企業を積極的に支援し、働く場所、生きがいを地元で満足できる様な、民間の活発な経済活動を後押しできる様な施策を講じるべきである。（男性・60 代）
- 送迎付きの働く場所を増やしてほしい。（女性・40 代）
- 働く場所がない。パートが多く正社員が少ないため、北見、網走に出て行く。（男性・50 代）
- 積極的に雇用の場を整えるために、町として特に情報面で支援を強めてほしい。（男性・60 代）
- 若者の働く場所がほしい。（女性・60 代）
- まずは、働く場所を多くつくる事が大切だと思う。働く所が増えれば、美幌町に住む人も多くなり、街もうるおうと思う。（男性・30 代）
- 生活環境も重要ですが、それ以上に働く場所、働ける場所の確保が最も重要だと思います。（男性・50 代）
- 若い人の職場がふえて、学校を卒業した子供達が地元で働ける様になったら…。企業誘致、特産品の開発。私は、おみやげは美幌のものを送るようにしています。（女性・60 代）
- 中学生や高校生の様に、インターンシップの様な事が大人にもあれば嬉しい。ヘルパーなどの資格を持った主婦はたくさんいるが、子供が小さかったりと、すぐに仕事につけないまま年数が過ぎてしまい、違った仕事をしている人も多い。研修などがあれば良いと思う。美幌も老人が多いので。（女性・40 代）
- 働く機会をもっと増やしていただけないだろうか。（男性・30 代）

○ 子育て世代の主婦が働ける雇用環境整備（現状の美幌の求人は、土日勤務の職場が多いが、主婦の希望は、平日午前中勤務で土日休み。賃金単価も最低賃金レベルの求人が多い。）

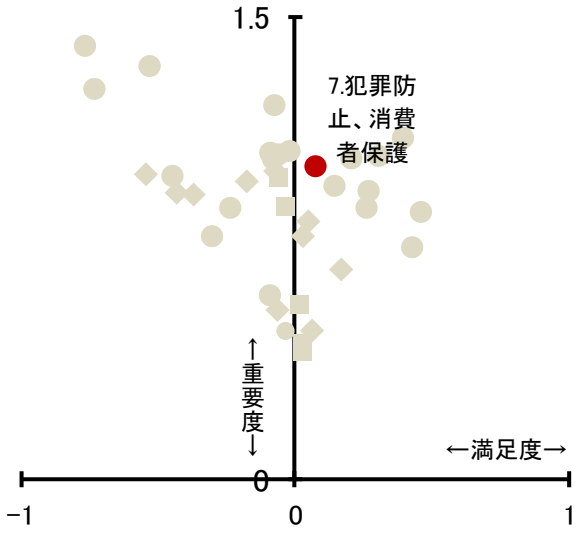
○ 多少高額でも食の安全に対する需要が見込めるので、美幌町の特徴である１次産業を活かし生産・加工・販売の６次産業化を目指す。

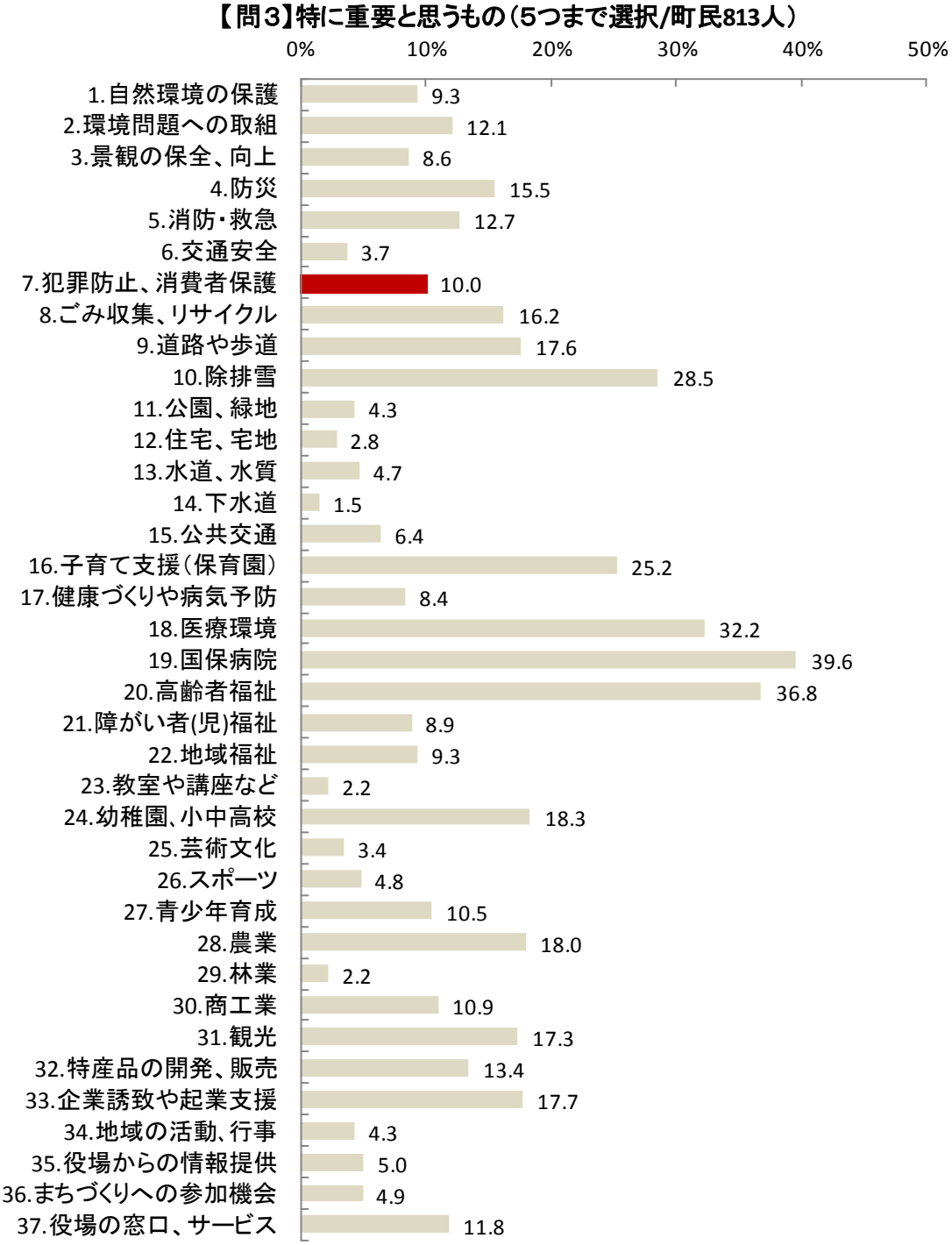
35 消費生活

（１）関連グラフなど

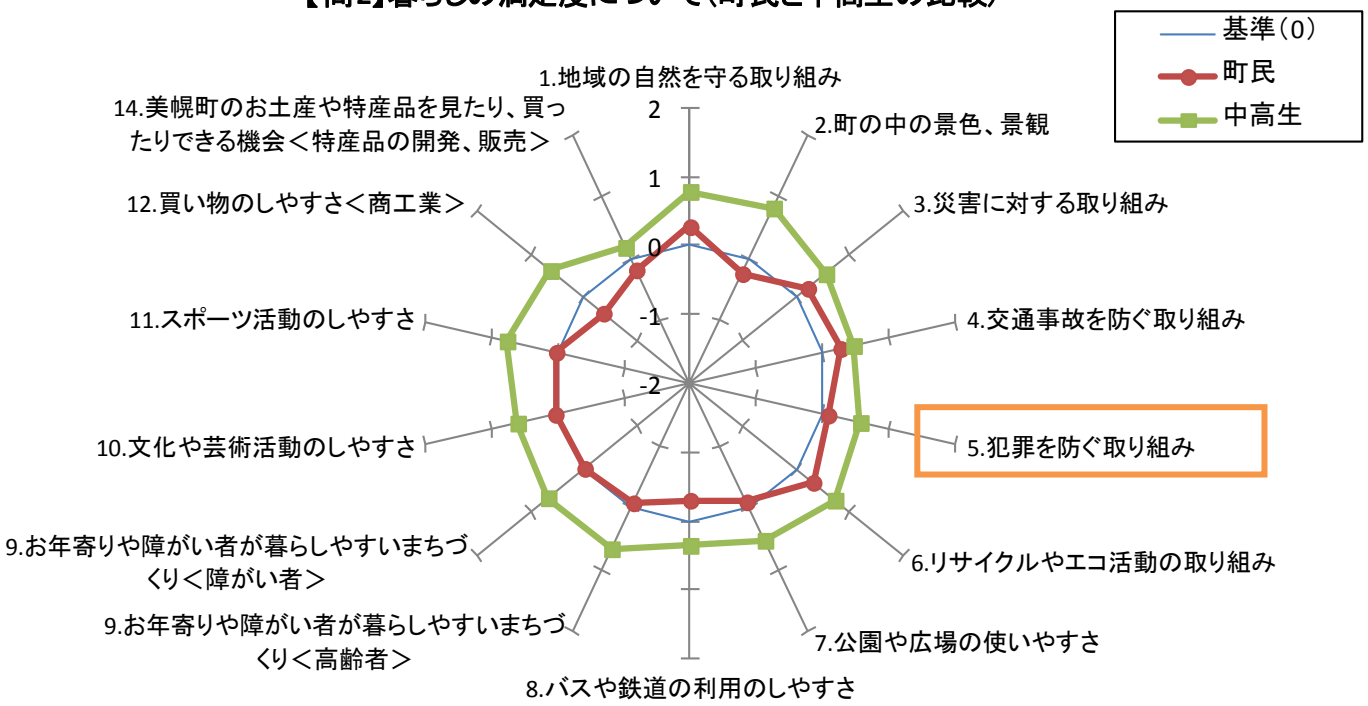
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

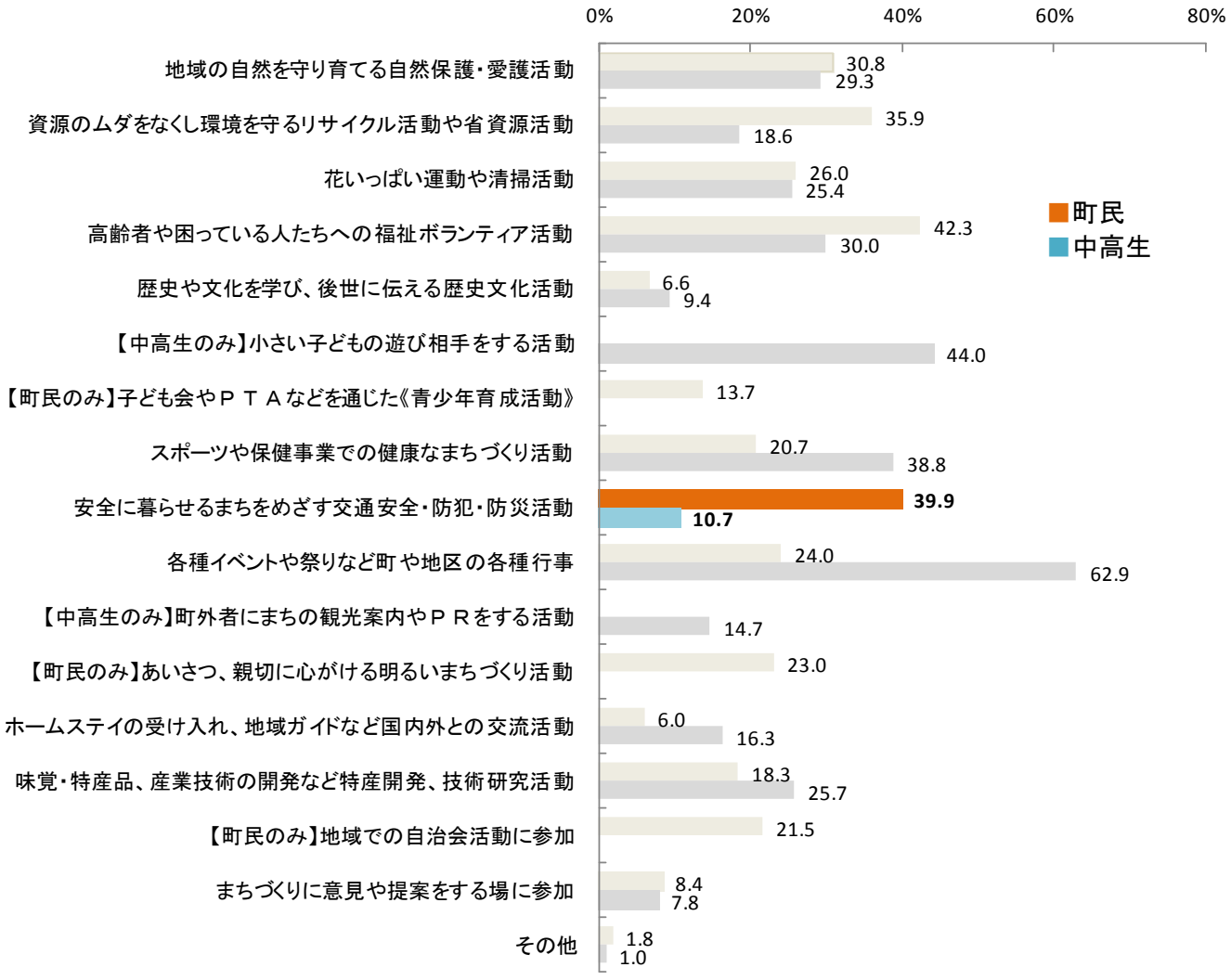




【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
消費者の保護	消費生活相談体制の充実・強化	PIONET(全国消費生活情報ネットワーク・システム）の活用にて情報を共有し、相談体制の強化に努めている。	特になし	消費者協会との連携により消費者被害の防止、相談体制を強化していく。
	消費者被害防止ネットワークの設立	平成 12 年 4 月に「びほろ 110 番ネットワーク」を設立し現在に至る	特になし	消費者被害防止ネットワークは設立されたためこの項目は完了。
	消費生活条例の制定に向けた調査、研究	条例化に向け調査検討中	特になし	消費者被害が多様化、高額化する中条例化に向け調査検討していく。

（３）意見、提案

☺：**小学生**　✪：**中高生**　㊋：**育児ママ**　⚐：**自衛隊**　⌘：**高齢者**　●：**町民**　〇：**職員**

○ お年寄りをねらう、詐欺等が相変わらず減らないなか、超高齢化社会を向かえた今、その強化を更に強めていくことが必要と考える。相談窓口のＰＲ強化、相談員の育成（消費者協会のみならず町職員も)、積極的な出前講座の開催、町全体としての姿勢のＰＲ、消費者行政の町民へのＰＲ強化、消費者協会への業務委託内容の検討（土日や時間外の窓口開設、相談員の人数、協会ＨＰの開設）

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
環境共生※に向けた総合的な取り組み	ソーラー資源の活用	平成 26 年度は、太陽光発電システムモニター事業の申込みは 20 件中約半数の申込みとなっているが、25 年度以前については順調に件数が伸びている。	平成 26 年度は、前年度に消費税増税による駆け込み需要が多かったことと。パネルが雪により冬期間に発電しないなどの理由により設置件数の落ち込みがある。	電気代の増加等、ソーラー資源の活用が見込まれる、継続して推進したい。
	地域新エネルギービジョンの推進	公共施設への林地残材を活用した木質燃焼装置の導入や一般家庭・事務所への木質ペレットストーブの普及宣伝を行い、木質バイオマスボイラー2箇所、木質ペレットストーブ 45 台が設置されている。 太陽光発電システム設置モニター、BDF※燃料製造・走行テストなど新エネルギービジョンのCO2削減目標について全体として達成できている。	木質ペレットストーブのメンテナンス等の手間が要因で普及が進まない状況である。	平成 26 年度から木質ペレットストーブ導入補助金の補助率等を上げ価格差の解消を図ったが、メンテナンス等に課題があることから、普及には時間がかかるものと考える。 道事業の再生可能エネルギー等導入推進事業のモデル地域の選定を受け「低炭素地域づくり提案書」の作成を受け新エネビジョンの改訂に結び付ける。
	新エネルギーに関する大学研究機関との共同研究	新エネルギー導入推進委員会の委員に北見工大の副学長に委嘱している。	特になし	新エネルギー導入推進委員会による研究項目の選定により、工大など大学との研究を進める。

※環境共生：人間も生態系の一部であることをふまえ、環境への負荷をなるべく減らして生活をしていくこと。
※BDF：バイオディーゼルフューエルの略で、生物由来の油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

○ 他の自治体など、エネルギー対策における施策（自然エネルギー発電施設など）多く取り上げられているなかで、美幌町は民間企業のメガソーラーなどはあるが、町としての設備ももっと増やしていくべき

○ 町内の資源を生かし、小水力発電やカーボンオフセット等のエネルギーや資源を生かす取り組みがなされているが、町外・道外で実施予定の再エネ事業等（がんばれ日本的な取り組みに対して実施）売電等により利益の出る事業に出資しその益を基金として町づくりに還元する。（道北や四国で風力発電設備建設の予定あり）

○ 自然エネルギーを活用するエコタウンとなる。エネルギーを化石燃料に頼っているため原油の価格の影響を受けてしまっている。活用していない自然エネルギーはたくさんあると思われる。

○ 太陽光、バイオマス、小水力の推進、普及活動。小水力については発電量が少ないので、長期的に施設拡大を図るべきではないか。

37 土地利用

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
計画的な土地利用の推進	都市区域、農業区域、森林区域、自然保全区域の利用区分に応じた土地利用の推進	大規模な土地取引等について、国土法第 23 条に基づく届出の際に適正な土地利用を指導している。	計画期間を経過しているが、平成 20 年の北海道計画見直しの際に町の土地利用の動向を踏まえながら環境の変化等により適宜検討することとしている。	利用区分に応じた土地利用を進めるとともに、国土利用美幌計画の見直しの必要性について検討していく。
	地籍※更新事業による信頼性の確保	随時、取り組みが進んでいる。	地籍の現場不符号により再調査が必要な地区が出てくる可能性がある。	地籍数値情報化は、H27 年完了にずれ込み、その他は継続して取り組む。

※地積：土地の面積。

38 市街地整備

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
土地利用の推進	市街地における都市計画マスタープラン※の見直し	第５期計画により見直しが順調に進捗	コンパクトシティ化や無秩序な開発行為の防止	平成 27 年度に用途見直しが完了予定
	都市計画区域・用途区域の見直し			
	緑の基本計画※の策定	未策定	未策定により公園整備に支障	策定し公園整備の検討
	市街地の再整備 市街地再整備の促進	熟度を高めることが必要であり、中心市街地活性化基本計画※の実施が見送られている。	計画の実施に向け再度の検討が必要。	再検討を要する
	バリアフリー（ユニバーサルデザイン※）の推進			
	地区の拠点となる緑地の整備			
	まちなみ環境整備の推進			
	市街地再開発基本計画※の策定（大通地区）			
	市街地再開発可能性の調査（大通地区）			
	桜通の改築		都市計画上の問題（立体交差問題）、用地買収等困難	
	国道 39 号線の歩道造成	学生数の減少により要望順位が低く未実施	交通安全上の優先順位が低い	再検討を要する
	新町３丁目通の歩道改築	平成 28 年度以降に継続要望	補助要件にのる優先順位が低い	国庫補助にのる検討が必要。
	多目的広場の整備	中心市街地活性化基本計画の実施が見送られている。	計画の実施に向け再度の検討が必要。	再検討を要する
	ポケットパーク※の整備			

※都市計画マスタープラン：平成 32 年を目標年次として、本町の都市計画における土地利用、交通体系、公園緑地等の基本的な方針を示す重要な計画。（平成 13 年度策定）
※緑の基本計画：都市における緑地の保全、緑化の推進に関する計画。
※中心市街地活性化基本計画：市街地の整備改善と商業の活性化などを一体的に推進し、中心部と郊外部がバランスよく発展することを目的につくられた計画。（平成 16 年策定）
※ユニバーサルデザイン：能力や障がいのレベルにかかわらず、すべての人々が利用しやすいデザイン。
※市街地再開発基本計画：中心市街地の核となる商業集積施設を整備するための計画。
※ポケットパーク：市街地や道路沿いなど日常生活の身近な場に設置された小規模公園のこと。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

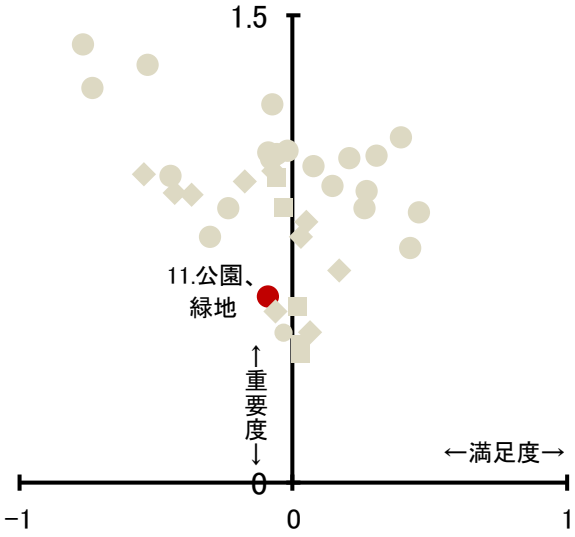
- ● 早急に美幌町をどのような「まち」にするかという、将来を考えた「まちづくり（都市計画）」について官民で話し合う必要があるのではないでしょうか。
- ○ 市街地環境の整備。老朽化した道路・街路樹の更新、空き屋(廃屋取り壊し費用助成)対策。地域住民と協働で住環境水準の向上を図る。

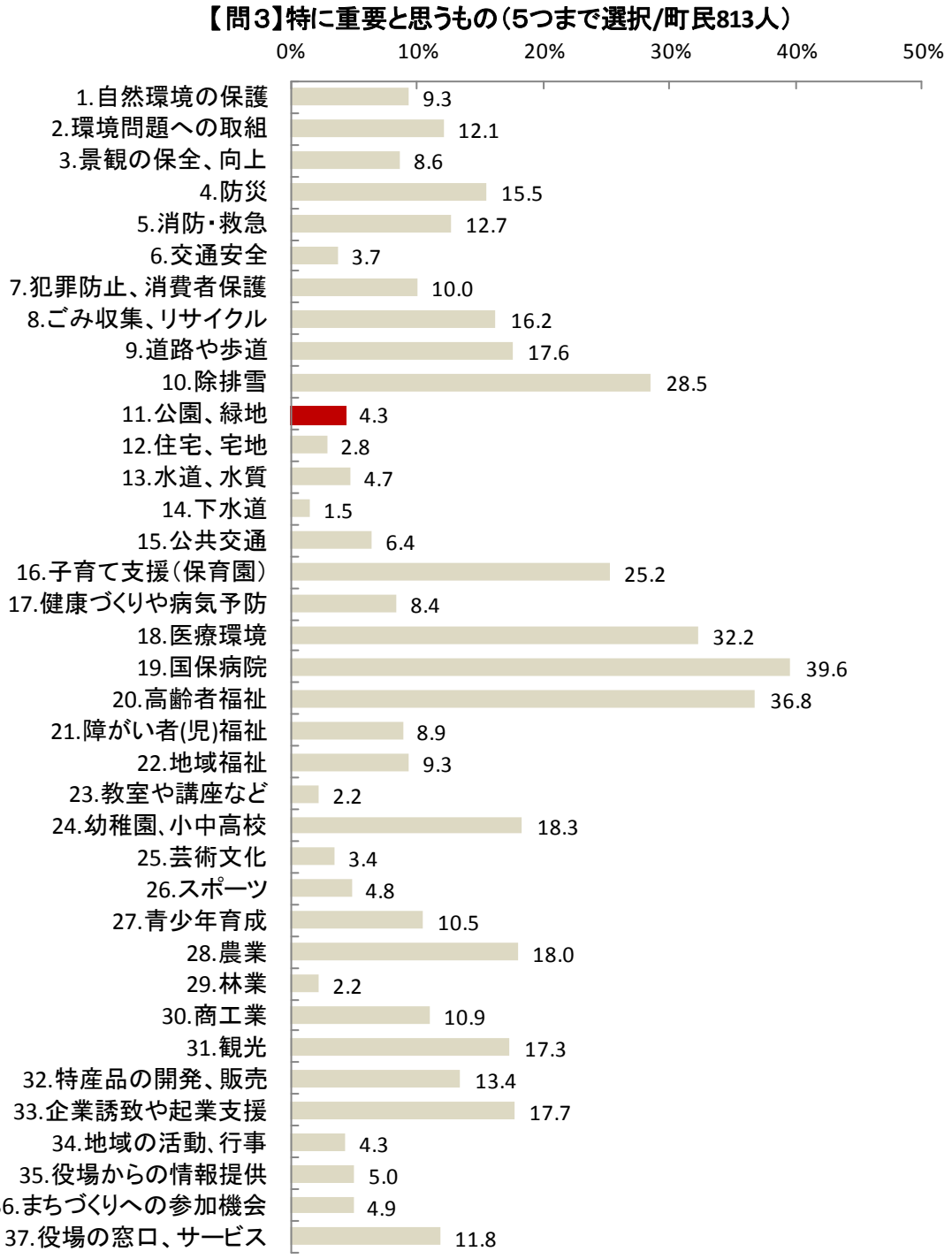
39　公園、緑地

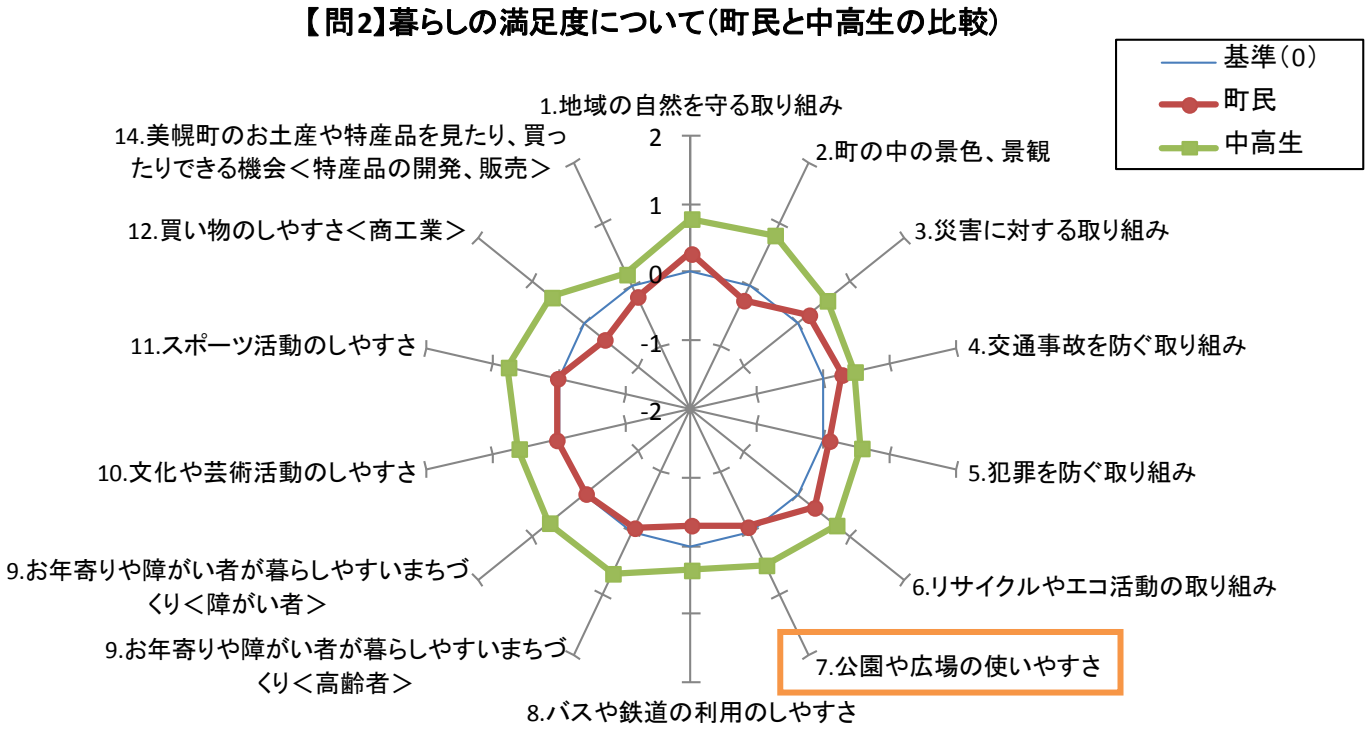
（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。







（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
公園や緑地の整備、維持管理	網走川河川緑地整備計画※の見直し	第５期計画の推進により都市マスの見直しが図られた。緑の基本計画は未策定	緑の基本計画の策定が必要	緑の基本計画の策定により、網走川河川緑地整備計画の再編が必要。パークゴルフ場整備や緑地の整備計画の見直しが必要。
	公園施設等の更新計画の策定	平成 26 年度講演長寿命化計画策定の予定。	公園施設のあり方の検討	長寿命化により公園の改築を図る
	公園引当地活用計画※の策定	公園引当地活用計画未策定	計画未策定	現行活用計画が未策定のため規模縮小を行う。
	住民参加による公園の維持管理	自治会・ボランティア活動により住民参加の維持管理が行われた。	継続的な維持管理・財源	今後とも協力いただき維持管理を行う。
	ユニバーサルデザイン※を取り入れた公園整備	第５期計画の推進により都市マスの見直しが図られた。緑の基本計画は未策定	緑の基本計画の策定が必要	ユニバーサルデザインの検討を含めた緑の基本計画策定による公園整備の再検討が必要。

緑化、花いっぱいの推進	緑化推進計画※の策定	平成 23 年 4 月に計画を策定（緑化対称面積：7,040ha）		
	市街地空き空間を利用した植花等の推進	自治会、公共施設を対象として花苗を無償配布。（平成 26 年度約 95,000 本）	花苗の配布本数が年々増加し、生産体制の拡充が必要となってきています。	花いっぱい運動推進のため今後も継続して実施します。
	緑化推進活動	毎年度募金活動を実施し、平成 25 年度より町有林への植樹活動を開始しました。		毎年度募金活動を継続し植樹活動を行っていきます。

※網走川河川緑地整備計画：洪水・下水・土砂等の排除を主とする治水機能、農業用水、飲料水等の利水機能、都市の生活環境に密接な環境機能を利用して、人間と川（水）がふれあう親水機能、公園等の空間機能を持たせた網走川の河川敷地を利用した計画。（昭和 57 年策定）

※公園引当地活用計画：宅地開発の際環境保全や居住環境の向上を目的に公園・緑地等に当てる用地「公園引当地」を利活用していくための計画。

※ユニバーサルデザイン：能力や障がいのレベルにかかわらず、すべての人々が利用しやすいデザイン。

※緑化推進計画：市街地およびその周辺における現存する緑を極力保全すること、また、失われた緑を積極的に回復・復元させることといった活動を進める計画。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 木の公園（丸太公園）

☺ なかまち南公園（近所に公園のゴミを拾う人がいる）

☺ せせらぎ公園

☺ 柏が丘公園

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 大きな公園（中標津の公園のような）

☺ 大きな公園（トランポリンなどがある）

☺ 噴水のある公園

☺ 公園が多い

✪ 草の生えた広場のような場所をつくってほしい

✪ もう少し楽しい公園があってもいいと思います

✪ 公園をもう少しきれいにしてほしい

⚐ 公園がない。子供を遊ばせられない。北見の若松の公園（北見ファミリーランド）や網走のゲームセンターなどに連れて行く。

⚐ 中標津や北見にあるような公園があるといい。

❀ 公園に噴水や水遊びができる場所があるが、水が出ていたかったり、汚かったりする（せせらぎ公園、あおやま公園など）。その年の気候によるが、今年のような暑い時期が早く来た時は、噴水は６月頃から水を出してほしい。（あおやま公園の噴水は６月から水が出ると嬉しい。）

- 小さな子どもが乗れるような、囲いのあるブランコがあると良い。
- もとまち公園にはブランコが 2 つ設置できるようになっているが、1 つしかなく、古い。コンクリートでできたゾウの滑り台も古く、砂場も利用できるような状況になっていない。昼寝しない時など、（学校は日中連れて行けないので）に近くの公園に散歩に出かけても、遊具がこのような状況なので利用できない。町外の公園だと、北見市の香りゃんせ公園や温根湯つつじ公園などに行く。
- 公園のトイレが汚く、利用をためらう。

- 美幌駅駐車場と西土場の公園化計画。（男性・70 代以上）
- 公園の整備。（女性・40 代）
- 美幌町には、町外から来た人に「ここいいよ！」とすすめられる場所がない。みどりの村も昔のままで、仲町、東町の公園の噴水は無意味！！遊びに出かけるのは町外ばかり…苦笑。（紋別、中標津、旭川の公園のように、大人も子供も楽しめるようにするのはどうですか？？）（女性・10～20 代）
- 雨の日や冬に子供を遊ばせる所がない。北見の木のプラザや中標津の公園のような屋内で遊べる所があるといい。（女性・10～20 代）
- せっかく緑が多い町なので、郊外に子供達が無料で遊べる（室内外でも）、中標津町にある夢の森のような施設があると最高だと思います。孫が来た時、 1 日いっぱい自由に遊べる空間が欲しいです。（女性・60 代）
- 公園などの施設を充実してほしい。（アスレチック、中標津や紋別などの道立の公園みたいな、老人でも小さな子供でも町民が集まることのできる公園。）（女性・40 代）
- 子供の遊べる所が少ないので、休みの日には北見や網走など、別の市町村に出かけて遊んでいる。もっと、公園（きれいで、設備の整った）など、子供が休日集まるような場所を作ってほしい。町外から、人も訪れるような場所。（女性・30 代）
- 誰もが自由に憩える公園があればと思います。（女性・60 代）
- 中標津の夢の森公園のような施設を作ってほしい！（男性・40 代）
- 美幌町に住んで 40 年以上たちますが、町の中の公園の整備が進んでなく、町はずれのみどりの村、温泉、今にしてパークゴルフ場も全部町はずれ。これからの高齢の時代、若い人達、子供連れ、高齢者たちのいこいの場となる公園を、歩いて行ける場所に。人の集まる、見せる所をぜひ。（60 代）
- 公園の遊具の少なさ…ブランコすらない？（女性・30 代）
- 公園の遊具が老朽化してきて、危ないと感じる時がある。（女性・30 代）
- せせらぎ公園は、夏、冬を問わず、朝は明るくなりはじめた頃から夕方は暗くなるまで、町民が各々の病後の健康回復のため、あるいは健康づくり、また小さなお子さんとお母さん等が歩いたり、走ったり頑張っているのを目にします。この舗装されている道路の終点まで桜が植えてありますが、この数年、立ち枯れが目立っております。今年も数本枯れたままとなっております、また、伐根（1 メートルくらい）を残したもの（腐朽菌？小さなキノコ？がいっぱい付いている）もあります。（左側の階段の上の桜も同様です。）今年もこれらの横に新植されておりますが、今後の成長が心配です。一度樹木医（鈴木順策さん）等の診断を受けてはいかがでしょうか。市街地の中心部（歩いて行ける）に針・広葉樹の天然の大樹があり、すばらしい森だと思います。更に多くの町民の健康づくりの森として育ててほしいと思います。（男性・70 代以上）
- 公園が沢山あるのは嬉しいが、ごみ箱がないので公園がごみだらけ。ごみ箱を設置して欲しい。（女性・10～20 代）
- 公園について。桜の木が枯れている所があり、家庭に桜の木の提供を願う事はどうでしょう。私の所にも 1 本あります。（高さ 2 m位）（女性・60 代）

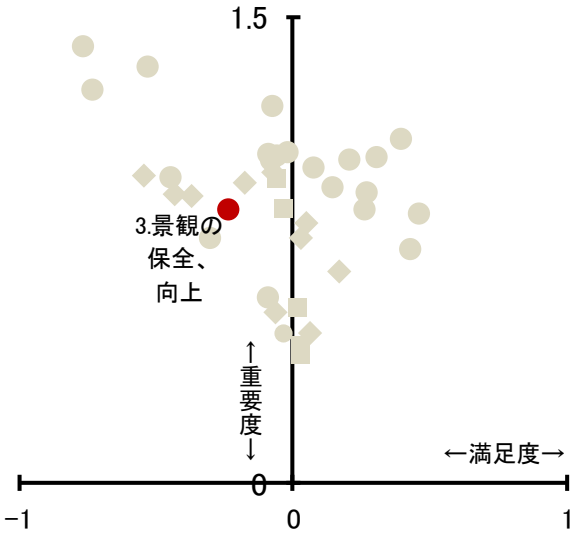
- ● 公園の草刈りについて、タンポポの種が白くなる一歩手前に行ってほしいです。近辺の草取りが大変です。（女性・60 代）
- ○ 総合的な町民憩の公園整備。現在のリクレーション施設は、キャンプ場、温泉等郊外に点在しているため関連性がなく利用しづらい。
- ○ 子どもと安全に遊べる公園。遊具が壊れていたりごみだらけだったりする。いろいろな場所にあったら行きやすい。
- ○ 他町で口コミで広がるような公園。他町の幼稚園・保育園が遠足で来ることができるような公園を。親子で外遊びができる場所がないと聞くことがあるので。
- ○ オールシーズン利用できる公園。駐車場があり室内で遊べる場所。
- ○ 美幌町は自然も多く、国道が４本も通っていて、町外から訪れるには交通の便も非常に良い町なので、広い面積で、町外からも町内からも何度も利用したいと思えるような公園を作りたい。都会では空気も悪く、子どもを安易に外で遊ばせたりできないが、美幌町は空気もきれいで、安心・安全に外で遊ばせることができる。大きな池を作って、ボートを乗れるようにする等魅力ある公園の新設を希望する。
- ○ 現在、長寿命化計画において、現存する施設の継続利用を検討していると思いますが、町内にひとつくらい、大規模で、差別化された公園があっても良いかと思う。（いなみ北公園を、改修や機能性アップしても良いかと思う）
- ○ 子どもから大人まで楽しめる公園をつくることで年代を問わず交流できる場を増やす。
- ○ 街区公園を自治会の管理とし、その管理を条件に冬期の雪捨て場として利用を許可する。無造作に雪を捨て遊具やフェンス等の施設を壊してしまうケースが多いため、清掃や草刈りを行うことで公園を大事にしてもらう事を目的とする
- ○ 都市公園の遊具の老朽化が目立ってきている。住民の交流の場として、時代に求められる公園機能の充実を行う。
- ○ ドッグラン＆ペットサービス。ペット連れで楽しめる施設がほしい。地方からペット連れの観光客が集まり活気づく。
- ○ ドッグラン（キャットラン）。河川敷やせせらぎ公園、街中で、犬を散歩している人が多く見かけ、高齢者など独居の人にとっては家族のように飼っている人が多く、今後も増えていくことは容易に想像できることから、使用されていない公共施設の敷地や公園の一部などで、大小問わず除々に作る必要がある。キャットランも将来に向けて検討する必要がある。車がある人は、グリーンビレッジ横の滅多に使用されない敷地の一部はどうか。

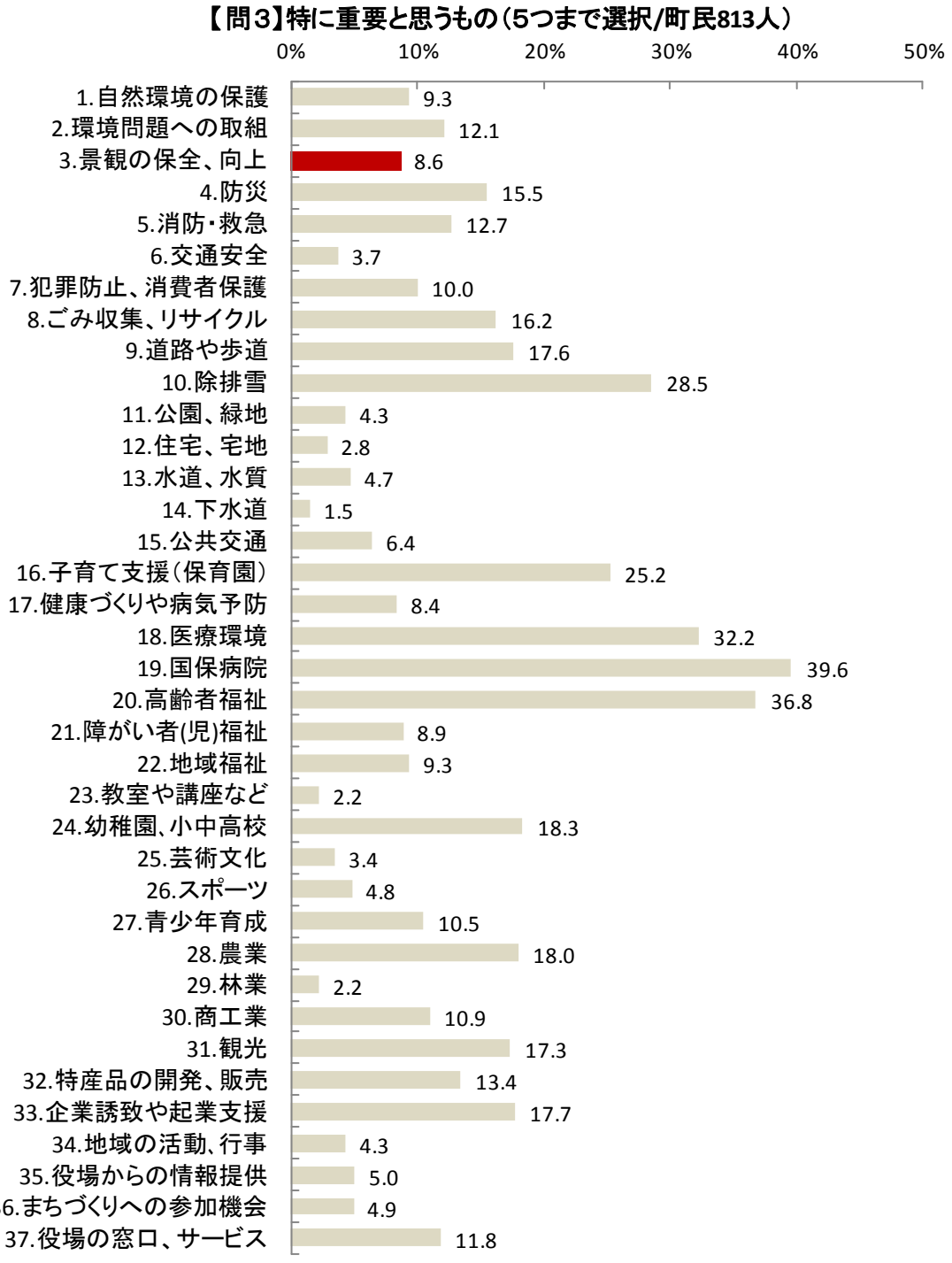
40 都市景観

（１）関連グラフなど

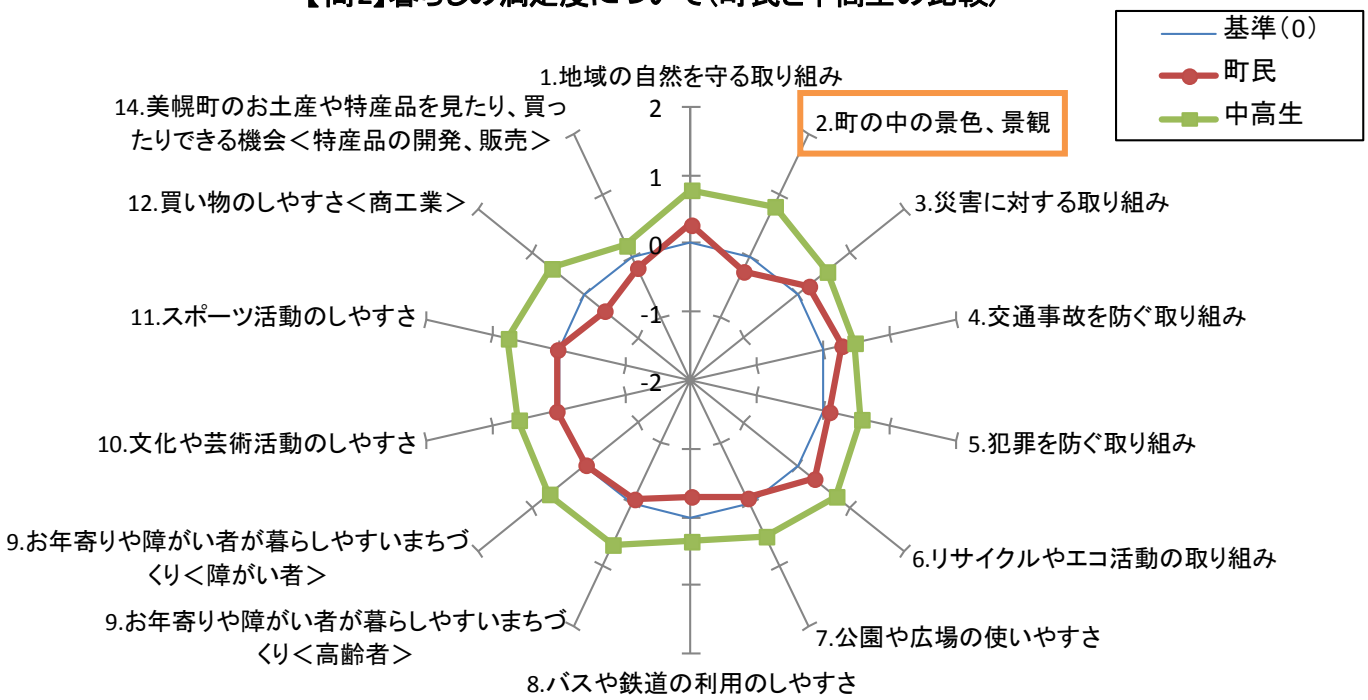
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
市街地の再整備	景観等調和した街並みの整備	熟度を高めることが必要であり、中心市街地活性化基本計画※の実施が見送られている。	計画の実施に向け再度の検討が必要。	再検討を要する

※中心市街地活性化基本計画：市街地の整備改善と商業の活性化などを一体的に推進し、中心部と郊外部がバランスよく発展することを目的につくられた計画。（平成 16 年策定）

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

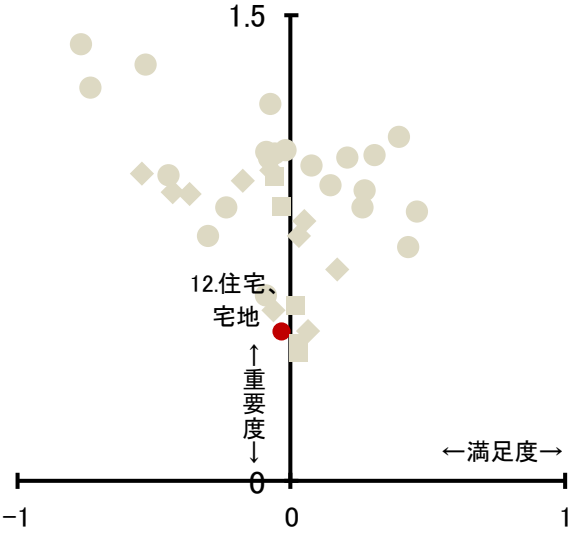
- ● 大きな通りの花は２～３種類に統一した方がいい。また、グリービレッジのイルミネーションはやめて、街中の樹木などに（イルミネーション）するといいと思う。（女性・40 代）
- ● 国道沿いを、おしゃれできれいな道路沿いに…。（女性・60 代）
- ● 町内の街路樹は、枝葉がバッサリ切断され、景観を無視した管理で非常に残念である。町民憲章である”みどり豊かなまちづくり”とは程遠い。住んでいるのがはずかしい。（男性・70 代以上）
- ● 町並みが汚い。人が住んでない家や老朽化した建築物など計画のなさが目につく。（男性・10～20 代）
- ○ まちなみ景観のグランドデザイン。現在実施しているリフォーム補助事業に、街並みに応じて屋根の色を統一するなどの景観に関する条件を設け、場当たり的ではなくグランドデザインに基づいたハード部面のまちづくりを進めていくと、数十年後にはヨーロッパのように街並み自体が観光資源になると思います。

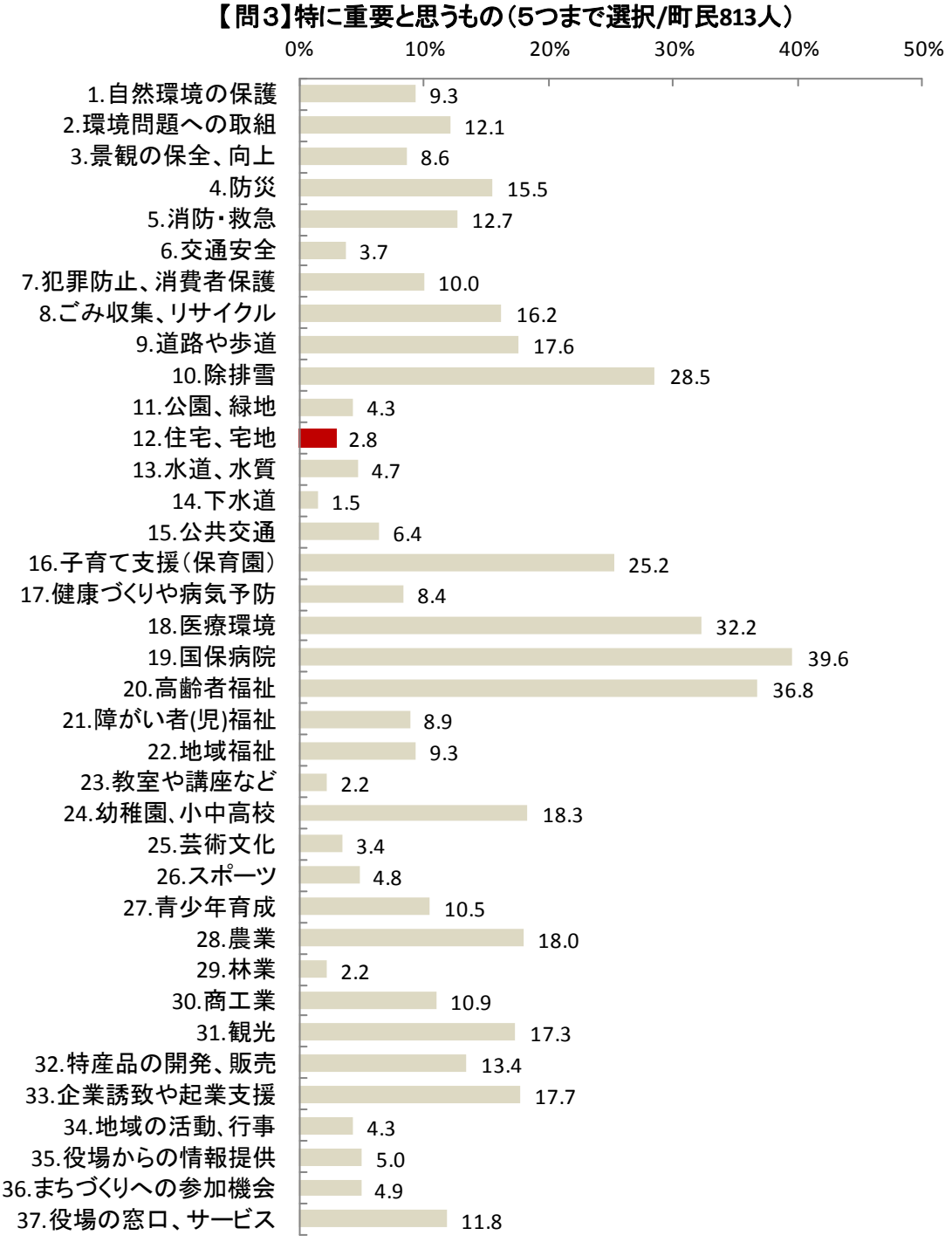
41　住宅、宅地

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
公営住宅の整備	住生活基本計画の推進	諸課題等の整理を実施	今後の人口減少に伴う計画の方向性	今年度策定される[第 6 期総合計画を基に、平成 28 年度において中間見直し計画を策定予定
	公営住宅等長寿命化計画による維持管理	諸課題等の整理を実施	建設から 30 年近く経過した公住は、給排水管等・外壁等の劣化も進んでおり、大規模な改修が必要となってきている。改修をする場合、入居者の一時的な住居の確保が課題。	優先順位を決め、老朽化した公住の機能向上に向けての検討
民間の住宅､宅地整備の促進	住生活基本計画の推進	諸課題等の整理を実施	今後の人口減少に伴う計画の方向性	今年度策定される[第 6 期総合計画を基に、平成 28 年度において中間見直し計画を策定予定
	民間が行う融資制度による住宅整備促進	民間が実施している融資制度は民間の力で啓蒙できていることから、町の取り組みの必要性が低く、融資制度のＰＲによる民間住宅の促進は実施していない。	経済が低迷する中、融資制度による住宅整備の促進は困難である。	融資制度の啓蒙・啓発活動は民間で実施していることから、町の介入する必要性は低い。
	ユニバーサルデザイン※の推進	公共施設ではユニバーサルデザインに配慮しており、広く町民に触れる機会を提供している。	ユニバーサルデザインの推進には、住棟配置や住まいの間取りの決定から、内装・建具・住宅設機器の選択まで、トータルにプランニングしなければならないことからコスト高となる。	住宅建築時には入居者に応じた設計としていることから、バリアフリー住宅が浸透している。
	住宅リフォーム助成事業の検討	平成 23 年度の過去 3 カ年で 452 件の補助実績で、平成 26 年度においても 142 件の要望があり、住民要望に応えるため補正予算で対応している。	平成 29 年度以降の制度の在り方と需要の掘り起こしが課題となっている。	平成 27 年度･28 年度の 2 カ年で、リフォームを希望する方の全てを実施する。
北国の気候風土に適した住環境の整備	北海道が進める北方型住宅※の啓蒙、啓発	北海道が発行するポスターの掲示等	省エネ性能の向上に伴い建築コストの増	北海道が主体となって、技術者向けのセミナー等を開催していることから町での啓蒙・啓発の必要は低い。

※ユニバーサルデザイン：能力や障がいのレベルにかかわらず、すべての人々が利用しやすいデザイン。

※北方型住宅：少子高齢社会や環境問題など社会的変化に対応するため、耐久性、維持管理の容易さ、ユニバーサルデザイン、省エネ、雪処理等に配慮した住宅。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 南団地でもペットが飼える

<公営住宅>

- 公営住宅で犬を飼っている人が多いです。もう少しピリっとお願いします。（女性・50 代）
- １人住まいでも広い公住があると良い。ペットといっしょに住める公住があるといい。広めの平屋がいい。年齢がいくと階段は大変（エレベーターが付いているといい）。（女性・60 代）
- ひとり親、お年寄りなどが優先して入れる住宅などをもっと増やしてほしい。（女性・30 代）
- 街中に（高齢者向けの）団地を造り、高齢者の管理をしやすくし、コンパクトな街造りで経費を削減する。（男性・50 代）
- 借上住宅に住んでいるが、あと 10 年程で今の家賃では住めなくなる。収入も少ない為生活が不安。同じくらいの家賃で住める住宅（公住）を役場の方で世話して頂けると大変助かる。（女性・50 代）

○ 現在管理している町営住宅 795 戸は人口減少により多すぎるようになってきます。経年劣化激しく、コストもかかっています。古い団地を用途廃止し戸数を減らす。または、町営住宅自体を廃止し、民間借家に入居している方に家賃補助という形で援助する。民間オーナーは空室減、町は修繕費の減。双方にメリット有る。

<空き家>

- 空き家が多くなってきている。人口が増えるように、若い人が住みやすい街づくりをして下さい。若い人が損をしない魅力のある街にして下さい。高齢者が増えてきているので、若い人にも目をむけて、（収入の多い）高齢者よりも、少し損をしても若い人を大切にする街に。（女性・60 代）
- 古い空き家が多く、景観が損なわれる。（女性・30 代）
- 空き家対策。衛生面、美観のためにも。（女性・50 代）
- 空き家の処理。解体費用がなかった場合、町が所有者と話し合い解体を進める。（土地を使わせてもらうとか、売るとか。）（女性・50 代）
- 古い空き家対策を。景観も悪いので、町で助成し解体を促しては。程度の良い空き家は、移住希望者向けのバンク化など。（男性・40 代）
- 空き家が多く、そのままになっています。固定資産税の問題があると聞いていますが、これからどうなるのか…色々ありますね。自分の問題として考えています。（女性・60 代）
- 町の中の空き家、空き地の草刈り等の整理。（男性・70 代以上）
- 空き家を整理する事。他の市町村ではやっている。（女性・60 代）

○ リノベーションによる空き家の活用。少子高齢化により町の人口も減少の一途をたどっているが、これに伴い市街地での空き家も目につくようになっていると感じます。家を持ちたいと思いつつも新築には手を出せないと考える人も多いのではないでしょうか。個人で中古物件を購入してリノベーションを行うだけでなく、不動産会社が空き家を安く購入してリノベーションを行い、それを個人に販売したり、賃貸物件として活用したりすること

も可能ではないでしょうか。空き家の増加は、防犯上においても問題になるものと考えられます。空き家情報を把握し、それらをいかにして活用していくか。そのための手法としてリノベーションを推奨する施策を行ってはどうでしょうか。

- ○ 空き家対策が進まない原因のひとつに固定資産税の負担増があることから、長期間空き家になっている場合、小規模宅地の固定資産税の軽減措置を適用除外とすることで、空き家の利活用や解体撤去を誘導し、都市景観も改善できないか。
- ○ U ターン、I ターンを推進する上で、着火剤にも燃料にもなり得るのが、空き家である。人口減少の進む町には少なからず空き家があるように思う（実態は知らない）。短期の旅行に伴う宿泊、中長期のお試し的滞在から、移住を決意してからの住居までなんでもあり！

＜その他＞

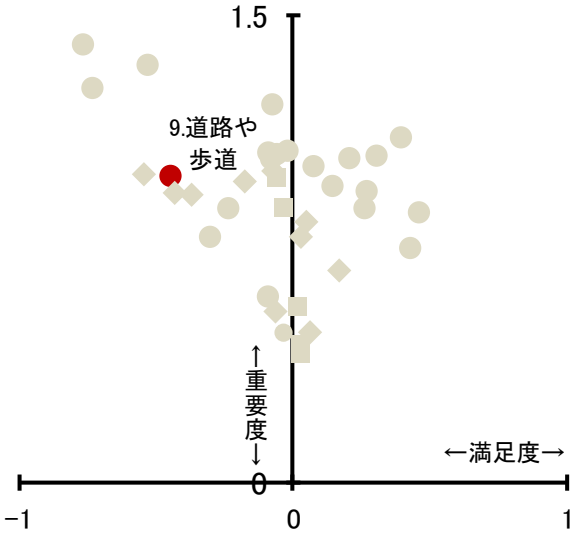
- ● 以前あった商工団地の様に、何棟（軒）か町の方で建て、住民の方に売る（建売）。その様式で、頭金は少なくて家を建てられないけれど、月々のローンの返済は出来るという人達は居ると思います。（固定資産税等も町に入るので）提案します。（女性・50 代）
- ○ 美幌町の借家賃は北見市と同じか高いぐらいなので、定住してもらうための助成が必要、又、新築助成の思い切った充実も必要

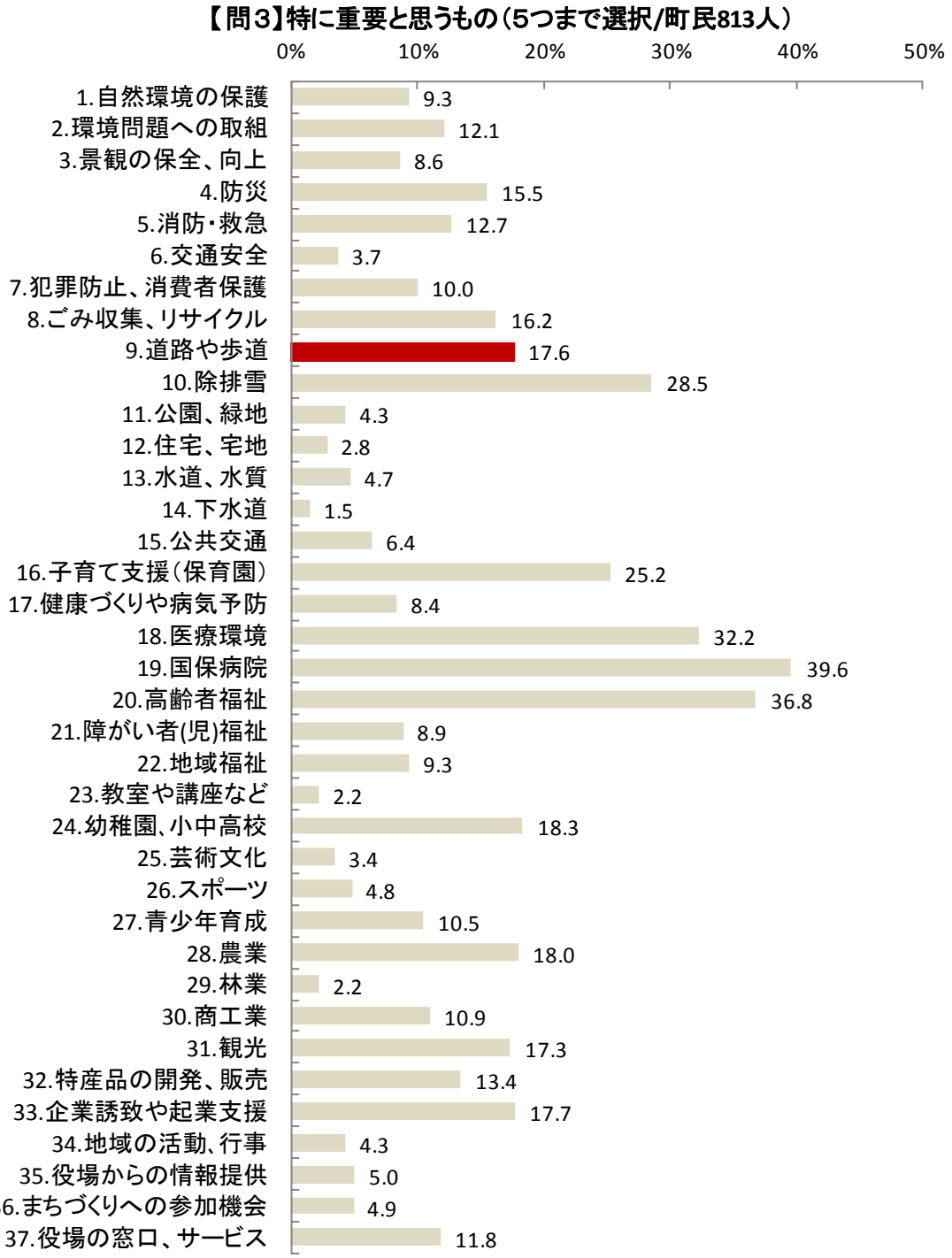
42 道路網

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国道、道道の整備	高規格幹線道路※の整備促進（北海道横断道路） 地域高規格道路※の整備促進（道東縦貫道路）	第５期計画の推進により要望活動を継続しておこなっている。	要望を行っているが計画路線への認定や早期事業着手が見送られてきている。	第６期計画に向けて計画を策定予定
	道道嘉多山美幌線改良整備促進	嘉多山線の整備一部を残して完了	用地地権者の相続問題	相続問題整理つけば事業完了
	道道北見端野美幌線の歩道整備	４基線交点まで事業進捗	地権者の承諾	平成 28 年度事業完了予定
	道道北見端野美幌線整備事業	豊岡地区整備･瑞治地区整備	地権者の承諾	道の予算確保
	美幌中央幹線道路※の道道昇格	花見橋整備終了	都市計画街路上や用地買収困難が予想される	町道への降格希望路線のため縮小を検討
町道の整備	「美幌町中心市街地活性化基本計画」※との連携	連携ししすめる。	再整備などの課題	財源の課題により困難
	「町道整備計画（中期的計画）」の策定	町道整備計画の推進により事業が進捗	補助・財源の確保	継続した補助要望、財源の確保が必要
	重点的計画「生活道路再整備計画」の策定	未策定	未策定	未策定
	町道の整備、補修（第６号道路、美里道路、第 121 号道路の整備、131 号道路外３改良舗装、駒生川改修計画による第 10 号道路の移設）、「橋梁長寿命化計画」の策定	補助事業等を活用し第 121 号、第 131 号道路外３路線の整備､駒生川改修計画に関連し第 10 号道路の移設、橋梁長寿命化計画の策定を完了。第６号､美里道路は関連機関と整備手法を検討。	新設改良、補修に先立ち道路ストック総点検の実施が補助採択の上で必須となっており、併せて交通量等の現況調査が必要。 路面の陥没、街路灯腐食よる倒壊、コンクリート構造物の経年劣化、街路樹の繁茂、老木化等道路附帯施設の更新の必要性が増大している。	道路ストック総点検を実施し、補修・改築路線の優先順位を決め補助・単独両面から計画的に実施し事後対応型から予防保全型の管理へ移行する
	歩道の整備（113 号道路の歩道整備、美幌町中心市街地活性化基本計画による新町３丁目通（第 112 号道路・第 509 号道路）の歩道整備）	第 113 号道路歩道整備を完了。第 112 号道路・第 509 号道路の基礎調査を実施	新町３丁目については道々北見端野美幌線の整備に併せて実施するのが最善	道々北見端野美幌線のＪＲ踏切に関する整理が必須
	ユニバーサルデザインの推進	未実施	上記と同様の理由により未実施。バリアフリー法に基づく計画を策定する事で補助事業の活用可能性が広がる	駅、病院、官公庁施設を結ぶ道路において実施を検討

	美幌町中心市街地活性化基本計画による電線地中化計画等の検討	未実施	国道、道々の道路管理者との協議が必要	担当部署との連携が必要
	主要道路における安全確保対策の推進	第 2 号道路歩道修繕、第 9 号、19 号、24 号、30 号、127 号道路路面補修、大規模修繕等を実施		継続した取組が必要

※高規格幹線道路・地域高規格道路・北海道横断道路・道東縦貫道路・美幌中央幹線道路：道路の位置づけの中では、骨格的道路を「高規格幹線道路」（その内に北海道横断道路を含む）とし、整備している。その高規格幹線道路間を結ぶ高規格道路を「地域高規格道路」と位置づけている。その中で美幌・標茶間を「道東縦貫道路」、また、「美幌バイパス」や「北見道路」は、将来の「北海道横断道路」として整備している。本町ではこうした高速交通道路ネットワークへのアクセスのため、桜通を「美幌中央幹線道路」として位置づけ、整備を計画している。

※中心市街地活性化基本計画：市街地の整備改善と商業の活性化などを一体的に推進し、中心部と郊外部がバランスよく発展することを目的につくられた計画。（平成 16 年策定）

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　㊋：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 歩道のでこぼこがない町

☺ 歩道が広くなっているといい

✪ 道の整備

✪ 舗装道路を増やしたらいい

✪ しらかば坂を舗装してほしい

✪ 道路で危ない箇所があったらすぐになおした方がいいと思う

✪ 道路をきれいにしてほしい

✪ 歩道を広くしてほしい

⚐ 通学路の幅が狭いところがある。運転していて気になる。

- 大正橋は、老朽化により危険な、また幅員の狭さなど安全に通行しにくい現状があること、街から橋に向かう道路については、冬期間日影による凍結路面となり非常に危険なため、長寿命化のみならずパークゴルフ施設との関連性や北見端野美幌線の交通量増加などとの関連性も考慮して、上流部に架け替え、安全安心に通行できる橋とすることも検討すべき。老朽化による危険度の増大と幅員狭小に加え、橋へのアプローチ道路が急曲線形であり、冬の路面凍結は危険性を増大させている。現橋梁の耐震補強のみならず、パークゴルフ施設整備及び北見端野美幌線の交通量との関連性を考慮し、上流部への架け替え計画を樹立し、安全安心な交通網とすべきである。
- 町道網の整備は、補修、改修のみならず道路構造令に合致した改築とし、同時に必要路線の歩道整備の充実を図るべきである。交通社会の安全安心な”道づくり”は基盤からの改築が最も経済的である。
- 駅前道々新町大通 6 差路の改良。新町 3 丁目通りの整備促進。国道３９号と駅前広場のアクセスの改善。（男性・70 代以上）
- 東雲通り、コープ付近、青山公園つぎの交差点の五差路がドライバーには迷いやすい（わかりづらい）と、よく耳にします。（女性・30 代）
- 歩道をキレイにしてほしいです。（女性・10～20 代）

- 道路の整備、特に裏道。（男性・70 代以上）
- 道路幅が狭く、交差点がＴの字の所が多く、危険を感じる。（男性・70 代以上）
- 美幌町は国道が３つも交差しているのに、それらを繋ぐ主要な幹線道路が整備されておらず、住宅街等の片側一車線の道路に交通量が集中しており、なかなか右折や横断が出来ず、大変不便で危険です。また、美幌峠も道の駅付近で、道の駅に入ろうとする右折車のため、渋滞が起きることが多いのですが、右折車線をつくることは出来ませんか？元旦の日の出や行楽シーズンなど、せっかく美幌峠を訪れる人達が、快適に美幌の「道の駅」を利用出来る様に改善して頂きたいです。また、通り過ぎるだけの方々も、いつも渋滞していると違うルートを通る様になり、美幌の良さを分かってもらう機会が減ってしまうと思います。（女性・40 代）
- 道路が非常に悪い。一番先にする事でないか。（女性・60 代）
- 高速道路！！早く女満別空港と北見を繋いで下さい！！（女性・40 代）
- 北見～網走間の高速道路計画は進んでいますか？（男性・40 代）

○ 大正橋は道幅が狭く事故もあり危険。みどり橋も子どもが歩くのには暗く危ない。

○ もっと歩道を整備することで、歩行者の安全の確保が必要だと思う。

＜修繕、段差解消＞

✪ 道路や歩道のデコボコをなくしてほしい

🏂 道路（車道）にでこぼこがある。

❁ カートや三輪車で子どもと道路を利用するが､道路(歩道)に段差があるので利用しづらい。お年寄りの方なども利用しにくいと思う。

- 道路が波打っていて、キケンな町だと思う。（女性・30 代）
- 生活道路の修繕が未整備。（男性・50 代）
- 歩道の段差がけっこう多かったり幅がせまかったり、ベビーカーや高齢者にとっては歩きづらい箇所がけっこうあると思う。（女性・30 代）
- 図書館周辺等、ベビーカーで歩きづらい所が沢山あります。（女性・10～20 代）
- 車いすを利用している方が安心して外出できるように、道路と歩道の段差をなくしてあげてほしい。（女性・30 代）
- 道路がひどすぎる。穴と段差が多すぎる。交通安全の意識が高いのに整備が追いついていない。誰も歩かない歩道ばかり整備している。大正橋は、毎年事故が多発しているのに改善していない。（大正橋のカーブ、自衛隊に向う坂道）（男性・30 代）
- いたる所で道路がガタガタ。車が通行しにくい。整備してほしい。（男性・10～20 代）
- 道路を改善して欲しい（デコボコがひどすぎる）。大正橋の道幅をもっと広くして欲しい（トラックが来たら通れない）。（女性・30 代）

＜雑草、草刈り＞

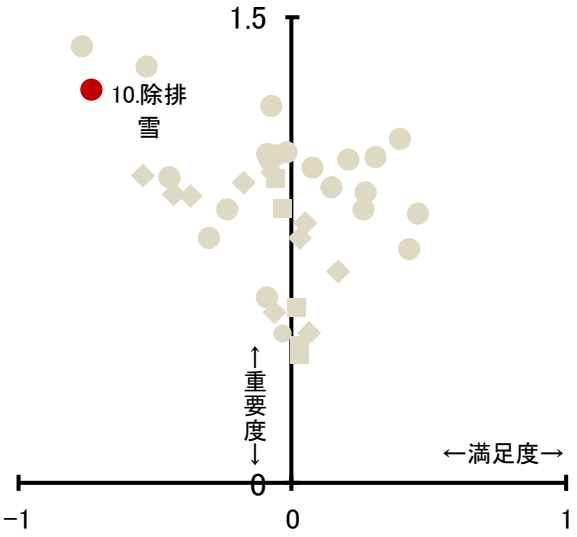
- 美幌町字日の出（栄通り）から新橋を経由し峠の湯前の国道を散歩しているが、歩道上に雑草が生い茂っており見苦しい。放置せずに刈り取って欲しい。（男性・60 代）
- 津別方面への道と豊岡から端野への道の道路沿いの景観について、雑草が目立つ。清里町は素晴らしい景観でした。
- 道路脇の草を刈るなら、種子が実る前に刈ってほしい。種子が飛んで、家の周りによく生えて困る。また、白樺の木は植えないでほしい。白樺花粉がつらい。（女性・70 代以上）
- 国道に植林された白樺が、農作業の妨げになったりしています。アレルギーの人のためにも伐採してほしい。電線の心配もあります。（女性・40 代）
- 道路の草刈がおそい。（女性・50 代）

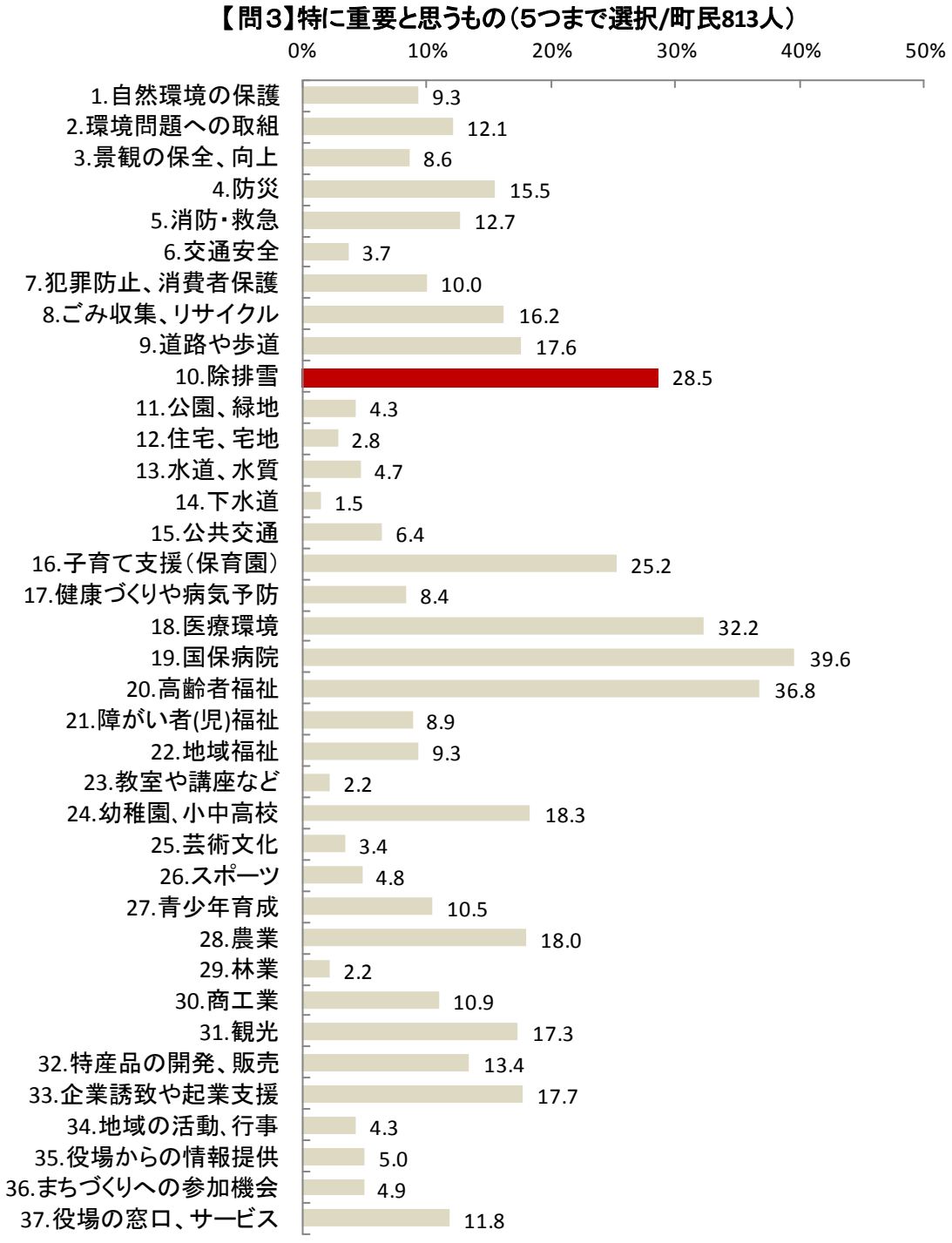
43 除排雪

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
除雪体制の充実	生活時間帯を考慮した除雪計画と除雪体制の整備	除雪開始時間を３時から０時に変更することにより、市街地だけであるが、除雪順番が最後となる区域の除雪終了時間を６まで終わらせにすることができた。 タイヤショベル１台にシャッター付可変プラウを購入して置き雪きの状況を見たところ、大雪ではない通常の除雪であれば置き雪が軽減された。	雪が降り続く場合は０時に出動できない。深夜除雪はうるさいと苦情が入ることもあるが、全体的には除雪が遅いとの苦情は少なくなっている。シャッター付プラウの置き雪軽減の効果は、道路脇の空きスペースの状況により左右される。	今後も除雪開始時間を０時を基本に作業を行う。市街地のほとんどの地区が民間委託している地区である。そのタイヤショベルにシャッター付プラウを設置できないのであれば、役場の残りの直営タイヤショベル２台への設置については見合わせることとなる。
	路面・歩道整備および脱スパイク対策による冬道安全確保	滑り止め用の砂からビリ砂利に変更。砂まき機の更新時にビリ砂利がきれいに散布できるものに更新。また、ビリ砂利を保管する倉庫も整備。	春に散布したビリ砂利を回収するが、再利用できないものか。	ビリ砂利はスタッドレスタイヤの制動に効果があるので継続していきたい。
	除雪情報の提供	除雪路線に青空駐車があり除雪ができない場所がある。決まった場所に同じ車が停まっている事が多く、回覧板、注意ビラ貼りにより除雪の邪魔になる旨周知し軽減された。	注意を促しても移動しない車両は、美幌警察署と連携し取り締まりをお願いしており、更に軽減されているが、晴れの日が続くと青空駐車をする車が出てくる。	青空駐車は無くならないので、注意喚起をし続ける。
	ロードヒーティングに代わる低コスト融雪施設の検討	新しい融雪施設は見つからないが、滑り止めの焼き砂からビリ砂利に変更し効果を得ている。	町内２箇所の車道にロードヒーティングが設置されているが、電気代が高い。	新たな融雪施設の開発は期待できない。
	間口置き雪対策の実証実験の実施	実証実験が終了しある程度の効果が見られた。	置き雪間口除雪の対応であるが、敷地内の排雪要望も多い。	高齢者を対象に間口置き雪対策を継続する。
除雪活動の促進	たすけあいチームによる除雪活動の継続支援（担い手確保）	平成 21～25 年度にかけて家庭用除雪機 17 台を購入し自治会やたすけあいチーム 13 団体へ貸与。たすけあいチームによる除雪が困難な場合はみどり就労センターへ委託。	ボランティアの高齢化による担い手不足や原油価格高騰により除雪機の燃料代が増加している。	現行の 17 台の家庭用除雪機の適正な利活用。たすけあいチームが困難な場合はみどり就労センターへ委託。対象世帯への除雪費（定額）の助成の検討
	たすけあいチームの設立支援	社会福祉協議会を中心に自治会単位で組織されており、地域福祉活動補助金として年額 60 万円を助成。	ボランティアの高齢化による担い手不足のため、現行の活動の縮小が懸念されている。	ボランティアの募集と未設置自治会へのたすけあいチーム設立の働きかけ

	住民参加による除雪体制の確立	農村部の一部の町道（バス路線、集乳路線、幹線道路）を、地元農家でチームを作りトラクター等で除雪を行う（出動した際重機借上げ料を支払い）。チームは現在７地区となった。	これから除雪ダンプが入る予定の地区でも、除雪をしたがる地区がある。また、自宅前の除雪で降雪量が少なくても除雪の報告がある地区がある。調整が大変である。トラクター除雪は簡易的な除雪で、後から除雪ダンプが入り除雪しているが、トラクターが道路脇に雪を積むのでダンプ除雪で雪を飛ばせられなくて苦労している。	効果の高い路線を選び、希望するチームにまかせたい。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

✪ 私道のところも除雪してほしい

❀ 冬に、除雪した雪が道路の角にあり、子どもの飛び出しなどが見えないのではと心配。

⌘ 除雪の対応は町内会によって違う。

- 除雪を公平（道路をはさんで片側だけ積まれるので）にしてほしいです。（女性・50 代）
- 冬期、道路除雪で大量に集まった雪の出入口付近の除排雪。（女性・60 代）
- 三橋南公園の柵を、毎年、委託業者の除雪の車が壊していきます。それを自治会の役員をやっている人がすぐそばなのに、何も文句を言えません。役場が委託業者に話をつけてもらうしか無いと思います。（男性・70 代以上）
- 除雪の後の処理を何とかしてほしい。道路を開くことが重要なのはわかるけれど、その後の負担が大きすぎる。（女性・40 代）
- 除雪をもっときれいにして欲しい。（女性・60 代）
- 除雪が下手すぎる。交差点に山積みになっている。開発局はうまいが、町道は下手。（男性・30 代）
- 排雪作業及び除雪作業をしっかり行ってもらいたい！（男性・40 代）
- 冬の除雪、排雪。不公平なことのないように。片方にばかり雪を残していく。（女性・50 代）
- 農村部は冬の除雪が遅い！！雪がやんでから２日後に、２～３回も除雪に来ないでもいい。税金のムダだと思います。それだったら農家の人に農道の除雪を委託した方がいいと思います。町道民税を高額に払っているのに、すごく差別を受けていると思います。町の人が何でも優先されていると思います。美富３７～３９線の道路。（男性・10～20 代）
- 「オホーツク地方」は概ね半年、雪に覆われ、それは長く辛い日々です。各自治会単位の区分で適当な除雪ポケットを設置・指定するとともに、除雪担当員の指名協力支援制度を自治条例として検討して頂きたいと思います。豪雪を克服する、町民主体の自治体としての「一例」ですが、お願いします。歩道や交差点等では、実施されていると聞いていますが。（男性・70 代以上）

- 冬の除雪について！我家は角地にあり、道路から曲がって置いていかれる雪に毎冬大変です。仕事が朝早いため、車を出すのにも大変な時がある。今後、年老いてくのに、老夫婦２人で大変です。家のリフォームの助成金も良いが、除雪機の助成金も検討して欲しい！！良く「役場関係の家、知っている所には置いてかない」と聞くが、こういう事はやめて欲しいし、「電話をかけると良い」とも聞くが、どうなんでしょうか？（女性・50 代）

○ 美幌の道路除雪はすばらしい。今後は間口除雪対策の充実を。高齢者だけでなく若者世帯を含めて。

○ 一部農村地区において、数世帯のために延々と除雪を繰り返す状況で維持管理費をかけるのであれば、補助金を出してでも通い作を行ってもらいそのコスト低減を図る。その差益分について、不満の最も多い市街地の除雪に回し少しでも町民の満足度を上げたい。

○ 空き地を雪捨て場指定し、固定資産税の減免若しくは買取を行う。管理は町内会で行うのが良い

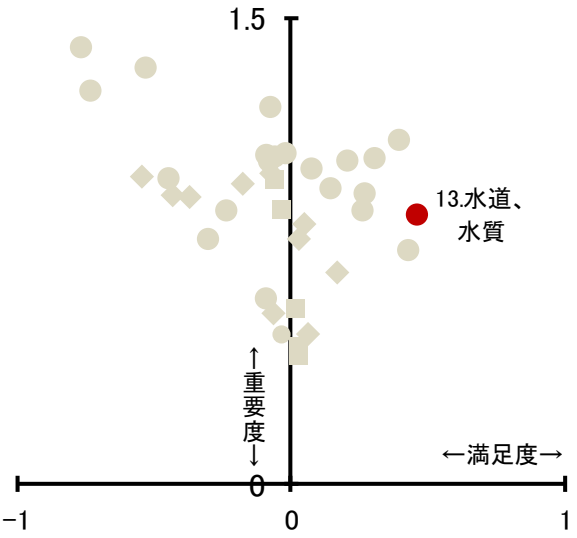
○ 住民満足度調査で除排雪充実に関する意見が多く見受けられました。自宅前の置き雪、道路脇の雪に関しての苦情が主です。これから高齢者が増えていく中、町民の死活問題となりかねますので、雪捨て場の確保や置き雪対策をしていかなければならないのではないでしょうか。

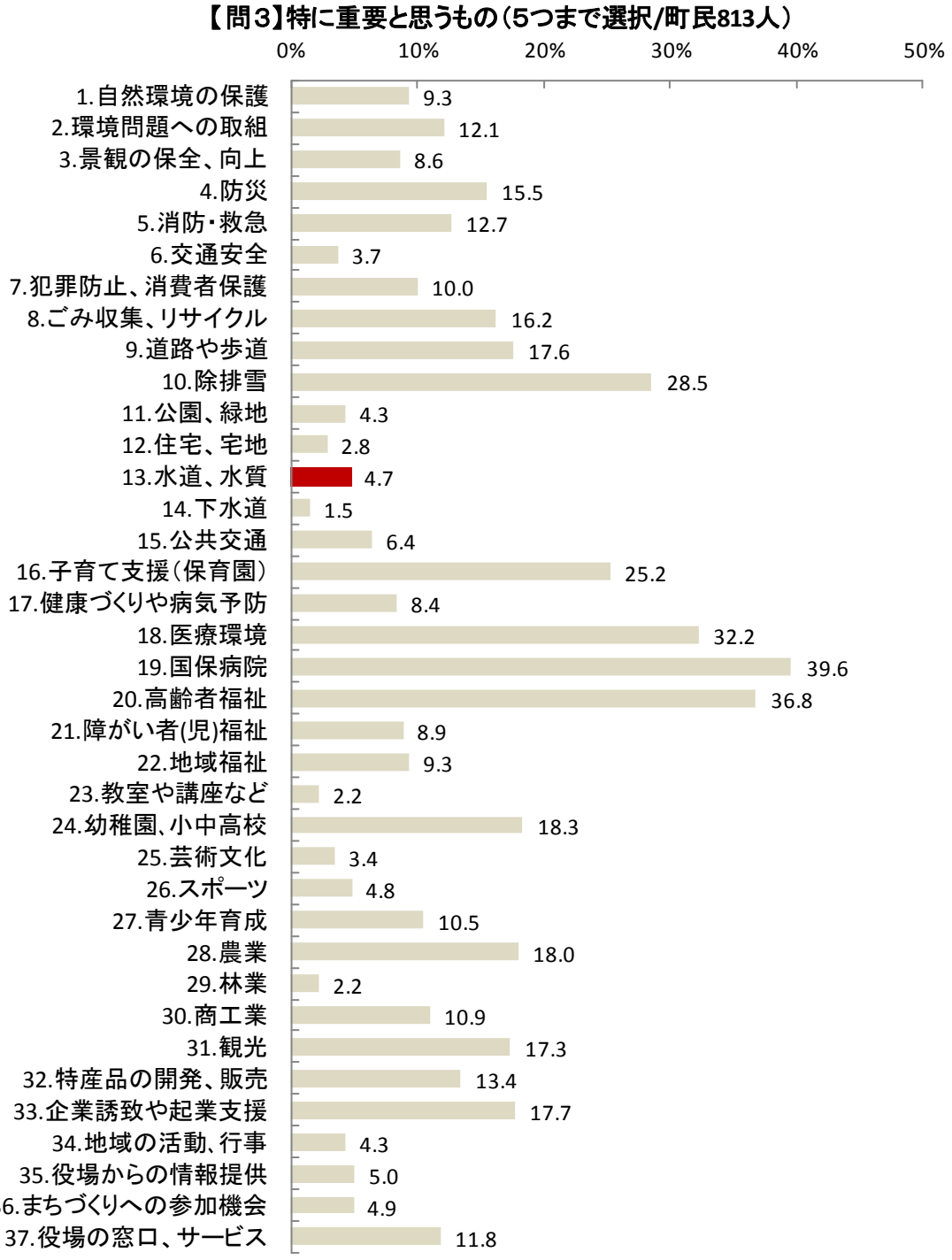
44　上水道

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
水資源の確保	河川の流量調査	安定した水道水源維持のため、定期的に流量調査を実施している。	冬期間の流量調査は困難である。	今後も継続的に流量調査を行う。
	水質監視装置の整備	毎週、定期的な見回り点検を実施している	部外者の無断侵入等施設の常時監視を行うことが出来ない。 監視機器操作のための電源確保及び整備費用が高い。	部外者の進入防止対策を行い、監視システムの導入手法を検討する。
	営農用水確保のための調査、研究 畑地かんがい用水確保のための水利再編の調査	国営事業により西幹線頭首工の水田用水利権を、畑地かんがい用の水利へ調査検討中。	水量不足により、水利再編でなければ新規水利権の取得が難しい。	調査検討し、事業化に向け地元農業者等の意見を聞きながら検討していく。
	水質保全のための水源涵養林※の維持管理	町有林として維持管理をしている。(耕地林務 G) 上流域の国有林の森林施業時に立会している。	近年、大雨や大雪、渇水など急激な気候変動が頻発し、原水水質が安定しない恐れがある。	水源涵養林の適切な管理により水質の保全がされる。
水道の整備	水道施設の更新	点検結果を基に更新等を行っている。 平成 26 年度に耐震基礎調査を実施する。	基礎調査をもとに行う耐震診断調査に多額の費用を要する。	優先順位を付けて耐震診断を行い更新計画を立てる。
	導水管､送水管､配水管の整備	老朽塩ビ管を更新中である。	法定耐用年数 40 年を経過した管路が増加する見込みである。	既設管路は布設年度、管種、埋設地盤を考慮し、計画的に更新する。また、新設管路には延命化対策を行う。
	水道普及率の向上促進	平成 25 年度末で普及率は 95.7%である。平成 24 年度より大口使用者特割制度を創設した。	人口減少等に伴い使用量が減少している。	地下水利用の大口使用者の水道転換を促進し、給水収益を確保する。
	営業に係る業務委託の推進	平成 19 年度から個人委託としている。	個人のため、バックアップ体制に課題がある。	委託業務の手法及び拡大を検討する。
	施設に係る管理委託の推進	平成 26 年度から民間委託へ移行した。	委託事業者の技術レベルの向上及び町職員による指導体制の確立。	委託業務の拡大を検討し、職員の管理監督体制と技術の蓄積を図る。
	水道未普及地域の解消	豊幌地区は平成 24 年度で事業完了。	水道施設整備には多額の費用を要し、受益者負担や水道料金への影響を伴う。	

※水源涵養林（すいげんかんようりん）：良質で安定した水源を確保するため、降水を保水、浄化する機能を有する森林。また、樹木の根は土壌の流失を防止する役割も果たしている。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

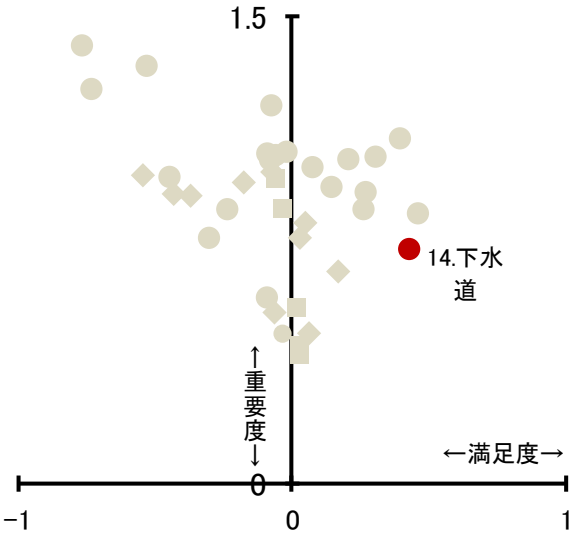
- きっと水がおいしいはずなのに、金気が強くてもったいないので、古い水道管の交換を急いでやったらいいと思う。じゃないと住人に逃げられるよ。（男性・40 代）
- 美幌町の飲料水について。水道水はあまり問題がなさそうですが、主に農家（農地）の地下水です。日中畠の草取りなどをされている農家の方はあまり見かけなくなりました。畠を見ても草はほとんどありません。けれど、除草剤や化学肥料などで地下水が汚染されていると思うのです。地下水の検査が必要と思います。（男性・70 代以上）

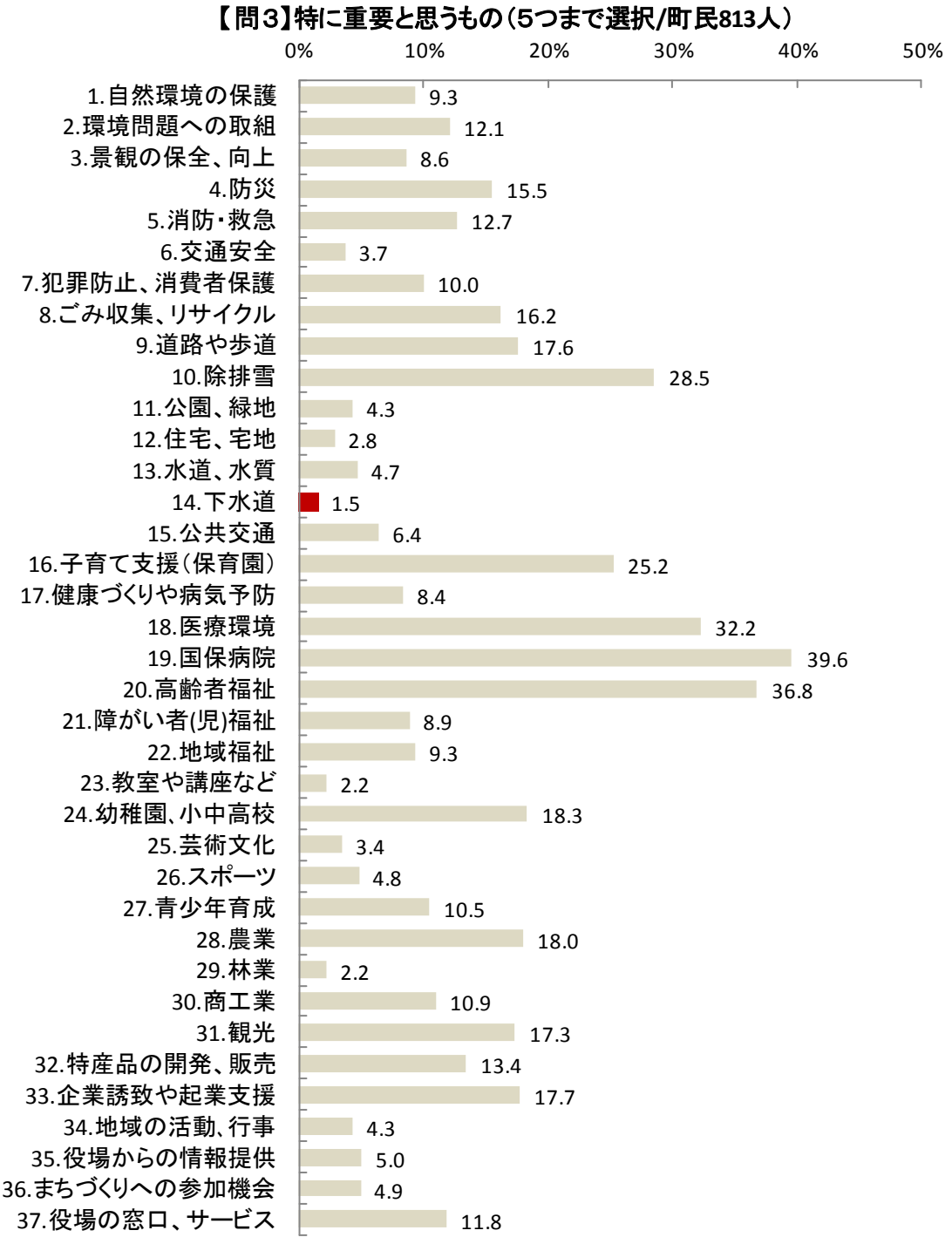
45　排水処理

（１）関連グラフなど

【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
下水道の充実	全体計画・事業認可の変更	見直しを実施し、上位計画と整合性が図られている。	会計実地検査で指摘を受け、国会報告となっている未稼働施設の今後の利活用方法について。	第 6 期総合計画を基に全体計画等の変更を行う。 未稼働施設の利活用について、全体計画等に位置付けをする。
	浸水経歴がある地域等の雨水管整備	「重要な幹線等」を選定し、管渠内調査を実施し、耐震診断を実施。		「重要な幹線等」の修正を実施する。
	下水道施設の老朽化等に伴う改築・更新事業	処理場長寿命化計画を策定し、事業実施中。 管路施設は、「重要な幹線等」を選定し、管渠内調査を実施。	更新機器の点数が多く、予算の制約を受ける。	計画に基づき事業を実施する。
	管路データベース※の構築	「重要な幹線等」を選定し、管渠内調査を実施し、耐震診断を実施。		「重要な幹線等」の修正を実施する。
合併浄化槽の設置促進	下水道区域外居住者に対する水洗化の促進（合併処理浄化槽※の設置促進）	農村地区等(下水道未普及地区)の水洗化により、公衆衛生の推進を図る。	使用者の都合による離農、転居等による休止対応	今後も、個々に、また、断続的に立替(新築)、改築(水洗化)があると思われます。これまでの経過、対応から、設置の依頼には対応せざるをえないと考えます。
	個別排水処理施設整備計画に基づく計画的な整備	合併浄化槽計 306 基整備に対し、平成 25 年度末現在、274 基設置、26 年度中に 10 基整備を計画計 284 基整備予定。	施設老朽化に伴う修繕等の維持費の増加	
汚泥処理の推進	資源利用事業（汚泥の有効利用）の研究の継続	処理場で処理した処理水は放流の水質基準値をクリアしている。		処理場で処理した処理水は放流の水質基準値をクリアさせる。
	汚泥の有効利用	再資源化施設へ搬出している。		再資源化施設へ搬入する。

※管路データベース：大規模地震への対策を計画的にかつ効率的に実施するために、既存管路施設情報の調査と重要な管渠の選定、地盤液状化の検討及び分析を実施し、地盤・管路情報の集積したデータベースを構築するもの。
※合併処理浄化槽：住宅から出る、し尿と生活雑排水（台所・風呂・洗濯水等）を微生物の働きを利用してきれいな水にする施設。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

○ 下水道使用料の助成。美幌町では、水道料金は全道的に見ても比較的安いが、下水道使用料は、道内でもワーストクラスの高さで町民の方々がとても使用しにくいと思います。

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
治山・治水対策の推進	自然災害等による山腹の復旧・砂防ダム等の設置	危険個所及び砂防ダムの定期点検・維持		今後も危険個所を事前に把握し対応していく。
	災害未然防止のための状況調査等の継続	同上		同上
	町内の危険箇所や林地開発による崩落危険箇所等の診断結果による指導・対応方法の検討	同上		同上
	光ファイバー情報施設整備	河川の水位監視としてはテレメーターにより自宅のＰＣ等により監視可能となった。		
	排水ポンプの維持管理方法の検討	昨年、排水用ポンプ６基と１発電機２基を購入し稲美樋門と鳥里樋門に３基ずつ設置。今年度、鳥里樋門と瑞治ポンプ設置場所に北電の常時電源を設置する。	大雨の際必要とされる排水用ポンプ・発電機がすべて用意されておらず、不足分はリースで対応している。そのためこれから増水が予測されても用意できない場合がある。	北電の常時電源の増設､発電機、排水用ポンプの購入を進めたい。
河川の整備	洪水対策（監視システム・排水ポンプ施設の整備）	同上		
	管理河川の浚渫（床ざらい）	木禽川、小谷沢川は浚渫済み	浚渫土は処分が基本であり、産廃処分をするには高額になるためなかなか予算が付きづらい。処分費がかからないよう浚渫土の再利用場所を探しているが見つからない。	再利用場所を探しながら、定期的な河川の浚渫を河川管理者に要望していく。
	親水性豊かな網走川河川改修事業の推進	川原樋門に排水ポンプ設置用の釜場を設置。 稲美樋門の釜場の流入管の高さが高かったが、改修された。		
	駒生川河川改修事業の推進	美幌川との合流地点から33 線までの護岸改修が一部を残しほぼ終了。	地権者等の交渉難。 予算がつかずこれから先の工事が進みづらい。	河川管理者に改修要望を続ける。
	農業用排水路（明渠等）管理体制の見直し	土地改良事業等で整備した明渠排水路を維持管理している５維持管理組合へ報償費を支出。 国営美女地区かんがい排水事業により、排水機場及び排水路を再整備実施中。	老朽化等により、施設の破損等が生じてきており、計画的な修繕を行い、延命化を図る必要がある。	明渠排水施設の維持管理事業は一部多面的機能支払事業に移行を検討。 国営美女地区は、H29 に事業完了予定。

47 ユニバーサルデザイン

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
誰もが利用しやすい施設･設備づくり	ユニバーサルデザイン※による環境整備の普及、促進	公共施設でのバリアフリー化の推進及び新たに設置する施設についてはユニバーサルデザインとして進める。	玄関スロープや手すりなどバリアフリー設備の老朽化	
民間の住宅､宅地整備の促進 （住宅､宅地と重複）	ユニバーサルデザインの推進	公共施設ではユニバーサルデザインに配慮しており、広く町民に触れる機会を提供している。	ユニバーサルデザインの推進には、住棟配置や住まいの間取りの決定から、内装・建具・住宅設機器の選択まで、トータルにプランニングしなければならないことからコスト高となる。	住宅建築時には入居者に応じた設計としていることから、バリアフリー住宅が浸透している。

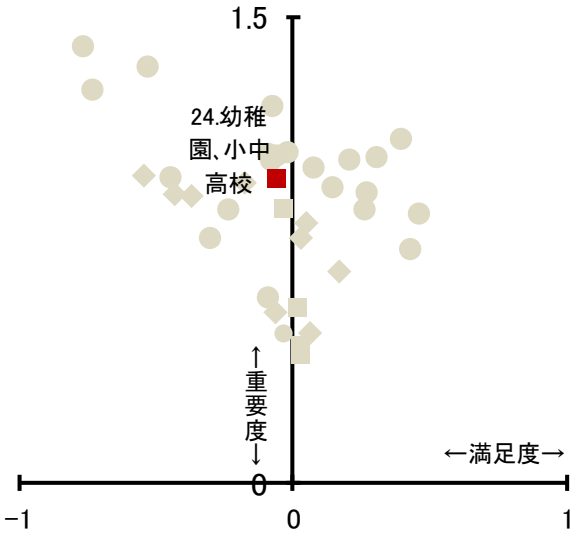
※ユニバーサルデザイン：能力や障がいのレベルにかかわらず、すべての人々が利用しやすいデザイン。

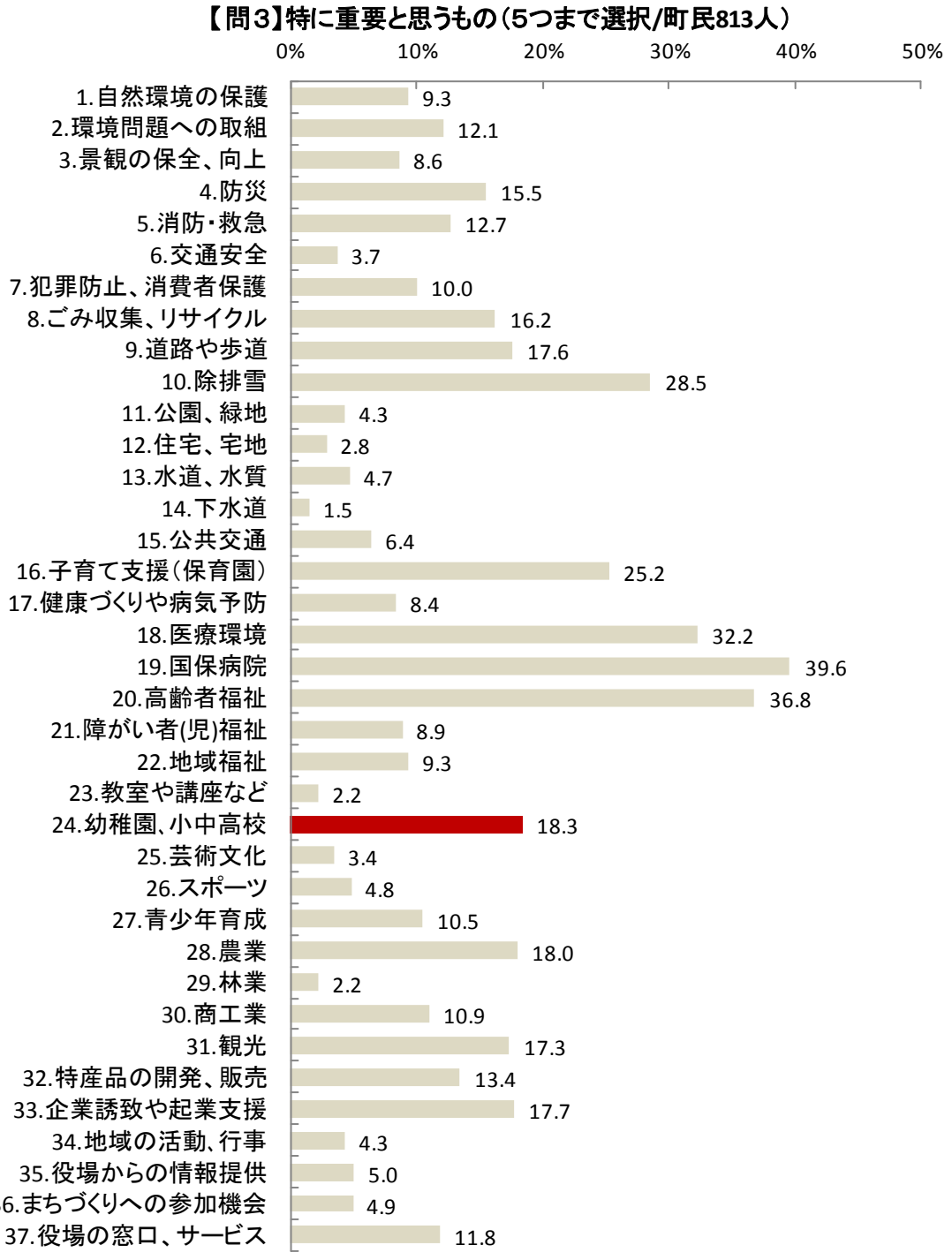
48　幼稚園、学校教育

（１）関連グラフなど

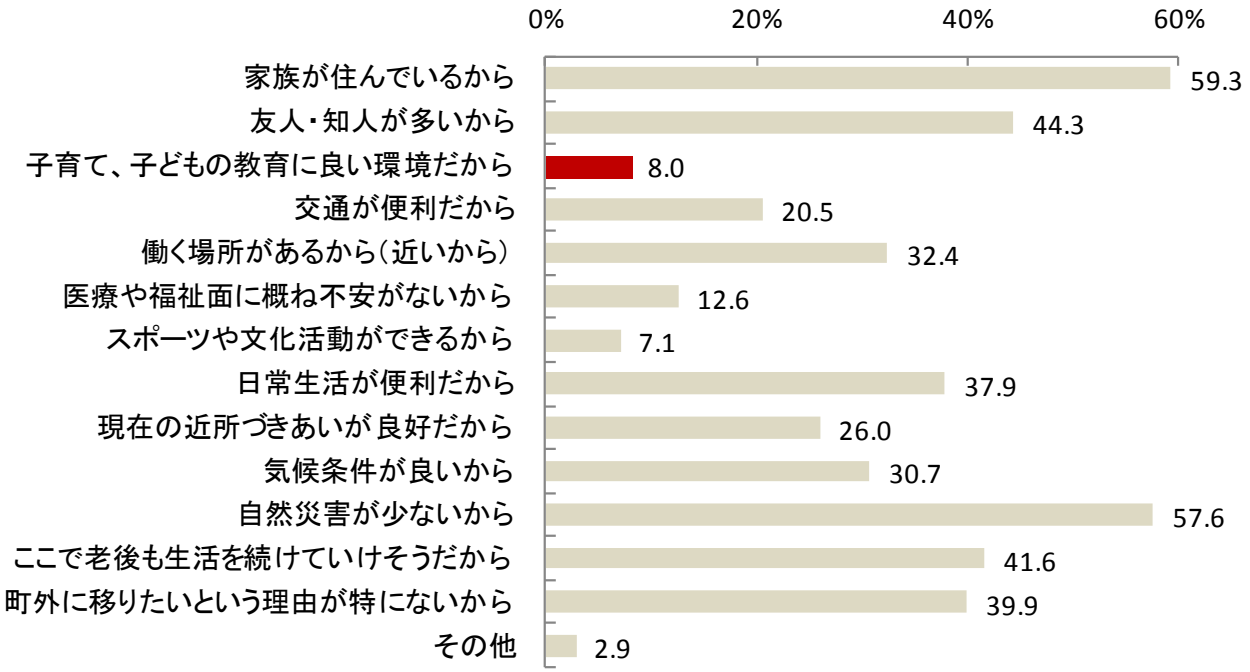
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

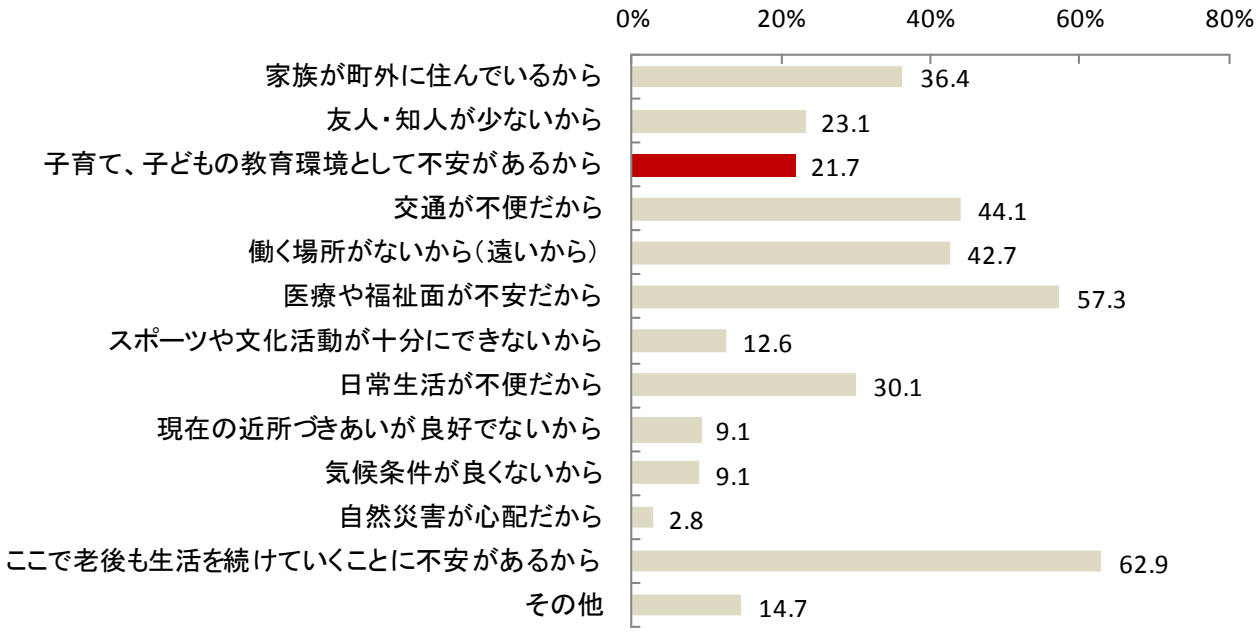




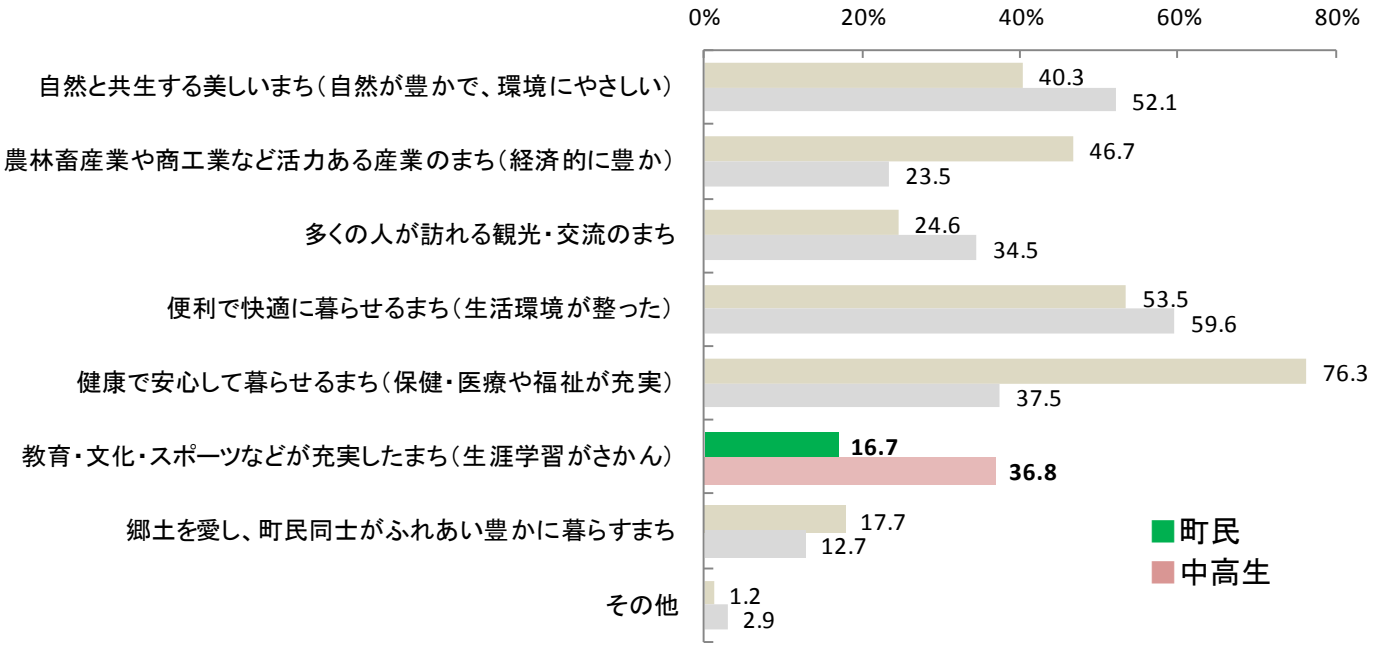
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

＜幼稚園＞

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
幼稚園の充実	就園に対する支援	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減が図られ幼児教育の推進が概ね見込まれている。	平成 27 年度スタートの子ども・子育て支援新制度への移行がされた場合に事務事業の見直しが必要となる。	子ども・子育て新制度への移行がされた場合に事務事業の見直しを検討。
	教材、研修に対する支援	教職員の研修費及び園児の教材費の一部を補助することにより、幼児教育の振興が見込まれている。	子ども・子育て支援新制度の移行に関連して事務事業の見直しが見込まれる。	子ども・子育て新制度への移行がされた場合に事務事業の見直しを検討。

＜小中学校、高等学校＞

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
小中学校の教育環境の充実	学校用備品、教材等の整備充実	教育施設、設備及び備品等については、老朽化による損耗の高いものから計画的な修繕、更新を実施し、教育環境の推進が概ね見込まれている。	校舎全てが老朽化による経年劣化で様々な箇所で不具合が生じていることから総体的な整備を要する。	日頃からの点検、早めの補修、計画的な更新を実施し、良好な教育環境の維持を図る。
	美幌中学校の移転・改修	改修を実施し、平成 23 年度末に旧美幌高校校舎へ移転のため取り組み完了。		
	教育用コンピュータなどＩＴ教育環境の整備充実	年次的な更新計画に基づき整備を着実に整えている。	IT 教育に対応した環境整備が課題となっている。	学校現場のニーズを取り入れた新たなIT教育環境(タブレット PC、電子黒板等)の整備、充実。
	複式校※の解消	最後の複式校である福豊小学校が平成 25 年度末で旭小学校へ統合により閉校のため取り組み完了。		
小中学校の教育内容の充実	地域資源(自然、環境、人）を活用した学校教育の充実	水泳・スキー・スケートの体育科において、各種団体からの外部講師を活用してグループでの個別指導を行っている。 また、「総合的な学習の時間」においては、児童・生徒の興味関心に基づき、課題解決型の授業を進めている。 国際理解教育の推進事業については、語学指導等を行う外国青年招致事業（ＪＥＴプログラム）を活用し、小・中学校に語学指導助手を派遣している。	外部講師派遣団体の人材不足により、学校の希望を満たす講師派遣が困難な状況がある。	より効果的な授業の在り方を探り、内容の充実を図る。
	地域と一体になった学校づくりの推進	保護者や地域住民等からなる評議員を各校に設置し、幅広い意見を学校づくりに生かしている。	－	幅広い意見を聴取するなど地域住民の協力を得て、開かれた学校の実現を図る。
	栄養教諭の配置による食育※の推進	正しい食生活指導や食育に関する授業は行っているが、栄養教諭の配置には至っていない。	配置基準、給食センターの運営などから、職種替えが難しい状況。	栄養士の配置換えを含め、道教委と調整を図る。
	学校給食センターの充実	H25 からボイラー、洗浄機等の機械設備の更新を年次的な計画により行っている。		機械設備の更新が概ね完了後、建物本体（屋根、壁）の改修を計画している。
	特別支援教育※の推進	特別支援学級や通常学級に在籍する発達障害児の学校生活を支援するため、介助員を配置している。	人材確保。	的確な対象児童の把握に努め、適切な介助員の配置を行うとともに、研修等により質の向上を図る。

道立高等学校の間口確保	北海道教育委員会の動向を踏まえた陳情活動及び生徒数確保に向けた中学校訪問	現在、公立高等学校配置計画地域別検討協議会において美幌高等学校の間口削除の動きはない。また、高校と教育委員会が一緒になり生徒確保のための中学校訪問を行っている。	－	少子化に伴い、今後も児童生徒数の増加が見込まれないことから北海道教育委員会の動向を注視するとともに高校と一緒になった生徒確保のための中学校訪問を継続する。

※複式校：二つの学年以上の児童又は生徒を一つに編成した学級を有する学校。
※食育：栄養の偏り、不規則な食事、安全性の問題や食文化の継承など、生産から消費まで一貫した「食」に関する考え方を、家庭、学校、保育所、地域等を中心に育むことを国民が総合的に推進すること。
※特別支援教育：これまでの特殊教育の対象としてきた盲者、聾者、知的障がい者、肢体不自由者、及び病弱者等の児童生徒に加えて、通常の学級に在籍するＬＤ（学習障がい）、ＡＤＨＤ（注意欠陥／多動性障がい）、高機能自閉症等の児童生徒も含め、個々のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う教育。

（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

＜幼稚園＞

- 幼稚園も、美幌町で運営している所があれば良いなと思いました。（女性・30 代）

＜小中学校、高等学校＞

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 美幌小学校
☺ 美幌小学校のグランド（広いから）

☺ 小学校の周りに木が多くて良い
✪ 中学校の体育館の床を滑らなくしてほしい
✪ 中学校にはウィンタースポーツ部がないのでつくってほしい

- 学校環境が今ひとつだと思います。素敵な大人になる子供達に、環境・教材を惜しみなく与えてほしいと思います。（女性・50 代）
- 教師のマナー研修。（女性・40 代）
- 美幌高校は、マラソン大会を廃止すれば生徒（新入生）が集まると思う。（柏陽はそうなっている。）（男性・40 代）
- 東陽小学校はボロすぎる。冬、窓にビニール貼っている所なんて今どきない！（女性・30 代）
- 給食でアレルギー出た時、フレークとカロリーメイトと牛乳って…？（女性・30 代）
- 会社や学校のいじめをなくしてほしい。（女性・40 代）
- 教育費は大事です！（小学校と中学校）（女性・40 代）
- 美幌町限定のランドセルを作り、配布する。（男性・30 代）
- 小中学校の充実。（60 代）
- 公務員の人が多く、その方は豊かに暮しているように見えますが、民間企業の方は道外よ

り賃金が低く、厳しい生活をしていて格差も感じます。教育の格差だけはないように、子供たちが夢を持てる町にしてほしいです。よろしくお願いします！（女性・40 代）

- 教育は人づくり。人づくりはまちづくり。教育はまちづくりです。…前オホーツク教育局長の言葉“教育のまち”を目指すことで、「美幌で子どもの教育を」と考える方が増え、活力ある地域の創造に結びつくのではないでしょうか！子育て施策については充実している本町ですが、さらに教育の視点で子育て施策を深めるべきと思います。国も幼児教育や教育再生など力を入れつつある今、一歩前を歩く“教育のまち”を目指したい。（男性・40 代）
- 教育を町内でも充分に受けられるように。町外まで高校に通うのは大変。（女性・10～20 代）
- 中学生が美幌高校に進学したくなるよう、スポーツ及び芸術に力を入れてほしい。（男性・50 代）
- 児童数が減ってきているので、小学校を３校から２校にして良いのでは！？（男性・30 代）
- 小中高の学習環境を整備し、特に障がいを持つ子供たちが安心して通え、暮せる町づくりを進める。誰もが地元の高校を卒業できる安心感が必要。（男性・40 代）
- 中学校の部活バスを美高からも出してほしい！ぜひ！（女性・40 代）

○ 子どもの総合力向上（地域力向上）。毎週土曜日授業を受けられるようにしたり、クラスの教員を２人にする等授業の質量を増やす。財政的に難しいと思いますが、単費での教員の雇用が必要となる。現在もスポーツ・文化関係団体で指導力の高い住民が大勢おりますが、指導力の高い教員若しくは外部講師を招聘等することで、スポーツクラブや部活動等をより一層活性化し、子ども達がその次の世代を育成していけるような環境の整備。（私立ではないので難しいとは思いますが）

○ 現在、北海道の教育水準は、かなり低い状況で、たくさんの施策をされている状況と思いますが、例えば、管内１位の教育水準等の仕組みを作る事が出来れば、子育て世帯が、町内に引っ越して来てくれる可能性も生まれるのかなと思います。なお、町内の学校の教育水準の一定程度の平準化も必要と思われます。

○ オープンスクールの開設。不登校の児童に対して、学校や不登校問題相談員を中心に施策が行われています。サテライト学習もありますが、引きこもりの子どもたちを外に出すために、出入り自由の空間を充実し、個々にあった学習をしてゆくことが出来れば、学校との接点にもなり、子どもたちの居場所作りとしても、効果的ではないかと思います。

○ 美幌町の規模で、町内に小学校は３校も必要ありません。東陽か美小を廃校し、空いた施設の有効活用を。

○ 現在、市街区域にある小学校を３校から２校に統廃合し、人件費・施設維持管理費を抑制する。東陽小学校か美幌小学校のどちらかを廃校とし、閉鎖後は役場庁舎として利用する。グラウンドはそのまま残し美幌冬まつりや美幌夏祭り（盆踊り）等のイベント会場として利用すると共に、ソフトボールや少年野球の練習、レクレーション利用に無料開放する。

○ 子どもの増加が見込めないことから、統合し開いた学校を他の施設へ有効活用する。

＜高校＞

- 町内には小学校が３つ、中学校が２つあるが、その後の高校は１つ。より良い教育を求めると、町外に出てしまう。若い人が活躍する場がないのでは。

○ 高校の充実。学力、部活動等、色々な理由により町外への進学が多いように思います。地元の高校で過ごす事は、美幌町への愛着が深まり、永住するきっかけになると考えます。

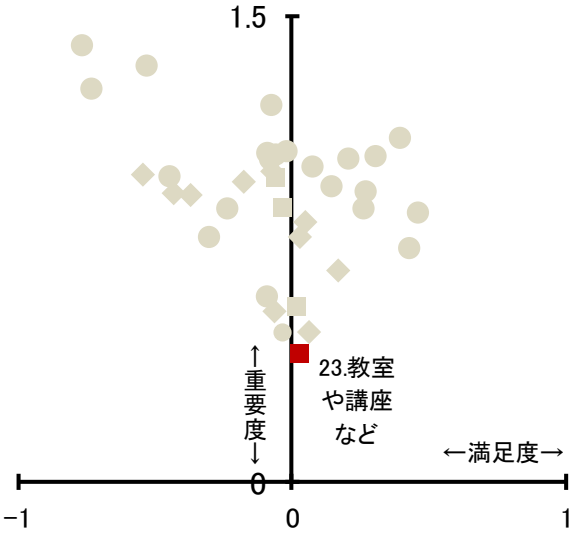
○ 冬の朝の高校通学専用バスを。冬の時期になると朝のバスを利用する高校生が増え、バスが満員になり一般客・高校生ともに窮屈なため。

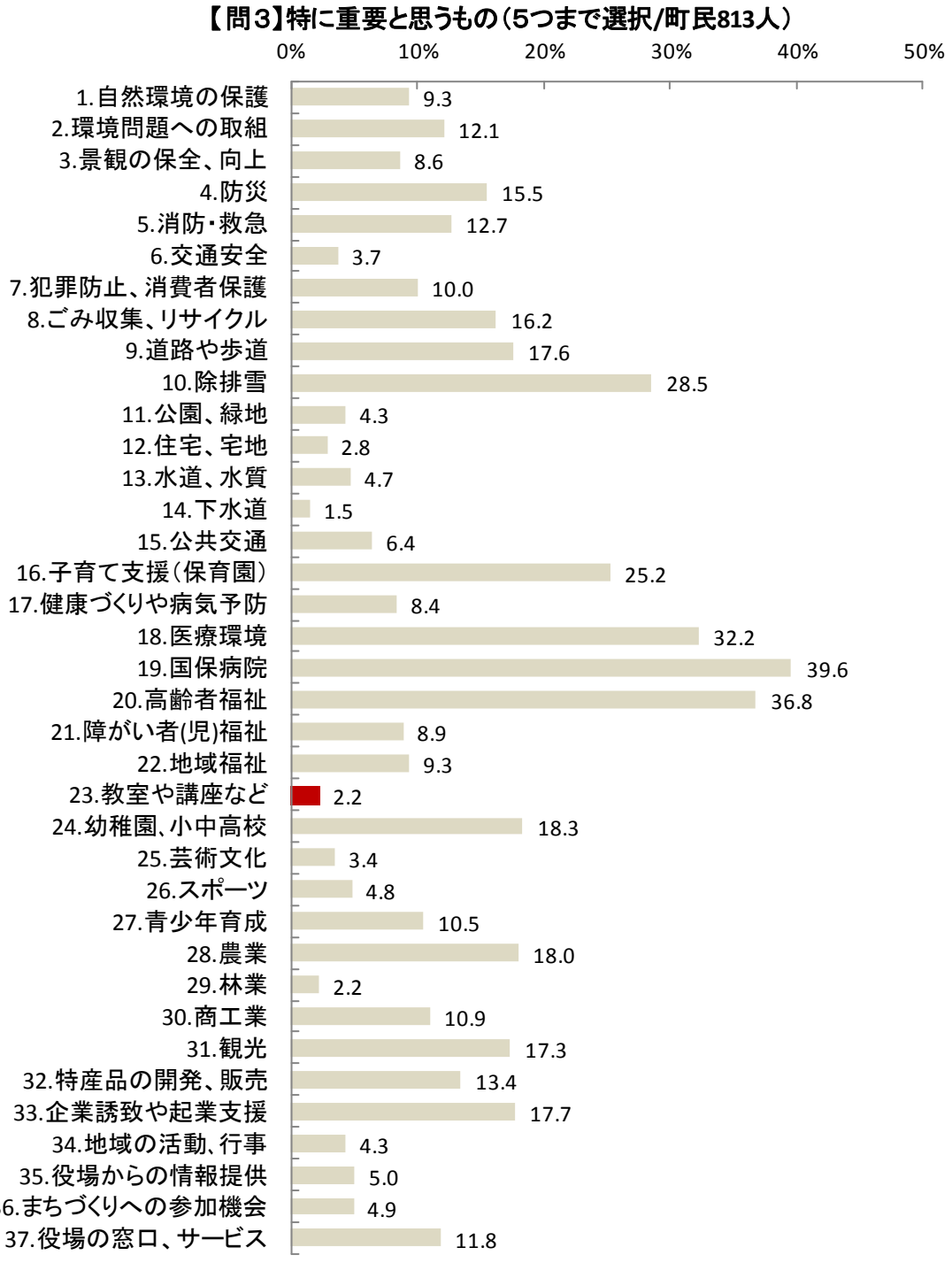
49 生涯学習

（１）関連グラフなど

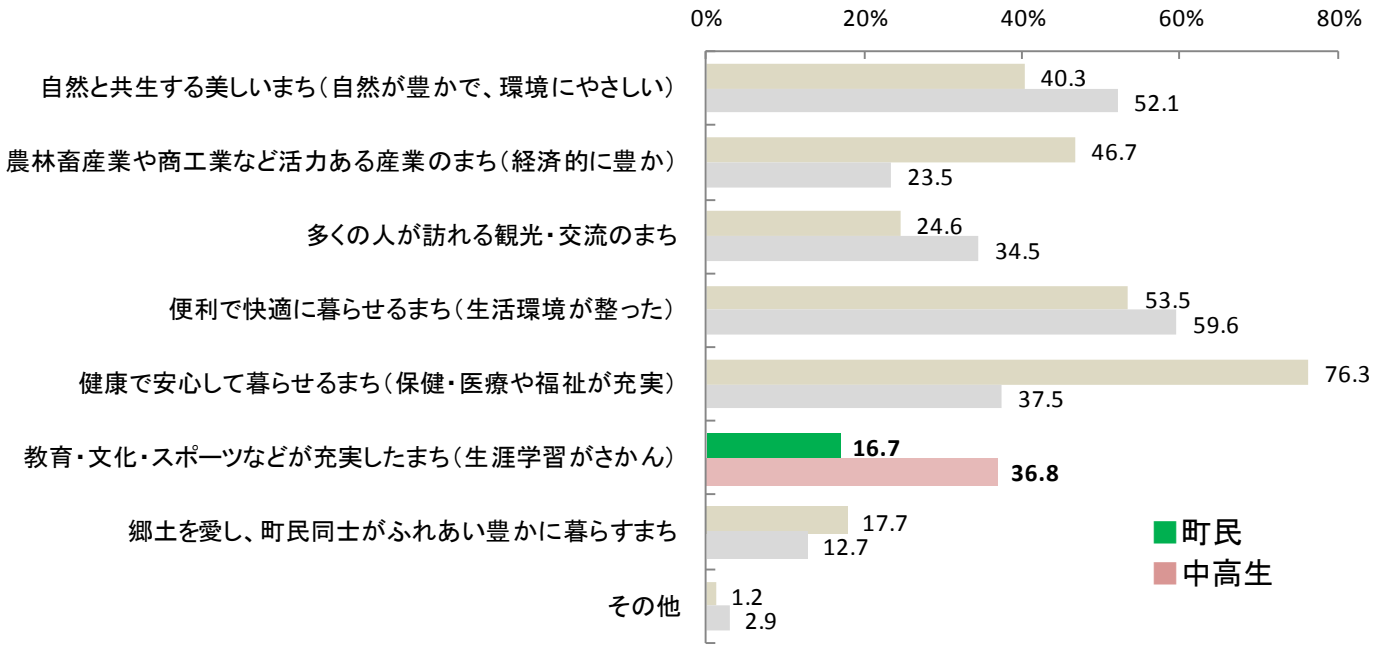
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





【問６】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
生涯学習の推進体制の確立	生涯学習※推進体制の整備	個別の計画において推進・検討しているが、部局横断的な検討までには至っていない。	生涯学習推進体制の整備については教育委員会のみならず部局横断的な組織による検討が必要。	部局横断的な指針や計画の必要性について関係部局と検討する。
	公共施設の空き情報のシステム化	びほーるを含む町民会館は、イベント情報とともに施設の空き情報を町ＨＰに掲載しているが、マナビティーセンターは情報提供をするまでには至っていない。	町民会館では、更新のタイミングをどの程度の頻度とするか、情報の精度を高めることとリアルタイムな情報提供が課題である。 マナビティーセンターは施設利用者の多くが電話問合せを活用しており、サークル利用も年間でほぼ固定化していることから必要性が低い。	マナビティーセンターにおいては全庁的なシステムの確立に委ねることとするが、町民会館においては独自のシステムにより提供する情報を充実させ、利用の拡大を目指す。
	地域活動に関わる人材の登録と活用促進	各学校のＰＴＡ活動、総合的な学習の時間での地域人材活用が増えている。	年次更新のシステム化と地域人材の拡大。	リスト登載者と指導分野の拡大を目指すとともに、よりシンプルなリストの活用方法を創出する。
	地域活動への参加奨励および機会の充実	サークル活動については各種社会教育事業や学校授業での指導や他施設での成果披露などが継続的に行われている。	地域活動へ参画する人材の固定化および高齢化、団体規模の縮小傾向。	団体・サークル活動の充実のため施設利用、その他活動の支援を継続して行う。
生涯学習関連施設の整備	図書館における郷土図書資料の充実	広報や図書館だよりにて資料等の提供を呼びかけ収集、整理をしてきている。	収蔵場所が分散していたり、スペースが無くなってきており問題となっている。	収蔵場所は、新たな施設の建設により確保することで更なる資料、蔵書の充実を行いたい。
	図書館施設等の整備・充実	屋根破風修繕、視聴覚室や読書会室の絨毯張替など小規模な補修、改善により利用者の利便性を図ってきた。図書館システムはH26 年度にインターネットとリンクしたシステムとして更新する。	施設の耐久性や蔵書数の増加により、現施設の修繕等による維持や図書、資料の分散保管には限界が来ている。	建築後 35 年が経過していることと、収蔵能力に限界を来しているため、駐車スペースの拡大を含め新たな施設の建設を検討する。
	マナビティセンター設備の整備充実	平成 25 年度に 13kw 陶芸窯の熱線交換を実施。	施設設備の経年劣化に伴い、計画的な整備・修繕計画の立案が必要。	陶芸窯は施設利用者の適切な利用と管理により更新時期を延長できているため現状維持とする。他の施設設備も整備・修繕の計画に沿った機能維持を目指す。

	町民会館を利活用したホール機能整備	本町の文化振興拠点施設として、平成 24 年８月に「びほーる」がオープン以来、文化ホールとしての施設整備・運営を行い、プロ・アマチュア問わず多くの利用者から多大な評価をいただいている。また、舞台利用が飛躍的に多くなっており、稼働率が全国上位に位置している。	設備面では、舞台の電気容量が不足しており、仮設電源等の設置が望まれるほか、舞台・照明等の物品が不足しており、補充が必要となっている。 人的配置面では、舞台に精通する専門スタッフが１名しかおらず、利用の質の向上や安全確保の面からも充実が必要となっている。	文化ホール機能を維持・発展させるためにも、物的・人的条件を充実させ、安全かつ利用者・来場者が満足する舞台運営を行う。
生涯学習活動の促進	住民参画による生涯学習活動の拡充	各小学校区でコミュニティスクールが運営。運営委員会を中心に積極的・主体的運営がなされている。	運営委員会に参画していただける人材の固定化と高齢化。	地域の子どもを地域で育む取り組み、小学校を核にした青少年健全育成の取り組みを継続する。
	住民主体による生涯学習活動の奨励	各団体の主体性により民主的・継続的な活動が行われている。	団体構成員の減少と役員の固定化。	各団体の実情に応じ、適切な支援を継続する。
	図書館ボランティアの育成と活用	小学校や保育園での読み聞かせや町の事業に協力を頂いており今後も支援していきたい。ボランティアの日にシール貼りや本の清拭を行ってもらっている。体験の日は毎年実施し参加者も小学生が中心となるが一定の参加が得られている。	ボランティアサークル会員の高齢化や固定化が進んでいる。体験の日では参加者に中学生、高校生が少ない状況である。ボランティアの日における参加者は横ばい状態となっている。	現在の活動を継続していけるように会員数の増加など支援を進めて行く。ボランティアの日、図書館体験の日について今後も継続した取組を行っていく。
	博物館における学校教育との連携	町内の小中高等学校と連携した自然・歴史体験授業の要請が年々増え、実施回数も増加している状況である。	対応できる職員数に限りがあり、オーバーワーク気味である。対応できる職員数の増加が求められている。	継続する
	美幌町子どもの読書活動推進計画による読書活動の推進	ブックスタート※事業を実施して 10 年を迎え、親子が絵本と親しむ切っ掛けづくりとして効果が出てきている。また、平成 24 年度より小学１年生を対象として絵本を渡すブック２（セカンド）を開始し、子どもの成長に合わせた読書習慣の形成に向け取り組んでいる。子どもの読書活動推進計画に基づいた取組を日常業務の一環として行ってきている。	ブックスタートの会場での読み聞かせについては、ボランティアの方に依頼しているが、今後もより多くの人員が必要となっている。子どもの読書活動推進活動計画は平成 27 年度で終了するため第３次の計画作成が必要となってきている。	ブックスタートは対象者アンケートでも概ね好評であり、ブック２を含め今後も継続した取組を行っていく。第３次子どもの読書活動推進計画に基づき平成 28 年度以降の取組を行っていく。

※生涯学習：自己の充実・啓発や生活の向上のため、個人の自発的意志に基づき、あらゆる生活の場において行われる学習活動であり、必要に応じ、自己に適した手段・方法を選択し、生涯を通じて行われる。

※ブックスタート：新生児のいる家庭に絵本をプレゼントする、1992 年にイギリスではじまった運動。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 博物館

☺ 図書館

☺ びほーる

❀「びほーる」で、子ども向けのイベントをしてほしい。「お母さんと一いっしょのファミリーコンサート」など。

❀「びほーる」のトイレの手洗いの水が冷たかったことがある（冬）。

⚐ 博物館やみどりの村は郊外にあり遠い。内容もあまり PR されていない気がする。

⚐ 以前博物館に行ったことがあるが、開館しているのかどうなのか分からず、迷った。

● 博物館の活動や、びほーるでのイベント等周知されていないことが多い（→おしい感じ。）企画をたてるのもいつも同じ人たちなので風通しを良くし、様々な人が作り上げていければと思う。インターネットＨＰなどの活用がイマイチ。（女性・30 代）

● 子供が多い町なので、（親子で）一緒に入れるカフェや講座があるとうれしいです。（女性・30 代）

● 美幌町開基百年史によると、以前は有名な人物の講座等が有った様です。近年は特に有名な人物の講座もなく、何となく過ごしている様子です。街の豊かさはさておき、何か目玉となるような人物の誘致？等が有れば、良いのですが。いかがなものでしょうか。（女性・50 代）

● ろくろの陶芸教室を開いてほしい。（男性・40 代）

● 美幌町では、個々の意見が強く、協力し合う考えが弱いように感じます。人を育てるには、相手を思いやり、助け合える為に考えていく事が一番だと思っています。もっと、周囲に目を向け、人の心を育てるような生涯学習にも力を入れてもらいたいと思います。（女性・30 代）

○ 博物館をより多くの人が利用できる施設にできないか。魅力がいまいち無く、大人でも楽しめる施設になれば美幌町を PR できるものの１つになるのでは

○ 地元カフェを図書館に併設するなどして、居心地のよい空間にした公共施設を含めた「いなカフェ」のつながり（チェーン）をデザインしてもよい。他方で、民間のカフェにも、そのカフェのマスターお気に入りの本を並べて文庫を設けてもらい、「まちじゅう図書館」のような取組にしてもよい。

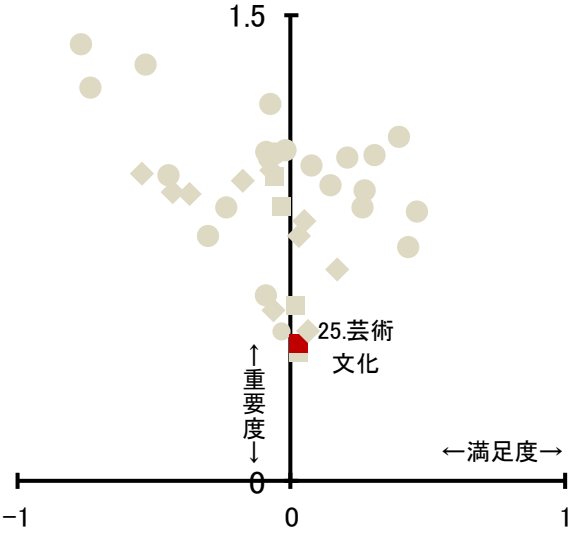
○ 生涯学習で生きがいを持つ。全町民が生きがいを感じ、健康で安心して生活できる環境づくり

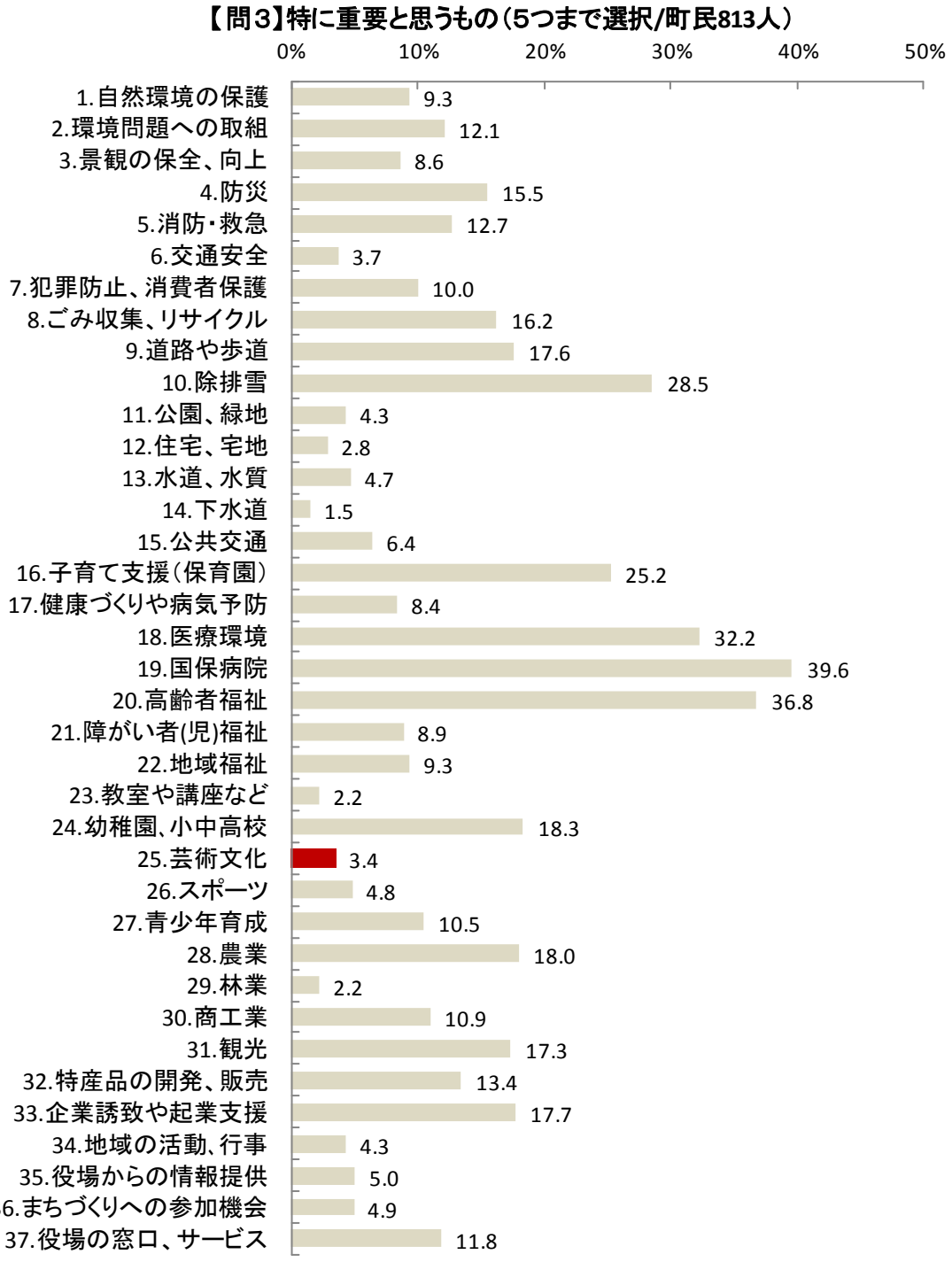
50　芸術・文化、文化財

（１）関連グラフなど

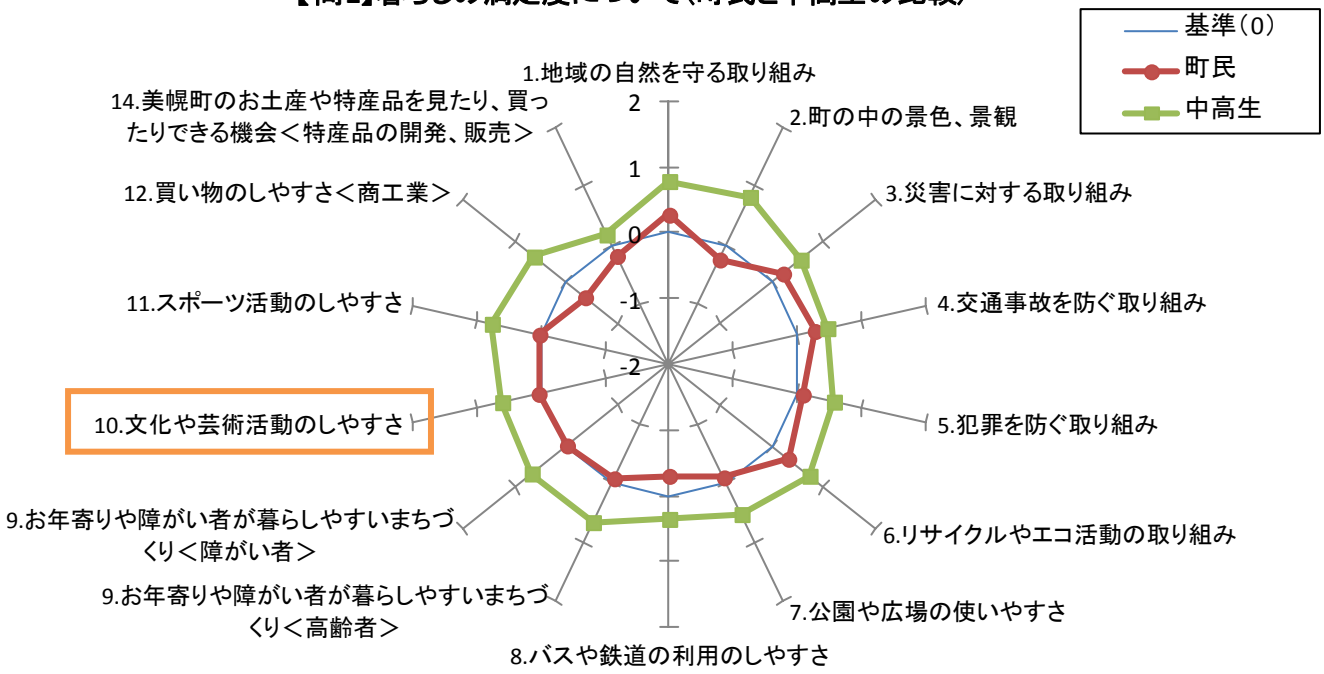
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

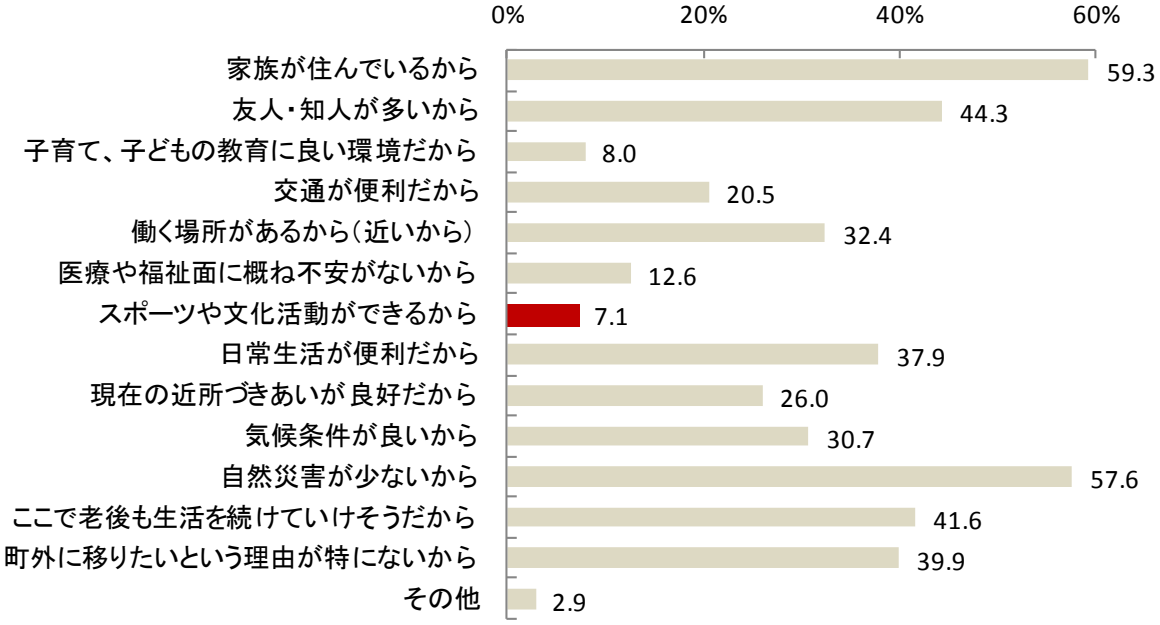




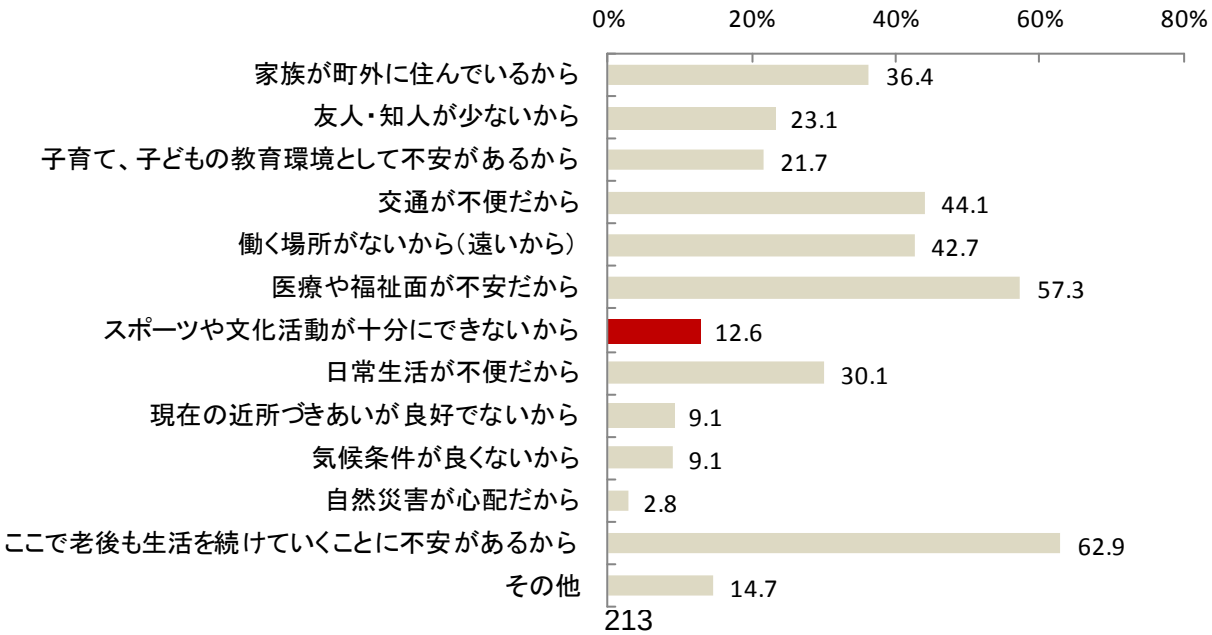
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



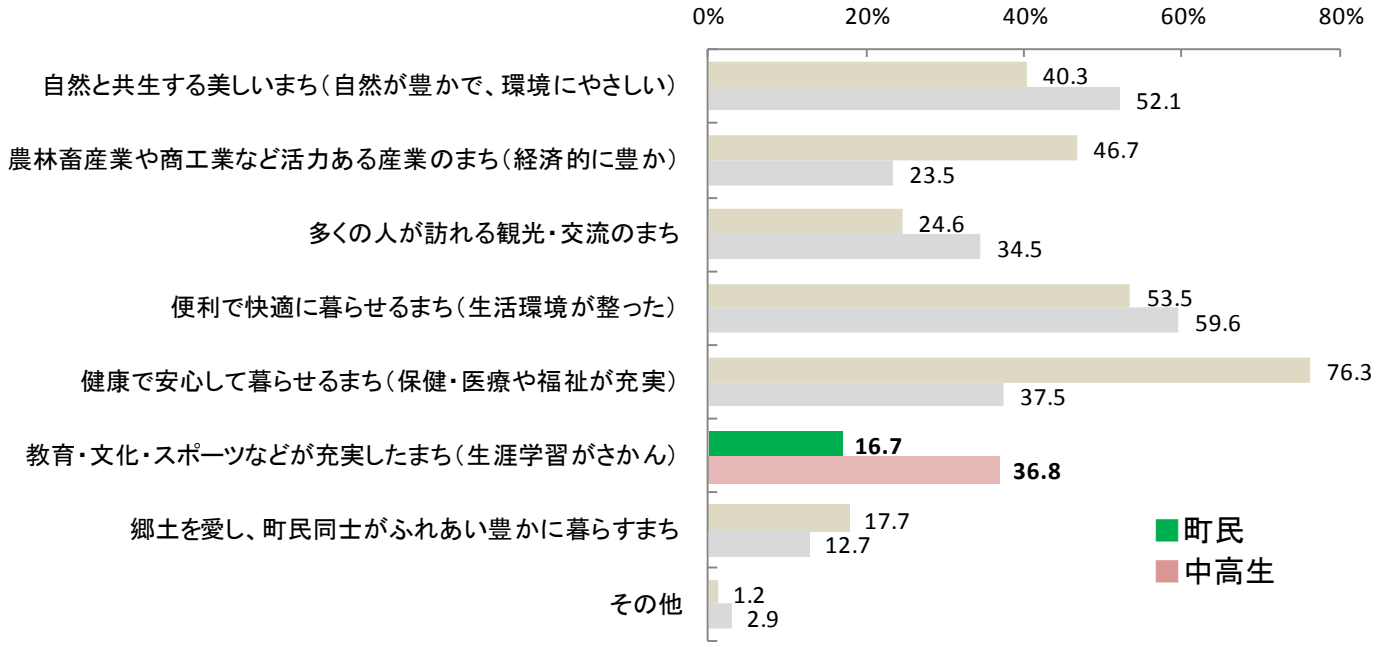
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



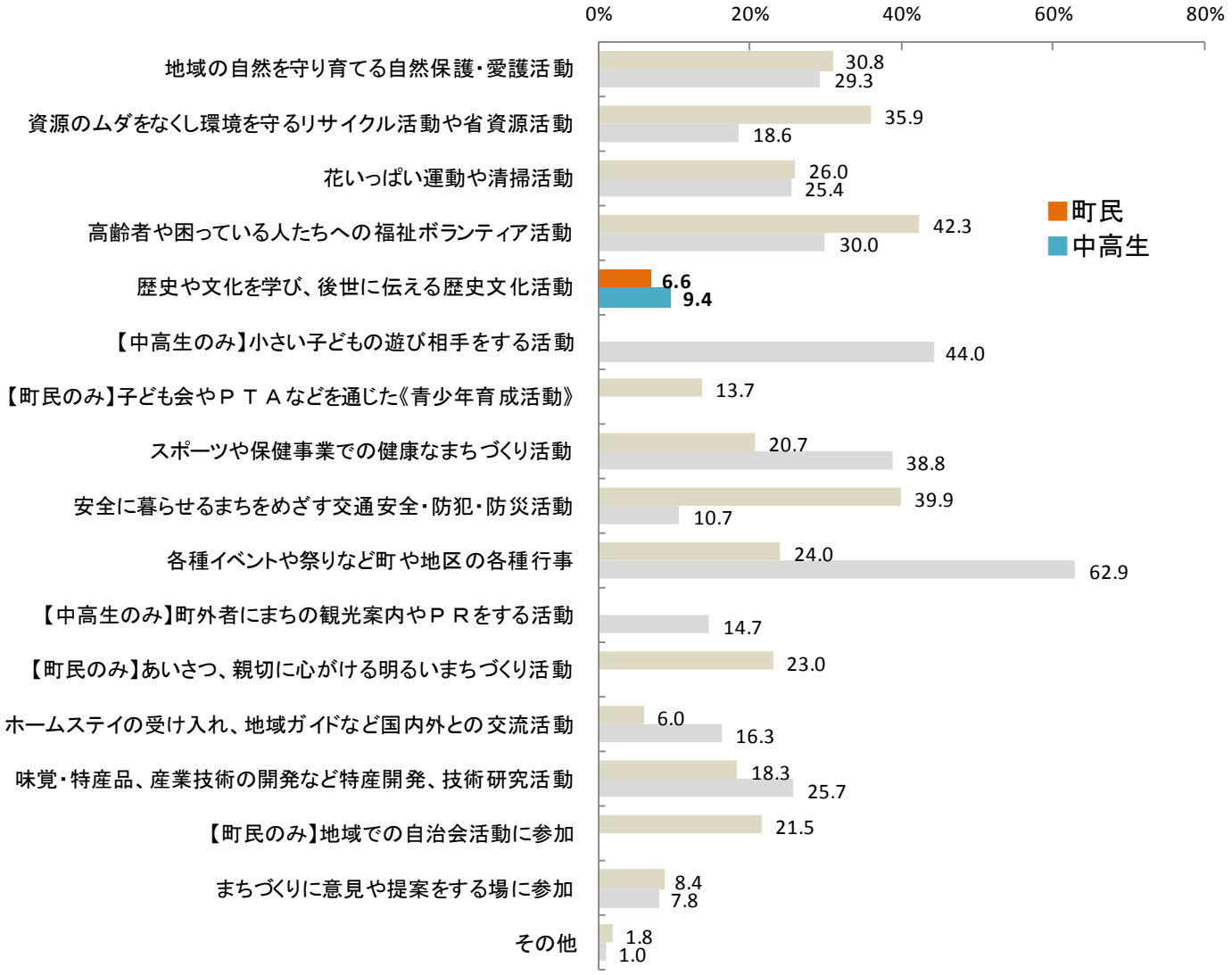
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）



【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
文化芸術活動の促進	文化関係団体の育成	町民会館の使用料減免措置や、発表会等での舞台運営等、文化連盟及び単位団体の活動を積極的に支援している。	文化連盟単位団体に作品創作や文芸関係団体が少ない。また、伝統芸能関係団体が多く、若年層の会員が少ない。	文化連盟の活動は活性化しているが、さらなる連携により、単位団体数の増や会員数の拡大につなげ、一層の文化振興を図る。
	団体・サークル活動の成果の発表と交流促進	各サークル・団体の知識や技術を地域還元する取り組みが継続している。	取り組む団体の固定化	新規団体への開設奨励を強化するとともに、講座開設の周知方法を検討する。
文化芸術の鑑賞機会の充実	芸術鑑賞事業の内容充実	文化連盟を核とした芸術文化鑑賞事業を年間２～３事業実施している。	文化拠点施設である「びほーる」が機能するうえで、プロによる一流の芸術文化鑑賞機会は絶対的に必要であるが、事業主管となる文化連盟への負担が大きい。 質的・量的な充実を図るには、施設独自の鑑賞事業の実施が必要。 文化ホールの性質上、年度途中に一流の鑑賞事業の企画が飛び込むことが多く、柔軟に対応できる条件づくりが必要。	芸術文化鑑賞事業をさらに充実させ、年間安定した回数のプロによる芸術文化鑑賞機会をつくる。
	町民主体による芸術鑑賞事業の奨励	美幌町芸術文化振興事業補助金により、年間３団体程度の町民主体の実行委員会等を支援している。 町民会館減免措置により芸術文化鑑賞事業を実施しやすい環境を整備している。	鑑賞事業を実施する団体数が減少し、会員または事業内容が固定化している。特に若年層の主体的な活動が必要。	町内で活動している若い音楽関係者やアーティストが集う機会をつくり、若者による若者向けの鑑賞事業団体の結成につなげる。
文化財や郷土資料の収集､保存	文化財の保全、保護	継続して郷土資料や文化財資料を収集しており、さらに樹木医による「美幌小学校かしわの木」保全作業のように、定期的に町文化財の保全・点検活動も実施している。 展示物を極力傷めないためのLED 電球の導入、美禽・野崎・古梅収蔵庫内に保管している資料の（旧）美幌中学校への移動・整理、空調・冷暖房設備の改善を進めている。	貴重な郷土資料を、最良な状態で保存・展示するために、ライト、空調、冷暖房等を、最適な物・状態に整備していく必要がある。	継続して、文化財の保全・保護業務を進める。

	郷土資料の収集	調査により、これまで収集した埋蔵文化財遺物資料の整理、および報告書の作成を進めている。	継続する埋蔵文化財作業員の確保が必要である。また、遺物整理作業等できる事務所や、資料を保管するための収蔵庫が必要となっている。	継続して、郷土資料の整理を進める。。
歴史の継承	地域文化伝承者の発掘、調査	主に年輩の方を対象に、地域文化に精通された方からの聞き取り調査を進めている。	地域文化情報を、精通されている方の記憶が鮮明なうちに、記録作業を進めることに留意しなければならない。	継続して、地域文化に精通されている方の発掘、および聞き取りを進める。

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 図書館

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ 音楽がたくさん聴ける（音楽鑑賞の機会が多い）

✪ 有名な演奏家のコンサートを多くやって町外の音楽好きの人が「いちいち美幌に行くのめんどくさいから、いっそ住んじゃおう」と思わせる

❀「びほーる」に親子席があるのは良い。

- 大空町の様に、芸術文化に力を入れ、町民の精神的豊さを向上させて欲しい。（女性・60代）
- 豊かな人生には、ひとつ豊かな知識を持つべきと思います。人はいつ勉強に目覚めるか知れません。身近な勉強場所の図書館は、日曜、祭日は特に町民が利用出来る体制を造るべき。公務としている人は、民が休む時は働くべき。こういう小さな事に気付かない職員によって、町民は大きな損をしている。コンビニが何故流行るか考えるべき。（男性・50 代）
- びほーるはすばらしいので、他からのコンサート（アーチスト）が来ると、びほーるが活かされると思います。（女性・50 代）
- 町民会館のレストラン、何とかなりませんか？文化ホールは立派でも、あのレストランではコーヒー 1 ぱい飲むのも…。町外の人に見られてはずかしいかも…（女性・50 代）
- 公共施設など町内外に開放し、イベント等に活用。そのひとつにビホールの活用ももっと工夫しては…。高齢者も若者も集える、そんな場所であるべきなのではないでしょうか？ビホールの使用方法、誰の趣味？活気無し！（女性・50 代）
- びほーるを活用。（音楽、演劇）（女性・30 代）
- 町民会館の改修でエレベーターを付けるという話を聞きますが、その予算があれば、「びほーる」は芸能部門で充実が図られているので、展示場所をもっと広く使い易い様に拡充を図るべきだと思います。文化祭の展示は、以前の新町のコミセンの方が良かったと思います。計画樹立には「文化連盟」の意向を聞いたと承知していますが、せめて文化祭の出展

団体や個人の意向も聞くべきだと思います。（女性・70 代以上）

- 町民会館（びほーる）で多数集まる行事の時に、駐車場が狭い。（男性・70 代以上）
- 新しい町民会館は、トイレはウォシュレット、エレベーターも欲しいものです。文化祭も、会場があっちこっちでは、年寄りは行きたくても足が遠ざかります。（女性・70 代以上）
- 先日、コンサートの整理券が９時から配布とあり、11 時頃行ったのですが、もうありませんでした。１人２枚迄というのにこんな事ありですか？事前に団体さんに配布したりしてないですか。普段仕事や用事で行けなくて、初めてでとても楽しみにしていたのに残念でした。配布の仕方少し考えてみて頂けませんか。あるいはこの様な機会増やして頂きたいです。こんなに人気があるのですから。（女性・60 代）
- 町民会館びほーる、最高ですね。ありがとうございます。先日、海上自衛隊のコンサートに行って来ました。最高でした。元気を頂き、また、年配の人が多く、皆んなの明るく元気な姿におどろき、まだ働けるかなーと。（女性・70 代以上）
- 町民会館で２～３の会合（行事）がある時、駐車場が足りなく不便です。
- 以前、エコハウスで個展をしたいと伝えると、「前例が無い」と言われ、何だか面倒だった。芸術にしろ、何にしろ、表現し発表する機会をもっとつくっても良いと思う。７月に網走で、クリエーターのフェスやセラピーのフェスがある。こういったことを美幌でも企画し、実施できたらと思う。特にクリエーターのイベントは今、全国的に多い。芸術や創作活動が町を活性することに一躍かってくれると私は思っている。（女性・30 代）

○ びほーるへの有名人招待。芸術、文化の施設ではありますが、それにこだわらず住民のニーズにあったものを色々行って欲しいです。今は年配の方が集まるようなダンス披露や吹奏楽団などの演奏メインになって若年層向けのイベントがほとんどないと感じます。町民アンケートにも芸人の誘致などあったかとおもいますが、美幌でも可能だと思います。（北見・網走ではよく広告で見ます。）

○ 小学校、中学校、高校、一般団体で吹奏楽活動を行っており、幅広い世代で共通する活動でもあるので、活性化させることにより美幌町=吹奏楽の街=芸術性の高い街になる。

○ “びほろ版”有形・無形文化財指定制度の創設。美幌町には独自性に優れた個性ある「活動」や「商材・商品」が、いくつか存在する。それらの「物」や「個人・グループ」を自他薦によって有形・無形文化財指定（指定基準要項の設置必須）し、活動や取り組みが将来に渡って永続するよう、活動費、消耗品の一部助成、広報支援（広く内外へ周知）を実施し、該当者の使命感維持、モチベーション維持をサポートする。

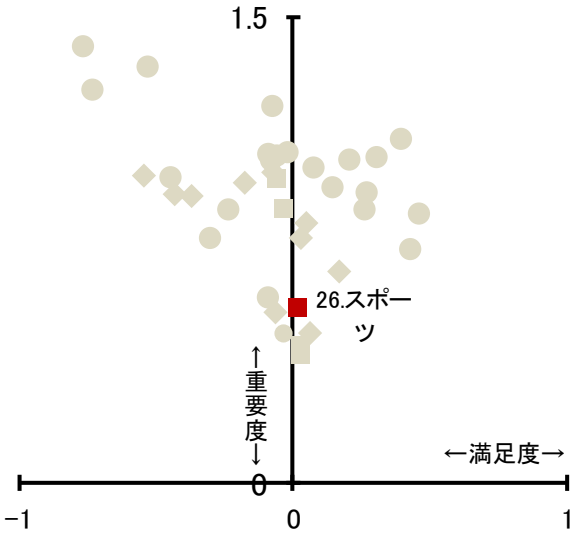
○ 町民劇団の結成。びほーるができましたが、演劇に適した舞台であるにも関わらず、演劇として活用されていない現状にあります。かつては劇団がありましたが、今はありません。老若男女を取り込める活動であり、施設の活用が出来、多くの人が動きますので、町の活性化になると思います。

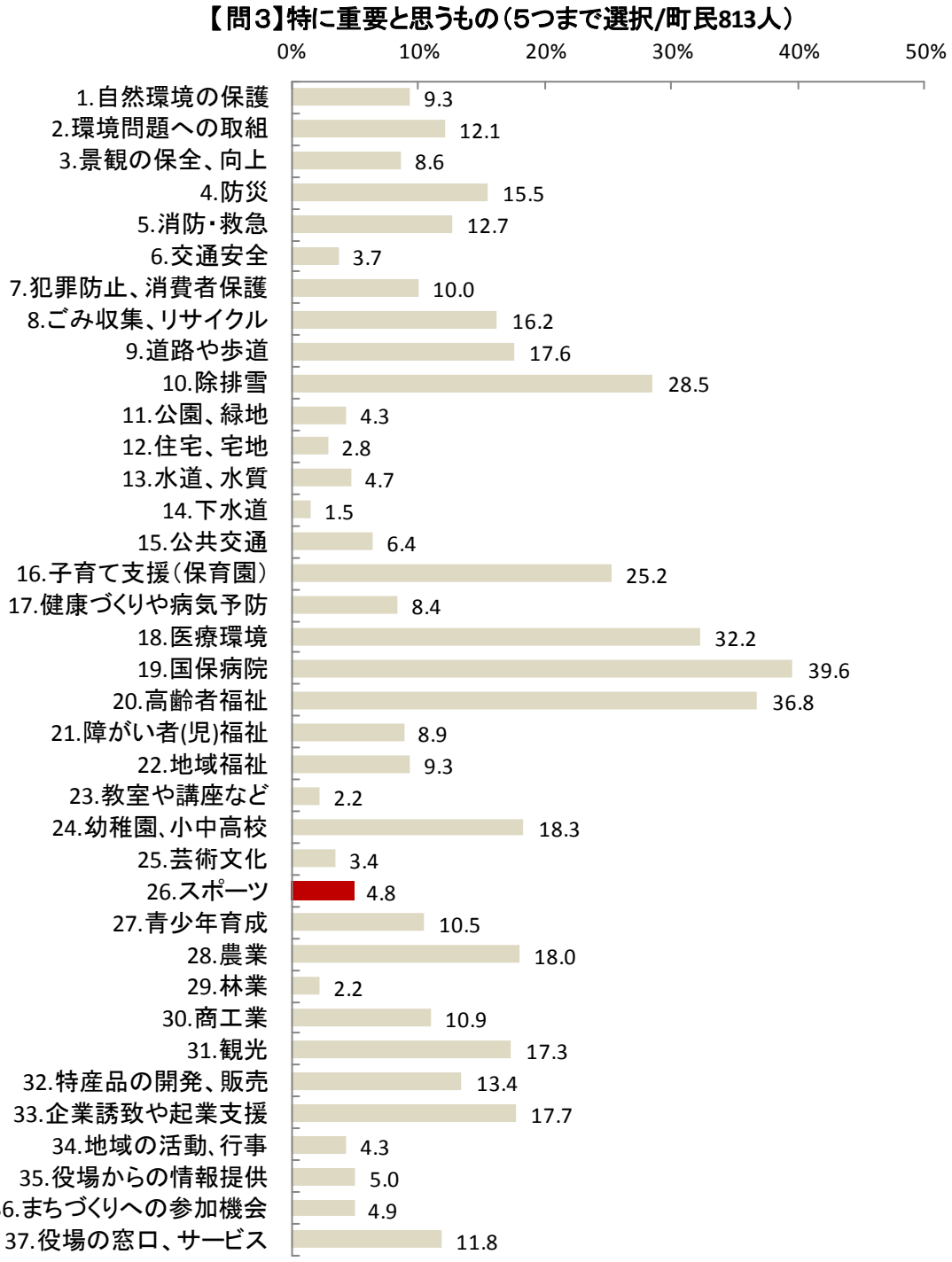
51　スポーツ

（１）関連グラフなど

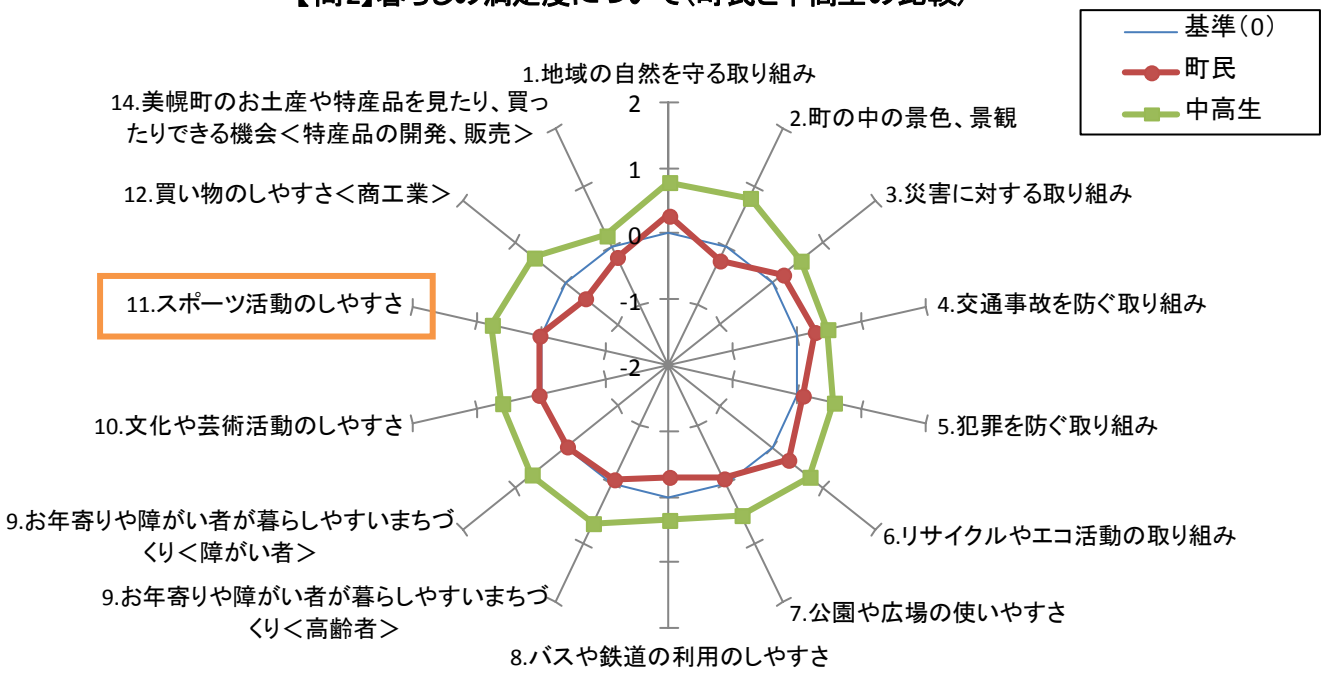
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。

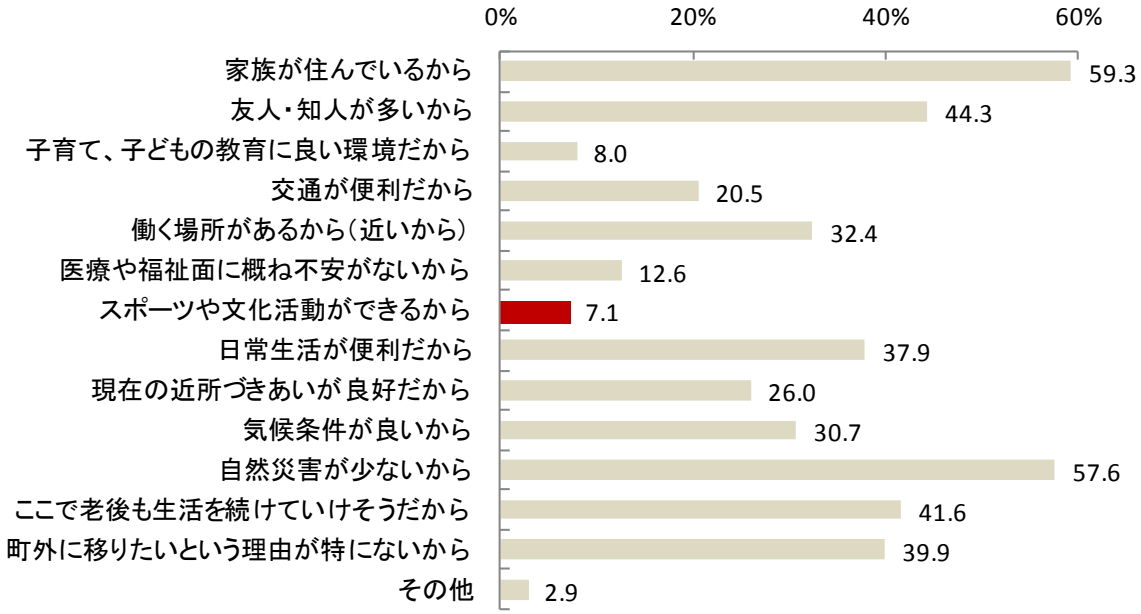




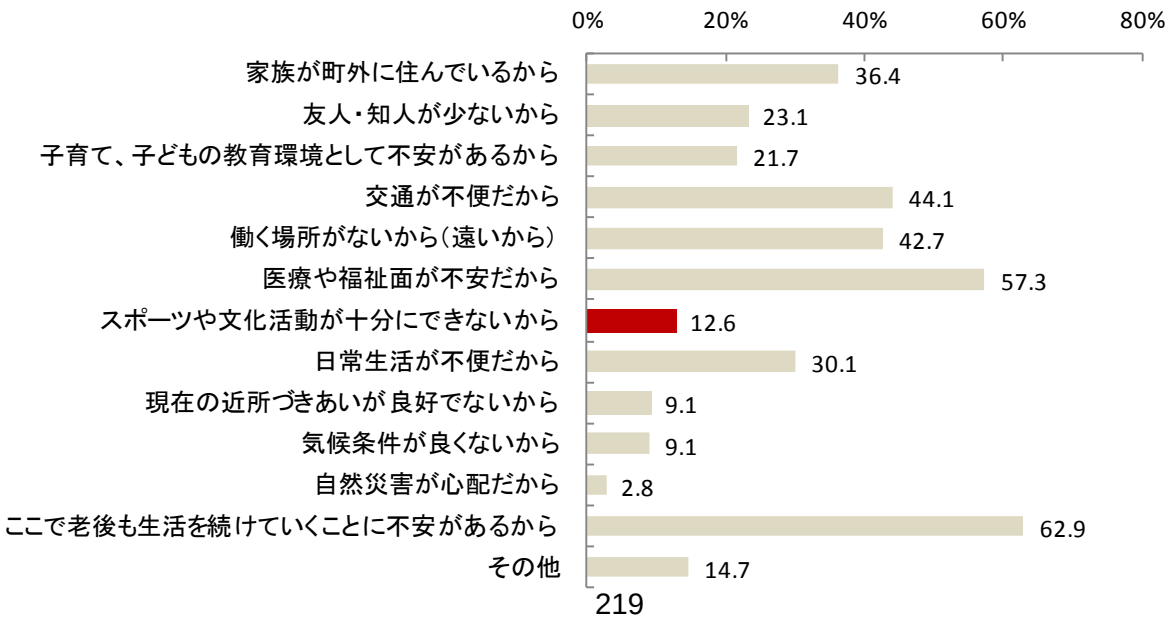
【問2】暮らしの満足度について（町民と中高生の比較）



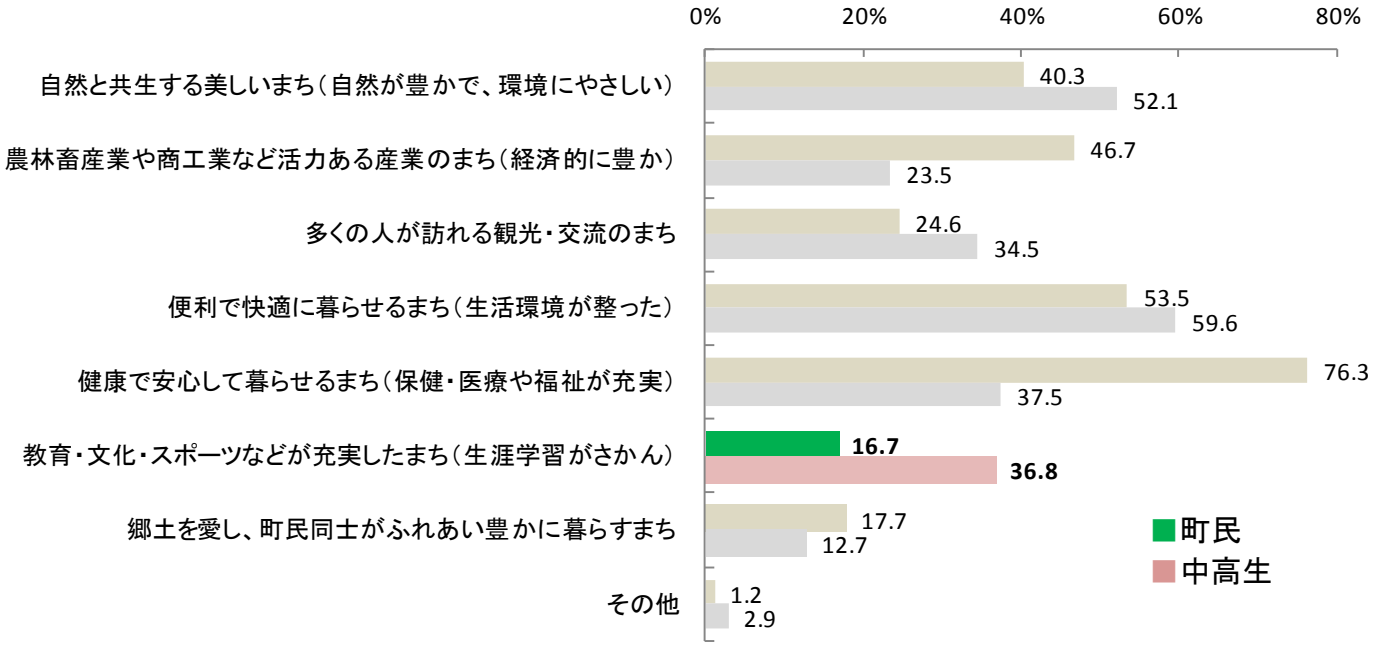
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由（すべて選択/589人）



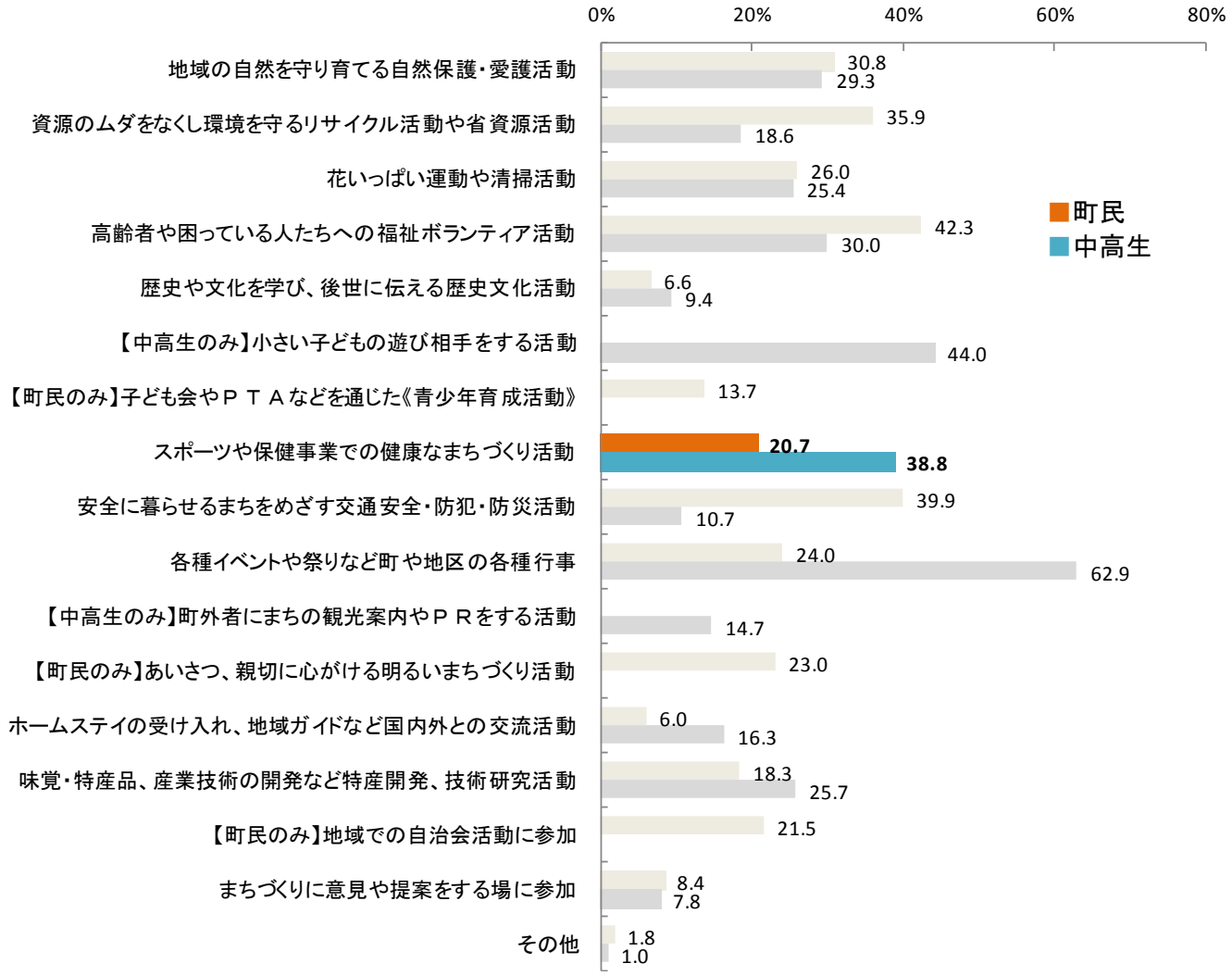
町民 【問4-②】町外に移りたい理由（すべて選択/143人）



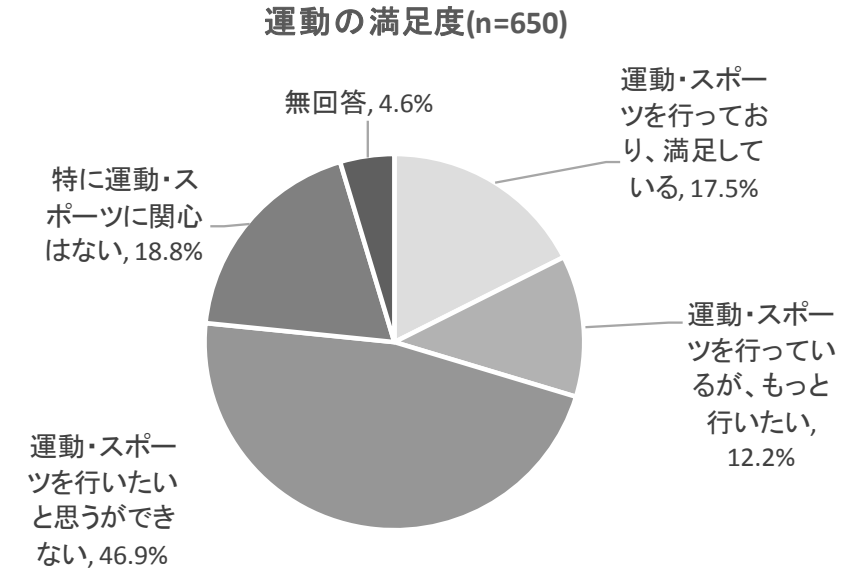
【問6】将来の美幌町に望む姿（3つまで選択/上段：町民、下段：中高生）

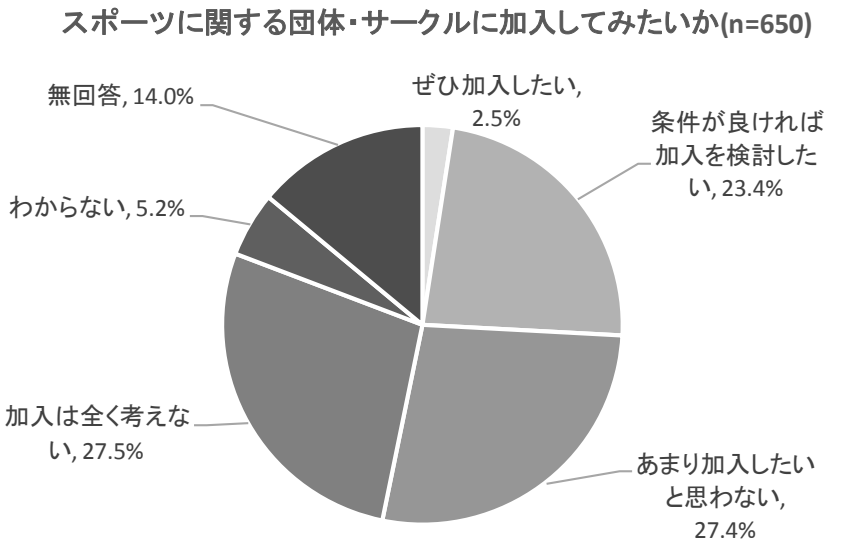


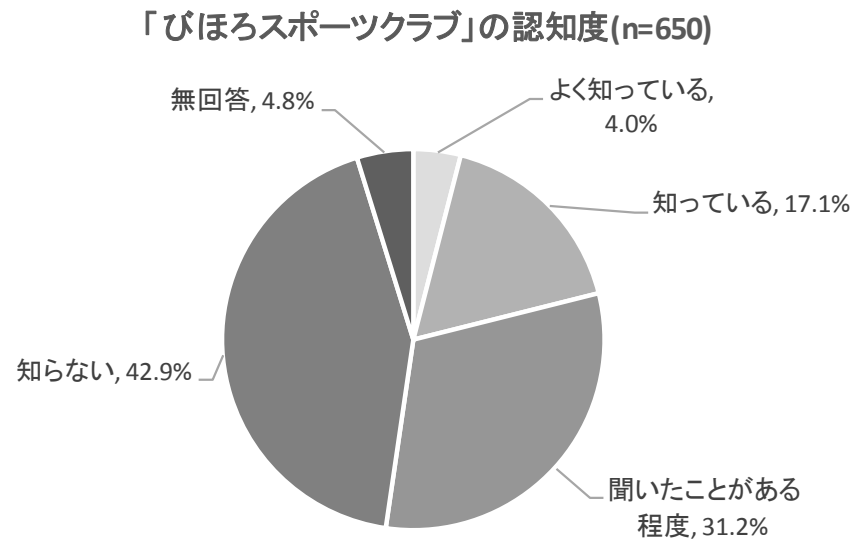
【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



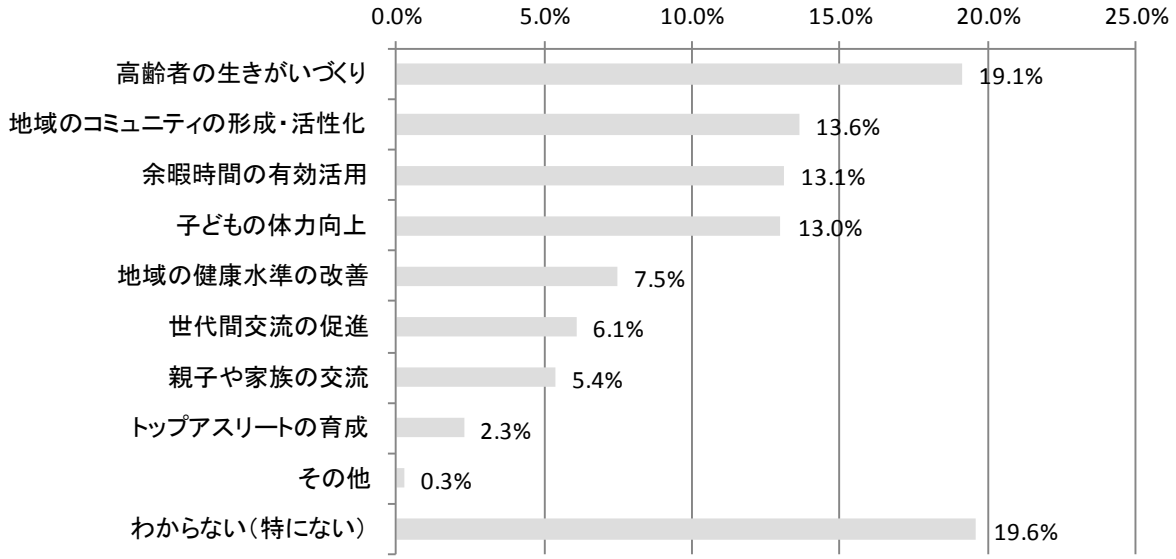
運動・スポーツに関するアンケート調査より（H25.9）



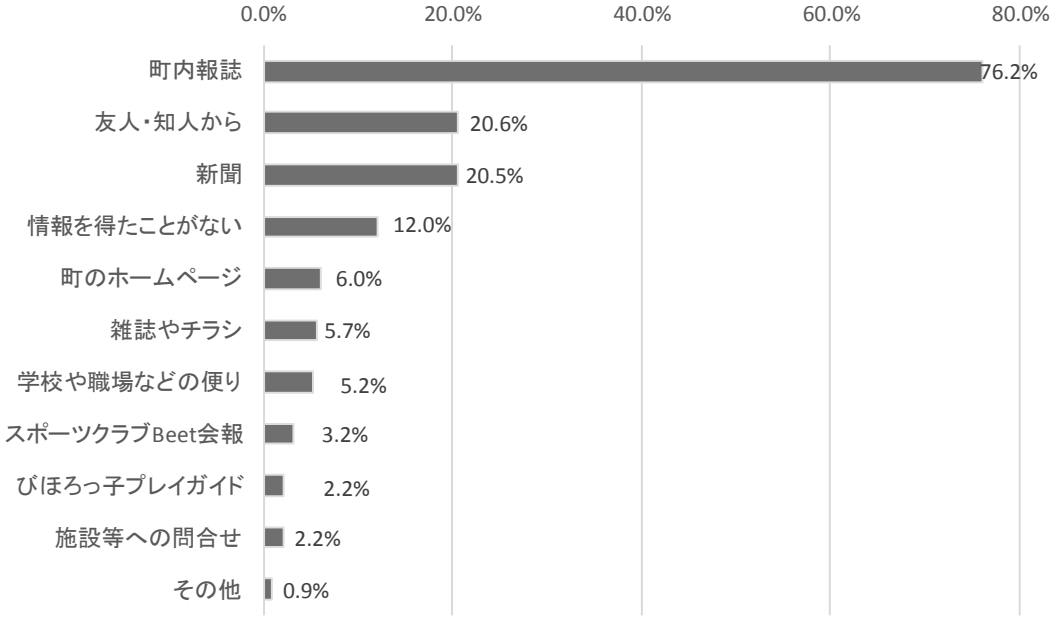




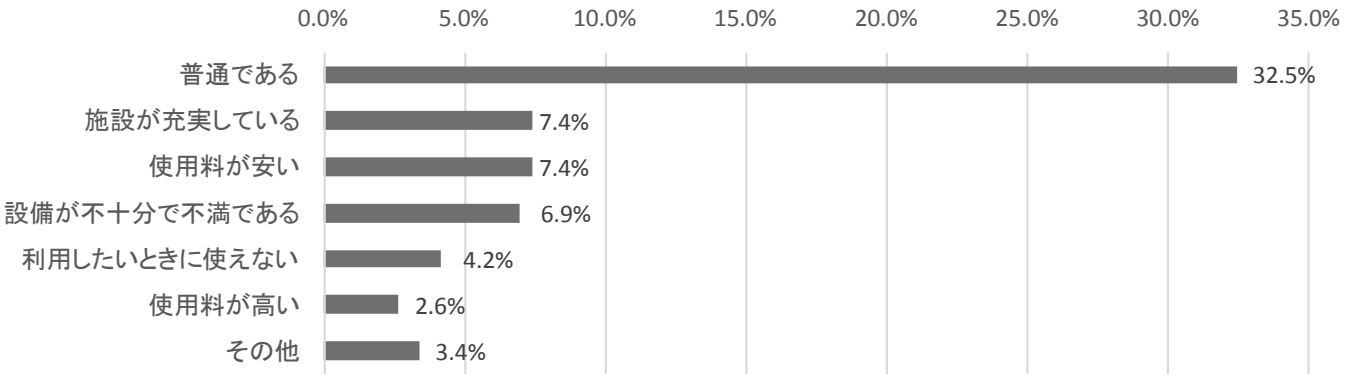
スポーツクラブに期待する効果



スポーツに関する情報入手方法（複数回答）

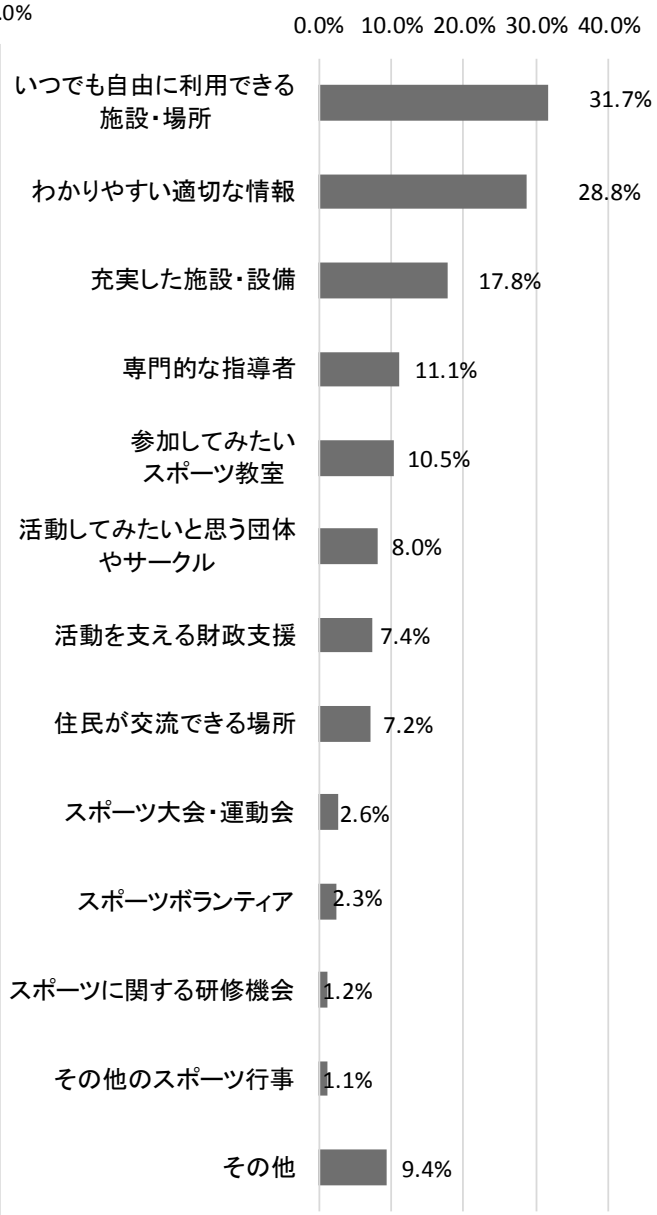


利用施設の評価(n=650)

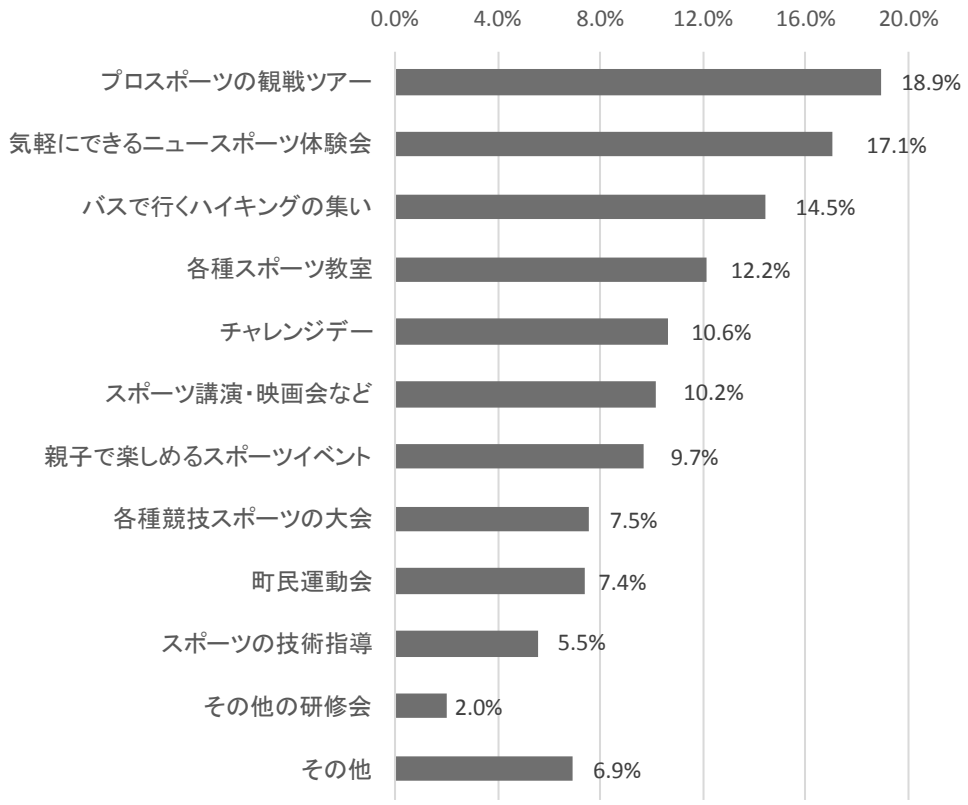


１年間で主に利用したスポーツ施設(n=650)

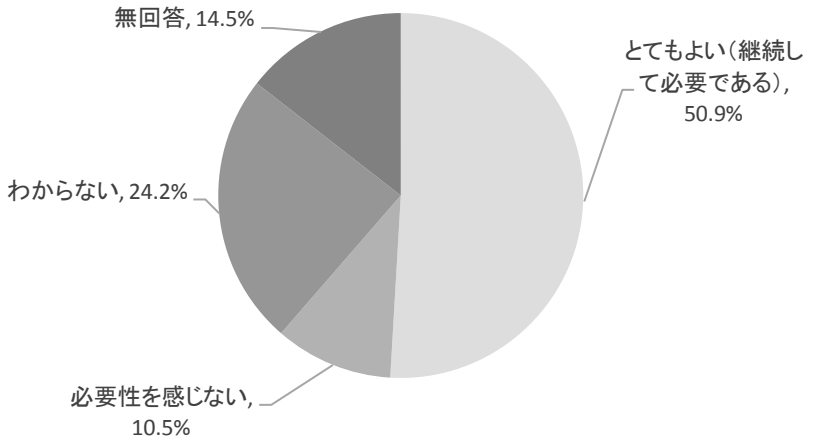
美幌町のスポーツ環境における不足(n=650)



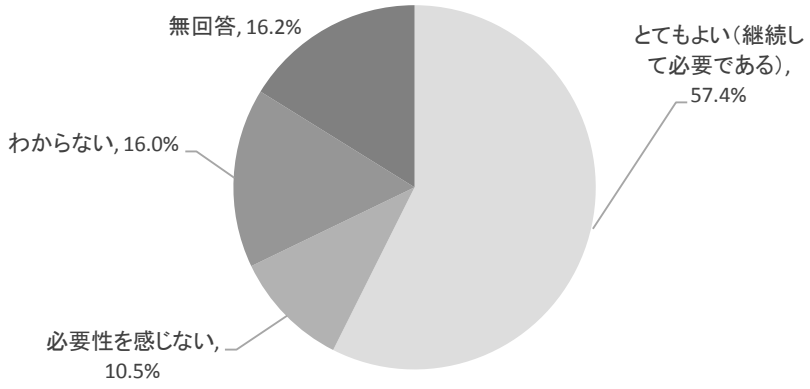
参加してみたいスポーツ行事(n=650)

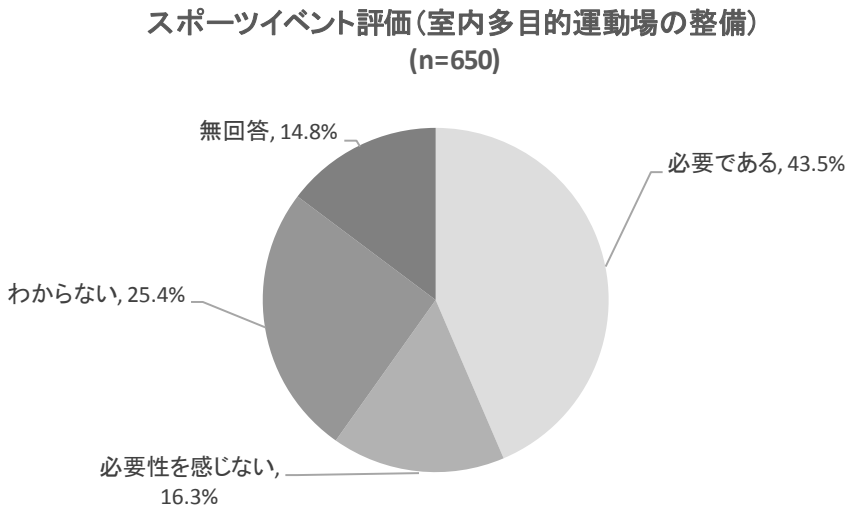


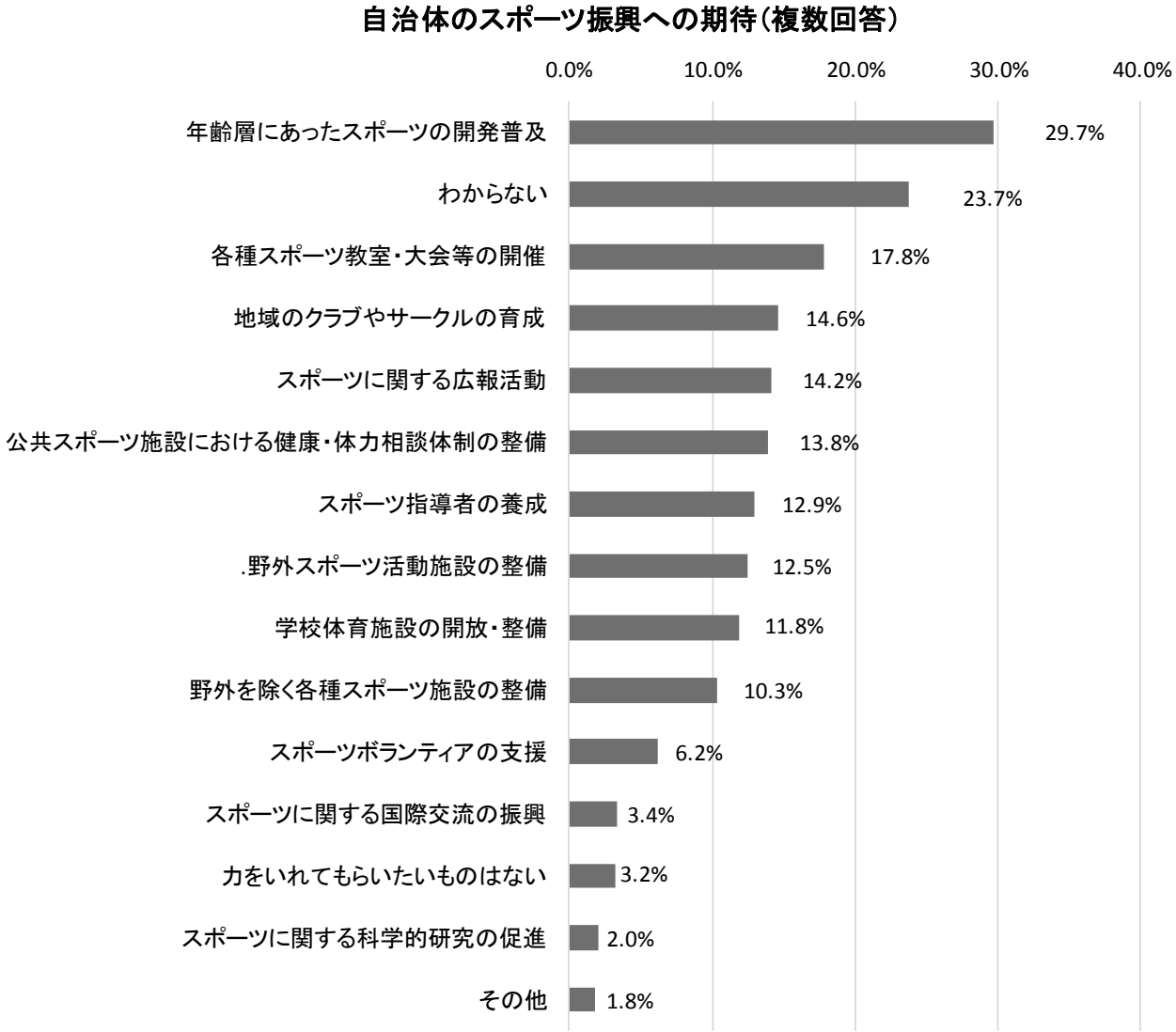
スポーツイベント評価(ビホロ100kmデュアスロン大会)(n=650)



スポーツイベント評価(スポーツ合宿(ラグビー合宿など)(n=650)




スポーツイベント評価（室内多目的運動場の整備）
(n=650)
無回答, 14.8%
必要である, 43.5%
わからない, 25.4%
必要性を感じない, 16.3%


自治体のスポーツ振興への期待（複数回答）
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
年齢層にあったスポーツの開発普及 29.7%
わからない 23.7%
各種スポーツ教室・大会等の開催 17.8%
地域のクラブやサークルの育成 14.6%
スポーツに関する広報活動 14.2%
公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備 13.8%
スポーツ指導者の養成 12.9%
.野外スポーツ活動施設の整備 12.5%
学校体育施設の開放・整備 11.8%
野外を除く各種スポーツ施設の整備 10.3%
スポーツボランティアの支援 6.2%
スポーツに関する国際交流の振興 3.4%
力をいれてもらいたいものはない 3.2%
スポーツに関する科学的研究の促進 2.0%
その他 1.8%

運動・スポーツに関するアンケート調査をふまえた、研究協議会委員からの意見のまとめ

＜生涯スポーツの振興＞

・運動をしていない人、スポーツから遠ざかっている人、スポーツが苦手な人が気軽にできる運動を実施できるきっけ作りを工夫すること
・運動・スポーツに対する意識を高め、正しい認識と運動の大切さ必要性を理解してもらう機会をつくること
・スポーツクラブの役割はとても重要であり、組織の強化と住民が主体となって支えていく意識を持たせ、関係団体との連携や必要に応じた行政支援を行うこと
・指導者の育成や優秀な人材の活用と確保は必要不可欠である
・スポーツ振興する上で、子育て支援やスポーツ環境の充実を促進し人口を増やしていくなど、町全体での取り組みをすすめていくため、他部局・関係機関との連携強化が必要
・障がい者スポーツの理解と健常者とともに活動できる機会を積極的にすすめることが大切である
・町のスポーツ振興計画を策定する必要があるのでは
・スポーツの普及や地域コミュニティの活性化を図るためには、スポーツを通じて人と人とが集い交流できる揚を設けることが大切である

＜スポーツ施設の整備、活用＞

・施設は老朽化しており、維持補修・更新整備が必要であるが、予算の確保も含めた計画的な整備構想か必要
・施設が分散し集約が望まれるが、既存の施設の有効活用や利用の調整、多目的な施設の活用方法や利用するターゲットまたは身近な住民など既存施設の付加価値を高めていく工夫も必要
・季節的な施設の有効活用やスポーツだけでなく、観光・商業など複合的な施設活用の検討も必要
・運動機会の少なくなる冬場の施設活用やオリンピアンを輩出している冬季スポーツに特化した取り組みも必要ではないか
・冬期間使用できる室内多目的ドームの必要性が高いのではないか。少子高齢化がすすむ上でも冬期間の運動する場をつくる必要がある
・医康費の削減に向けた取り組みとして介護予防における取り組みや高齢者コミュニティの場を提供する必要がある

＜スポーツ活動の促進＞

・スポーツ合宿の受入体制と団体への支援強化
・町の特性、環境の良さを積極的にアピールすること
・指導者の資質向上のための研修機会と後継者の育成や審判・ボランティアなど学校・団体との連携協力体制を強化すること
・学校授業や部活動など人材の派遣や活用をさらにすすめ、団体・組織のネットワークと関係を築いていくこと
・年代に応じた生涯スポーツの普及・振興
・スポーツを通じた青少年をはじめとする人材の育成と活動の支援

（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
生涯スポーツの振興	スポーツ振興体制の充実	体育協会や総合型地域スポーツクラブなどの団体活動の充実が図られた。	多種多様化するスポーツに対応できる体制づくりが課題である。 行政では専門職である体育主事が減員（２名から１名）となっている。	団体活動の更なる充実と、体育主事の増員。
	総合型地域スポーツクラブ※の自立支援	各種スポーツ教室や普及活動により会員の増加を図り、地域に根付いたスポーツクラブとなりつつある。	平成 26 年度をもってスポーツ振興くじの助成（５ヶ年）が打ち切られるため、自主財源での運営に向けての取り組みを強化する必要がある。	会費の見直を含めた自主財源の確保を行い、クラブの自主運営を行う。
	指導体制の充実と支援体制の強化	文部科学省の委託事業により、スポーツ政策協議会を開催し、体制づくりを行った。	指導者の担い手不足と会員の高齢化が進んでいる。	指導者の発掘により、継続性のある指導体制を構築する。
スポーツ施設の整備、活用	既存施設の定期的維持補修	既存施設については随時補修を行っている。 パークゴルフ場については、建設候補地を検討した結果、現在の網走川河川敷のコースの上流側を選定した。 室内ゲートボール場については、多目的型施設の建設を検討する。	建設費用（財源）の確保と使用料の見直し。 維持管理費用の低減。	老朽化施設の大規模改修を耐震化工事と併せて実施する。
スポーツ活動の促進	スポーツ合宿の誘致と団体支援	ラグビーなどの合宿が実施されており、地元の競技力向上及び経済に影響が大きい。	施設を占有することで、住民の利用が制限される。 宿泊施設の関係上、同時期に多くの団体の受入が困難。	管内市町との協働体制が確立されたことにより、市町間で調整を図ることが可能になった。 住民のスポーツ活動の支障を低減すべく、施設の整備を図る。
	指導者の確保、育成、研修機会の充実	スポーツ少年団の指導者登録や研修会への派遣を推進している。	競技経験者の町外流出により、指導者の担い手不足と高齢化が進んでいる。 仕事との両立が困難な指導者がいることと、ボランティアにより金銭的負担が生じている。	町内での就職先の確保と職場の理解が必要である。
	競技スポーツ技術力の向上	オリンピック･パラリンピックを頂点とし、全国･全道大会への出場者が年々増加している。	少子化・高校の間口減少等により団体競技の人員確保が課題になっている。	スポーツを通じた学生の誘致活動や、運動施設の整備充実を図る。

※総合型地域スポーツクラブ：地域住民が主体的に運営する複合的なスポーツクラブ。さまざまなスポーツにおいてレベルや世代を越えて集まり、楽しむことができる場をめざしている。（文部科学省が平成７年度より進めている）

（3）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❀：育児ママ　🏃：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　〇：職員

【美幌町ですきなもの・こと】

☺ 柏ヶ丘公園
☺ 網走川パークゴルフ場
☺ B&G のプール
☺ オリンピック・パラリンピックの選手が多い、会える
☺ リリー山の高さ

【将来なってほしい美幌町の姿】

☺ スポーツができるところ
☺ オリンピック記念館がある
☺ 陸上コースがタータン（ゴム張り）になっている
☺ プールがいっぱいある
☺ クロスカントリーコースがある
☺ リリー山を大きくしてほしい

<スポーツ施設>

✪ 競技場をタータンにしてほしい
✪ スポセンちゃんとしてほしい
✪ 大会などがしっかりできる体育館など
✪ プールをもっと町の近くにおいてほしい
✪ 陸上競技場をタータンにしてほしい（砂の所）
✪ 中学校の近くにスポーツができるところが増えてほしい
☺ サッカーコートの芝が良くない
☺ スタジアムがほしい

● パーク場が温泉のそばと聞いていましたので、パークをして、温泉をゆっくり楽しみたいと思っていましたが、がっかりです。（女性・70 代以上）
● 河川敷以外へのパークゴルフ場の整備。（女性・60 代）
● パークゴルフ場を今後 2 億掛けて、現在のパークゴルフ場の上流の河川敷に作る計画と聞きますが、現在のパークゴルフ場で充分なので、 2 億円の財源があれば、町道（市街地を優先して）の舗装、整備を進めた方が良いと思います。現在のパークゴルフ場は、利用料金が 100 円と安いので、コースの整備費や人件費を賄うだけの利用料金にすべきだと思います。（特に、町外者は町内者より高くすべきと思慮します。）（女性・70 代以上）
● パークゴルフの料金の見直しについて。65 才以下は 4 千円→3 千円。65 才以上は 2 千円→2 千円。75 才以上は無料→1 千円。65 才以下の人は仕事をしている人が多く回数が少ない。 1 日券については、（一律）100 円→町民 100 円、町外者 300 円。町民のためのパークゴルフ場であり、町外の人が多くて待時間が長いため、町外者は上げるべき。（男性・60 代）

- 公共施設を充実させてほしい。運動しようとスポーツセンターに行っても、いつも貸し出し。気軽に運動が出来ない。（女性・10～20 代）
- 冬のスキー場ですが、夜中でも電気がついている様子？（女性・70 代以上）
- ぜひ、ドーム型のスポーツ施設を作ってほしい。（60 代）
- 過疎債の恩恵を活用し、本町のスポーツ施設を集約、充実させ、子供からお年寄までみんなが何時どこでも気軽に楽しめる施設を作り、健康増進に繋げ、町民の健康度を高め、特に本町が医療、福祉の先進として地域をリードすることを目ざしてはどうか。スポーツは今後多種多様化し、一種目当たりスポーツ人口が少なくなり、スポーツの町村合併がすでに始まっている。（男性・70 代以上）

○ 各種スポーツ施設を集約化・整備することで、大規模な大会、イベント等が開催できれば町外からの集客は見込めると思います。

○ 屋内スポーツ施設整備の検討

○ 屋外ドームを建設し、サッカー､野球､ペタンクなど冬期間等多目的に利用できる環境整備

○ しゃきっとプラザ健康雄浴室の有効利用。冬期間Ｂ＆Ｇプールが利用できない間だけでも、週に何回か１～２時間だけでも子供たちに泳がせてあげれるようにする。

○ 近年、スポーツ少年団や中学校の部活動の中で、全道大会や全国大会に出場するような明るいニュースが多く、これからの活躍が期待されるところであります。課題としては通年的に練習できる施設が無く、冬場の練習がどうしても制限されてしまうため、夏のスポーツに対応できる屋内練習場が必要であると考えます。

○ 陸上競技場整備、トラック（タータン）の整備。

○ 現在、各種スポーツ施設が分散しているため、大規模なスポーツ行事や合宿が組みづらい状況にあると思います。みどりの村周辺に集約し、毎週スポーツイベントが行われている状況を作れば、町外からの人出を見込める。

○ びほろドームの建設。札幌ドームに匹敵する又はそれを超えるドームの建設。芸能コンサート・全国又は国際スポーツ大会の開催により、全国からの集客がみこまれる。その集客力で宿泊施設会社の誘致。また、ドーム建設により美幌の町は有名になり、移住者が増え、人口が増えれば、企業が参入し町は潤う。中途半端なものを作るとダメ。

○ スポーツ施設の利用時間拡大。自由な時間に利用できる施設が限られている。

○ スポーツ関連施設はあちこちに点在しすぎて、まったく計画性に乏しい。野球場のナイター照明は低すぎてゲームに支障があり、隣接にサブ球場や試合前の練習スペースもなく大会開催等に支障をきたしている。ラグビー・サッカー場は最低でも２面（芝を休ませる等維持管理を考えれば３面）以上隣接していないと、大会の開催、複数の夏季合宿等に支障がある。パークゴルフ場もだんだん町から離れていく。スキー場、博物館、キャンプ場周辺にスポーツ施設と宿泊温泉施設を集約させていき、活用されやすい総合施設にしていく。

○ スポーツの盛んな美幌町であるが、利用施設・場所が少ない。スポーツ施設を増やすべき。

○ 新しいスポーツ施設建設は予算的に厳しいので、今ある施設を改修し、活用していくべきであるが、スポーツセンターは、素足で行う武道等が行えない状態であり、大きな大会等が実施不可能な状態である。コミセン等の改修の際は各運動団体にアンケート調査等を行い、競技内容に問われない改修を実施して欲しい。

○ 高齢者ばかりが、運動施設を利用しており、若者が運動する場所が少なく、スポーツ離れを助長しているように感じる。

＜スポーツ活動支援、育成＞

- パークゴルフ教室を開いて欲しい（道具の貸出､子連れＯＫ､お茶が飲める）（男性・40 代）
- 気軽に参加できるサークルなどスポーツをできる場を増やしてほしい。（女性・30 代）

● スポーツや趣味で参加しているサークル等の指導員が高齢者で、良い指導が出来ていない。（女性・60 代）

○ スケート選手等、美幌町から数名の選手がでているが、今後もたくさんの選手がでてくるよう、各団体の支援強化を図る。

○ 多くのオリンピック選手が輩出されているが子どもの頃からの活動のたまものと思う。「自分もいつかは」との夢が持てるよう、年次的にでも指導者の招聘や備品等購入の助成を。

○ 各運動団体の指導者はあくまでボランティアであり、一個人の限界もあるので、各競技の衰退を防ぐために、町職員、自衛隊等の町内在住の専門的な指導者は美幌町に住む町民の責務として、町として指導者の確保を半強制にでもさせるべき（特に少年団の指導者）。HP を有効活用し、各スポーツ団体の普段の練習風景等を取材し、広く町民に広報してほしい。

<イベント>

○ オリンピック選手が出る等、スポーツの印象も定着しつつあるので、町民スポーツ大会等で町の活性化。

○ スポーツ施設の充実化が進んでいるため、スポーツイベント等を開催してみては。パークゴルフ場の設備が充実してきているので大々的に大会を開催してみてはどうでしょうか。

○ スポーツ大会等をもっと多く実施する。美幌町ではスポーツをしている人を見かけるが、個人で体を動かしていると思われるので周りの人と競い合う気持ちが足りないと思われるし、競い合う場面が少ないと思う。様々な年代でスポーツ、体を動かすことにより健康的な体になり、競い合い相手の事を思いやり考えることで町全体が活性化すると思う。

<その他>

✪ オリンピックのメダルを飾るところがほしい

✪ 美幌はオリンピック選手をたくさん世に出しているので、もっとスポーツを盛んにするべきだと思う。特にクロカンなどのウィンタースポーツを盛んに。

✪ オホーツクにプロ野球チームをつくる

✪ 美幌町の独自のスポーツを作れば美幌町を知ってもらえると思う

○ スポーツ都市宣言を。本町出身者のスポーツ界での活躍は素晴らしいものがあるものの、オリンピックに出たときだけの盛り上がりでしかありません。本町のスポーツ少年団活動や中学、高校での部活動での活躍は全道的にみても目を見張るものがあります。ただ、これらの活動は地域に委ねられ、本格的な指導者の育成や活動団体への支援はほとんど行われていないのが現状です。オリンピック選手が出た時だけではなく、日々の活動に対する支援を含め、スポーツ大会の誘致・開催やスポーツイベントの開催等により交流人口の増加を図り、スポーツによるまちづくりを進めていければと考えます。

○ 五輪選手や実業団などで活躍した方が現役を引退したら、町の職員として働いていただき、少年団や中学校の部活の指導に当たってもらう。詳しいことは分かりませんが、基礎トレーニングやメンタルトレーニングなど一流の指導を受けている方々なので、特定のスポーツだけではなく、幅広いスポーツに活かせるのではないでしょうか？一部の自治体や民間で実施している総合型スポーツ少年団の設立。より多くの子ども達がスポーツを楽しむために、低学年のうちは、複数のスポーツを体験し、自分に合ったスポーツを選ぶ仕組みづくりがあると、将来的に生涯スポーツの促進につながるのでは？

○ スポーツ合宿施設の整備・誘致活動。近隣市町村にスポーツ合宿団体が流れ、当町における商工関連企業の歳入が減少している。積極的な誘致活動の実践と施設、宿泊施設の整備を図ることで、団体の受け入れを可能とし、町全体を活性化する必要があると考える。

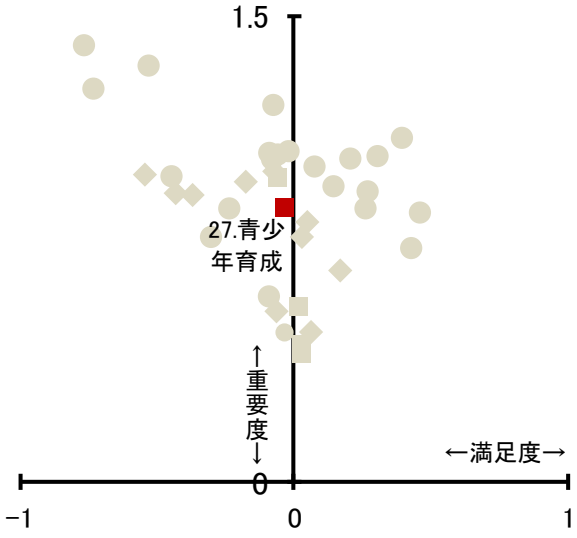
○ 町内にあるスポーツ施設を活用し、実業団チーム等の合宿地候補としての売り込みやアピール活動を行うことで観光客確保・拡大に繋がると思われる。

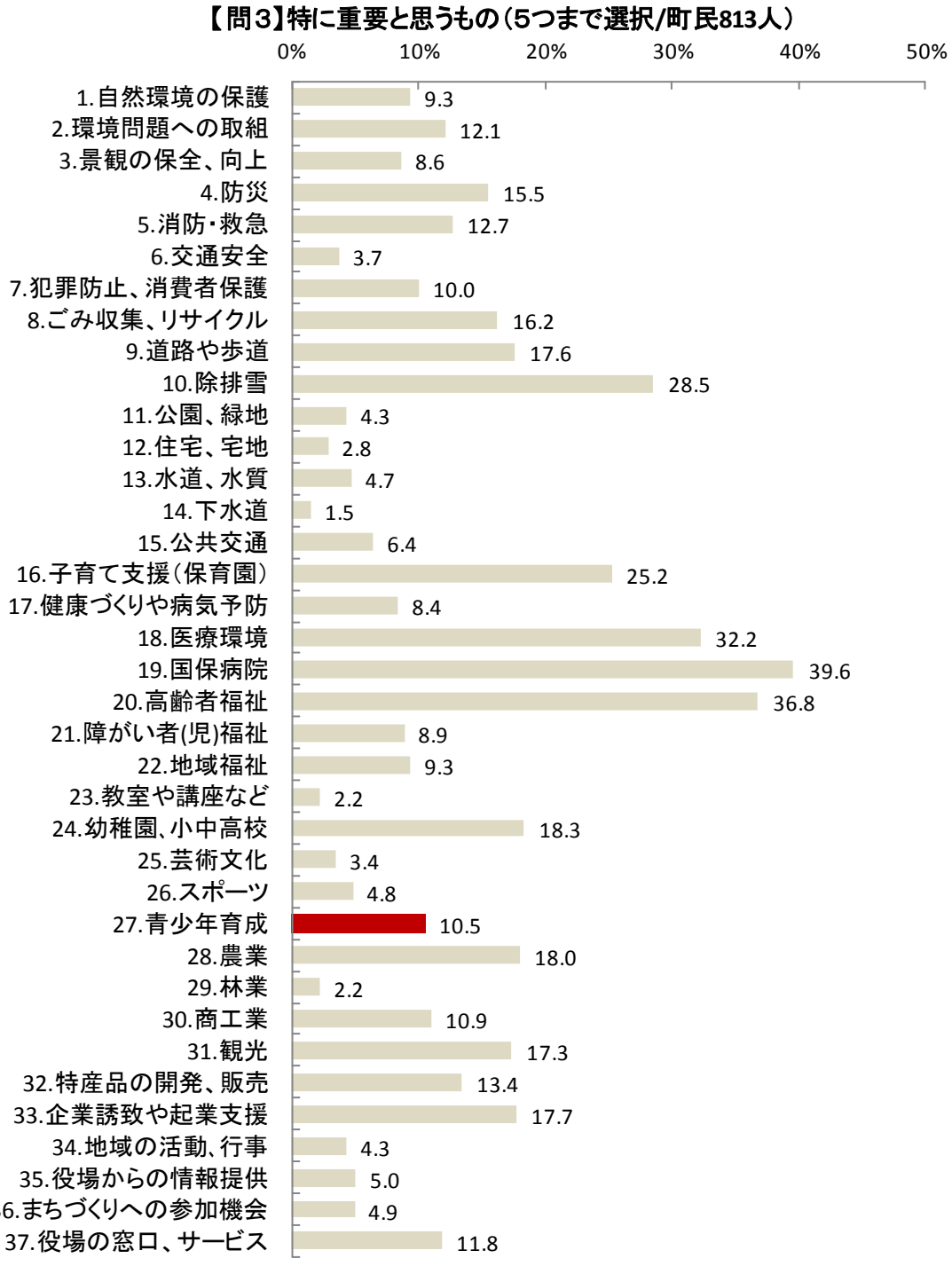
52　青少年

（１）関連グラフなど

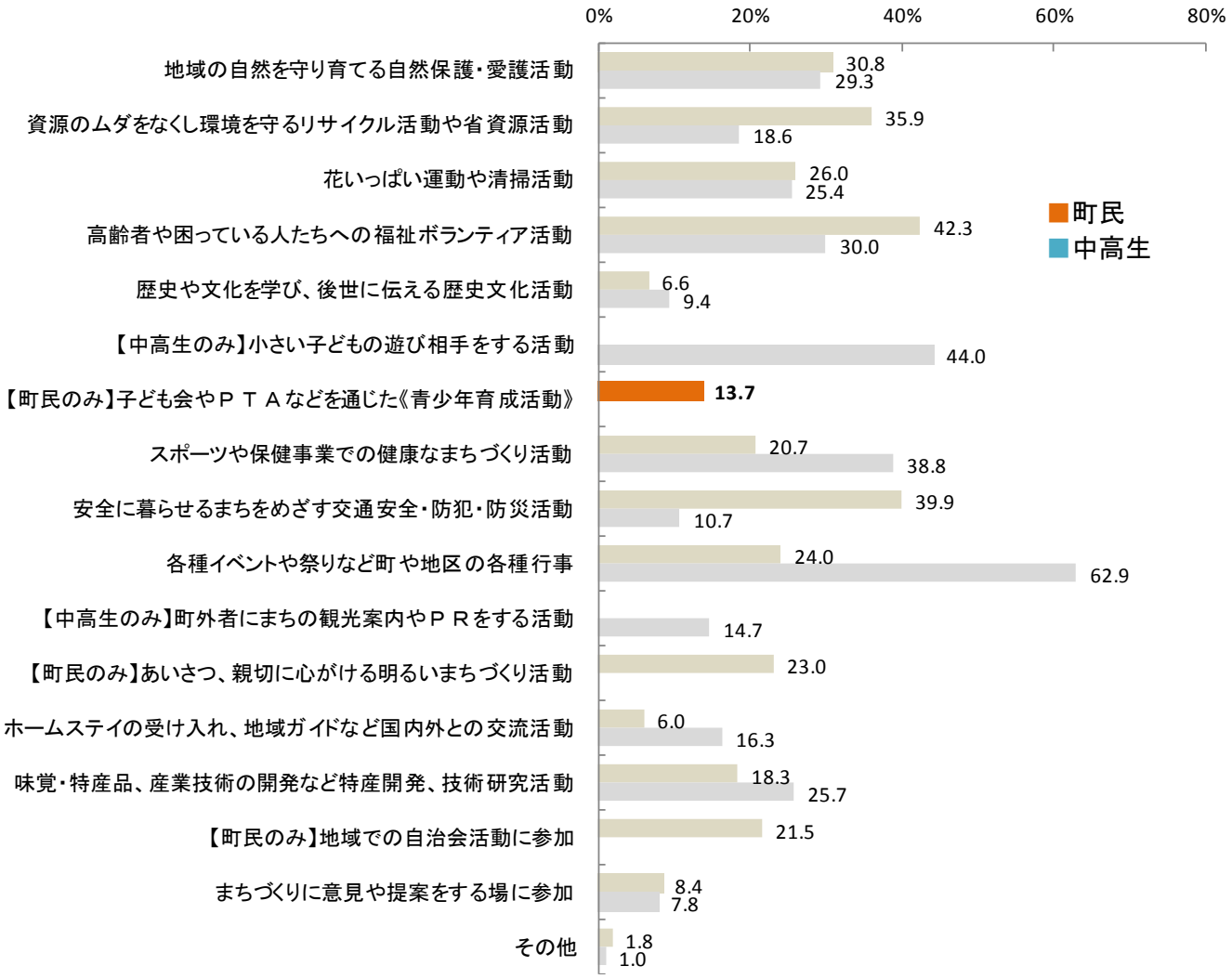
【問２】暮らしの満足度・重要度
満足度をヨコ軸、
重要度をタテ軸にした場合の
位置づけです。

【問３】特に重要なもの
問２と同じ 37 項目の中から、
特に重要と思う項目を
５つ選んでもらった位置づけです。





【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（あてはまるものすべて選択（上段：町民、下段：中高生）



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
青少年の健全育成推進体制の充実	青少年健全育成組織のネットワーク化	青少年問題協議会が総合的な施策を審議し、青少年育成センターと青少年関係機関団体との連携・協力により、巡視活動をはじめ様々な活動が円滑に行われている。	各種団体において、役員など活動している人が重複し、実働人数として限定される。また、次世代を担う後継者の確保が課題である。	現状維持とし、良好な協力体制で青少年の健全育成に連携して取り組む。青少年育成指導員などは、できる限り他の団体加盟者との重複を避ける。
	子どもを守る安全安心な環境づくりの推進（地域安全パトロール隊「リトルウィング」「子どもみまもり隊」の活動促進）	各種祭事など青少年がくり出す行事において、協力して巡視活動を行っている。また、登下校時の児童生徒への声かけも行っている。子どもみまもり隊は、広報紙などで隊員拡大を呼びかけた。	子どもみまもり隊への理解の浸透が不明瞭である。また、隊員へのフォロー体制が明確に無い。	「青少年は地域から育む」の意識を広く町民に持ってもらい、普段の生活の中での子どもを見守る目を増やし、子どもみまもり隊として登録してもらう。

青少年育成活動の充実	生きる力※を育む体験活動の充実	基本的な生活習慣や、野外体験による創造性を体得するため、毎年様々な視点で事業を組み立て内容も充実している。 創作活動・伝統文化にふれる体験を通して心身ともに健全な子どもの育成を行政のみならず施設利用者、地域の大人の参画を得て展開できている。	子どもが主体的に事業に関わる場の創出と、子どもを取り巻く家庭へのアプローチが不足。	現状維持とするが、子どもたちにとってはどのような体験でも得難い貴重な経験となり得るので、あらゆる分野の方々の協力・参画を得て、子どもたちの多様な体験機会を創出していくことを目指す。
	コミュニティスクール※の活動促進	各小学校区でコミュニティスクールが運営。運営委員会を中心に積極的・主体的運営がなされている。	運営委員会に参画していただける人材の固定化と高齢化。	地域の子どもを地域で育む取り組み、小学校を核にした青少年健全育成の取り組みを継続する。
	ライフステージ※に対応した家庭教育学級の充実	各幼稚園を核として、保護者の主体的な運営が行われており、行政としてのサポートも適切と判断している。	継続した取り組みであるが、保護者および幼稚園の十分な理解を得ることを重視している。また保育園に通う子どもを持つ親へのアプローチ、家庭教育事業の中核を担う託児協力者の確保も課題。	少子化・核家族化の流れを受け、子育てにおける親の役割の重要性を訴えるとともに、その支援体制について児童支援グループと連携しながら展開していきたい。
	教育資源リスト※の作成と活用	各学校のＰＴＡ活動、総合的な学習の時間での地域人材活用が増えている。	年次更新のシステム化と地域人材の拡大。	リスト登載者と指導分野の拡大を目指すとともに、よりシンプルなリストの活用方法を創出する。

※生きる力：学ぶことへのやる気と意欲、自分で考える力、自分で判断する力、自分で表現する力、問題を解決し自分で道を切り開いていく力、他人と協調し他人を思いやる力、たくましく生きるための健康や体力をいう。
※コミュニティスクール：地域の子どもたちを地域のあらゆる世代の人たちで育てようとする取り組み。町内各小学校区のコミュニティスクール運営委員会によって企画や運営が行われている。
※ライフステージ：人の一生を段階ごとに区分したもので、通常は幼児期、児童期、青年期、壮年期、老年期など。
※教育資源リスト：地域の人材や施設、自然や文化財等を学校教育で有効に活用することを目的に教材化したリスト。

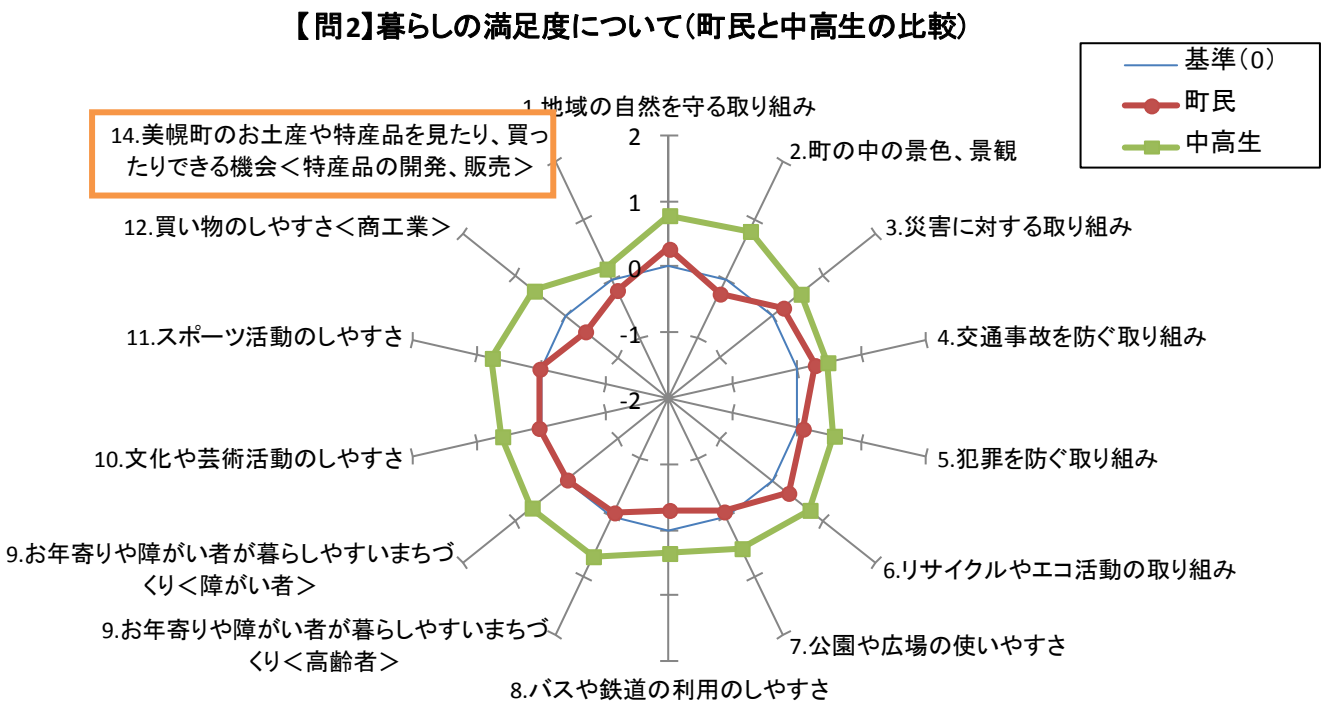
（３）意見、提案

☺：小学生　✪：中高生　❁：育児ママ　⚐：自衛隊　⌘：高齢者　●：町民　○：職員

- ● ひきこもりの若い人がけっこう美幌町にも多く、現実近所にいる。役場がもっと動いて調査をして下さい。家族の方が孤立しています。税金をむだ使いせず、そちらに使って下さい。（女性・60 代）
- ○ ネイパル北見のような青少年向けの研修施設をつくる。美幌で自然を生かした取り組みのできる施設がない。また、子どもたちの研修に利用できるような施設がない。

53 食育

（１）関連グラフなど



（２）現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
子育てに関する相談・指導の充実 （「子育て支援」と重複）	食育※に関する情報提供や親子料理教室の開催	栄養士による年２回、「離乳食」講座を開催している。他に 26 年度は調理講座を開催予定。	講師、開催場所、予算及び託児の関係で講座を増やすことができない。	栄養士の協力により、親子の食育の大切さを伝えていく。
小中学校の教育内容の充実 （「学校教育」と重複）	栄養教諭の配置による食育の推進	正しい食生活指導や食育に関する授業は行っているが、栄養教諭の配置には至っていない。	配置基準、給食センターの運営などから、職種替えが難しい状況。	栄養士の配置換えを含め、道教委と調整を図る。

※食育：栄養の偏り、不規則な食事、安全性の問題や食文化の継承など、生産から消費まで一貫した「食」に関する考え方を、家庭、学校、保育所、地域等を中心に育むことを国民が総合的に推進すること。

※特別支援教育：これまでの特殊教育の対象としてきた盲者、聾者、知的障がい者、肢体不自由者、及び病弱者等の児童生徒に加えて、通常の学級に在籍するＬＤ（学習障がい）、ＡＤＨＤ（注意欠陥／多動性障がい）、高機能自閉症等の児童生徒も含め、個々のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う教育。